

建築工事標準詳細図（令和4年改定）【概要】

■目的・概要

設計の質の確保、能率の向上及び寸法の統一を図り、あわせて積算、施工等における業務の簡素化を図ることを目的に、庁舎等で設ける頻度の高い部分（例えば、床や天井の取合い、外壁タイル仕上げ、建具廻り）の詳細図を、各施設の設計に引用できるように整理したものです。

■主な内容

- ・床、壁、天井仕上げ（モルタル塗り床、軽量鉄骨壁下地 等）
- ・建具形状、建具取合い
- ・屋上防水、雨どい
- ・室別詳細（湯沸室、一般便房、車椅子利用者用便房、浴室、和室等）
- ・部分詳細、雑詳細（断熱材打込み、階段、雑金物、サイン等）
- ・外構（植栽支柱、側溝、マンホール、舗装、門、囲障等）

■主に使用する時期

- ・設計段階

■適用方法

<業務委託等を行う際の適用方法>

- ・設計業務等の適用基準として、業務委託特記仕様書等に特記します。

<業務実施時の適用方法>

- ・部分詳細図を記載する代わりに本詳細図の番号を引用して、設計図面等の作成を行います。

■適用に当たっての留意事項 [【発】発注者、【設】設計者、【施】施工者、に対する事項]

- ・本詳細図は、庁舎の標準的な詳細を定めたものであり、実際に設計する各施設の特性等に
応じて、適切に適用する必要があります。【発】【設】
- ・本詳細図は、設計図書において、図面を補完するものであり、図面と相違する場合は、図
面を優先します。【発】【設】【施】

建築工事標準詳細図

(令和4年改定)

平成28年3月31日国営整第304号

令和4年3月28日国営整第170号

最終改定 令和4年4月27日国営整第17号

この標準詳細図は、国土交通省官庁営繕部及び地方整備局等営繕部が官庁施設の営繕を実施するための基準として制定したものです。

利用にあたっては、国土交通省ホームページのリンク・著作権・免責事項に関する利用ルール (<http://www.mlit.go.jp/link.html>) をご確認ください。

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

技術基準トップページはこちら (関連する基準の確認など)

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html

建築工事標準詳細図

1 目的

この建築工事標準詳細図（以下「標準詳細図」という。）は、設計において、使用頻度の高い詳細を標準化することにより、設計の質の確保、能率の向上及び寸法の統一を図り、あわせて積算、施工等における業務の簡素化を図ることを目的とする。

2 適用範囲

本標準詳細図は、官公庁施設の建設等に関する法律（昭和26年法律第181号）第2条第2項に規定する庁舎及びその附帯施設（以下「庁舎等」という。）の建築設計に適用する。

3 一般事項

- (1) 材料名、材料規格及び工法は、原則として日本産業規格（JIS）、日本農林規格（JAS）、「公共建築工事標準仕様書 令和4年版」及び「公共建築改修工事標準仕様書 令和4年版」（令和4年3月23日国営建技第11号、国営木第16号、国営設第222号）による。
- (2) 「仕様」には、各詳細図の適用に当たっての標準的な仕様等を示す。
- (3) 「特記事項」には、設計に当たり、特記しなければならない主な事項を示す。なお、ここに記載される事項のほか、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「公共標仕（建）」という。）又は「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「公共改修標仕（建）」という。）により特記が必要となる事項についても特記しなければならない。
- (4) 括弧内に記載する寸法及び材料は、標準的な寸法又は目安としての寸法、標準的に使用される材料等を示す。
- (5) 木材の断面に係る寸法は、引出線で部材断面（横寸法×縦寸法）が示されている場合はひき立て寸法を、寸法線で部材寸法が示されている場合は仕上がり寸法を示す。

4 適用方法

- (1) 本標準詳細図は、「官庁施設の基本的性能基準」（平成25年3月29日国営整第197号、国営設第134号）に定める性能の水準を踏まえ、庁舎等の標準的な詳細を定めるものであり、設計に当たっては、庁舎等の立地、特性、所要の性能の水準等に応じて選択、必要な特記等を行い、適切に適用する。
- (2) 本標準詳細図は、設計図書において、図面を補完するものとし、図面と相違する場合は、図面を優先する。
- (3) 設計に当たり、括弧内に記載する寸法又は材料について、特定のものを指定する場合は図面に特記するものとし、施工に当たっては、図面に特記された事項を上記(2)により優先する。
- (4) 施工に当たり、括弧内に記載する寸法又は材料で、製造所の仕様、その他の事情等により若干の差異があるものについては、必要に応じて実情に即した対応について監督職員と協議する。

5 表示記号及び略号

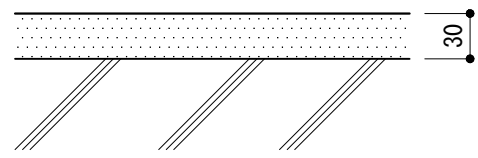
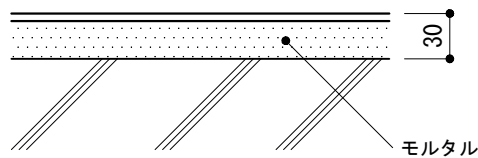
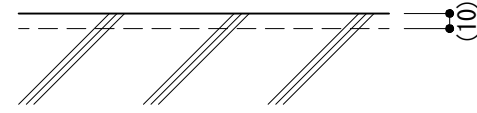
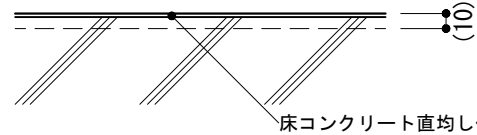
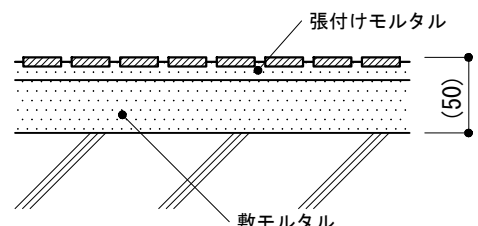
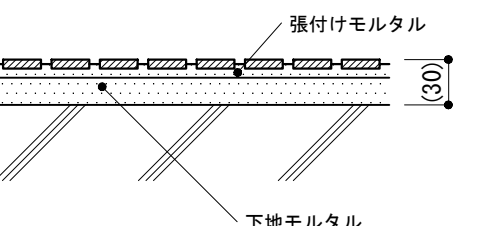
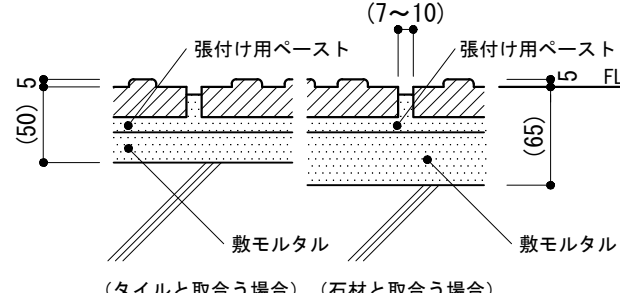
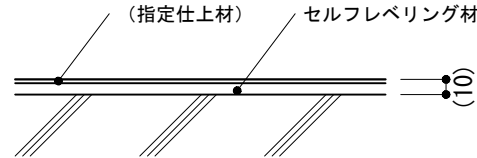
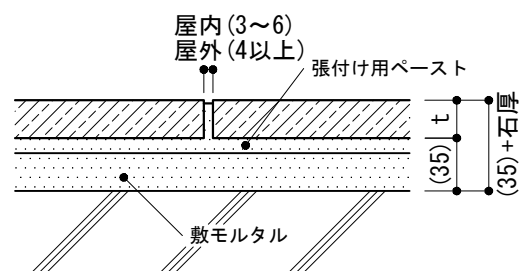
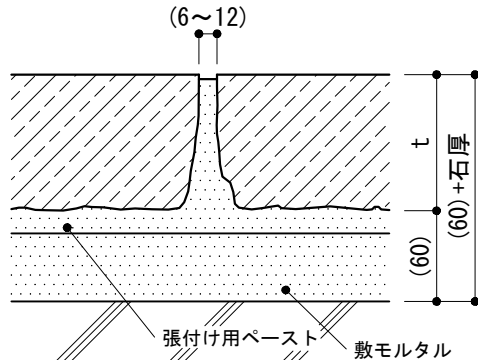
本標準詳細図における表示記号及び略号は、つぎによるほか、「建築工事設計図書作成基準」による。

表示記号

縮尺程度別による区分 表示事項	縮尺1/100 又は1/200 程度の場合	縮尺1/10, 1/20, 1/30 1/50程度の場合	原寸及び 縮尺1/2, 1/3, 1/5程度の場合	縮尺程度別による区分 表示事項	縮尺1/100 又は1/200 程度の場合	縮尺1/10, 1/20, 1/30 1/50程度の場合	原寸及び 縮尺1/2, 1/3, 1/5程度の場合
鉄骨鉄筋 コンクリート 及び鉄筋 コンクリート				木造壁		実形に準じて表示する	
鉄骨			実形に準じて表示する	木 材	化粧材 構造材 補助構造材 集成材 合板		
A L C		実形に準じて表示する					
コンクリート ブロック壁		実形に準じて表示する					
軽量鉄骨下地 間仕切壁 (一般)		実形に準じて表示する		畳			
軽量鉄骨下地 間仕切壁 (遮音)		実形に準じて表示する		保温・断熱 吸音材			
左官仕上げ				防水層			
石材又は 擬石				成形緩衝材			
タイル				リプラス・ 及びマルチ ワイヤラス			
コンクリート 打増し				地 盤			
鉄 筋	D			砂利・砂 砕 石			
	10	●					
	13	×		割 り 石			
	16	⊙					
	19	●		れんが			
	22	○					
	25	◎					
	29	⊗					
32	◎		伸縮目地材				

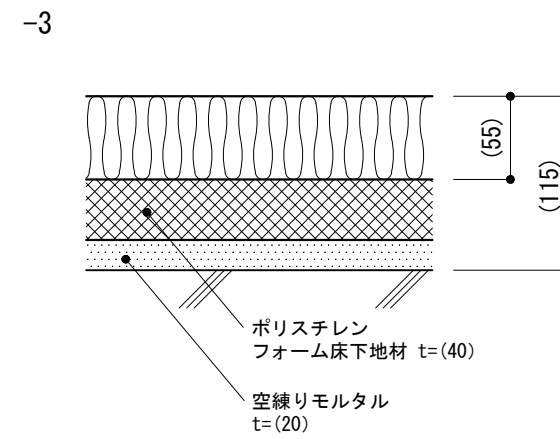
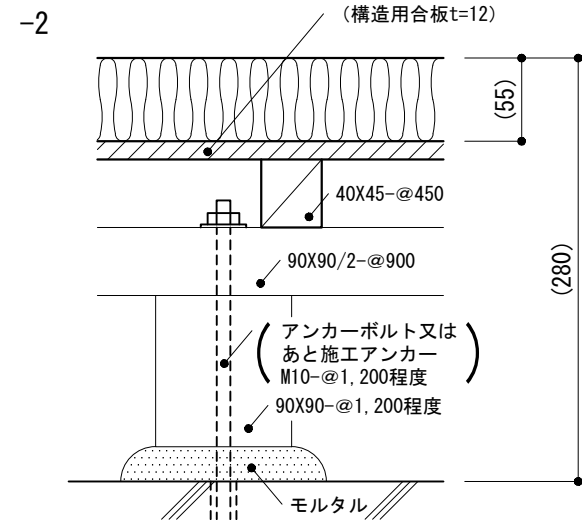
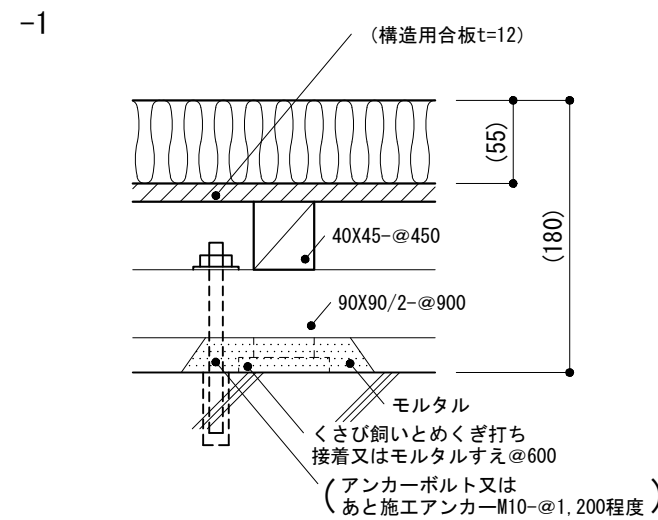
略号

項目	表示事項	表示略号	表示事項	表示略号	表示事項	表示略号
材 料 ・ 工 法	合成樹脂 調合ペイント塗り	SOP	外装合成樹脂エマルジョン系 厚付け仕上塗材	外装厚塗材E	シージングせっこうボード	GB-S
	クリヤラッカー塗り	CL	内装合成樹脂エマルジョン系 厚付け仕上塗材	内装厚塗材E	強化せっこうボード	GB-F
	アクリル樹脂系 非水分散形塗料塗り	NAD	内装消石灰・ドロマイトプラスター系 厚付け仕上塗材	内装厚塗材L	不燃積層せっこうボード	GB-NC
	耐候性塗料塗り	DP	内装せっこう系 厚付け仕上塗材	内装厚塗材G	ロックウール化粧吸音板	DR
	つや有合成樹脂 エマルジョンペイント塗り	EP-G	<複層仕上塗材>		ロックウール吸音ボード	RW-B
	合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	EP	けい酸質系 複層仕上塗材	複層塗材Si	グラスウール吸音ボード	GW-B
	ウレタン樹脂ワニス塗り	UC	ポリマーセメント系 複層仕上塗材	複層塗材CE	けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK
	オイルステイン塗り	OS	合成樹脂エマルジョン系 複層仕上塗材	複層塗材E	硬質木毛セメント板	HW
	木材保護塗料塗り	WP	反応硬化形成樹脂 エマルジョン系複層仕上塗材	複層塗材RE	普通木毛セメント板	NW
	<薄付け仕上塗材>		吹付用軽量骨材仕上塗材	吹付用軽量塗材	普通木片セメント板	NF
	内装セメント系 薄付け仕上塗材	内装薄塗材C	こて塗用軽量骨材仕上塗材	こて塗用軽量塗材	<管類>	
	外装けい酸質系 薄付け仕上塗材	外装薄塗材Si	<マスチック塗材塗り>		硬質ポリ塩化ビニル管	VP VU
	内装けい酸質系 薄付け仕上塗材	内装薄塗材Si	マスチック塗材塗り A種	マスチックA	遠心力鉄筋コンクリート管	HP
	外装合成樹脂エマルジョン系 薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	マスチック塗材塗り B種	マスチックB	幅 長さ 高さ 直径 半径 縮尺 センターライン 間隔 厚さ プレート フラットバー ベンチマーク 基準地盤面 基準床面	
	内装合成樹脂エマルジョン系 薄付け仕上塗材	内装薄塗材E	<構造・ボード類>			
内装消石灰・ドロマイトプラスター系 薄付け仕上塗材	内装薄塗材L	軽量鉄骨	LGS			
外装合成樹脂溶液系 薄付け仕上塗材	外装薄塗材S	コンクリートブロック	CB	一般	S	
内装水溶性樹脂系 薄付け仕上塗材	内装薄塗材W	テラブロック	TB	事	Ⓞ	
<厚付け仕上塗材>		軽量気泡コンクリートパネル (ALCパネル)	ALC	項	@	
外装セメント系 厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	押出成形セメント板	ECP	間隔	t	
内装セメント系 厚付け仕上塗材	内装厚塗材C	せっこうボード	GB-R	厚さ	PL, ㊦	
外装けい酸質系 厚付け仕上塗材	外装厚塗材Si	吸音用 あなあきせっこうボード	GB-P	プレート	FB	
内装けい酸質系 厚付け仕上塗材	内装厚塗材Si	せっこうラスボード	GB-L	ベンチマーク	BM	
		化粧せっこうボード	GB-D	基準地盤面	GL	
				基準床面	FL	

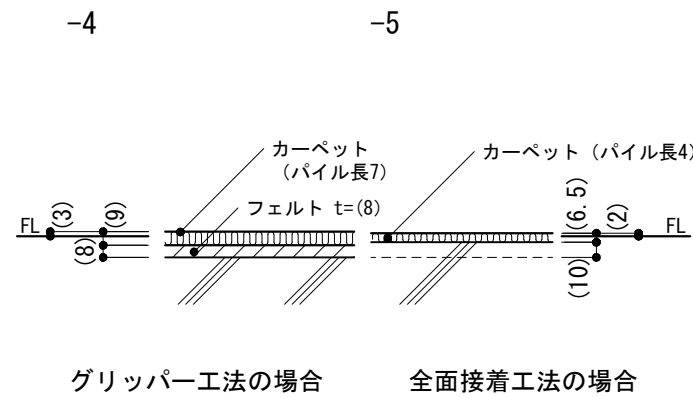
<p>-1 モルタル, モルタルの上塗り床等</p> 	<p>-2 ビニル床シート, ビニル床タイル, ゴム床タイル張り</p> 	<p>-3 床コンクリート直均し仕上げ, 床コンクリート直均し仕上げの上塗り床等</p> 	<p>-4 ビニル床シート, ビニル床タイル, ゴム床タイル張り</p> 
<p>-5 タイル(張付け面積の小さい場合)</p> 	<p>-6 タイル(-5以外の場合)</p> 	<p>-7 誘導用床材・注意喚起用床材</p>  <p>(タイルと取合う場合) (石材と取合う場合)</p> <p>誘導用床材・注意喚起用床材 300X300X30程度の場合</p>	<p>-8 セルフレベリング材塗り</p> 
<p>-9 石材(石厚50以下の場合)</p>  <p>石の標準寸法 600X600</p>	<p>-10 石材(石厚50を超える場合)</p>  <p>石の標準寸法 900X450</p>		

<p>仕様</p> <p>1) 誘導用床材・注意喚起用床材のブロックパターンは JIS T 9251による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) タイル寸法 2) 石材の種類, 厚さ, 仕上げ 3) -7の誘導用床材・注意喚起用床材の材種, 厚さ 4) 指定仕上材の種類</p>		<table border="1"> <tr> <td>図面名称</td> <td colspan="2">床 : 仕上げ</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>1/5</td> <td rowspan="2">1-01</td> </tr> <tr> <td colspan="2">建築工事標準詳細図 令和4年版</td> </tr> </table>	図面名称	床 : 仕上げ		縮尺	1/5	1-01	建築工事標準詳細図 令和4年版	
図面名称	床 : 仕上げ										
縮尺	1/5	1-01									
建築工事標準詳細図 令和4年版											

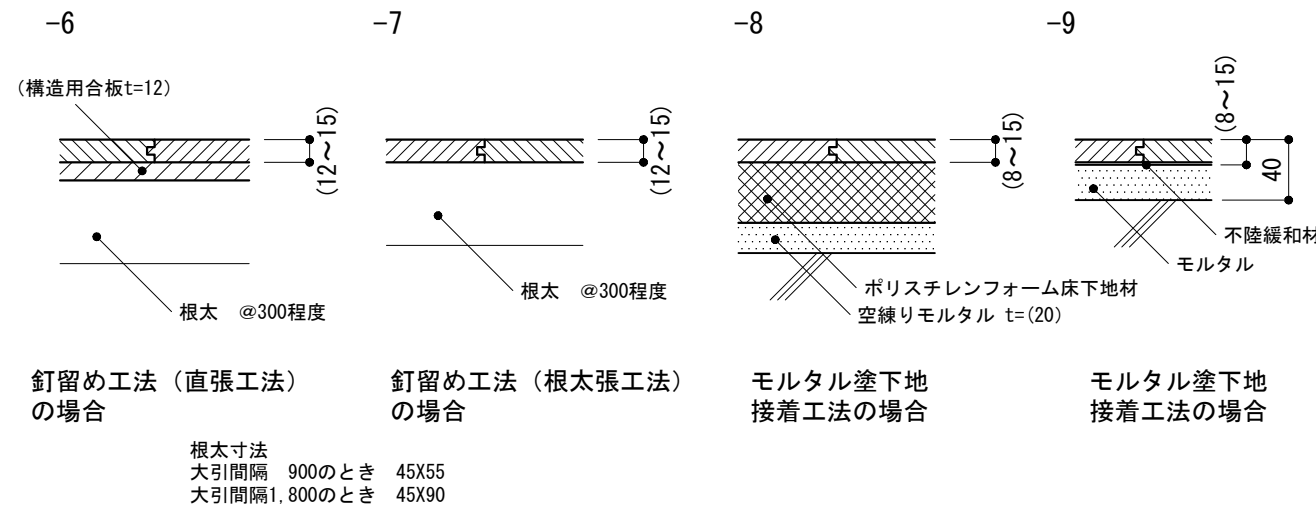
-1~-3 畳敷き



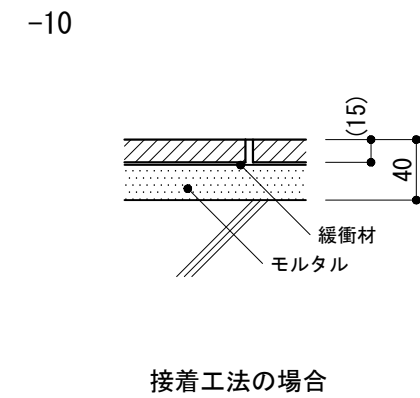
-4~-5 カーペット敷き



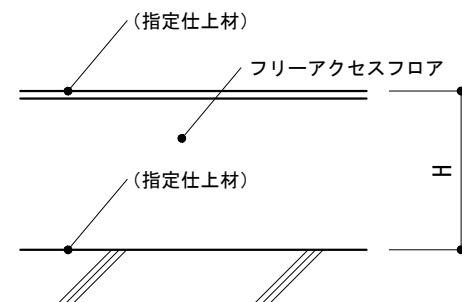
-6~-9 フローリングボード,複合フローリング



-10 フローリングブロック

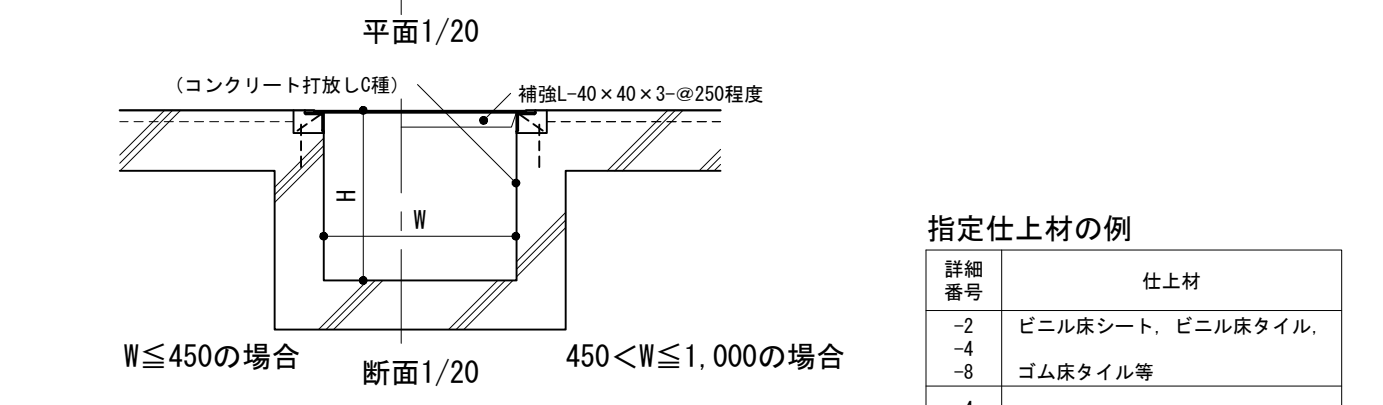
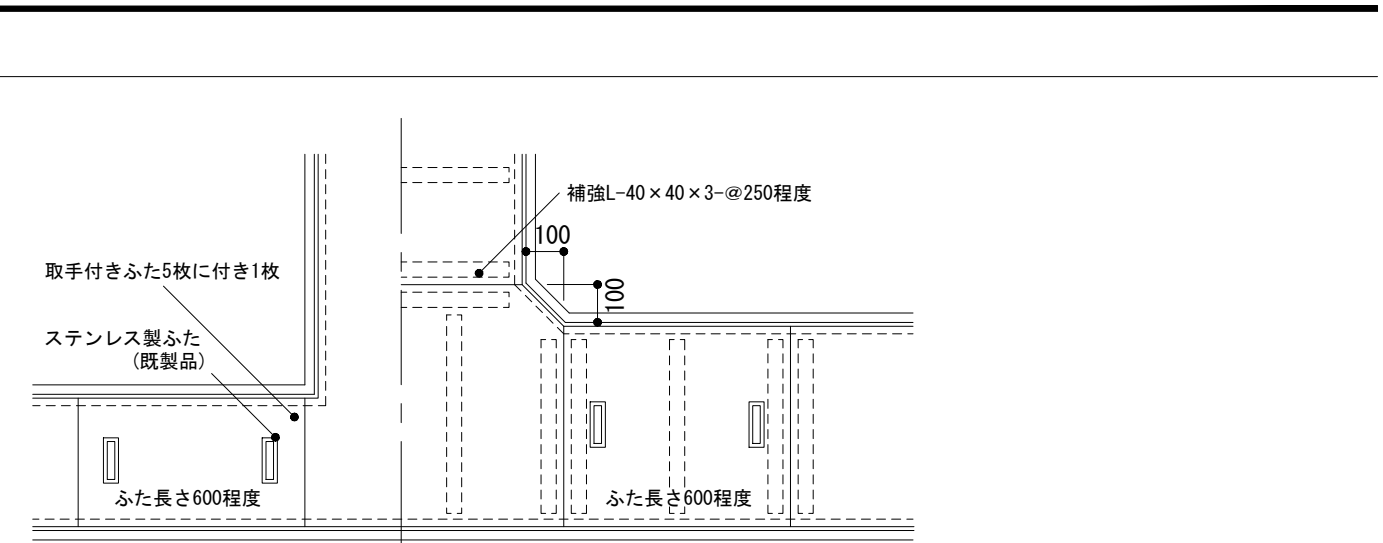
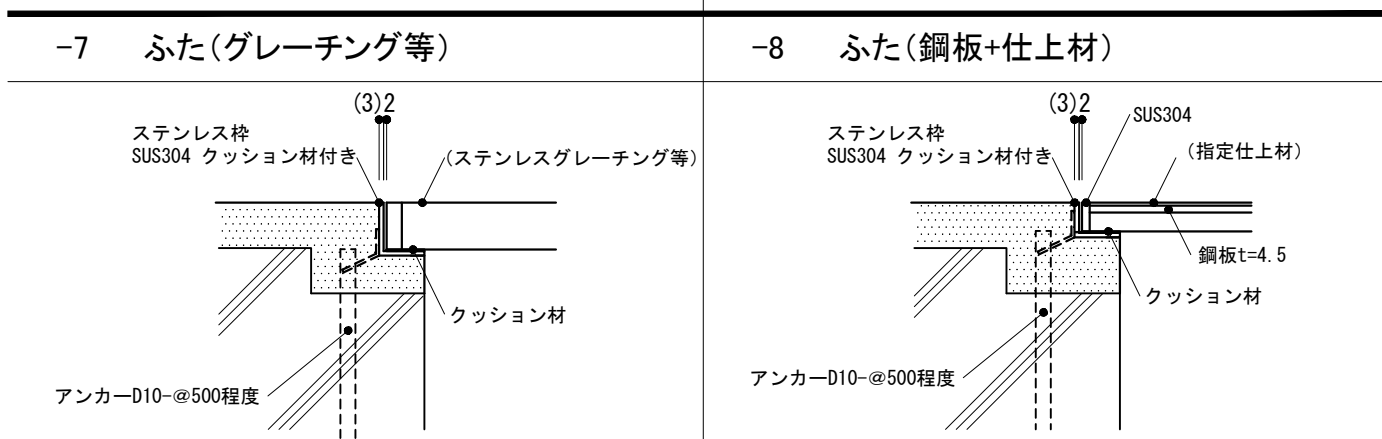
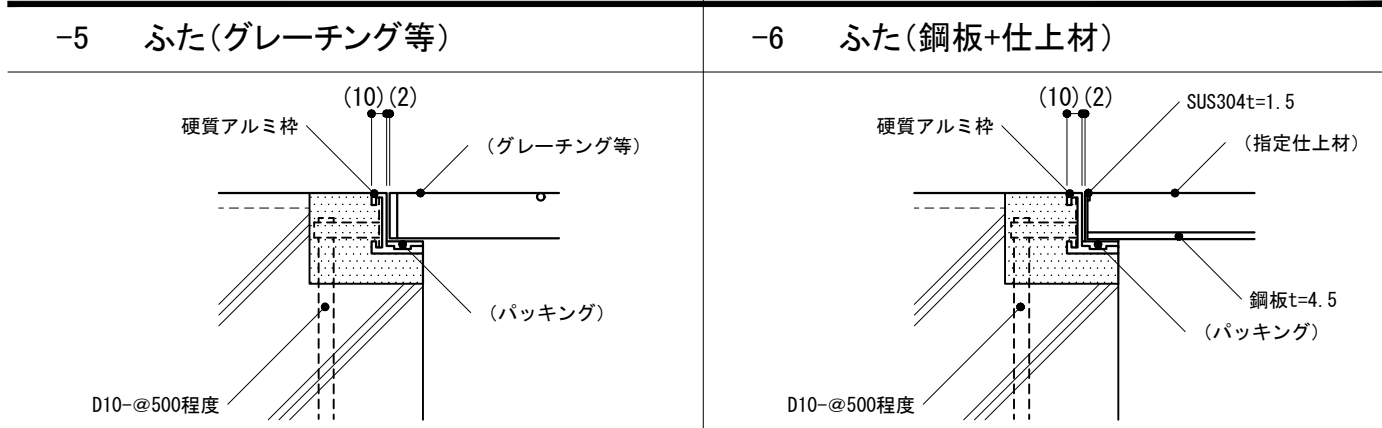
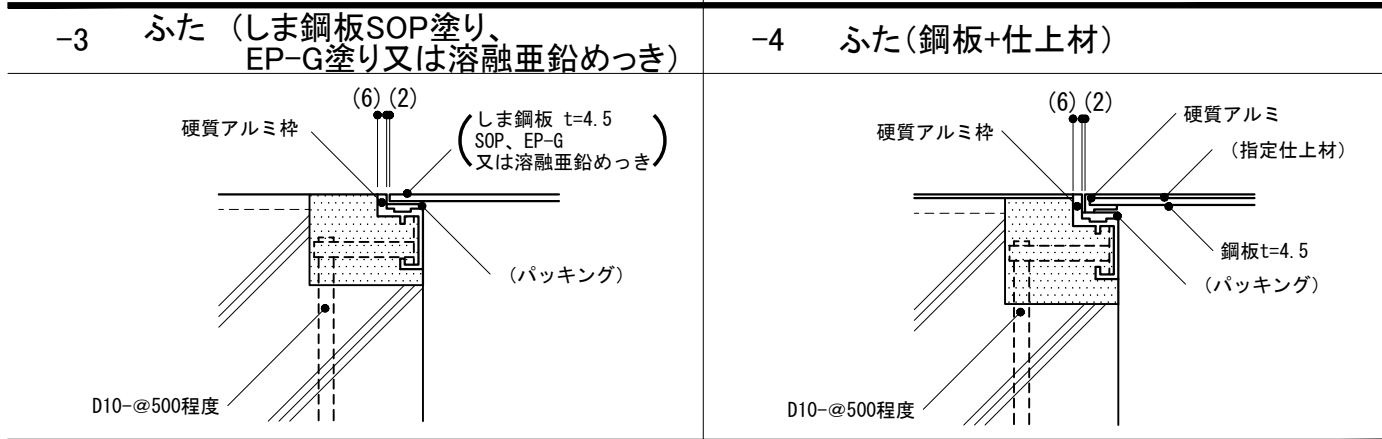
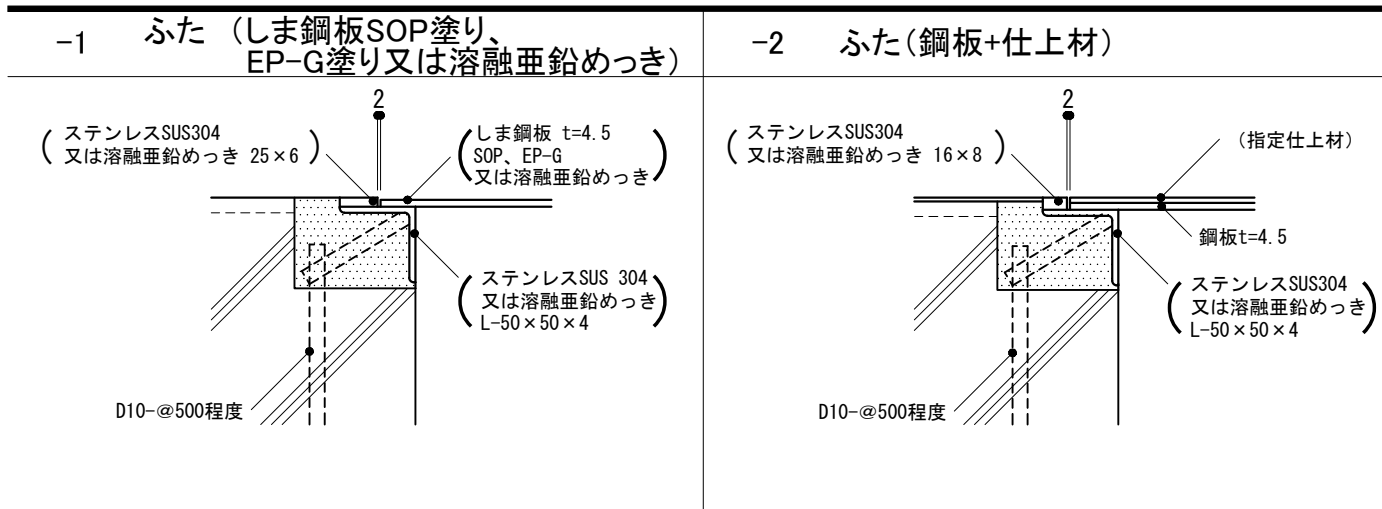


-14 フリーアクセスフロア



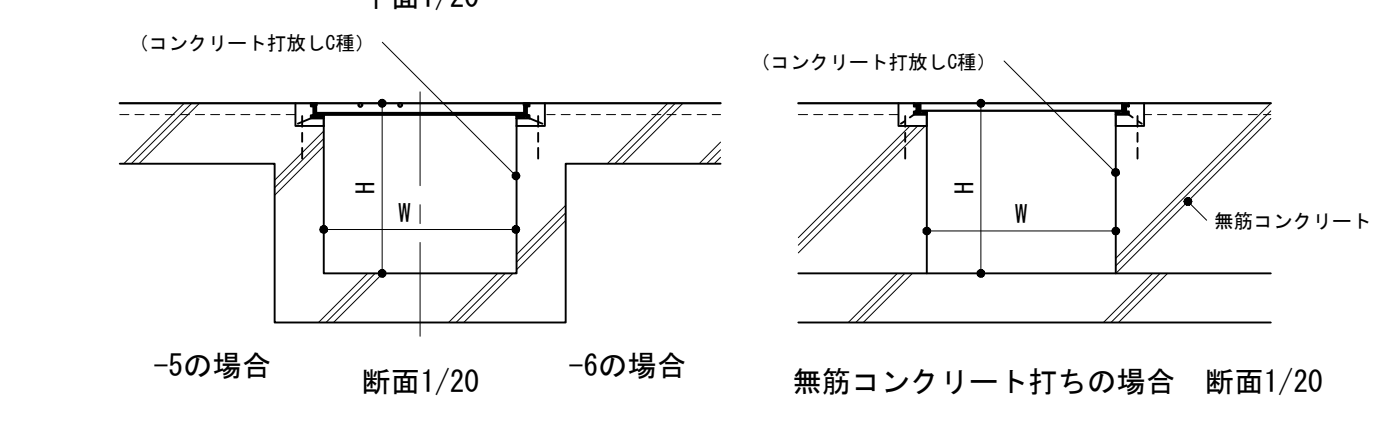
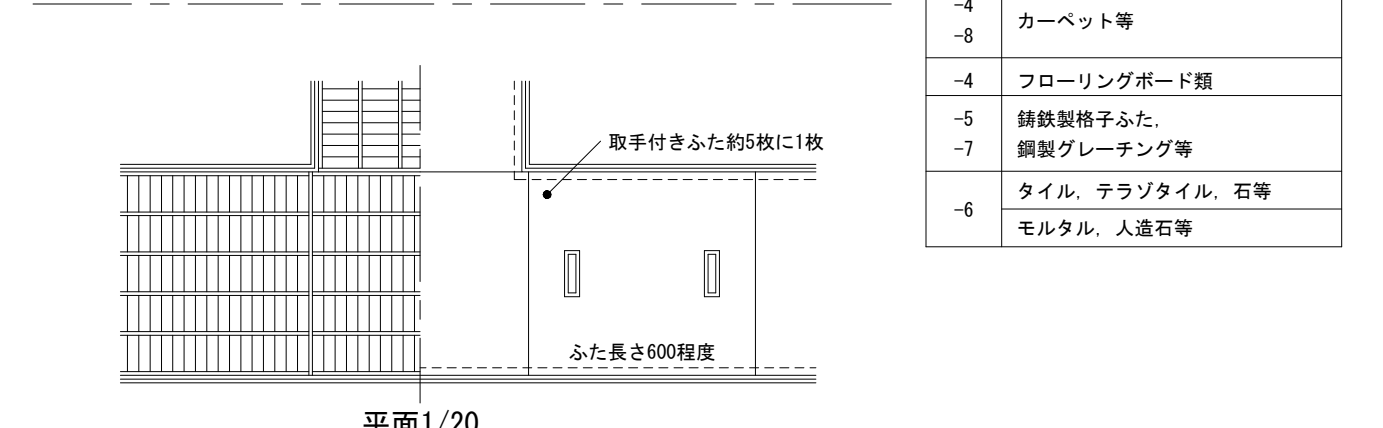
※ -11~-13は欠番

仕様 1) -1, -2, -6, -11の下地板はパーティクルボード, MDFを使用する場合はt=15とする。 2) ポリスチレンフォーム床下地材は製造所の仕様による。 3) -3の畳床で最下層が押出法ポリスチレンフォーム断熱材構造のD種(Ⅱ形, K形, N形)等の場合は, ポリスチレンフォーム床下地材は省略する。	特記事項 1) -6~-9の仕上げ材の種別, 樹種及び厚さ 2) -10~-13の樹種, 厚さ及び大きさ 3) ポリスチレンフォーム床下地材の厚さ 4) -14の構法, 構成材の材質, 寸法, H 5) 指定仕上材の種類		図面名称	床 : 仕上げ	
			縮尺	1/5	1-02
			建築工事標準詳細図 令和4年版		



指定仕上材の例

詳細番号	仕上材
-2	ビニル床シート、ビニル床タイル、
-4	ゴム床タイル等
-8	カーペット等
-4	フローリングボード類
-5	铸铁製格子ふた、
-7	鋼製グレーチング等
-6	タイル、テラゾタイル、石等
	モルタル、人造石等



仕様

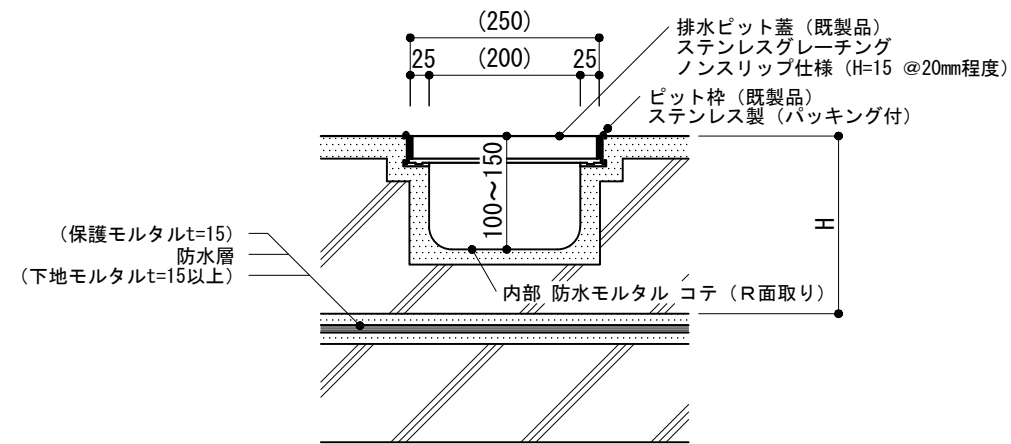
- ふたの鉄面及びトラフ内の鉄面の塗装等はSOP塗り、EP-G塗り又は溶融亜鉛めっきとする。
- 2、-4、-6、-8のふた仕上げは周囲床仕上げに同じとする。
- 3～-8の硬質アルミ又はステンレスSUS304枠は既製品とし、製造所の形状寸法とする。

特記事項

- W, H, ふた仕上材
- 鉄面の塗装、溶融亜鉛めっきの種類
- 無筋コンクリート打ちの場合の仕様
- トラフ内の塗装の有無及び仕様
- 指定仕上材の種類

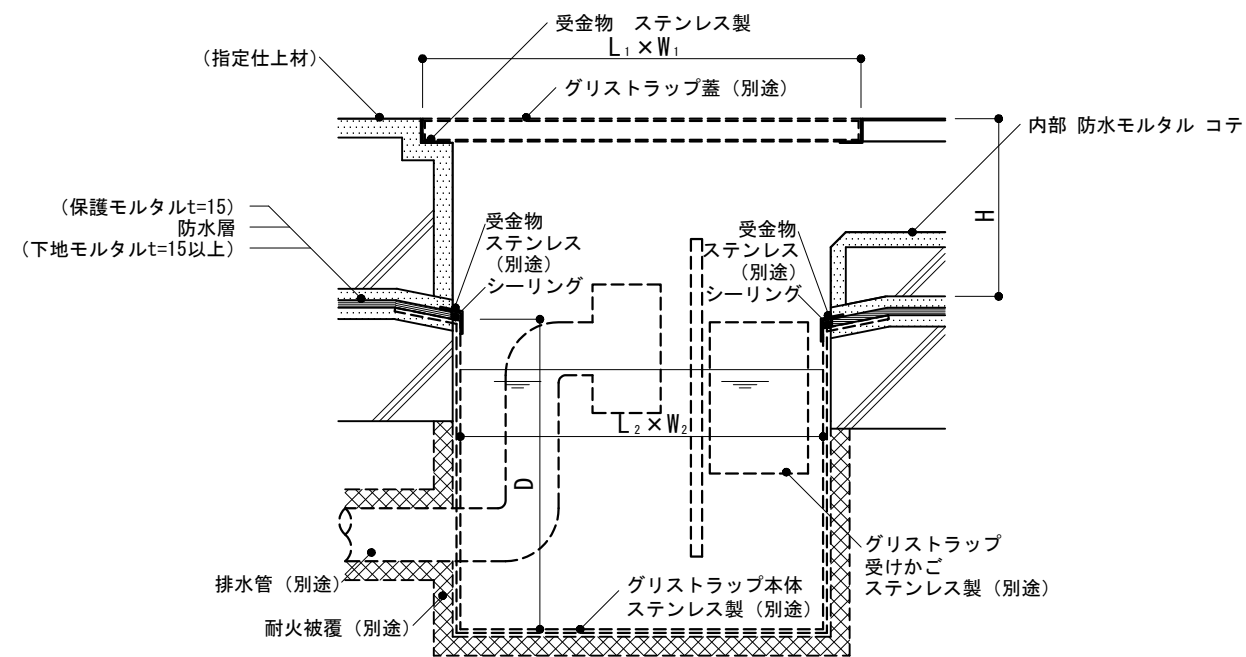
図面名称	トラフ	
縮尺	1/5, 1/20	1-21
建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 排水溝



断面 1/10

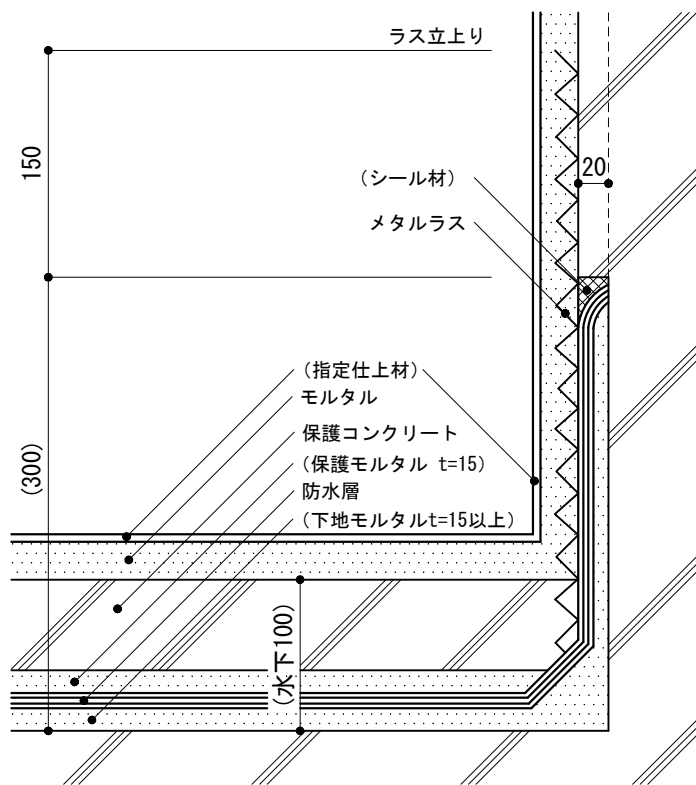
-2 グリストラップ



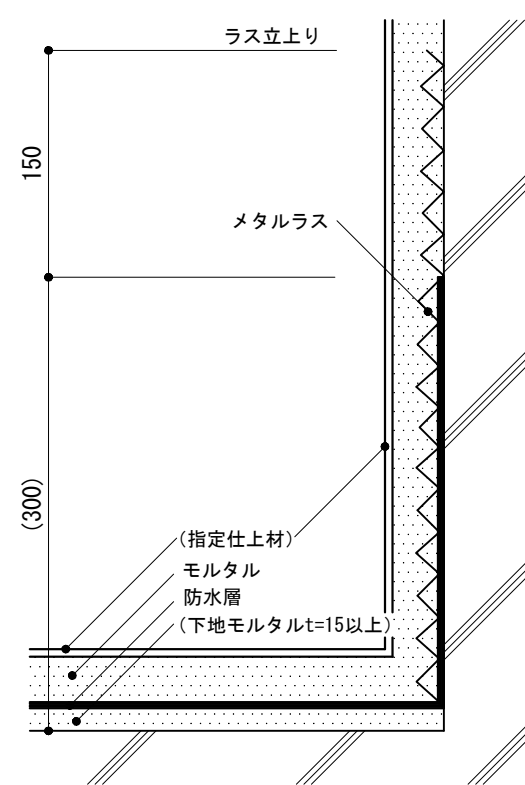
断面 1/10

仕様	特記事項		図面名称	排水溝, グリストラップ	
	1) L_1, L_2, W_1, W_2, D, H 2) ピット枠のパッキングの有無 3) 指定仕上材の種類 4) シーリングの種類 5) ノンスリップの仕様 6) 防水層の種類		縮尺	1/10	1-22
			建築工事標準詳細図 令和4年版		

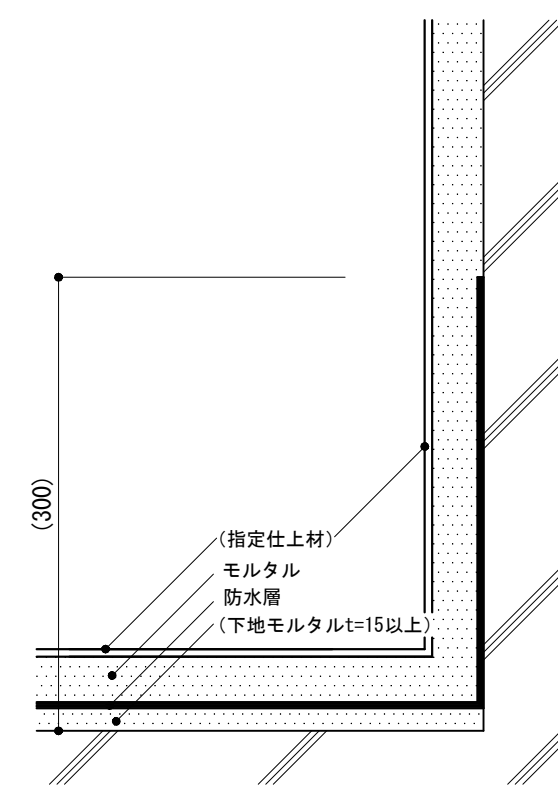
-1 屋内防水(アスファルト防水)



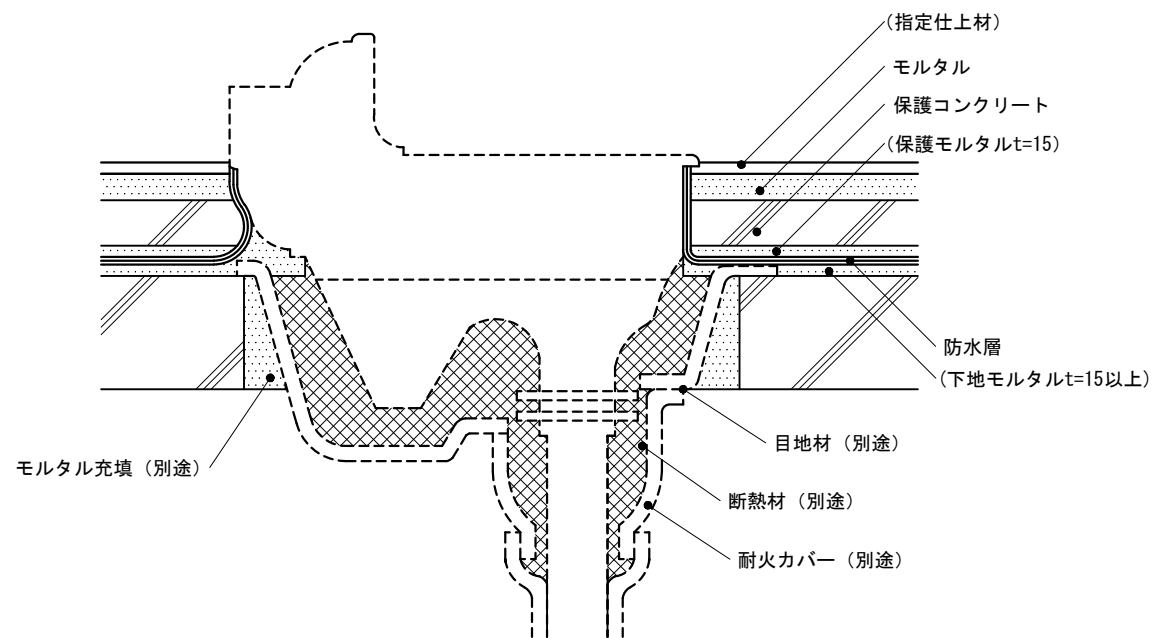
-2 屋内防水(塗膜防水)



-3 屋内防水(合成高分子系ルーフィングシート防水(屋内保護密着工法))

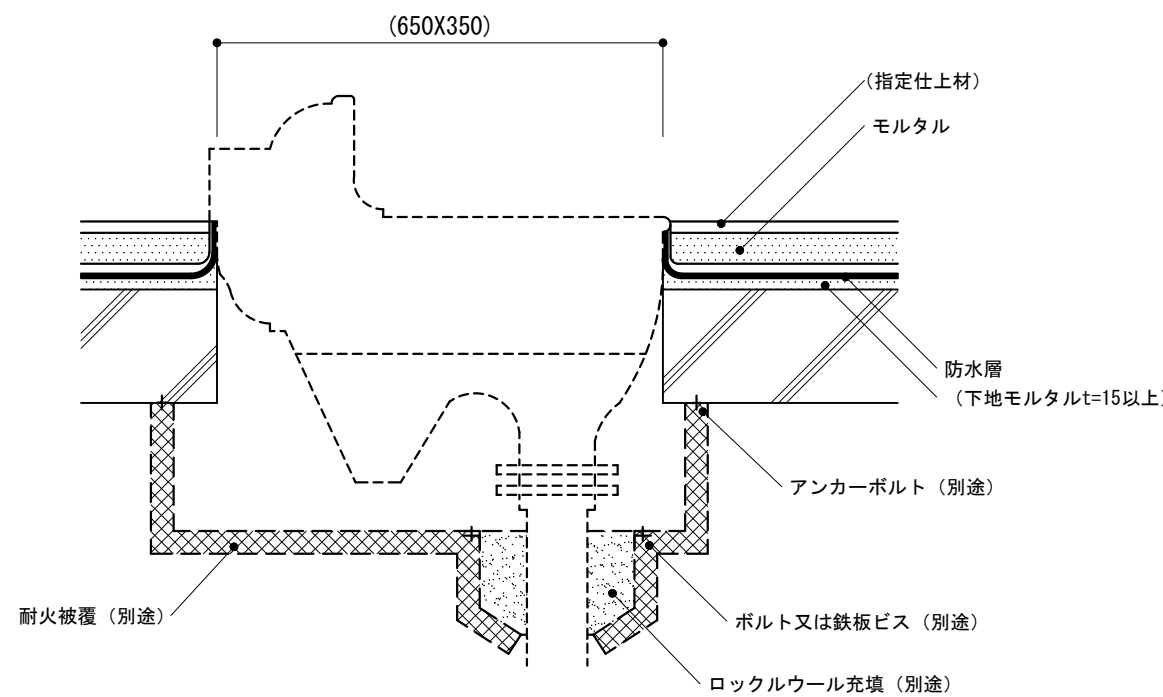


-4 屋内防水(アスファルト防水)器具取合い



耐火カバーを使用する場合 1/10

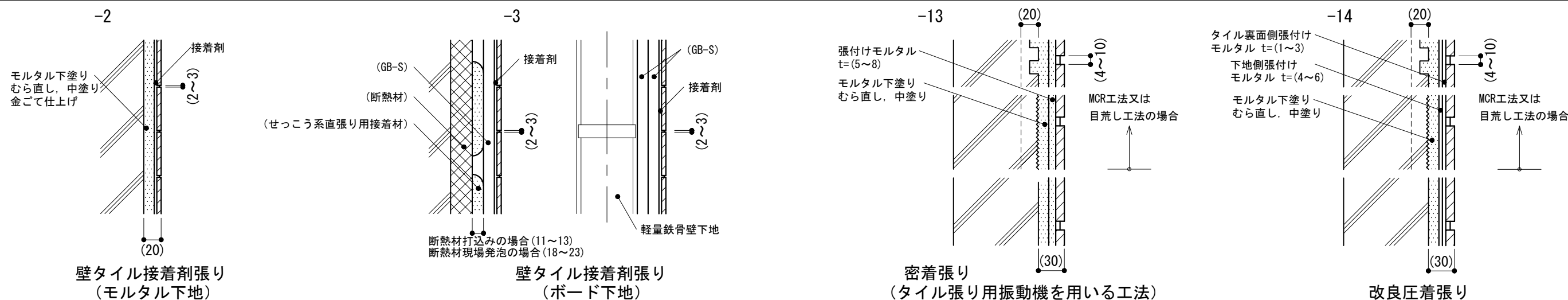
-5 屋内防水(塗膜防水又は合成高分子系ルーフィングシート防水(屋内保護密着工法))器具取合い



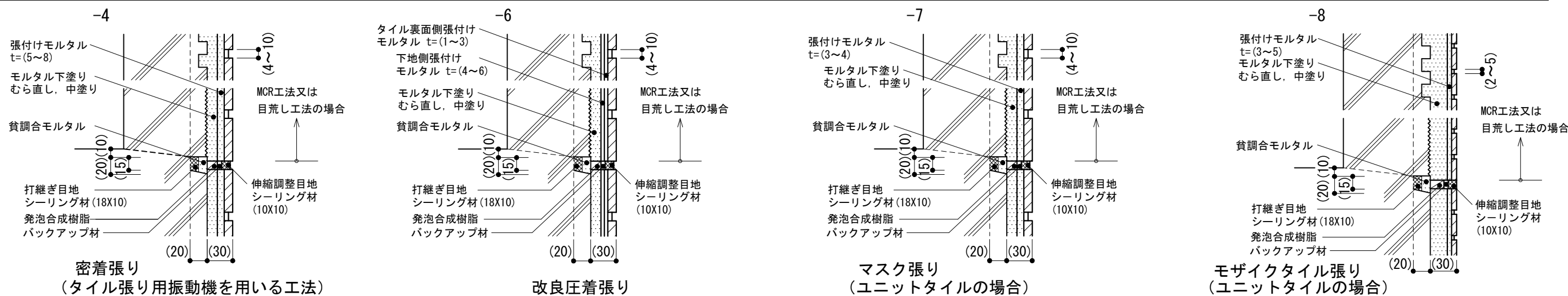
耐火被覆を取付ける場合 1/10

仕様	特記事項 1) 防水層の種類 2) 指定仕上材の種類	図面名称	屋内防水	
		縮尺	1/5, 1/10	
		建築工事標準詳細図 令和4年版	1-31	

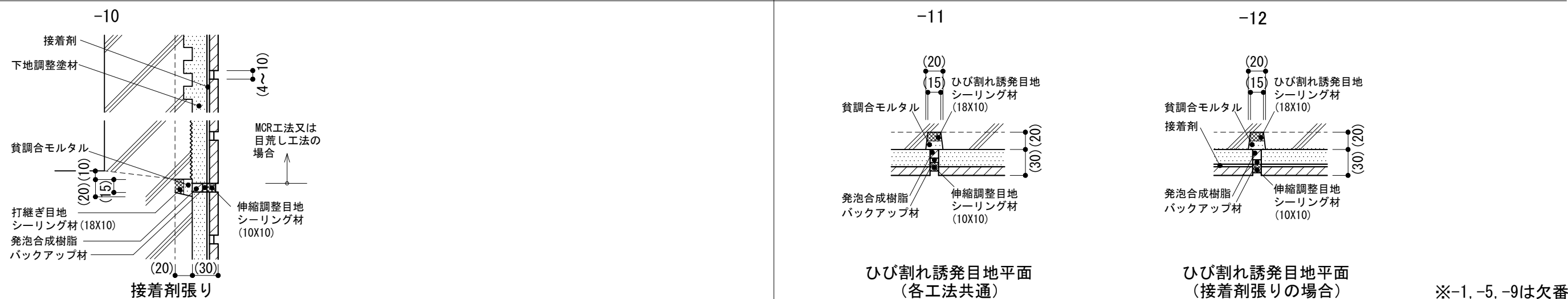
-2・-3, -13・-14 内装タイル



-4, -6~8, -10 外装タイル



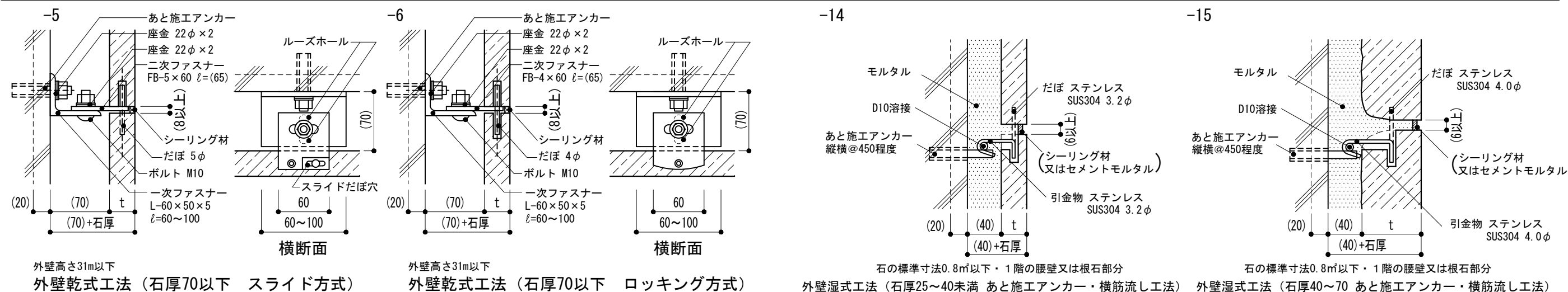
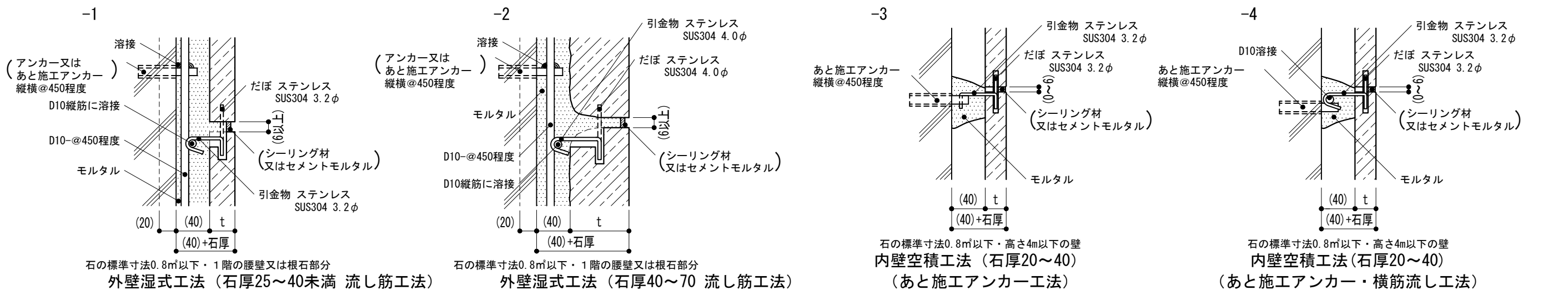
-11・-12 ひび割れ誘発目地



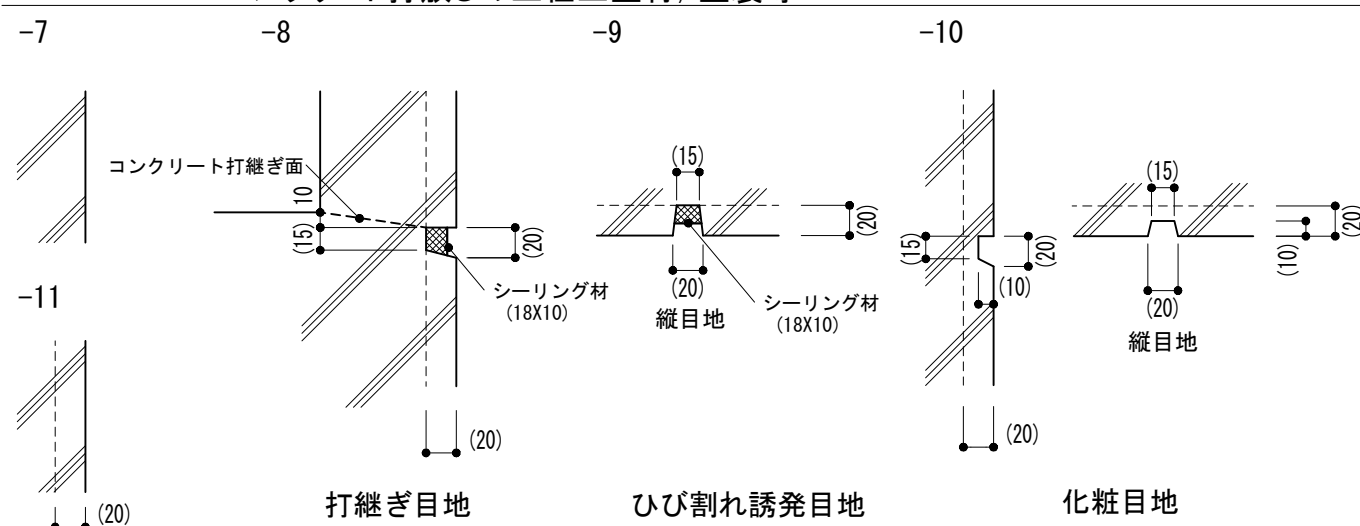
※-1, -5, -9は欠番

仕様 1) 打継ぎ目地, ひび割れ誘発目地のシーリング材は3面接着とすることができる。 2) 上記1)のシーリング材の上に貧調合モルタル (容積比=1(モルタル):4(砂))とする。	特記事項 1) -4~-10の伸縮調整目地の位置 2) -4~-8, -10のコンクリート素地面の工法及び範囲 3) -3の断熱材の有無	図面名称 壁 : 仕上げ
		縮尺 1/5
		建築工事標準詳細図 令和4年版
		2-01

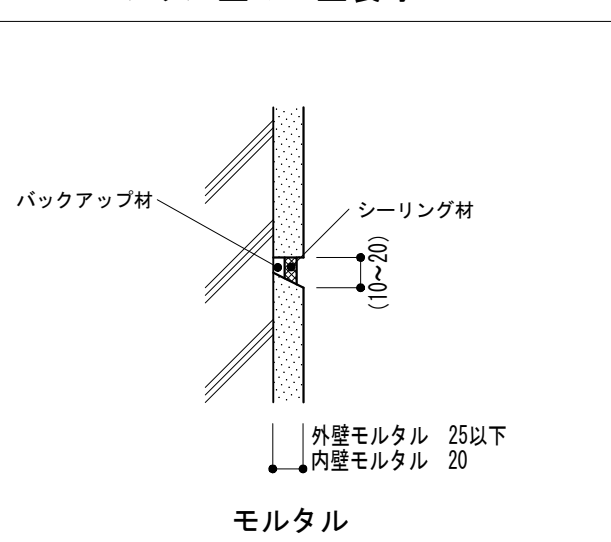
-1~-6, -14~-15 石材



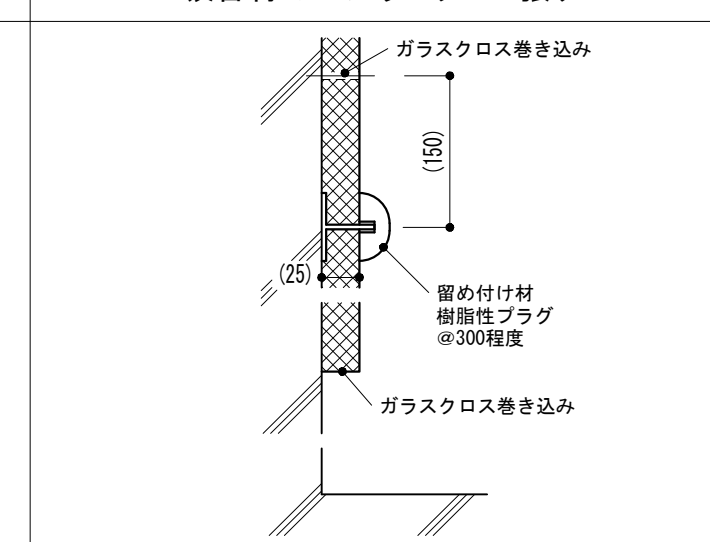
-7~-11 コンクリート打放し, コンクリート打放しの上仕上塗材, 塗装等



-12 モルタル塗の上塗装等

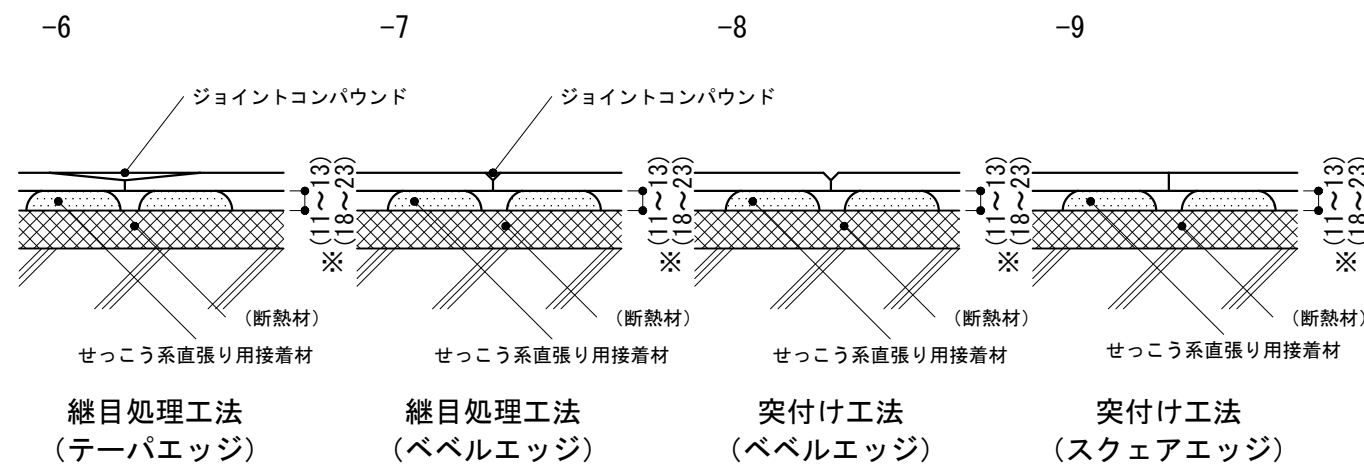
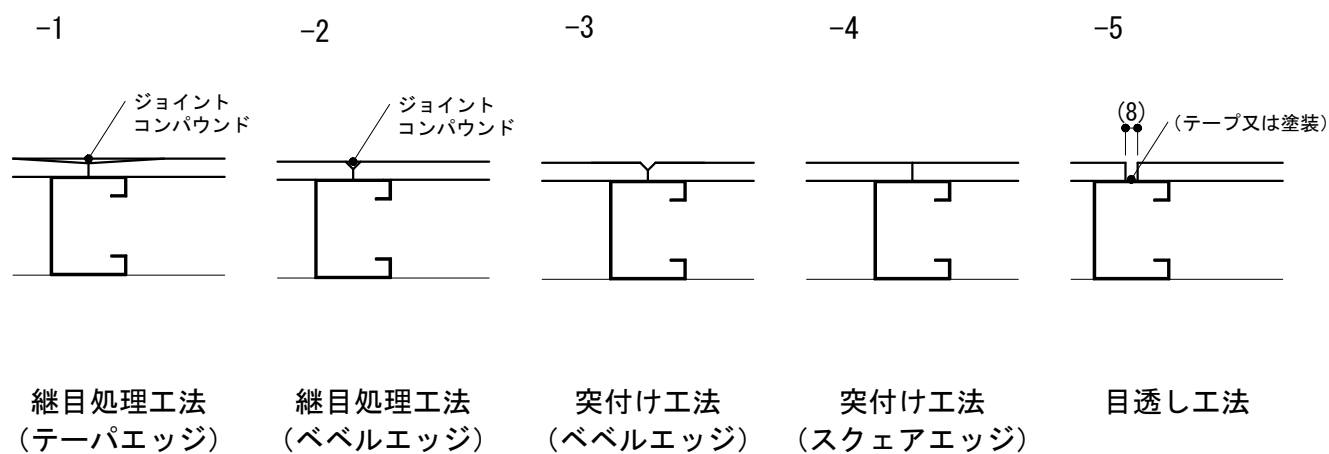


-13 吸音材の上ガラスクロス張り

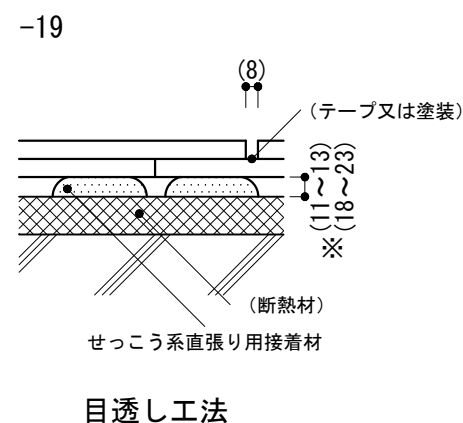
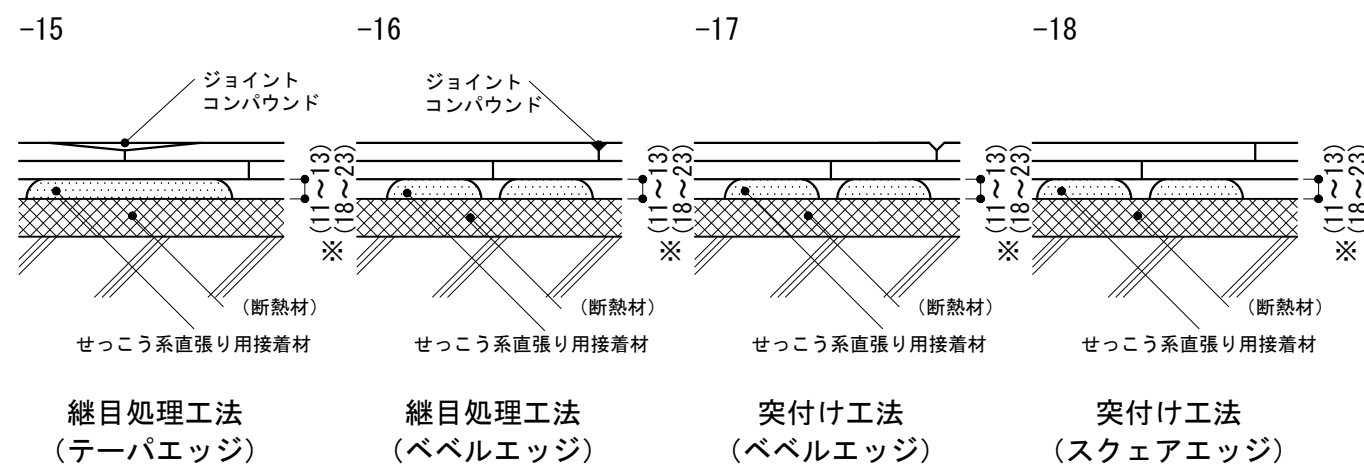
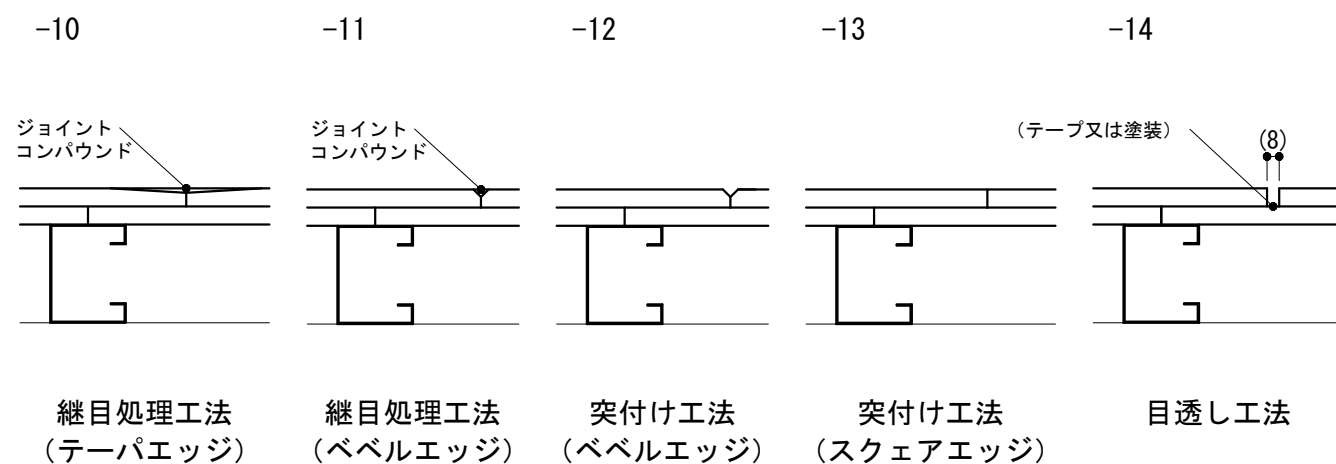


<p>仕様</p> <p>1) -1~-6を梁形, まぐさの類, 大壁面などに用いる場合は, アンカー及び鉄筋の間隔は400mm程度とする。</p> <p>2) -1~-4の引金物はSUS304-W1, だぼ及びかすがいはSUS304-W2とする。</p> <p>3) -5, -6の乾式工法用金物の材質は, ステンレス(SUS304)とする。</p> <p>4) -4の下地鉄筋には錆止め塗装を行う。</p> <p>5) -3, -4の引金物は高さ3m以下の部分は径3.0mmとする。</p> <p>6) -8, -9のシーリング材は3面接着とすることができる。</p> <p>7) -13のガラスクロスは額縁張りとし, 留め付け材は製造所の仕様とする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) -1~-6, -14, -15の石材の種類, 厚さ, 仕上げ</p> <p>2) -1~-6, -14, -15の石材の寸法, アンカー, あと施工アンカーの寸法</p> <p>3) -1~-6, -14, -15の石材の裏面処理, 裏打処理(乾式の場合も必要)</p> <p>4) -7~-11のコンクリート打放しの種類</p> <p>5) -13の端部に見切縁を付ける場合の材質</p>	<p>図面名称</p> <p>壁 : 仕上げ</p>
		<p>縮尺</p> <p>1/5</p>
		<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p> <p>2-02</p>

-1~-9 ボード類(下地張りのない場合), ボード類の上塗装・壁紙張り等



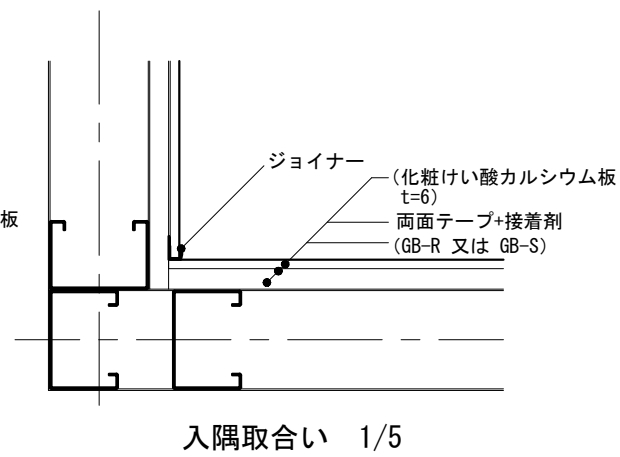
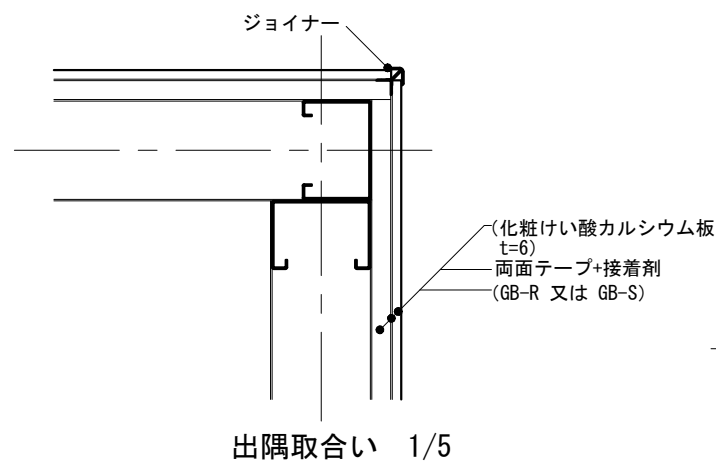
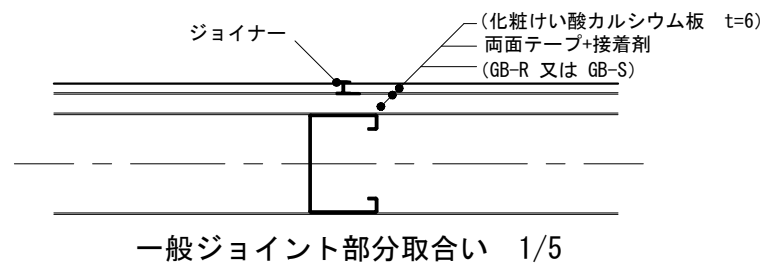
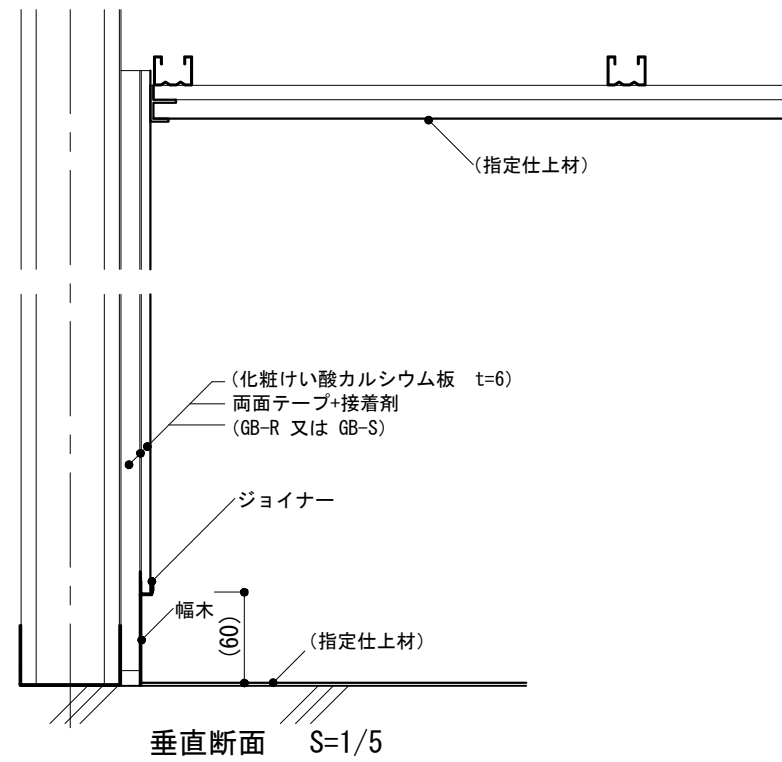
-10~-19 ボード類(下地張りのある場合), ボード類の上塗装・壁紙張り等



※(-6~-9, -15~-19)の寸法は断熱材打込みの場合は(11~13)断熱材現場発泡の場合は(18~23)となる。

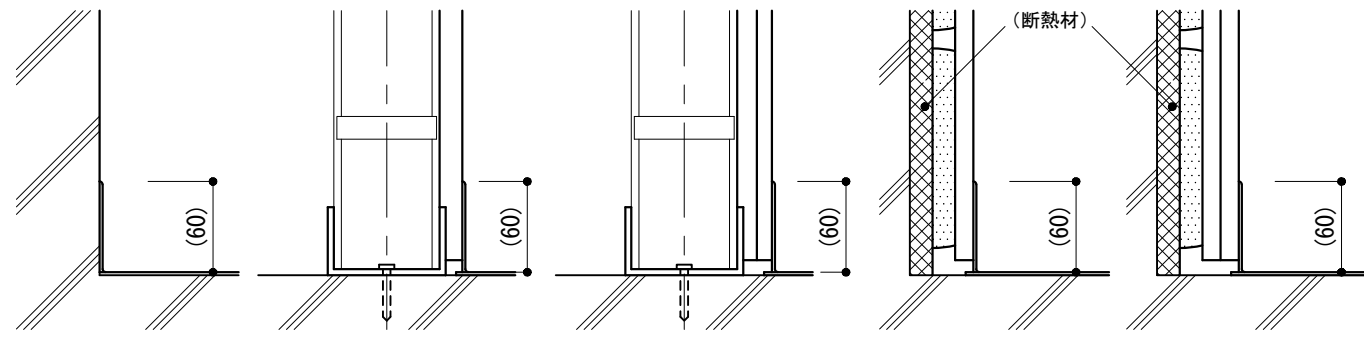
仕様 1) -5, -14, -19のボード類の厚さが6mm以下の場合、目地幅を5mm程度とする。	特記事項 1) ボードの種別, 厚さ, 仕上げ 2) -6~-9, -15~-19の全仕上げ厚さ 3) -6~-9, -15~-19の断熱材の有無	図面名称	壁 : 仕上げ	
		縮尺	1/5	2-03
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 ジョイナー工法

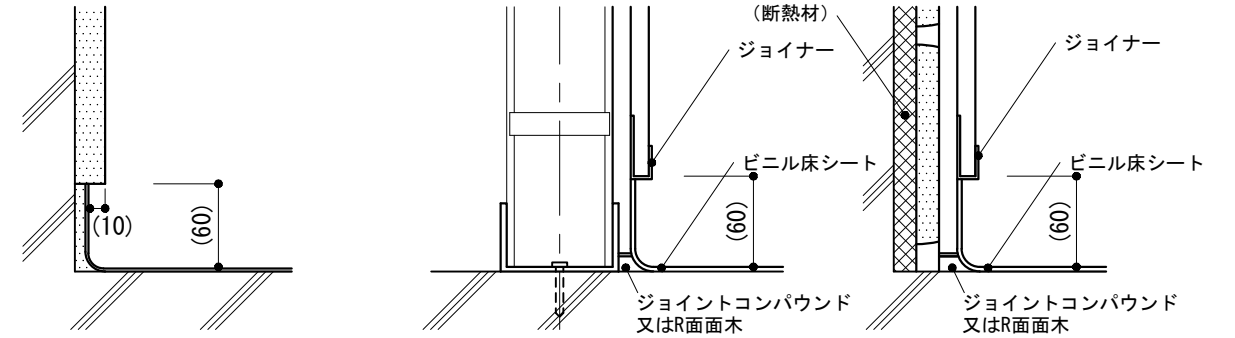


仕様	特記事項 1) 壁仕上材及び下地張りの種類, 厚さ 2) 幅木の材種, 高さ 3) ジョイナーの材質 4) 指定仕上材の種類	図面名称	壁 : 仕上げ	
		縮尺	1/5	2-04
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

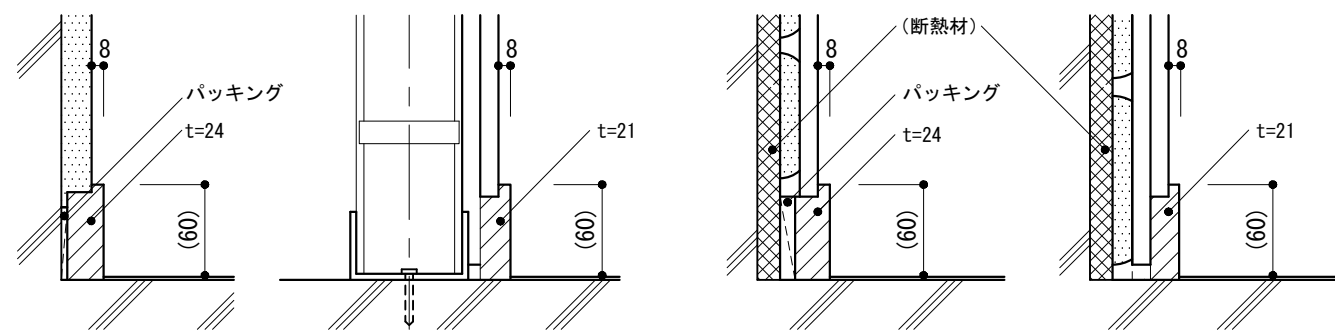
-1 ビニル幅木



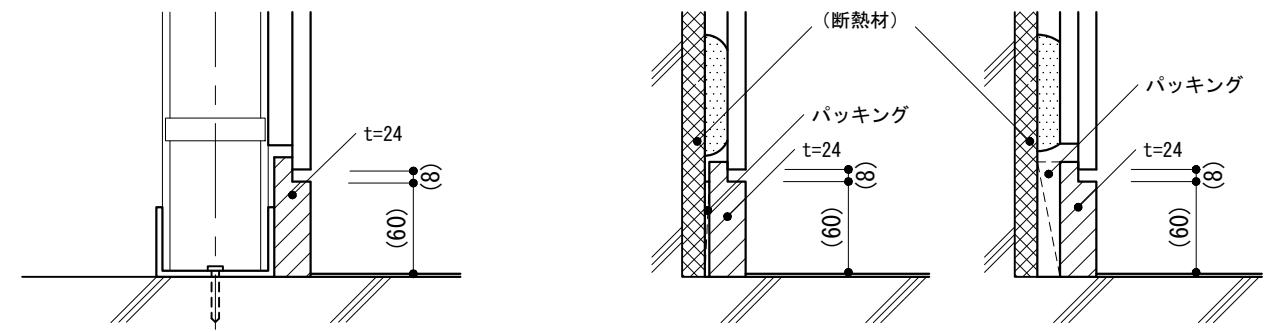
-2 ビニル床シート立ち上げ幅木



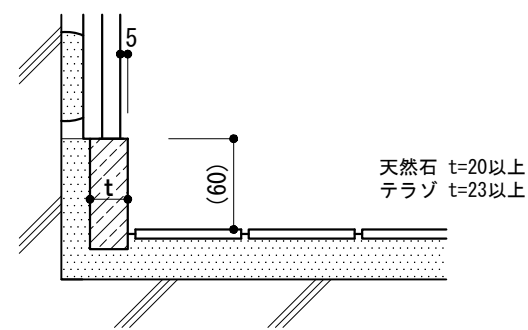
-3 木製幅木



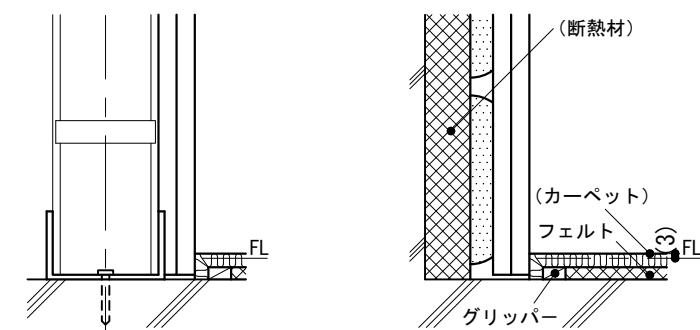
-4 木製幅木



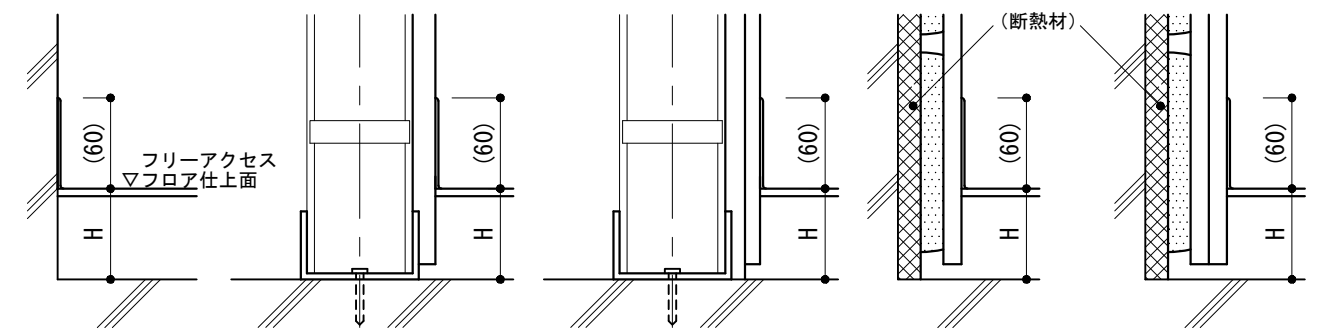
-5 石材幅木



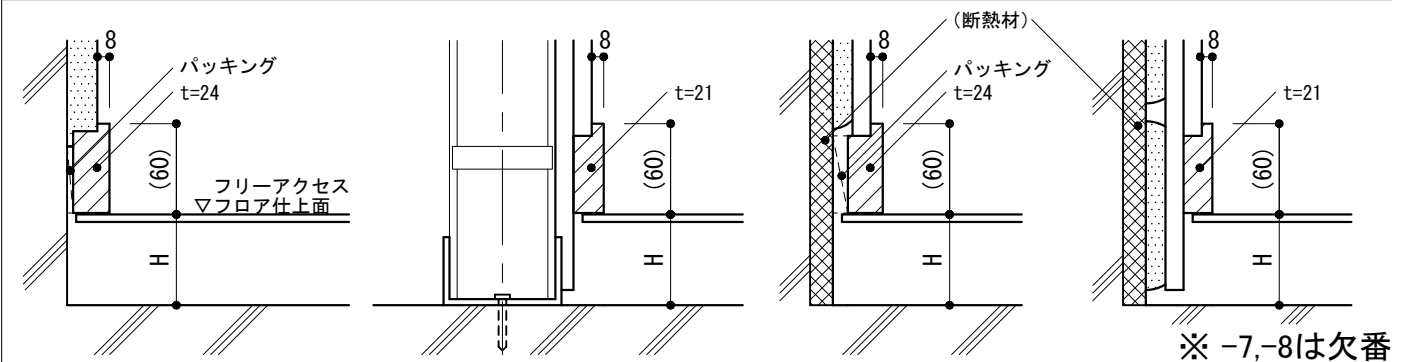
-6 幅木なし



-9 フリーアクセスフロアとビニル幅木



-10 フリーアクセスフロアと木製幅木 (幅木後付け)



※ -7,-8は欠番

仕様

- 1) -4のボード類の厚さが6mm以下の場合、目地幅を5mm程度とする。
- 2) -10において幅木先付けとする場合は、隙間が生じないようにフリーアクセスフロア内に木製幅木を10mm程度のみ込ませる。

特記事項

- 1) 幅木の高さ
- 2) -1, -2, -3, -4, -6, -9, -10の断熱材の有無
- 3) -2のジョイナーの材質
- 4) -3, -4, -10の木製幅木の樹種, 塗装の種類
- 5) -5の石材の種類, 仕上げ
- 6) -9, -10のフリーアクセスフロアの構法, 仕上げ, H

図面名称

壁取合い : 床-幅木-壁

縮尺

1/5

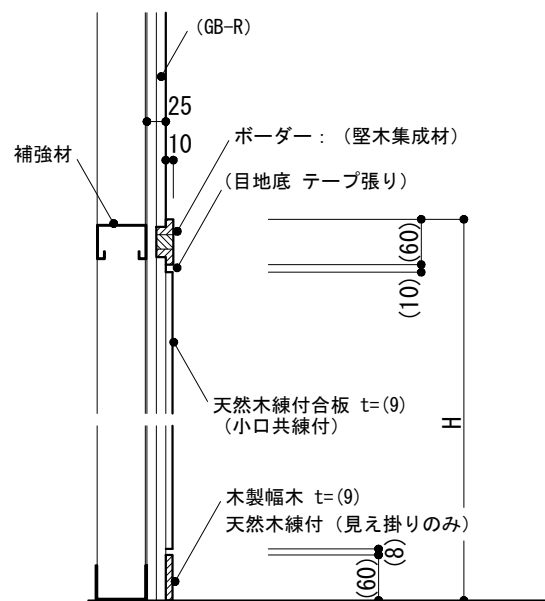
建築工事標準詳細図 令和4年版

2-11

-1 化粧合板腰壁(天然木練付)(ポーター, コーナー, 目地, 建具取合い)

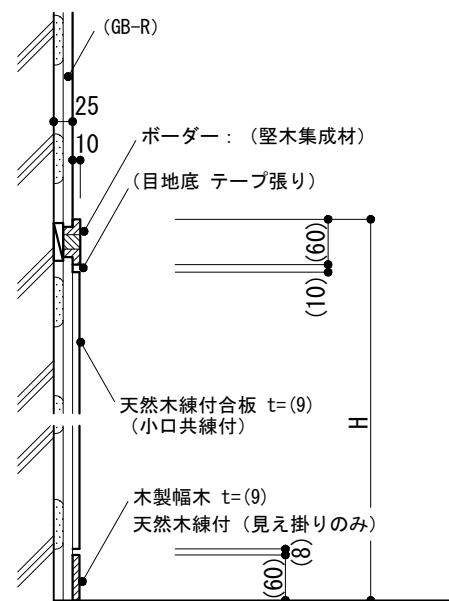
-2 堅羽目板張り腰壁(ポーター, コーナー, 目地, 建具取合い)

軽量鉄骨壁下地の場合

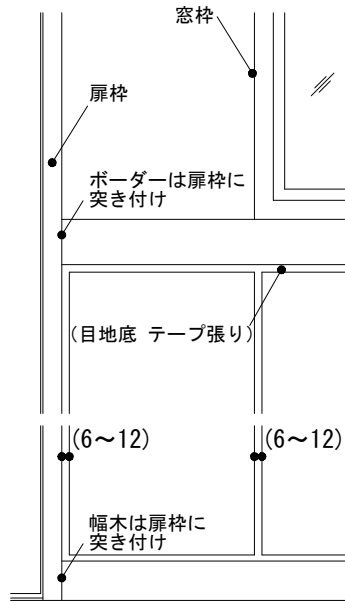


断面 1/10

コンクリート壁下地の場合

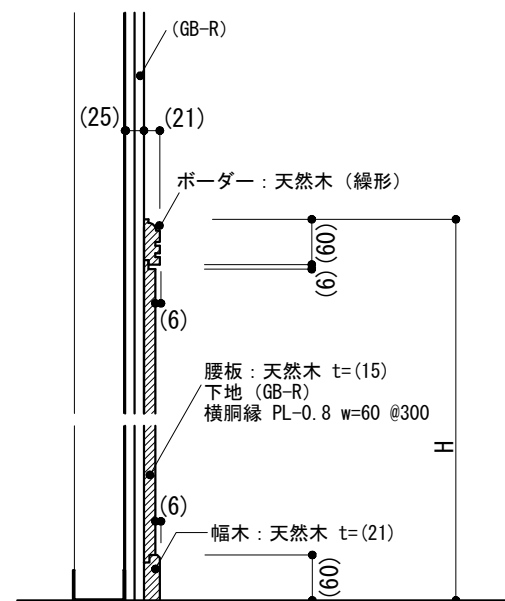


断面 1/10

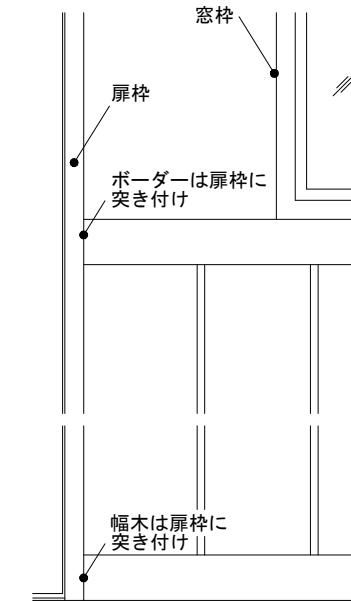


立面 1/10

軽量鉄骨壁下地の場合

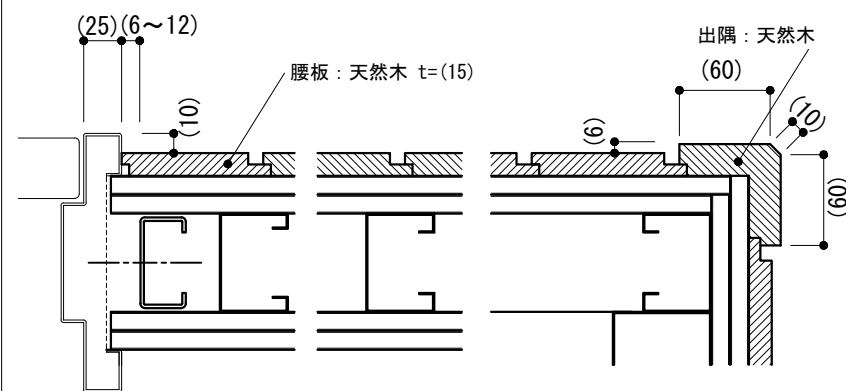


断面 1/10



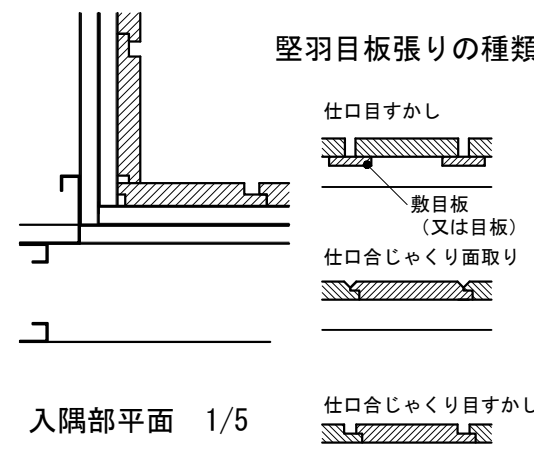
立面 1/10

(ボードを切り欠かない場合)



平面 1/5

出隅部平面 1/5



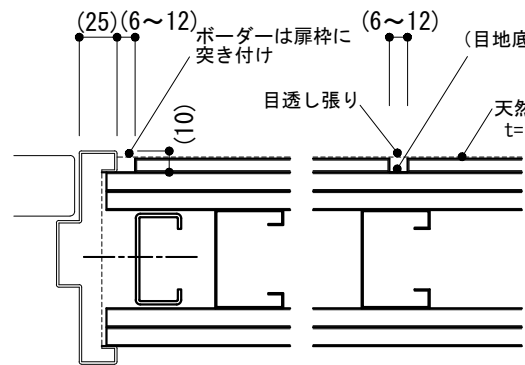
入隅部平面 1/5

堅羽目板張りの種類

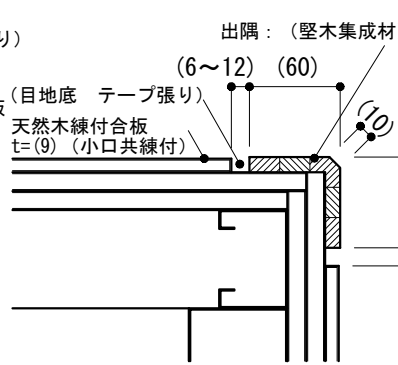


断面 1/5

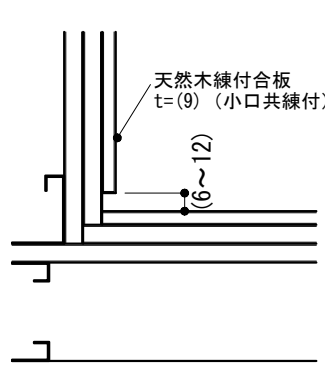
軽量鉄骨壁下地の場合



平面 1/5

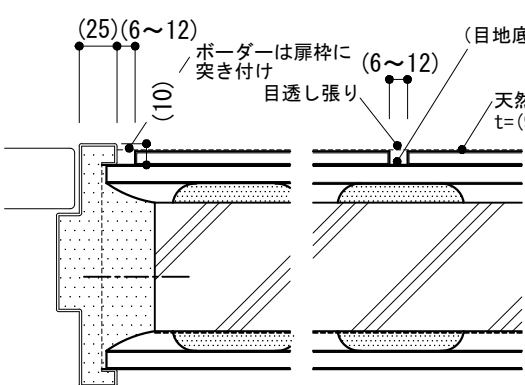


出隅部平面 1/5

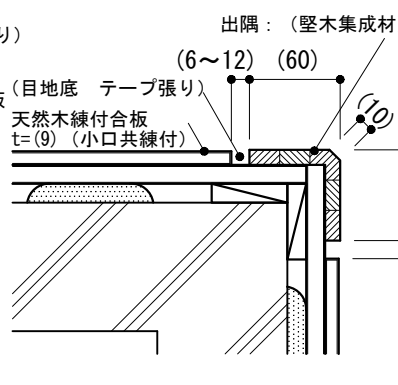


入隅部平面 1/5

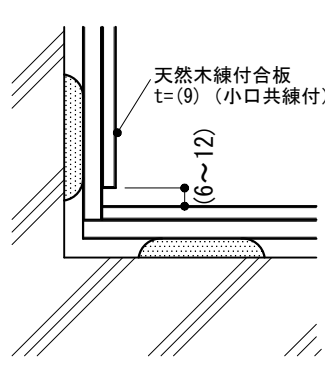
コンクリート壁下地の場合



平面 1/5



出隅部平面 1/5

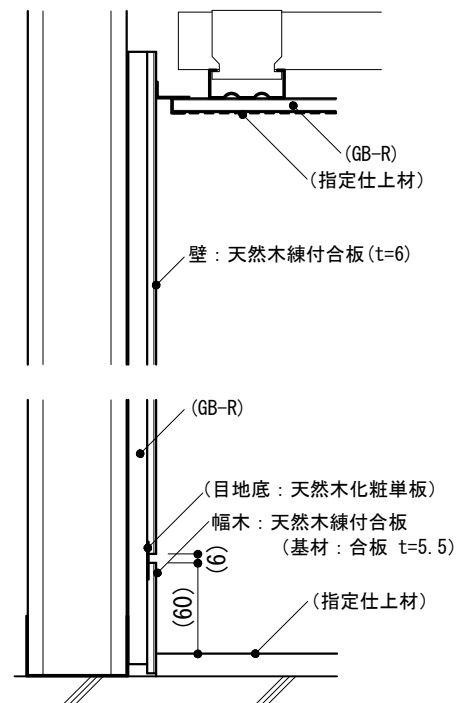


入隅部平面 1/5

仕様	特記事項	図面名称	壁取合い:腰壁(化粧合板, 堅羽目板張り)		
	1) H		2) 樹種	縮尺	1/5,1/10
	3) 合板の厚さ		4) 塗装の種類	5) 堅羽目板張りの種類	6) 目地底の種類
8) ポーター(線形)の形状	建築工事標準詳細図 令和4年版				

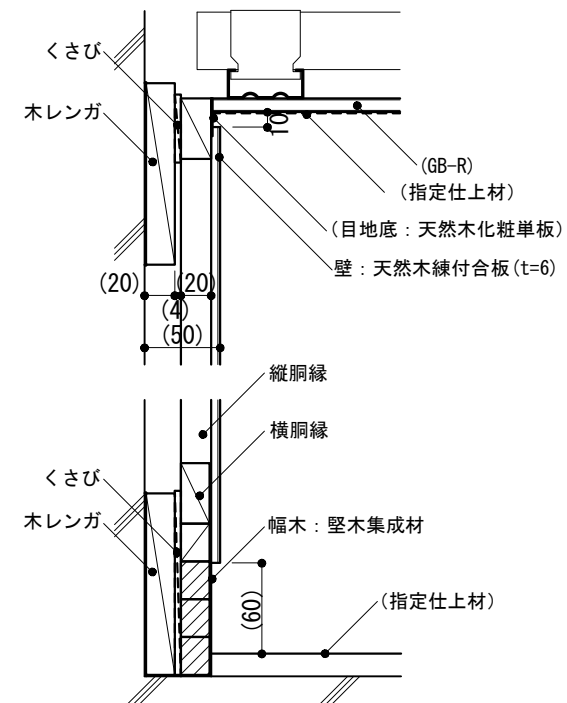
-3-4 化粧合板壁(天然木練付)

-3 軽量鉄骨壁下地の場合



断面 1/5

-4 コンクリート壁下地の場合

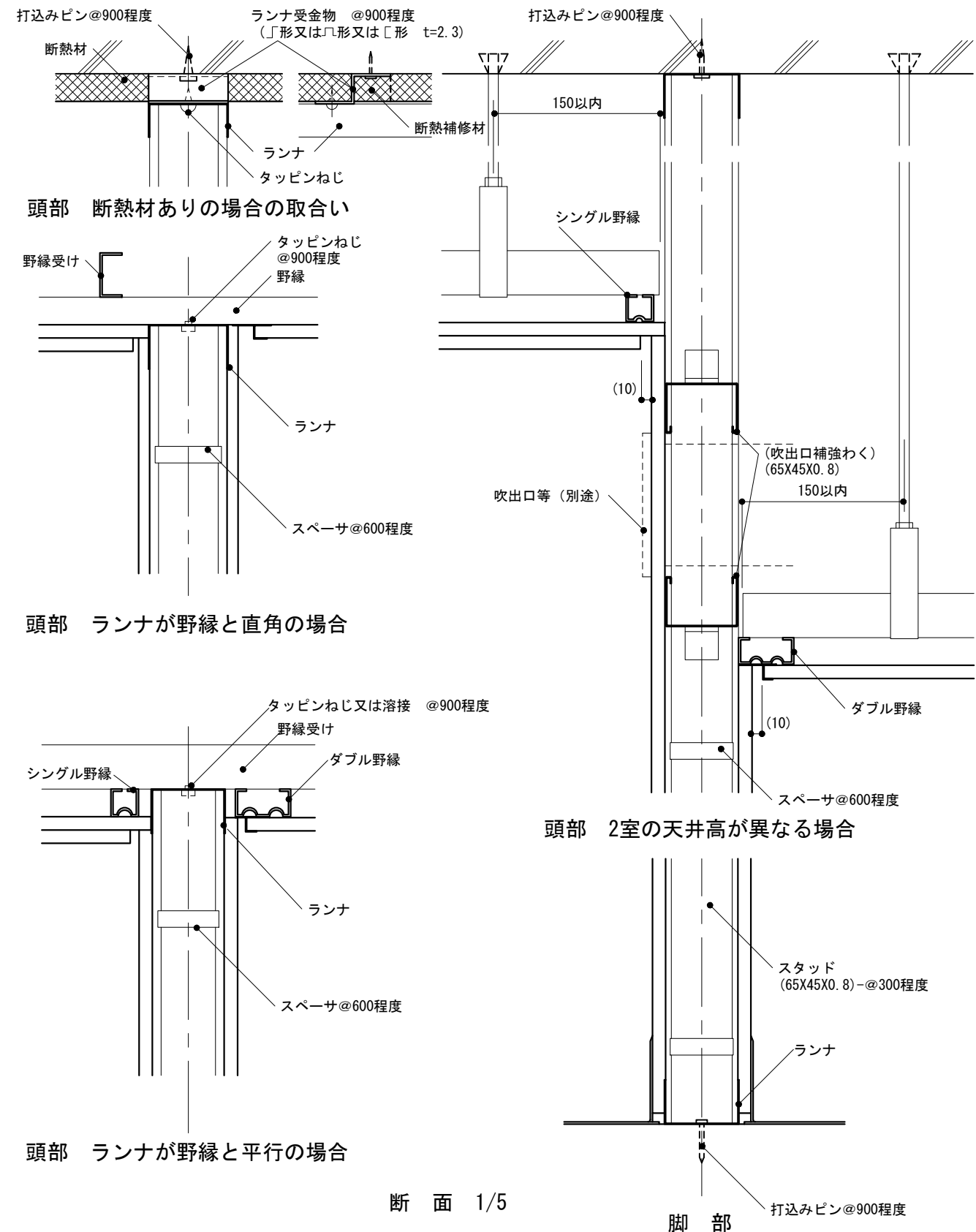
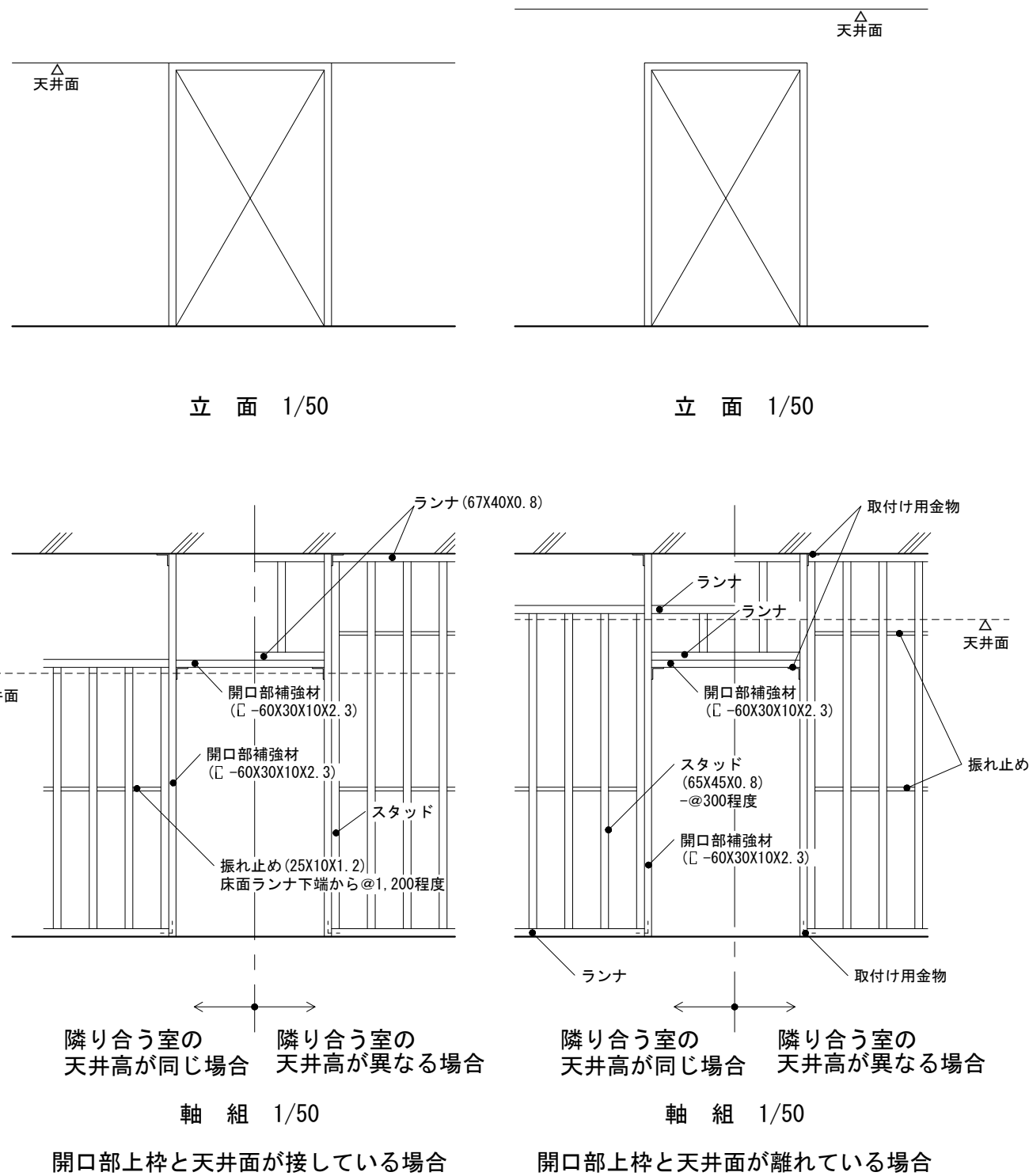


断面 1/5

※ -1,-2は欠番

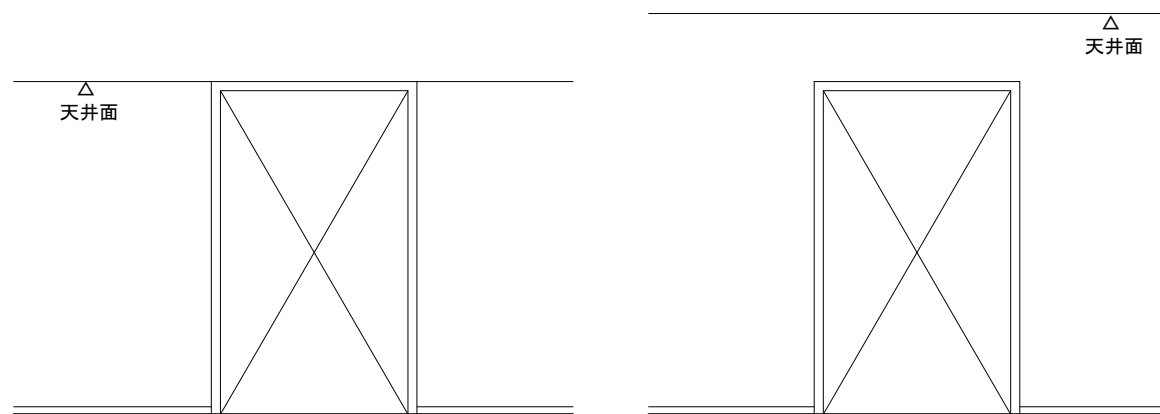
仕様	特記事項 1) 天然木の樹種, 合板の厚さ 2) 木部の塗装の種類 3) 目地底の種類 4) 指定仕上材の種類	図面名称 壁取合い:化粧合板壁	
		縮尺	1/5
		建築工事標準詳細図 令和4年版	
			2-13

-1 軽量鉄骨壁下地



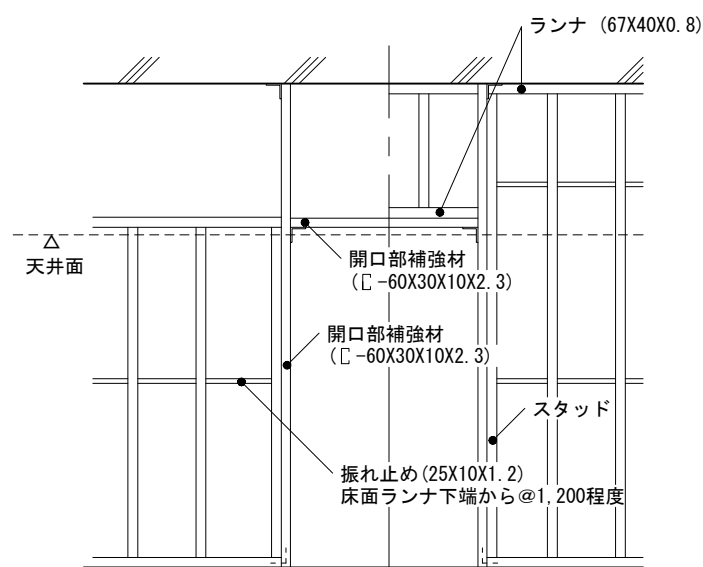
<p>仕様</p> <p>1) スタッド及び開口部補強材等の断面寸法は、公共標仕(建)表14.5.1の65形の場合を示す。</p> <p>2) 開口部補強材及び補強材取付け用金物は、防錆処理されたものとする。また、溶接箇所は錆止め塗料を塗布する。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 断熱材の有無及び断熱補修材の材種</p>	<p>図面名称</p> <p>軽量鉄骨壁下地：下地張りのない場合</p>
		<p>縮尺</p> <p>1/5, 1/50</p>
		<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">2-21</p>

-1 軽量鉄骨壁下地



立面 1/50

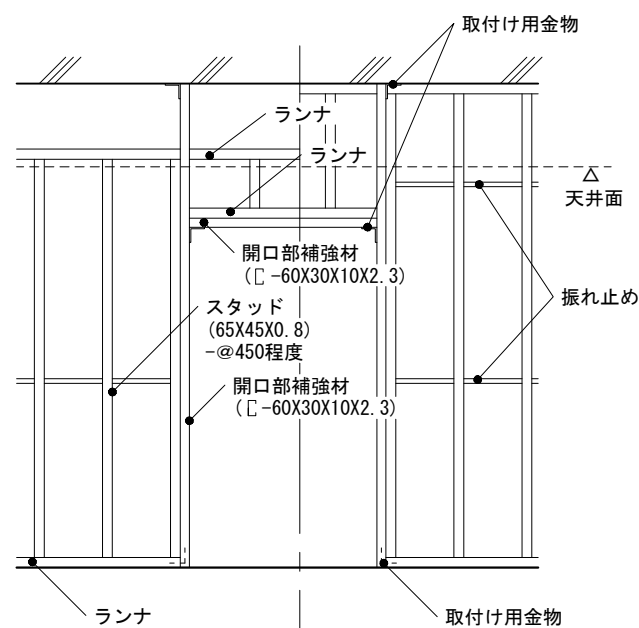
立面 1/50



隣り合う室の天井高が同じ場合 隣り合う室の天井高が異なる場合

軸組 1/50

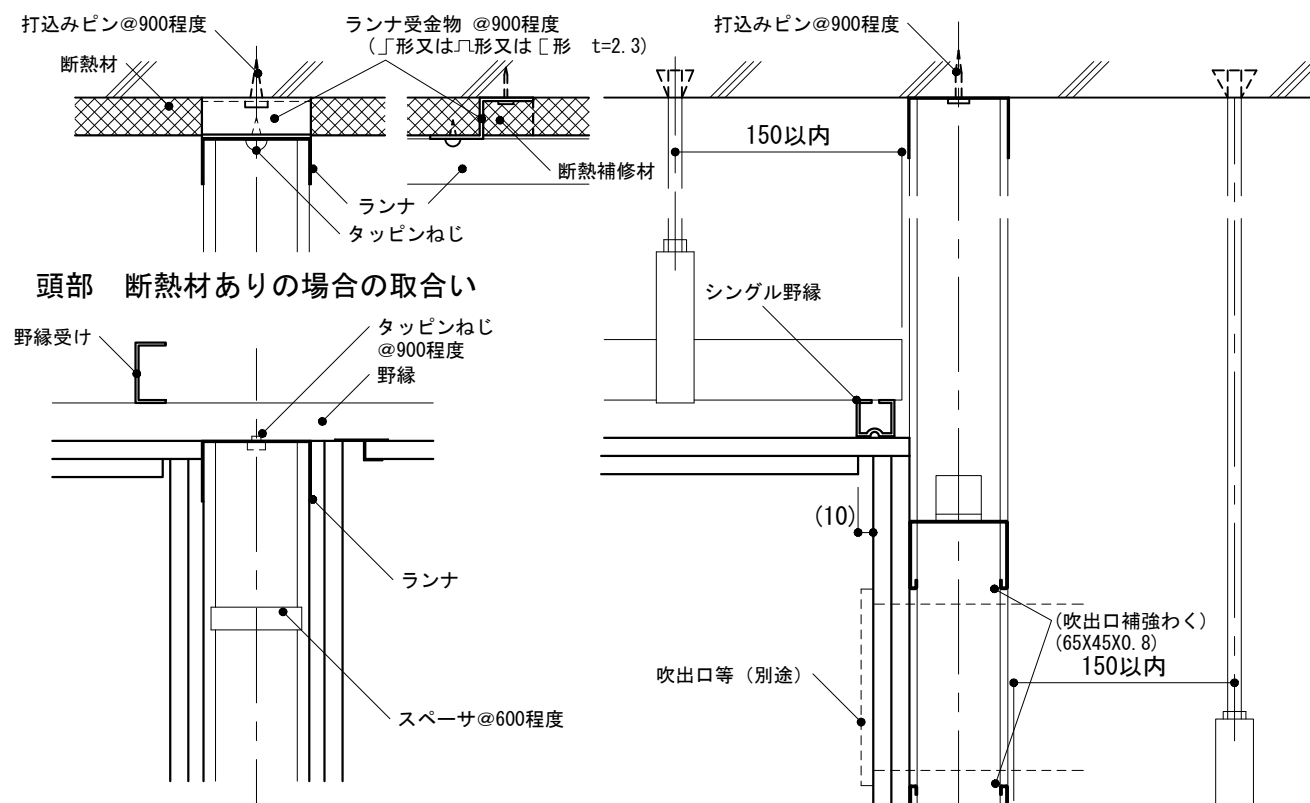
開口部上枠と天井面が接している場合



隣り合う室の天井高が同じ場合 隣り合う室の天井高が異なる場合

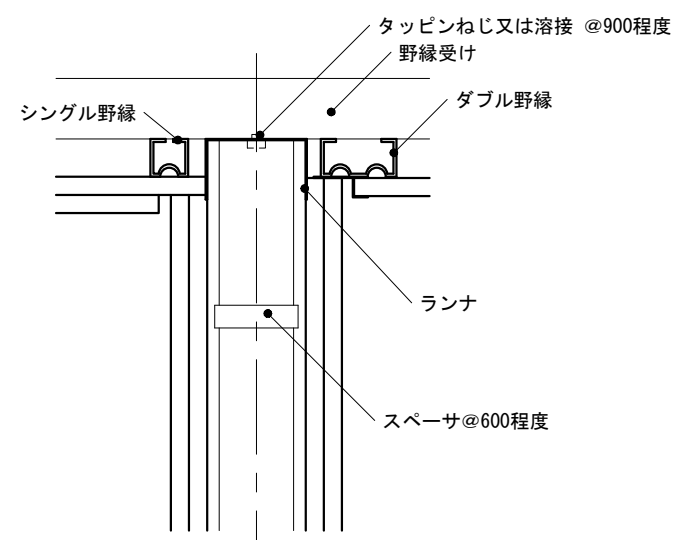
軸組 1/50

開口部上枠と天井面が離れている場合

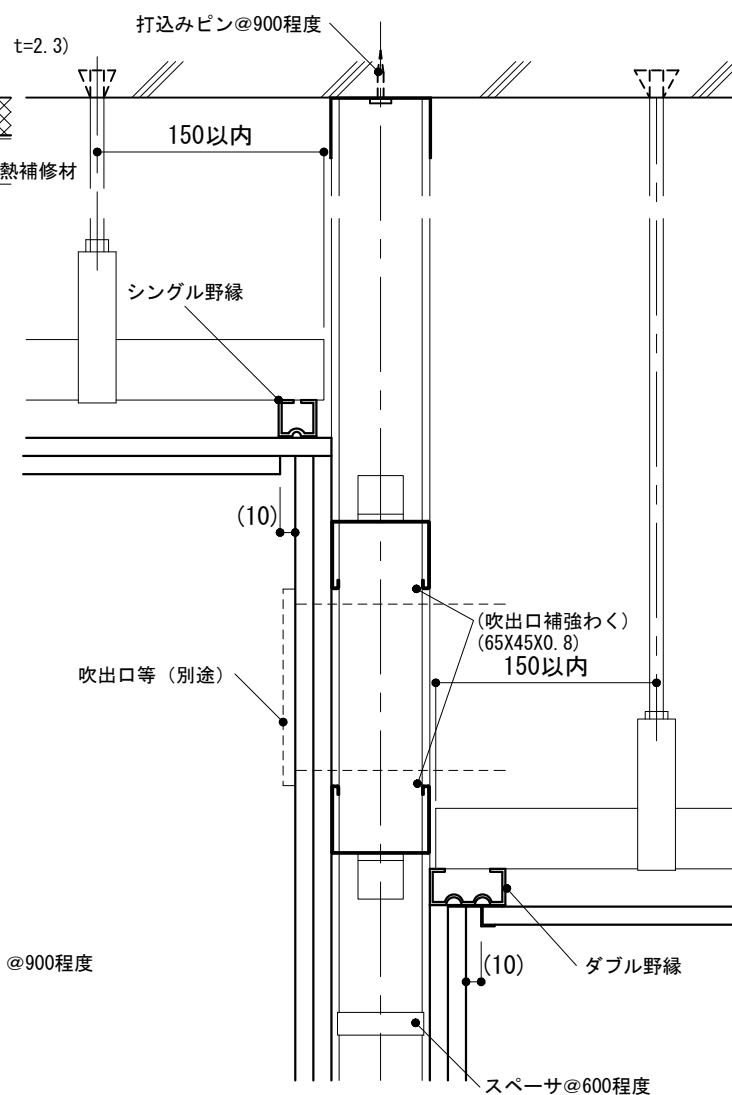


頭部 断熱材ありの場合の取合い

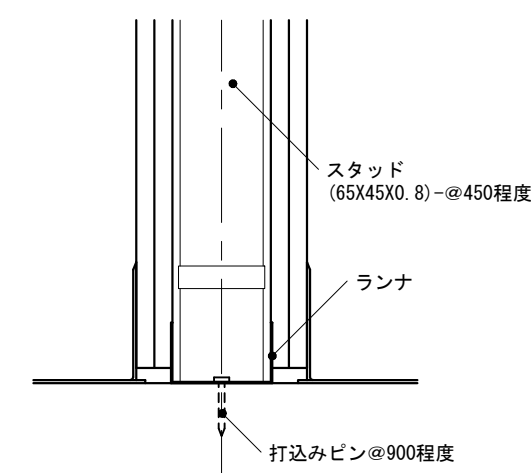
頭部 ランナが野縁と直角の場合



頭部 ランナが野縁と平行の場合



頭部 2室の天井高が異なる場合

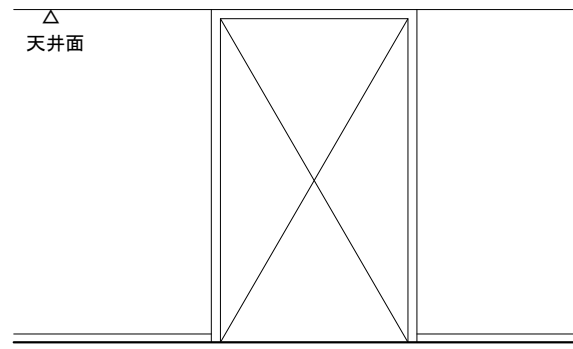


断面 1/5

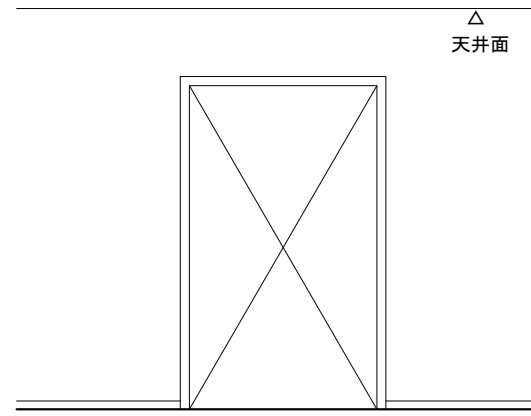
脚部

<p>仕様</p> <p>1) スタッド及び開口部補強材等の断面寸法は、公共標仕(建)表14.5.1の65形の場合を示す。</p> <p>2) 開口部補強材及び補強材取付け用金物は、防錆処理されたものとする。また、溶接箇所は錆止め塗料を塗布する。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 断熱材の有無及び断熱補修材の材種</p>	<p>図面名称</p> <p>軽量鉄骨壁下地:下地張りのある場合</p>
		<p>縮尺</p> <p>1/5, 1/50</p>
		<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p> <p>2-22</p>

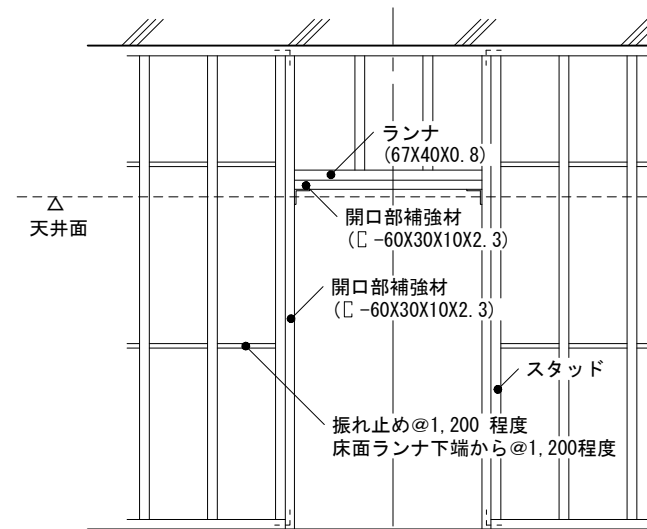
-1 軽量鉄骨壁下地



立面 1/50



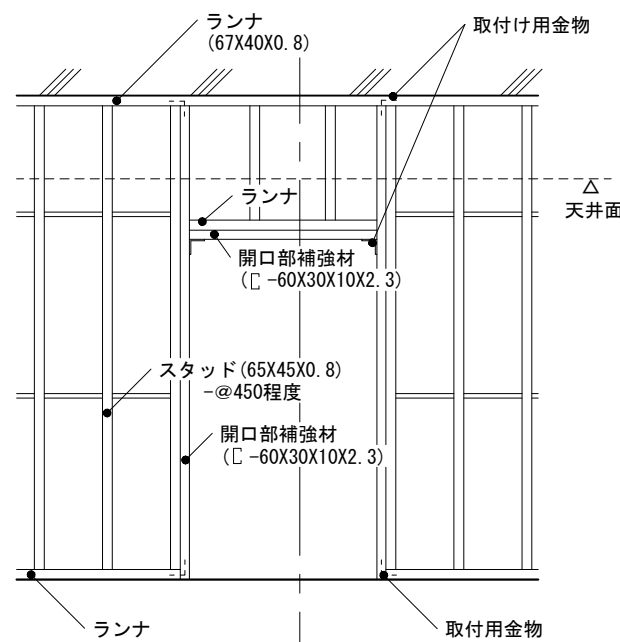
立面 1/50



隣り合う室の天井高が同じ場合 隣り合う室の天井高が異なる場合

軸組 1/50

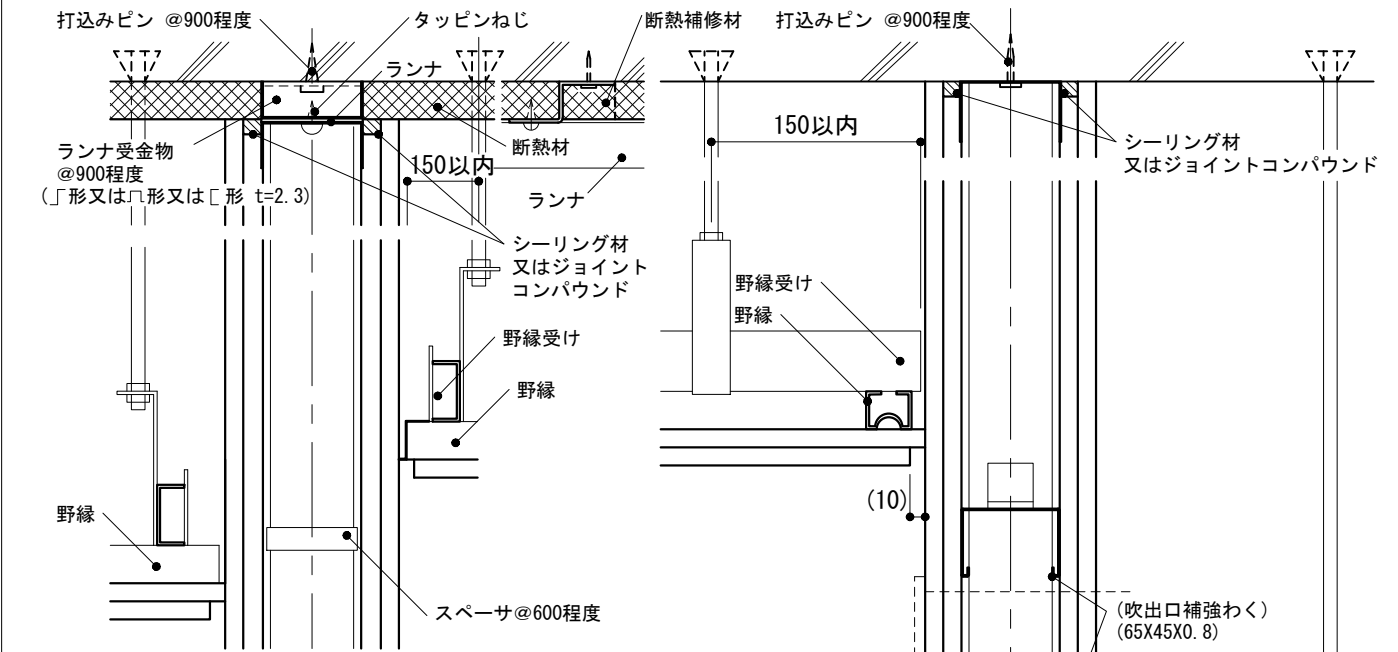
開口部上枠と天井面が接している場合



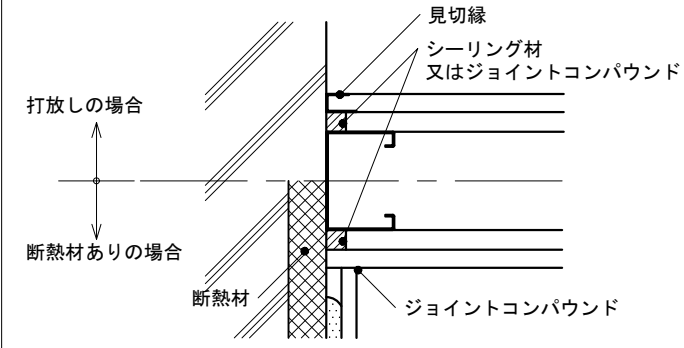
隣り合う室の天井高が同じ場合 隣り合う室の天井高が異なる場合

軸組 1/50

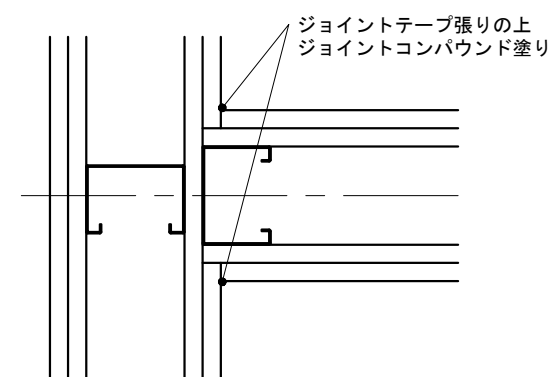
開口部上枠と天井面が離れている場合



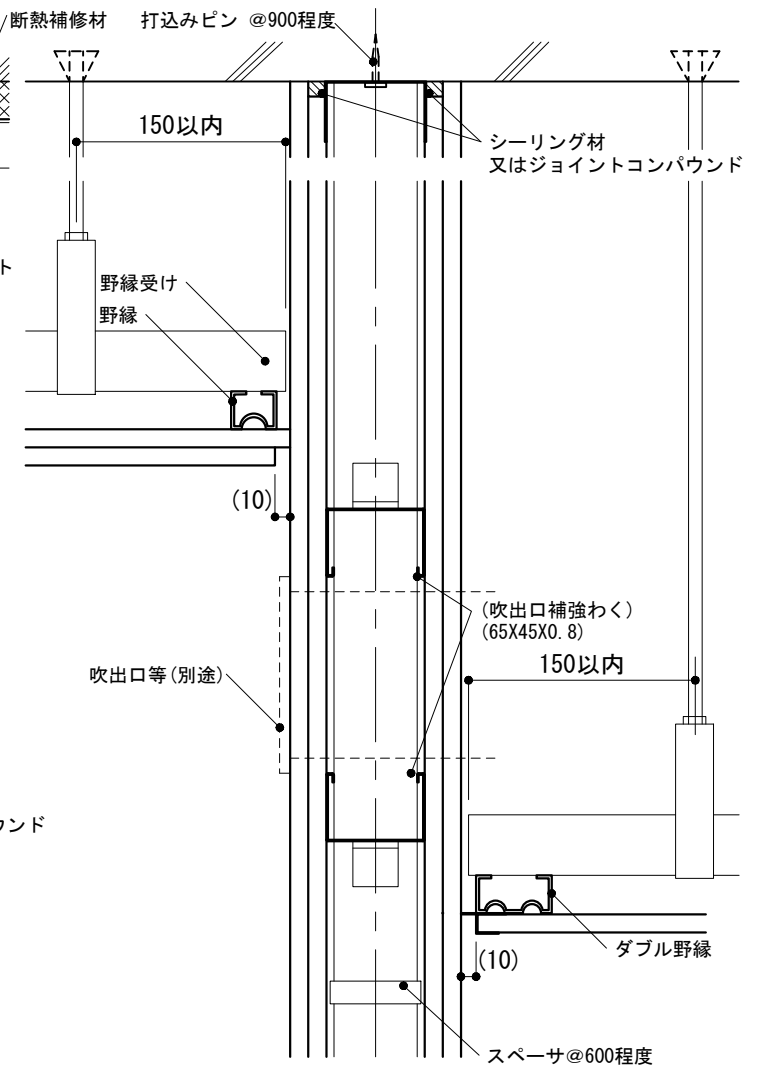
頭部 ランナが野縁と直角の場合 (断熱材ありの場合の取合い)



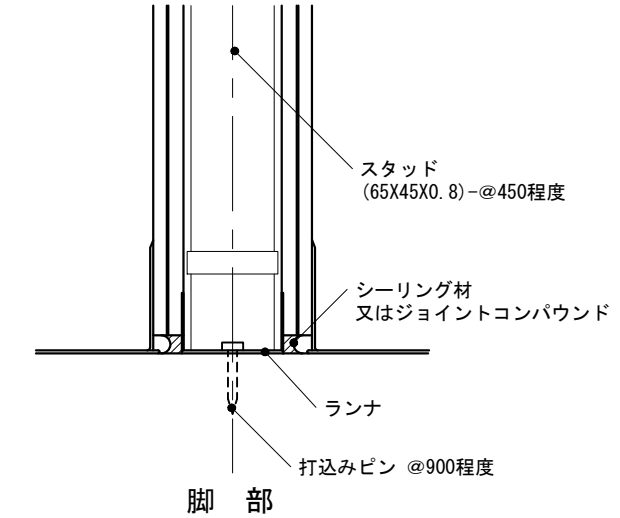
壁取合い



T形壁取合い



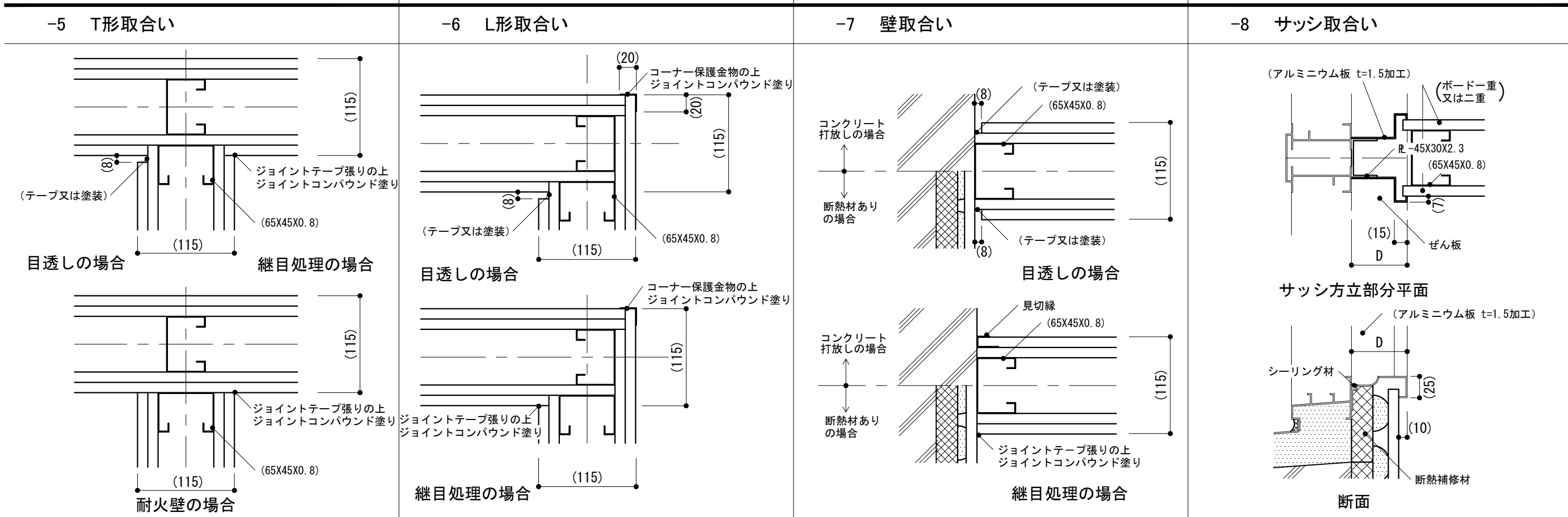
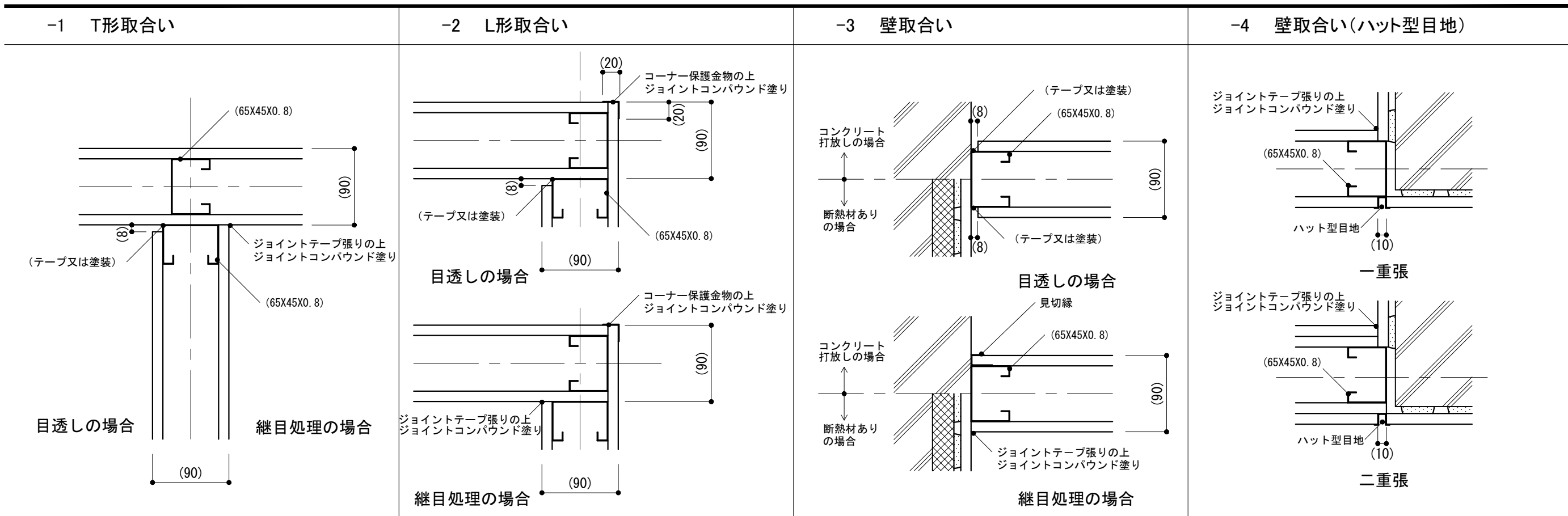
頭部 2室の天井高が異なる場合



脚部

断面 1/5

<p>仕様</p> <p>1) スタッド及び開口部補強材等の断面寸法は、公共標仕(建)表14.5.1の65形の場合を示す。</p> <p>2) 開口部補強材及び補強材取付け用金物は、防錆処理されたものとする。また、溶接箇所は錆止め塗料を塗布する。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 見切縁の材種</p> <p>2) 断熱材の有無及び断熱補修材の材種</p>	図面名称	軽量鉄骨壁下地 : 遮音壁の場合	
		縮尺	1/5, 1/50	
		建築工事標準詳細図 令和4年版	2-23	



仕様

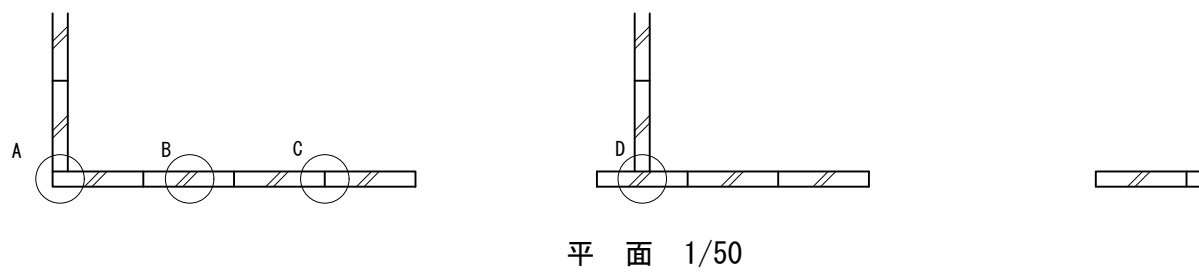
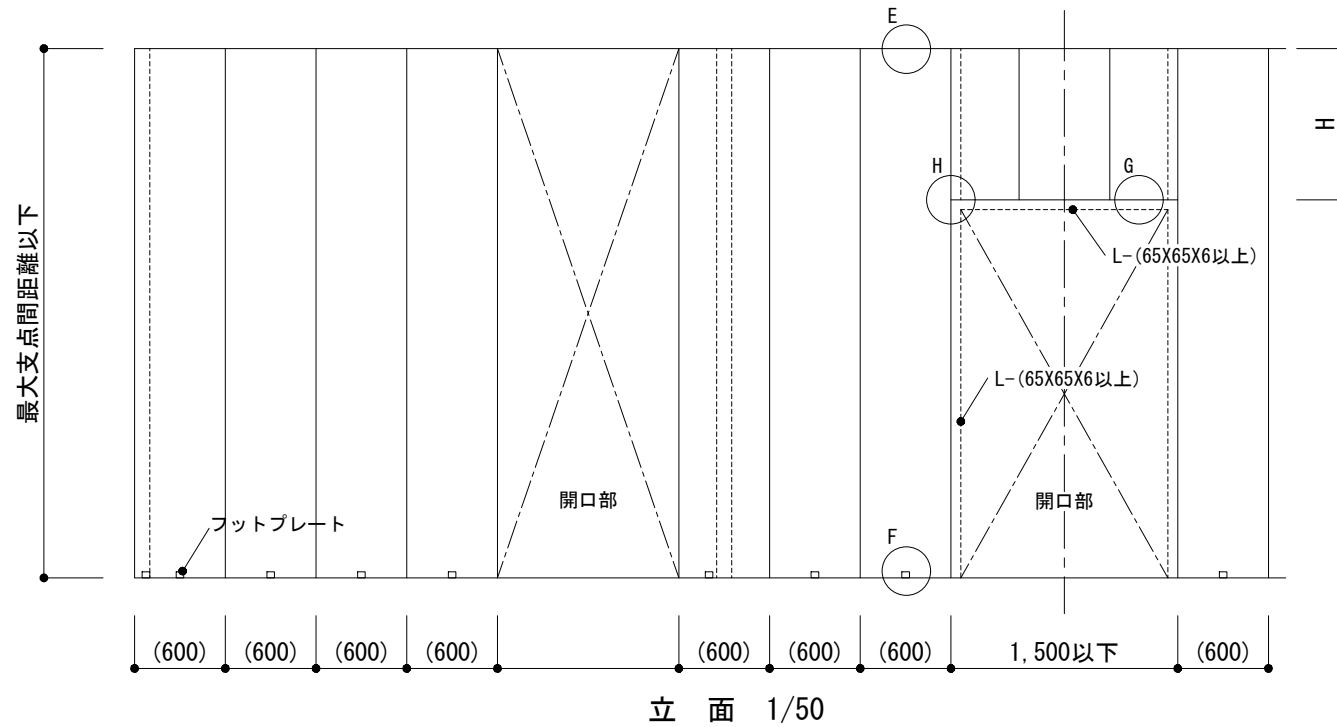
- 1) スタッドの断面寸法は、公共標仕(建)表14.5.1の65形の場合を示す。
- 2) -1~-7のボード類の厚さが6mm以下の場合、目地幅を5mm程度とする。
- 3) 溶接箇所は、錆止め塗料塗りとする。
- 4) -8のアルミニウム板の表面処理の種別は建具の種別と同じとする。

特記事項

- 1) ボードの種別、厚さ
- 2) -1~3, -5~-7の目地処理の種別
- 3) -3, -7の見切縁の材種
- 4) -3, -7の断熱材の有無
- 5) -4のハット型目地の材質
- 6) -8の断熱補修材の材種、ぜん板・額縁のD寸法

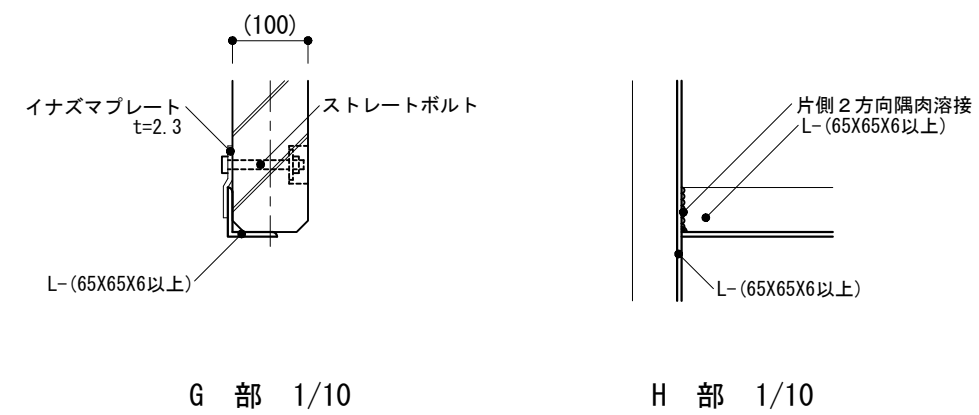
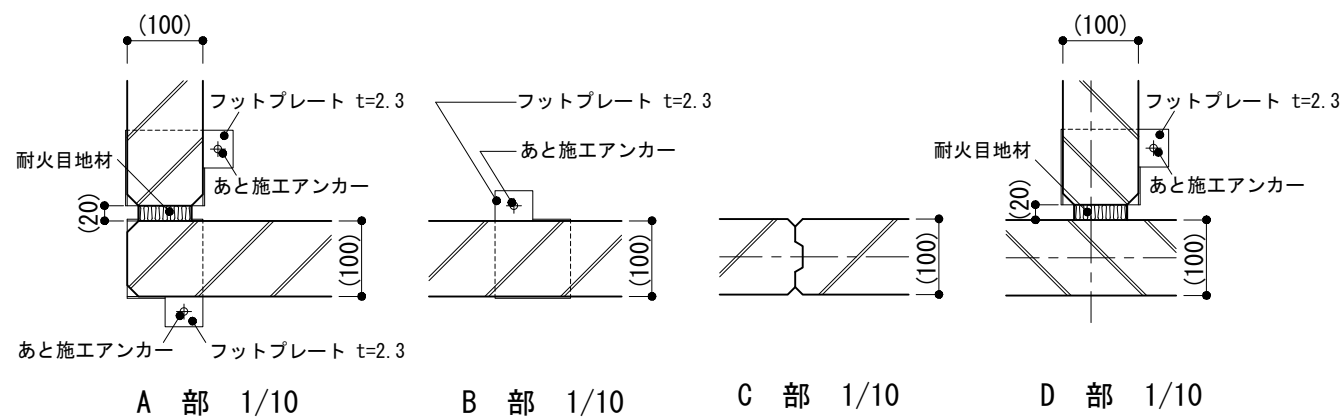
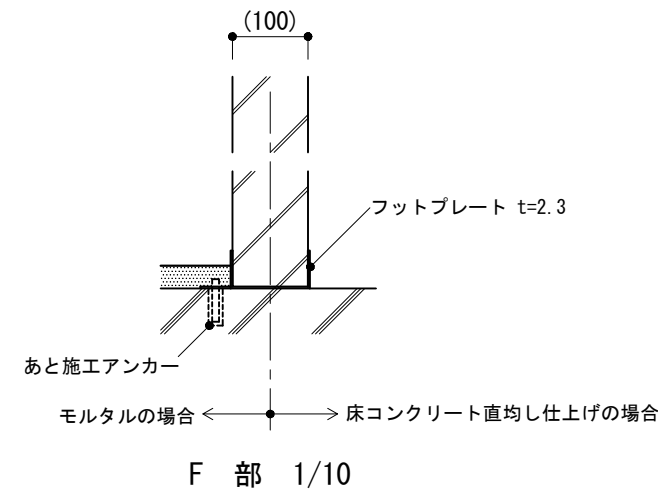
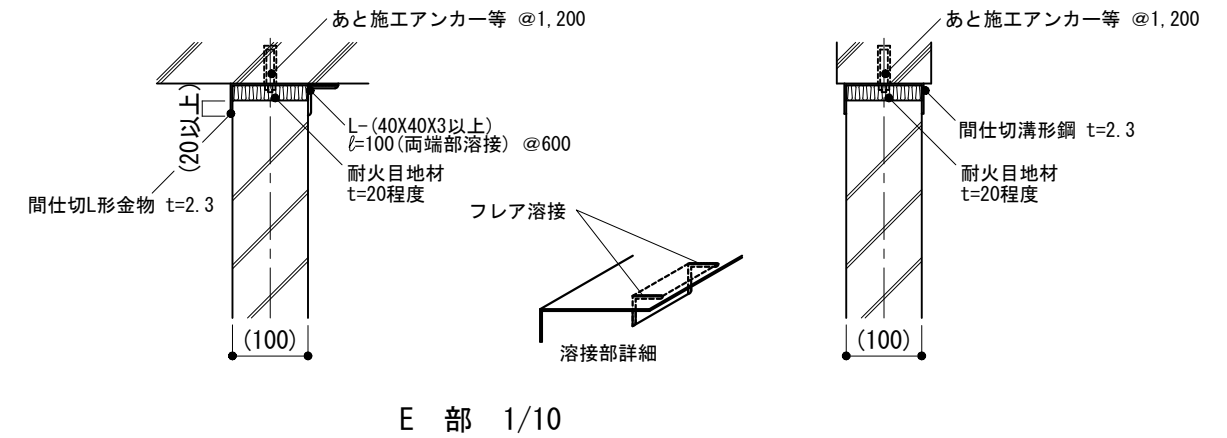
図面名称	軽量鉄骨壁下地 : 各部取合い	
縮尺	1/5	2-24
建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 ALCパネル



間仕切L形金物の場合

間仕切チャンネルの場合



仕様

- 1) パネルの取付け構法は公共標仕(建)表8.4.3のE種を示す。
- 2) 防火区画壁に使用の場合は取付金物に必要な耐火性能を有する被覆を行う。

特記事項

- 1) ALCパネルの厚さ, 寸法, H
- 2) G部 ストレートボルトの大きさ, 間隔
- 3) 耐火目地材の種類

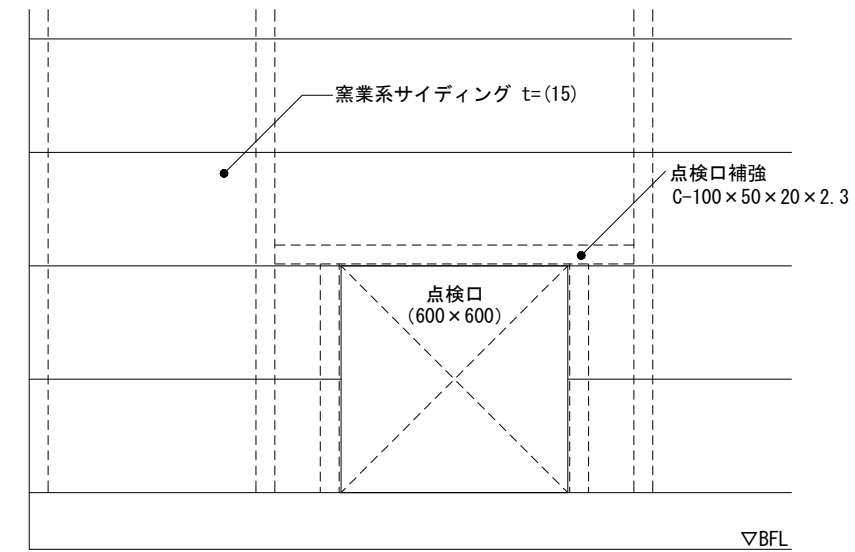
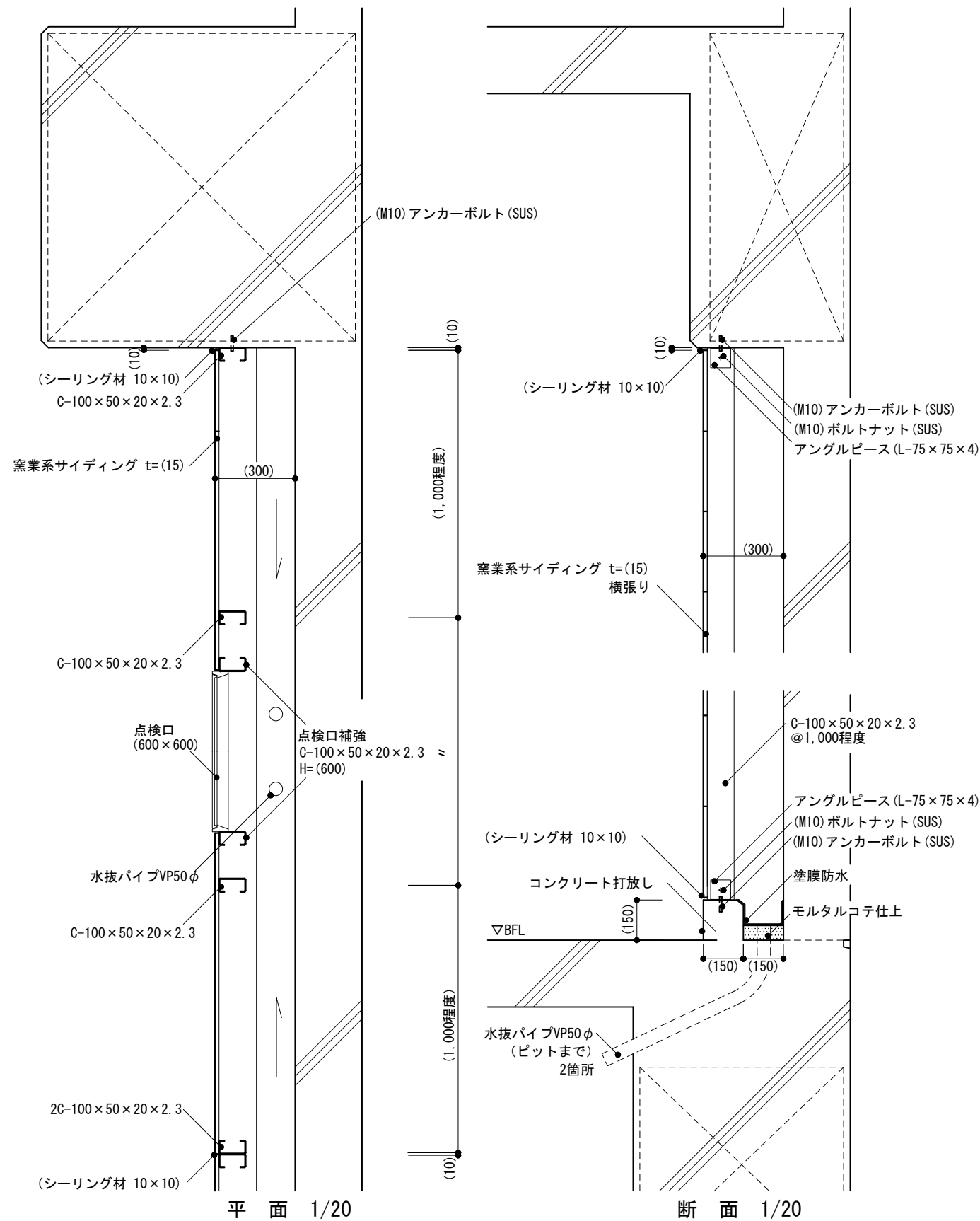
図面名称 ALCパネル : 間仕切壁

縮 尺 1/10, 1/50

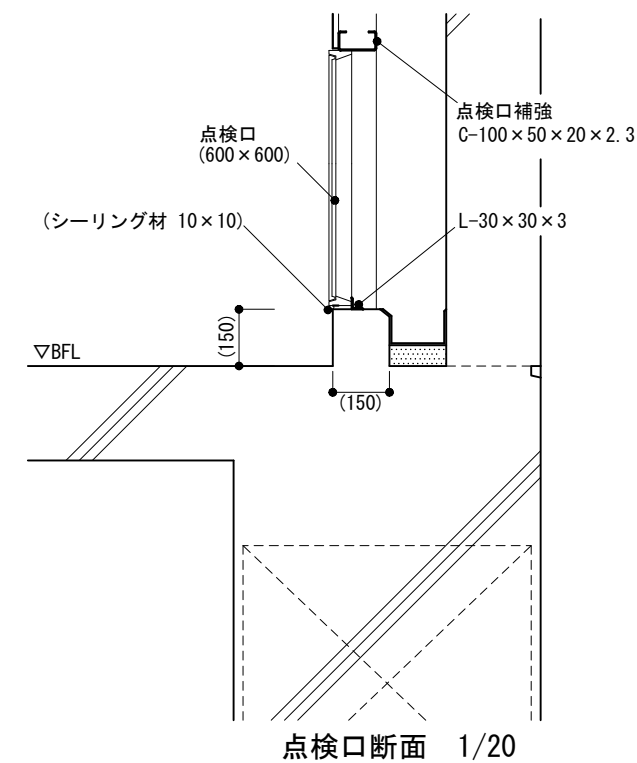
建築工事標準詳細図 令和4年版

2-31

-1 地下二重壁



点検口立面 1/20



点検口断面 1/20

仕様 1) 地下外壁に防水を要しない場合を示す。 2) 鉄部は溶融亜鉛めっき処理を行う。 3) 窯業系サイディングの規格は JIS A 5422による。 4) 点検口は製造所の仕様による。	特記事項 1) シーリング材の種別 2) 点検口の寸法 3) 溶融亜鉛めっきの種別	図面名称	地下二重壁
		縮尺	1/20
		建築工事標準詳細図 令和4年版	
			2-41

-1・-2 ボード(下地張りのない場合)		-3・-4 ボード(下地張りのある場合)	
-1 	-2 	-3 	-4
目透し工法	突付け工法	目透し工法	突付け工法

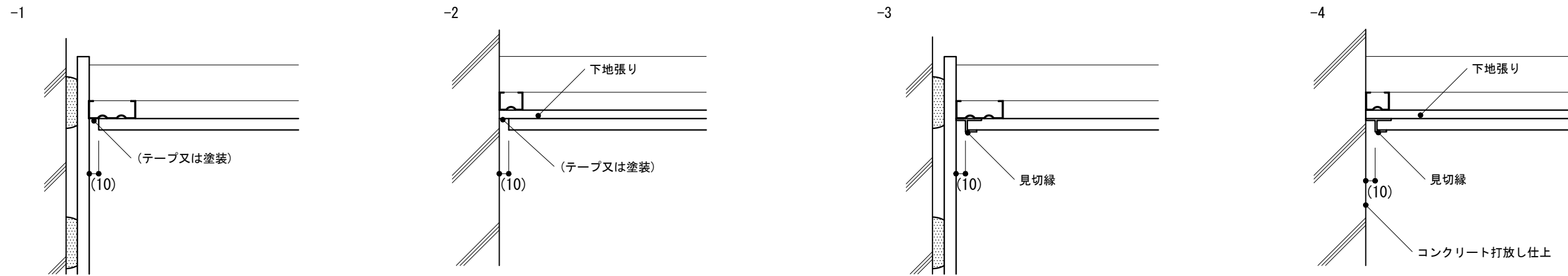
-5・-6 化粧合板(天然木練付)		-8 壁紙
-5 	-6 	-8
目透し工法	突付け工法	

-9 金属成形板 	-10 吹付け材 	-11 コンクリート打放し, コンクリート打放しの上塗装等 	-12 吸音材の上ガラスクロス張り
--------------	--------------	-----------------------------------	-----------------------

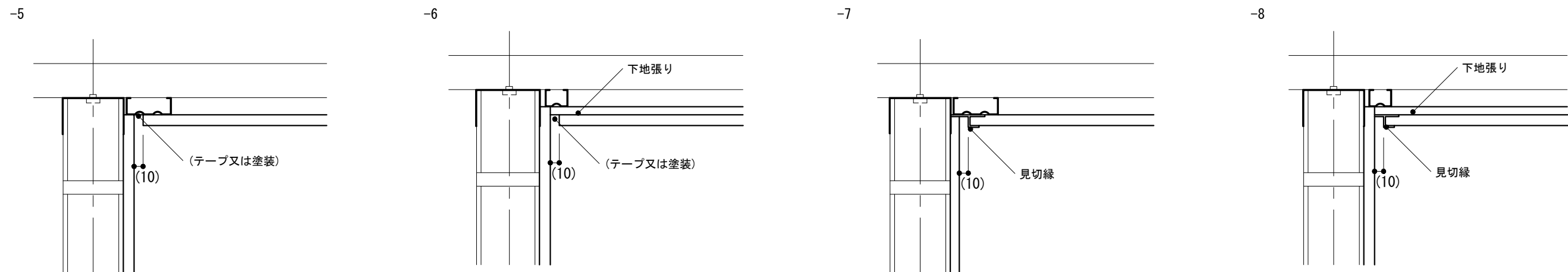
※ -7は欠番

仕様 1) 軽量鉄骨天井下地の適用範囲は、公共標仕(建)14. 4. 1による。 2) Wはダブル野縁を、Sはシングル野縁を示す。 3) -9で継手を設ける場合は必要に応じて、継手部分にはダブル野縁を使用する。 4) ボードの種別が化粧せっこうボード(木目)の場合は、専用下地材による。	特記事項 1) -1~-8のボードの材種、厚さ 2) -5,-6の天然木の樹種 3) -9の金属成形板の材質、厚さ、幅 4) -10の吹付け材の種別、厚さ 5) -11のコンクリート打放しの種別 6) -12の吸音材の材種、厚さ 7) 下地張りの材種、厚さ	図面名称	天井 : 仕上げ		
		縮尺	1/10	3-01	
		建築工事標準詳細図 令和4年版			

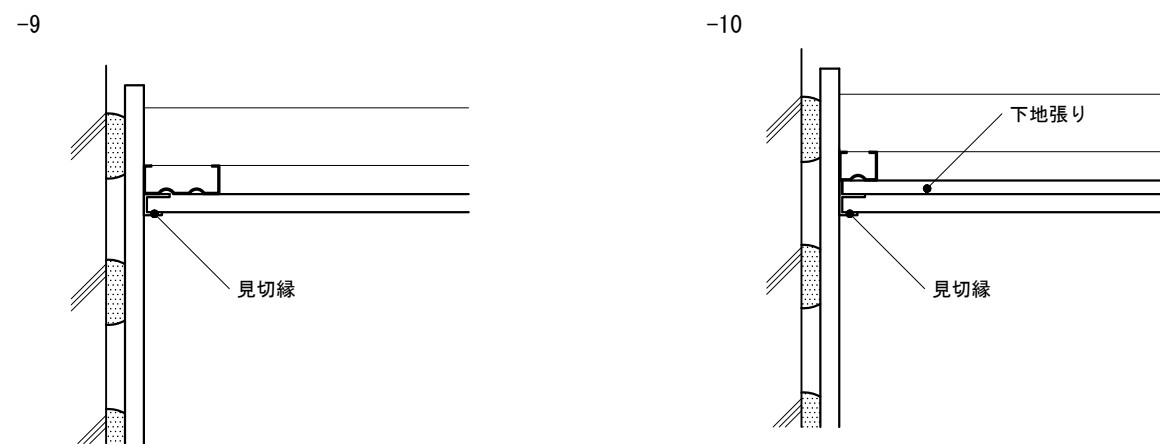
-1~-4 天井付き目地(壁せっこうボード下地・打放しコンクリート下地)



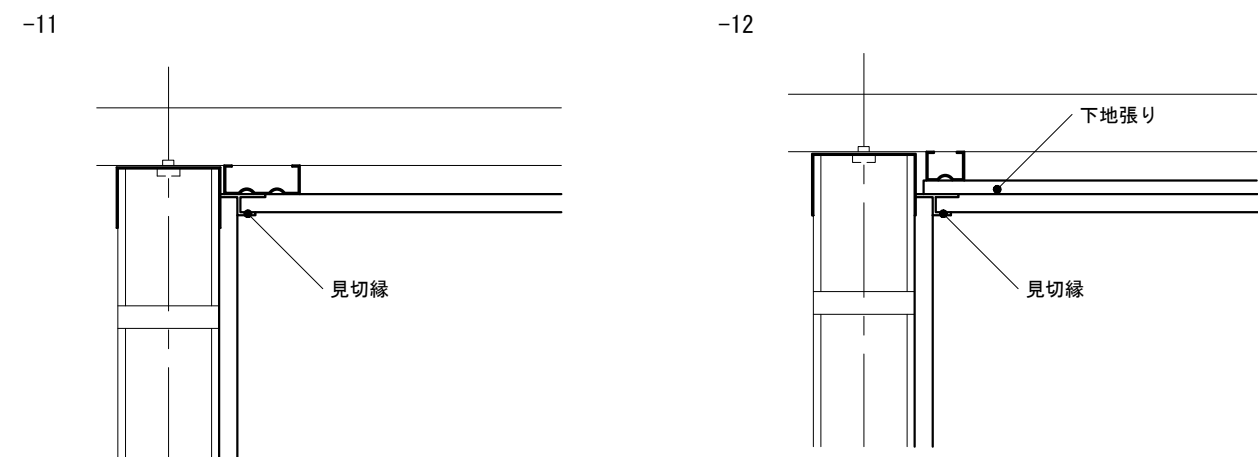
-5~-8 天井付き目地(軽量鉄骨壁下地)



-9~-10 突付け目地(壁せっこうボード下地)



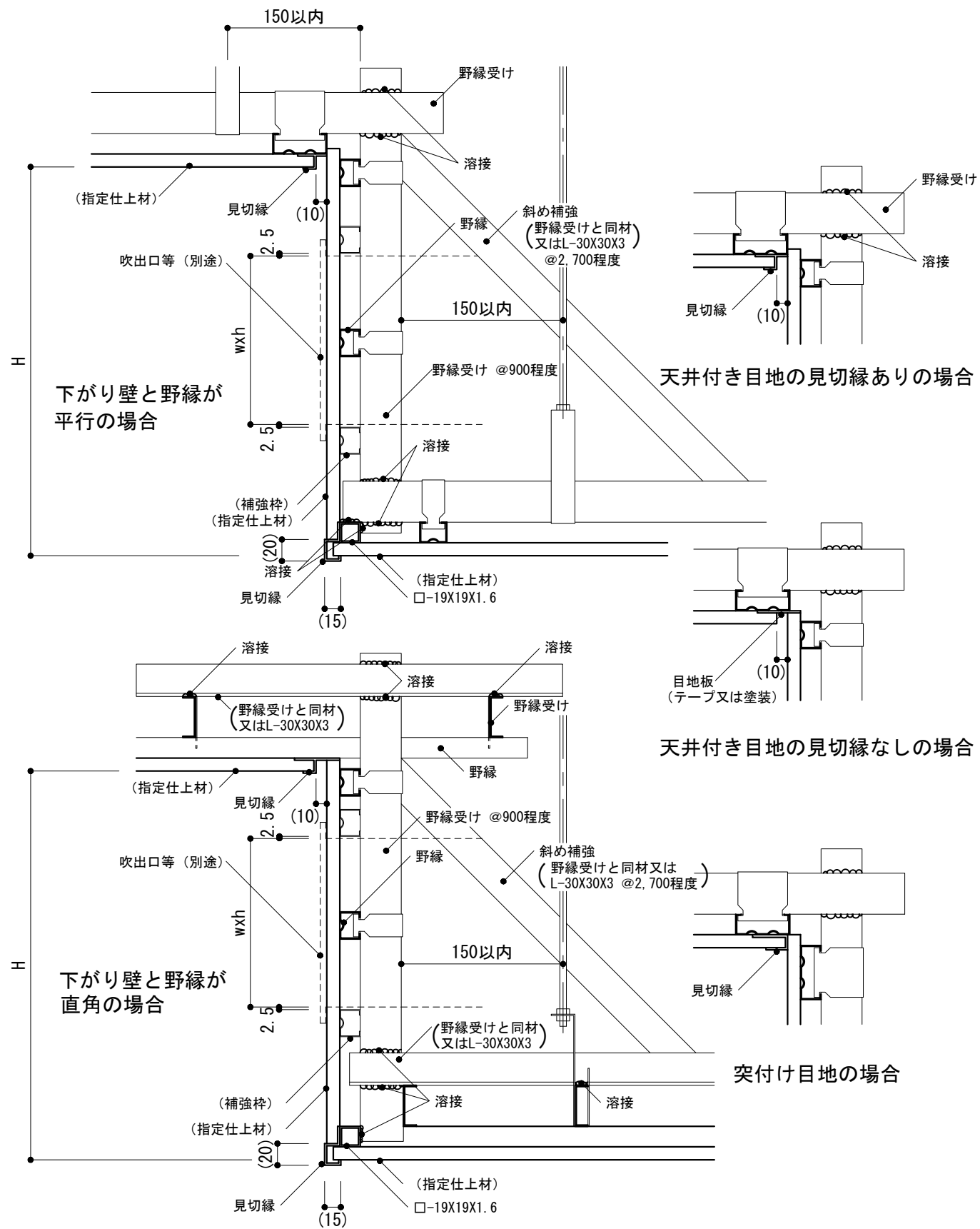
-11~-12 突付け目地(軽量鉄骨壁下地)



<p>仕様</p> <p>1) 軽量鉄骨天井下地の適用範囲は、公共標仕(建)14.4.1による。</p> <p>2) 壁取合い部の野縁種別は、天井下地張りのない場合はダブル野縁(W),天井下地張りのある場合シングル野縁(S)を使用する。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) -3, -4, -7~-12の見切縁の材種</p>	<p>図面名称</p> <p>天井取合い : 壁一天井</p>
		<p>縮尺</p> <p>1/5</p>
		<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p>

3-11

-1 下がり壁



仕様 1) 標準的な庁舎における天井高の差や、吹出口等を設けるために生じる程度の段違いの場合を示す。 2) 軽量鉄骨天井下地の適用範囲は、公共標仕(建)14.4.1による。 3) 補強枠材は野縁と同材とし、吹出口などが取付く場合にのみ適用する。 4) 見え隠れ鉄面及び溶接箇所は、錆止め塗料塗りとする。	特記事項 1) 下がり壁のH 2) 天井、下がり壁の下地張りの有無 3) 見切縁の材種 4) 天井と下がり壁取合いの目地の種類 5) w, h 6) 指定仕上材の種類	図面名称 天井取合い : 下がり壁
		縮尺 1/5
		建築工事標準詳細図 令和4年版

3-12

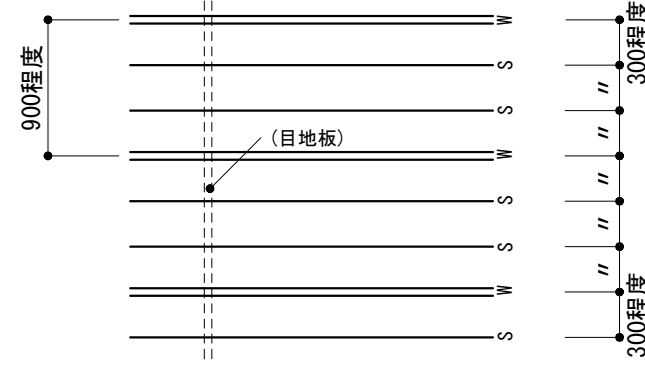
-1~-4 軽量鉄骨天井下地

-1 下地張りのある場合



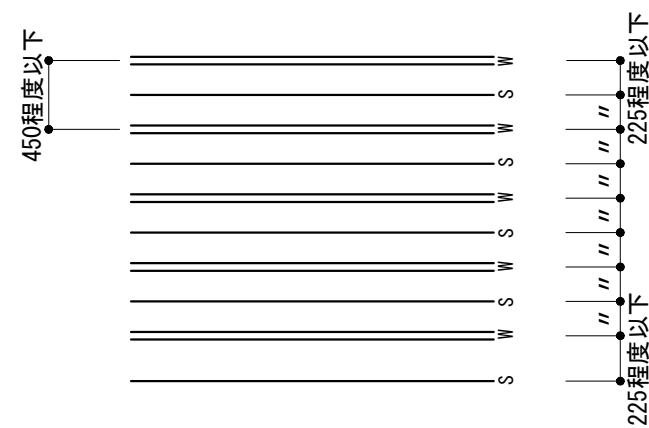
ボード寸法900X1,800程度

-2 下地張りのない場合



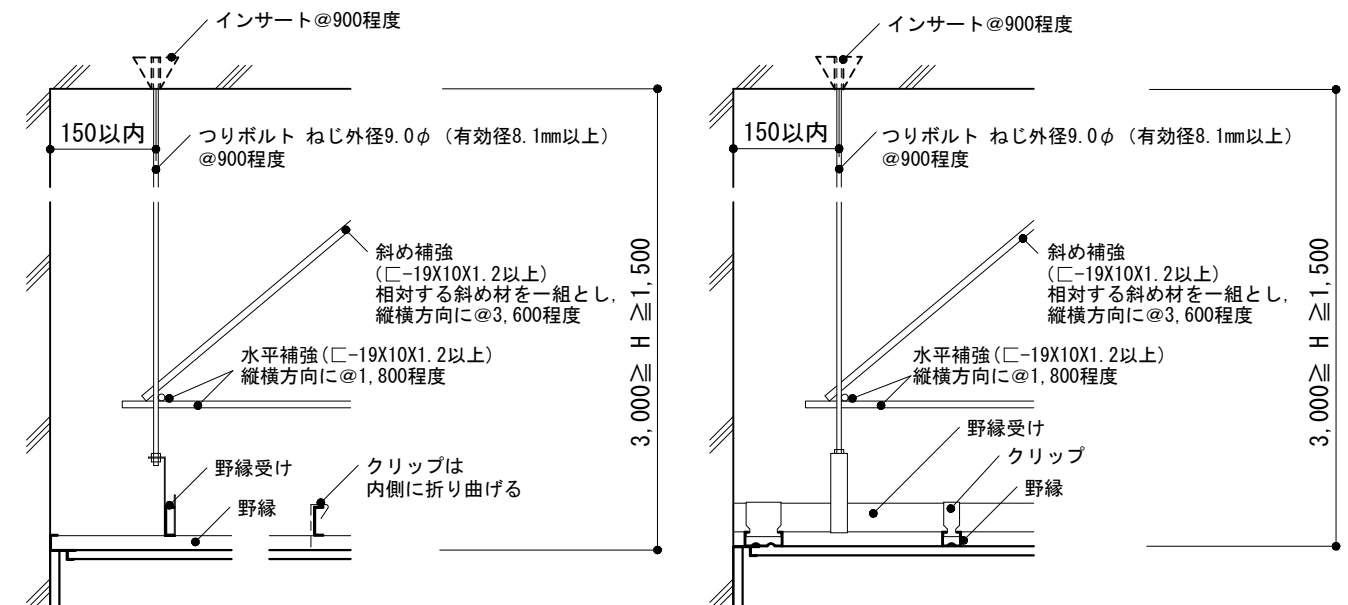
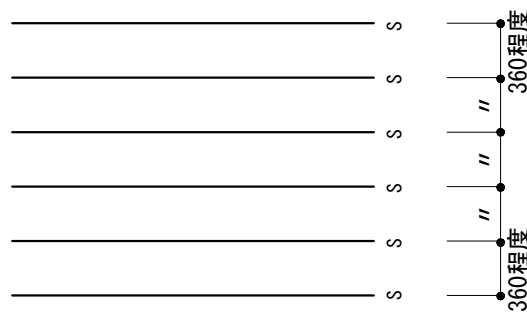
ボード寸法(900X1,800 / 900X900)程度

-3 下地張りのない場合



ボード類の一辺の長さ≤450

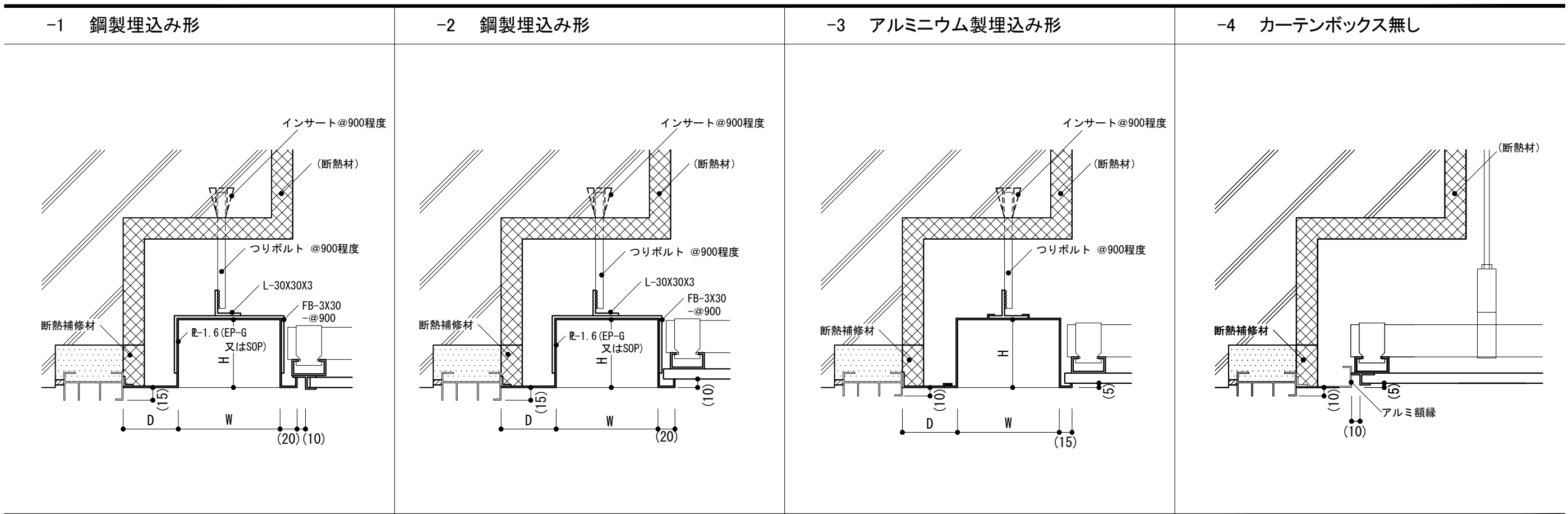
-4 金属成形板張りの場合



断面 1/10
周辺部の天井下地の組み方 (天井のふところが大きい場合)

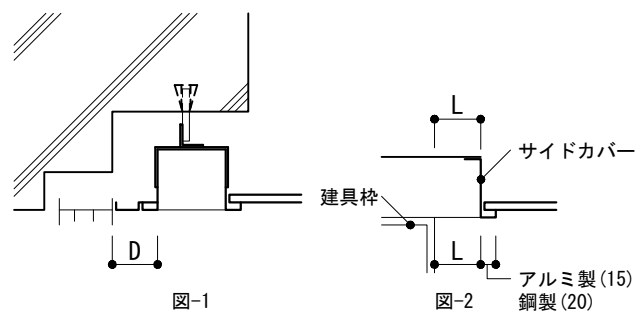
仕様 1) 軽量鉄骨天井下地の適用範囲は、公共標仕(建)14.4.1による。 2) Wはダブル野縁, Sはシングル野縁を示す。 3) -2の目地板(溶融亜鉛めっき鋼板等)は、目透し張りの場合に野縁と直角方向の目地当たり部分に取付ける。 4) クリップのつめが溝側に位置するものは、野縁受けの溝内に確実に折り曲げる。	特記事項 1) 野縁等の種類 2) 屋外の場合の野縁, 野縁受け, つりボルト及びインサートの間隔, 周辺部の端からの距離 3) 耐震性を考慮した補強 4) 天井ふところが3mを超える場合の補強 5) 目地板の種類	図面名称 軽量鉄骨天井下地
		縮尺 1/10, 1/50
		建築工事標準詳細図 令和4年版

3-21



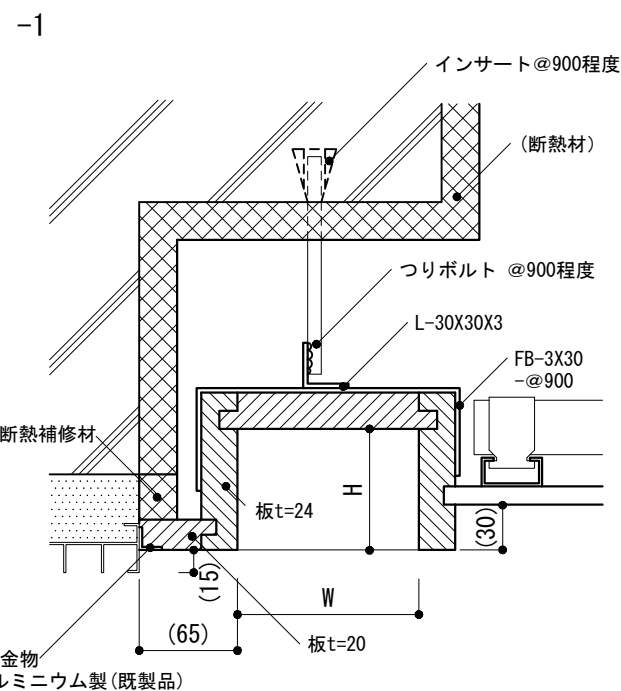
カーテンボックスの標準寸法

分類	種類	W	H	L	備考
A	レース ケースメント ドレープ レース+ドレープ	150	80	150	1) Lはカーテンボックスの長さが6,000mm程度で開閉は引分けの場合のカーテンのたたみ込み寸法を示す。 2) 鋼製、又はアルミニウム製カーテンボックスにサイドカバーを設ける場合は図-2による。 3) 梁等により取付寸法が50mm以下となる場合は図-3による。
B	縦形ブラインド	120	80	150 0	
C	横形ブラインド	120	150	0~50	
D	レース+横形ブラインド ケースメント+横形ブラインド ドレープ+横形ブラインド 暗幕+横形ブラインド	180	150	150	

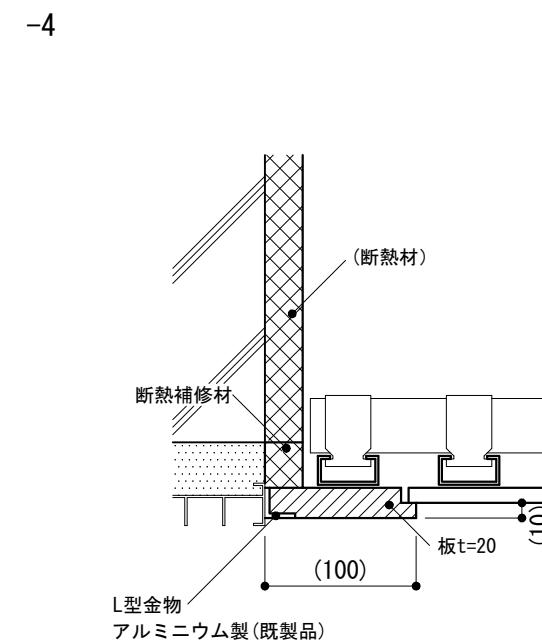
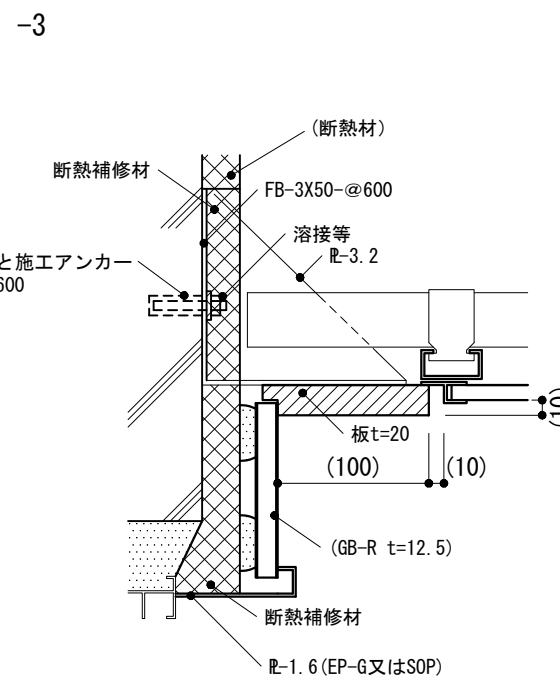
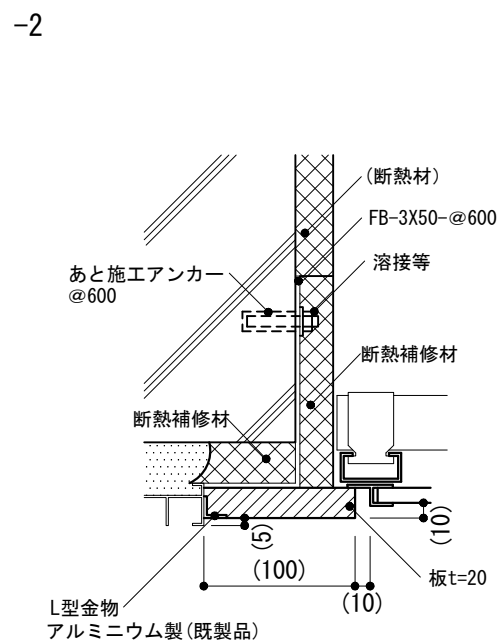


仕様 1) 鉄面は錆止め塗料塗りとする。 2) つりボルト端部の持出しは、50mm以下とする。 3) 鋼板は公共標仕(建)16.4.3(1)(ア)による表面処理亜鉛めっき鉄板とする。 4) -3の表面処理は公共標仕(建)表14.2.1による。 5) つりボルト及び挿入は、軽量鉄骨天井下地のつりボルト、挿入と同材とする。 6) 断熱材を貫通する挿入は、熱橋防止を考慮した挿入とする。	特記事項 1) W, H, L, D 2) サイドカバーの有無 3) 断熱材の有無及び断熱補修材の材種 4) 鉄部の塗装の種別	図面名称	カーテンボックス : 鋼製, アルミニウム製	
		縮尺	1/5	3-31
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 木製埋込み形



-2~-4 木製受け板



仕様

- 1) 鉄面は錆止め塗料塗りとする。
- 2) 鋼板は公共標仕(建)16.4.3(1)(ア)による表面処理亜鉛めっき鉄板とする。
- 3) つりボルト及びびん挿入は、軽量鉄骨天井下地のつりボルト、挿入と同材とする。
- 4) 断熱材を貫通する挿入は、熱橋防止を考慮した挿入とする。

特記事項

- 1) W, H, L(3-31による)
- 2) 木部及び鉄部の塗装の種別
- 3) 断熱材の有無及び断熱補修材の材種
- 4) サイドカバーの有無及び取合い

図面名称

カーテンボックス : 木製,
カーテン受け板

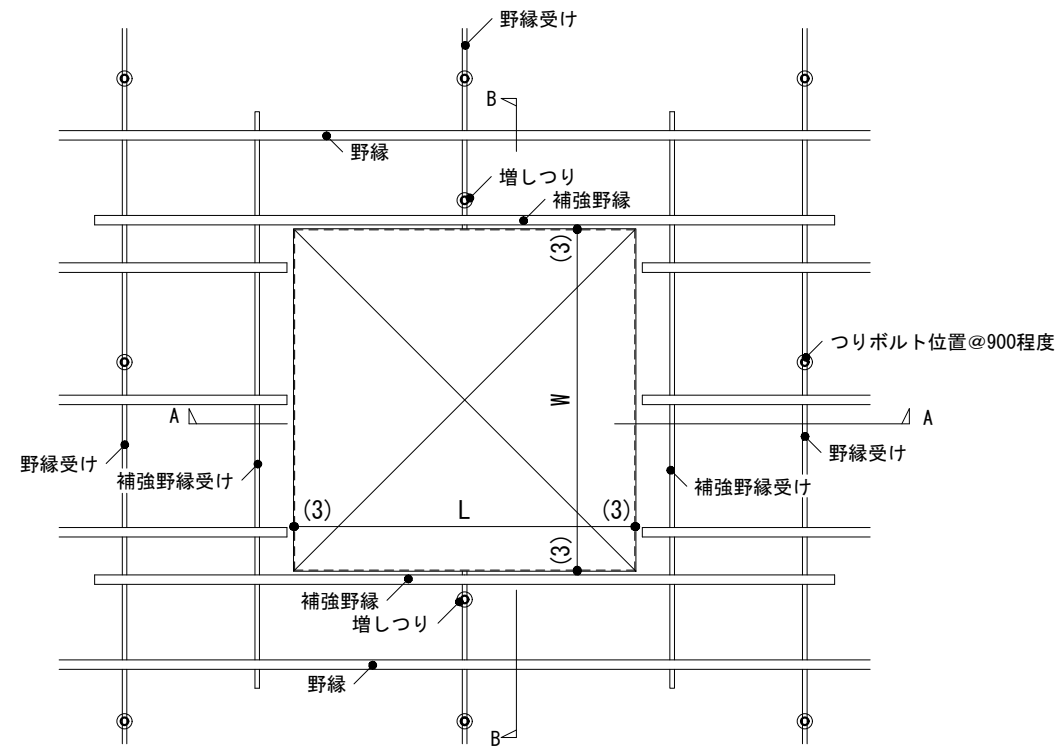
縮尺

1/5

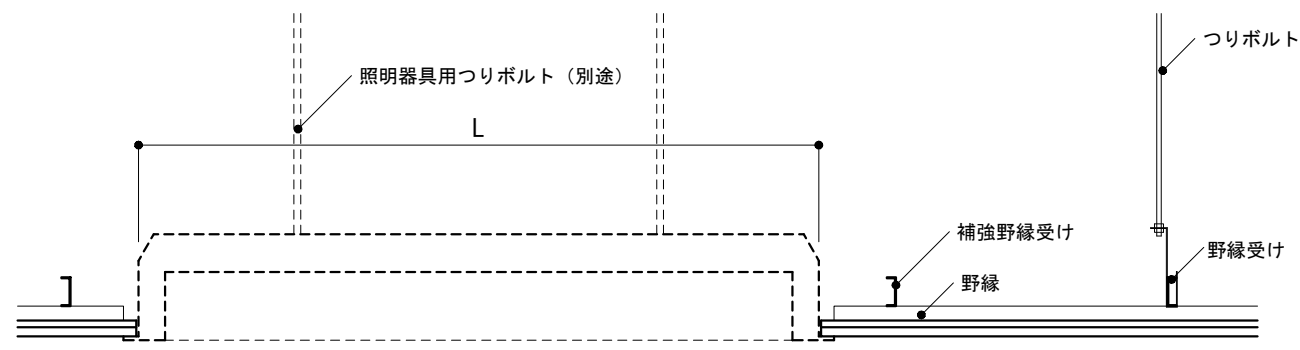
建築工事標準詳細図 令和4年版

3-32

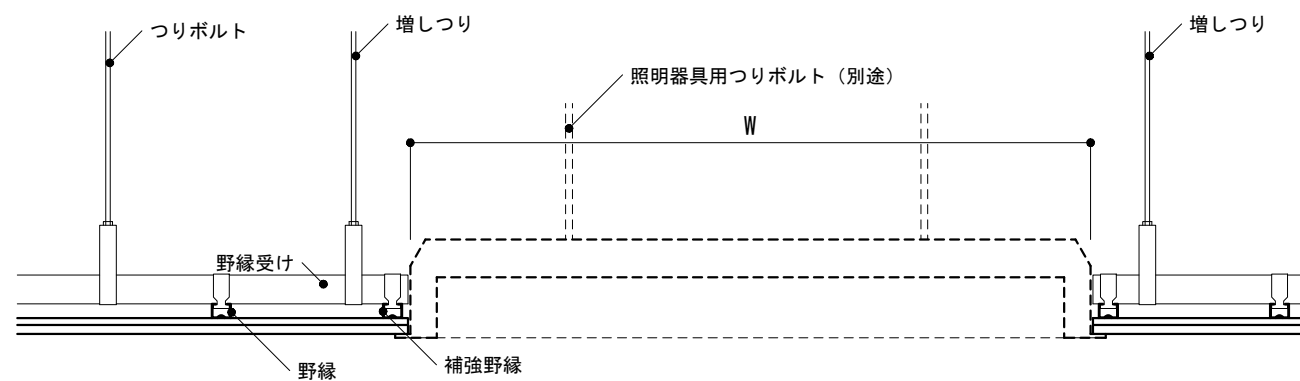
-1 野縁を切断する場合(1)



伏図 1/20

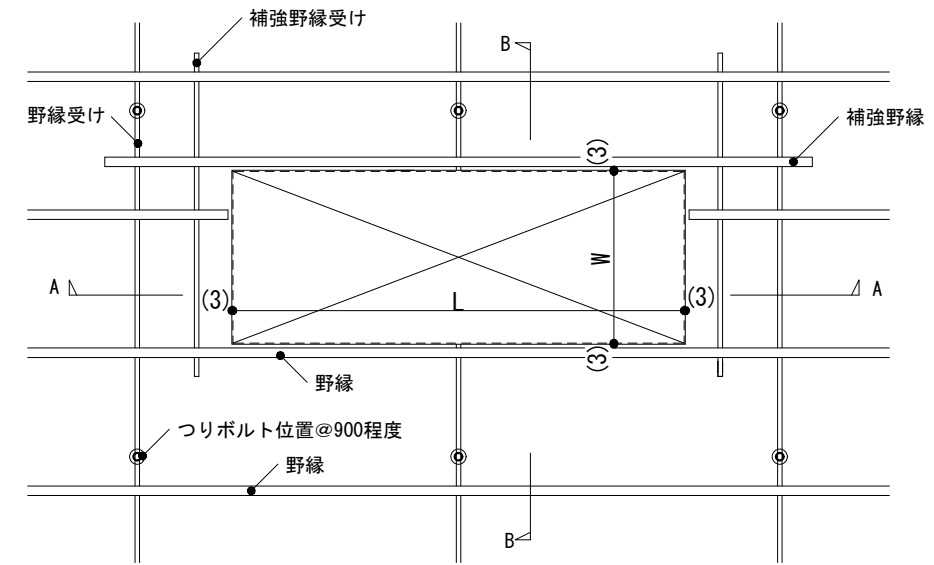


A-A断面 1/10

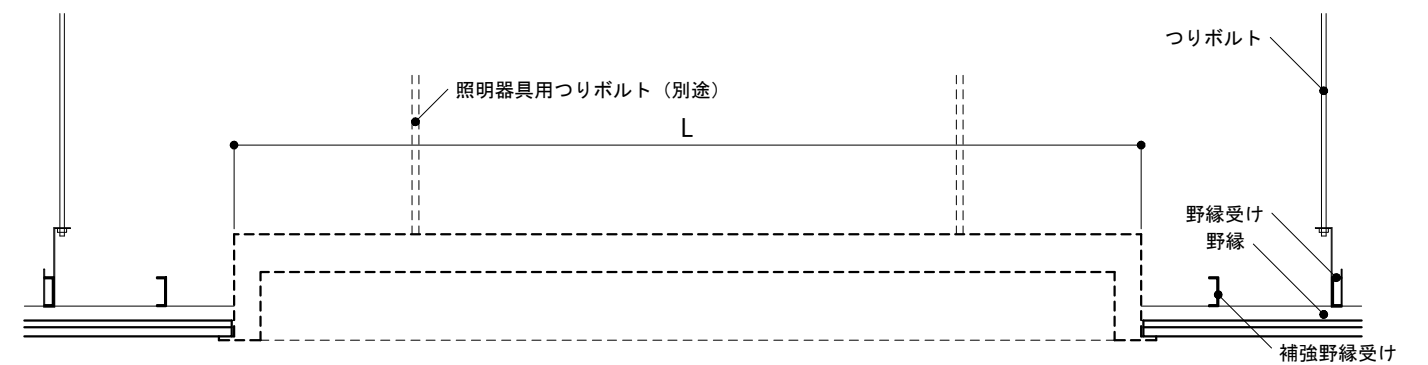


B-B断面 1/10

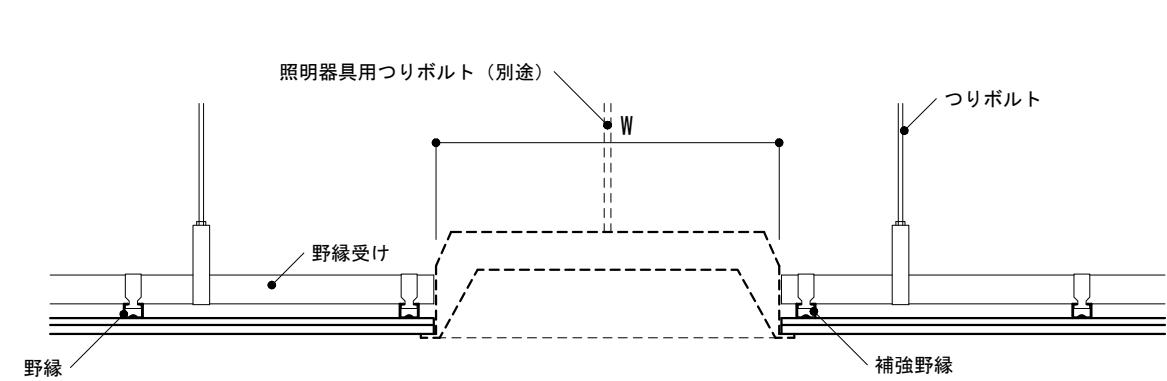
-2 野縁を切断する場合(2)



伏図 1/20



A-A断面 1/10



B-B断面 1/10

仕様

- 1) 補強野縁は野縁と、補強野縁受けは野縁受けと同材とする。
- 2) 野縁受けのはね出しが300mm以上の場合は、増しつりを設ける。

特記事項

- 1) W, L
- 2) 野縁等の種類

図面名称

天井開口部下地補強 : 照明器具, その他

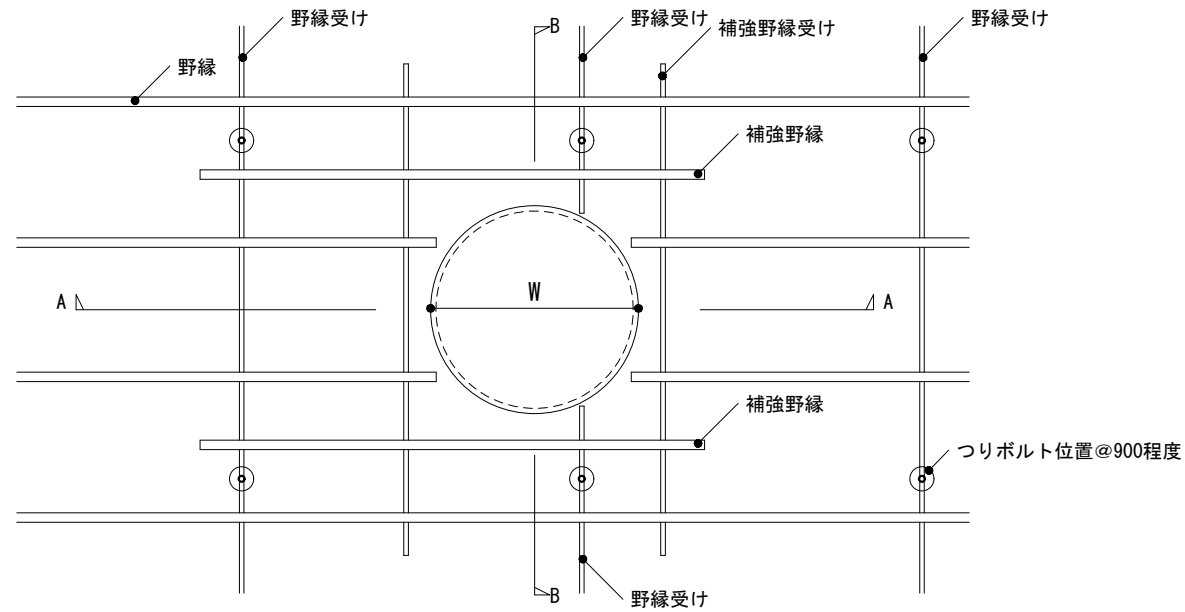
縮尺

1/10, 1/20

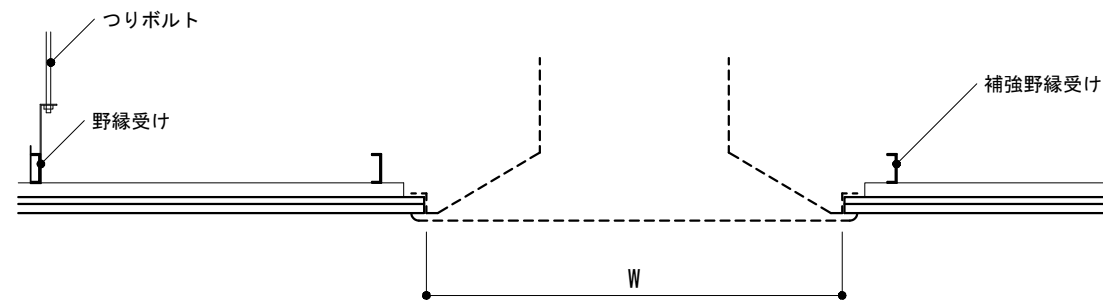
建築工事標準詳細図 令和4年版

3-41

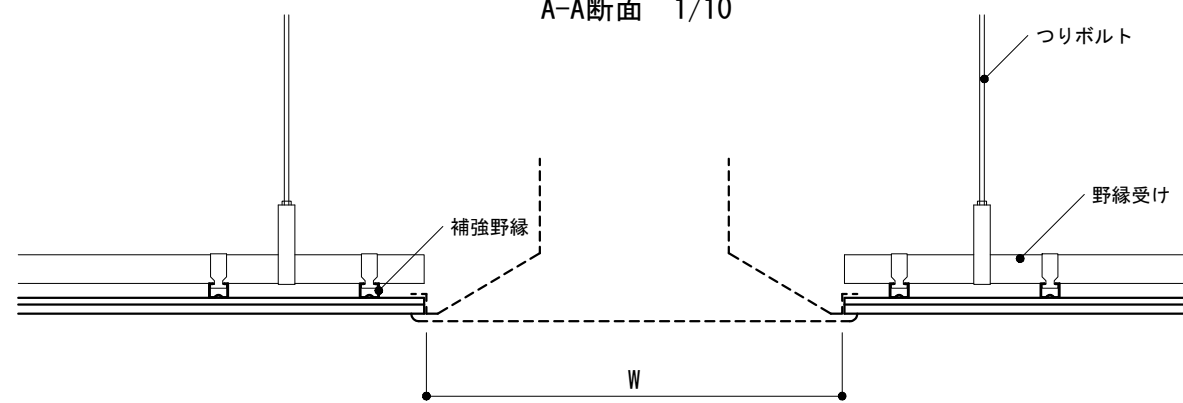
-1 天井吹出口



伏図 1/20

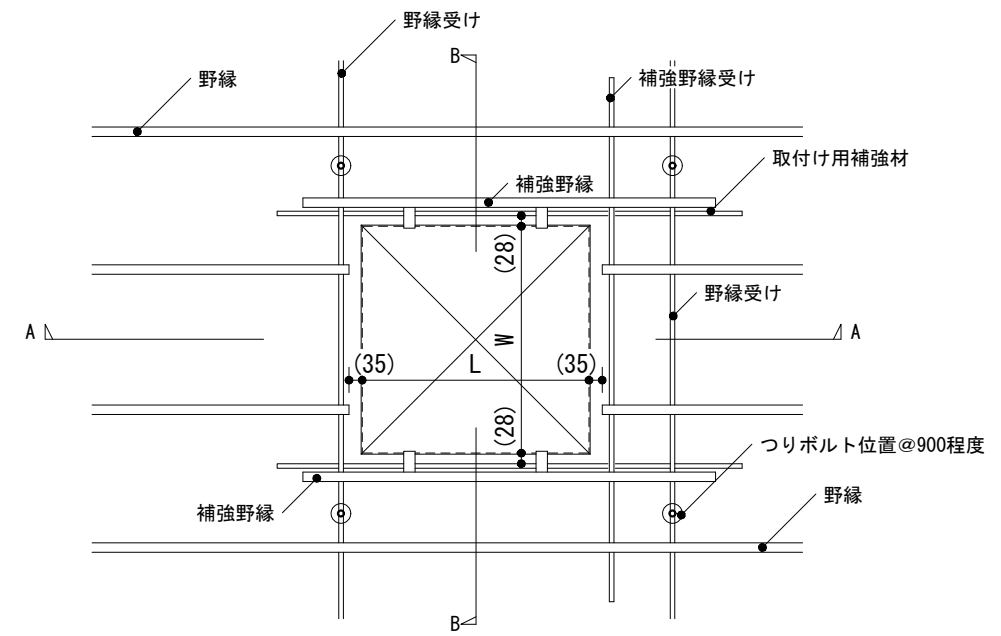


A-A断面 1/10

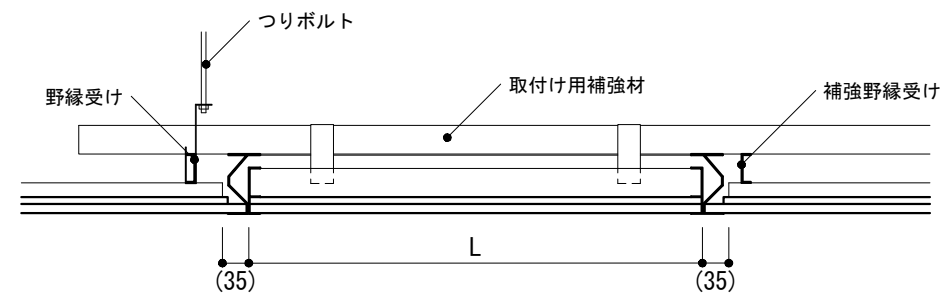


B-B断面 1/10

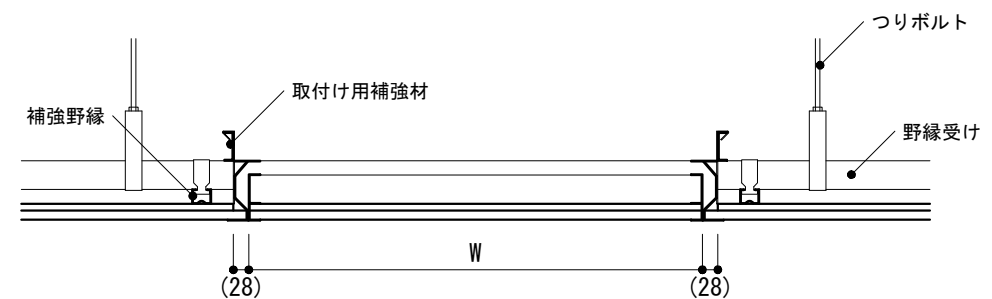
-2 天井点検口



伏図 1/20



A-A断面 1/10



B-B断面 1/10

仕様

- 1) 補強野縁は野縁と、補強野縁受け及び取付け用補強材は野縁受けと同材とする。
- 2) 野縁受けのはね出しが300mm以上の場合は、増しつりを設ける。
- 3) 天井点検口はアルミニウム製既製品とする。

特記事項

- 1) W, L
- 2) 野縁等の種類

図面名称 天井開口部下地補強 : 天井吹出口
天井点検口

縮尺 1/10, 1/20

建築工事標準詳細図 令和4年版

3-42

-1 形状寸法

形状及び形状番号

木製・鋼製軽量・鋼製フラッシュ戸	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6		
	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8

A1~A6, B1~B8の寸法は、標準型建具の場合を示す。ただし()を除く。

アルミニウム製建具・樹脂製建具	C-1*	C-2*	C-3	C-4	C-5	C-6	
	C-7*	C-8*	C-9*	C-10	C-11	C-12*	

C形状の*印は樹脂製建具対応形状を示す。

アルミニウム製建具・樹脂製建具	C-13*	C-14*	C-15	C-16	C-17	C-18	C-19
	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5		

らんまの形式

種別	FIX (固定)	引違い	内倒し	外倒し	突き出し
形式					

C-1~6, C-17~19のらんま形式を示す。

がらりの形式

種別	I型	II型	III型	姿図
形式				
開口率	約30%	約35%	約25%	W=1,500以上は方立を設ける。

扉がらり及び窓がらりの形式を示す。

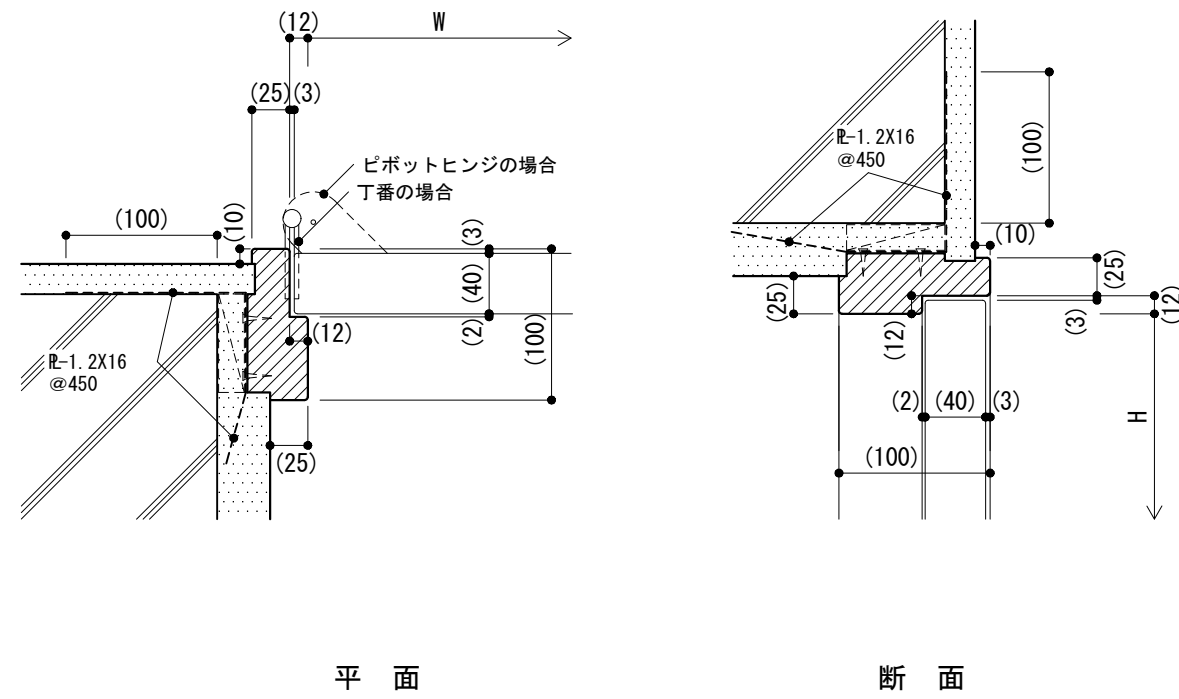
扉の標準寸法

開閉方法	枠の有効内の幅 W	枠の有効内の高さ H	備考
片開き	900	2,000	1) 標準寸法の変更は最小限に抑える事。但し、身障者の利用する部分は枠の有効内の幅900以上とする。 2) 枠の内り高さHは床面からの高さを示し、扉の前後で段差がある場合は一般床(廊下など)からの高さとする。 3) 扉の見込み寸法は木製及び鋼製建具の場合40mm、鋼製軽量建具の場合35~40mm。 4) 親子開きの子扉の幅は300mmとする。但し、ドアコーザを設ける必要がある場合は350mm以上とする。 5) 点検用扉等で、WxHの小さなものは見込み30mm程度とする。
	950	2,100	
親子開き	1,200	2,000	
	1,250	2,100	
両開き	1,800	2,000	
	1,900	2,100	
片開き	600	1,900	

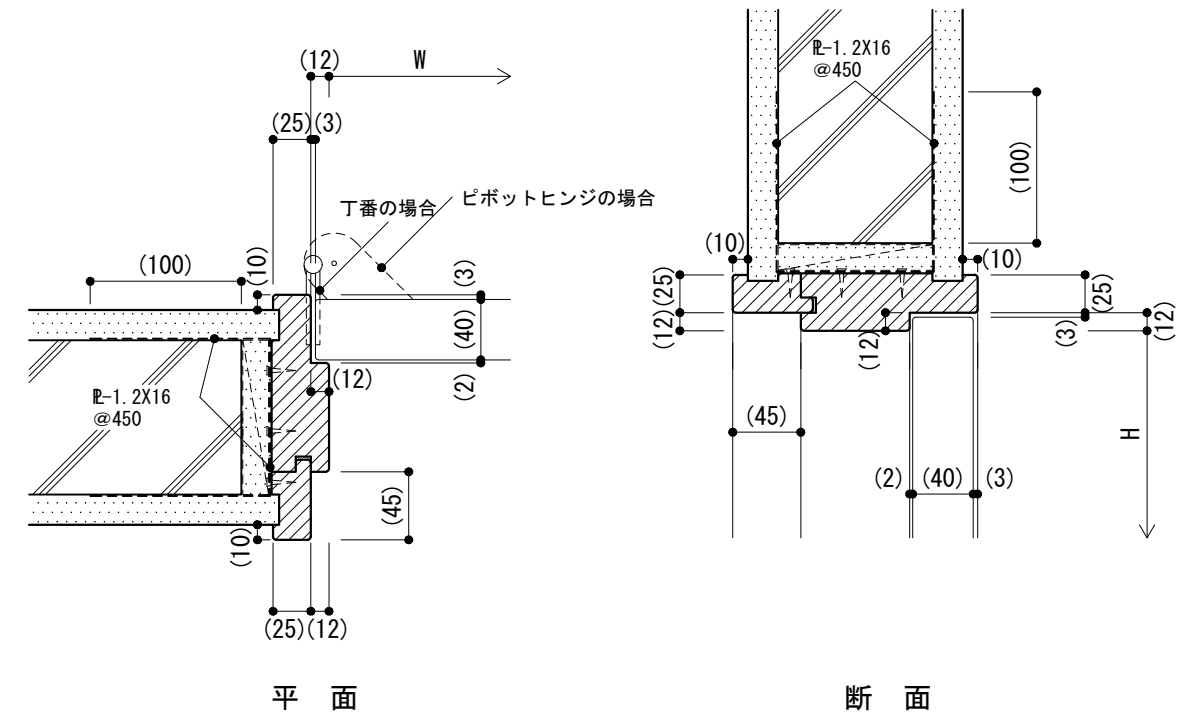
開き戸の標準を示す。引違い、片引き、両引きなどの場合はこれに準ずる。

仕様	特記事項 1) 木製、鋼製及びアルミニウム製の種別 2) 形状、W, W ₁ , H, H ₁ 3) C-1~6, C-17~19で、らんまを設ける場合のH ₂ , らんまの形式 4) C-1~6を連窓とする場合のW(総巾) 5) A-4~6, B-4~6, -8のがらりの形式及び開口率, W ₃ H ₃	図面名称 建具 : 形状寸法	縮尺	4-01
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

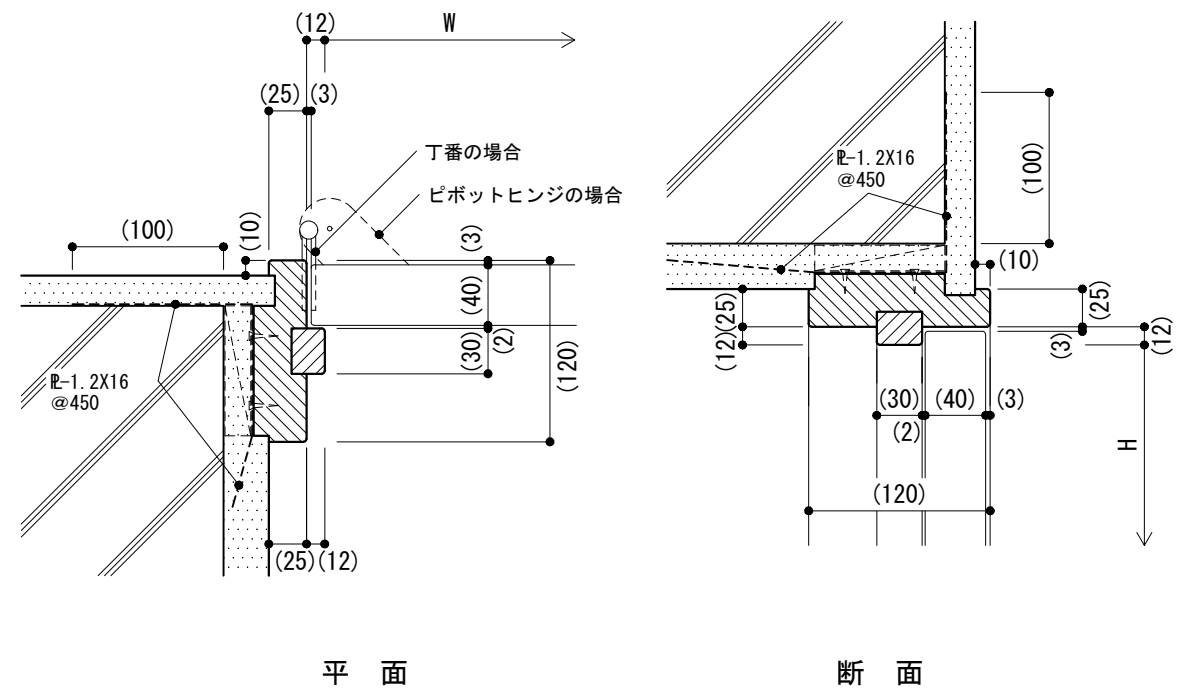
-1 木製建具枠



-2 木製建具枠



-3 木製建具枠



仕様
 1) R-1.2×16の躯体への留め付けはコンクリート釘等で各面2箇所留め付ける。
 2) 取付けは、公共標仕(建)表12.5.1による。

特記事項
 1) 枠の塗装の種別
 2) 扉の見込み寸法

図面名称

建具取合い : 木製建具
 (コンクリート壁の場合)

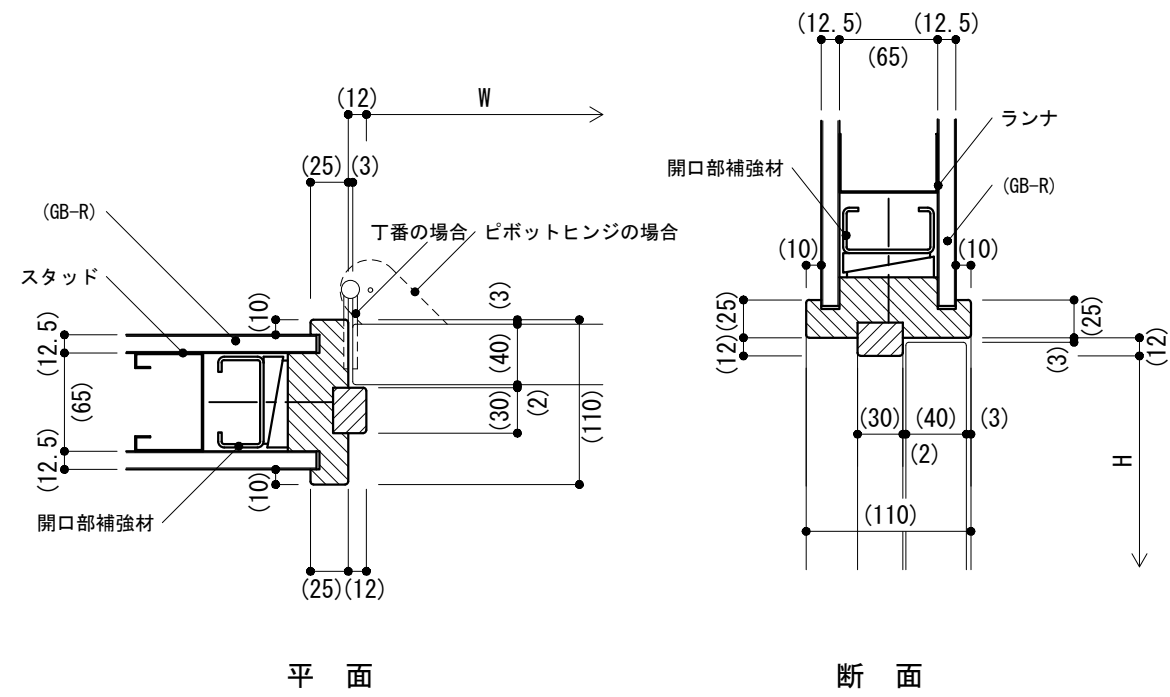
縮尺

1/5

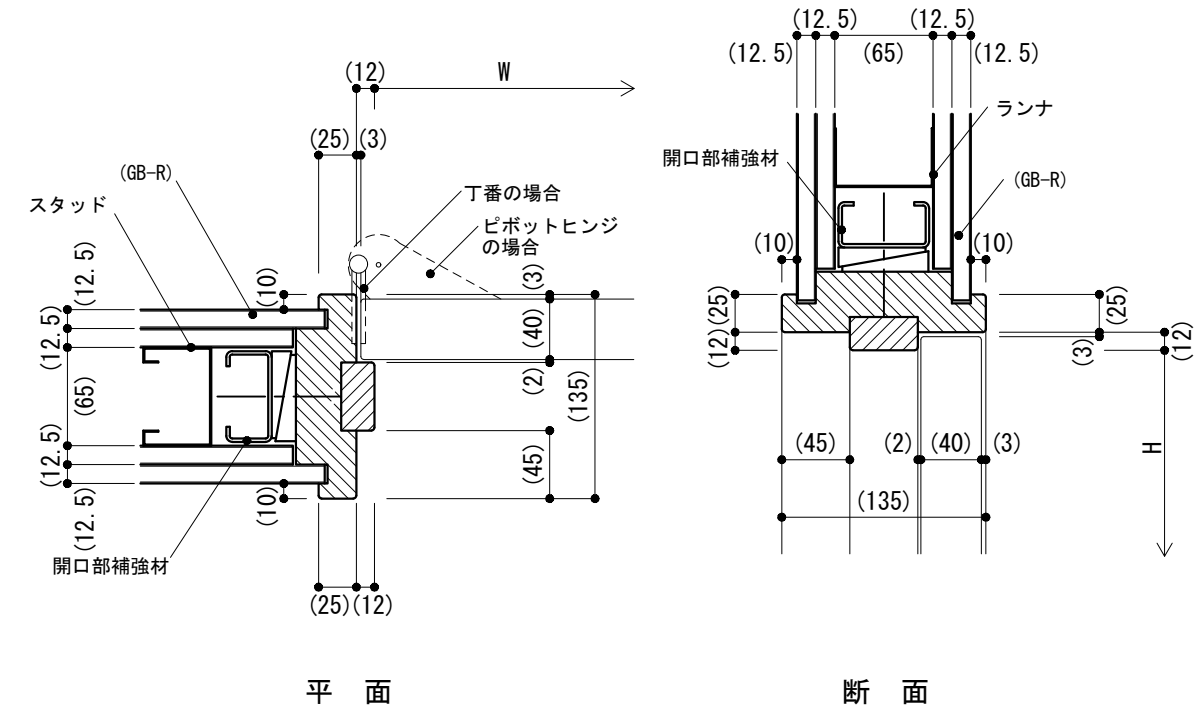
建築工事標準詳細図 令和4年版

4-11

-1 木製建具枠



-2 木製建具枠



仕様
 1) スタッド及び開口部補強材等の断面寸法は、公共標仕(建)表14.5.1の65形の場合を示す。
 2) 取付けは、公共標仕(建)表12.5.1による。

特記事項
 1) 枠の塗装の種別
 2) 扉の見込み寸法

図面名称

建具取合い : 木製建具
 (軽量鉄骨壁の場合)

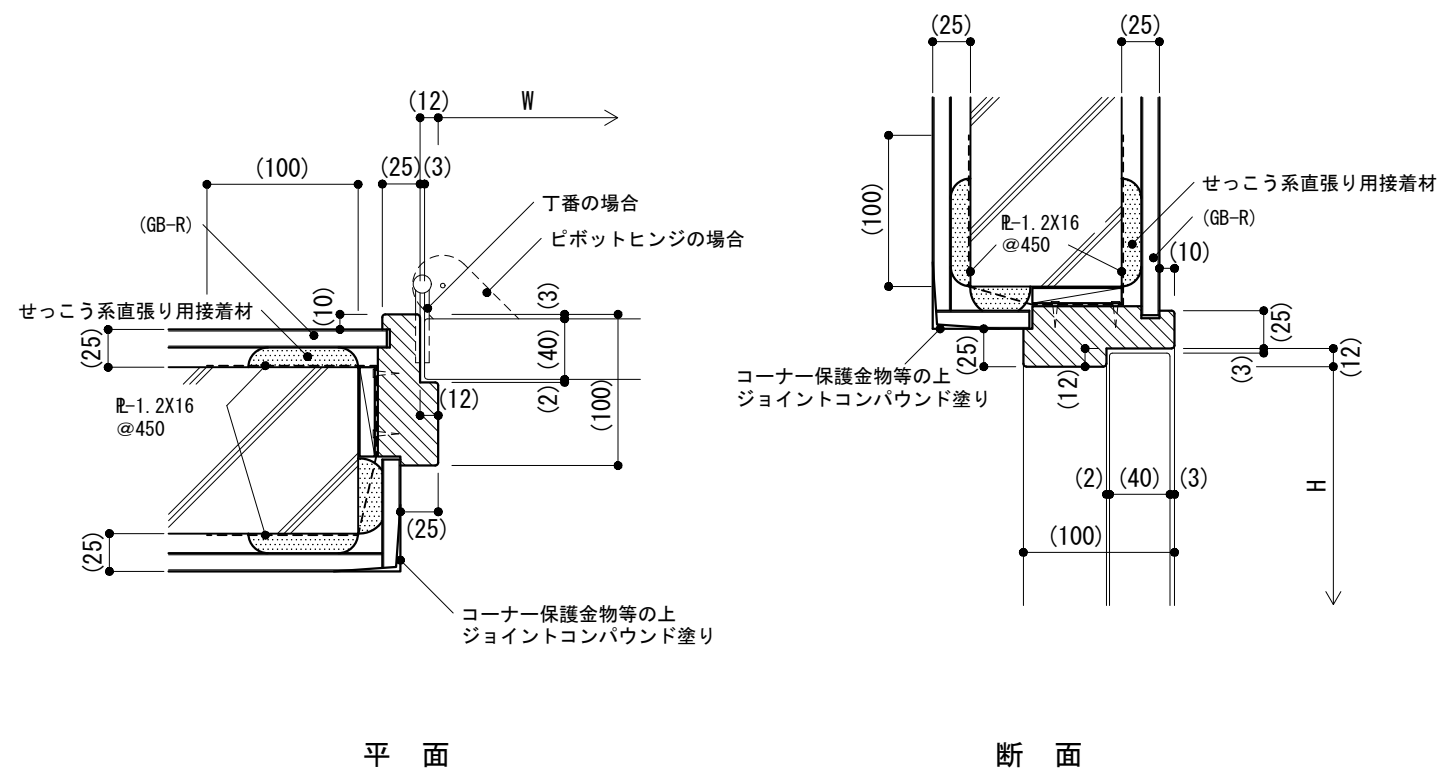
縮尺

1/5

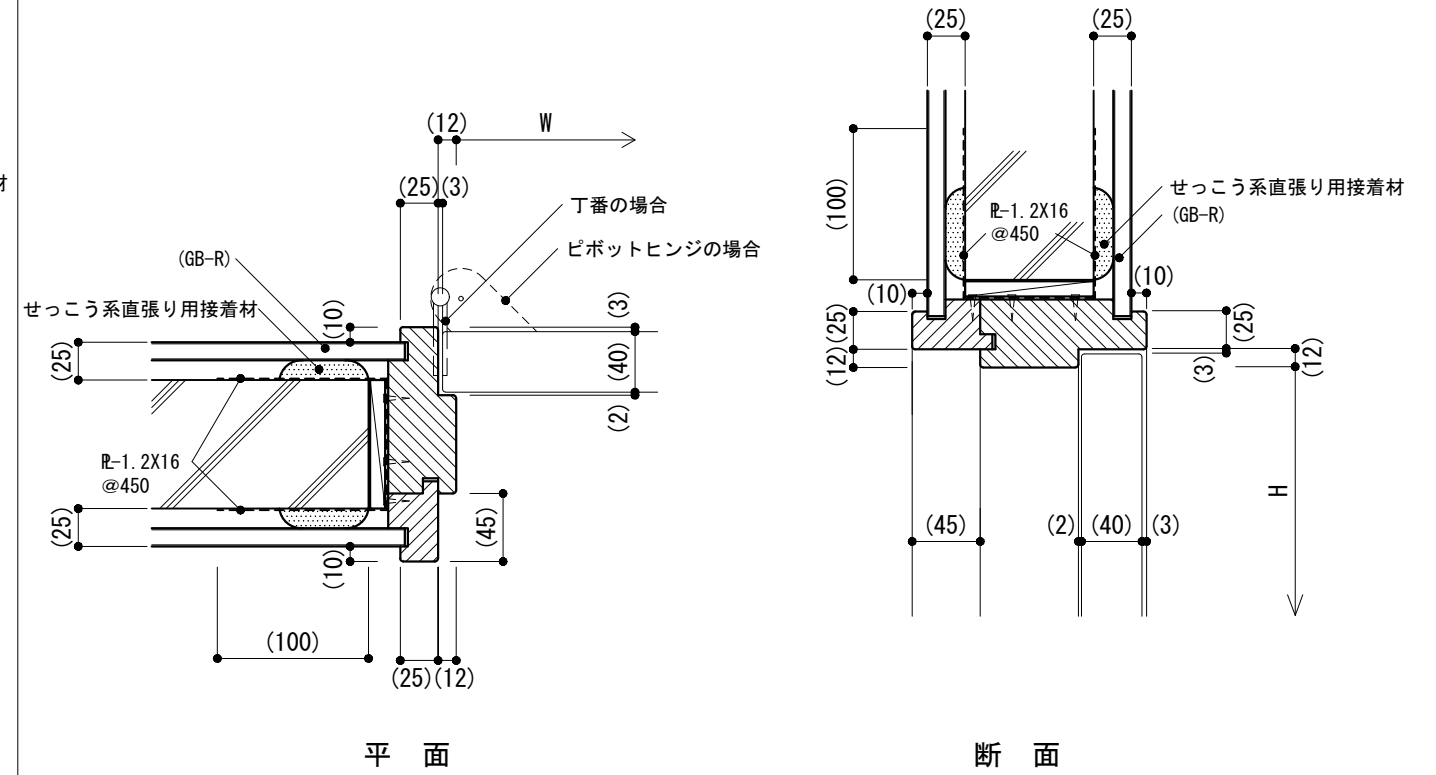
建築工事標準詳細図 令和4年版

4-12

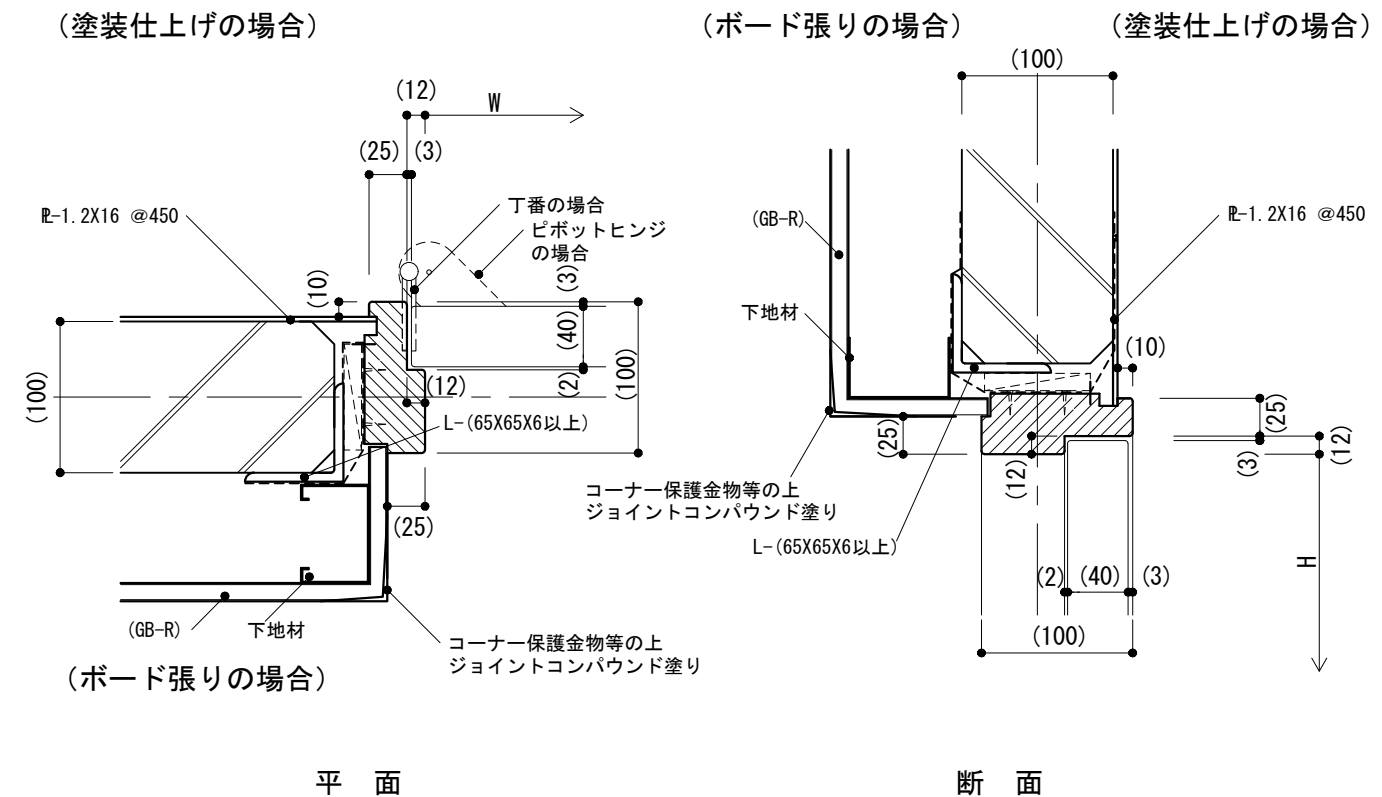
-1 木製建具枠



-2 木製建具枠

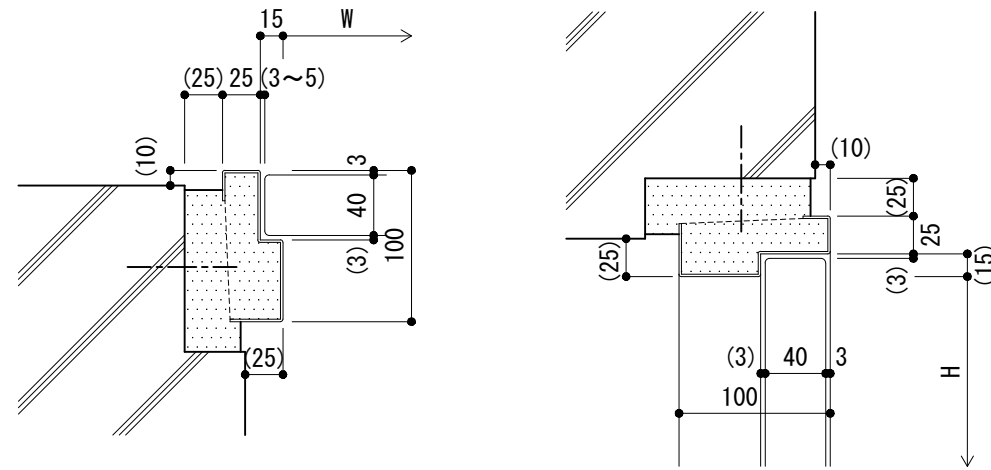


-3 木製建具枠



<p>仕様</p> <p>1) R-1.2×16の留め付けは、-1, -2 コンクリート壁には コンクリート釘等で各面2箇所留め付け、-3ALCパネルには アングルに溶接とする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 枠の塗装の種類 2) 扉の見込み寸法 3) 下地材の種類</p>		<p>図面名称</p> <p>建具取合い：木製建具 (直張り工法及びALCパネルの場合)</p>	
	<p>縮尺</p> <p>1/5</p>			<p>4-13</p>
	<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p>			

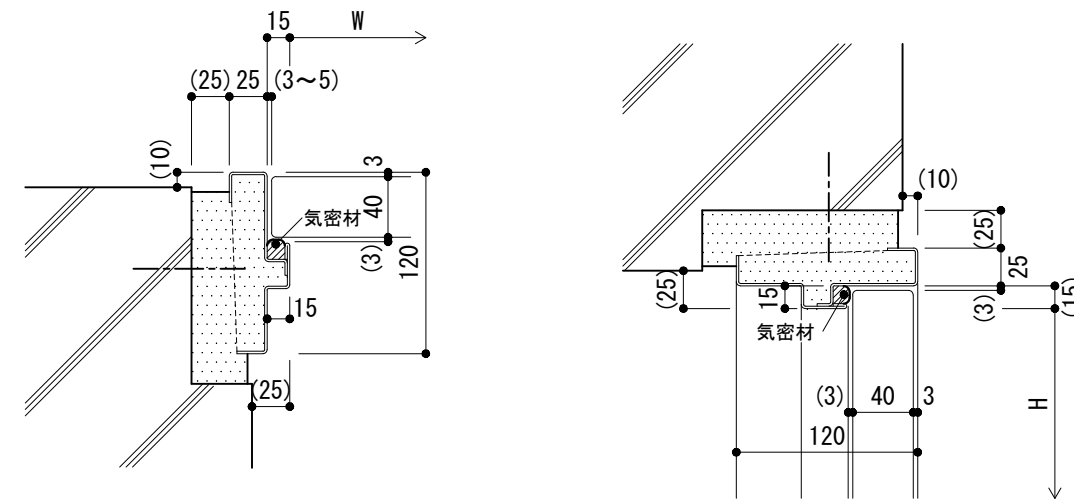
-1 標準型建具枠(鋼製建具)



平面

断面

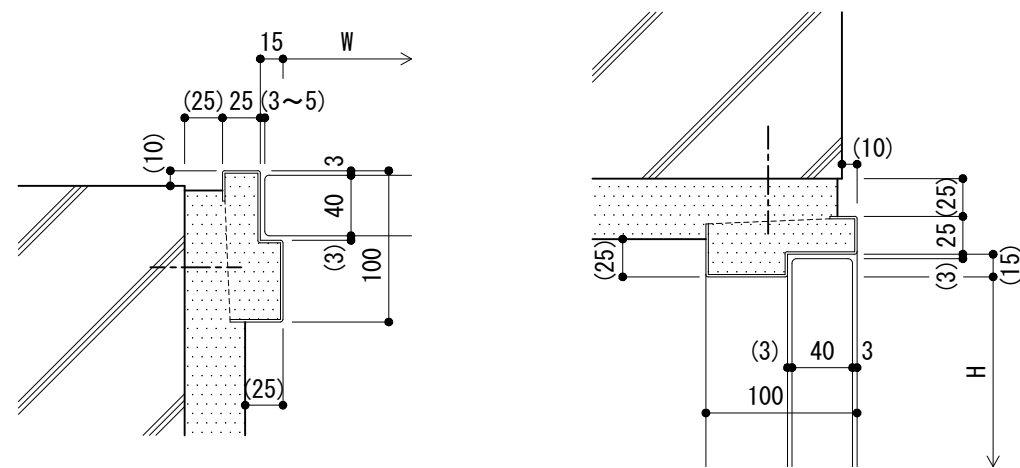
-2 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



平面

断面

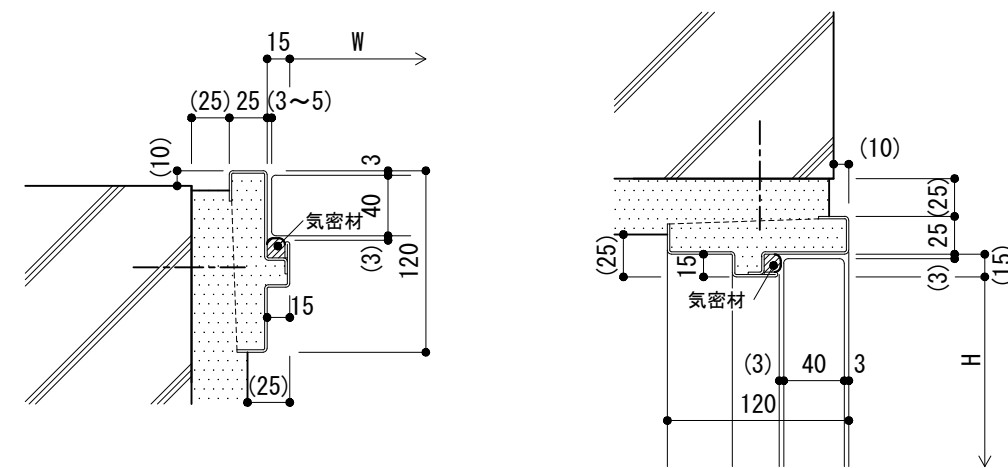
-3 標準型建具枠(鋼製建具)



平面

断面

-4 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



平面

断面

仕様

- 1) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。
- 2) 標準型建具の寸法は4-01による。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種別

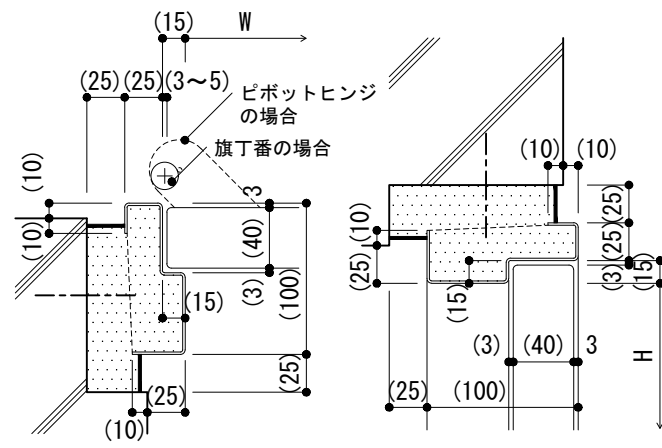
図面名称 建具取合い：標準型鋼製建具
(コンクリート壁打放し仕上げの場合)

縮尺 1/5

建築工事標準詳細図 令和4年版

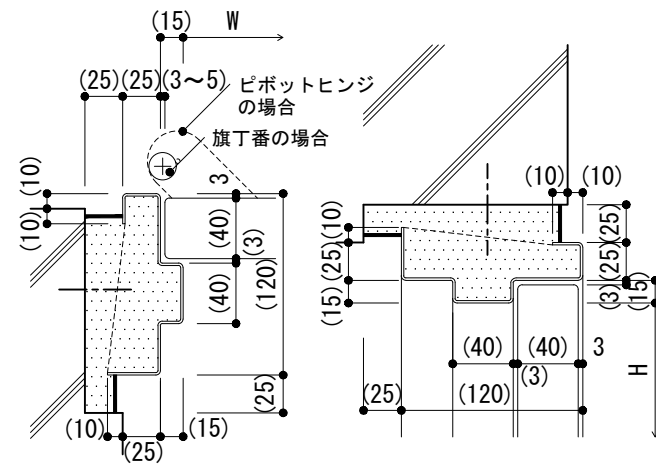
4-21

-1 鋼製建具枠



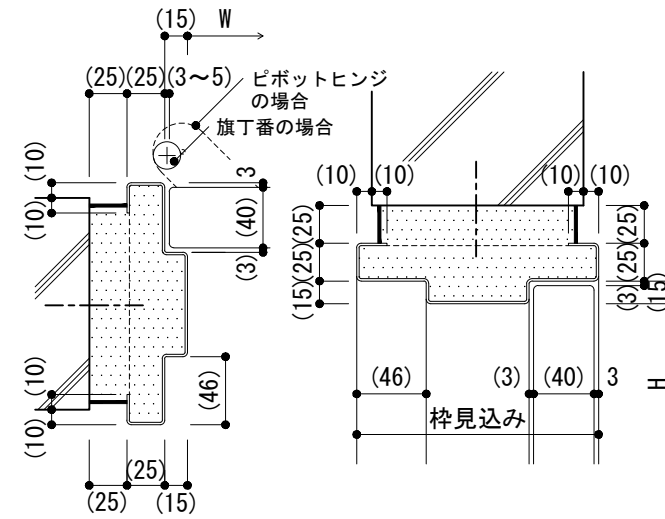
平面 断面

-2 鋼製建具枠



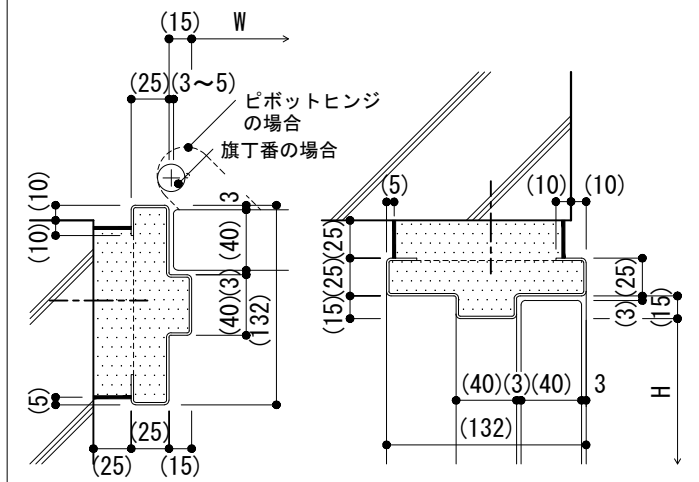
平面 断面

-3 鋼製建具枠



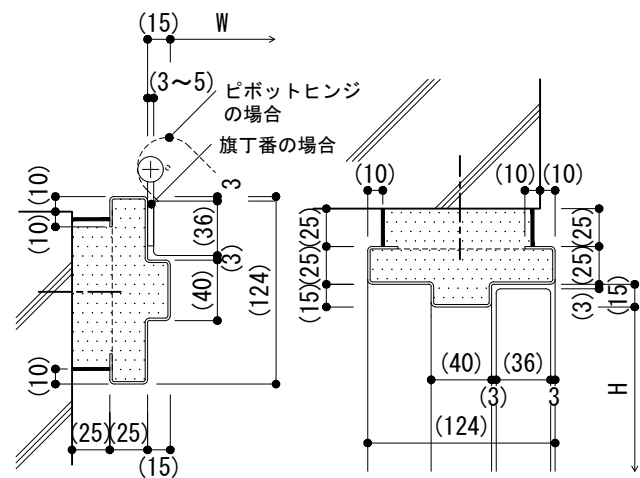
平面 断面

-4 鋼製建具枠



平面 断面

-5 鋼製軽量建具枠



平面 断面

仕様

- 1) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。
- 2) -1~-5で旗丁番を使用する場合は、掘込み、面付けどちらも可とする。
- 3) 順位調整器を取付ける場合の戸当り見込みは、45mmとすることができる。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種別
- 2) 鋼板類の厚さ
(片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)

図面名称

建具取合い：鋼製建具、鋼製軽量建具
(コンクリート壁打放し仕上げの場合)

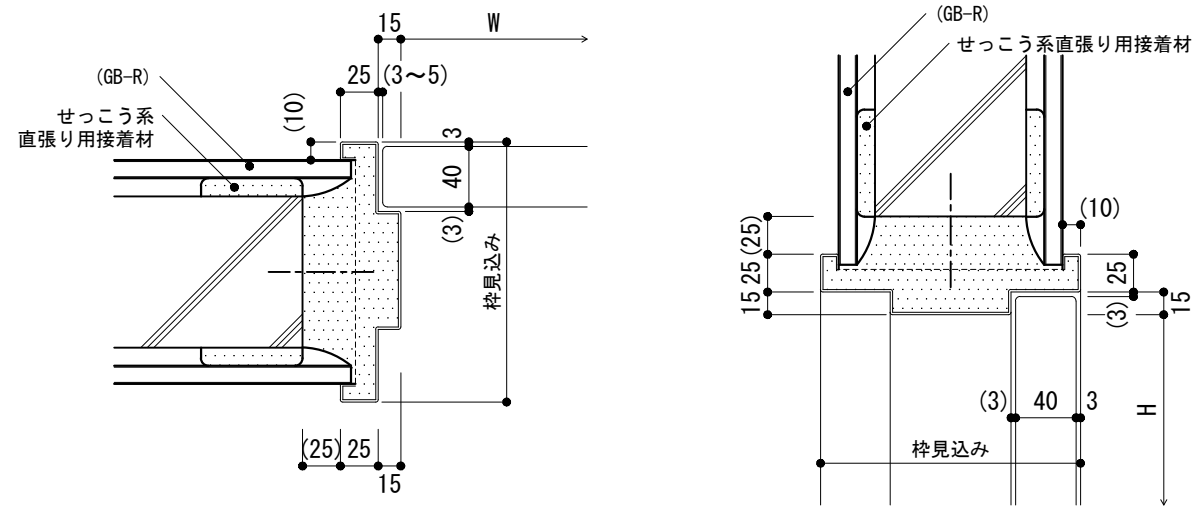
縮尺

1/5

建築工事標準詳細図 令和4年版

4-22

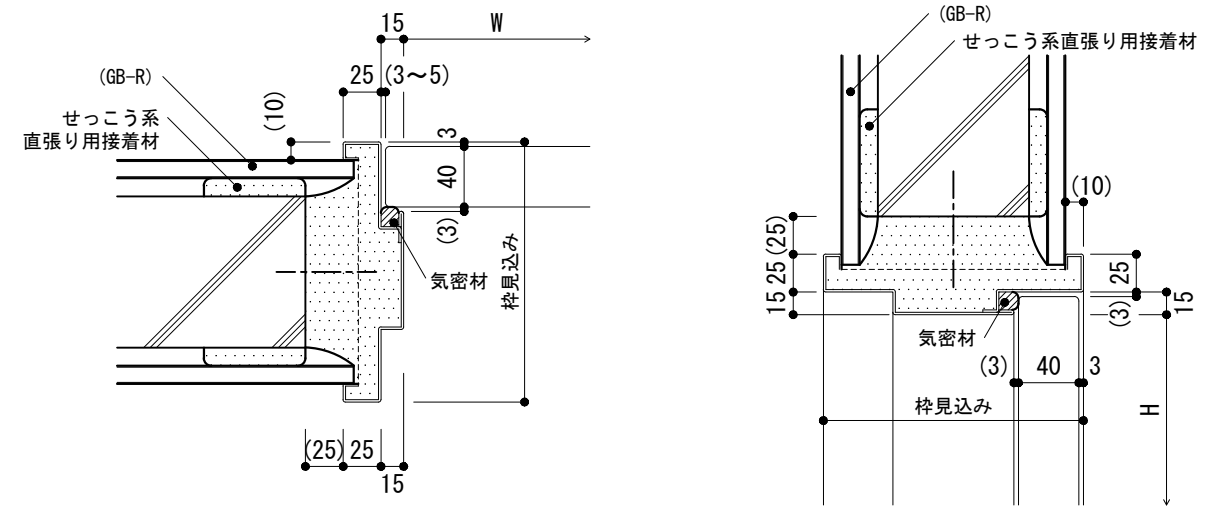
-1 標準型建具枠(鋼製建具)



平面

断面

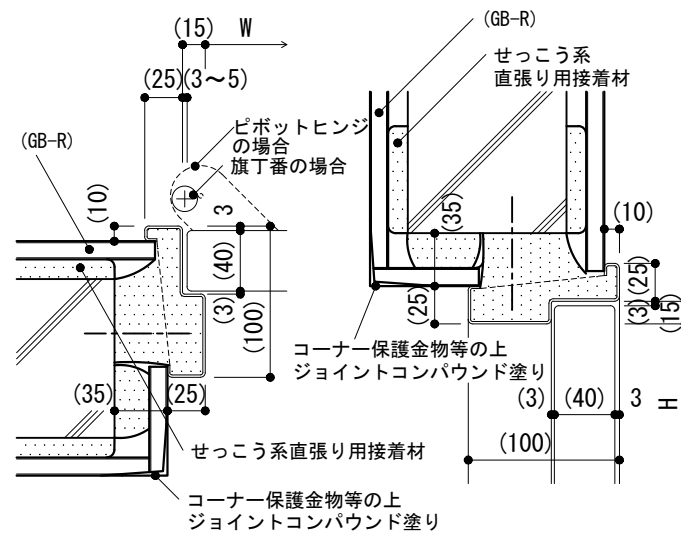
-2 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



平面

断面

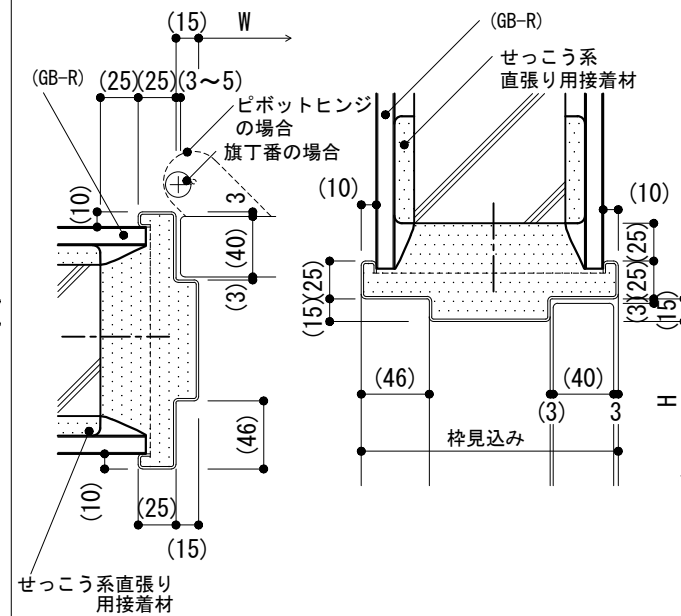
-3 鋼製建具枠



平面

断面

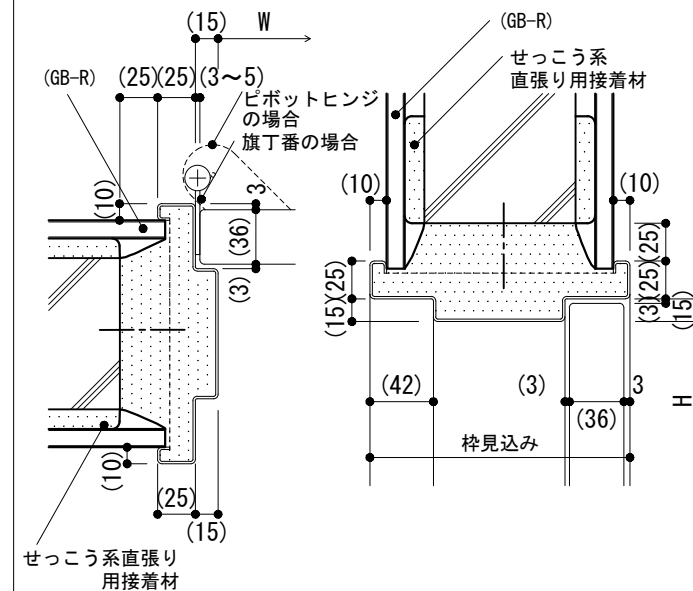
-4 鋼製建具枠



平面

断面

-5 鋼製軽量建具枠



平面

断面

仕様

- 1) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。
- 2) 標準型建具の寸法は4-01による。
- 3) -3, -4で旗丁番を使用する場合は、掘込み、面付けどちらも可とする。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種別
- 2) 鋼板類の厚さ
(片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)

図面名称

建具取合い : 鋼製建具、鋼製軽量建具
(直張り工法の場合)

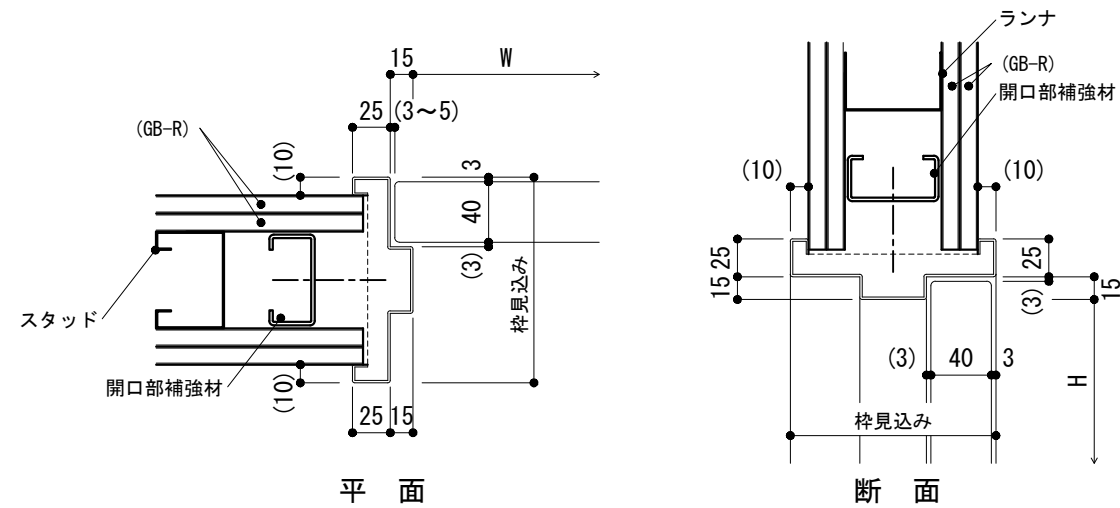
縮尺

1/5

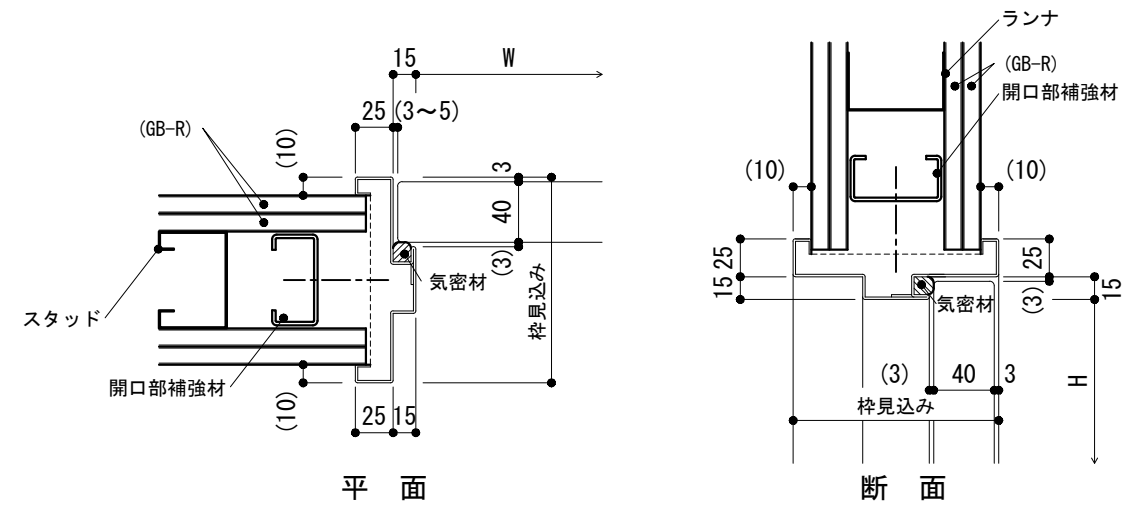
建築工事標準詳細図 令和4年版

4-23

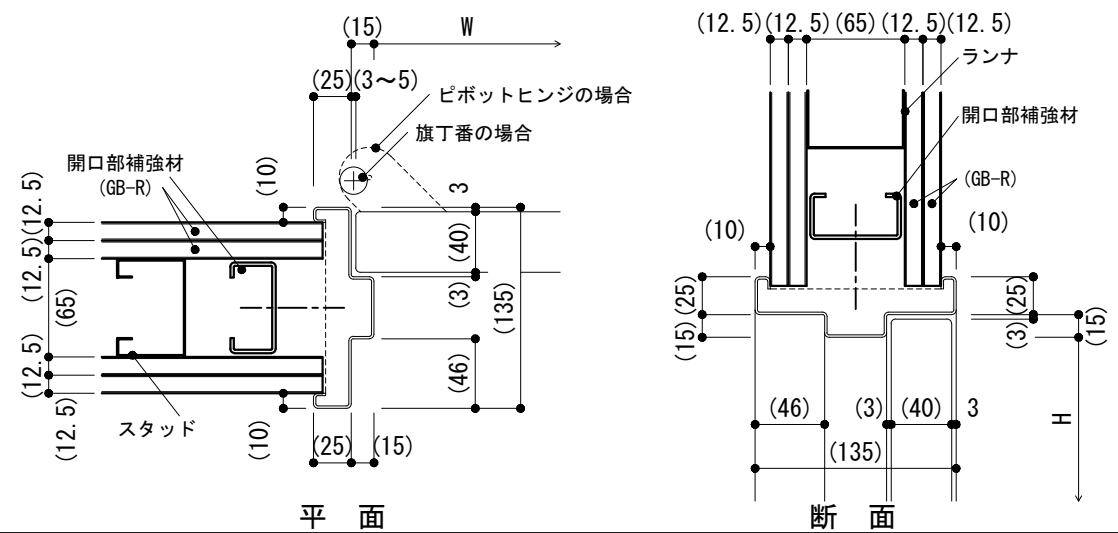
-1 標準型建具枠(鋼製建具)



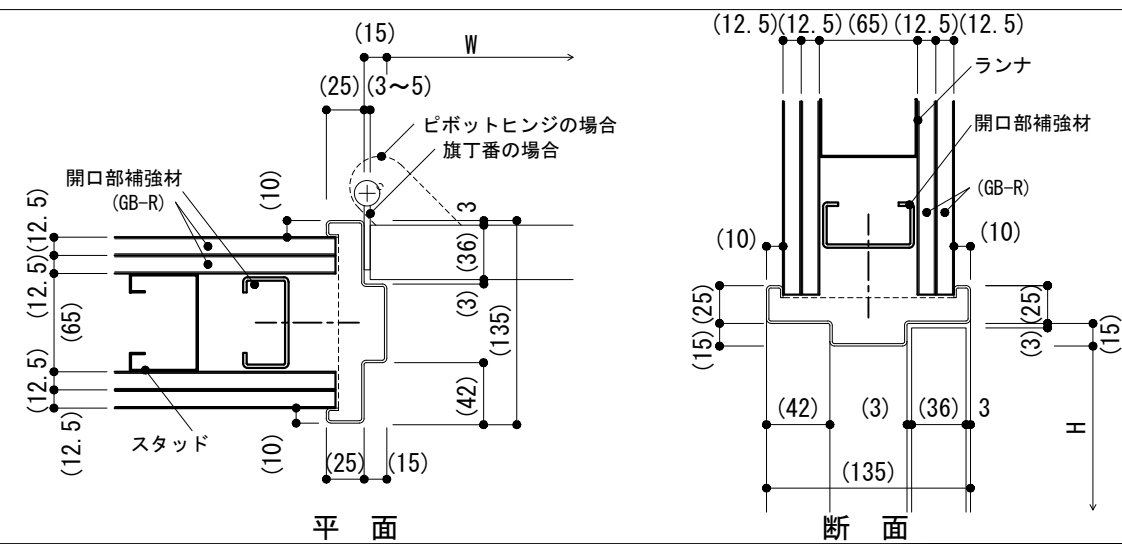
-2 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



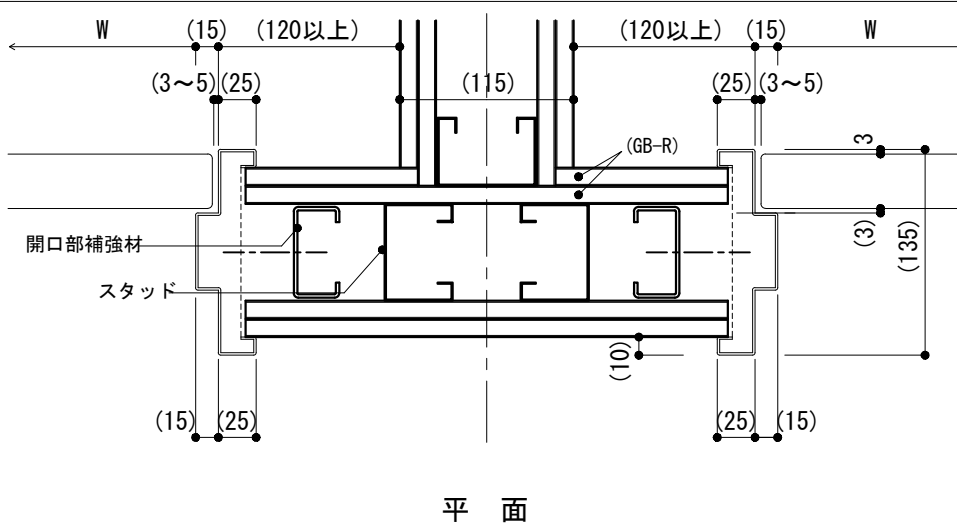
-3 鋼製建具枠



-4 鋼製軽量建具枠



-5 T型壁部 建具枠納まり



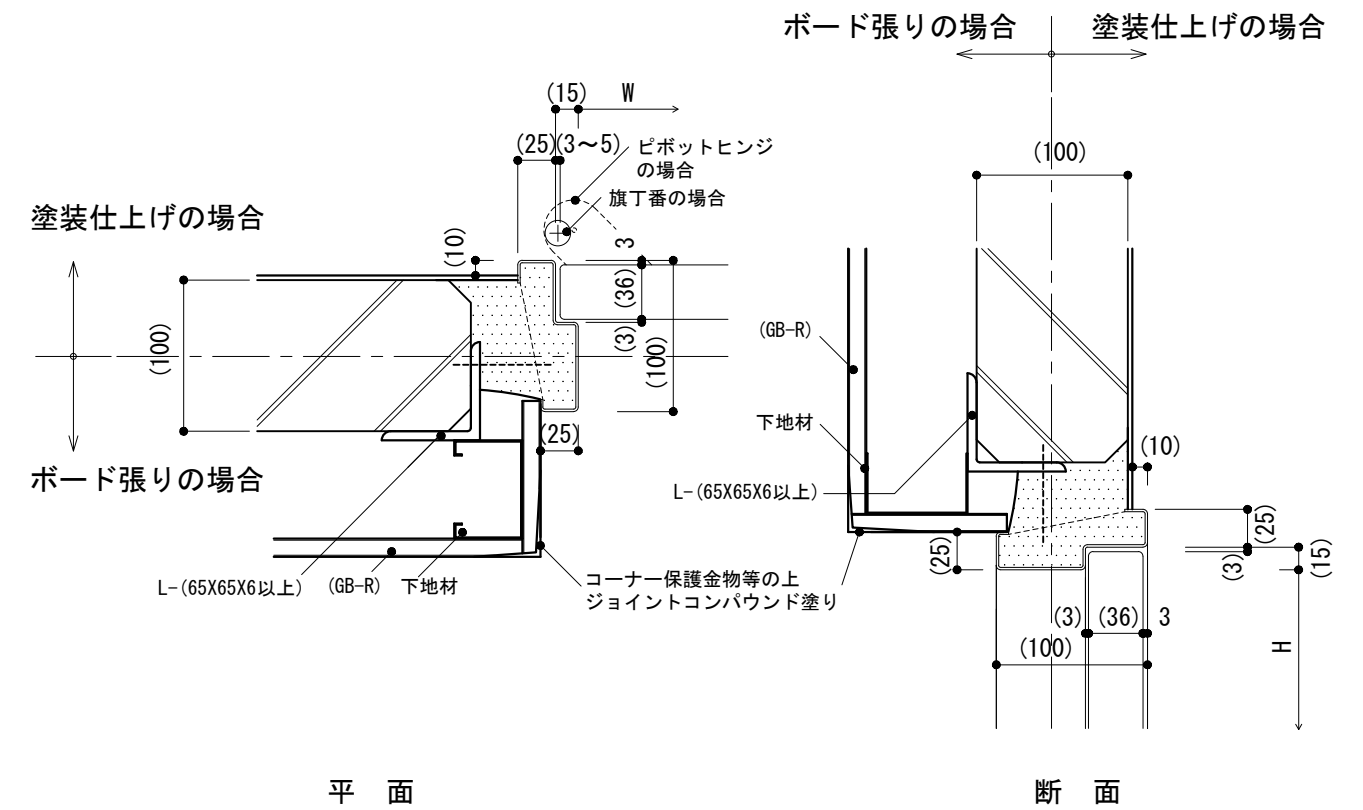
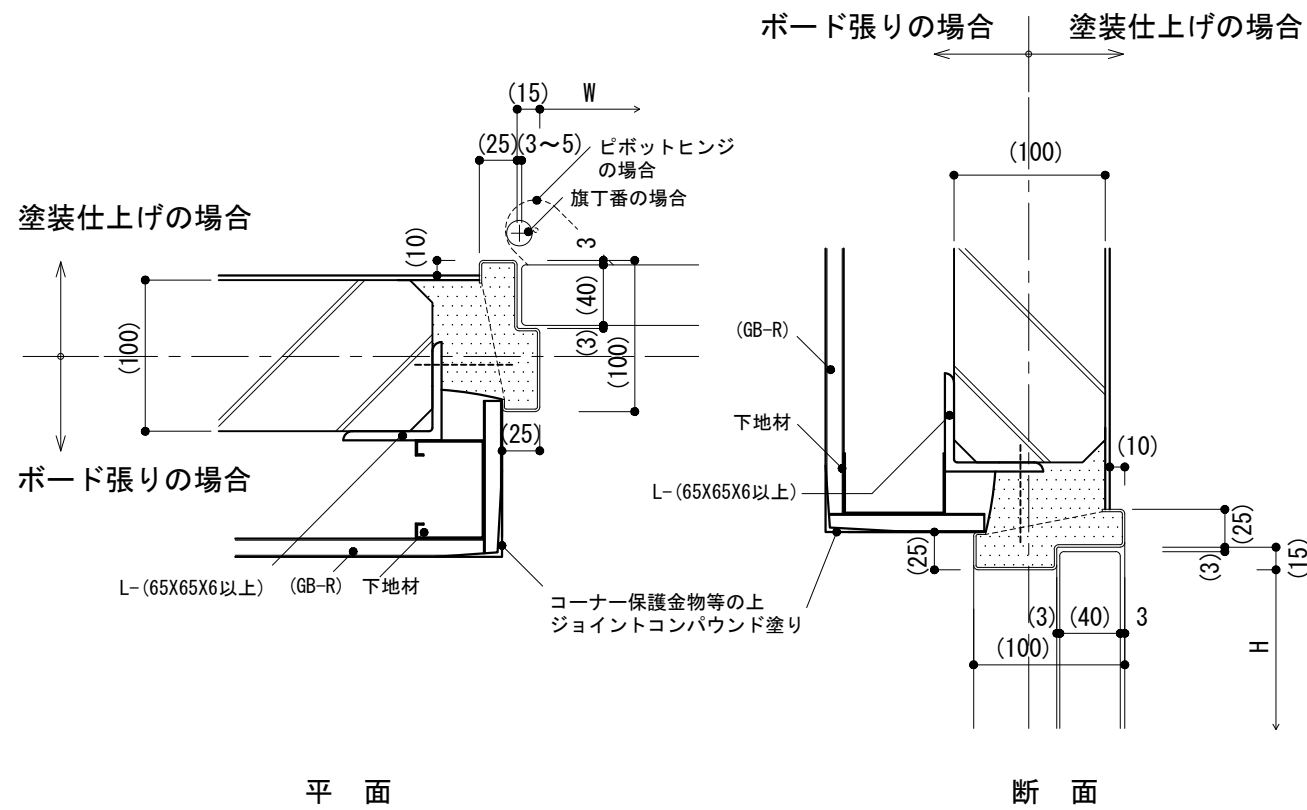
仕様
 1) スタッド及び開口部補強材等の断面寸法は、公共標仕(建)表14.5.1の65形の場合を示す。
 2) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。
 3) 標準型建具の寸法は4-01による。
 4) -3で旗丁番を使用する場合は、掘込み、面付けどちらも可とする。

特記事項
 1) 枠の塗装の種別
 2) 鋼板類の厚さ
 (片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)

図面名称	建具取合い : 鋼製建具, 鋼製軽量建具 (軽量鉄骨壁の場合)	
縮尺	1/5	4-24
建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 鋼製建具枠

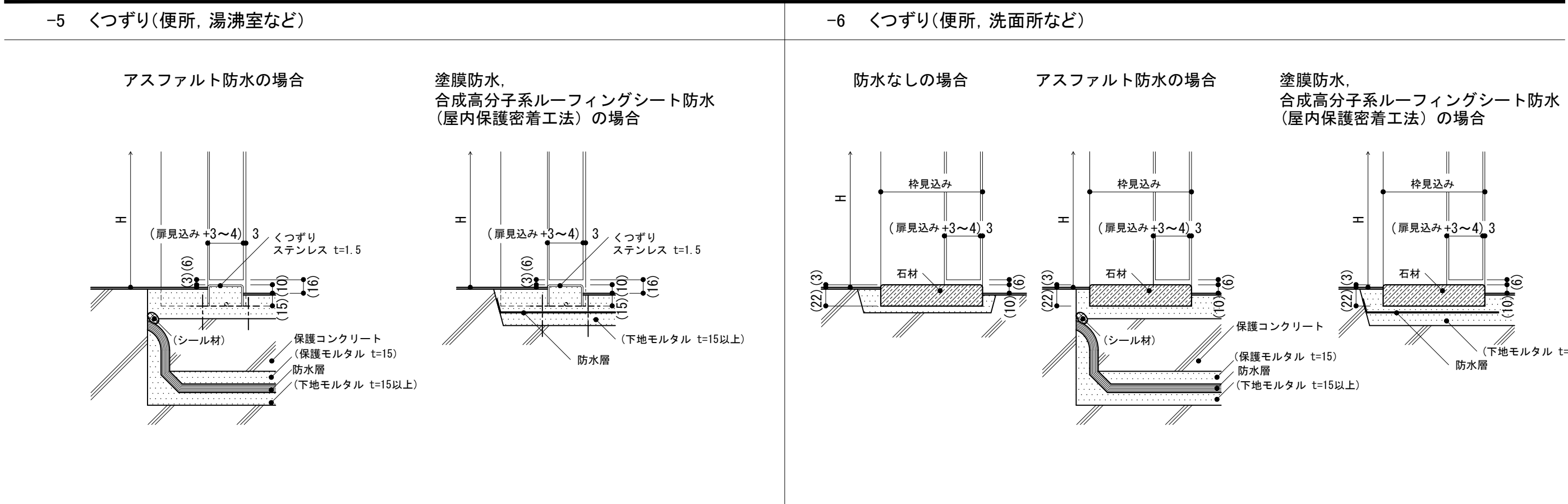
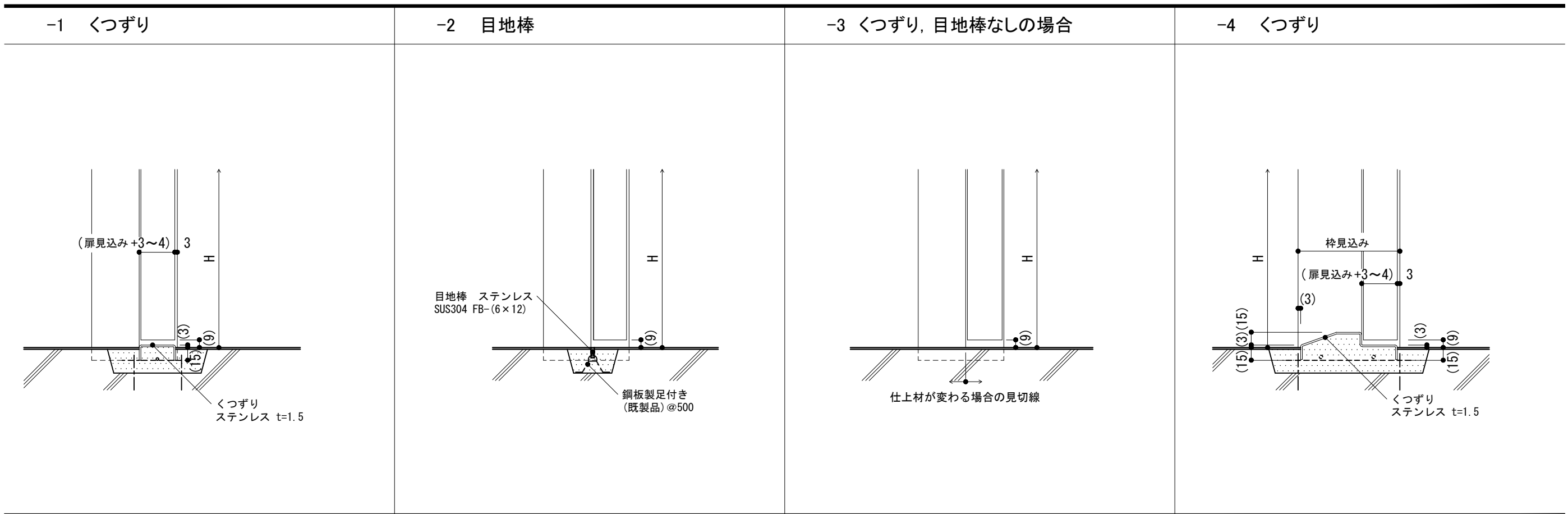
-2 鋼製軽量建具枠



仕様
 1) ALCパネルは、公共標仕(建)表8.4.3のE種を表わしている。
 2) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。
 3) -1で旗丁番を使用する場合は、掘込み、面付けどちらも可とする。

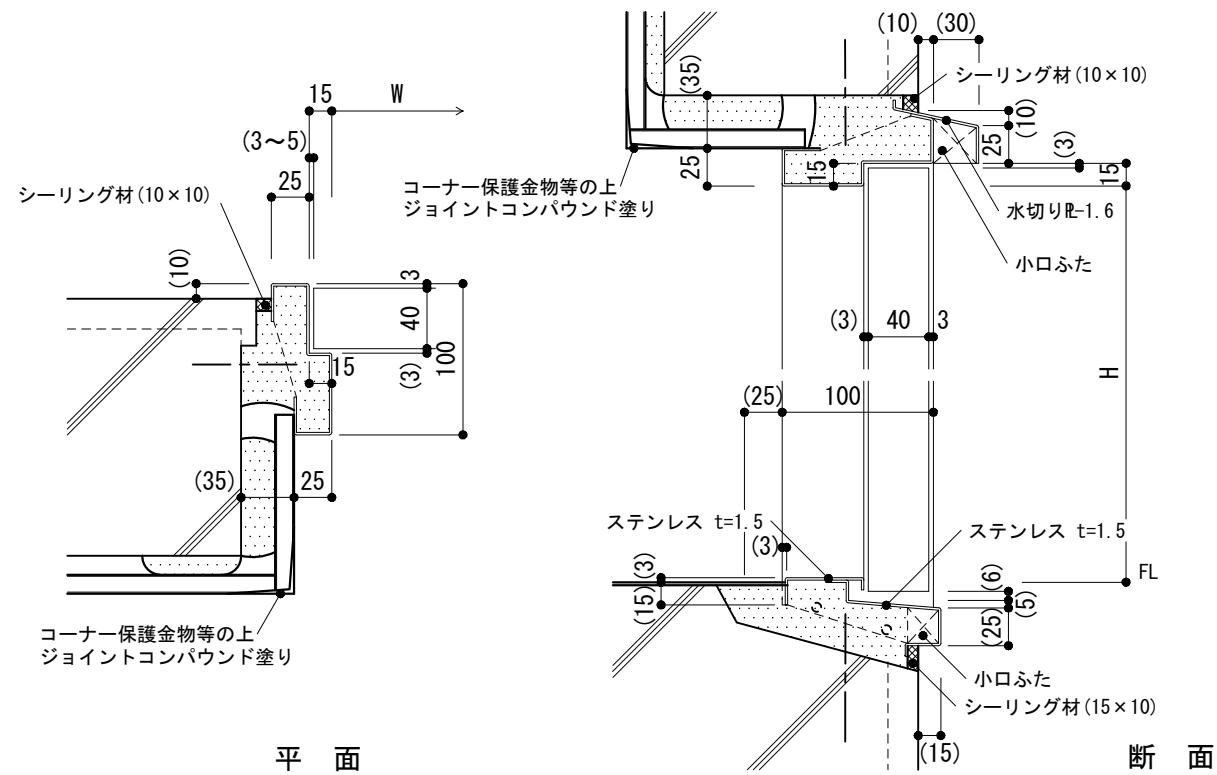
特記事項
 1) 枠の塗装の種別
 2) 鋼板類の厚さ
 (片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)
 3) 下地材の種類

図面名称	建具取合い：鋼製建具，鋼製軽量建具 (ALCパネルの場合)	
縮尺	1/5	4-25
建築工事標準詳細図 令和4年版		

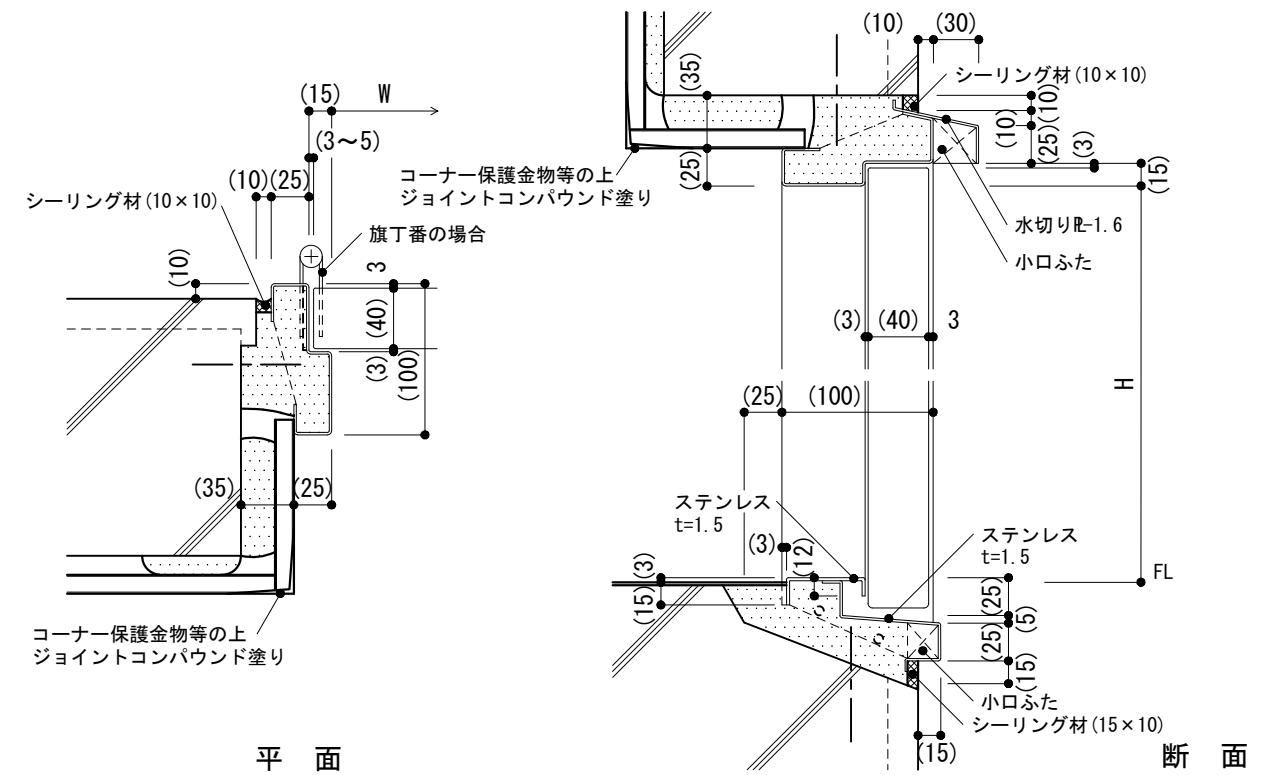


<p>仕様</p>	<p>特記事項</p> <ol style="list-style-type: none"> -1,-4,-5のくつずり厚さ, 種別 (片開き, 親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合) -1,-4,-5のステンレスの種別 -6の石材の種類, 表面仕上げ -5, -6の防水層の種類 		<table border="1"> <tr> <td>図面名称</td> <td colspan="2">建具取合い : 内部用くつずり等</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>1/5</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; text-align: center;">4-31</td> </tr> <tr> <td colspan="2">建築工事標準詳細図 令和4年版</td> </tr> </table>	図面名称	建具取合い : 内部用くつずり等		縮尺	1/5	4-31	建築工事標準詳細図 令和4年版	
図面名称	建具取合い : 内部用くつずり等										
縮尺	1/5	4-31									
建築工事標準詳細図 令和4年版											

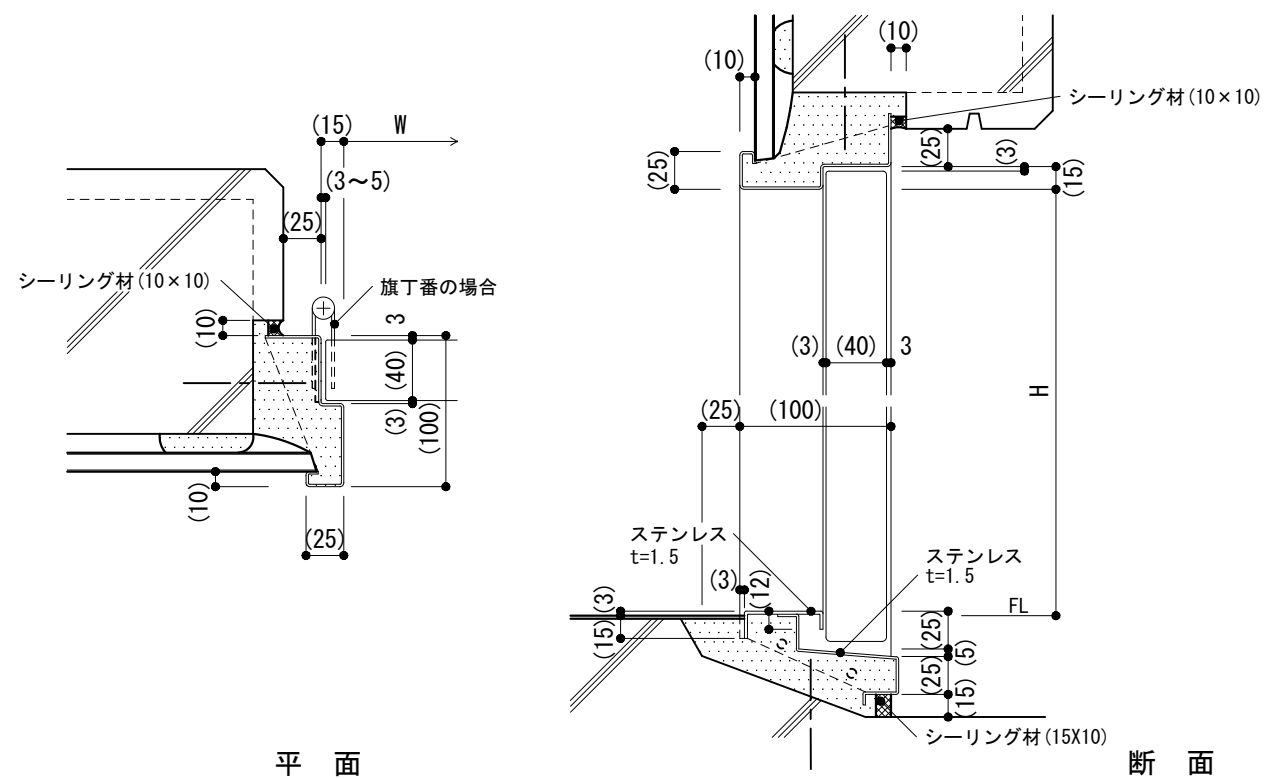
-1 標準型建具枠(鋼製建具)



-2 鋼製建具枠



-3 鋼製建具枠

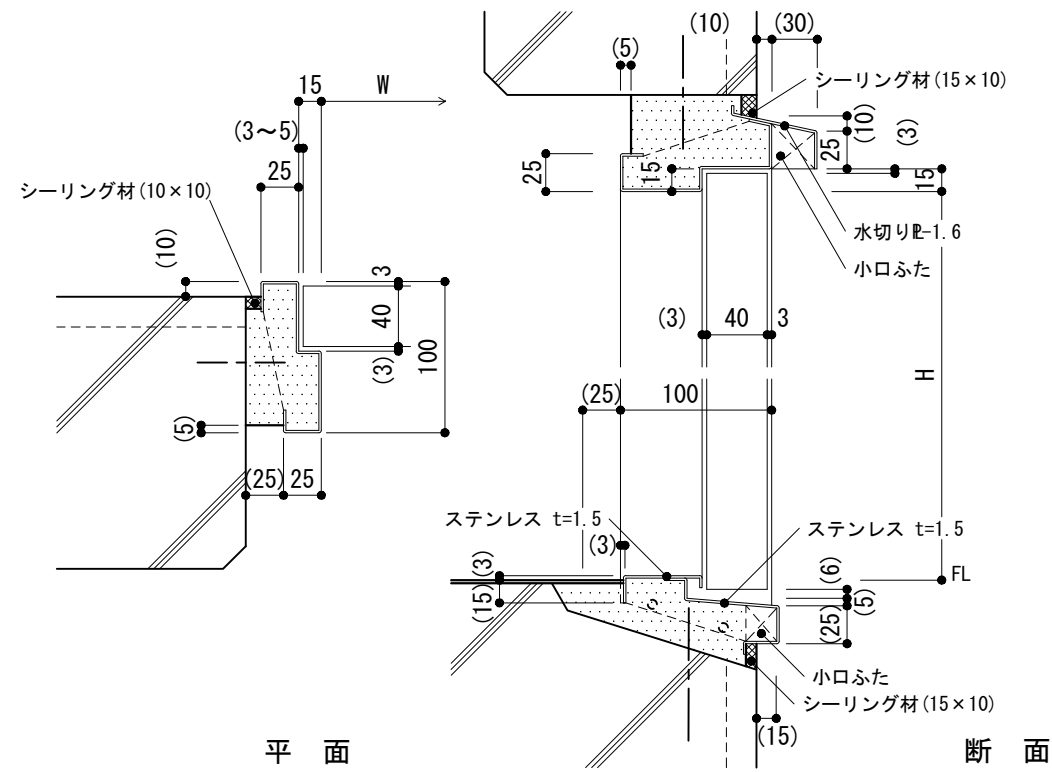


仕様
 1) 標準型建具の寸法は4-01による。
 2) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。
 3) -2,-3で旗丁番を使用する場合は、掘込み、面付けどちらも可とする。

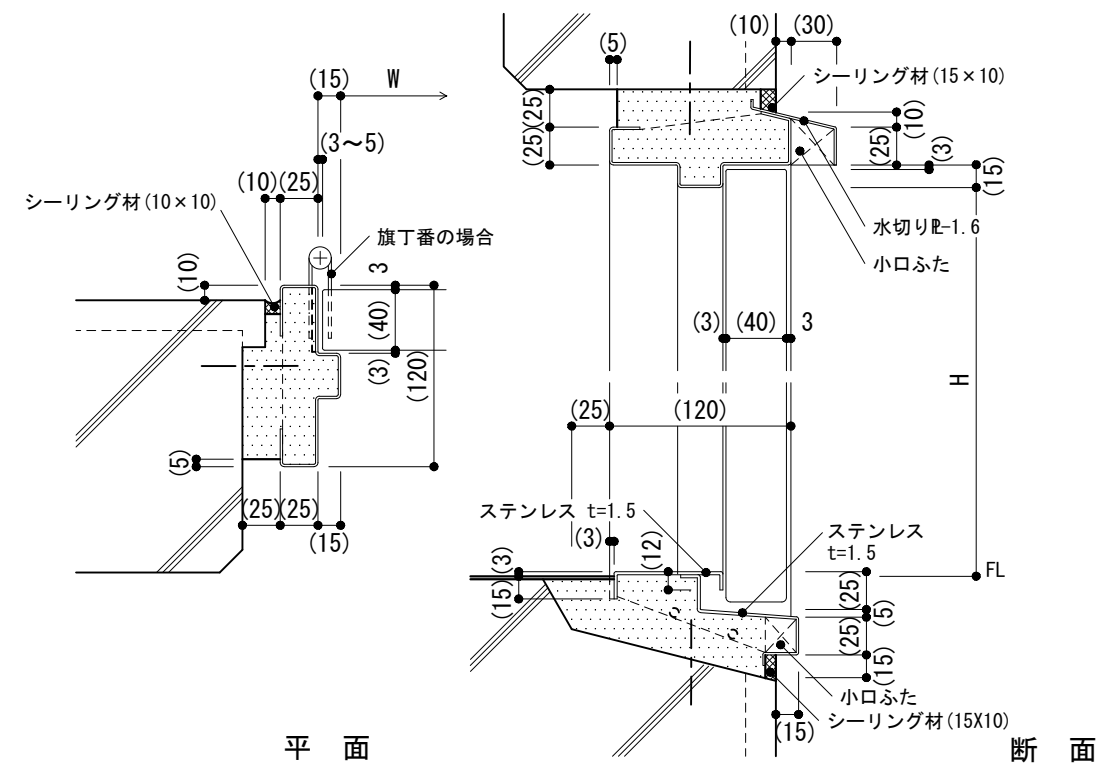
特記事項
 1) 枠の塗装の種別
 2) 鋼板類の厚さ
 (片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)
 3) ステンレスの種別

図面名称	建具取合い：鋼製建具(外部用) (内部直張り工法の場合)	
縮尺	1/5	4-41
建築工事標準詳細図 令和4年版		

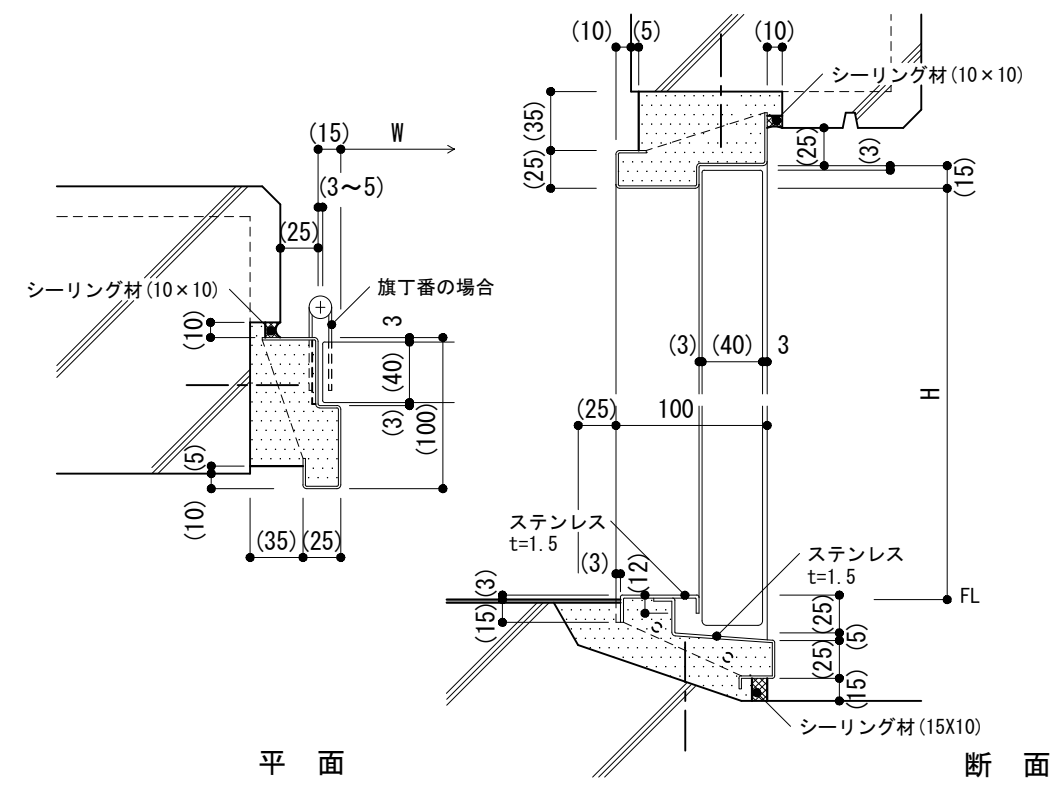
-1 標準型建具枠(鋼製建具)



-2 鋼製建具枠

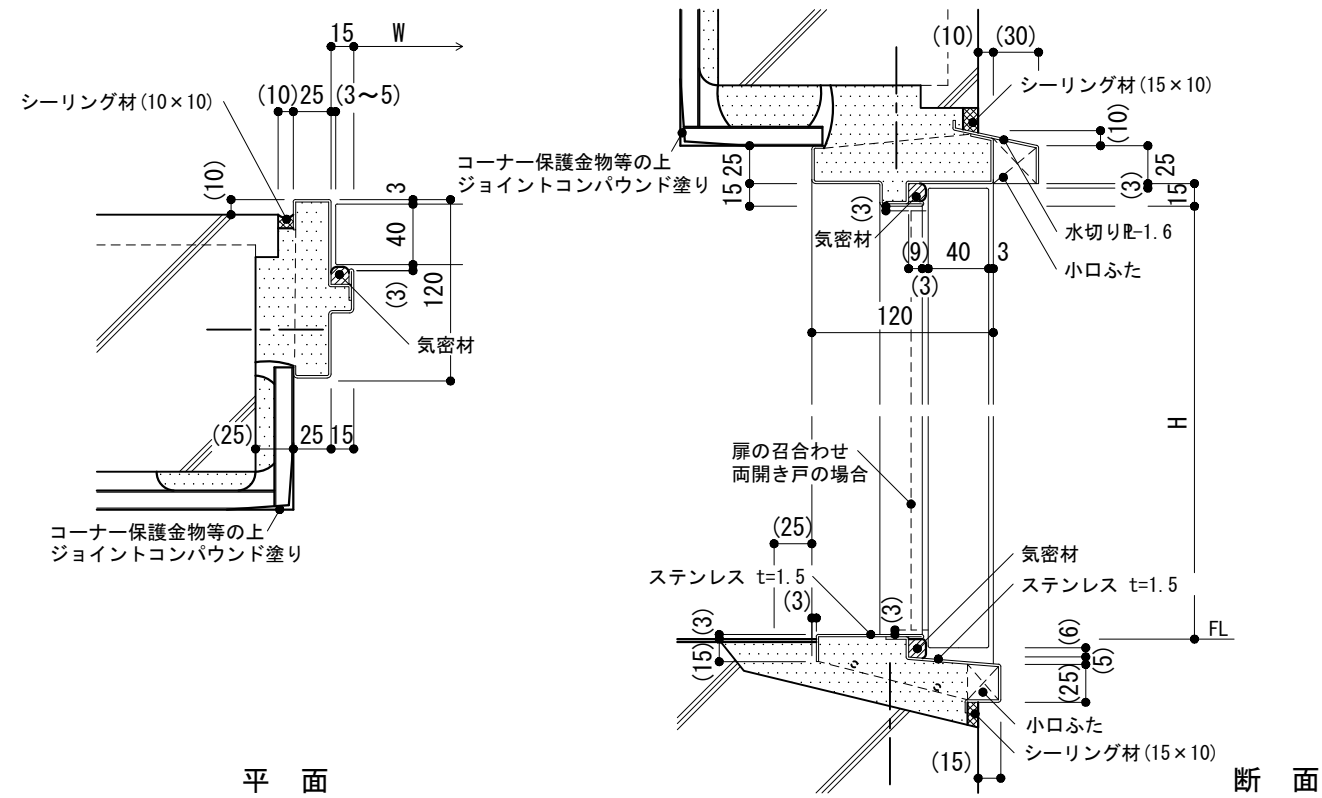


-3 鋼製建具枠

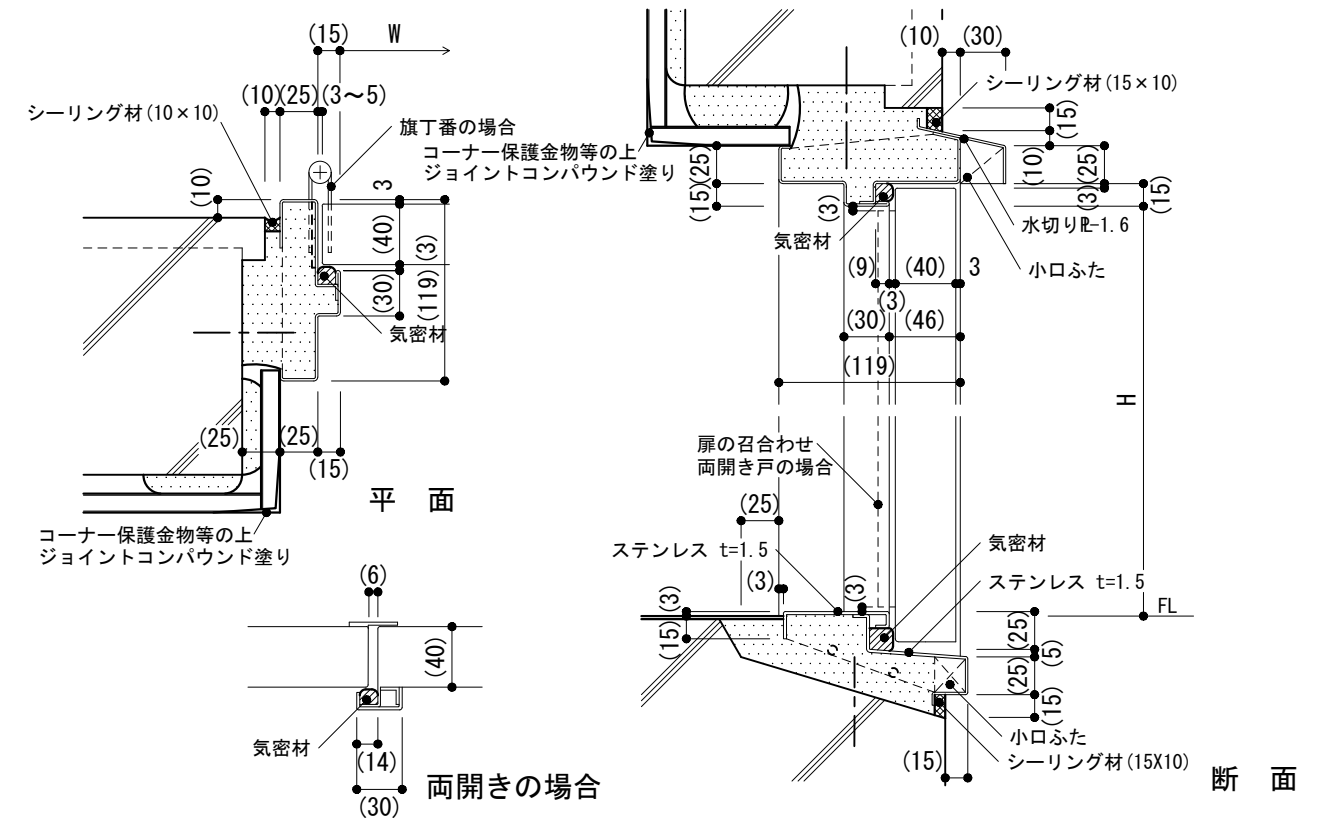


<p>仕様</p> <p>1) 標準型建具の寸法は4-01による。</p> <p>2) 戸当りゴムは、片開きの場合には縦枠、両開きの場合には上枠に取り付ける。</p> <p>3) -2, -3で旗丁番を使用する場合は、掘込み、面付けどちらも可とする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 枠の塗装の種別</p> <p>2) 鋼板類の厚さ (片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)</p> <p>3) ステンレスの種別</p>	図面名称	建具取合い : 鋼製建具(外部用) (内部打放し仕上げの場合)	
		縮尺	1/5	
		建築工事標準詳細図 令和4年版		4-42

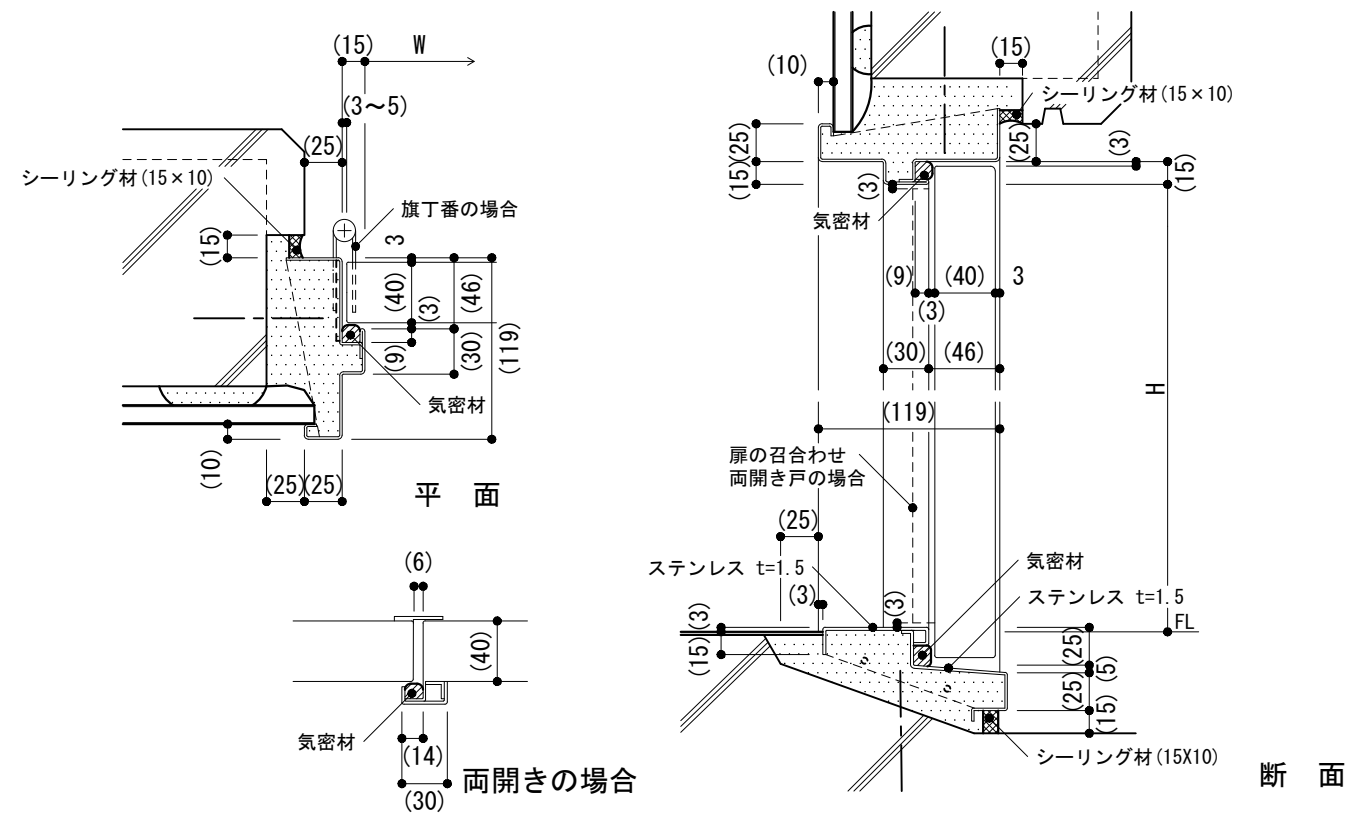
-1 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



-2 簡易気密型鋼製建具枠



-3 簡易気密型鋼製建具枠



仕様

- 1) 標準型建具の寸法は4-01による。
- 2) -2, -3で旗丁番を使用する場合は、掘込み、面付けどちらも可とする。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種別
- 2) 鋼板類の厚さ
(片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)
- 3) ステンレスの種別

図面名称

建具取合い:簡易気密型鋼製建具(外部用)
(内部直張り工法の場合)

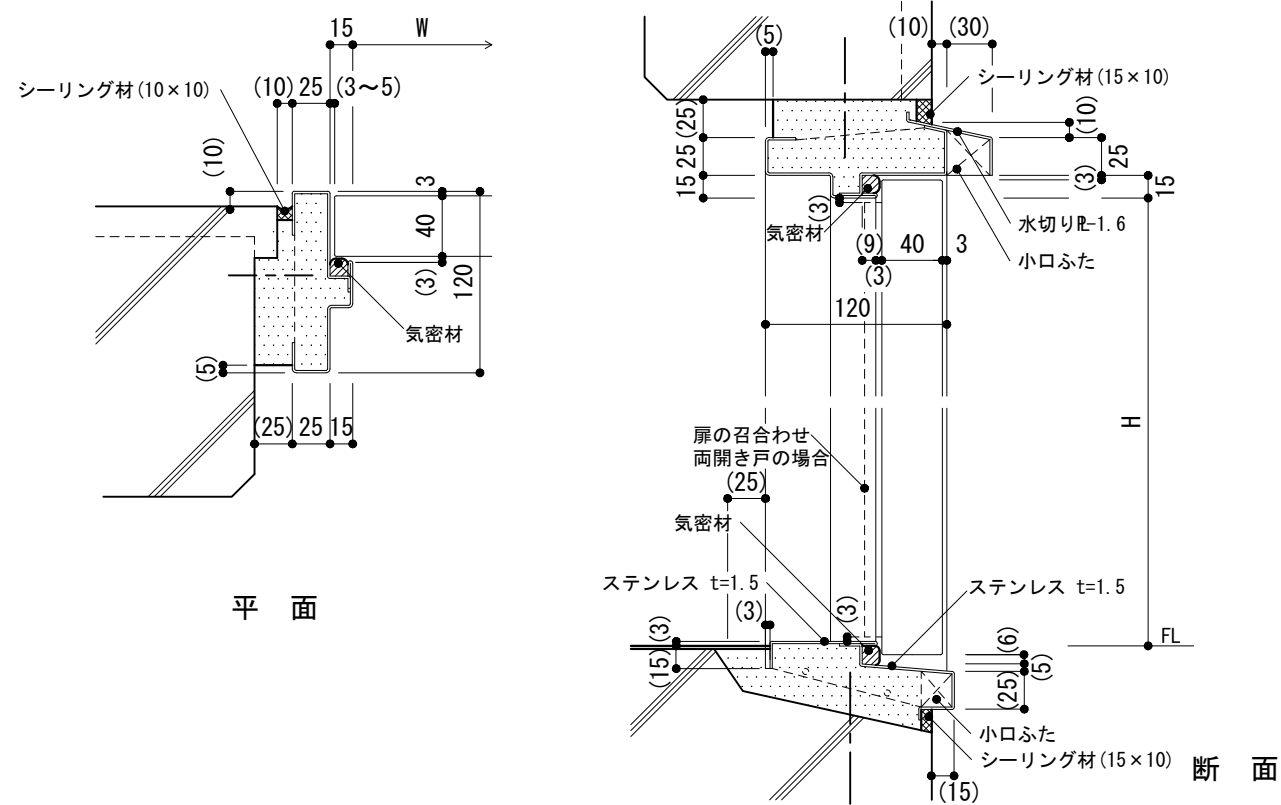
縮尺

1/5

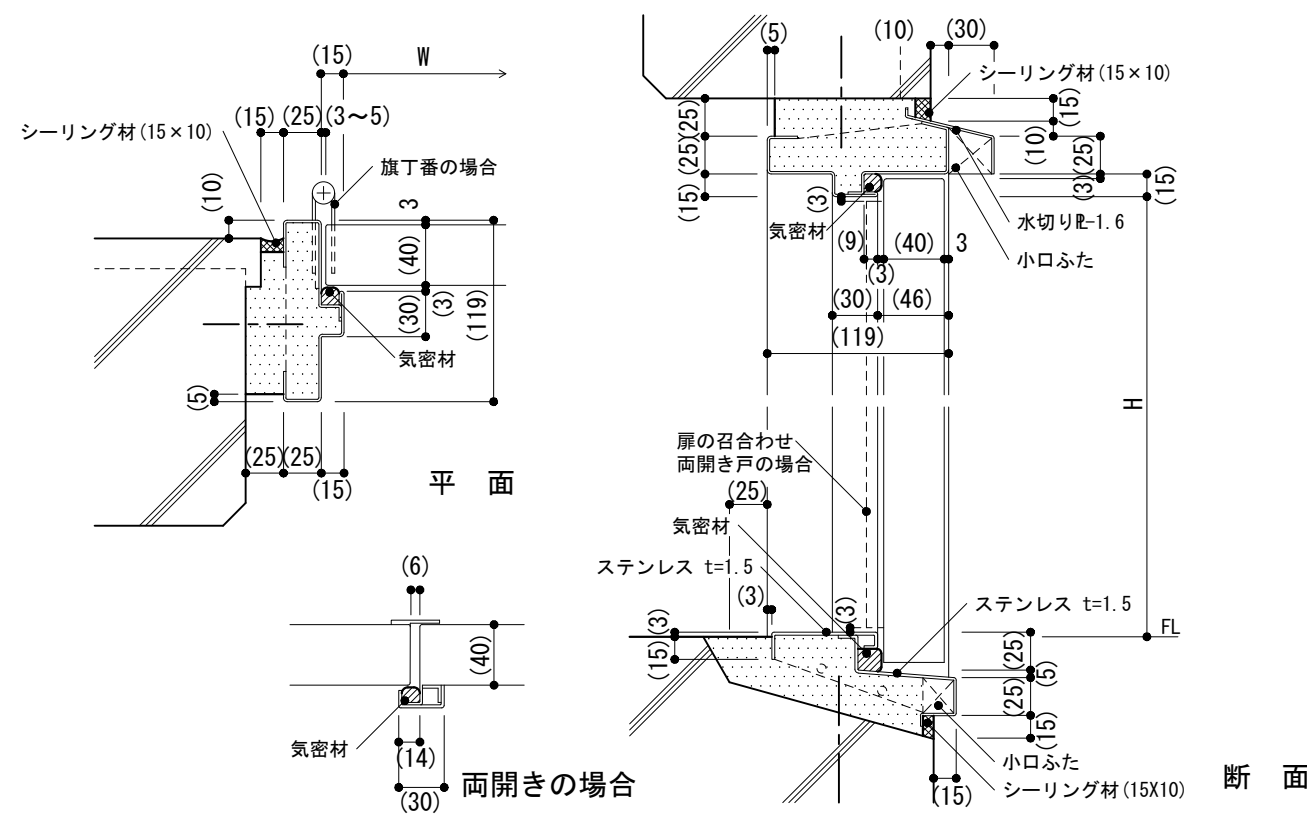
建築工事標準詳細図 令和4年版

4-43

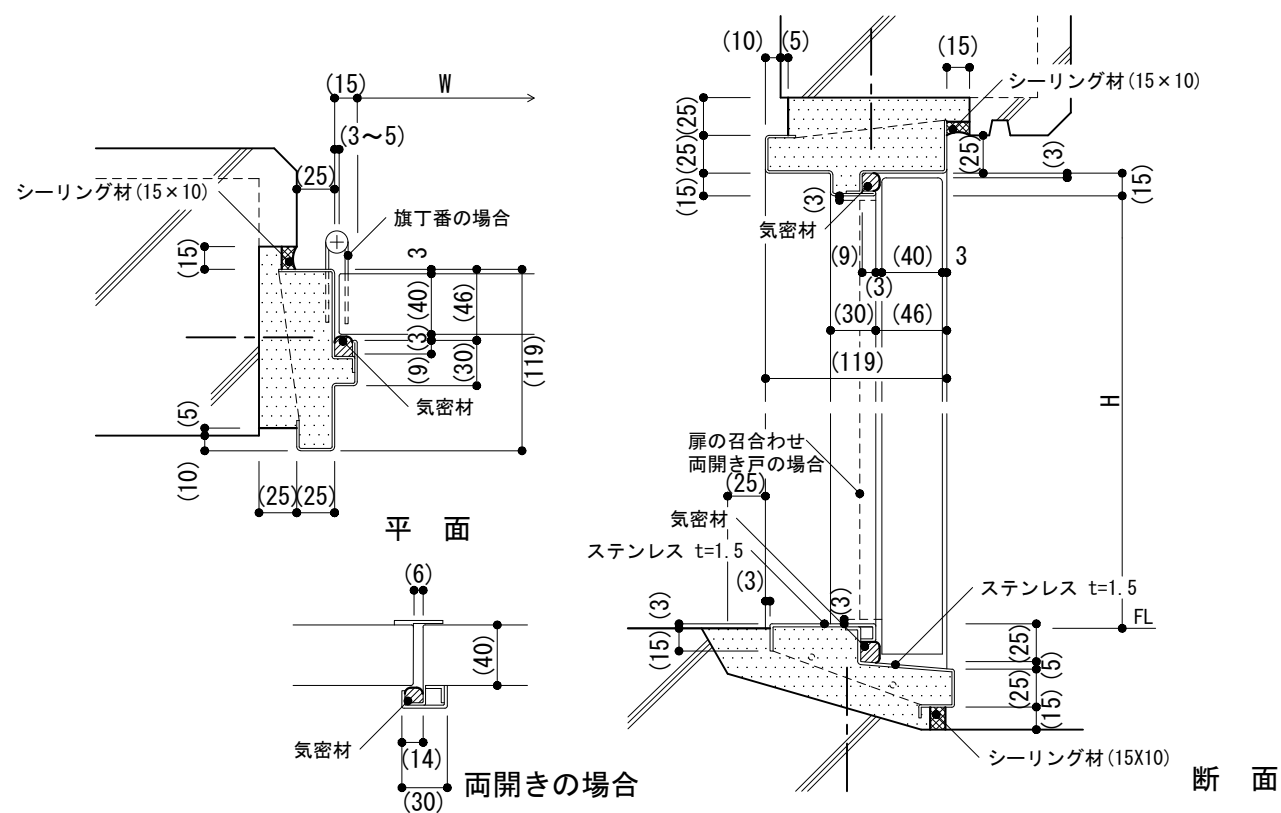
-1 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



-2 簡易気密型鋼製建具枠



-3 簡易気密型鋼製建具枠



仕様

- 1) 標準型建具の寸法は4-01による。
- 2) -2, -3で旗丁番を使用する場合は、掘込み、面付けどちらも可とする。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種別
- 2) 鋼板類の厚さ
(片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)
- 3) ステンレスの種別

図面名称

建具取合い:簡易気密型鋼製建具(外部用)
(内部打放し仕上げの場合)

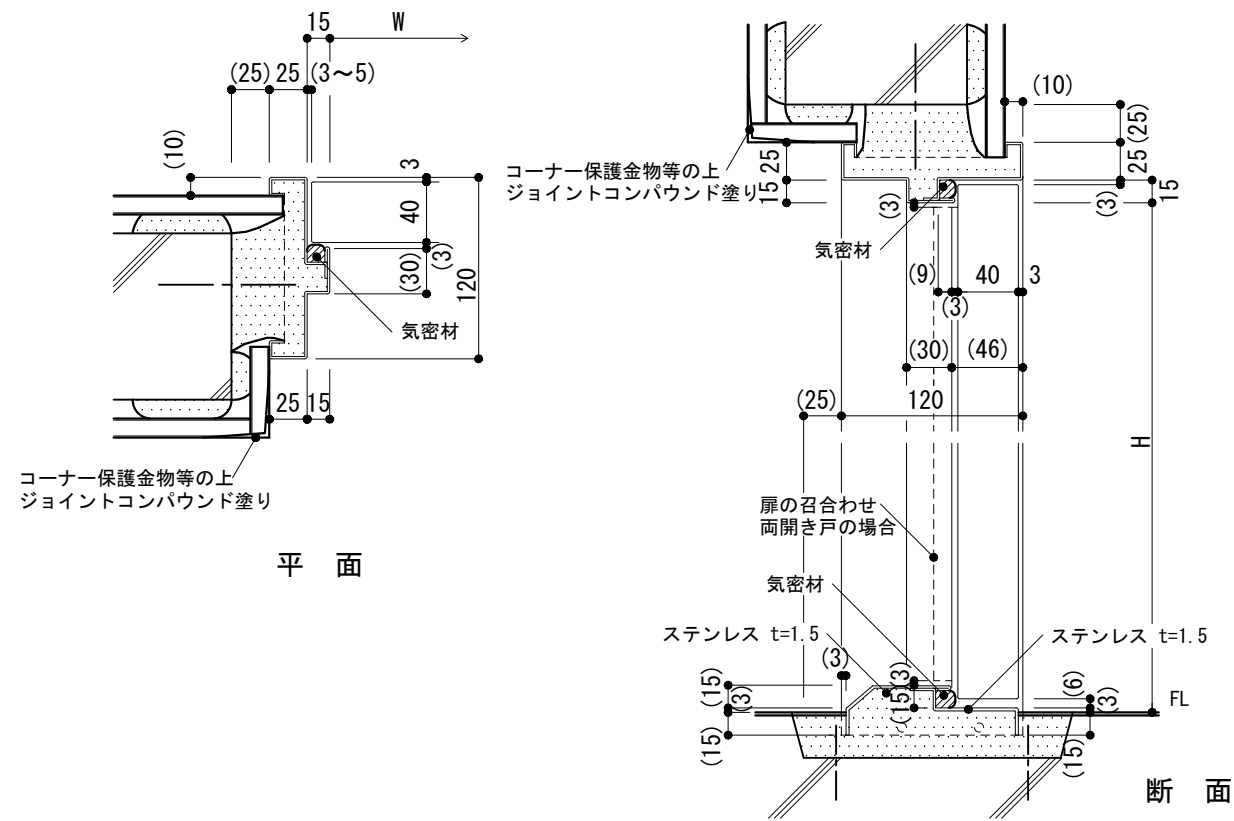
縮尺

1/5

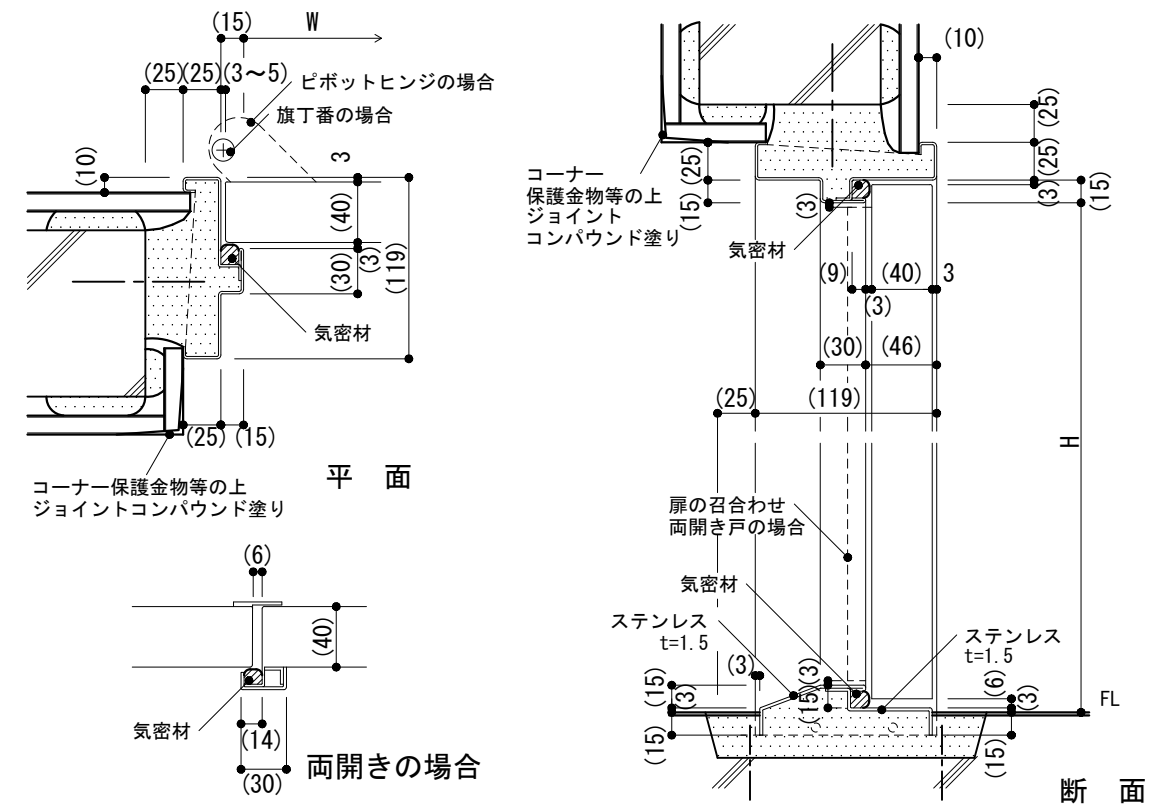
建築工事標準詳細図 令和4年版

4-44

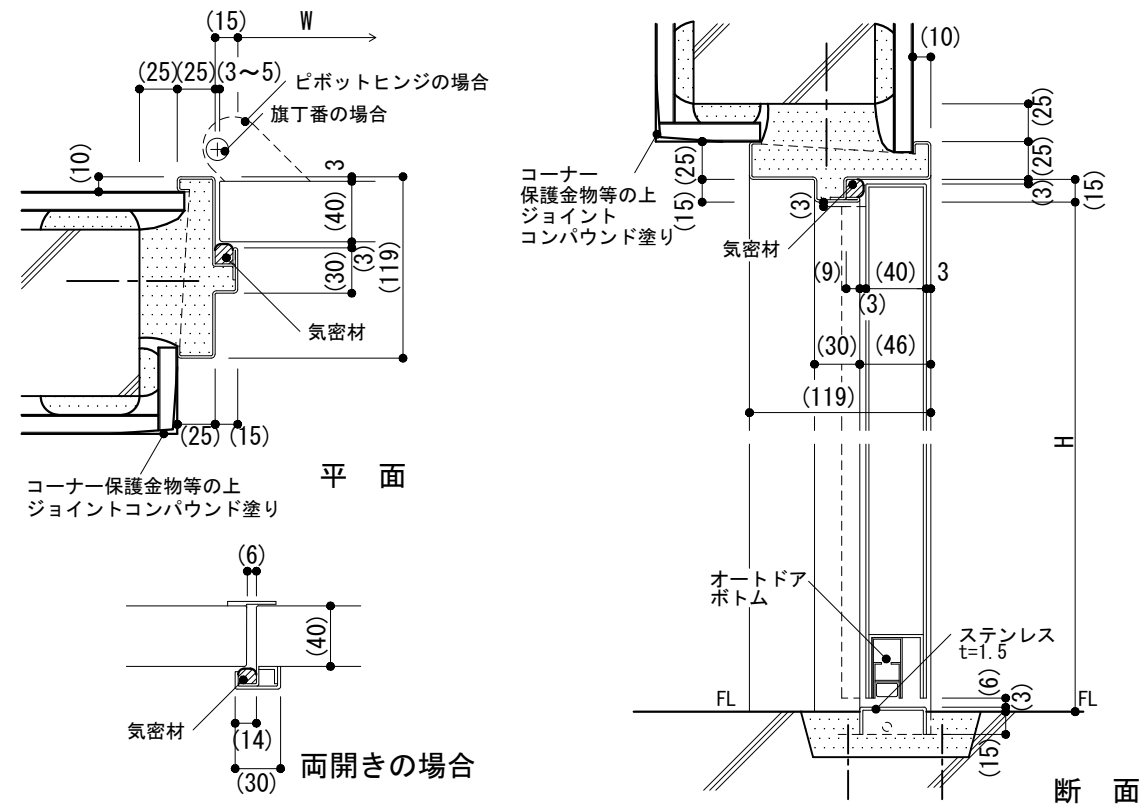
-1 標準型建具枠(簡易気密型鋼製建具)



-2 簡易気密型鋼製建具枠



-3 簡易気密型鋼製建具枠(オートドアボトム納まり)



仕様

- 1) 標準型建具の寸法は4-01による。
- 2) -2で旗丁番を使用する場合は、掘込み、面付けどちらも可とする。

特記事項

- 1) 枠の塗装の種別
- 2) 鋼板類の厚さ
(片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)
- 3) ステンレスの種別

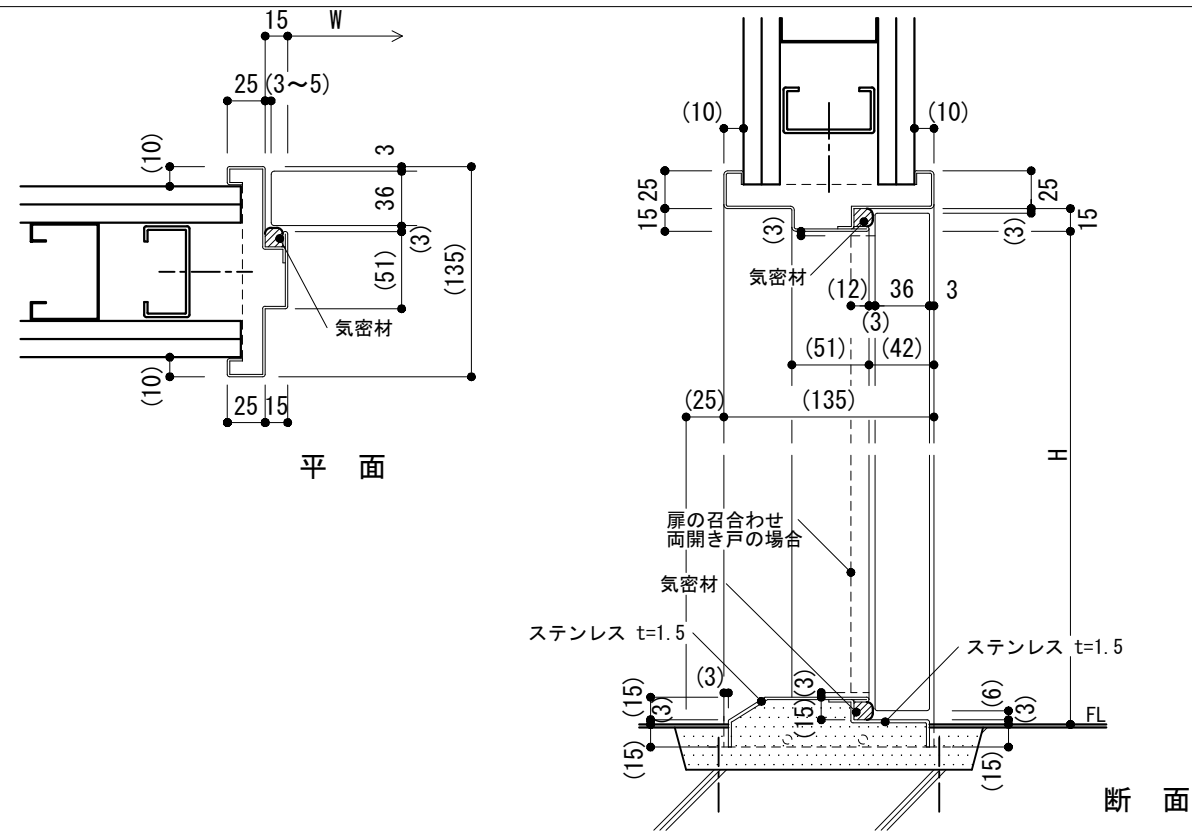
図面名称 建具取合い:簡易気密型鋼製建具 (内部用)

縮尺 1/5

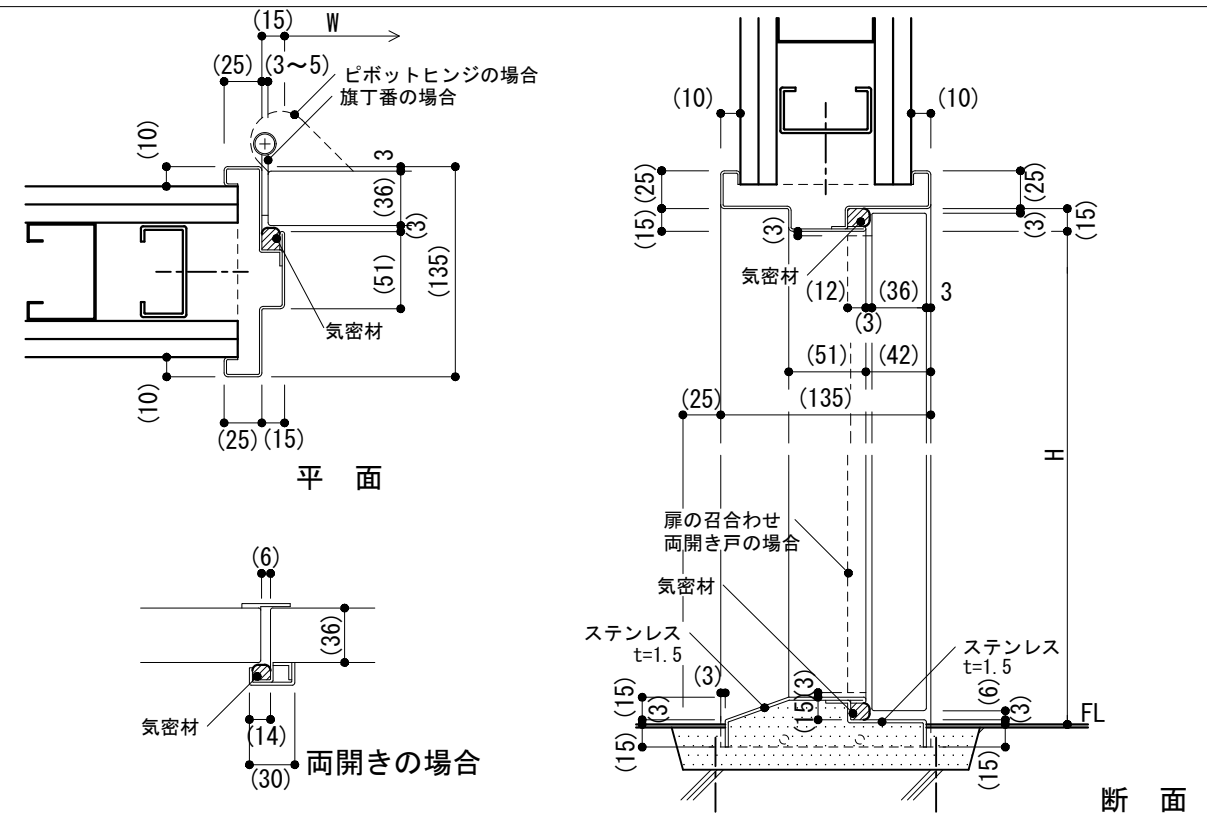
建築工事標準詳細図 令和4年版

4-45

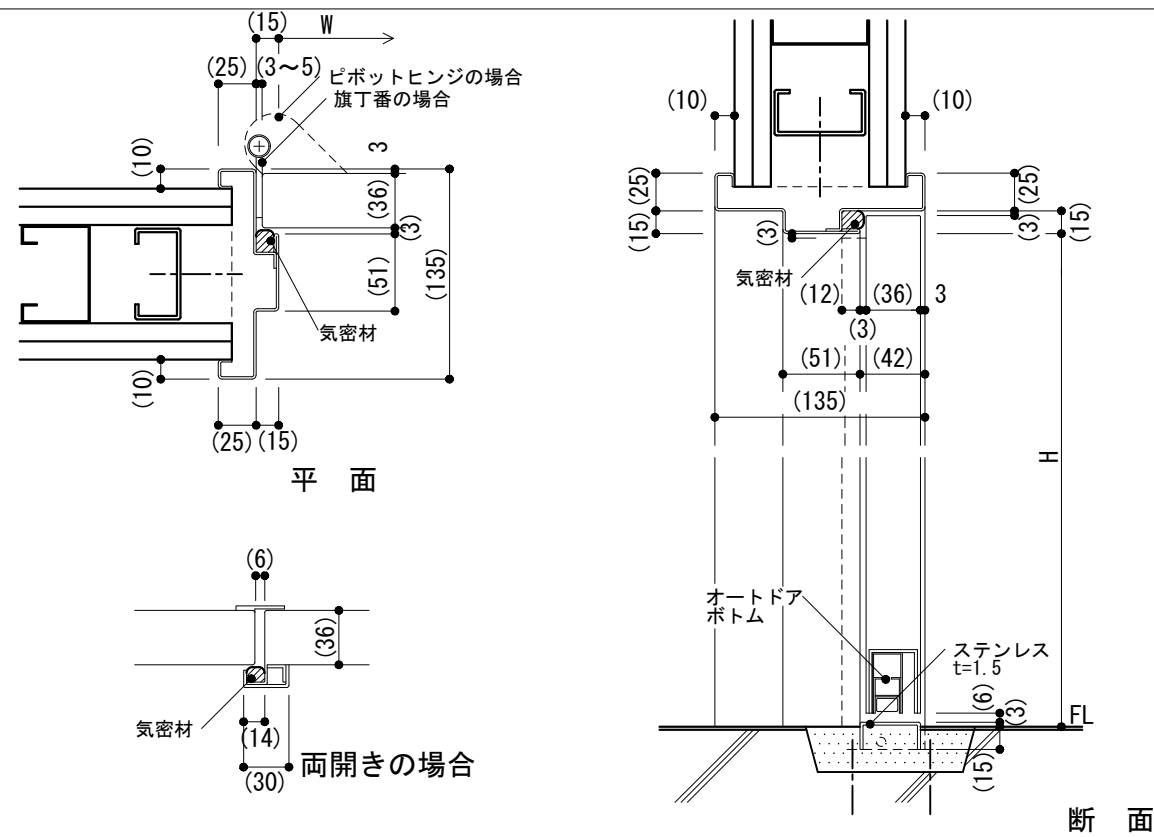
-1 標準型建具枠(簡易気密型鋼製軽量建具)



-2 簡易気密型鋼製軽量建具枠



-3 簡易気密型鋼製軽量建具枠(オートドアボトム納まり)



仕様

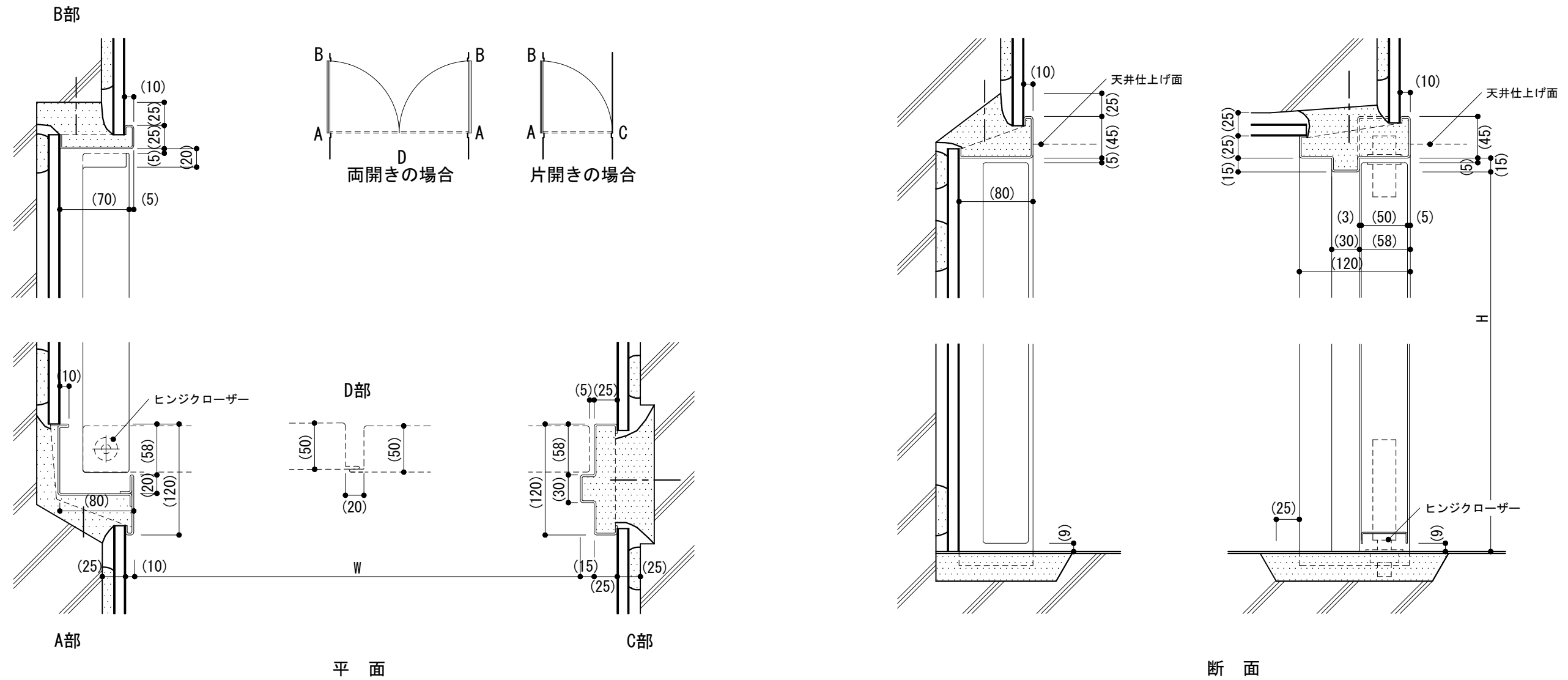
- 標準型建具の寸法は4-01による。
- 2で旗丁番を使用する場合は、掘込み、面付けどちらも可とする。

特記事項

- 枠の塗装の種別
- 鋼板類の厚さ
(片開き、親子及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合)
- ステンレスの種別

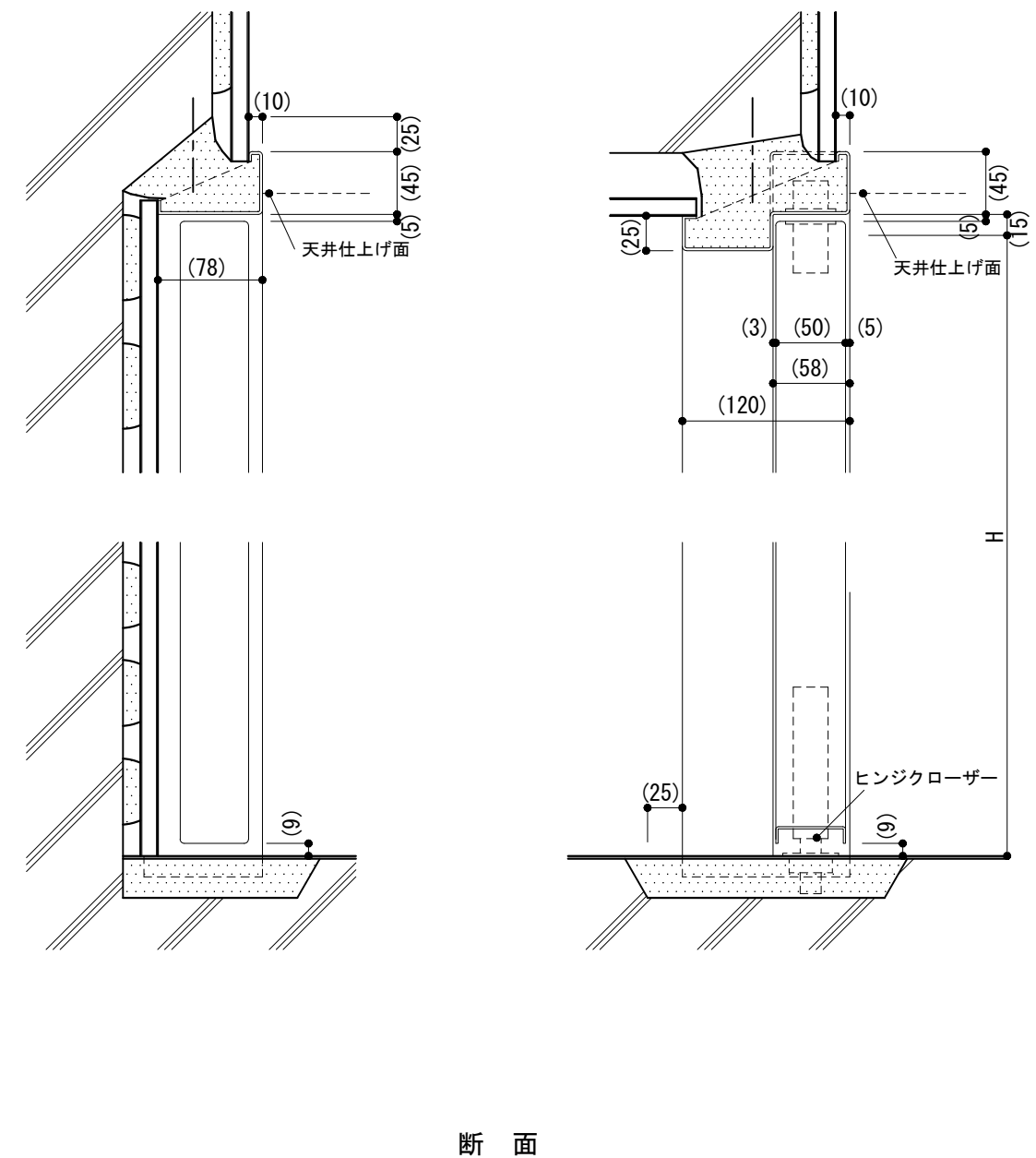
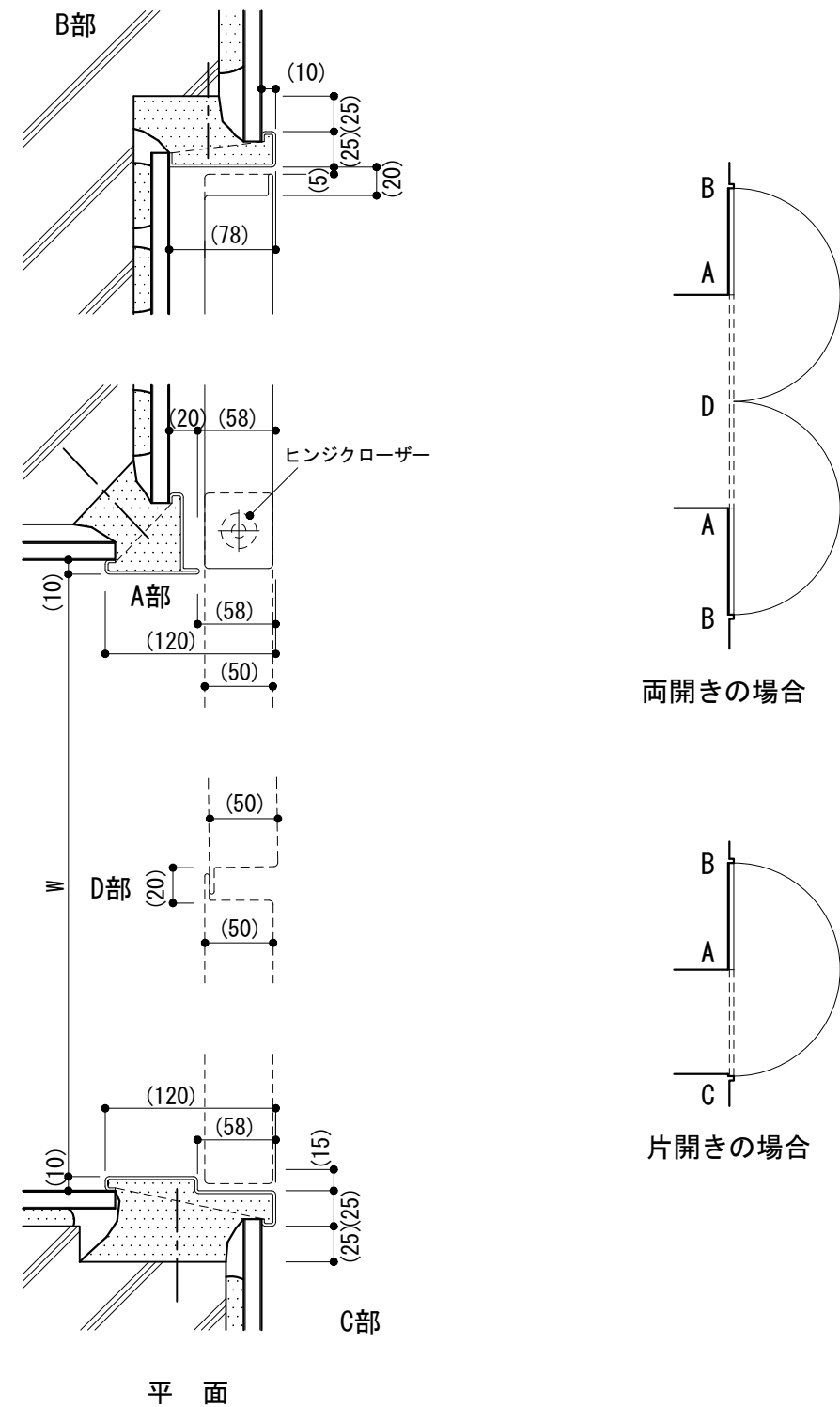
図面名称	建具取合い:簡易気密型 鋼製軽量建具(内部用)	
縮尺	1/5	4-46
建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 鋼製建具枠



<p>仕様</p> <p>1) 特定防火設備と取合う、壁及び床仕上げの標準的な納まりを示す。なお、防火認定を受けたものではない。</p> <p>2) ヒューズ装置の場合は、自動閉鎖機構、切込み、開口補強を含む。</p> <p>3) 煙感知器又は熱感知器連動装置の場合は切込み、開口補強のみとし、吸着板、ラッチ受け座は別途とする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 自動閉鎖機構及び感知装置の種別</p> <p>2) 枠の塗装の種別</p>	<p>図面名称 建具取合い: 防火戸(90度開き)</p>	
		<p>縮尺 1/5</p>	<p>4-47</p>
		<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p>	

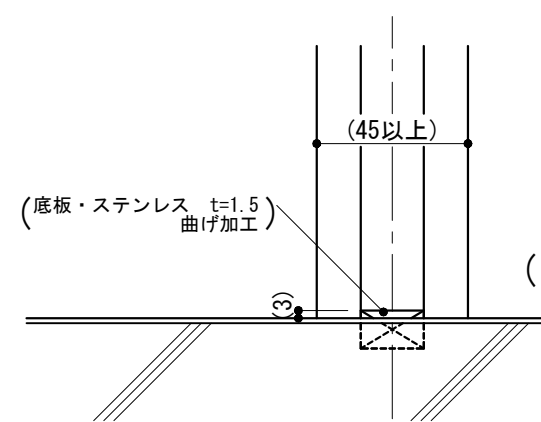
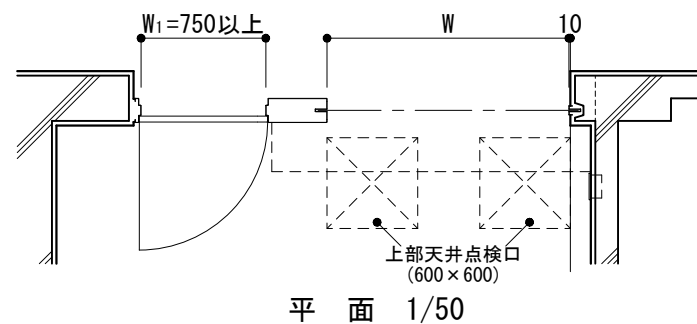
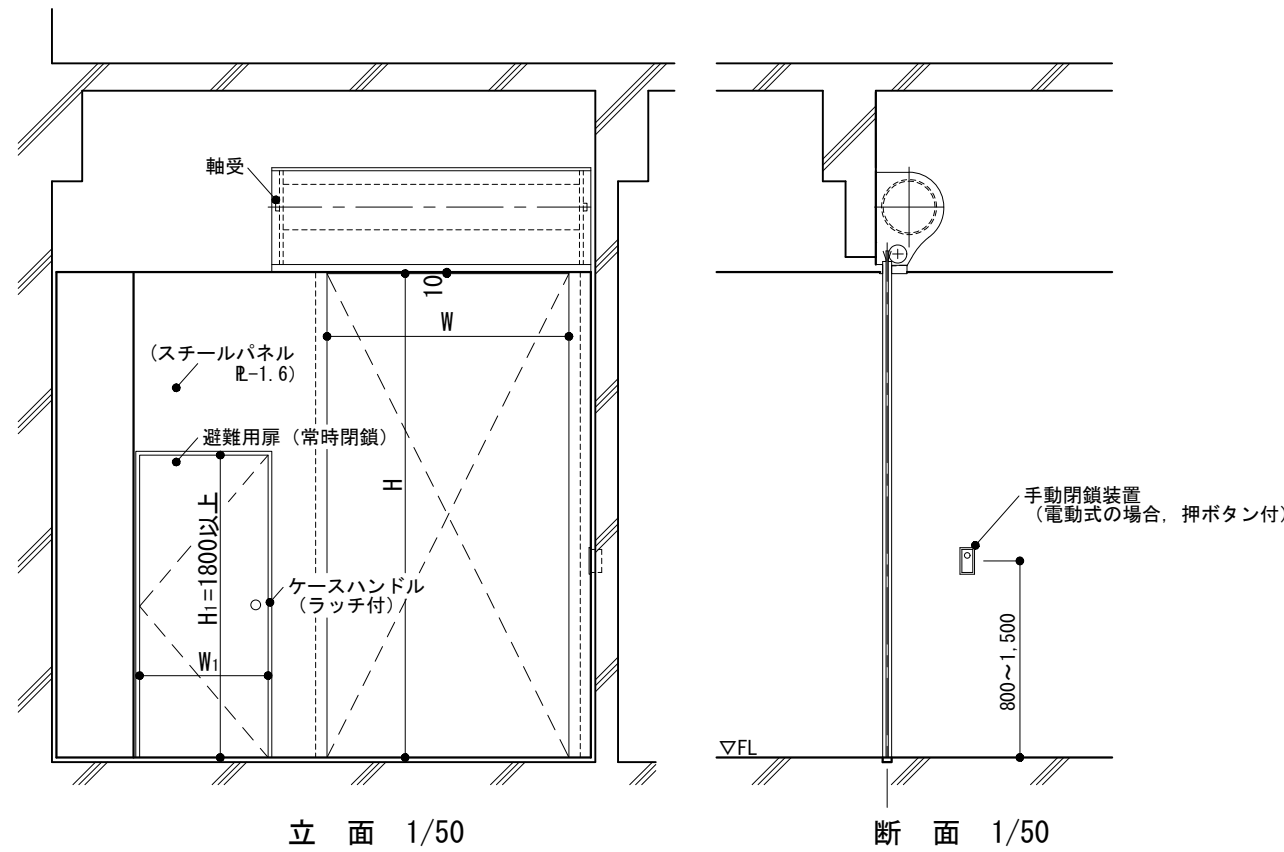
-1 鋼製建具枠



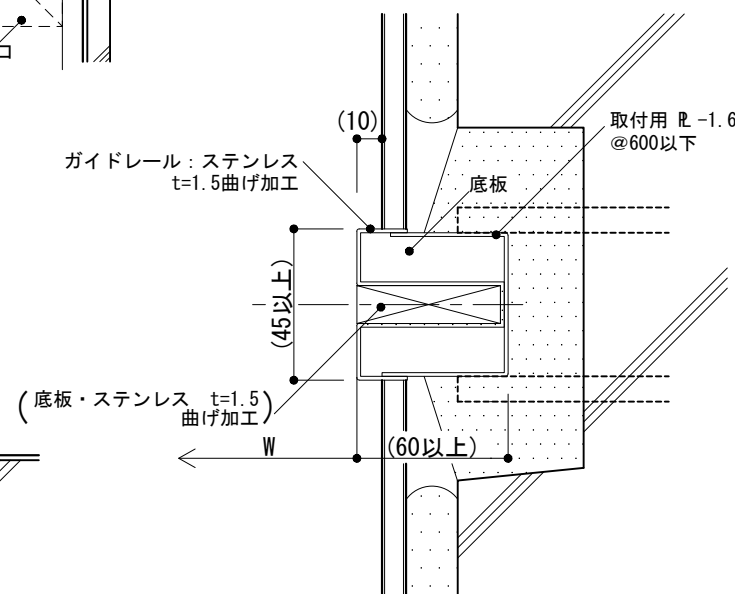
断面

<p>仕様</p> <p>1) 特定防火設備と取合う、壁及び床仕上げの標準的な納まりを示す。なお、防火認定を受けたものではない。</p> <p>2) ヒューズ装置の場合は、自動閉鎖機構、切込み、開口補強を含む。</p> <p>3) 煙感知器又は熱感知器連動装置の場合は切込み、開口補強のみとし、吸着板、ラッチ受け座は別途とする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 自動閉鎖機構及び感知装置の種別</p> <p>2) 枠の塗装の種別</p>	図面名称	建具取合い: 防火戸(180度開き)	
		縮尺	1/5	
		建築工事標準詳細図 令和4年版		4-48

-1 防火・防煙シャッター



ガイドレール 立面 1/3



ガイドレール 平面詳細 1/3

<p>仕様</p> <p>1) 特定防火設備と取合う、壁及び床仕上げの標準的な納まりを示す。なお、防火認定を受けたものではない。</p> <p>2) シャッター各部分は、公共標仕(建)16.11及び製造所の仕様による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) W, H, W1, H1</p> <p>2) 開閉方式の種類</p> <p>3) 危害防止機構の種類</p> <p>4) 手動閉鎖装置の設置位置</p> <p>5) 塗装の種類</p> <p>6) ステンレスの種類</p> <p>7) パネルの材質、厚さ、仕上げ、取合い</p> <p>8) 天井点検口の設置位置、寸法</p>	図面名称	シャッター:防火・防煙シャッター	
		縮尺	1/3,1/50	4-49
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1-2 窓回り(水切り)

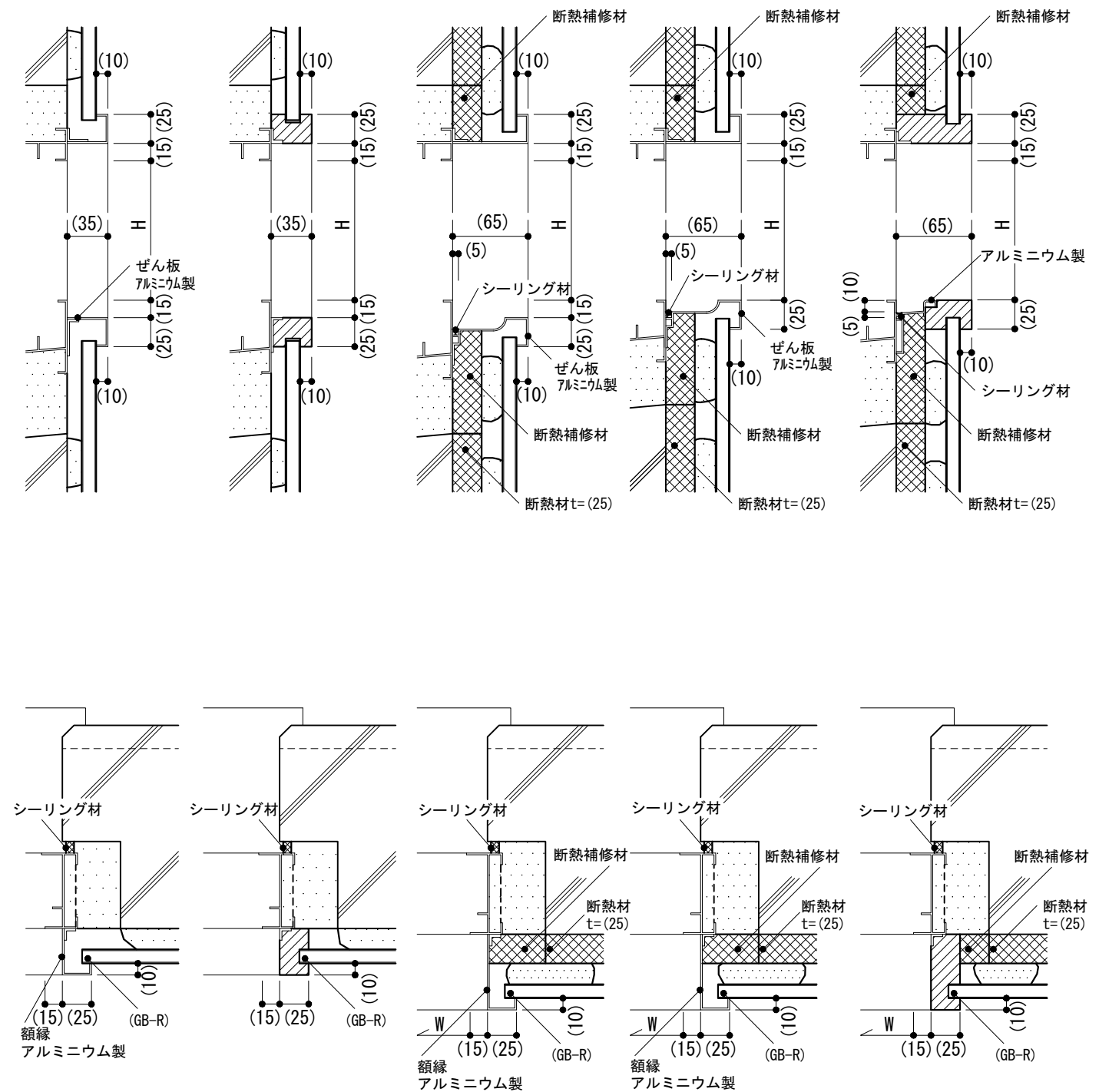
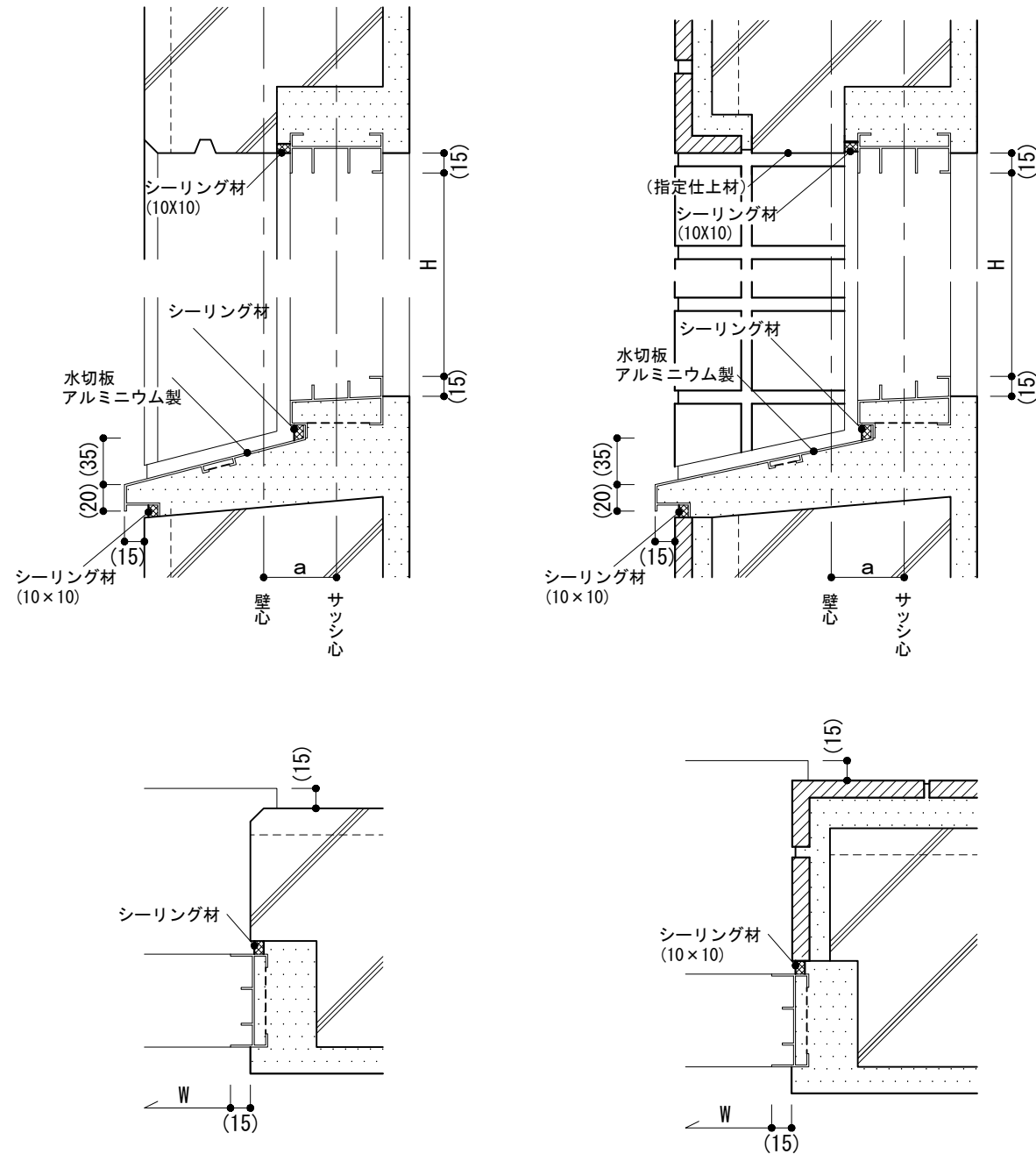
-3~-7 窓回り(ぜん板及び額縁)

-1 アルミニウム製の場合

-2 アルミニウム製の場合

-3 アルミニウム製の場合 -4 木製の場合

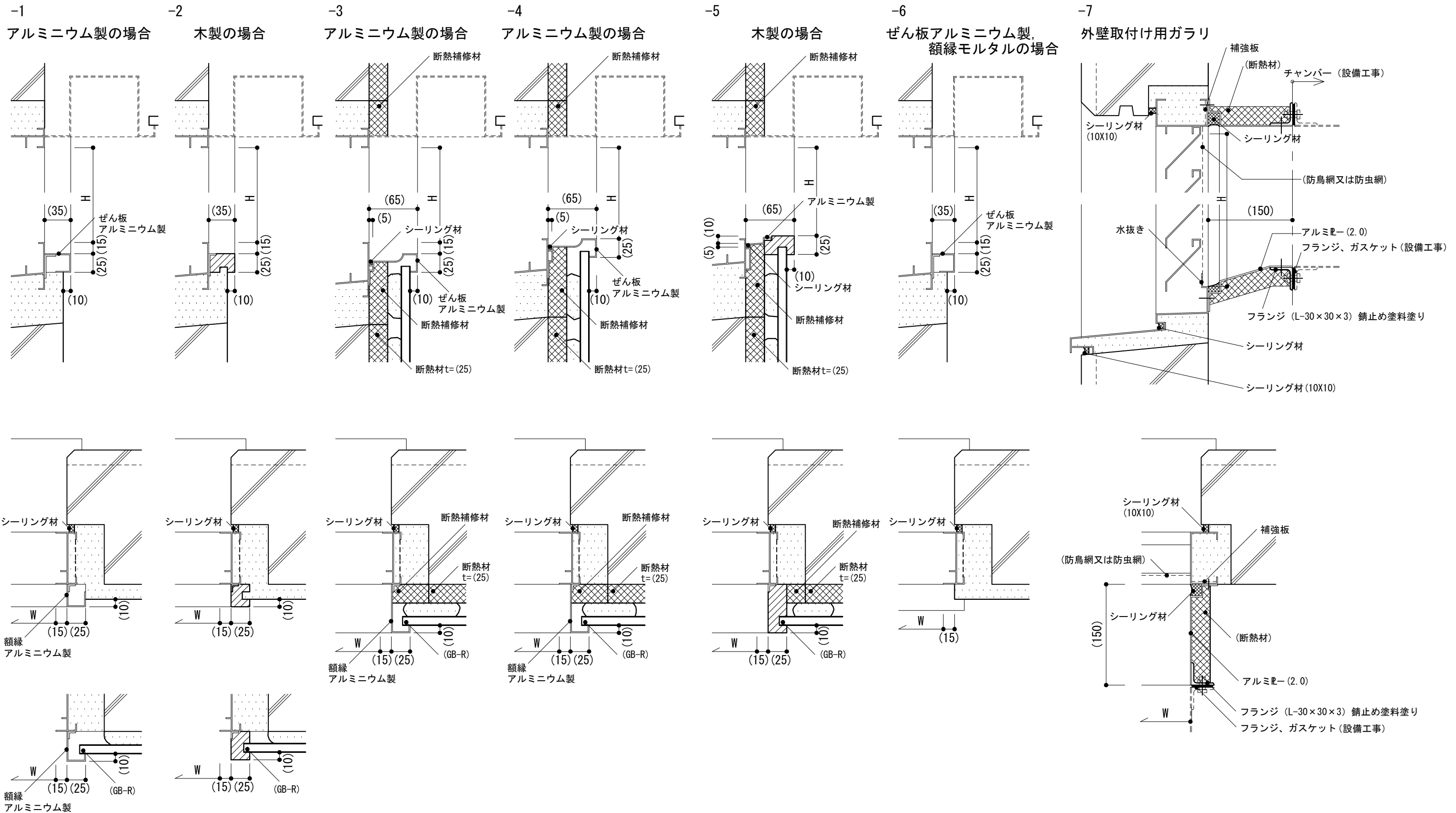
-5 アルミニウム製の場合 -6 アルミニウム製の場合 -7 木製の場合



仕様 1) シーリング材は四周に充填する。 2) アルミニウム製のぜん板及び額縁は押出形材とする。	特記事項 1) a, H, W 2) -5,-6,-7の断熱補修材の材種 3) 指定仕上材の種類	図面名称 建具取合い:窓
		縮尺 1/5
		建築工事標準詳細図 令和4年版

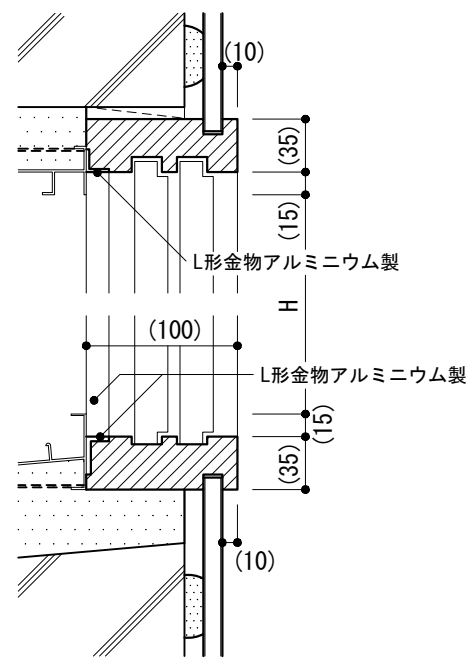
4-51

-1~-7 窓回り(ぜん板及び額縁)

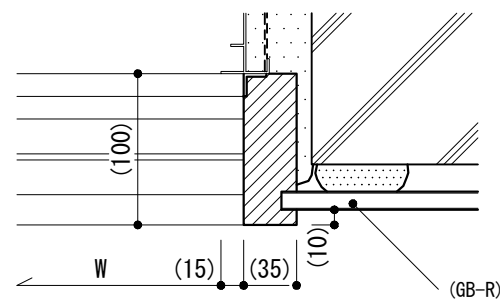


<p>仕様</p> <p>1) カーテンボックス又はカーテン受け板が付く場合は、3-31, 32による。</p> <p>2) アルミニウム製のぜん板及び額縁は押出型材とする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) -3, -4, -5の断熱補修材の材種</p> <p>2) 防鳥網又は防虫網の有無及び線材, 線径のメッシュサイズ</p> <p>3) -7の断熱材の有無</p>	図面名称	建具取合い:窓 (カーテンボックス, ダクト等と取合う場合)
		縮尺	1/5
		建築工事標準詳細図 令和4年版	
		4-52	

-1 二重窓

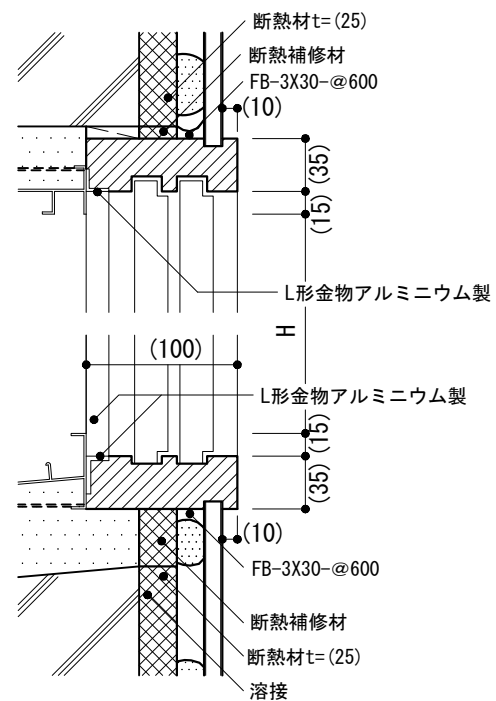


断面

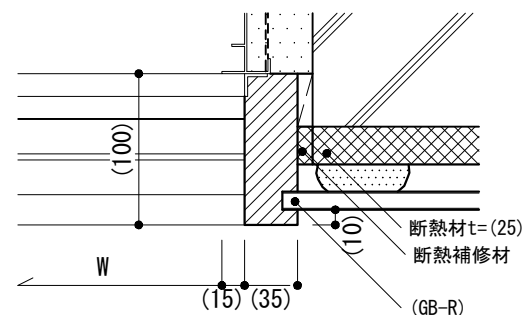


平面

-2 二重窓(断熱材ありの場合)



断面



平面

仕様

- 1) 外部建具が鋼製建具の場合もこれに準ずる。
- 2) 木部は塗装なしとする。
- 3) 鉄面は、錆止め塗料塗りとする。
- 4) FBの取付けは、あと施工アンカーを使用してもよい。
- 5) 水切りの有無及び寸法、サッシ位置などは4-51による。

特記事項

- 1) -2の断熱補修材の材種

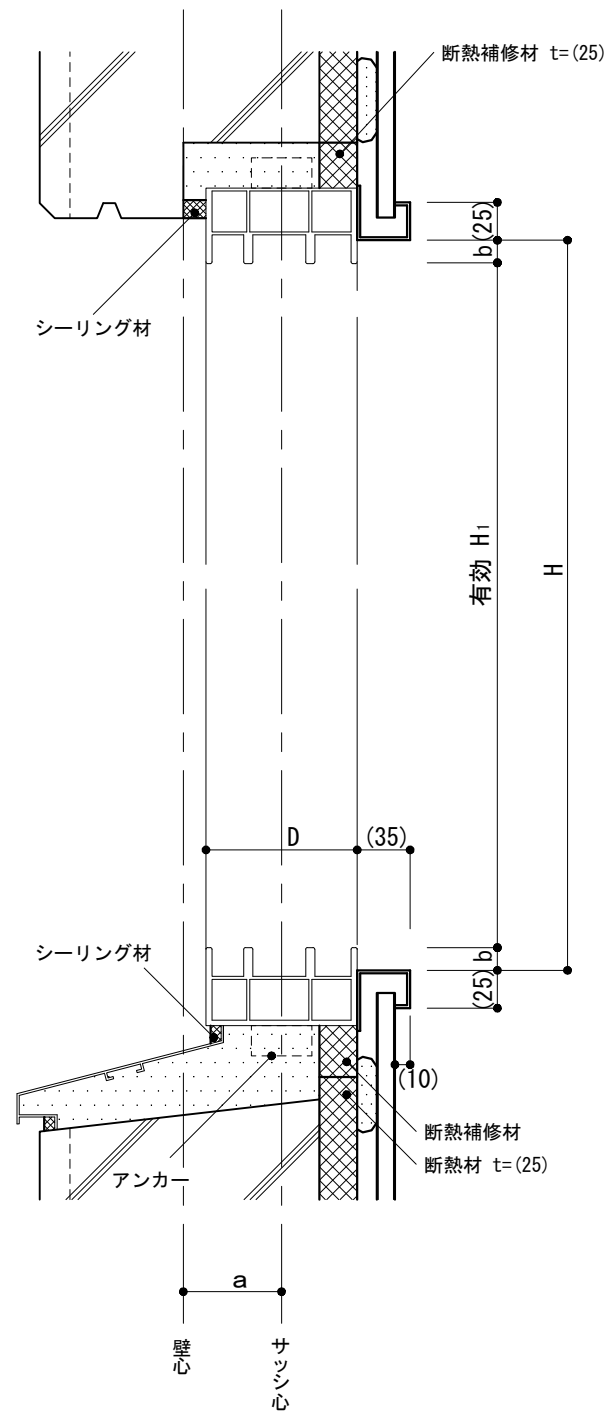
図面名称 建具取合い : 二重窓

縮尺 1/5

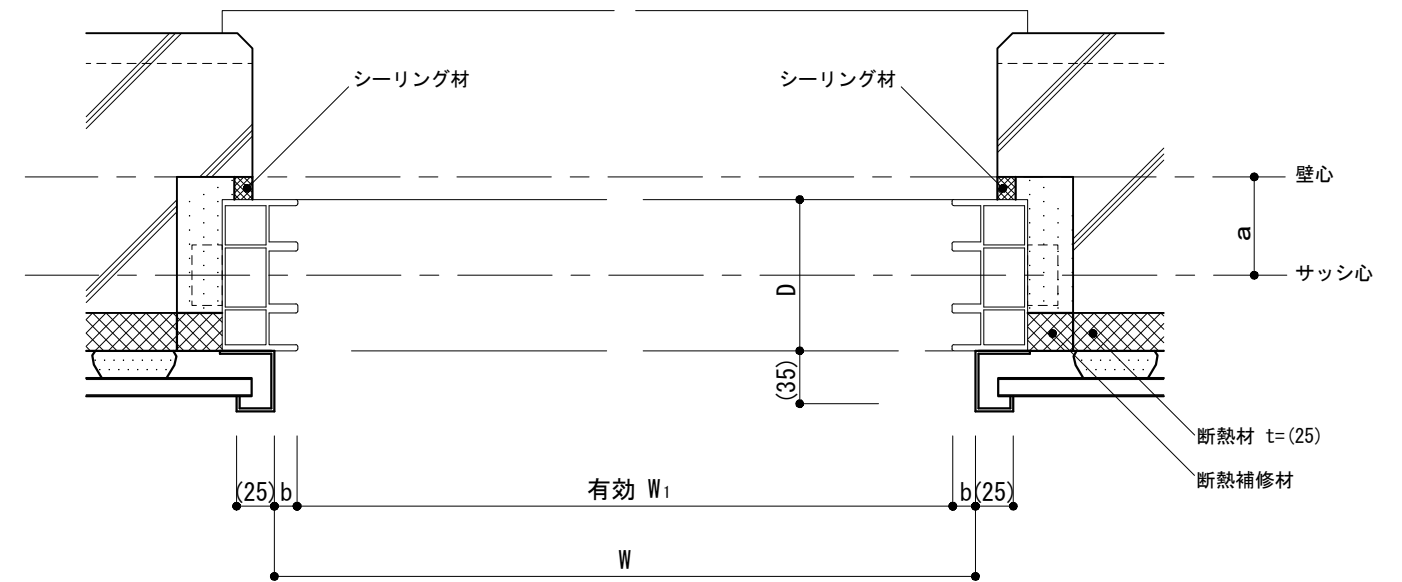
建築工事標準詳細図 令和4年版

4-53

-1 樹脂製建具窓回り



断面 1/5

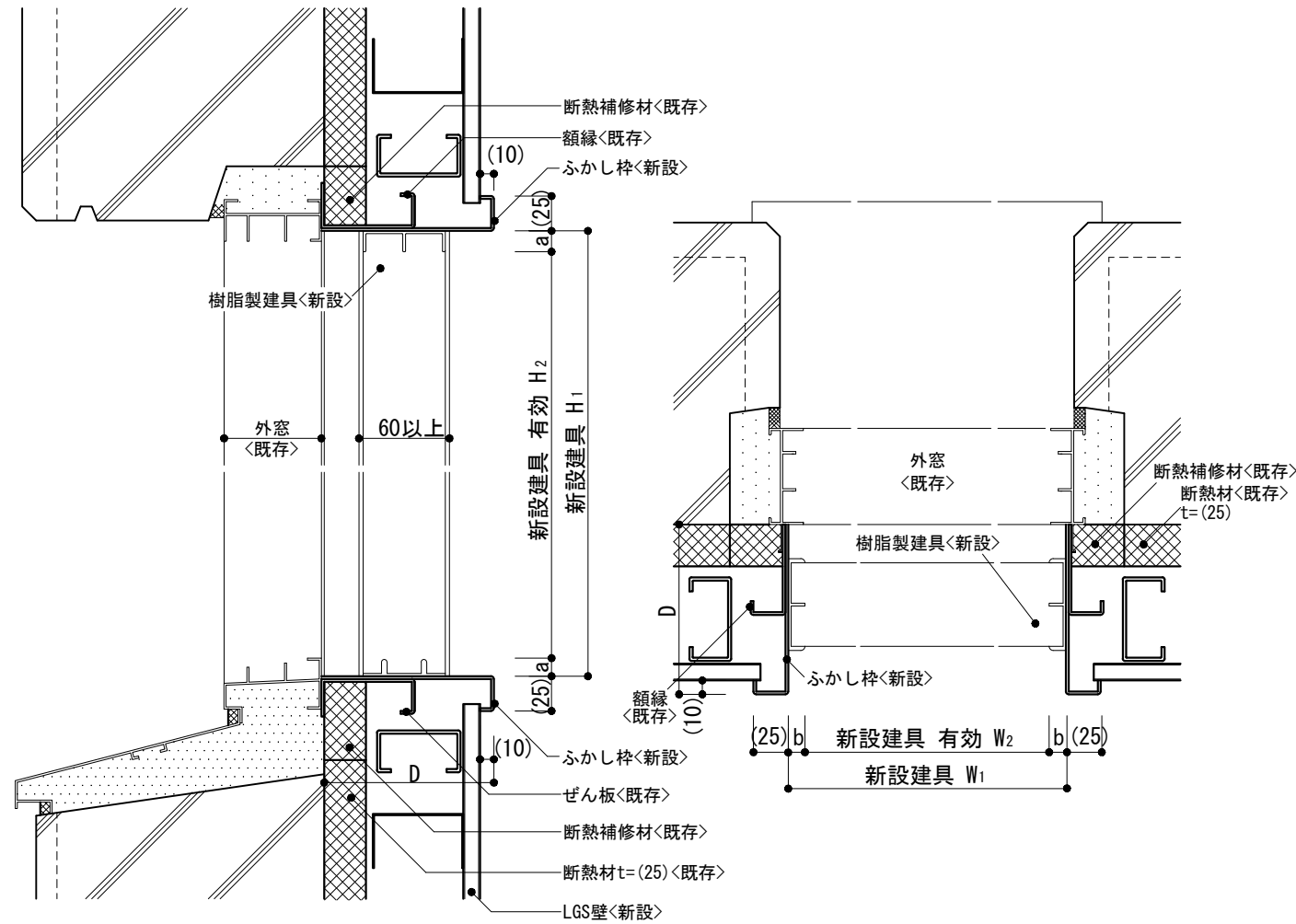


平面 1/5

<p>仕様</p> <p>1) 樹脂製建具は複層ガラスを使用する。</p> <p>2) 各部詳細・金物等は建具製造所の仕様による。</p> <p>3) 製品の寸法許容差は JIS A 4702 又は JIS A 4706による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) W, H, D, a, b, W_1, H_1</p> <p>2) 断熱補修材の材種</p>	図面名称	建具取合い:窓(樹脂製建具)	
		縮尺	1/5	4-54
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1-2 二重窓(改修)(樹脂製建具)

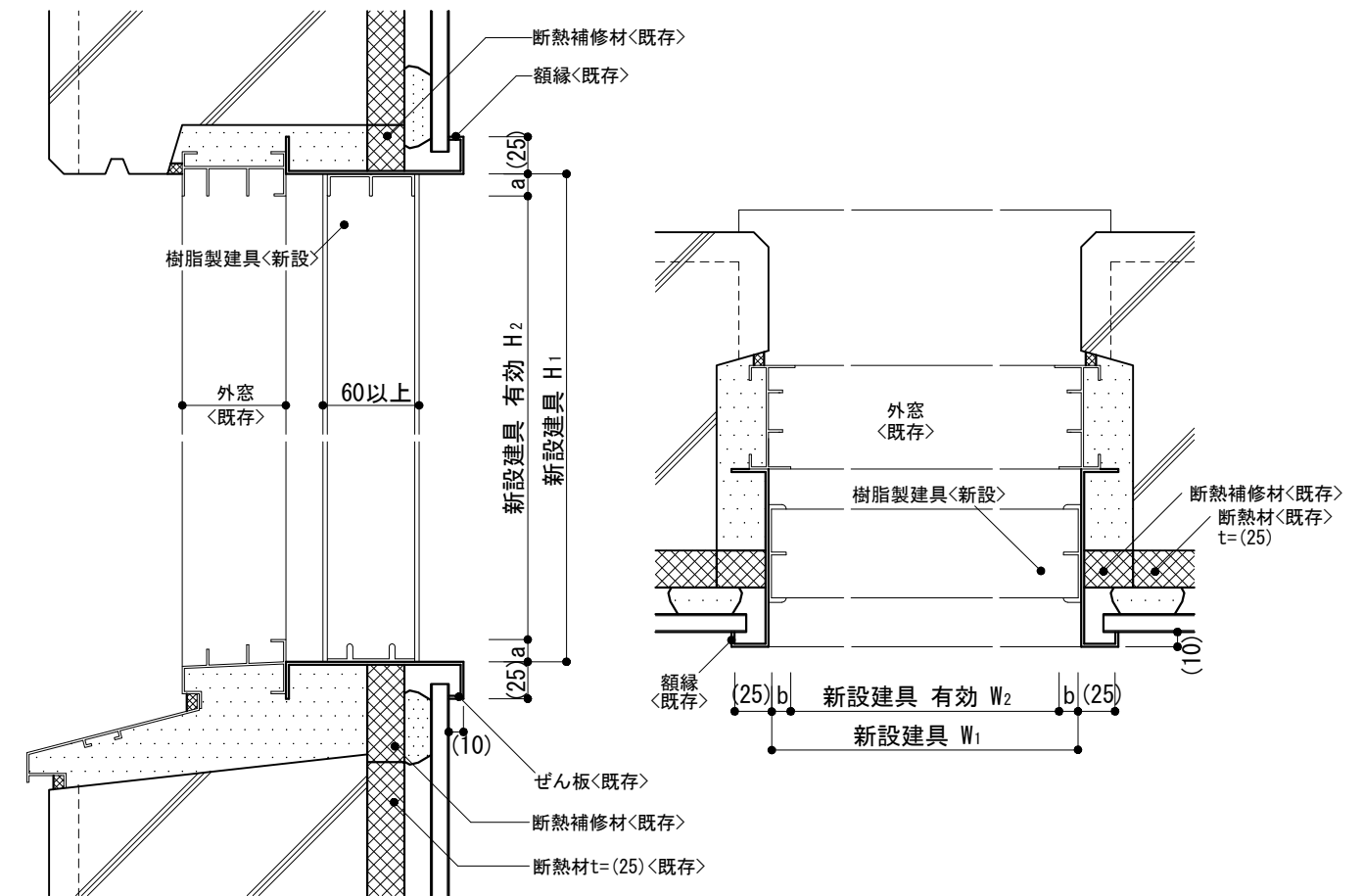
-1 既存額縁見込で納まらない場合



断面 1/5

平面 1/5

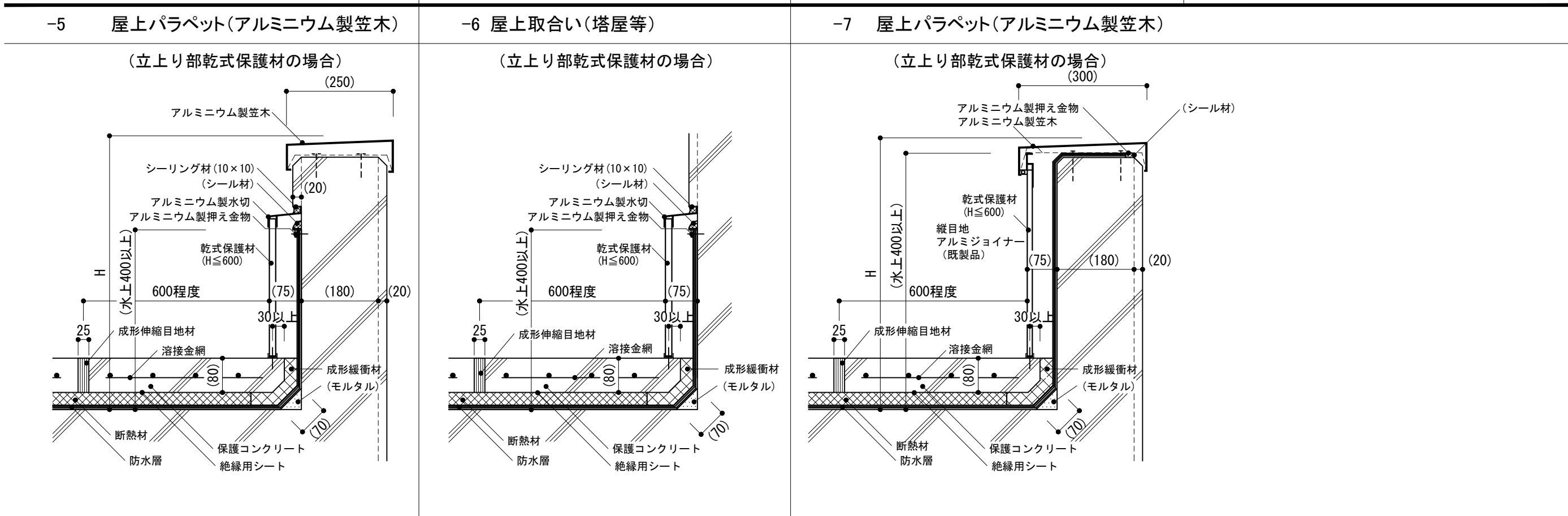
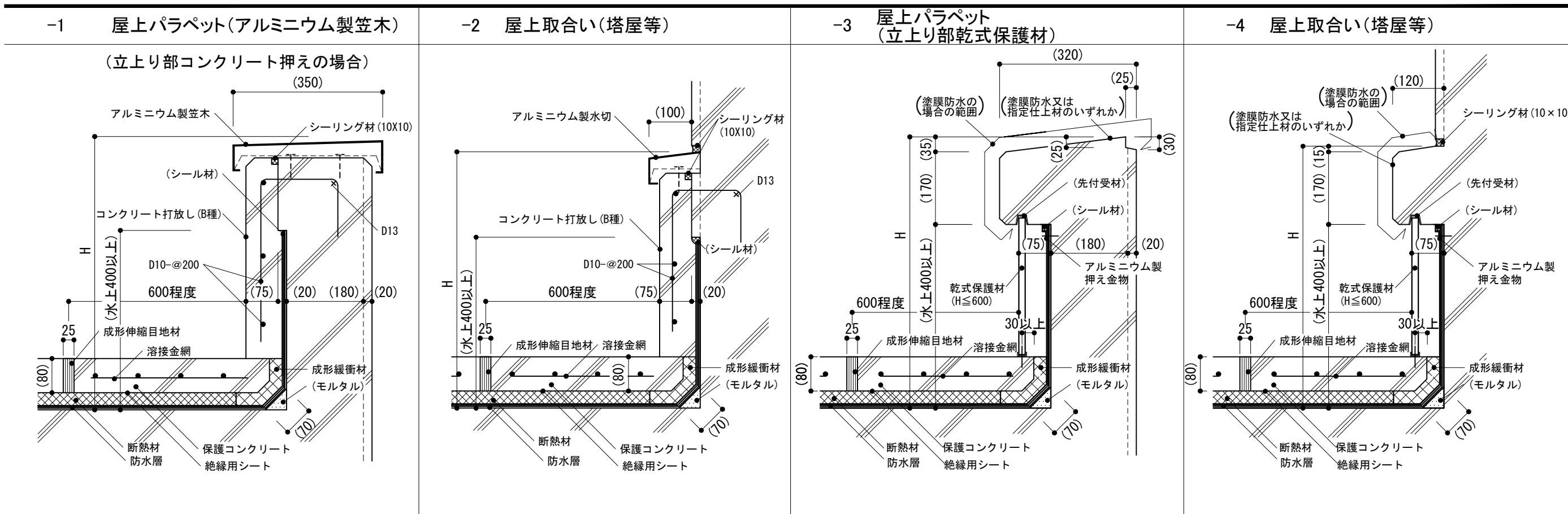
-2 既存額縁見込で納まる場合



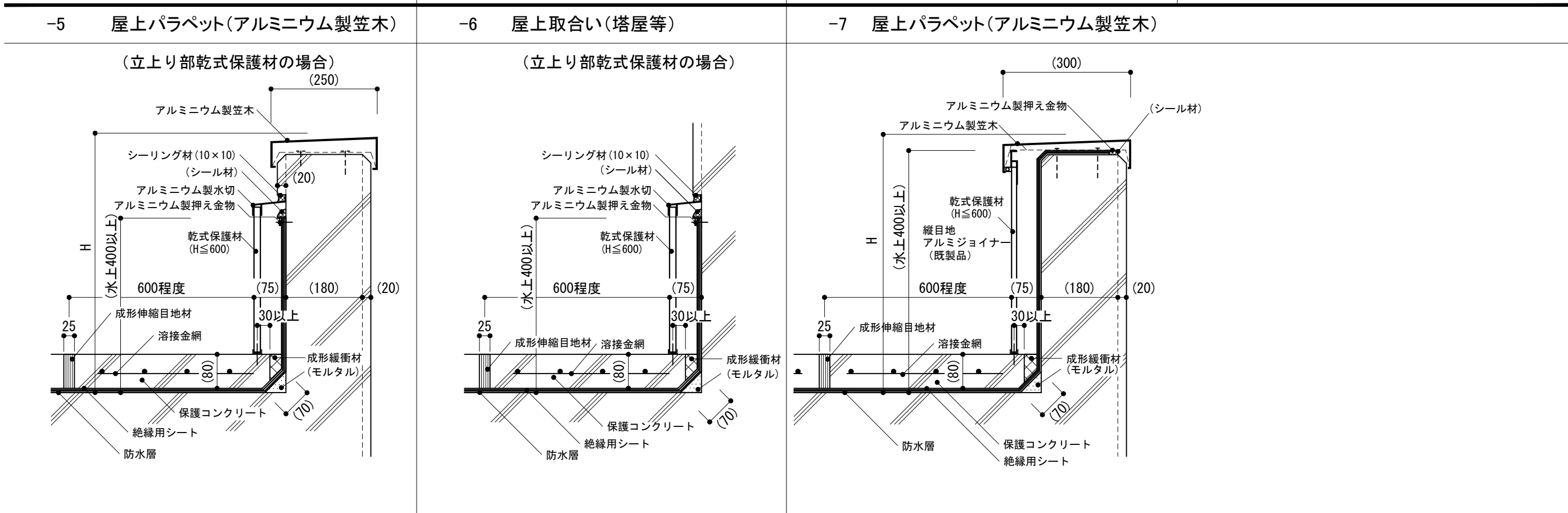
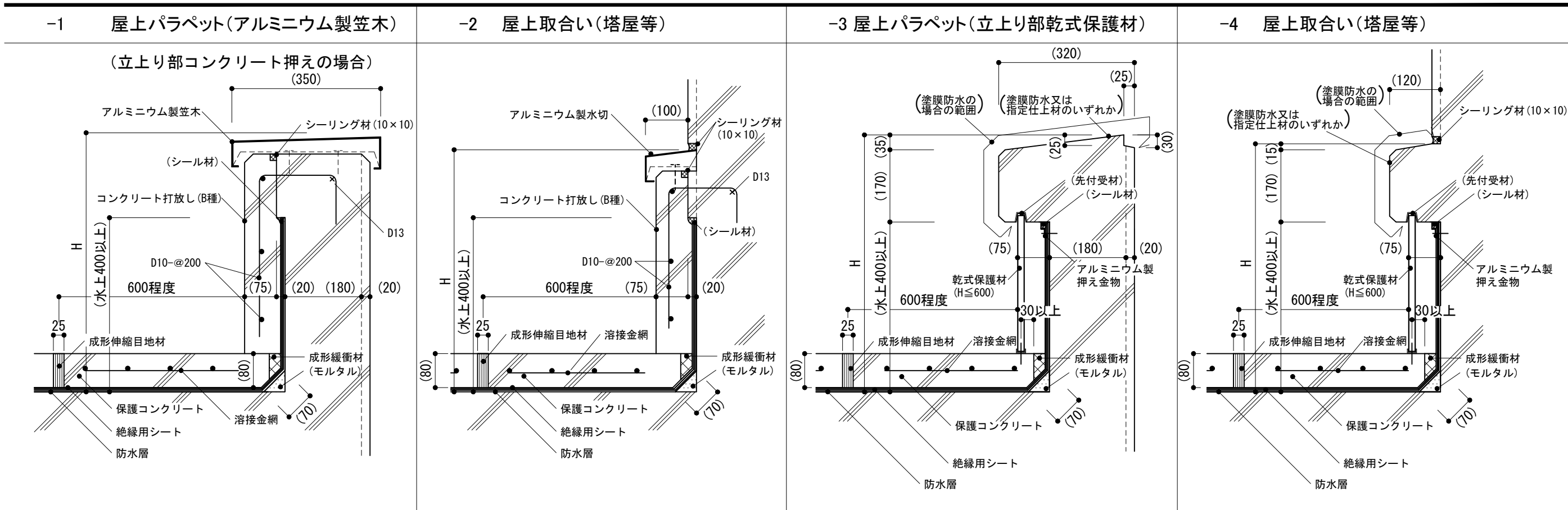
断面 1/5

平面 1/5

<p>仕様</p> <p>1) 樹脂製建具は複層ガラスを使用する。</p> <p>2) 各部詳細・金物等は建具製造所の仕様による。</p> <p>3) 樹脂製建具枠見込みは60mm以上とする。</p> <p>4) 製品の寸法許容差は JIS A4702 又は JIS A4706による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) $W_1, W_2, H_1, H_2, D, a, b$</p> <p>2) ふかし枠の材種</p> <p>3) -1の補強方法</p> <p>4) 既存建具の寸法</p>	図面名称	建具取合い:二重窓(改修) (樹脂製建具)		
		縮尺	1/5	4-55	
		建築工事標準詳細図 令和4年版			

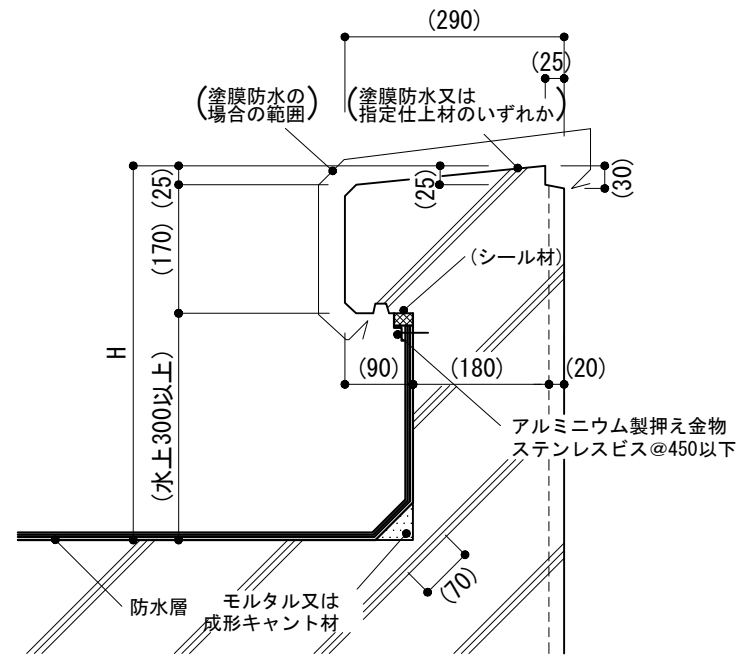


仕様 1) 立上り入隅は45度に仕上げ。 2) アルミニウム製笠木及び水切は押出形材の既製品とする。	特記事項 1) 水上部分のH 2) 乾式保護材の材質、厚さ 3) アルミニウム製笠木及び水切の部材の種類及び表面処理の種別 4) 断熱材の材質、厚さ 5) 指定仕上材の種類、範囲 6) -3, -4の天端の防水層の種類	図面名称 屋根保護防水断熱工法: 屋上パラペット, 屋上取合い	縮尺 1/10	5-01		
					建築工事標準詳細図 令和4年版	

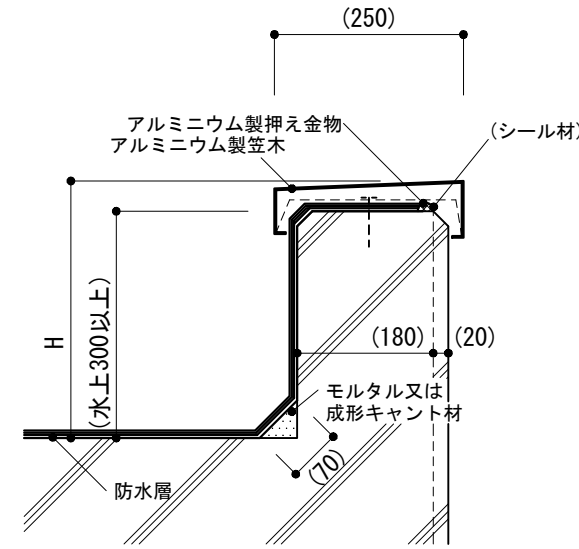


仕様 1) 立上り入隅は45度に仕上げ。 2) アルミニウム製笠木及び水切は押出形材の既製品とする。	特記事項 1) 水上部分のH 2) 乾式保護材の材質、厚さ 3) アルミニウム製笠木及び水切の部材の種類及び表面処理の種類 4) 指定仕上材の種類、範囲 5) -3, -4の天端の防水層の種類	図面名称 屋根保護防水工法: 屋上パラペット, 屋上取合い
		縮尺 1/10
		5-02
		建築工事標準詳細図 令和4年版

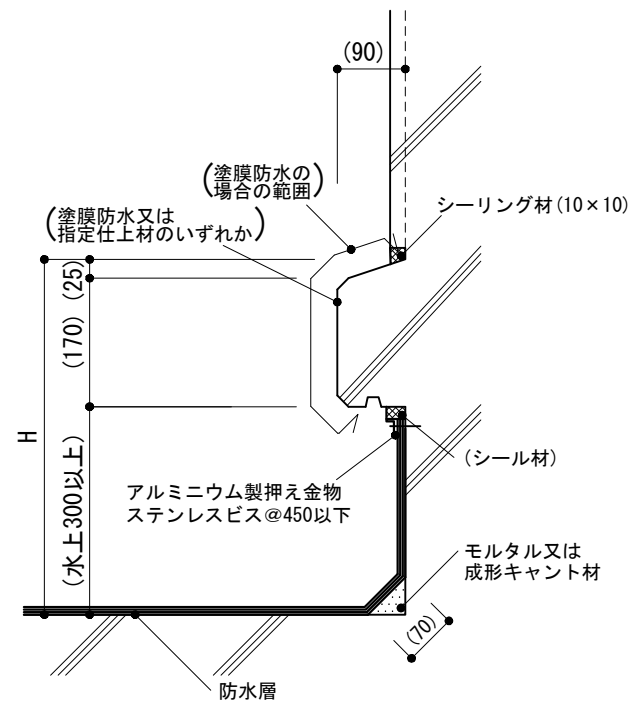
-1 屋上パラペット(コンクリート笠木)



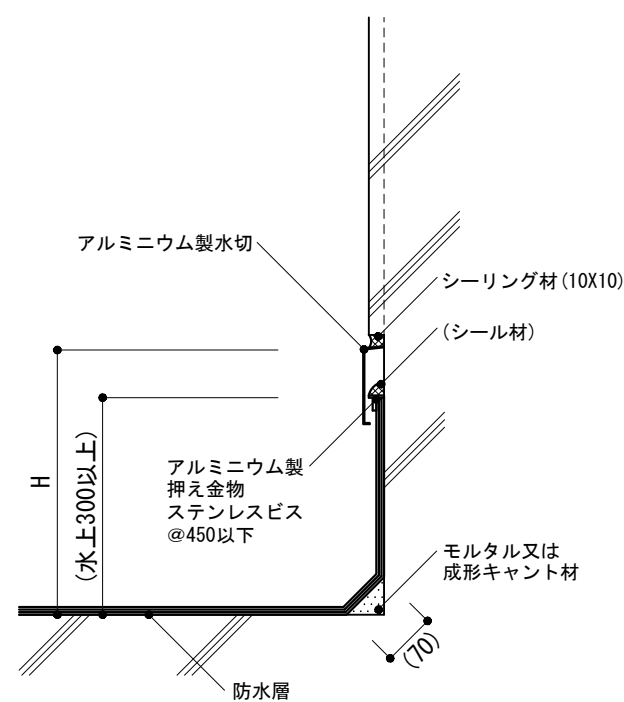
-2 屋上パラペット(アルミニウム製笠木)



-3 屋上取合い(塔屋等)



-4 屋上取合い(塔屋等)



仕様
1) 立上り入隅は45度に仕上げ。
2) アルミニウム製笠木及び水切は押出型材の既製品とする。

特記事項
1) 水上部分のH
2) アルミニウム製笠木及び水切の部材の種類及び表面処理の種別
3) 指定仕上材の種類、範囲
4) -1, -3の天端の防水層の種類

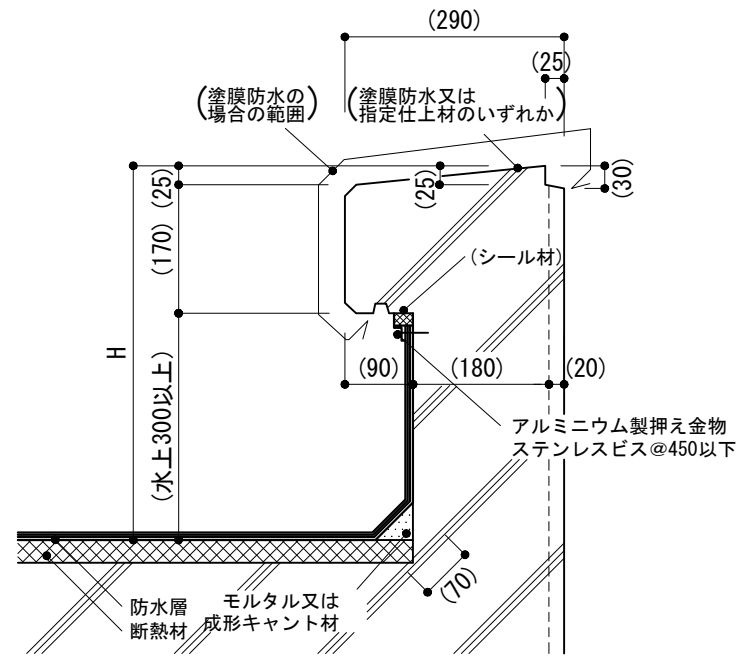
図面名称 屋根露出防水工法

縮尺 1/10

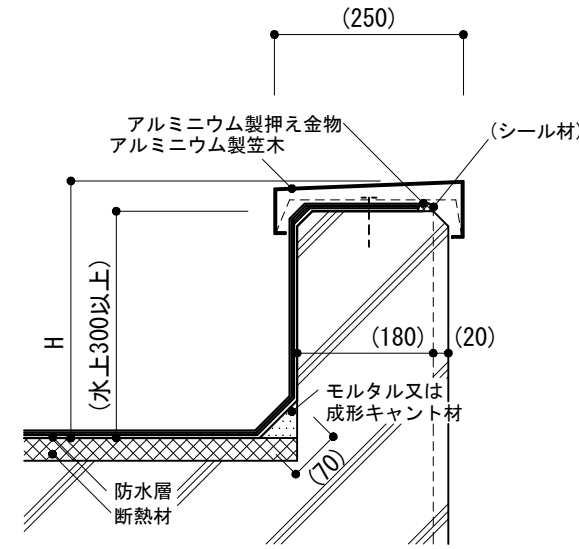
建築工事標準詳細図 令和4年版

5-03

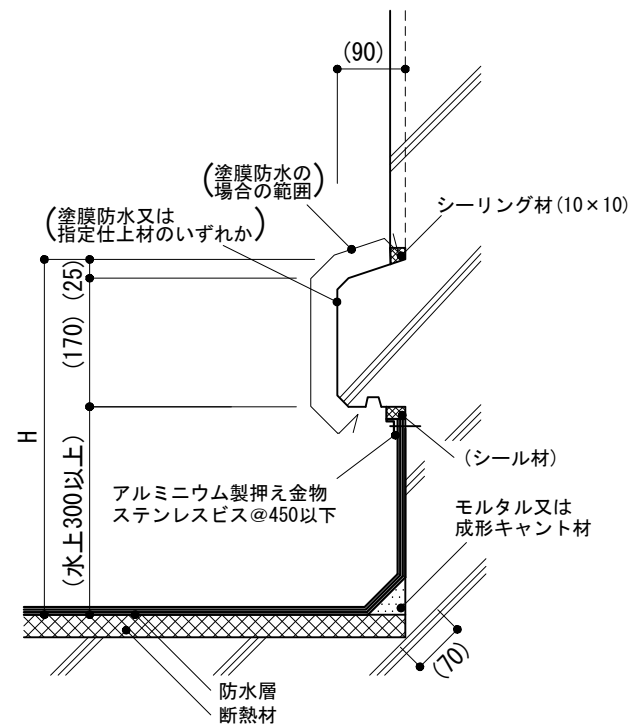
-1 屋上パラペット(コンクリート笠木)



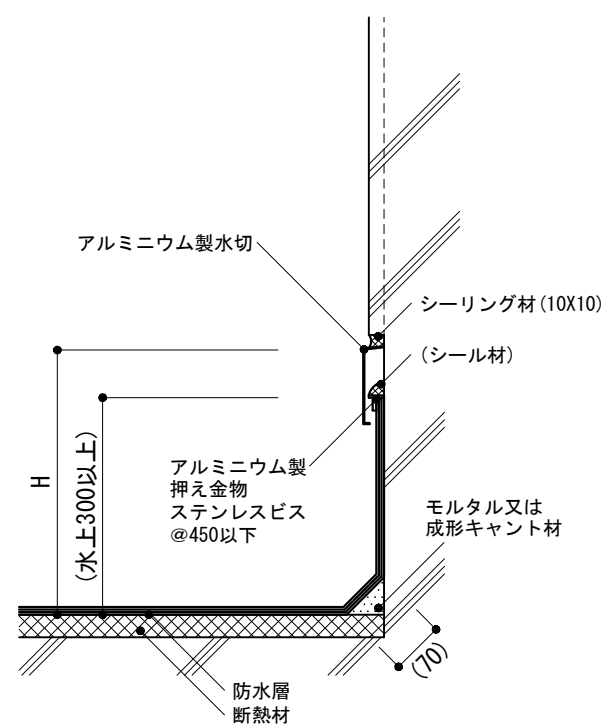
-2 屋上パラペット(アルミニウム製笠木)



-3 屋上取合い(塔屋等)



-4 屋上取合い(塔屋等)



仕様
 1) 立上り入隅は45度に仕上げる。
 2) アルミニウム製笠木及び水切は押出型材の既製品とする。

特記事項
 1) 水上部分のH
 2) アルミニウム製笠木及び水切の部材の種類及び表面処理の種別
 3) 指定仕上材の種類、範囲
 4) 断熱材の材質、厚さ
 5) -1, -3の天端の防水層の種類

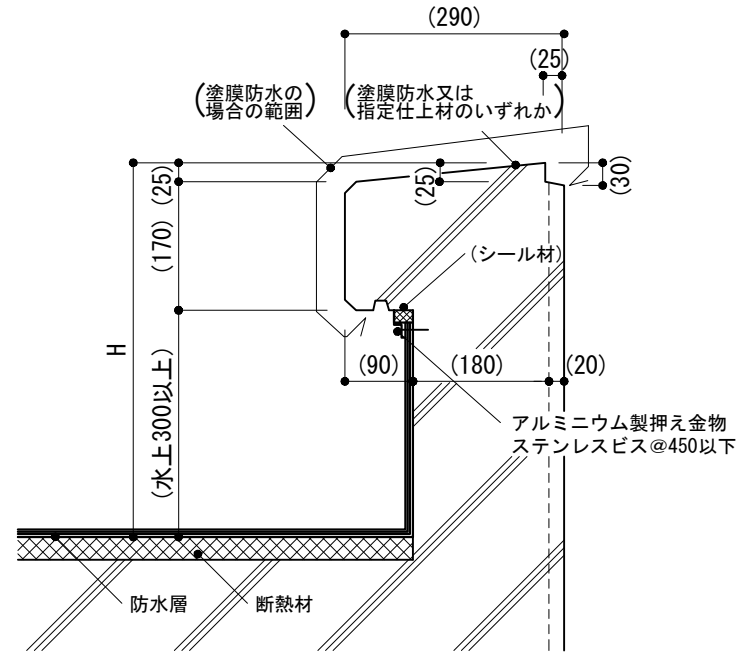
図面名称 屋根露出防水絶縁断熱工法 (アスファルト防水)

縮尺 1/10

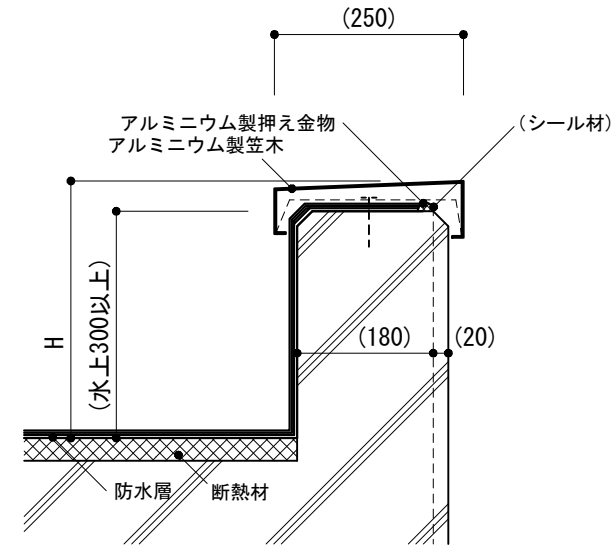
建築工事標準詳細図 令和4年版

5-04

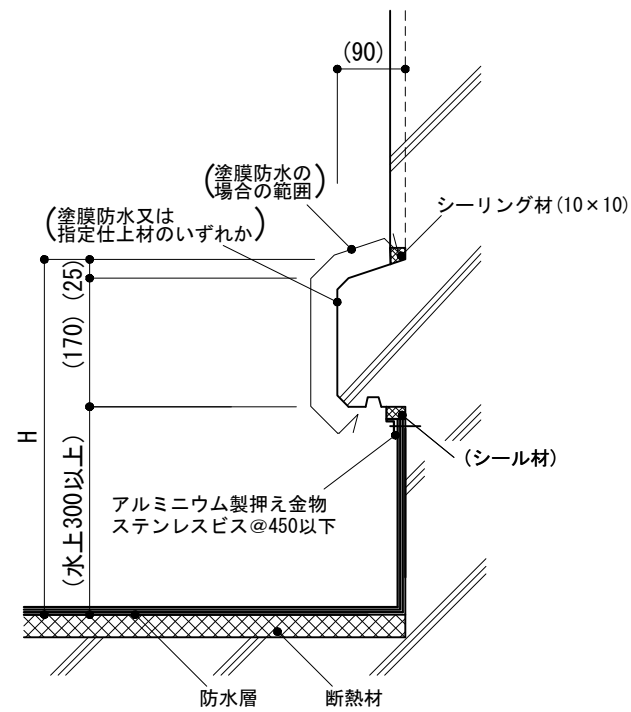
-1 屋上パラペット(コンクリート笠木)



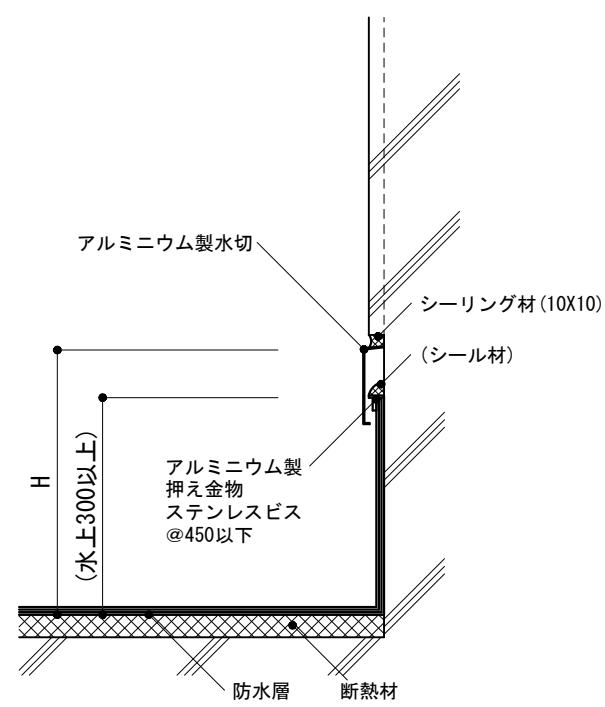
-2 屋上パラペット(アルミニウム製笠木)



-3 屋上取合い(塔屋等)



-4 屋上取合い(塔屋等)



仕様

- 1) 立上り入隅は45度に仕上げる。
- 2) アルミニウム製笠木及び水切は押出型材の既製品とする。

特記事項

- 1) 水上部分のH
- 2) アルミニウム製笠木及び水切の部材の種類及び表面処理の種別
- 3) 指定仕上材の種類、範囲
- 4) 断熱材の材質、厚さ
- 5) -1, -3の天端の防水層の種類

図面名称

屋根露出防水絶縁断熱工法
(改質アスファルト防水,
合成高分子系ルーフィングシート防水)

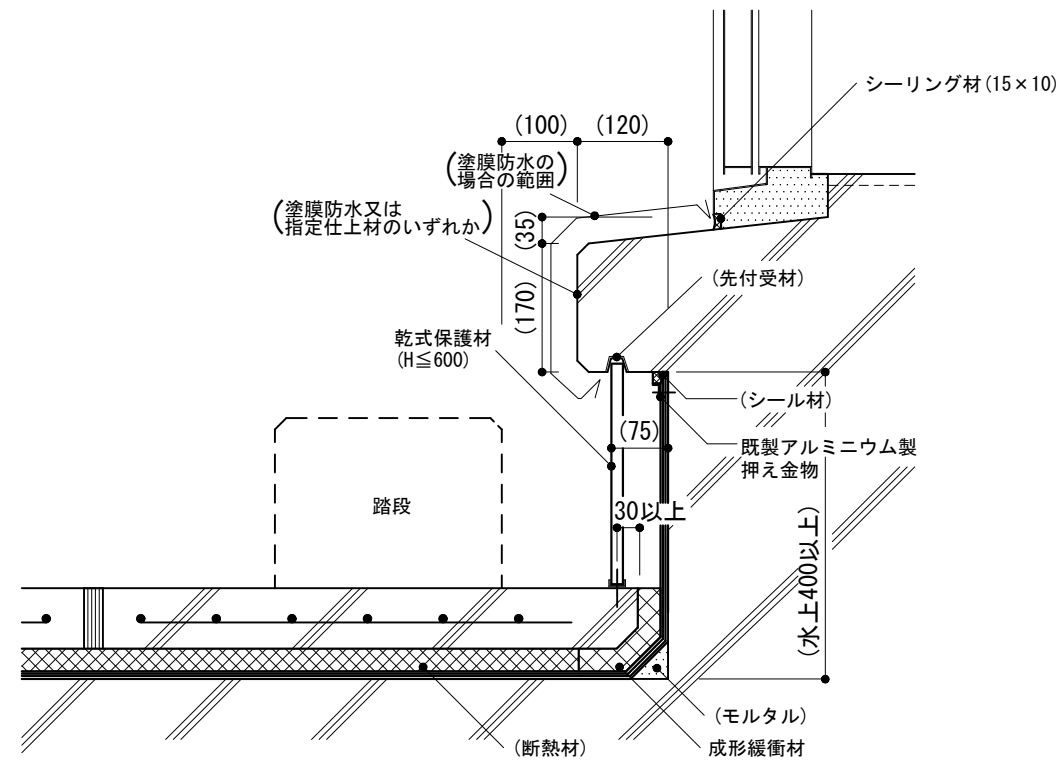
縮尺

1/10

建築工事標準詳細図 令和4年版

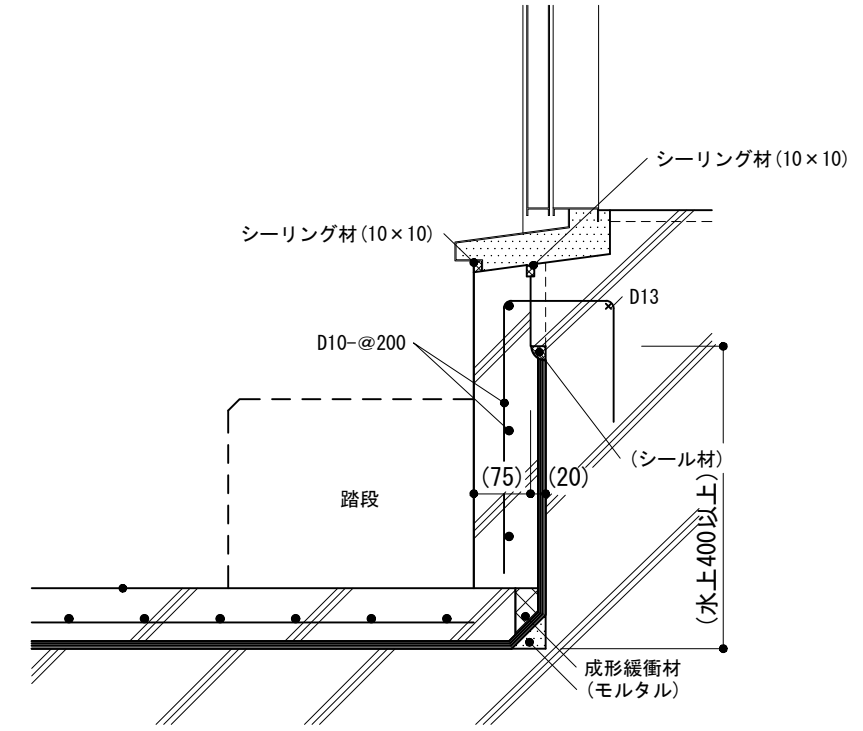
5-05

-1 塔屋等の建具取合い



断面

-2 塔屋等の建具取合い



断面

仕様

1) 防水層立上り部及び防水層の押さえ等は、5-01~05による。

特記事項

- 1) 踏段の材質, 形状
- 2) 枠の塗装の種類
- 3) 踏段のノンスリップタイプの有無及び種別
- 4) 建具及び建具取合い
- 5) 指定仕上材の種類, 範囲
- 6) -1の天端の防水層の種類

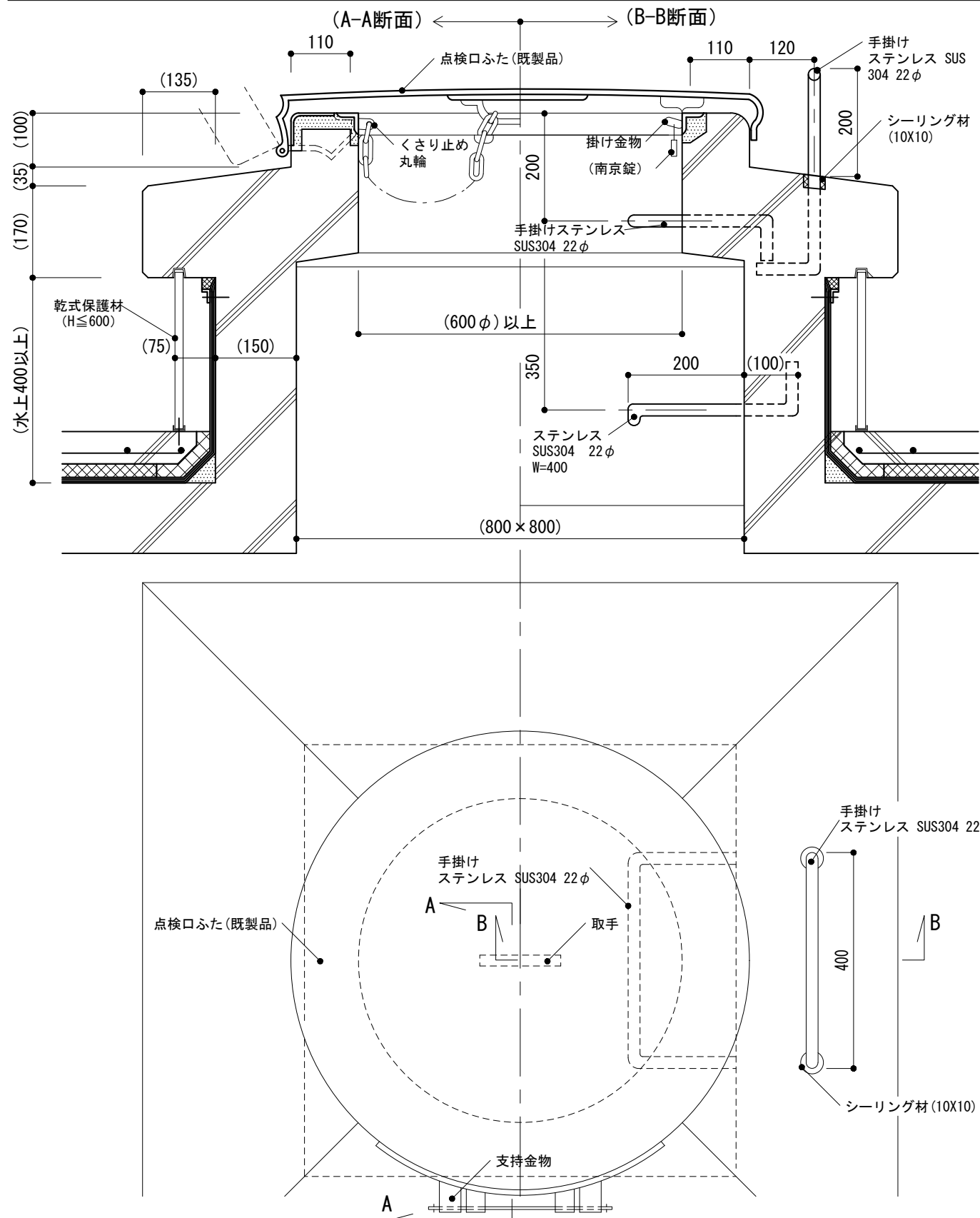
図面名称 屋上取合い:塔屋等の建具取合い

縮尺 1/10

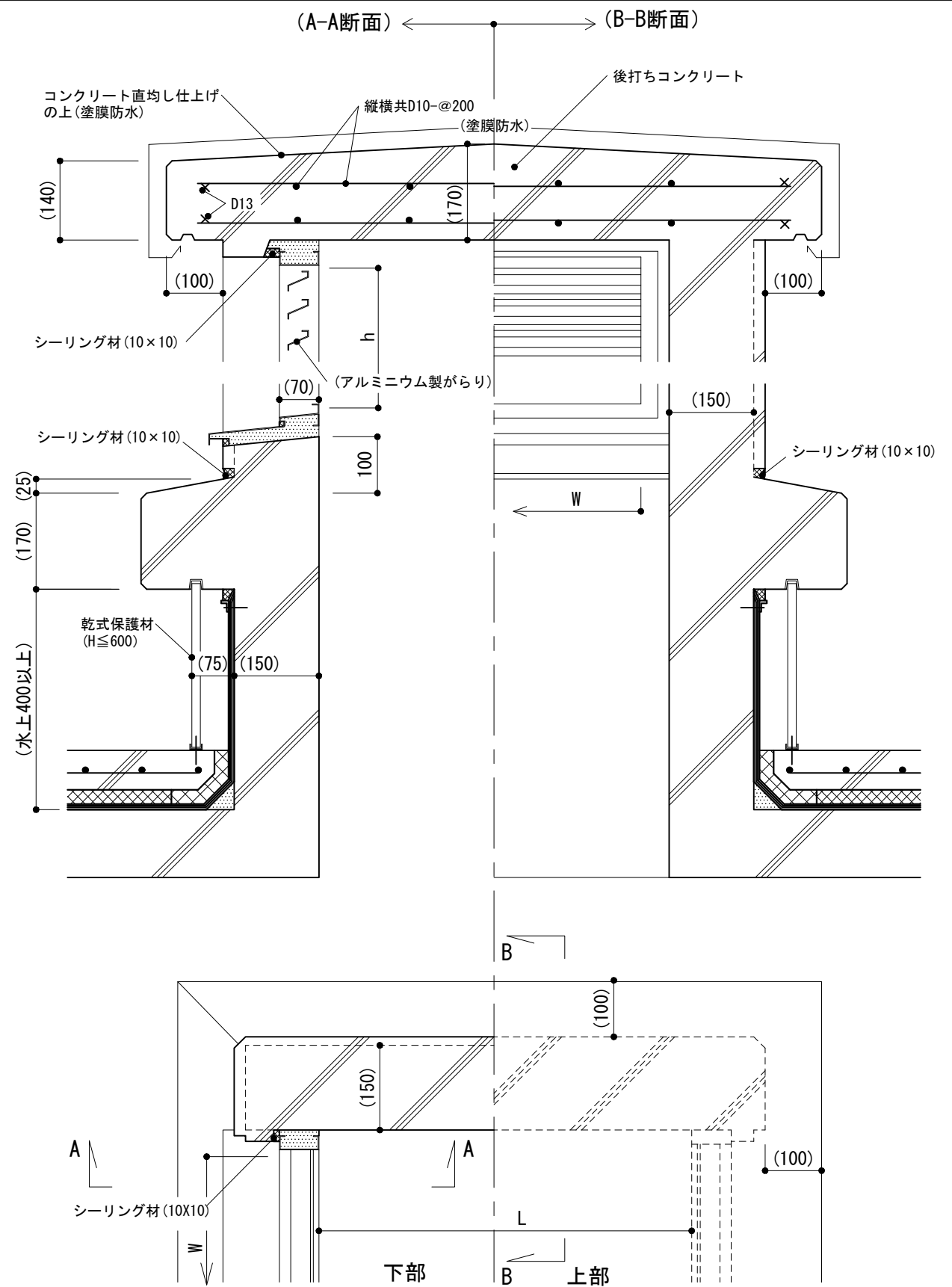
建築工事標準詳細図 令和4年版

5-11

-1 点検口



-2 換気塔



仕様

- 1) -1の鉄面及び亜鉛めっき面で見えがかり部はSOP塗りとする。
- 2) -1のマンホール吊もと位置は、タラップ上り勝手右側とする。
- 3) 防水層立上り部及び防水層の押さえ等は、5-01~05による。

特記事項

- 1) -2のW、h及びL
- 2) -2の天端の防水層の種類

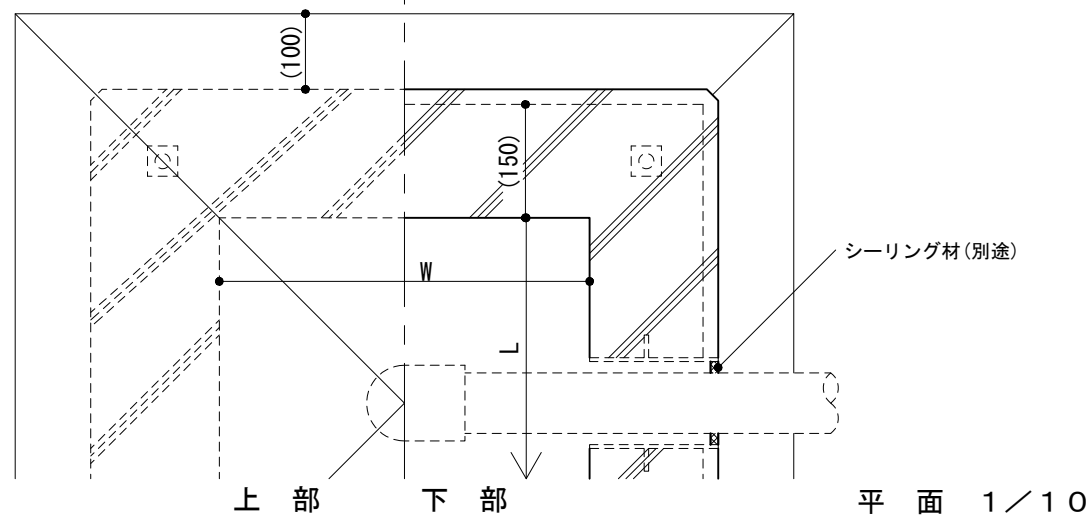
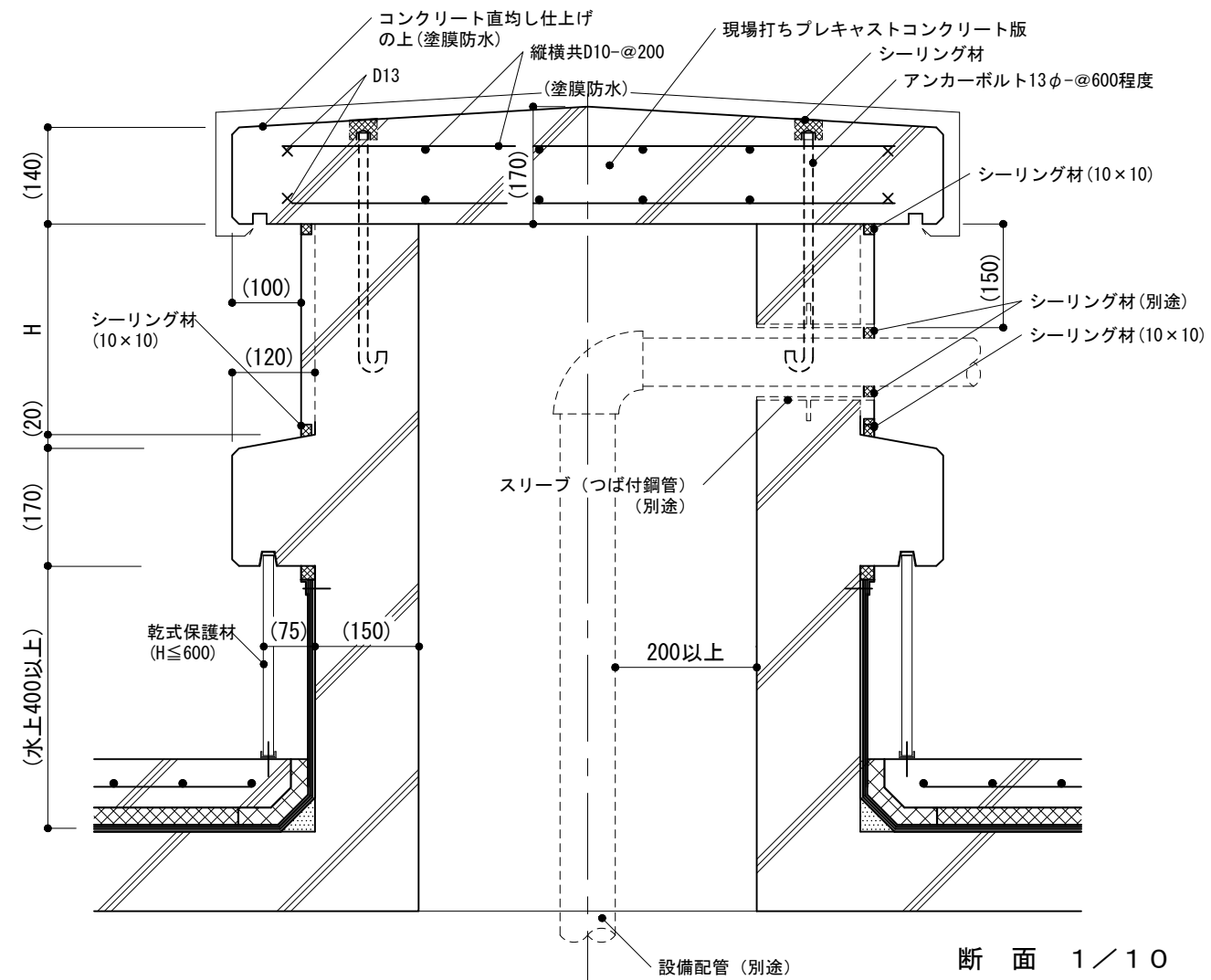
図面名称 屋上取合い：点検口、換気塔

縮尺 1/10

建築工事標準詳細図 令和4年版

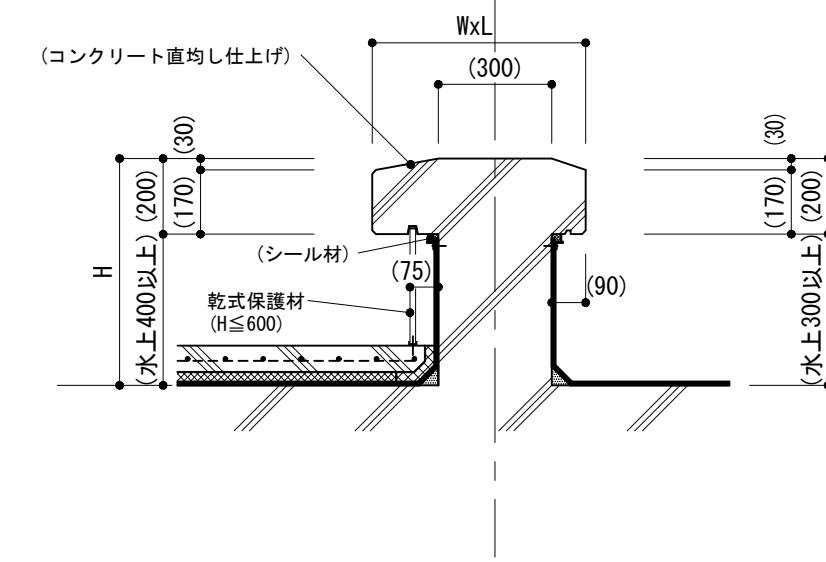
5-21

-1 管類取出し口



-2 クーリングタワー基礎, テレビアンテナ基礎, 太陽光発電基礎

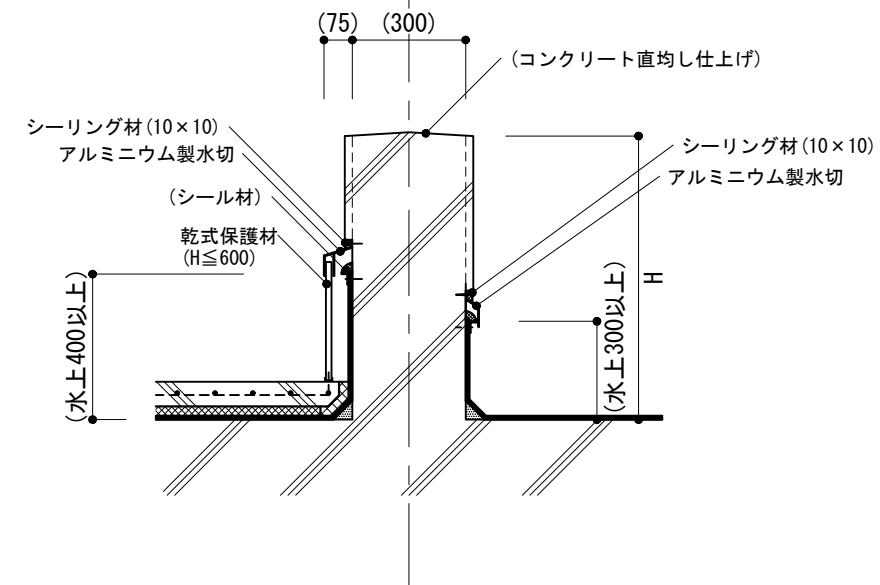
屋根保護防水断熱工法の場合 ← → 屋根露出防水工法の場合



1/20

-3 クーリングタワー基礎, テレビアンテナ基礎, 太陽光発電基礎

屋根保護防水断熱工法の場合 ← → 屋根露出防水工法の場合



1/20

仕様
1) 防水層立上り部及び防水層押さえ等は, 5-01~05による。

特記事項
1) W, L, H
2) スリーブ管の位置, 径
3) -1の天端の防水層の種類

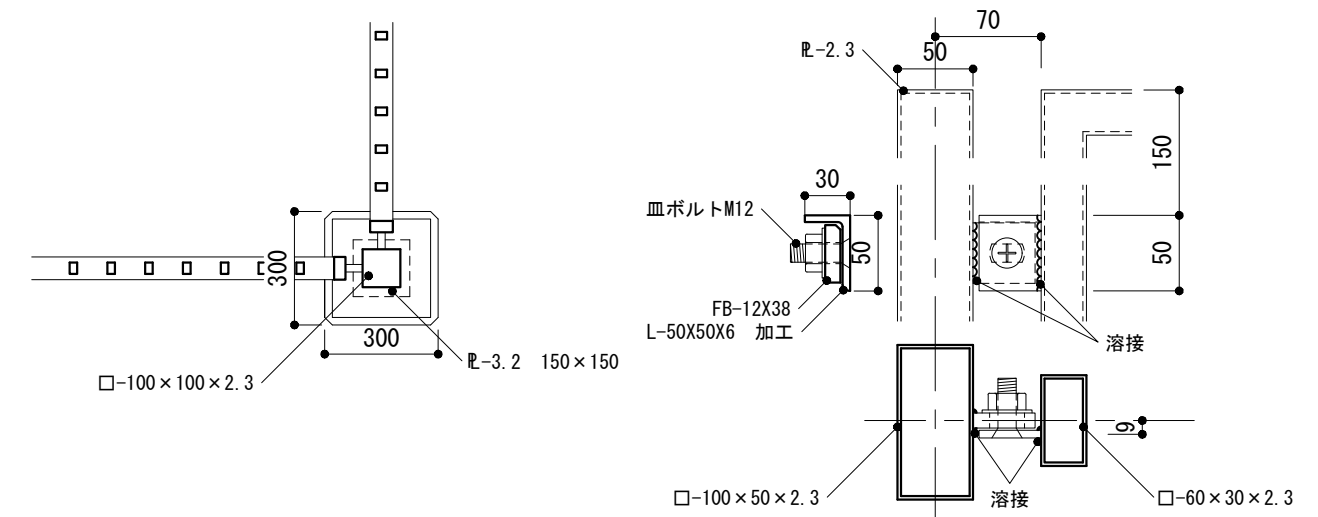
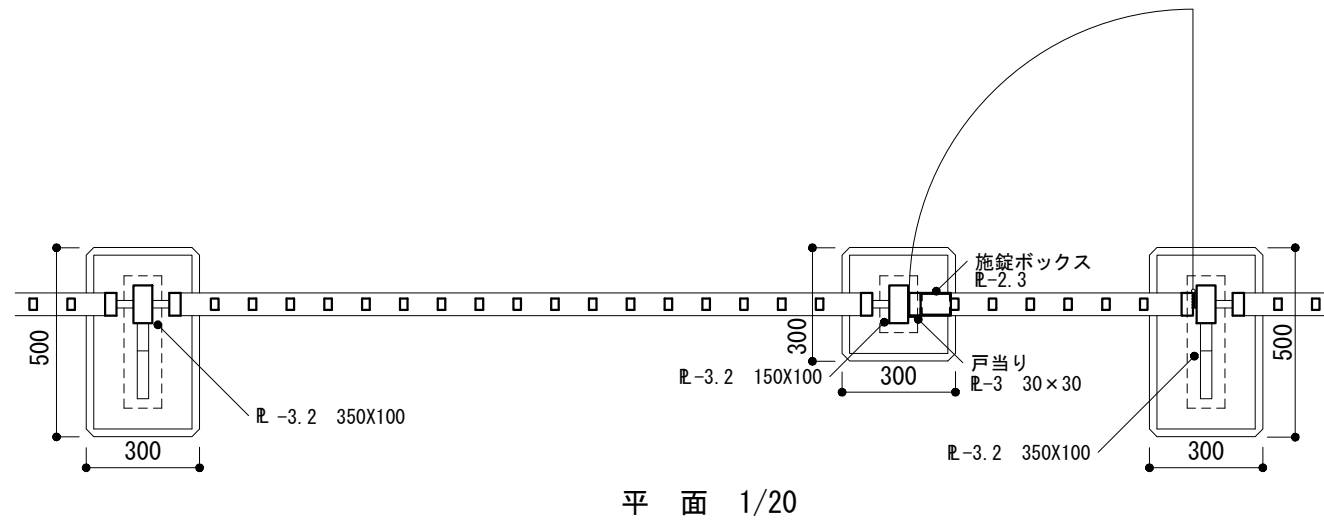
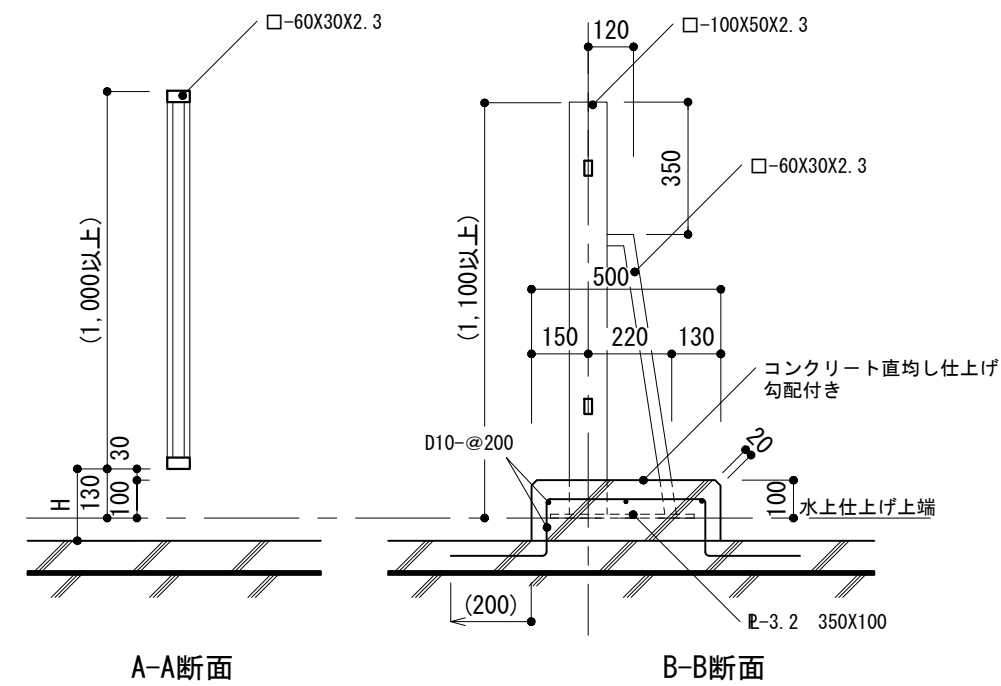
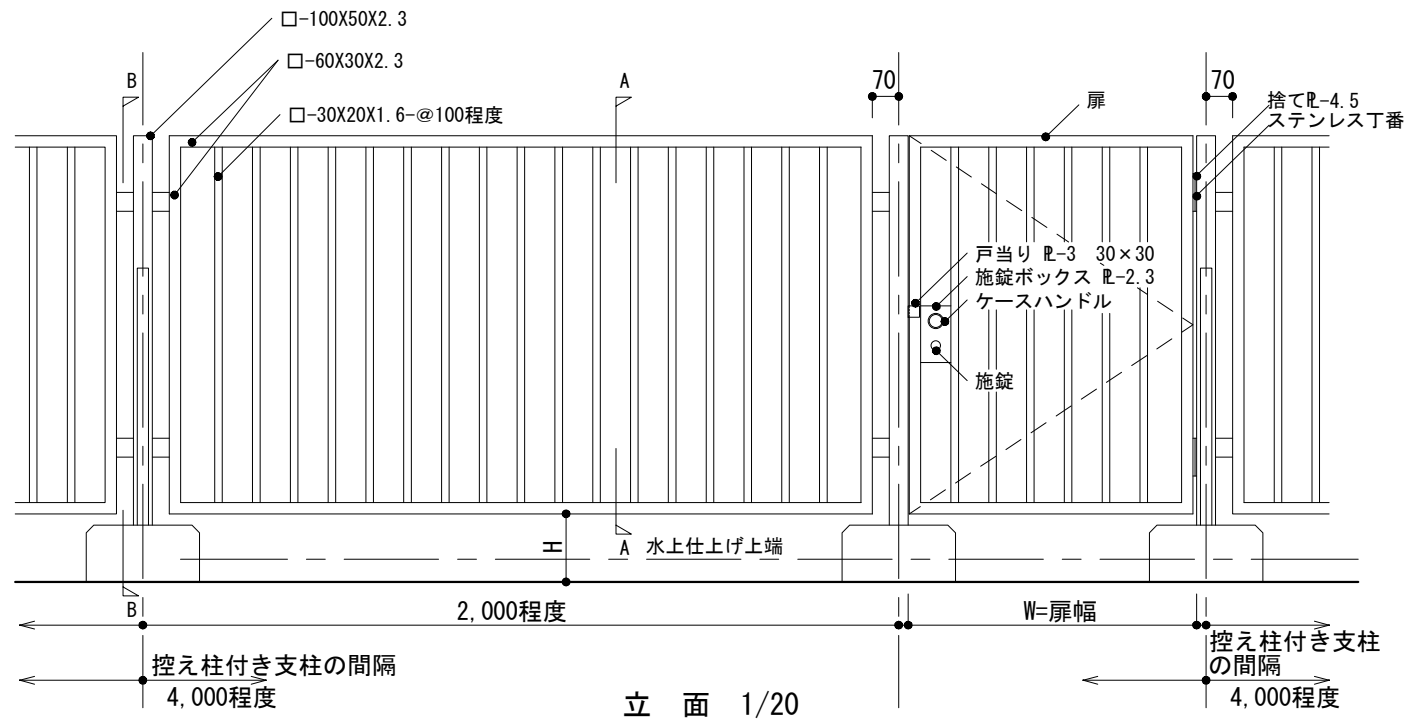
図面名称 屋上取合い: 管類取出し口, 屋上基礎

縮尺 1/10, 1/20

建築工事標準詳細図 令和4年版

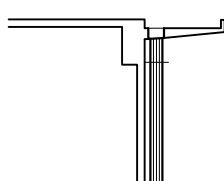
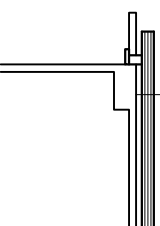
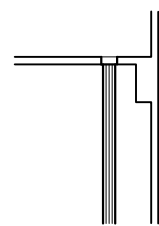
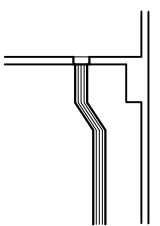
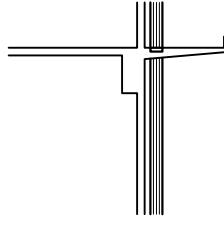
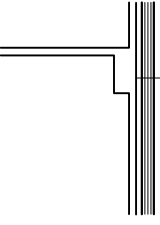
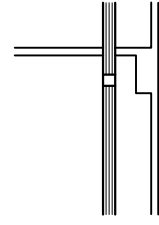
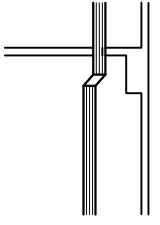
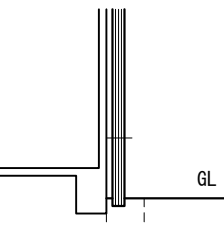
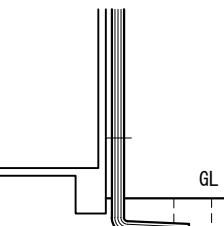
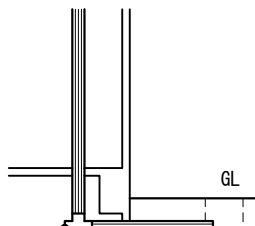
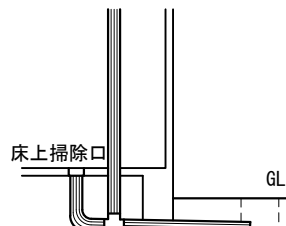
5-22

-1 手すり



<p>仕様</p> <p>1) 見えがかりとなる鉄面はSOP塗りとする。</p> <p>2) 接合部は全周溶接とする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) W, H</p> <p>2) 鍵の種類</p> <p>3) 溶融亜鉛めっきをする場合, その種別</p>	<p>図面名称 屋上取合い:手すり</p>	
		縮尺	1/5, 1/20
		<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p>	
		5-23	

-1~-12 縦どいの形式

	外どいの形式		内どいの形式	
最上部	<p>-1</p>  <p>ルーフドレン 縦どい</p>	<p>-2</p>  <p>ルーフドレン(横走り) 呼びどい 縦どい</p>	<p>-3</p>  <p>ルーフドレン 縦どい</p>	<p>-4</p>  <p>ルーフドレン エルボ 縦どい</p>
中間部	<p>-5</p>  <p>フロアドレン 縦どい</p>	<p>-6</p>  <p>縦どい</p>	<p>-7</p>  <p>ソケット 縦どい</p>	<p>-8</p>  <p>エルボ 縦どい</p>
下部	<p>-9</p>  <p>縦どい</p>	<p>-10</p>  <p>エルボ 縦どい</p>	<p>-11</p> <p>下階などのある場合</p>  <p>掃除口 90° Y管+プラグ 縦どい</p>	<p>-12</p> <p>下階などのない場合</p>  <p>床上掃除口 90° Y管, エルボ 縦どい</p>

仕様

1) 見えがかりとなる鉄面及び溶融亜鉛めっき面並びに防露被覆部はSOP塗りとする。

特記事項

1) といの材種, 管径

図面名称

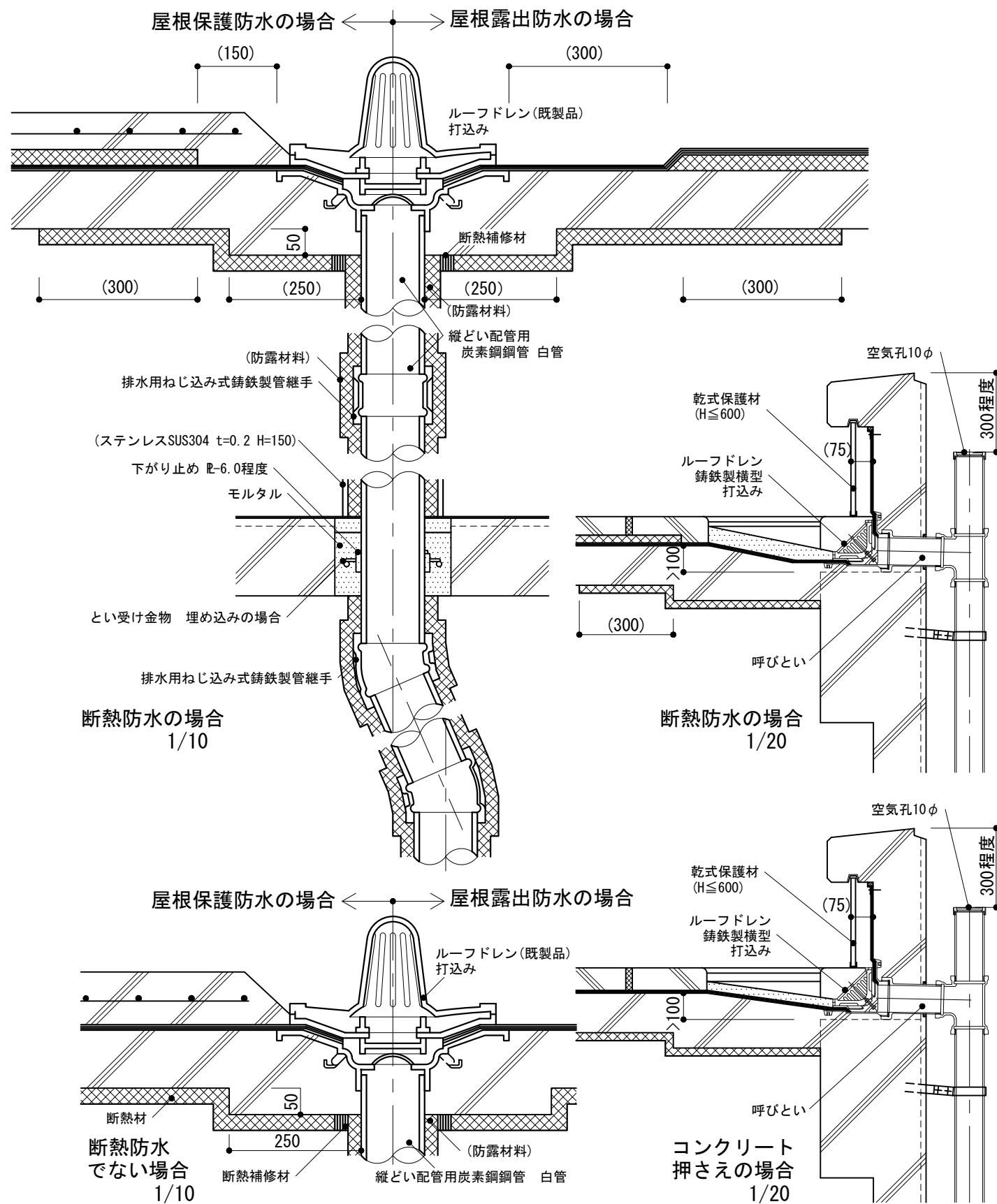
縦どいの形式

縮尺

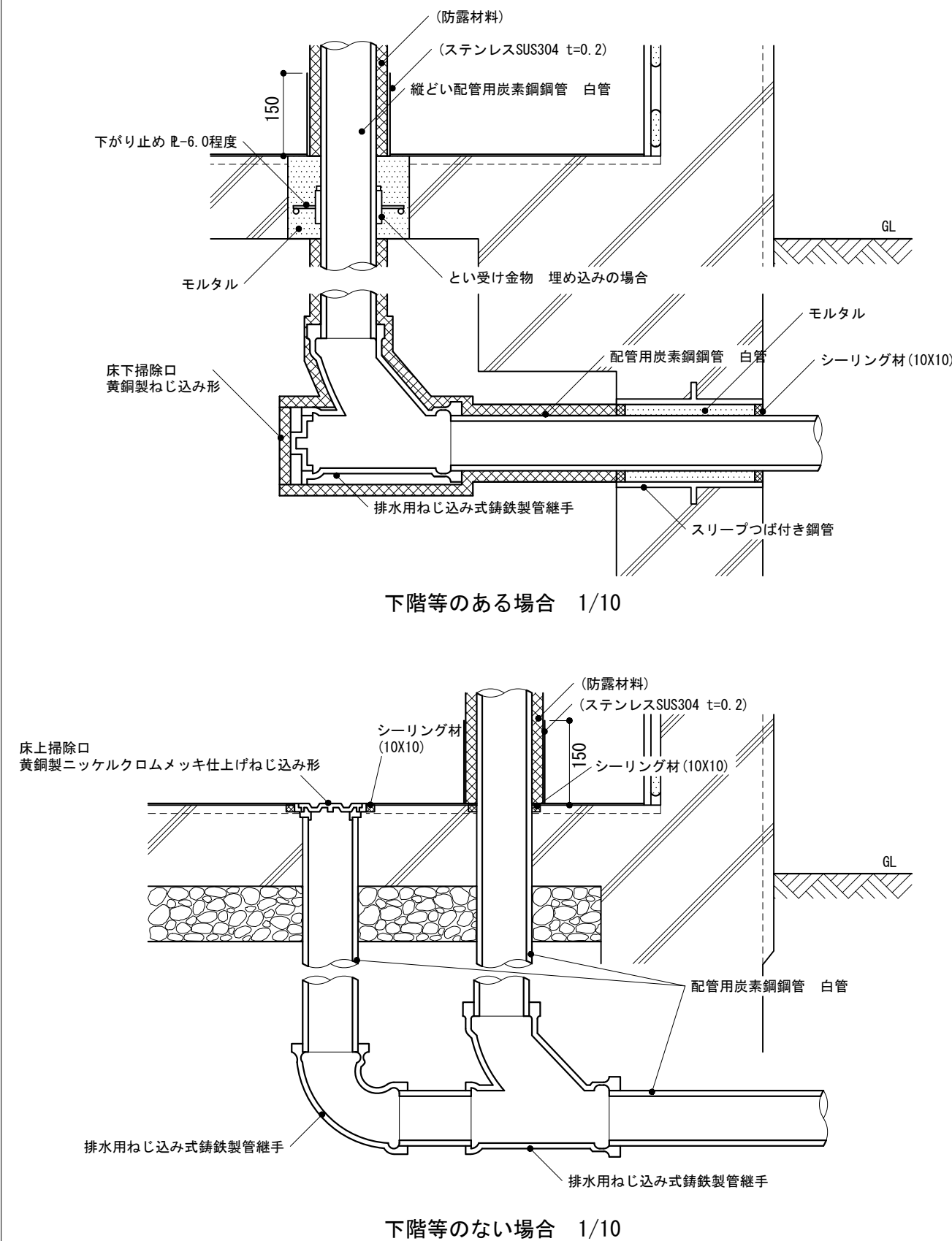
建築工事標準詳細図 令和4年版

5-31

-1 ルーフドレン及び縦どい継手

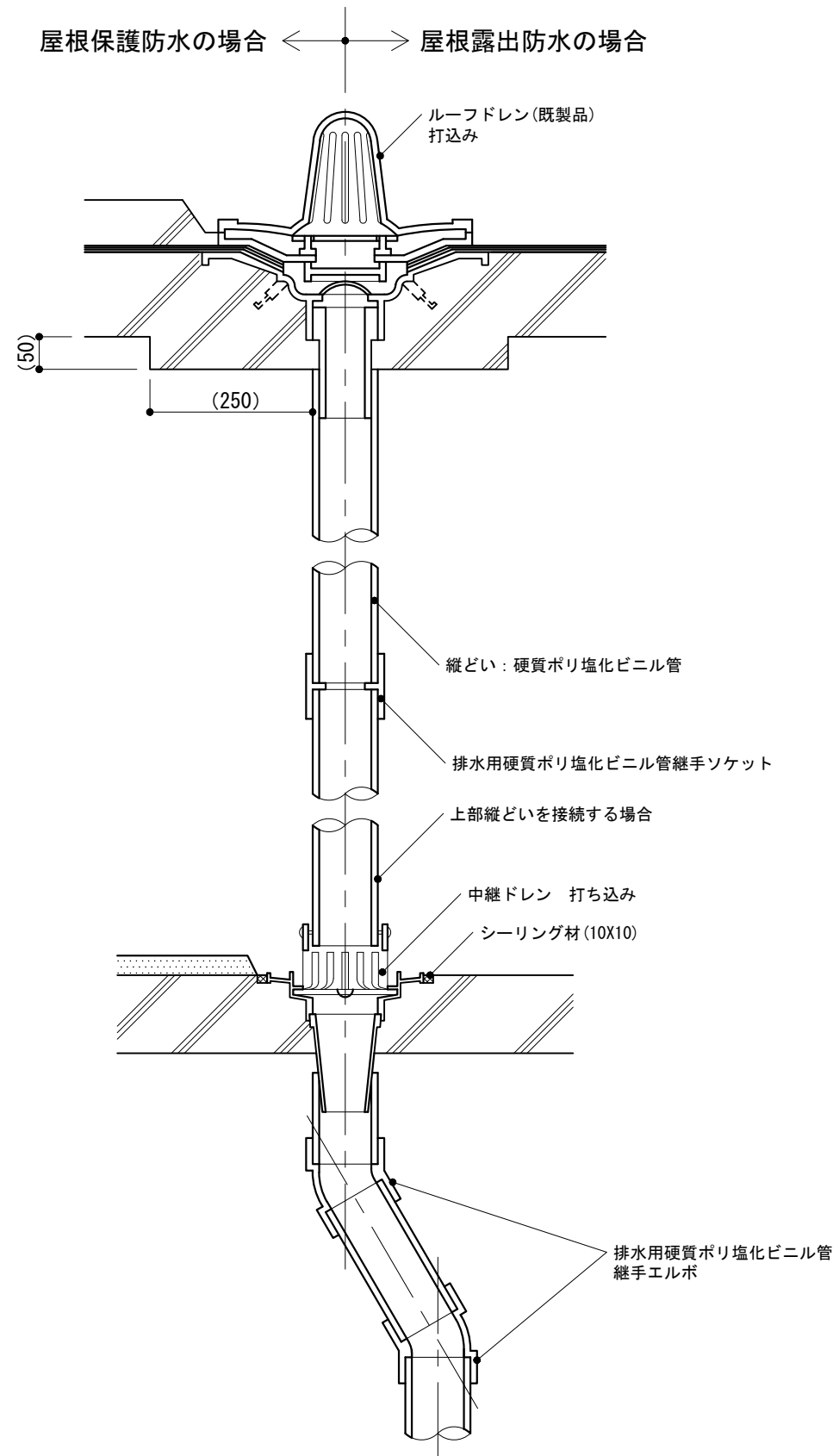


-2 掃除口



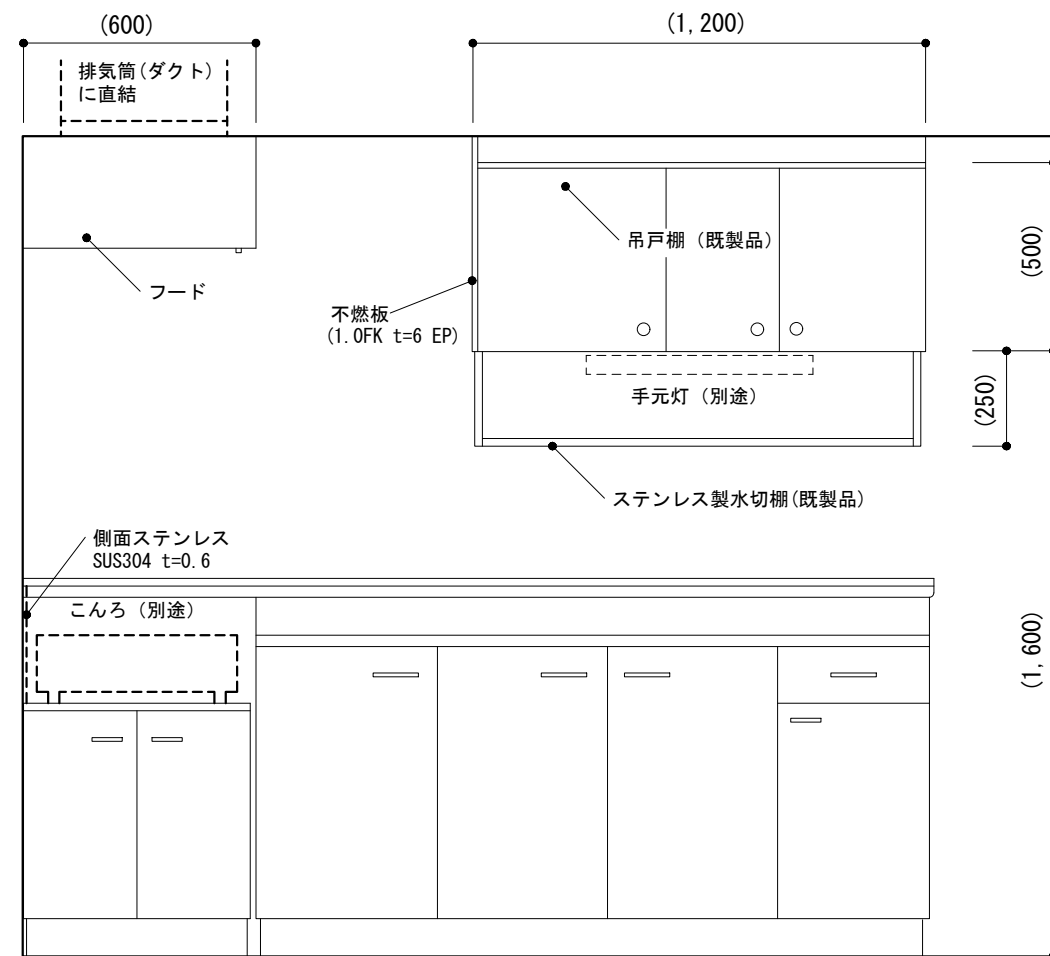
<p>仕様</p> <p>1) 床上掃除口及び床下掃除口は公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) ルーフドレン, 縦どいの管径</p> <p>2) 断熱補修材の材種</p> <p>3) 防露材料の有無及び材種</p>	
	<p>図面名称</p> <p>ルーフトレン及び縦どい :配管用炭素鋼鋼管 白管</p>	<p>縮尺</p> <p>1/10, 1/20</p>
	<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">5-32</p>	

-1 ルーフドレン及び縦どい継手(屋外用)

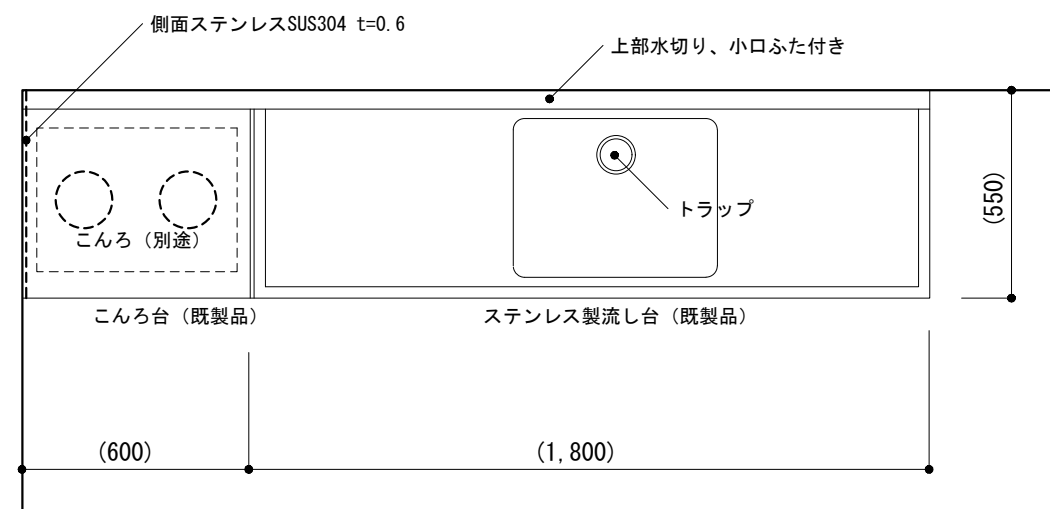


仕様	特記事項 1) ルーフドレン, 縦どいの管径	図面名称	ルーフドレン及び縦どい : 硬質ポリ塩化ビニル管	
		縮尺	1/10	5-33
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 湯沸室器具配置

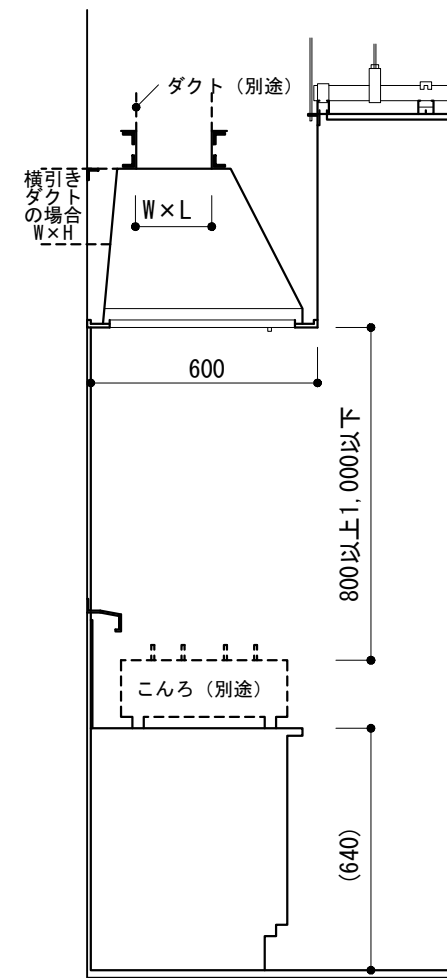


展開 1/20



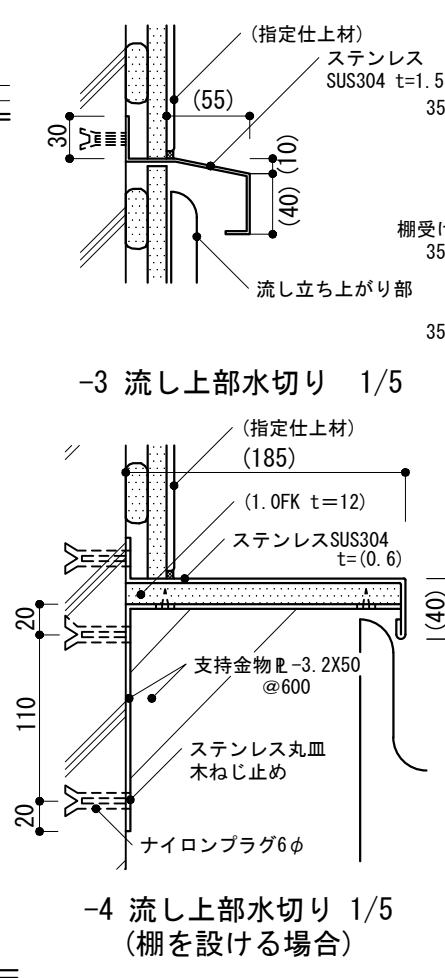
平面 1/20

-2 フード



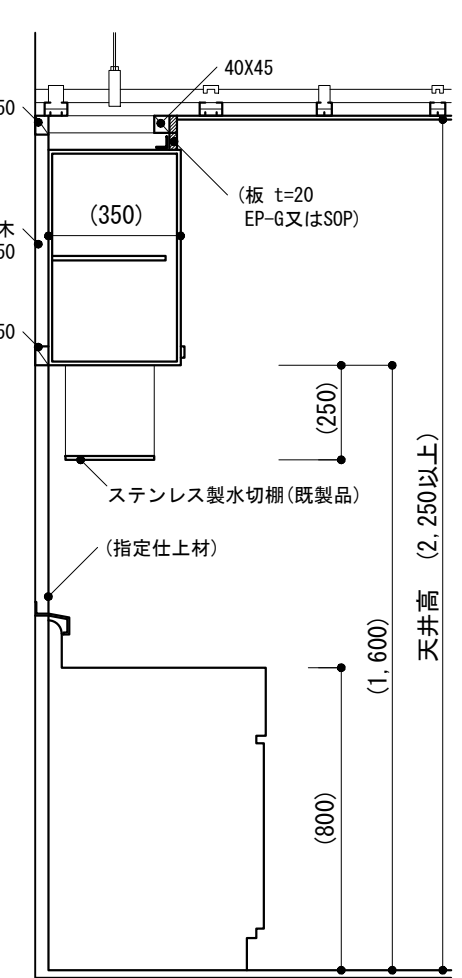
断面 1/20

-3・-4 流し上部水切り

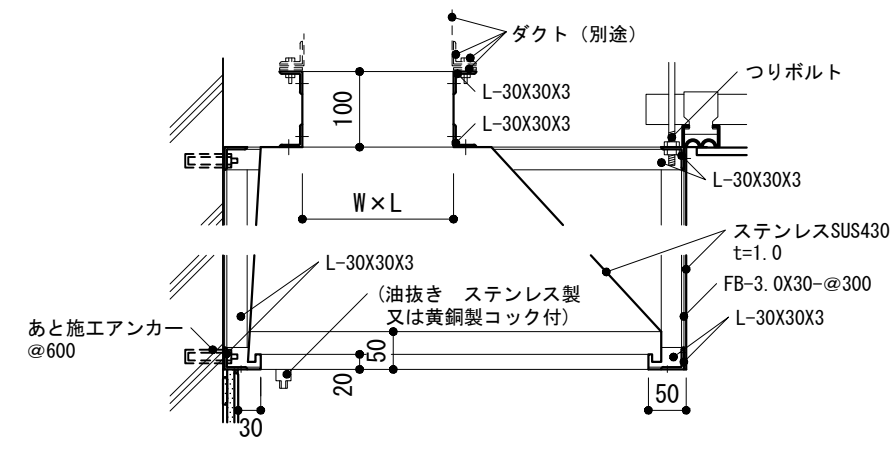


-3 流し上部水切り 1/5
-4 流し上部水切り 1/5 (棚を設ける場合)

-5 吊戸棚



断面 1/20



フード 1/10

仕様

- 1) 設計上の標準的配置及び寸法を示す。
- 2) 鉄面は錆止め塗料塗りとする。
- 3) フードのステンレスの表面仕上は、No.2Bとする。
- 4) 流し台及びコンロ台を設置する部分の壁面隠蔽部分は、仕上げなしとする。

特記事項

- 1) 流し台、コンロ台、吊戸棚、水切棚の形状、寸法、配置、各部の仕上げ
- 2) ダクト接続用開口のW, L 又はW, H
- 3) 油抜きの有無
- 4) 塗装の種別
- 5) 指定仕上材の種類

図面名称

湯沸室

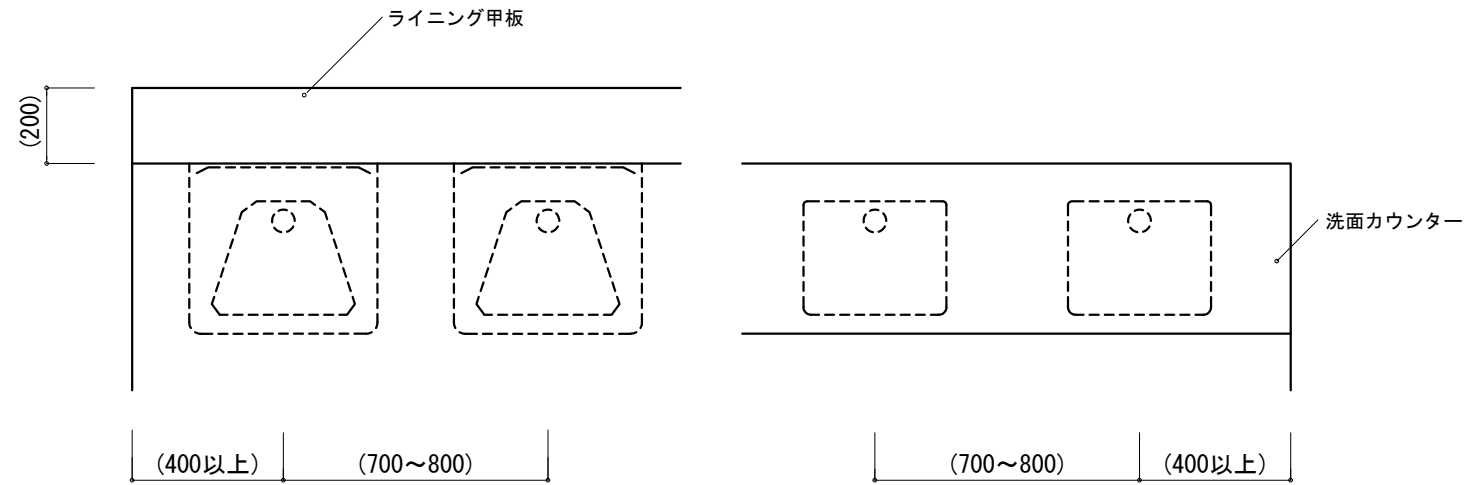
縮尺

1/5, 1/10, 1/20

建築工事標準詳細図 令和4年版

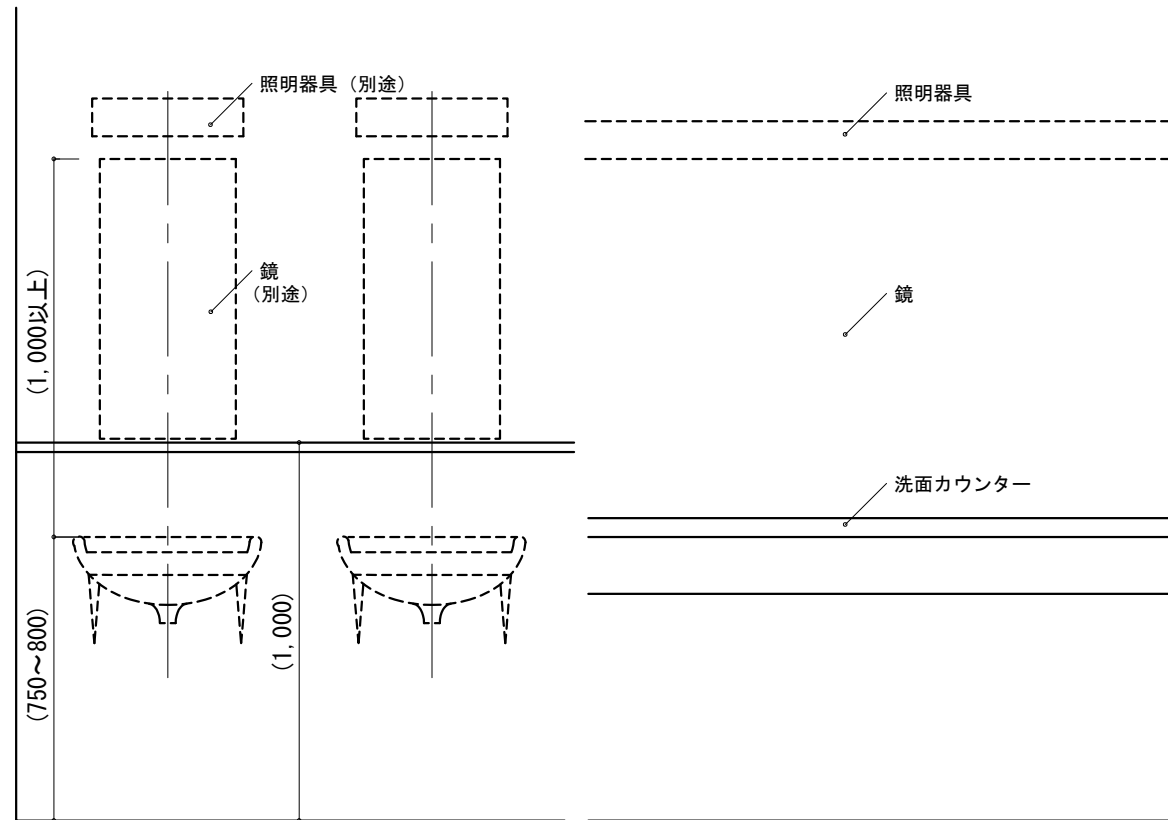
6-11

-1 洗面器



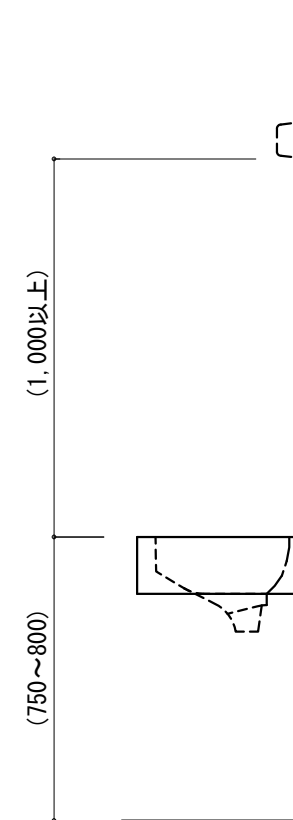
平面

平面 (洗面カウンター付きの場合)



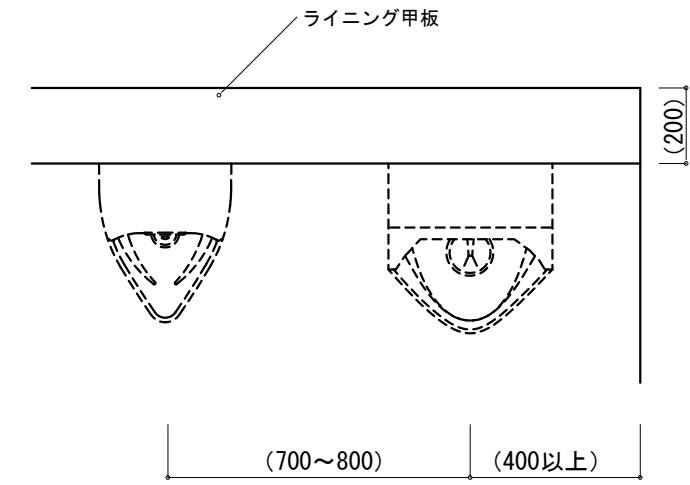
立面

立面 (洗面カウンター付きの場合)

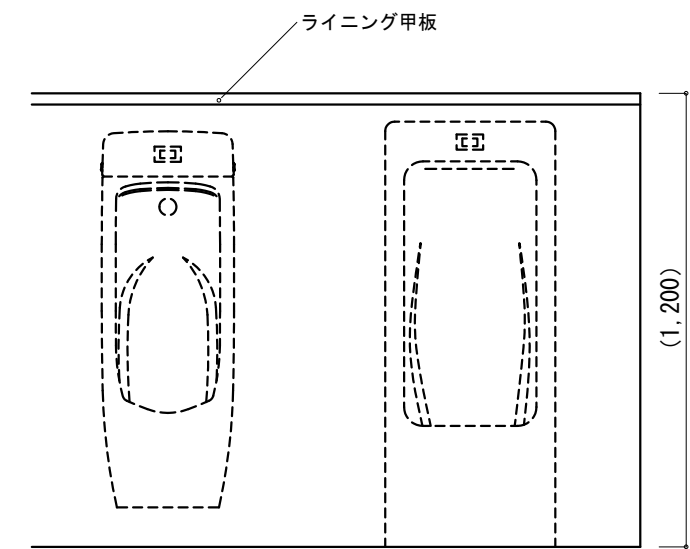


断面

-2 小便器



平面



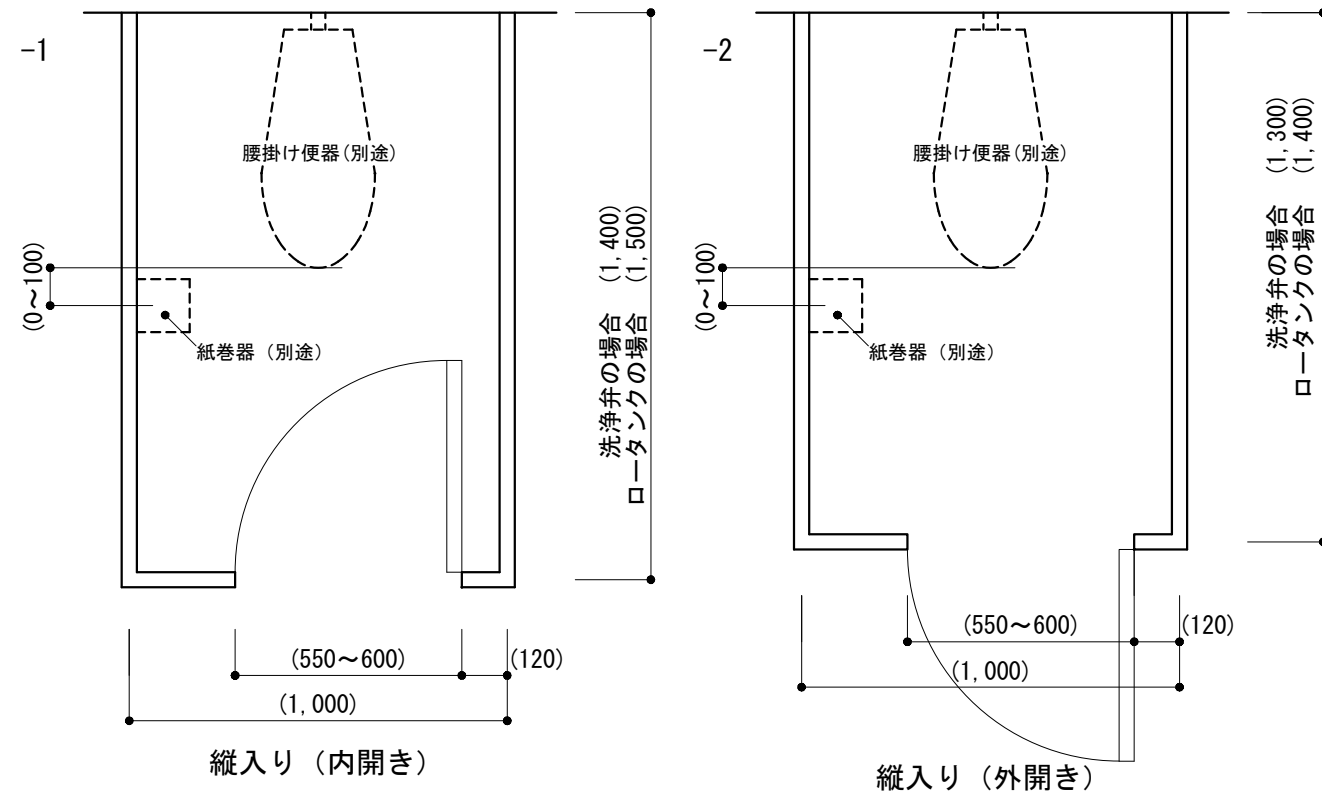
壁掛型
(低リップ型)

床置型

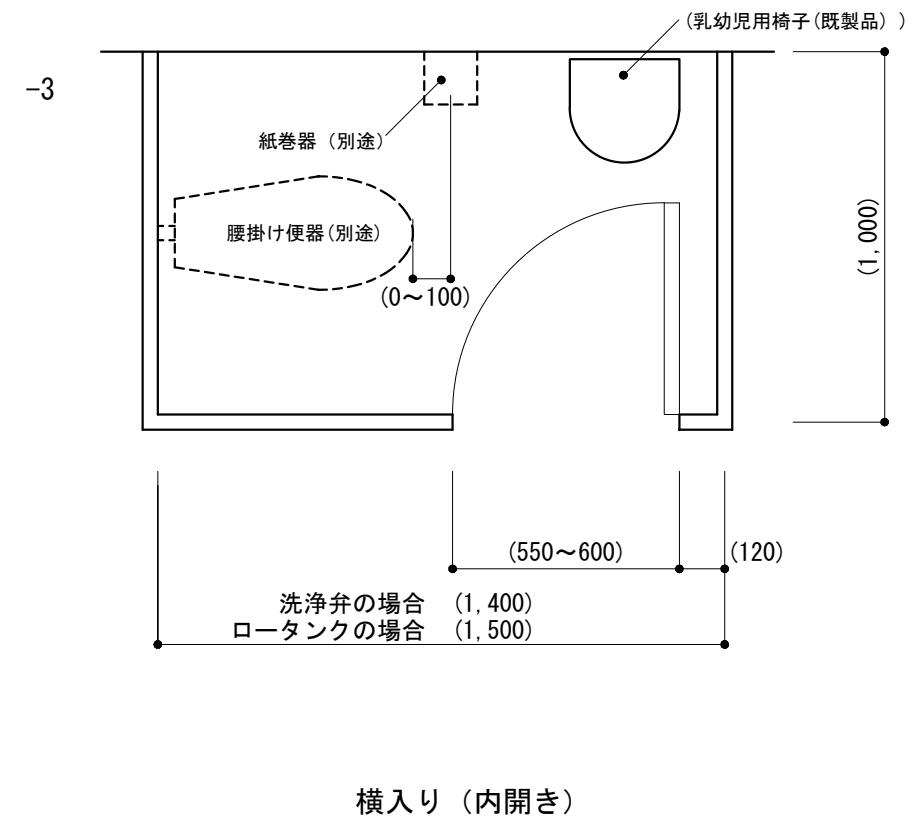
立面

仕様	特記事項 1) ライニングの有無 2) ライニング甲板の材種 3) 洗面カウンターの材種及び手すりの設置 4) フック(傘, 杖立て)の設置	図面名称	洗面所・便所 : 衛生器具配置	
		縮尺	1/20	6-21
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

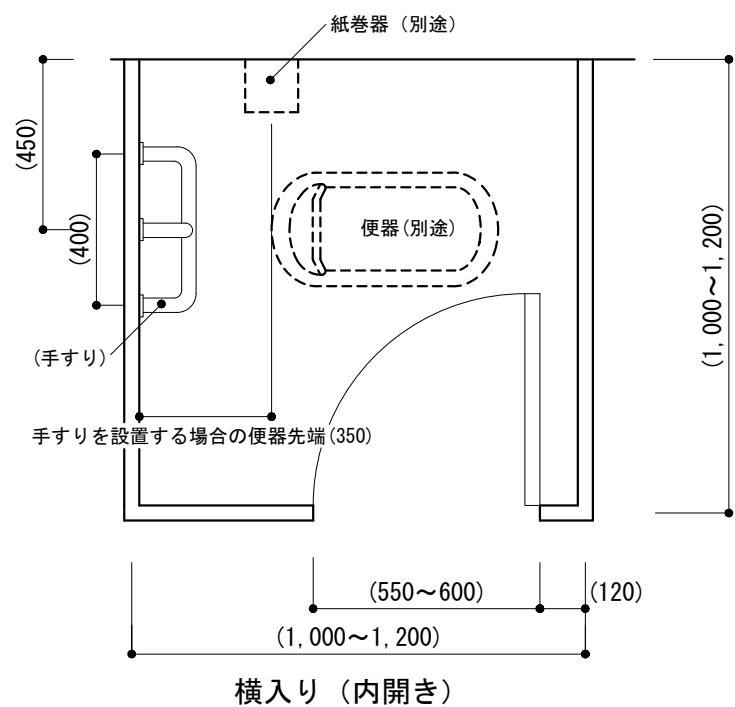
-1-2 一般便房(洋風便器)



-3 一般便房(乳幼児用椅子)

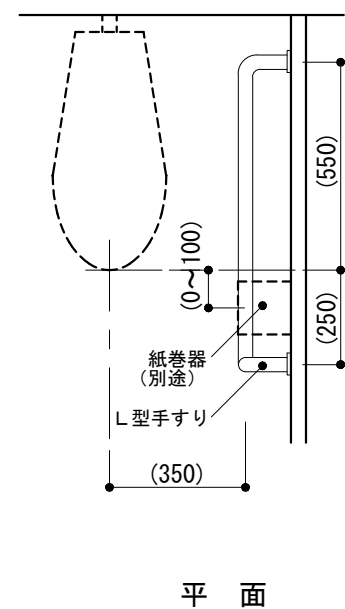


-4 一般便房(和風便器)

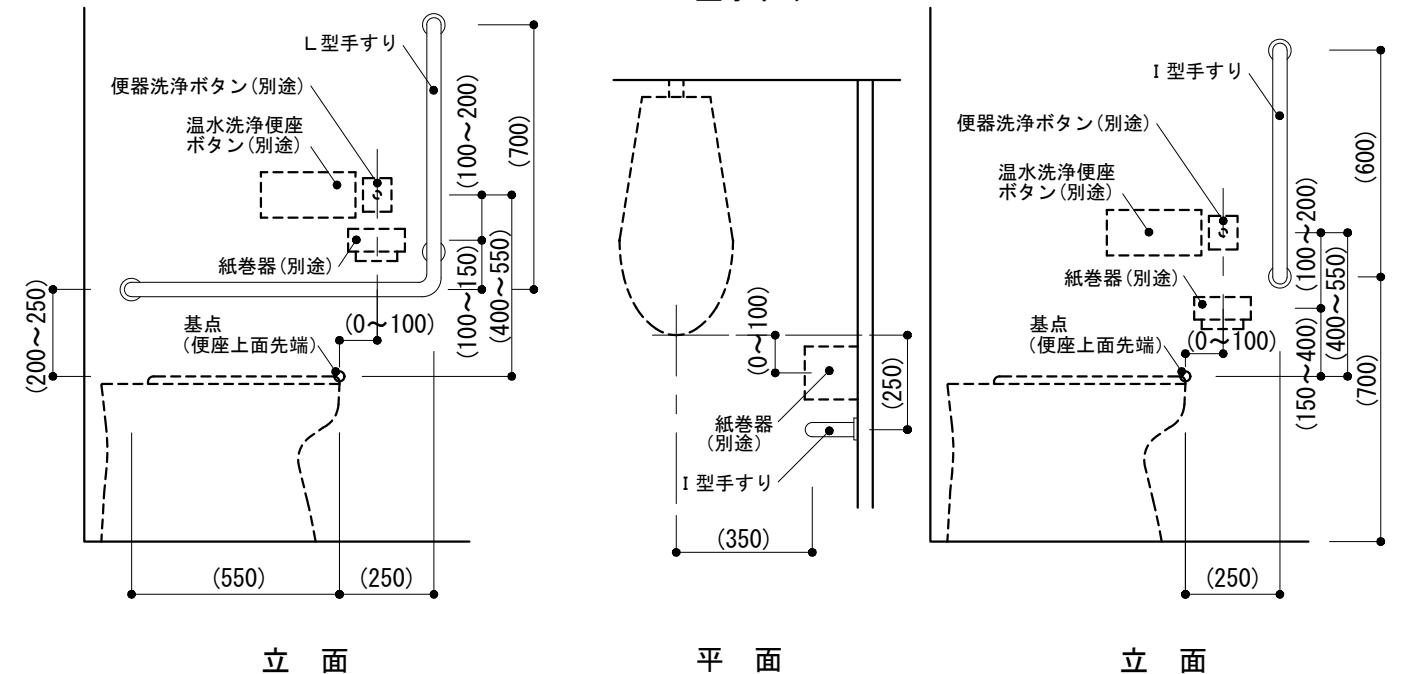


-5-6 一般便房(手すり)

-5 L型手すり



-6 I型手すり



仕様

- へだての補強は製造所の仕様による。
- 紙巻器及び便器洗浄ボタンの配置は、JIS S 0026に基づくものとする。

特記事項

- へだての位置寸法
- 1~-4の手すりの設置及び形状
- 1~-4の乳幼児用椅子の設置
- 手すりの径、材種、表面仕上げ

図面名称

便所：一般便房

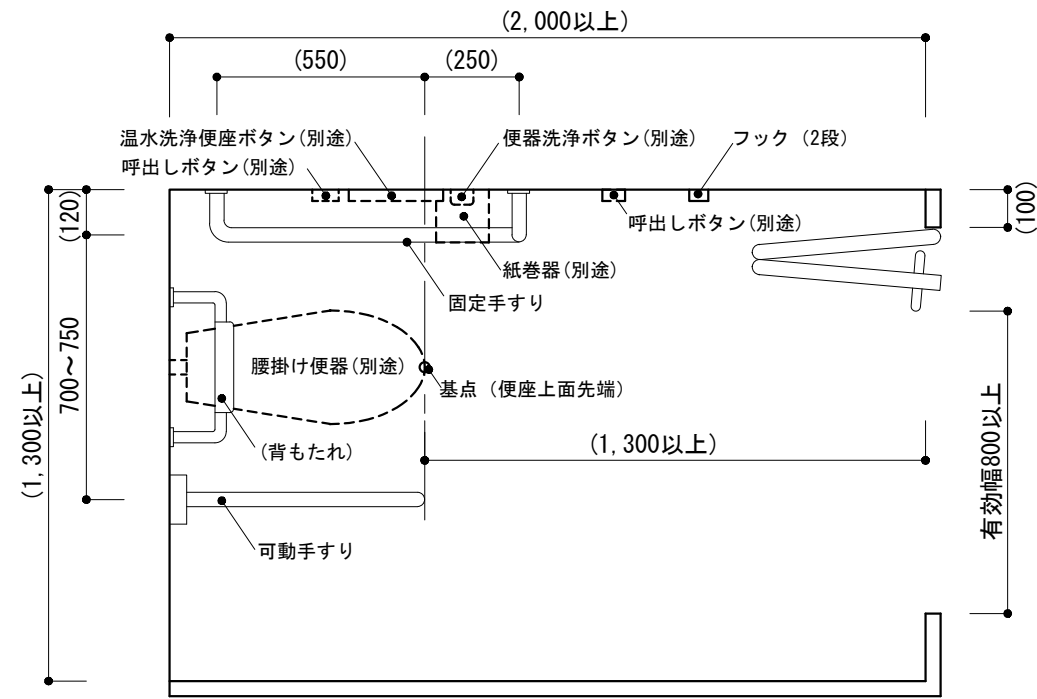
縮尺

1/20

建築工事標準詳細図 令和4年版

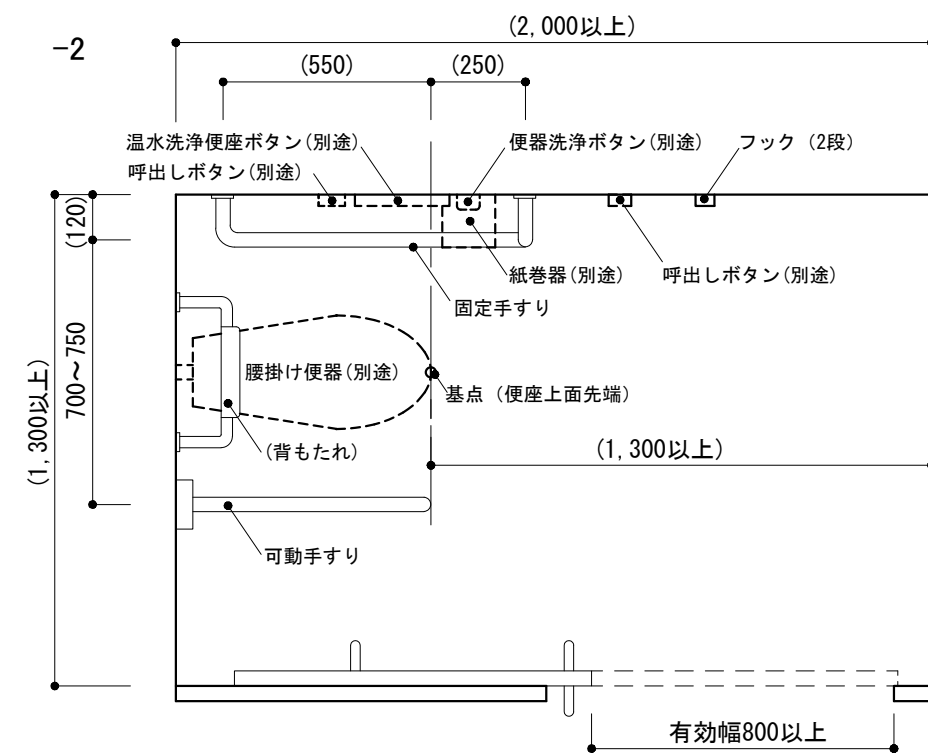
6-22

-1 車椅子使用者用簡易型便房(縦入り)



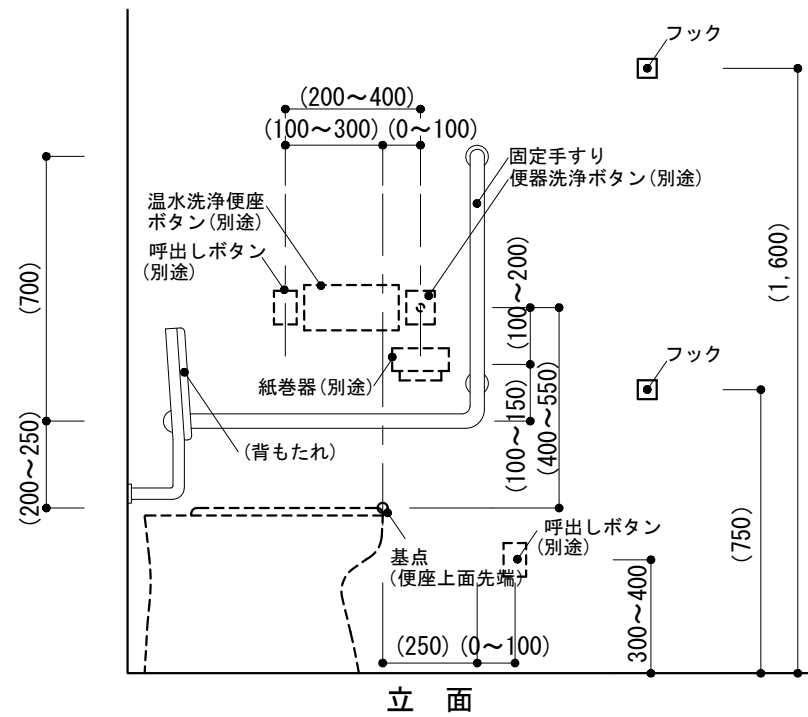
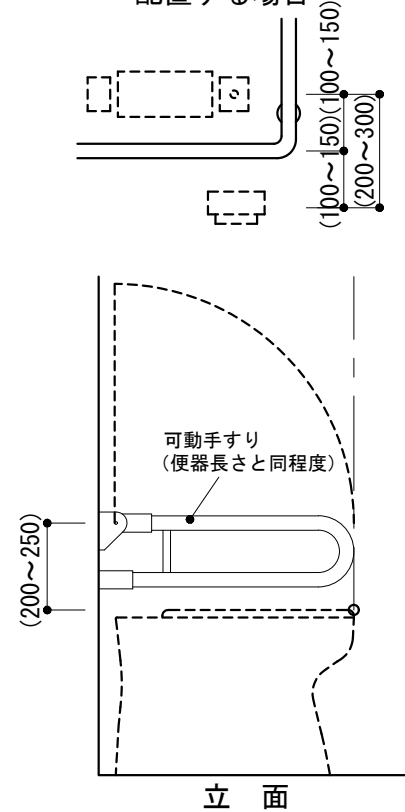
平面

-2-3 車椅子使用者用簡易型便房(横入り)



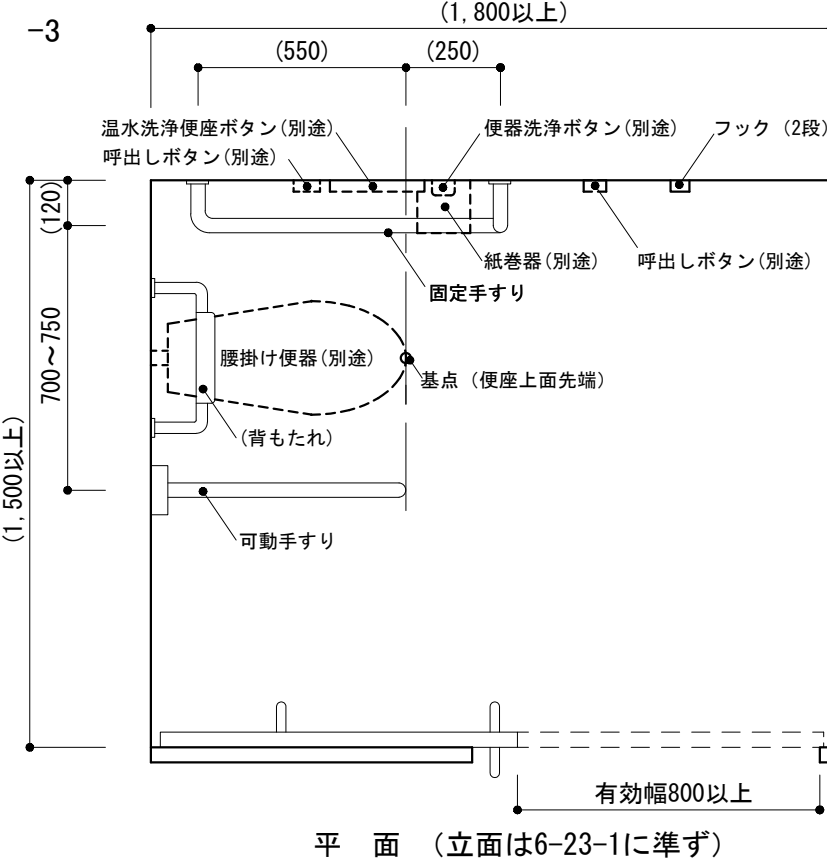
平面 (立面は6-23-1に準ず)

紙巻器を水平手すり下に配置する場合



立面

立面

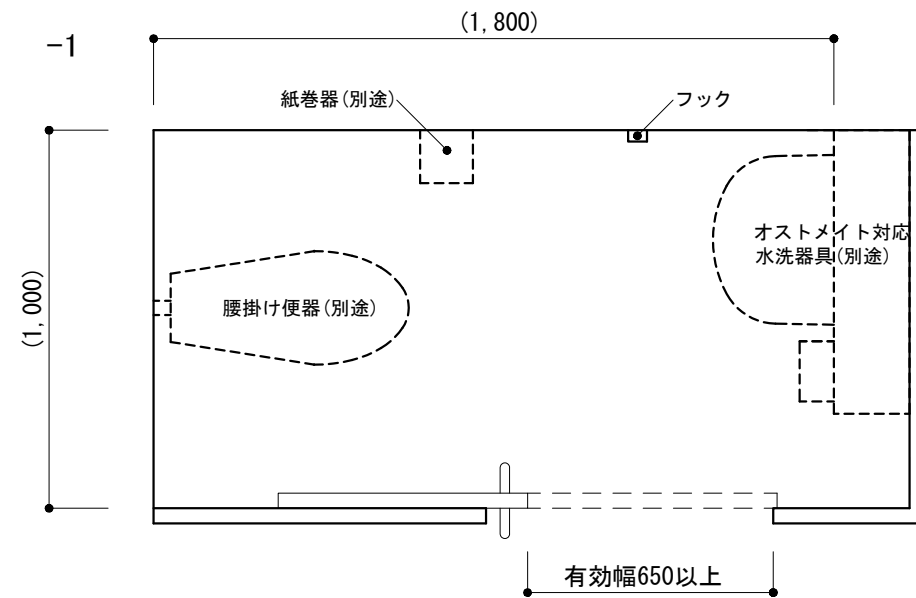


平面 (立面は6-23-1に準ず)

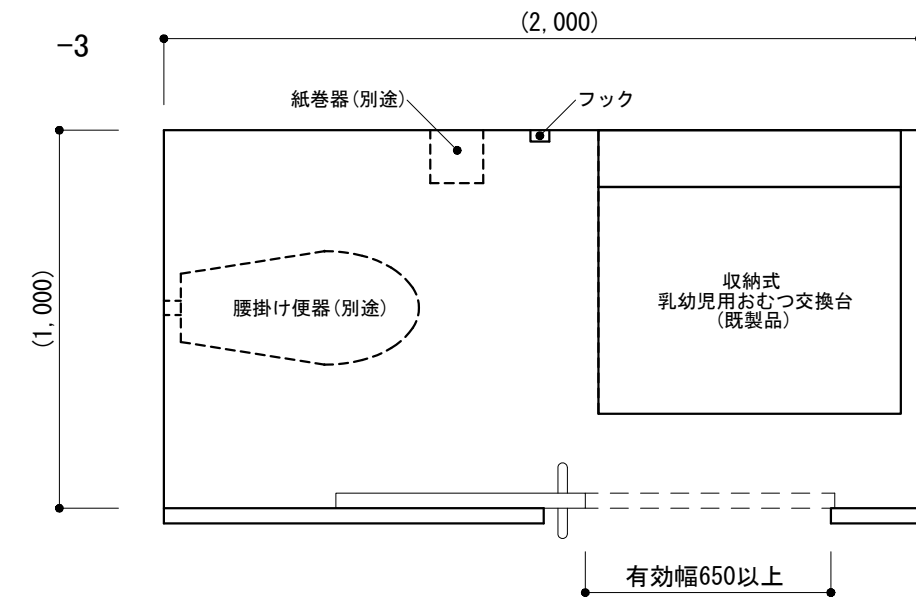
<p>仕様</p> <p>1) 紙巻器, 便器洗浄ボタン及び呼出しボタンの配置は, JIS S 0026に基づくものとする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 扉の仕様及び開閉方法</p> <p>2) 手すりの径, 材種, 表面仕上げ</p> <p>3) 便器背もたれの有無</p> <p>4) 手荷物置台の設置</p>	図面名称	便所:車椅子使用者用簡易型便房	
		縮尺	1/20	6-23
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1-2 オストメイト用設備を有する便房

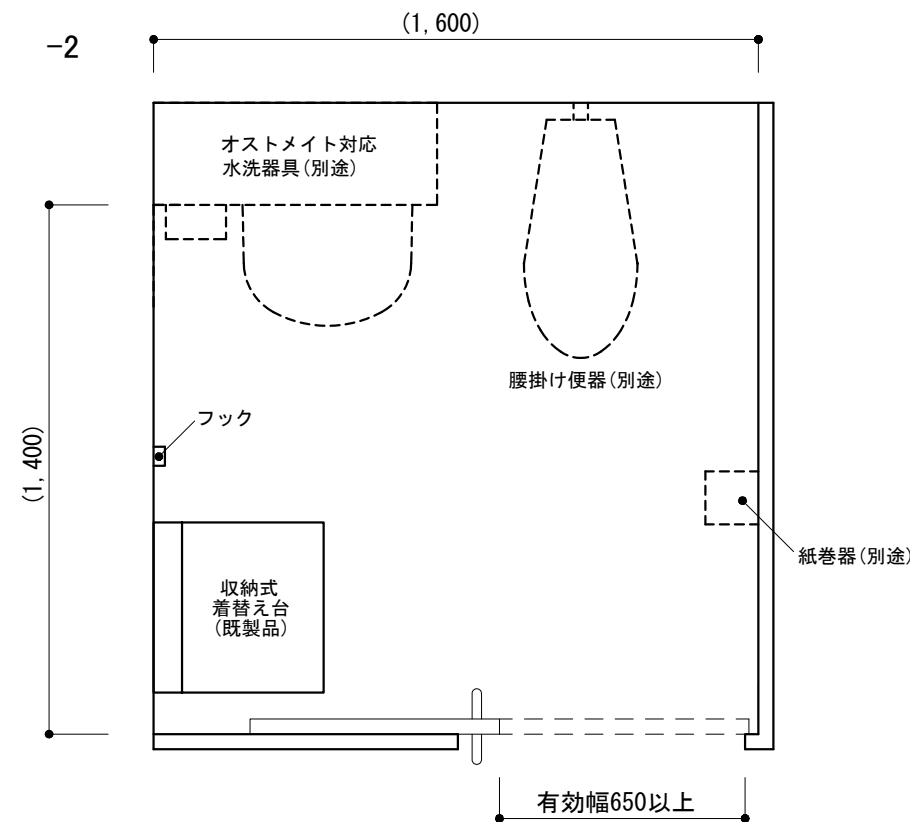
-3-4 乳幼児連れに配慮した便房



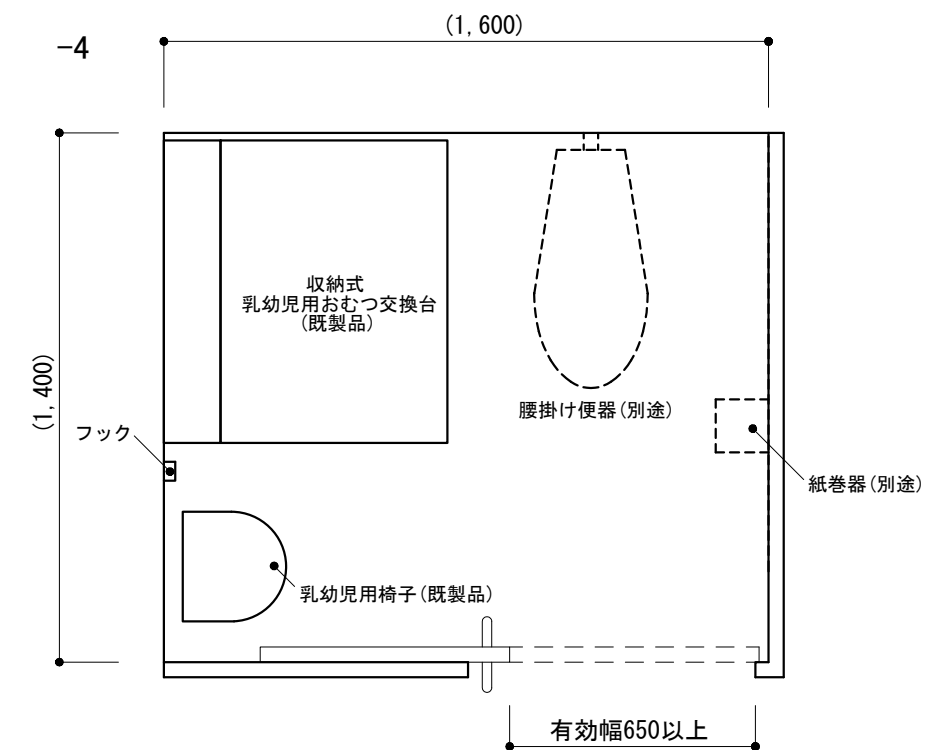
平面



平面



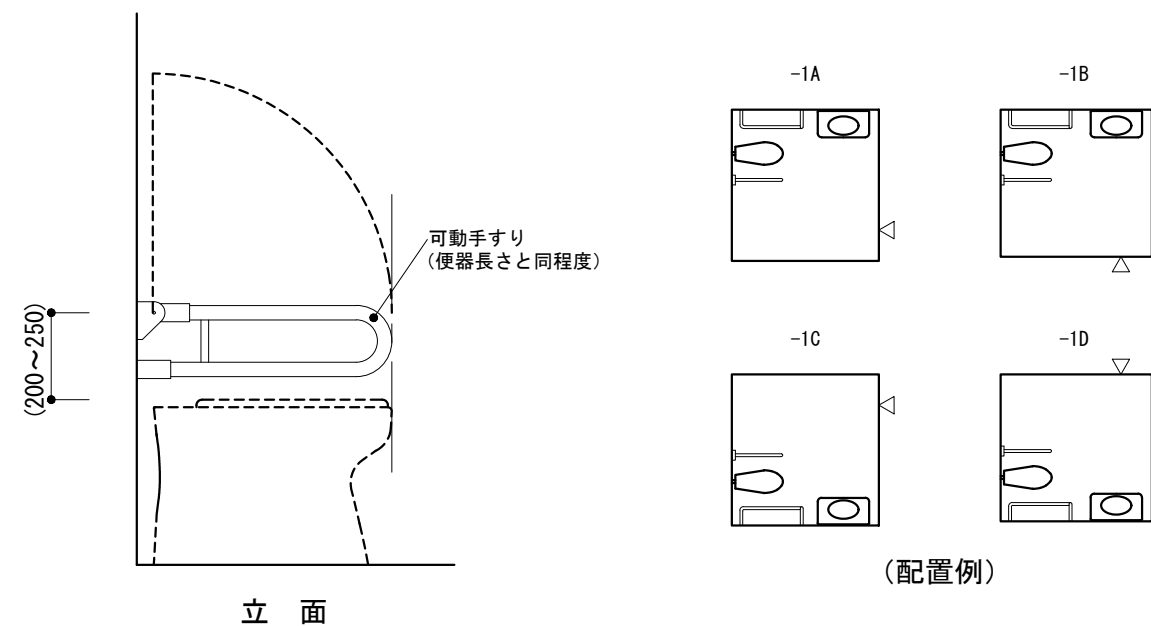
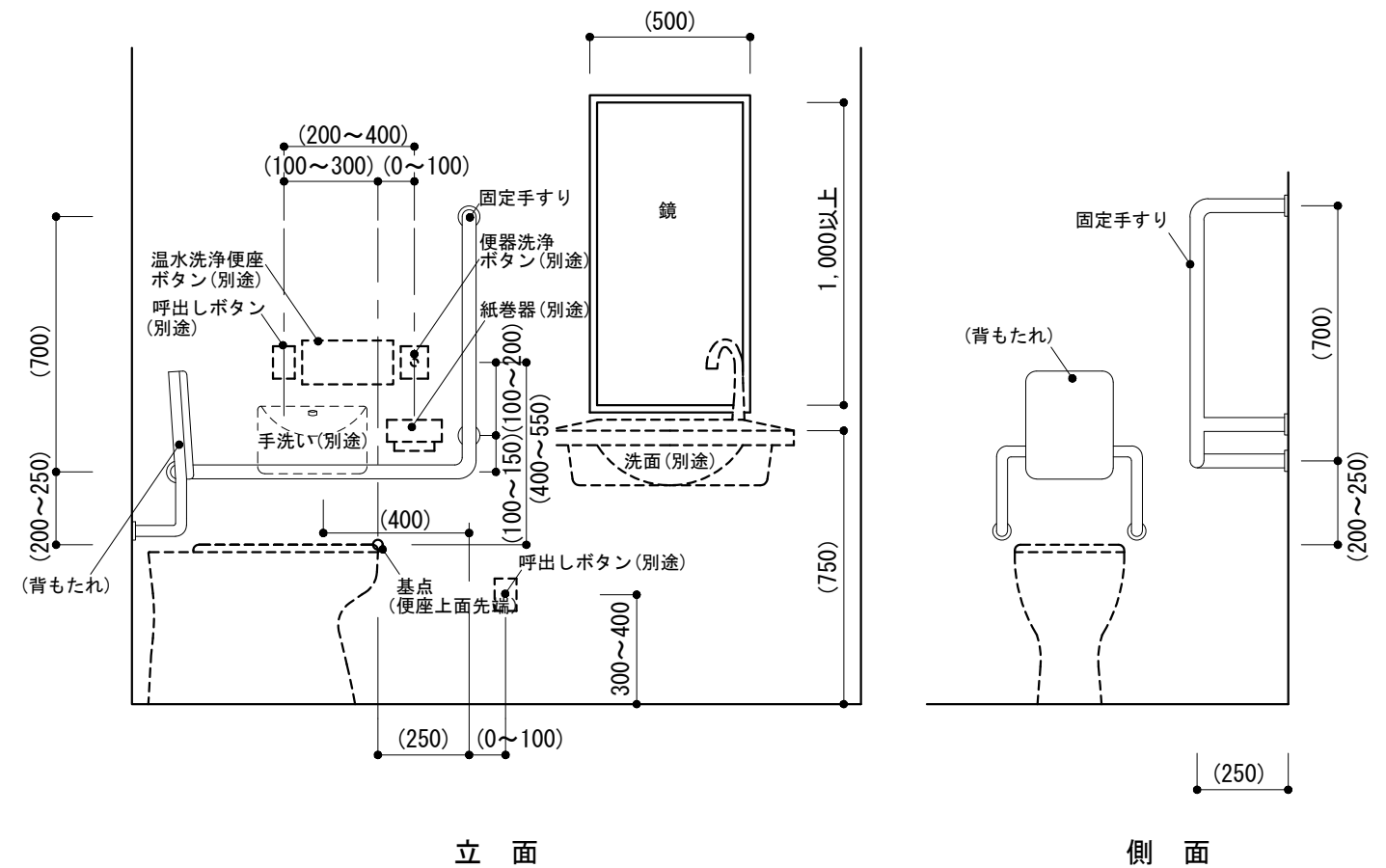
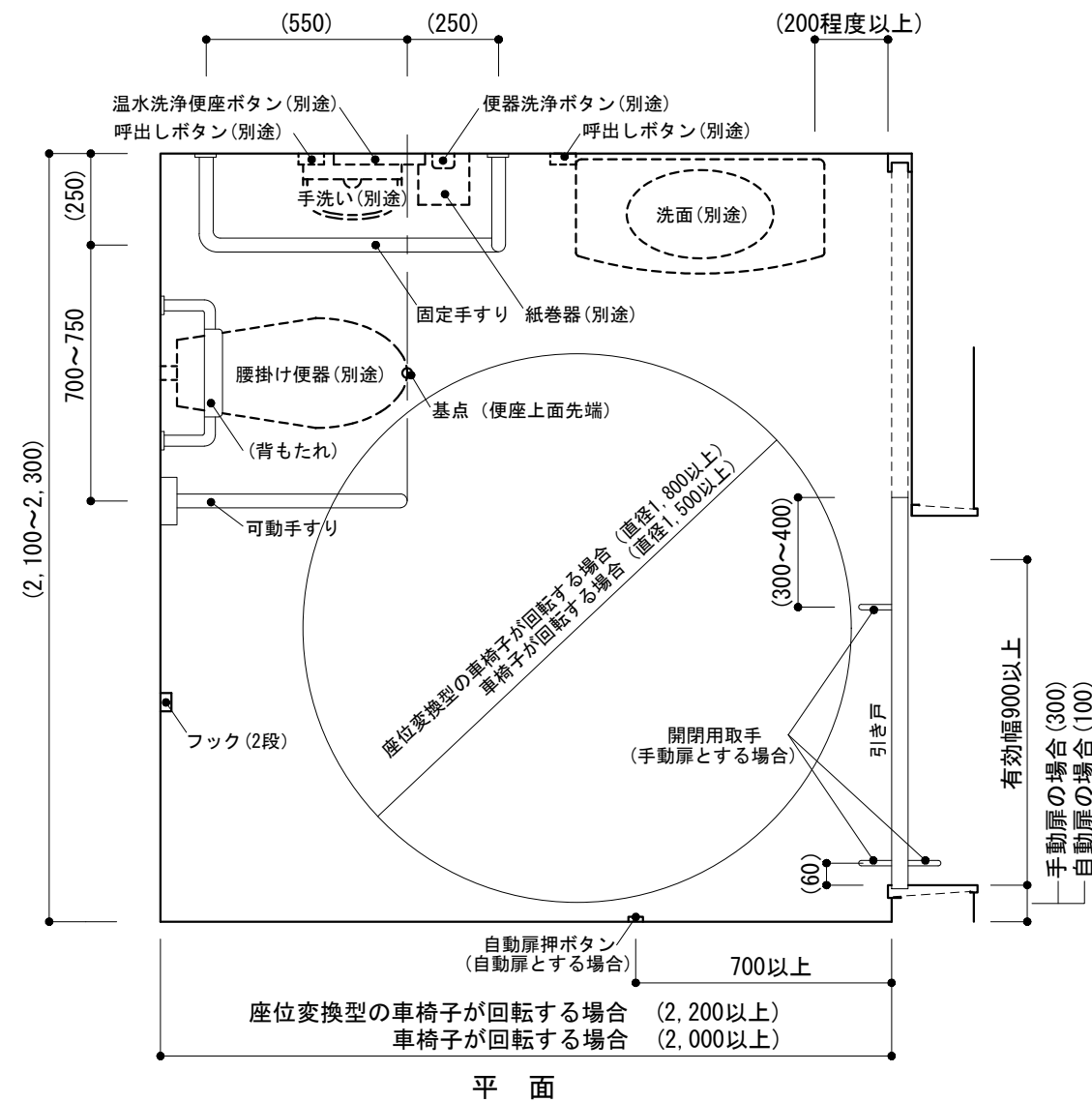
平面



平面

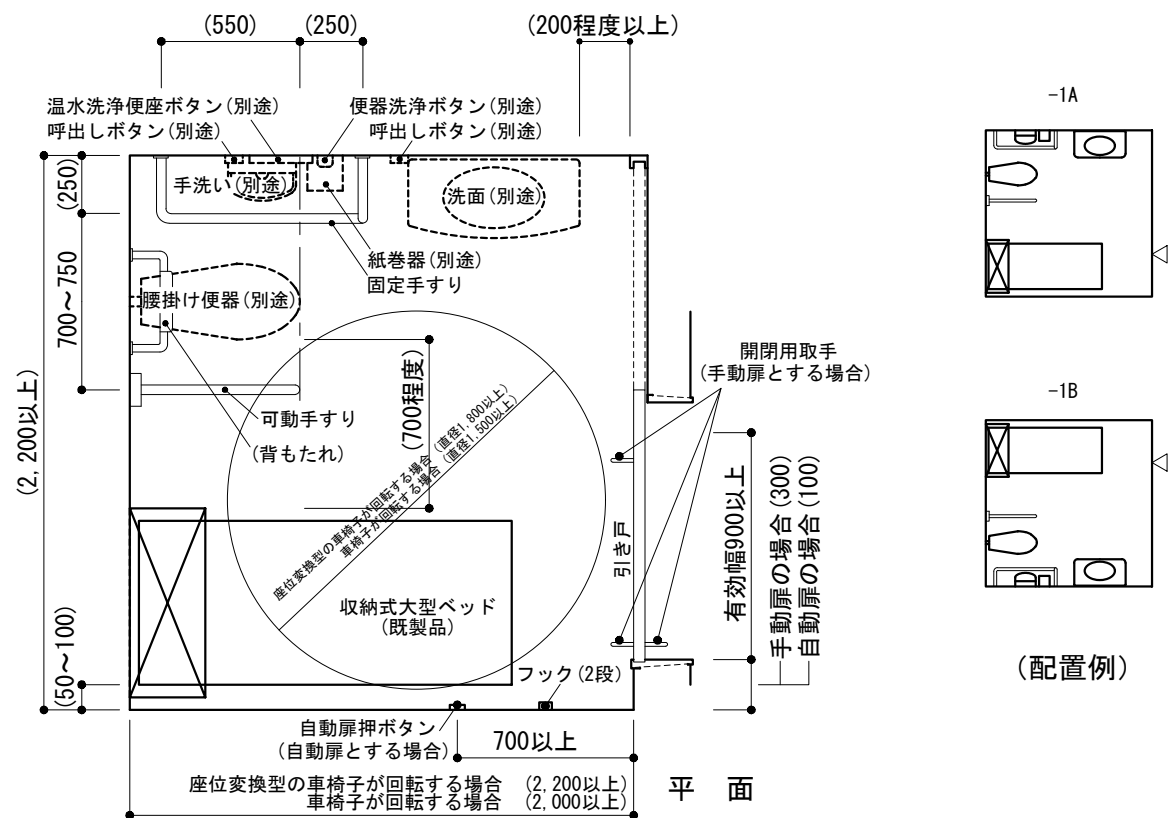
仕様 1) 紙巻器及び便器洗浄ボタンの配置は、JIS S 0026に基づくものとする。	特記事項 1) 扉の仕様及び開閉方法 2) 収納式着替え台のサイズ 3) 収納式乳幼児用おむつ交換台のタイプ及びサイズ 4) 乳幼児用椅子のタイプ及びサイズ 5) 手すりの設置及び形状 6) 手荷物置台の設置	図面名称 便所:オストメイト用設備を有する便房 乳幼児連れに配慮した便房
		縮尺 1/20
		建築工事標準詳細図 令和4年版
		6-24

-1 車椅子使用者用便房

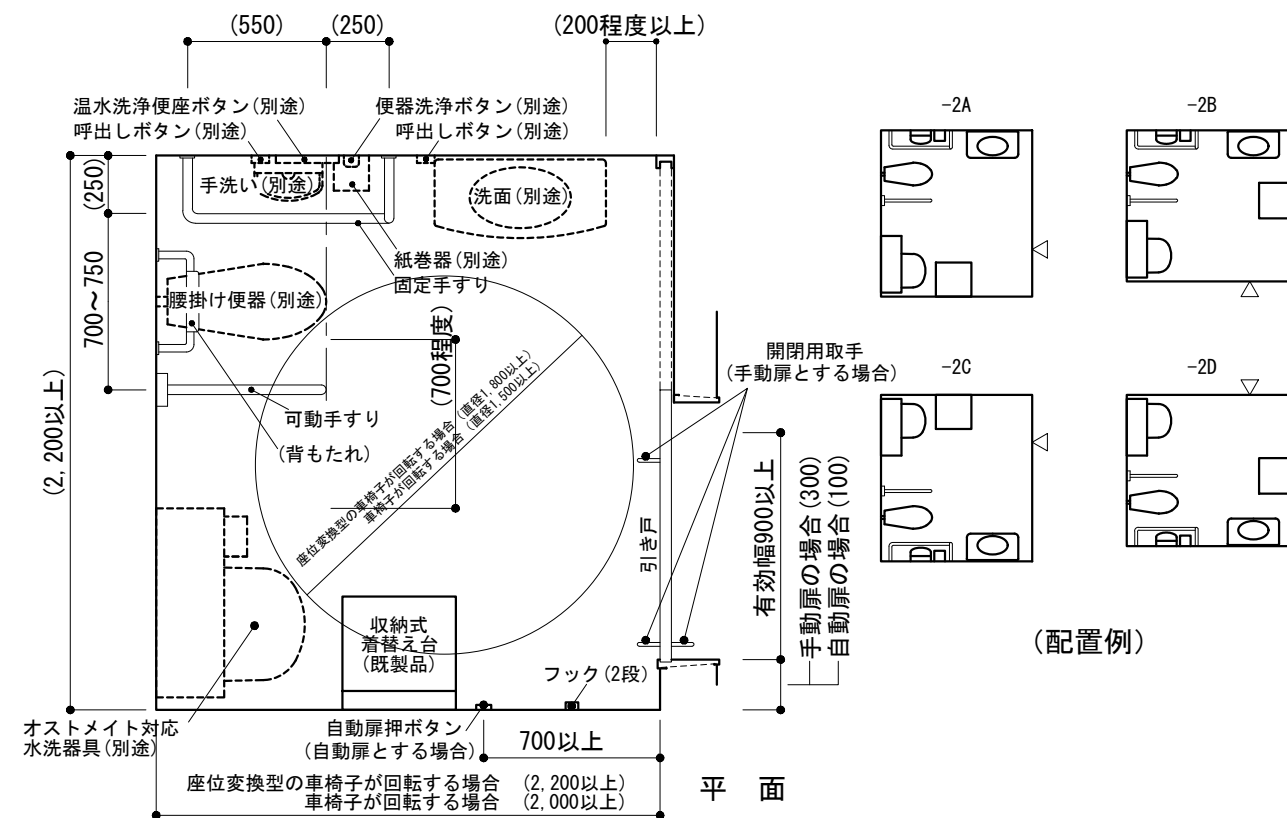


仕様 1) 紙巻器, 便器洗浄ボタン及び呼出しボタンの配置は、JIS S 0026に基づくものとする。	特記事項 1) 便房の内法寸法 2) ライニングの設置位置, 高さ等 3) 手すりの径, 材種, 表面仕上げ 4) 背もたれの有無 5) 手荷物台の設置	図面名称 便所: 車椅子使用者用便房	
		縮尺 1/20	6-25
		建築工事標準詳細図 令和4年版	

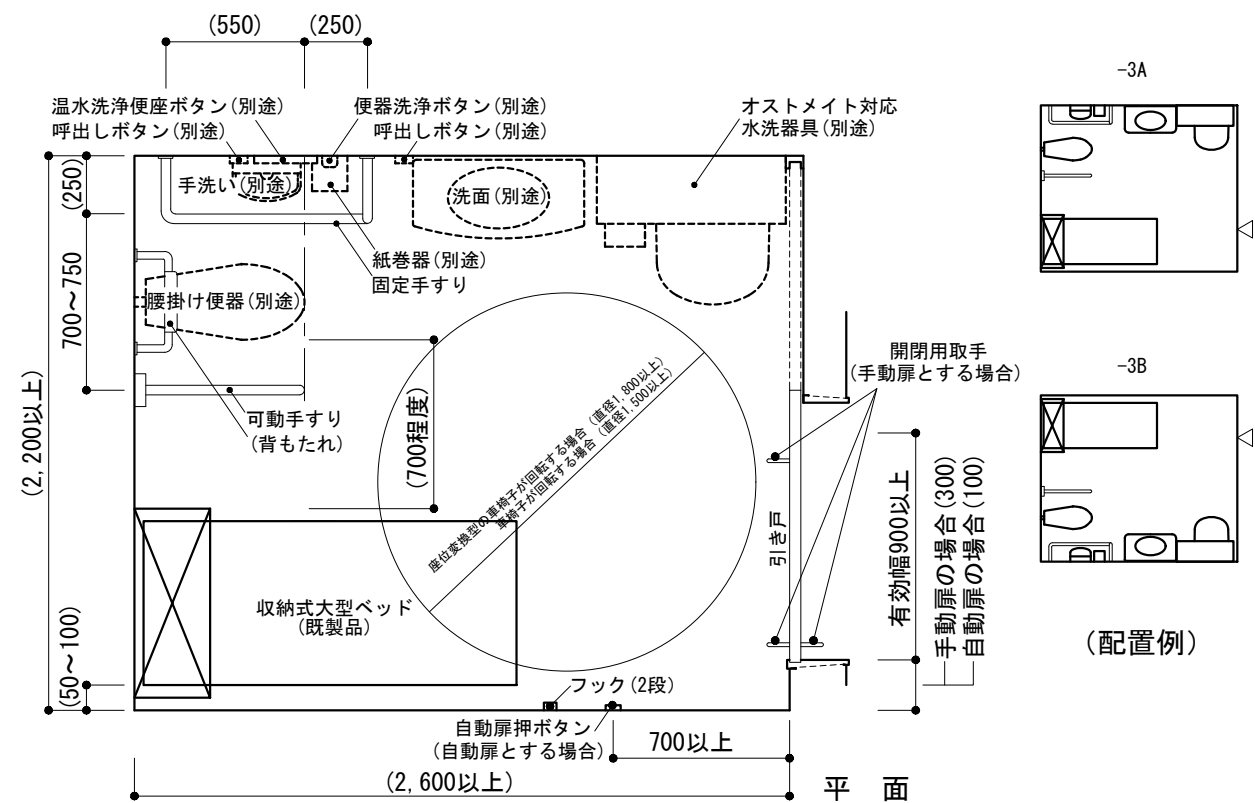
-1 車椅子使用者用便房(大型ベッド)



-2 車椅子使用者用便房(オストメイト用設備)



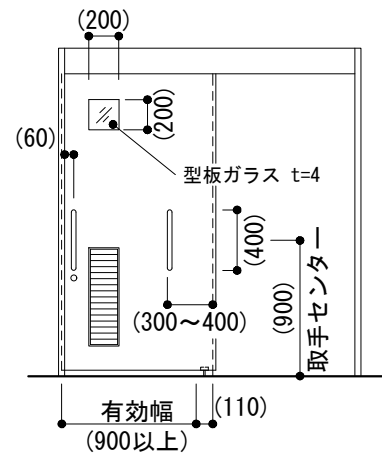
-3 車椅子使用者用便房(オストメイト用設備+大型ベッド)



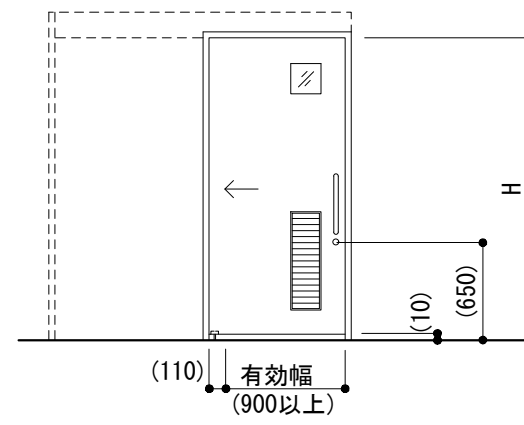
<p>仕様</p> <p>1) 紙巻器, 便器洗浄ボタン及び呼出しボタンの配置は, JIS S 0026に基づくものとする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 便房の内法寸法 2) ライニングの設置位置, 高さ等 3) 収納式大型ベッドのタイプ及びサイズ 4) 収納式着替え台のサイズ 5) 手すりの径, 材種, 表面仕上げ 6) 便器背もたれの有無 7) 手荷物置台の設置</p>	図面名称	便所: 車椅子使用者用便房	
		縮尺	1/30	6-26
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 引き戸(手動扉)

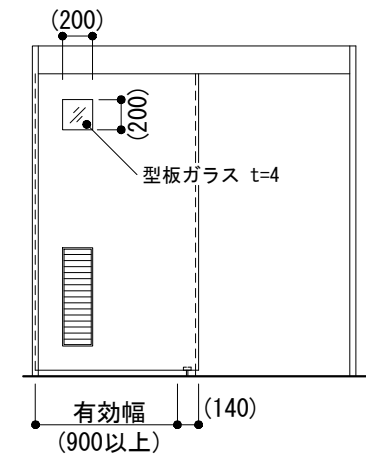
-2 引き戸(自動扉)



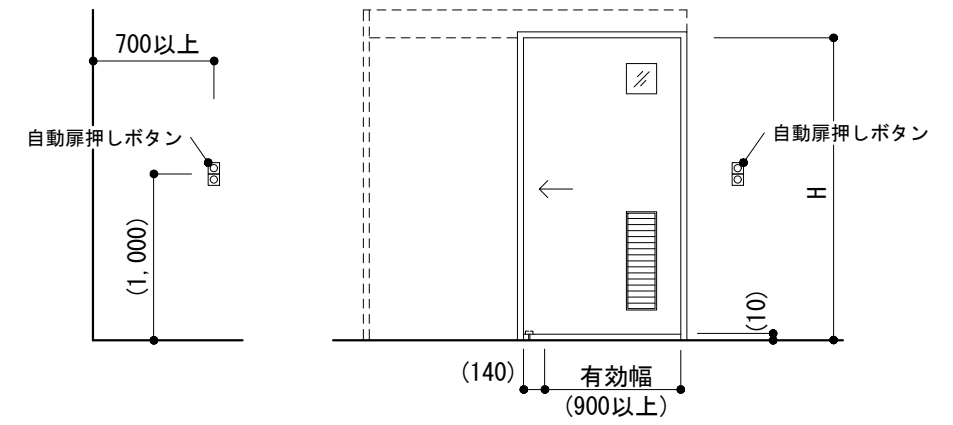
内面姿図 1/50



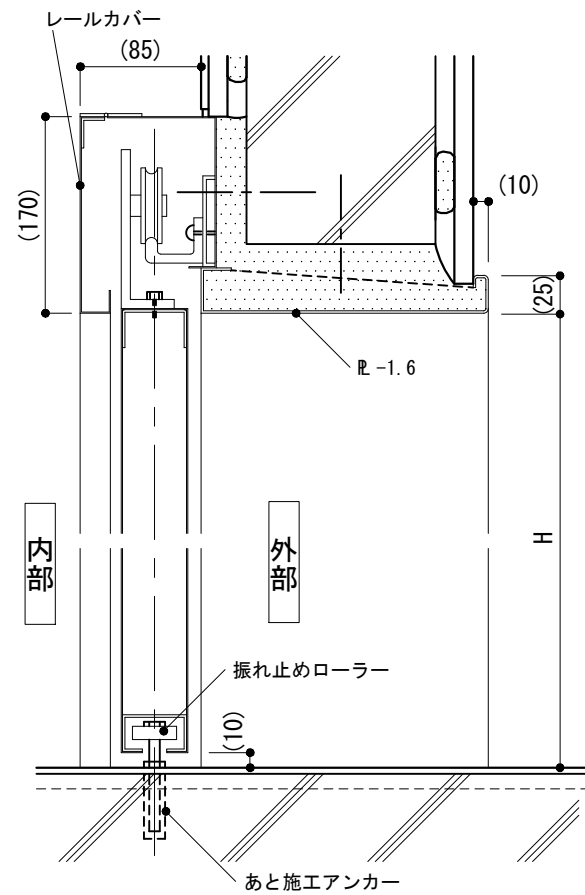
外面姿図 1/50



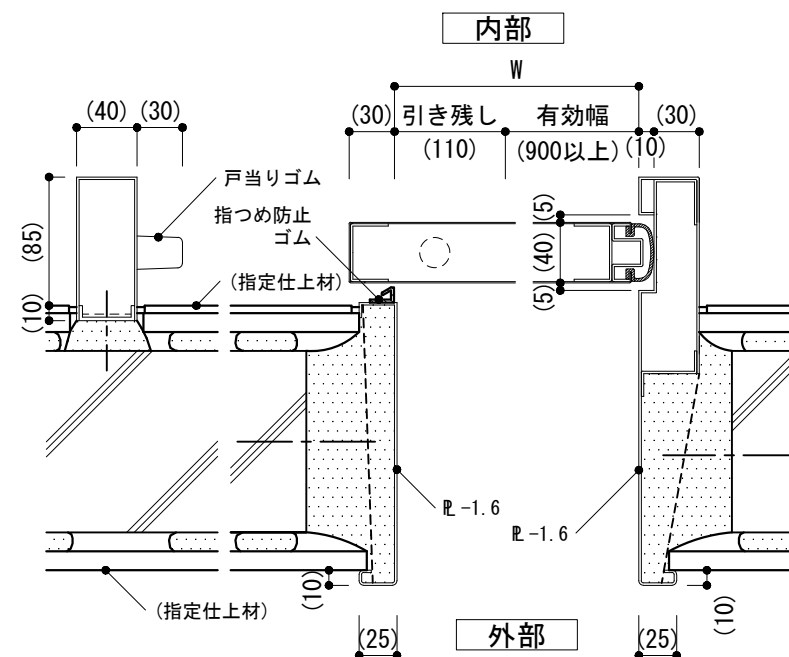
内面姿図 1/50



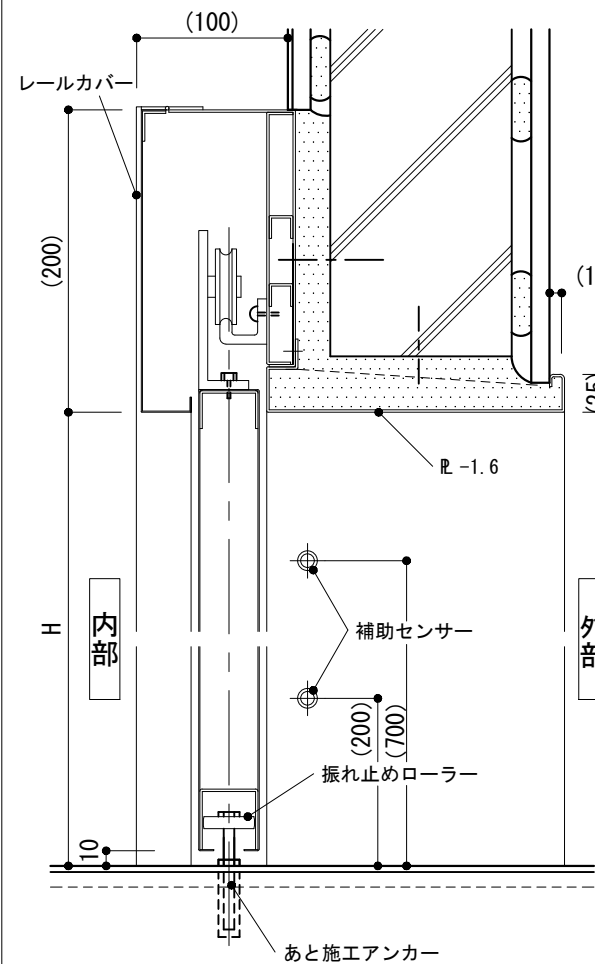
外面姿図 1/50



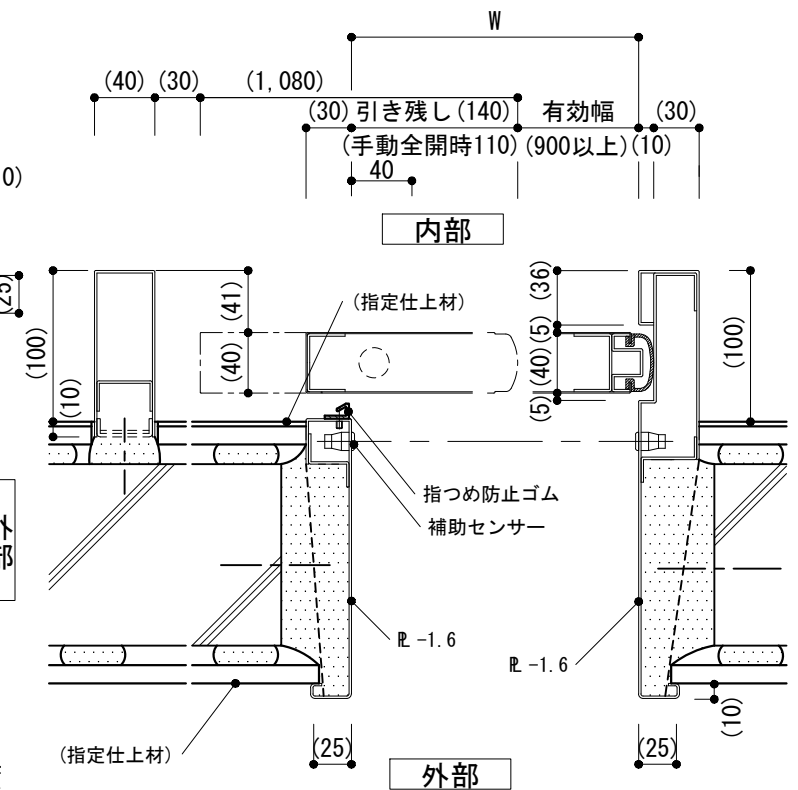
断面 1/5



平面 1/5



断面 1/5



平面 1/5

仕様

特記事項

- 1) 引き戸 W, H
- 2) 錠の種類
- 3) 取手の形状, 寸法等
- 4) -1の引戸装置の性能, 及び-2の開閉装置の性能
- 5) 枠の塗装
- 6) 指定仕上材の種類

図面名称

便所: 引き戸
(車椅子使用者用便房)

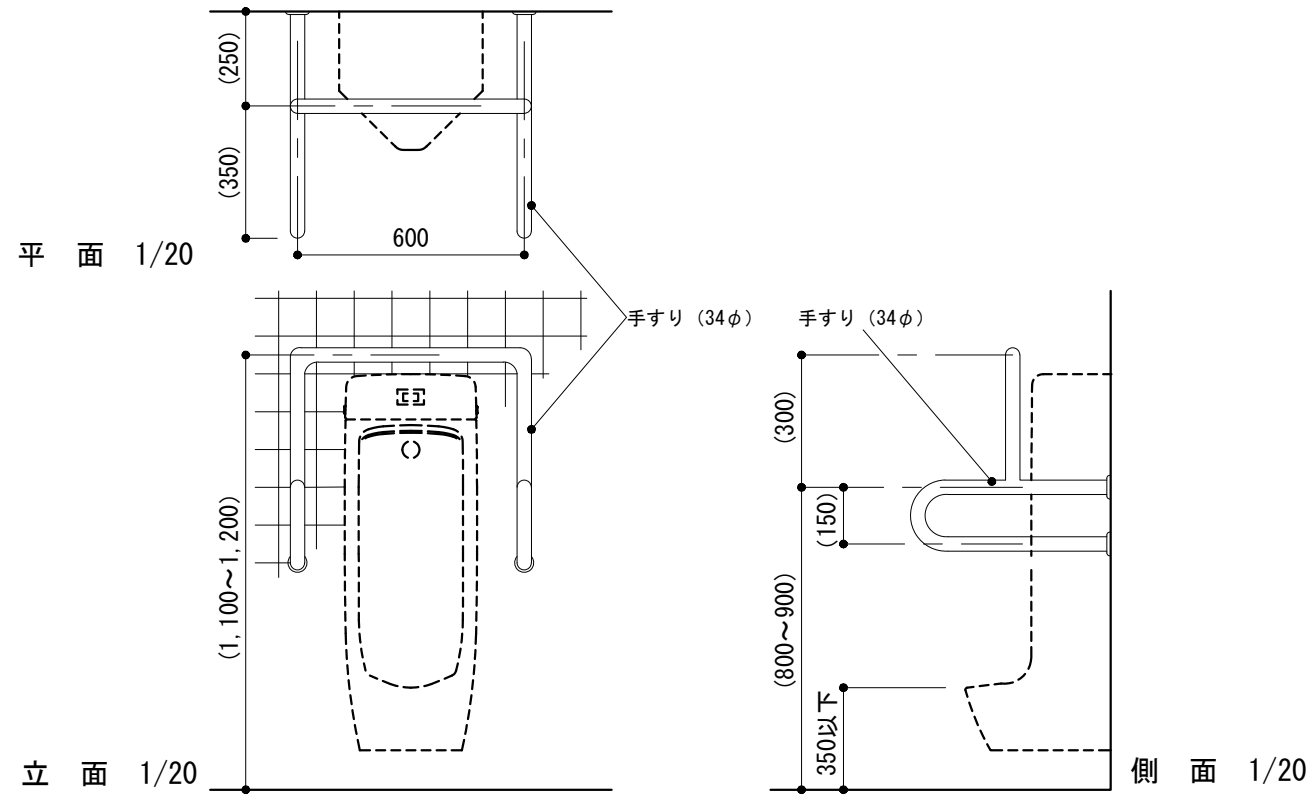
縮尺

1/5, 1/50

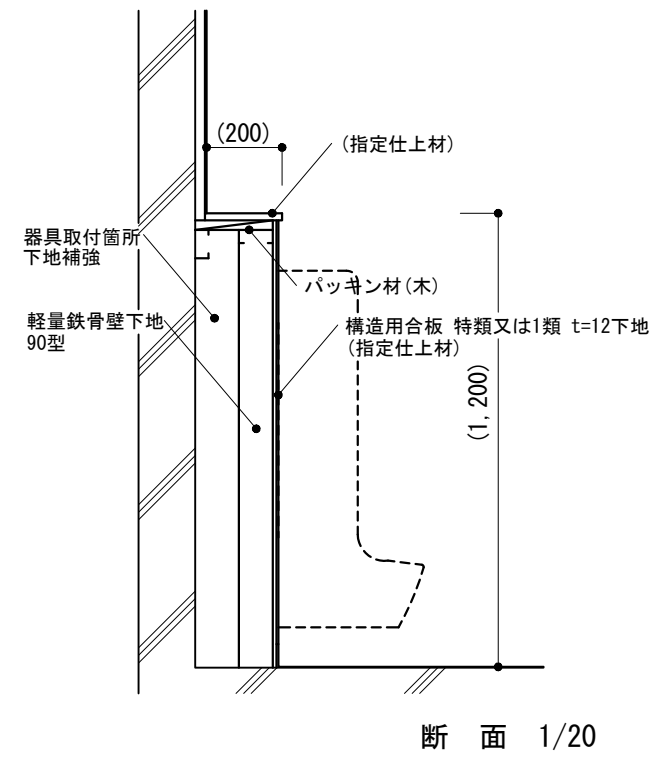
建築工事標準詳細図 令和4年版

6-27

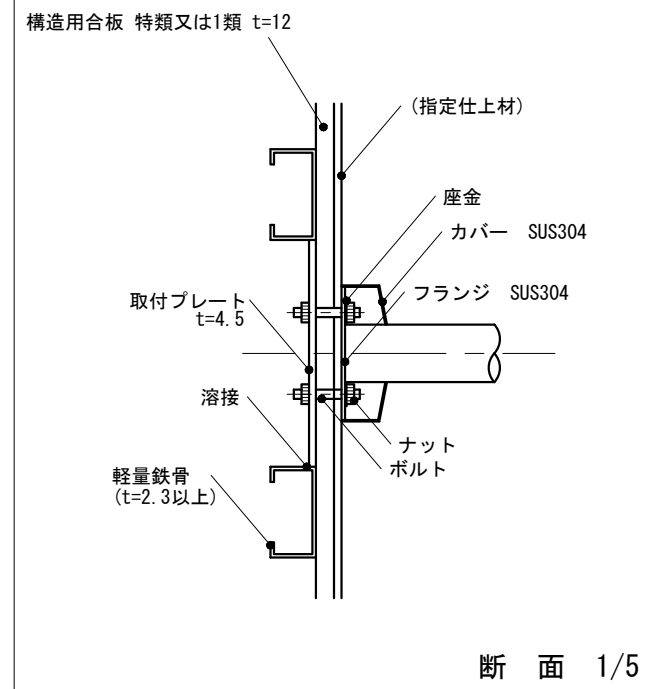
-1 小便器手すり



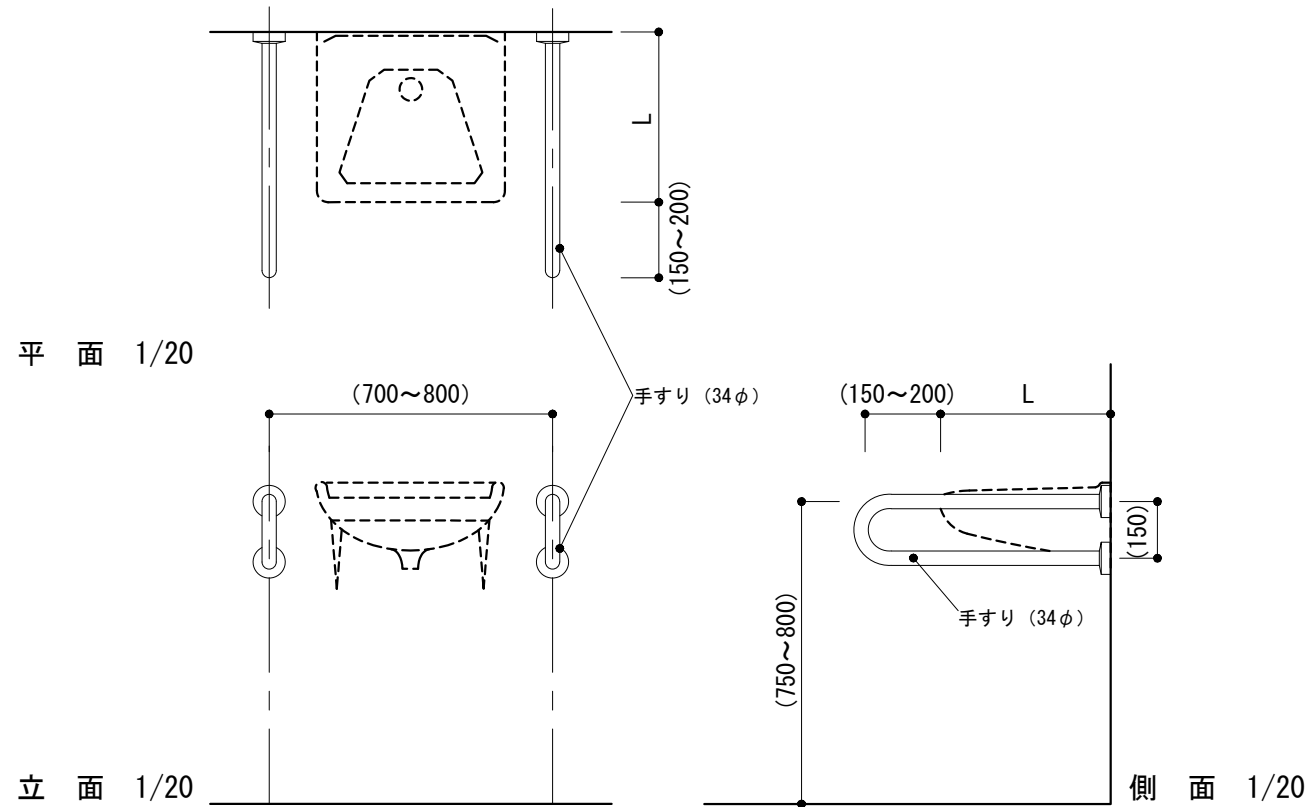
-3 ライニング(軽量鉄骨壁下地)



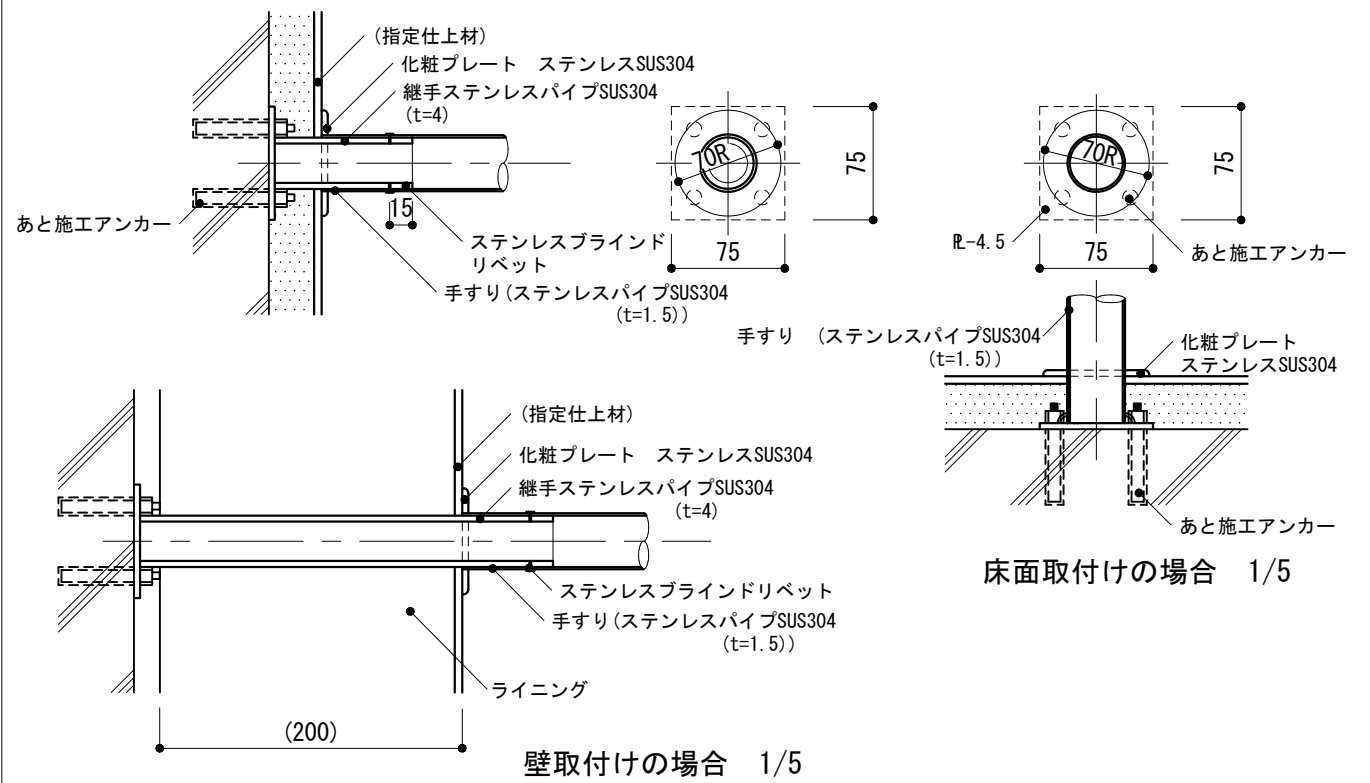
-4 手すり詳細(軽量鉄骨壁下地)



-2 洗面器手すり



-5 手すり詳細(コンクリート)



仕様

特記事項

- 1) 手すりの位置, 径, 材種, 表面仕上げ
- 2) -2洗面器手すりのL
- 3) -3~-5の指定仕上材の種類
- 4) -3の器具取付箇所下地補強

図面名称

便所 : 手すり, ライニング

縮尺

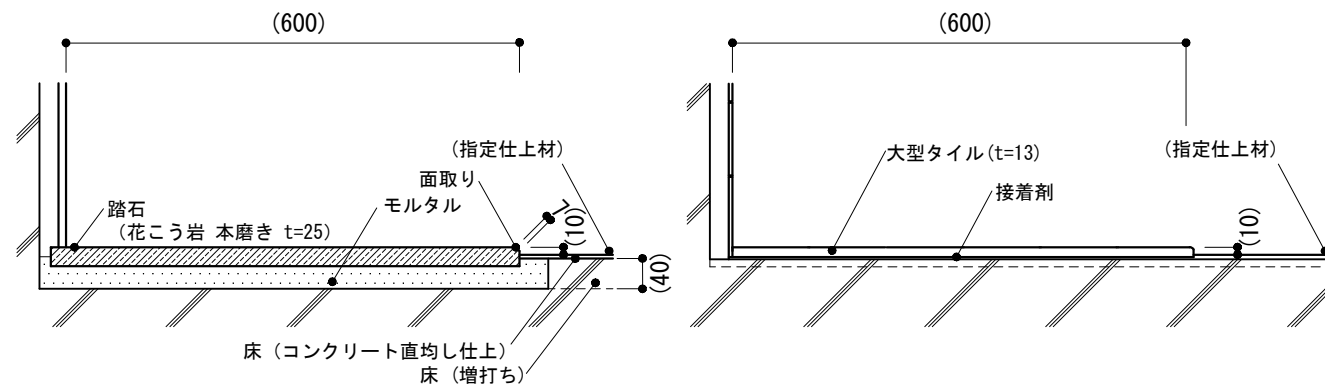
1/5, 1/20

建築工事標準詳細図 令和4年版

6-28

-1 汚垂石(石材)

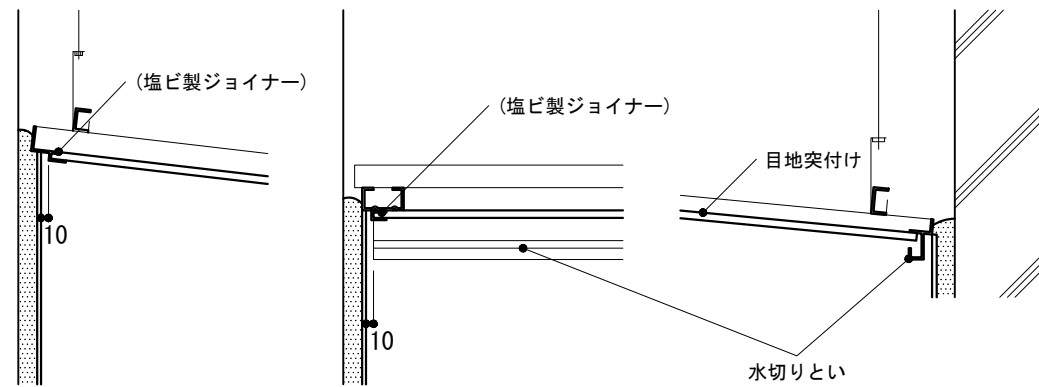
-2 汚垂石(大型タイル)



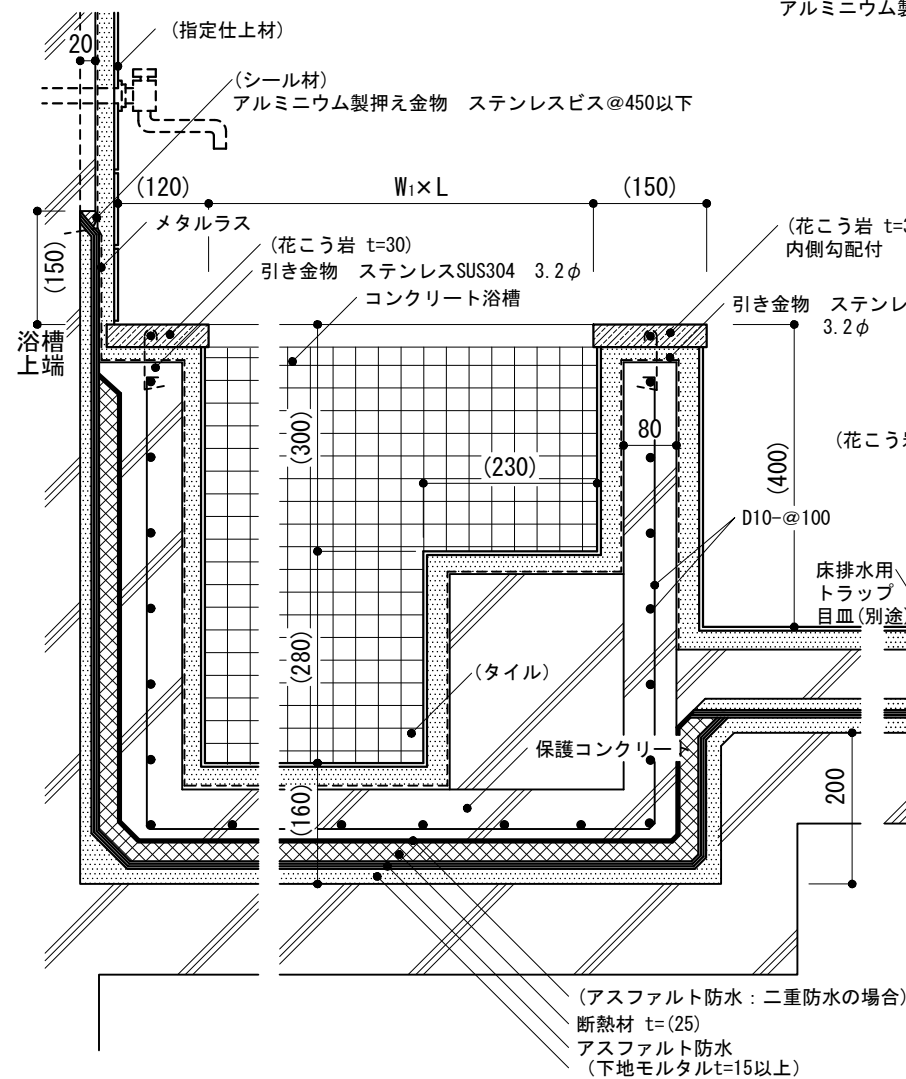
仕様 1) -2の接着剤はタイル製造所の指定による。	特記事項 1) 汚垂石の材質, 厚さ, 仕上げ 2) 指定仕上材の種類	図面名称 便所:汚垂石	
		縮尺	1/10
		建築工事標準詳細図 令和4年版	
		6-29	

-2 浴室天井 -3 コンクリート浴槽 -4 水せん回り

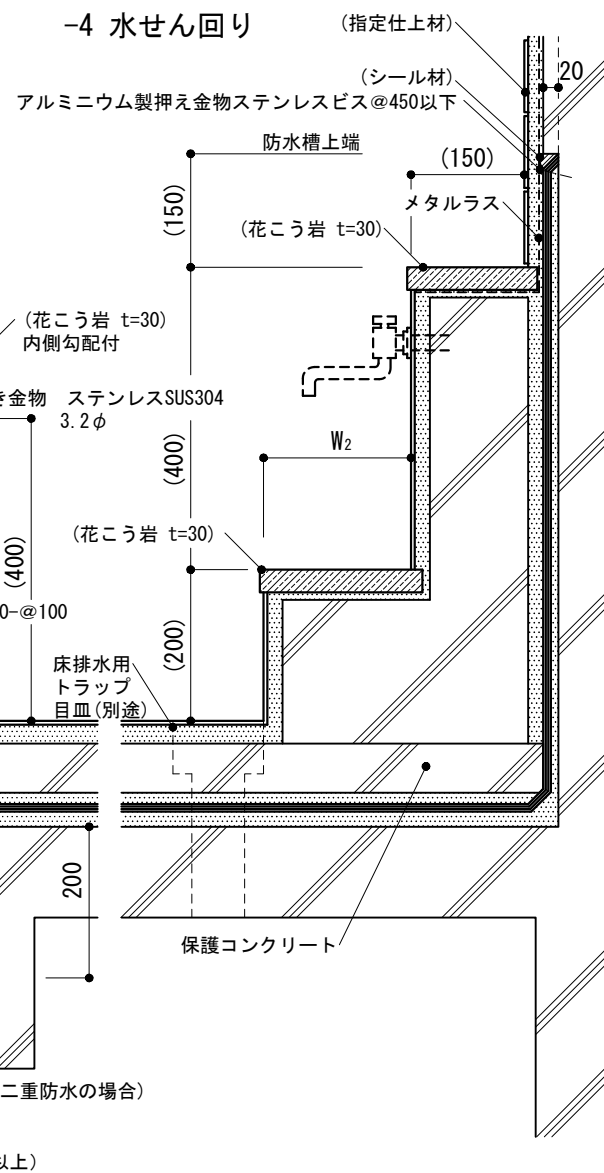
-2 浴室天井



-3 コンクリート浴槽



-4 水せん回り

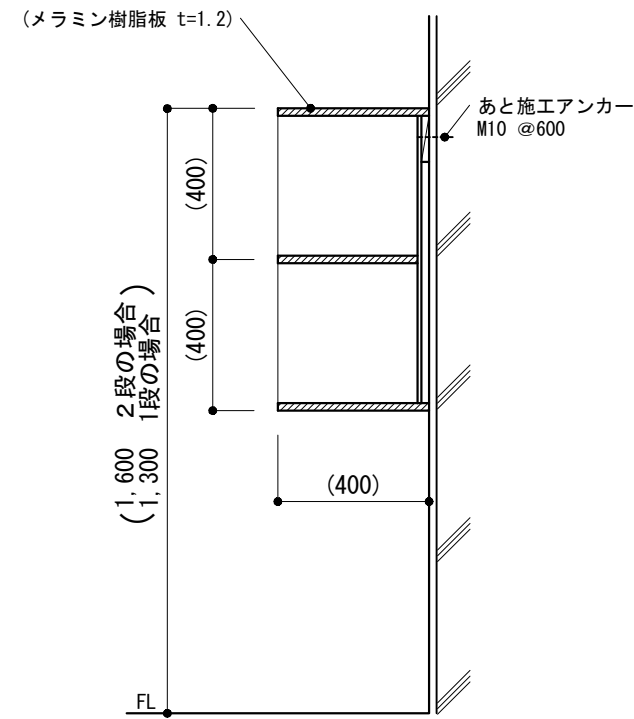
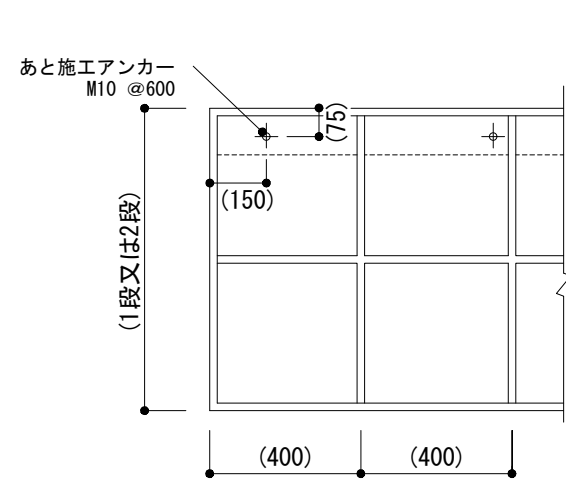


(アスファルト防水：二重防水の場合)
断熱材 t=(25)
アスファルト防水
(下地モルタルt=15以上)

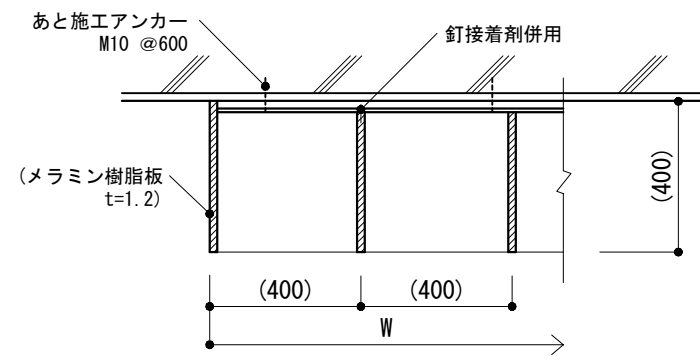
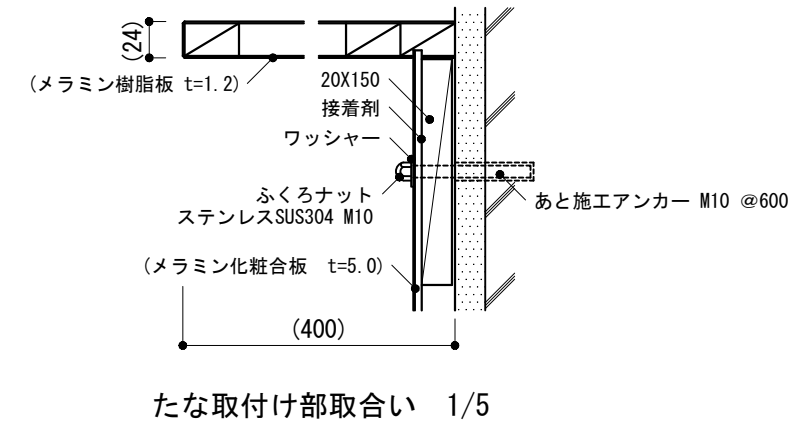
※ -1は欠番

<p>仕様</p> <p>1) -3, -4は浴室面積6㎡程度(浴槽3人又は4人用)の場合を示す。</p> <p>2) くぎは黄銅製又はステンレス製とする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) -3のW₁, W₂, L</p> <p>2) -3の浴槽の平面及び仕上げ並びに花こう岩の材種及び仕上げ</p> <p>3) -3の断熱材の種別</p> <p>4) 二重防水とする場合</p>		<p>図面名称</p> <p>浴室：コンクリート浴槽等</p>
	<p>縮尺</p> <p>1/10</p>	<p>6-31</p>	
	<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p>		

-1 脱衣箱



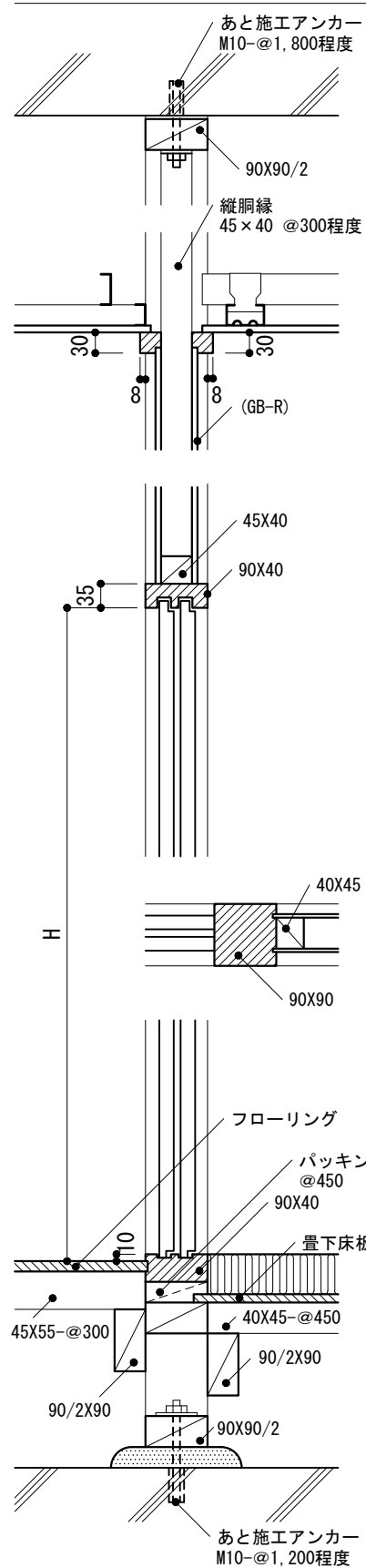
断面 1/20



平面 1/20

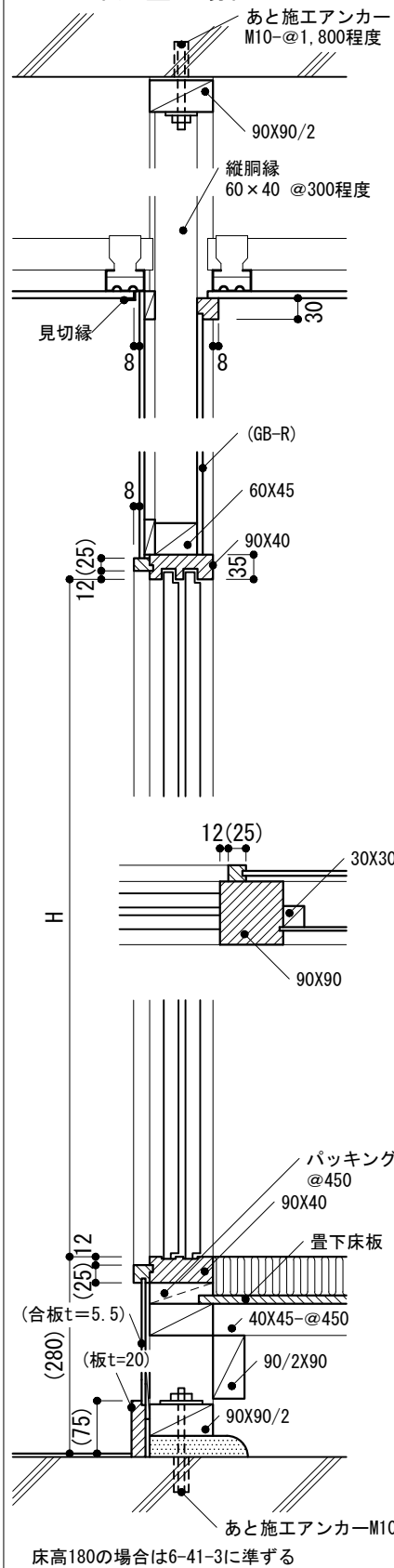
仕様	特記事項 1) W	図面名称	脱衣室 : 脱衣箱	
		縮尺	1/5, 1/20	
		建築工事標準詳細図 令和4年版	6-32	

-1 壁及び出入口回り

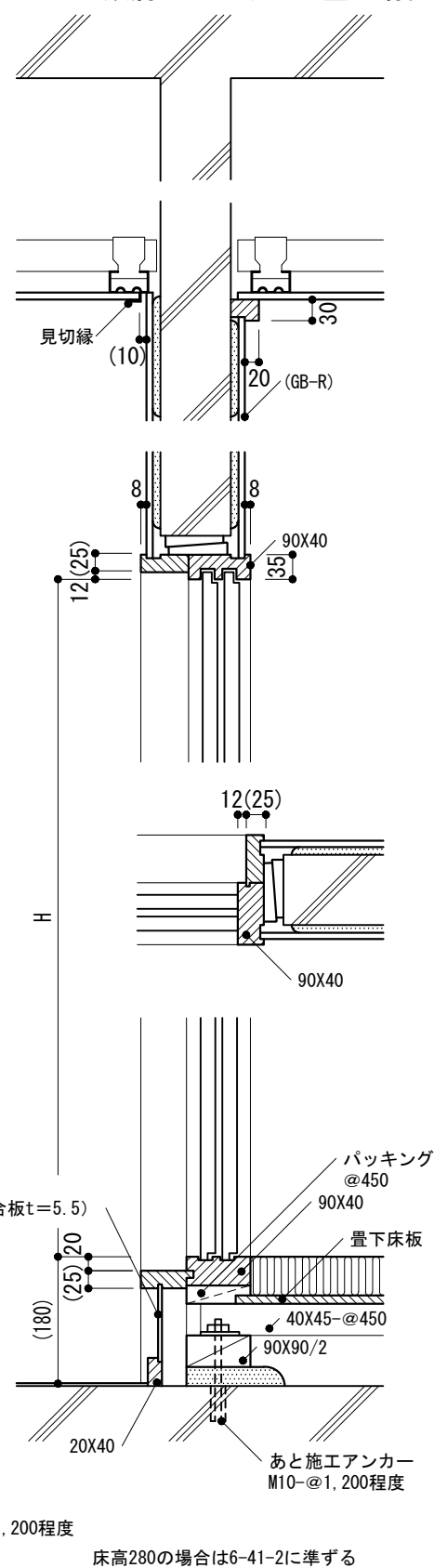


-2~-5 壁及び出入口回り

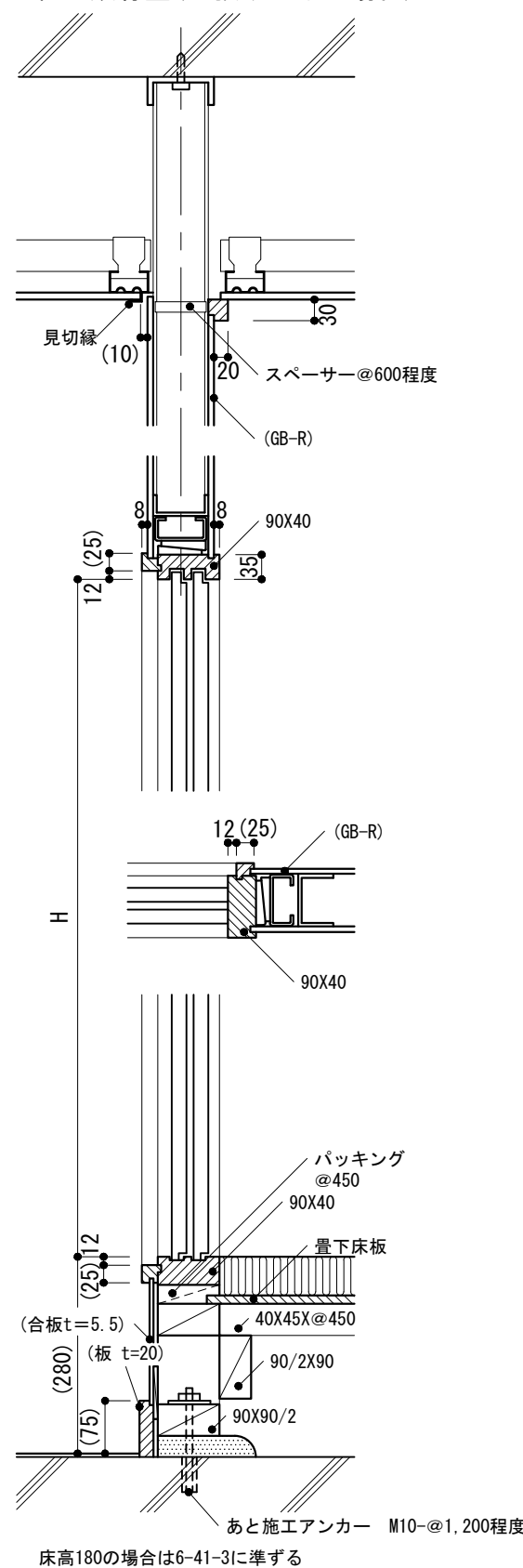
-2 木造壁の場合



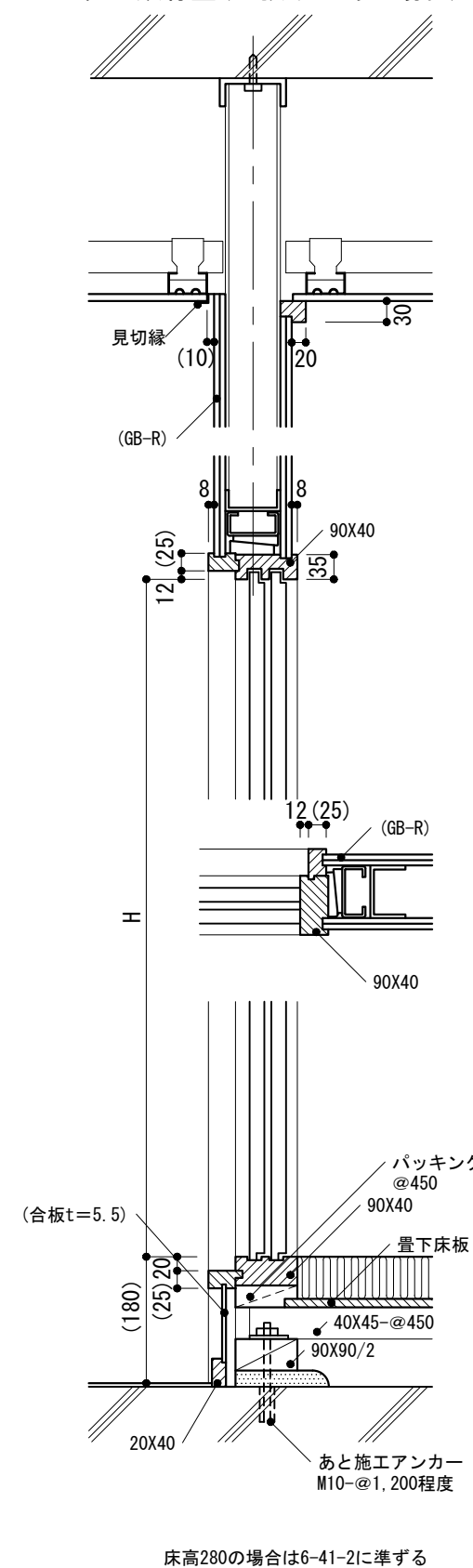
-3 鉄筋コンクリート壁の場合



-4 軽量鉄骨壁(下張りのない場合)



-5 軽量鉄骨壁(下張りのある場合)



仕様

- 1) 木部は塗装なしとする。
- 2) 土台に使用するあと施工アンカーは、アンカーボルトとすることができる。
- 3) ふすまの見込みは、18~21mmを標準とする。

特記事項

- 1) 床高及び仕上げ, H
- 2) フローリングの種別(縁甲板を含む)及び厚さ

図面名称

和室 : 出入口回り

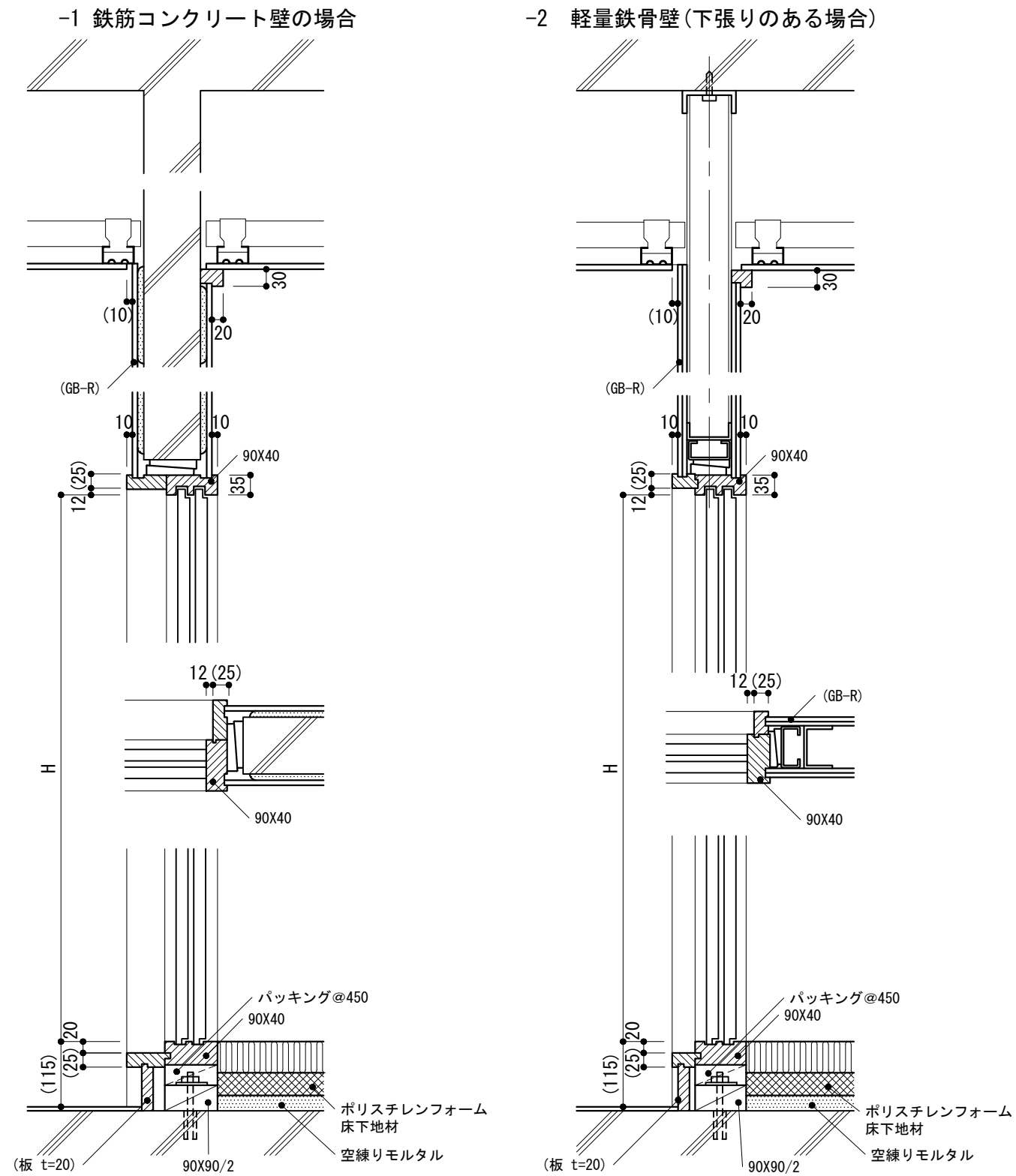
縮尺

1/10

建築工事標準詳細図 令和4年版

6-41

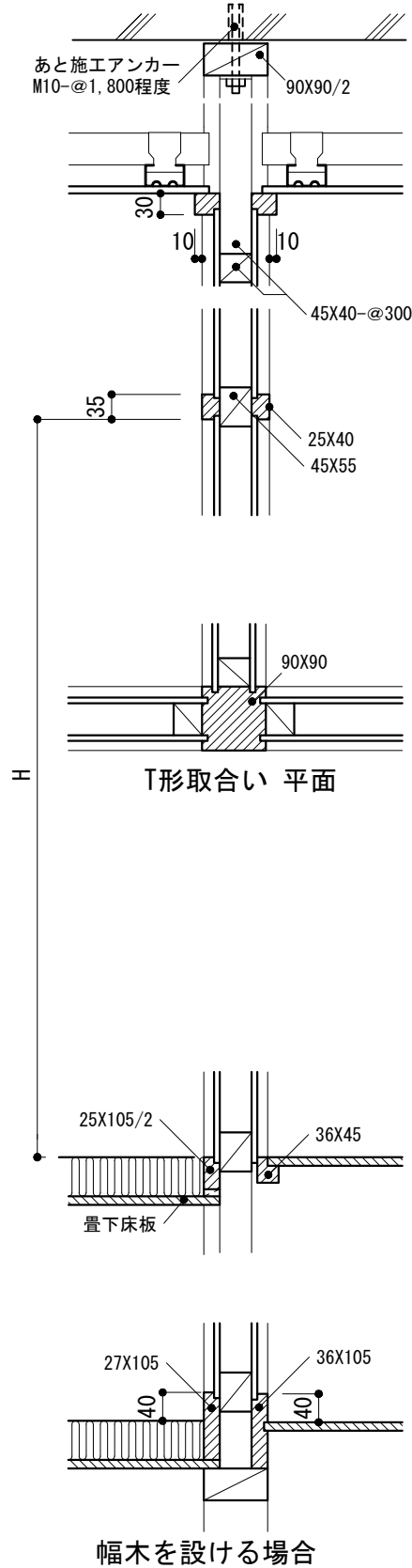
-1-2 出入口回り(ポリスチレンフォーム床下地材の場合)



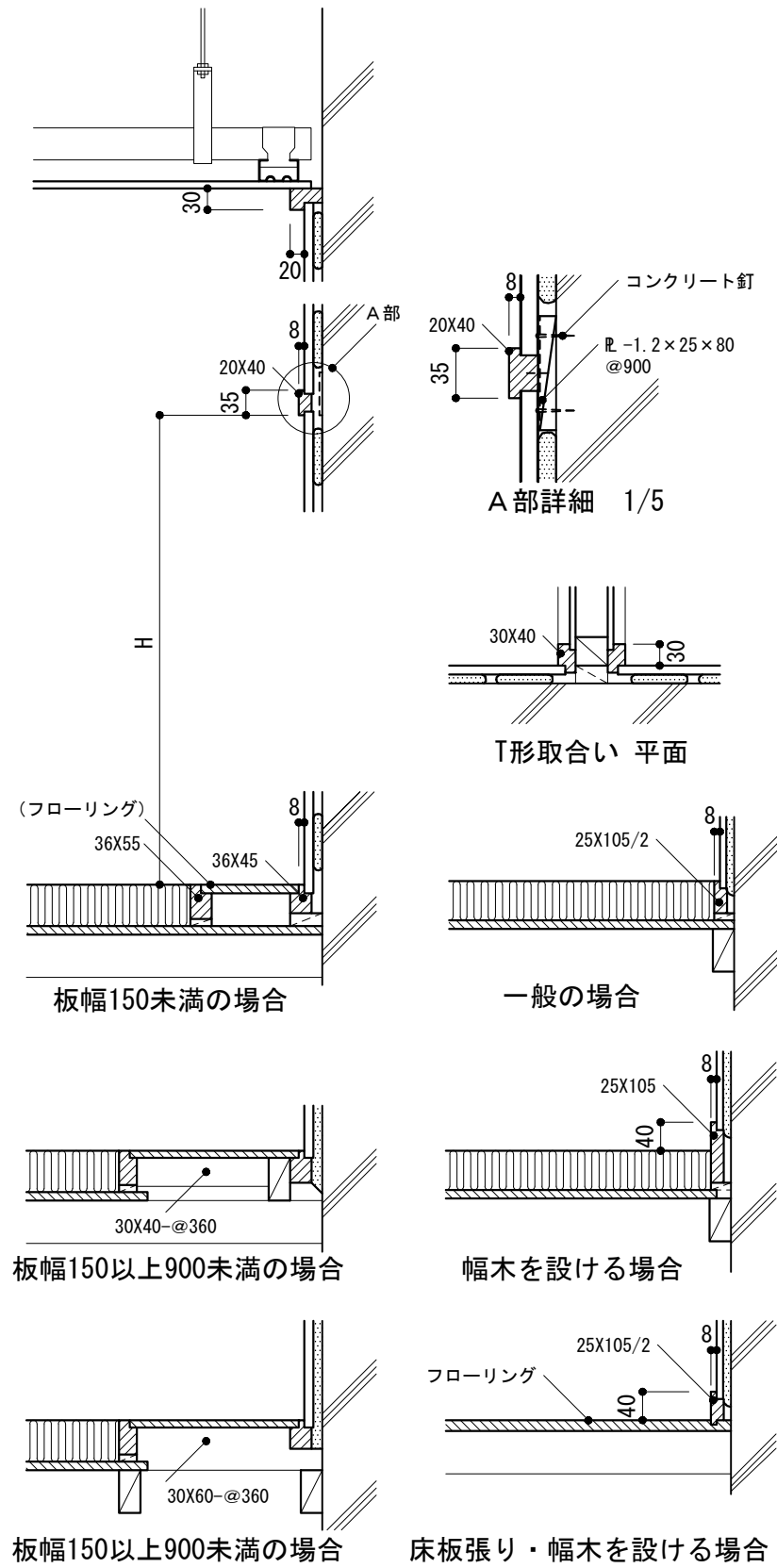
仕様 1) 木部は塗装なしとする。 2) ポリスチレンフォーム床下地材は、製造所の仕様による。 3) ふすまの見込みは、18~21mmを標準とする。	特記事項 1) ポリスチレンフォーム床下地材の厚さ 2) H	図面名称	和室：出入口回り (ポリスチレンフォーム床下地材の場合)
		縮尺	1/10
		建築工事標準詳細図 令和4年版	
		6-42	

-1~-3 壁回り

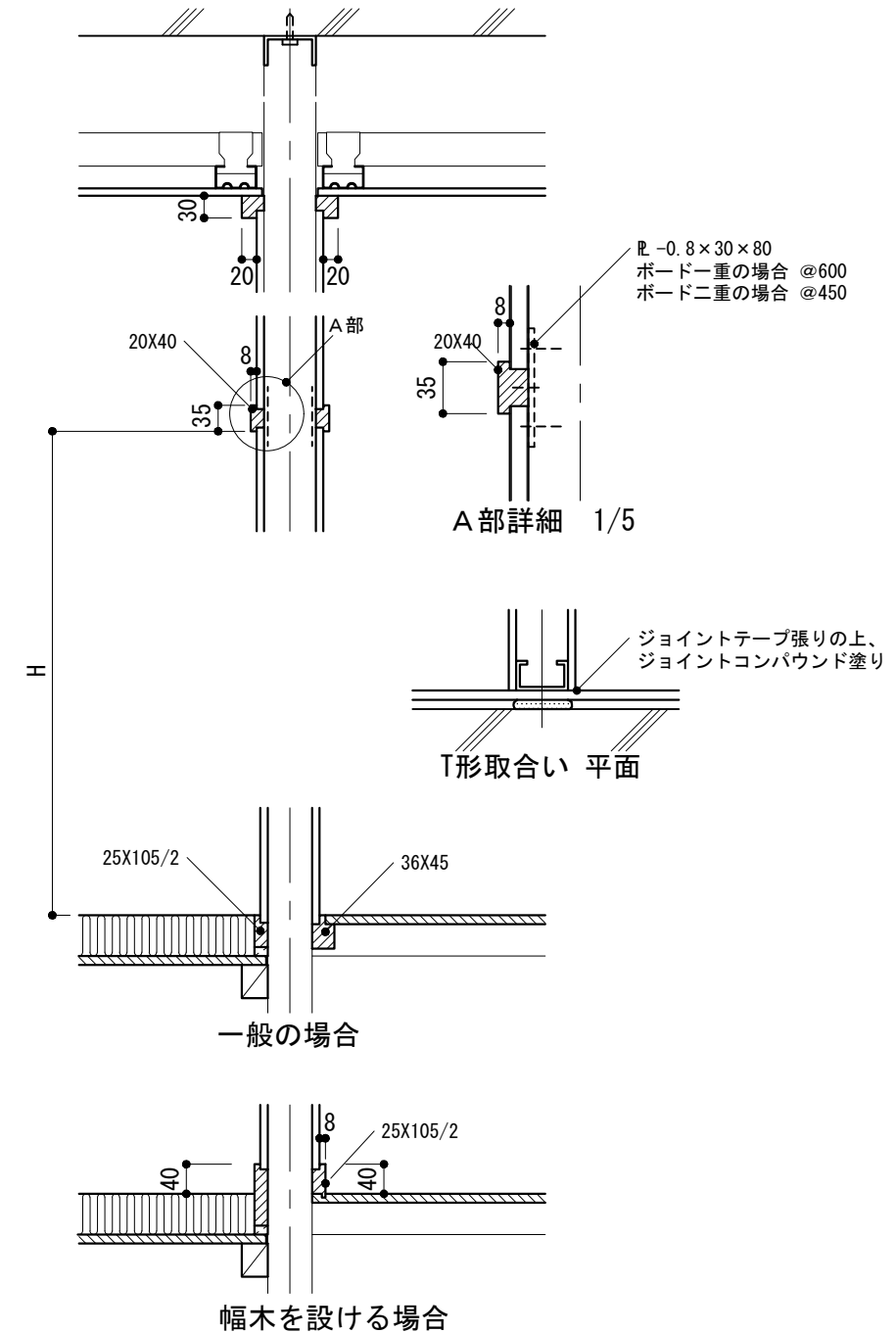
- 1 木造壁の場合



- 2 鉄筋コンクリート壁の場合



- 3 軽量鉄骨壁の場合



仕様

1) 木部は塗装なしとする。

特記事項

- 1) 床高及び仕上げ, H
- 2) 和室内の幅木の有無
- 3) フローリングの種別(縁甲板を含む)及び厚さ
- 4) 板幅
- 5) 畳寄せ, 幅木等の材種

図面名称

和室 : 壁回り

縮尺

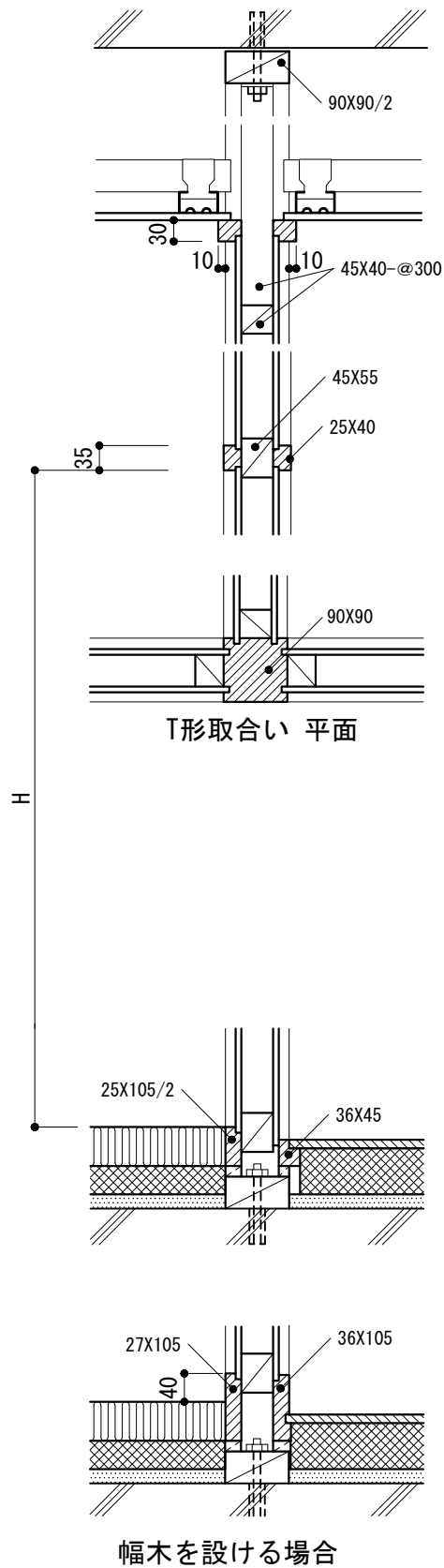
1/10, 1/5

建築工事標準詳細図 令和4年版

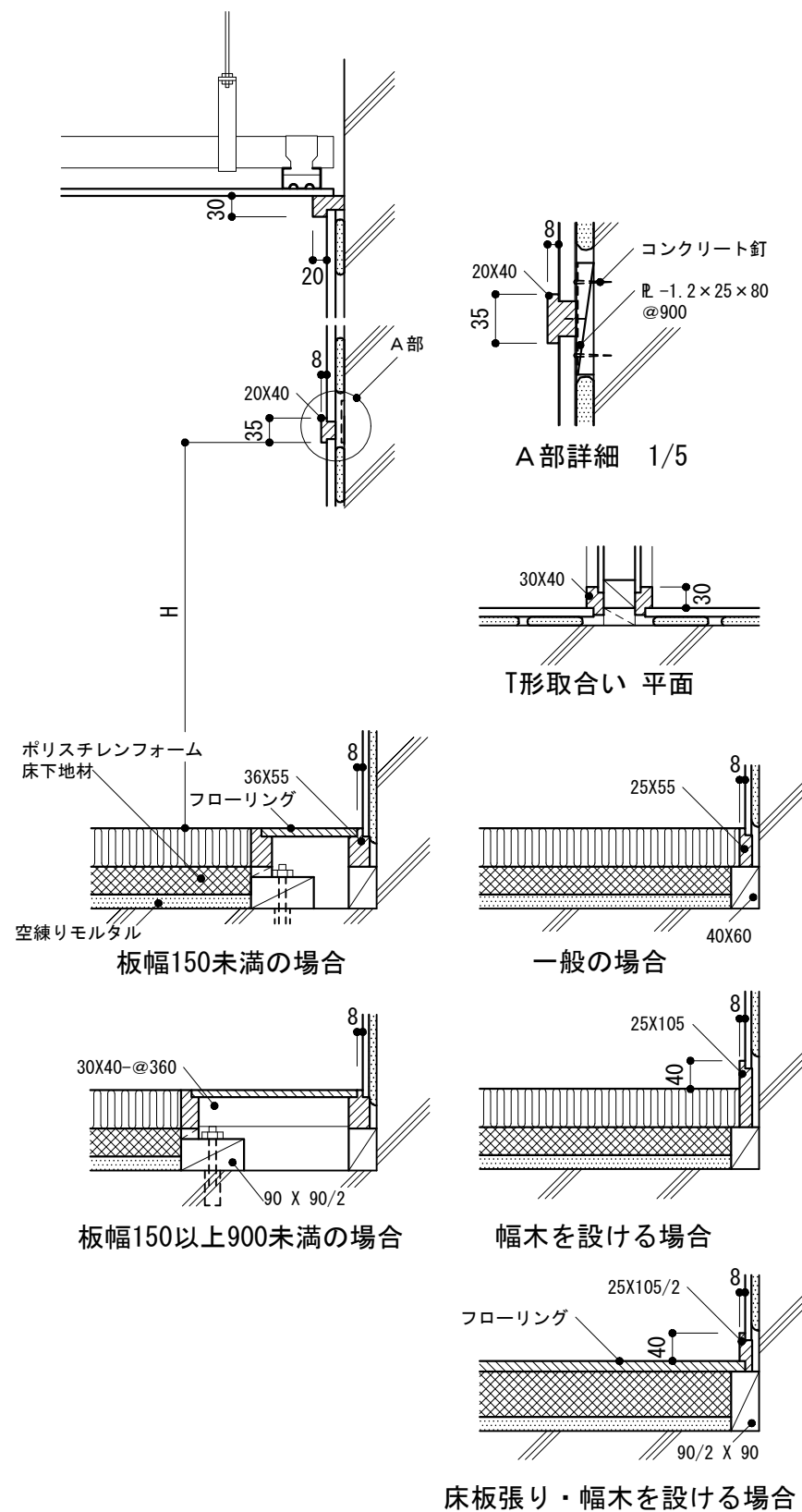
6-43

-1~-3 壁回り

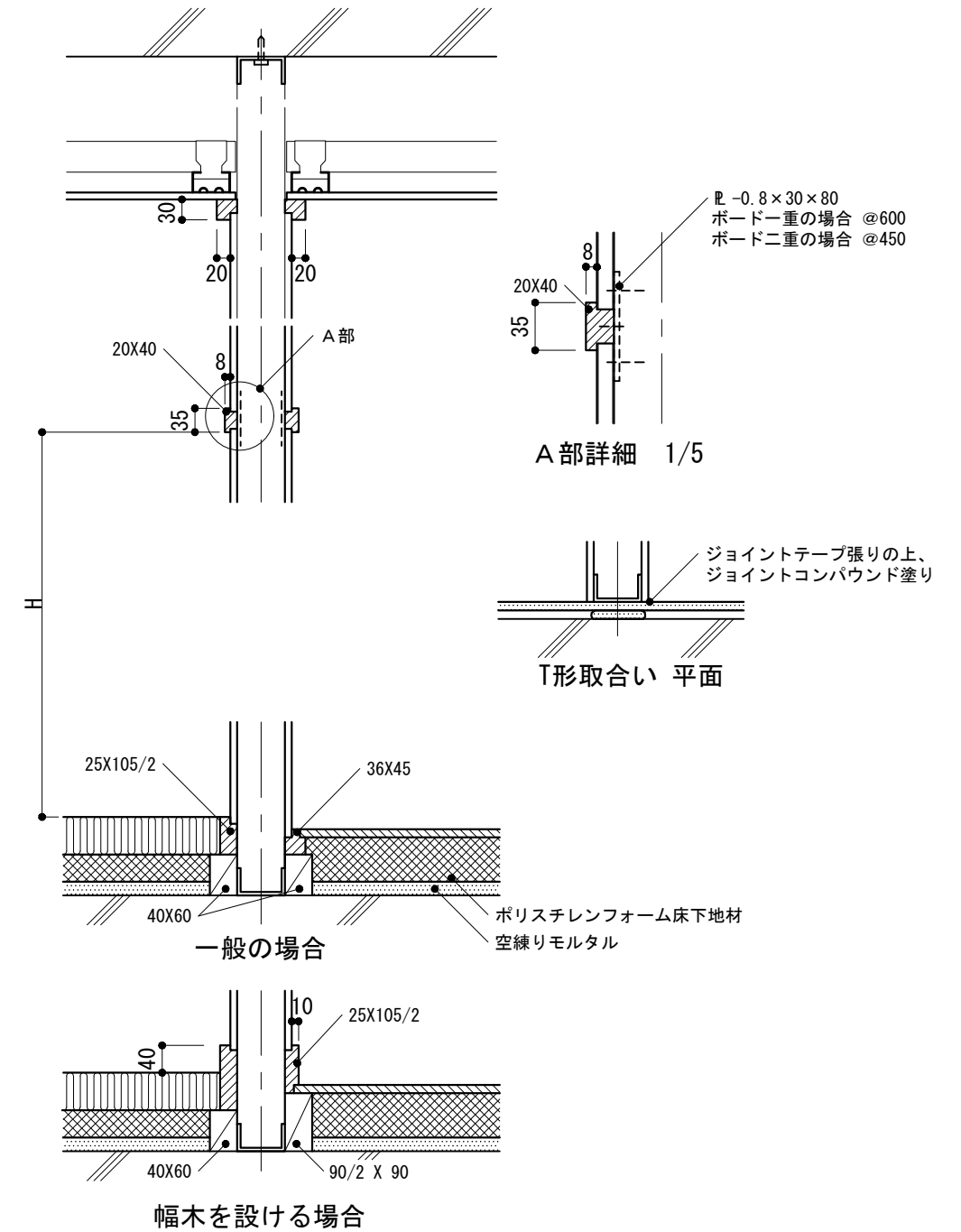
-1 木造壁の場合



-2 鉄筋コンクリート壁の場合



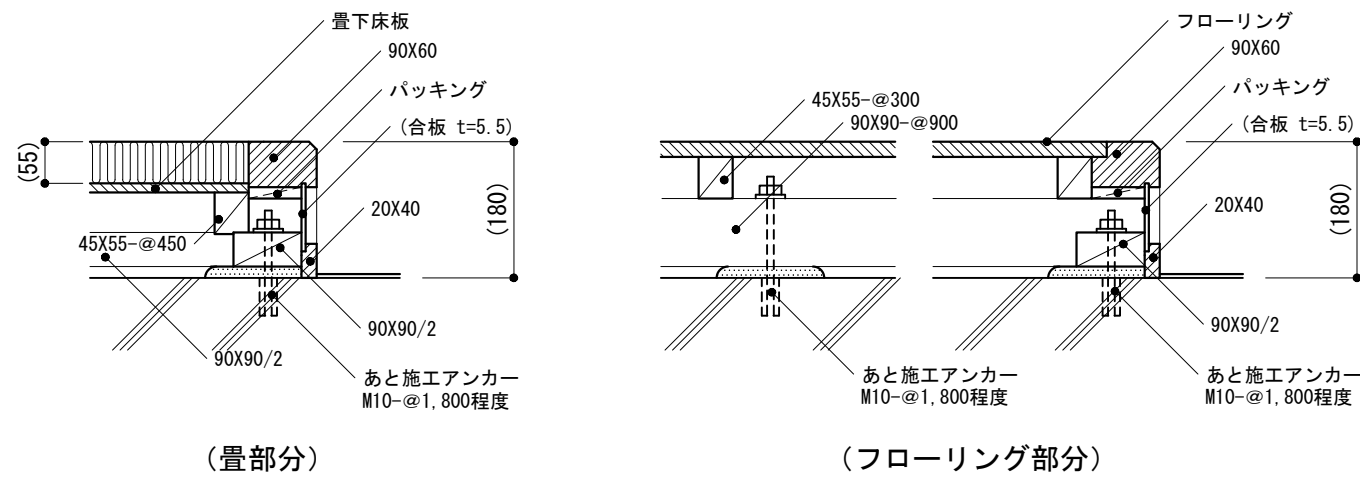
-3 軽量鉄骨壁の場合



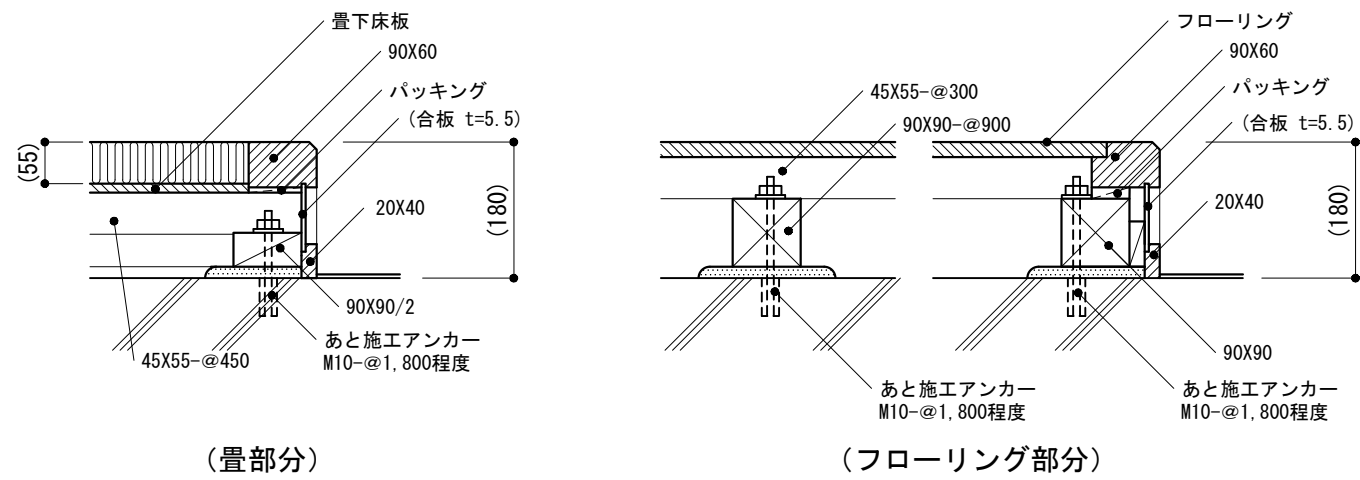
<p>仕様</p> <p>1) 木部は塗装なしとする。</p> <p>2) ポリスチレンフォーム床下地材は、製造所の仕様による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) ポリスチレンフォーム床下地材の厚さ</p> <p>2) 和室内の幅木の有無</p> <p>3) フローリングの種別(縁甲板を含む)及び厚さ</p> <p>4) 板幅</p> <p>5) 畳寄せ、幅木等の材種</p> <p>6) H</p>	図面名称	和室：壁回り (ポリスチレンフォーム床下地材の場合)	
		縮尺	1/10, 1/5	
		建築工事標準詳細図 令和4年版	6-44	

-1 上がりがまち (150 ≤ H ≤ 200)

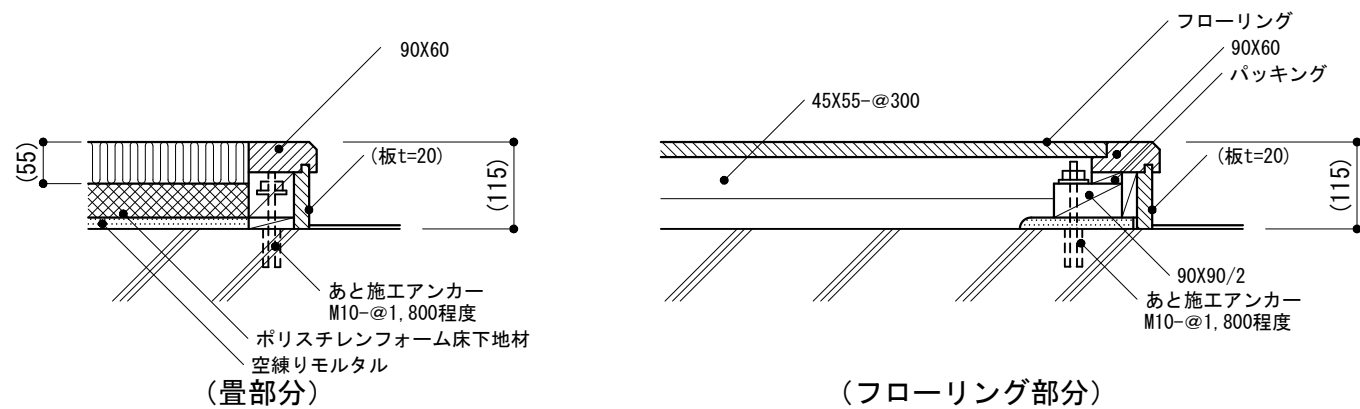
-2-3 上がりがまち (200 < H ≤ 300)



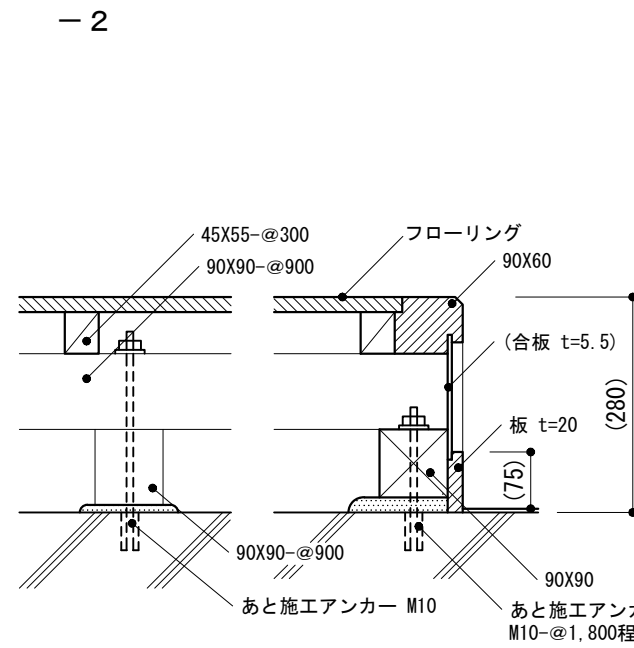
根太が上がりがまちに平行の場合



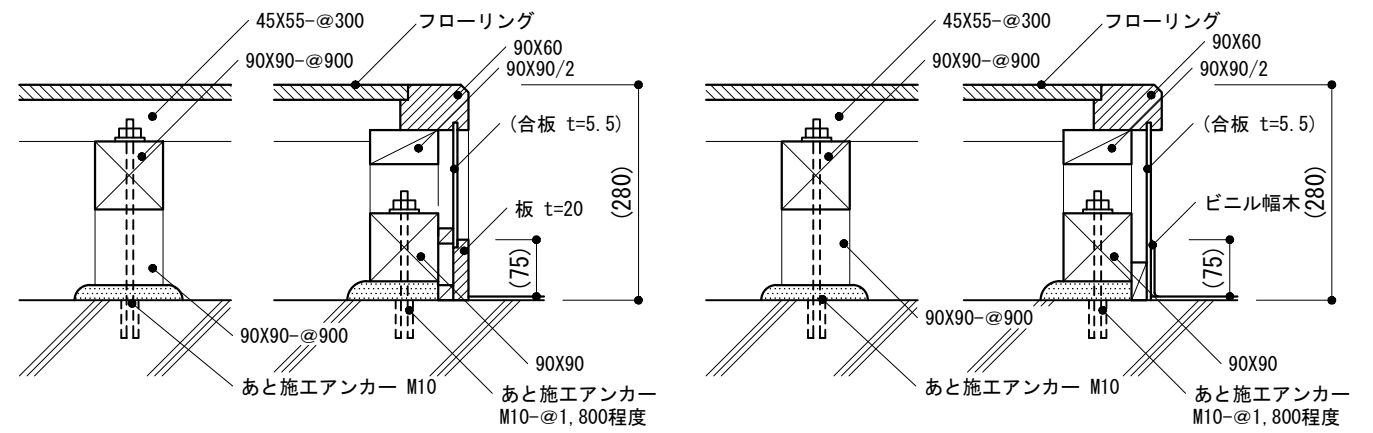
根太が上がりがまちに直角の場合



畳部分にポリスチレンフォーム床下地材を使用する場合



根太が上がりがまちに平行の場合



根太が上がりがまちに直角の場合

仕様

1) ポリスチレンフォーム床下地材は、製造所の仕様による。

特記事項

- 1) 床仕上げ材の種類、下地張りの有無、塗装の種別
- 2) ポリスチレンフォーム床下地材の厚さ
- 3) フローリングの種別及び厚さ

図面名称

床取合い : 上がりがまち

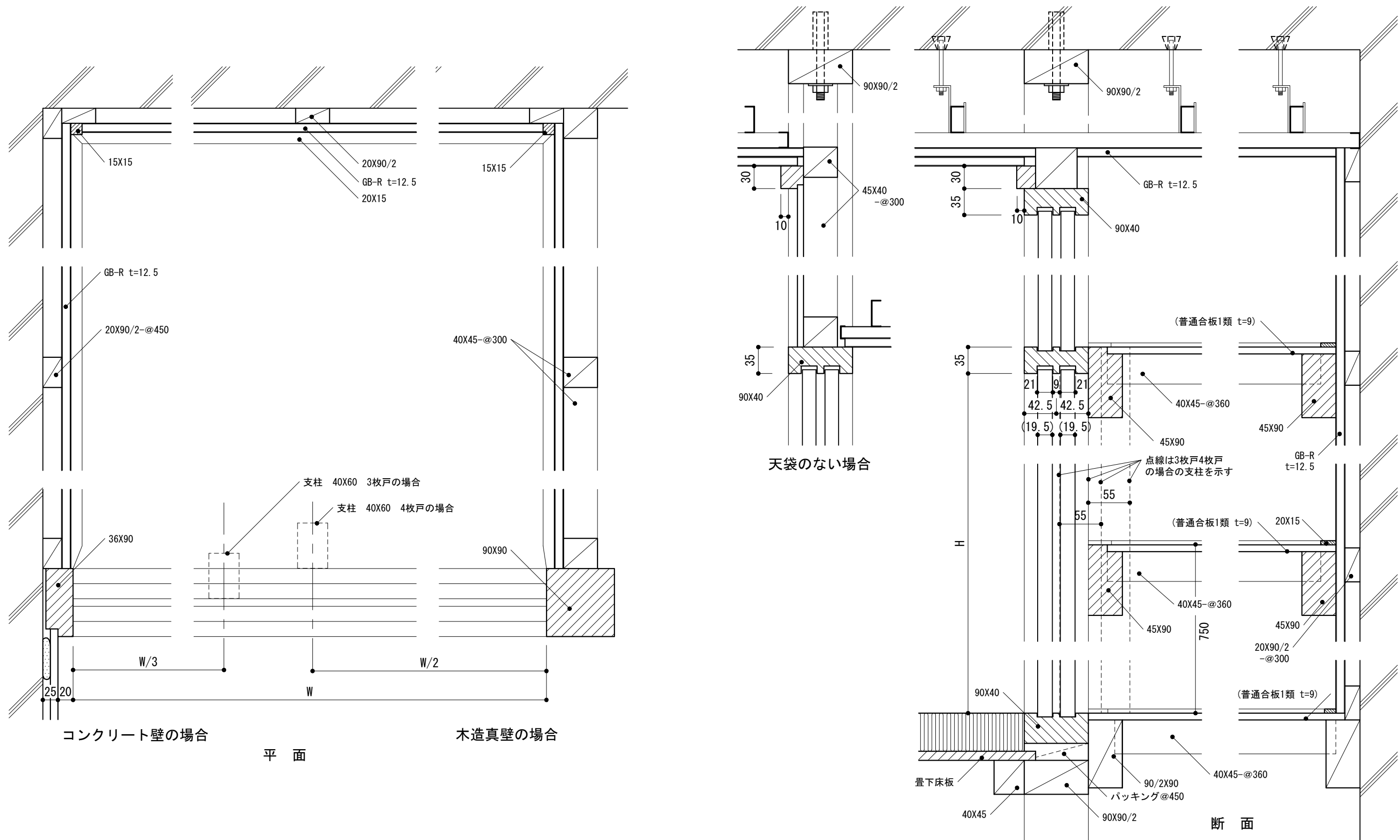
縮尺

1/10

建築工事標準詳細図 令和4年版

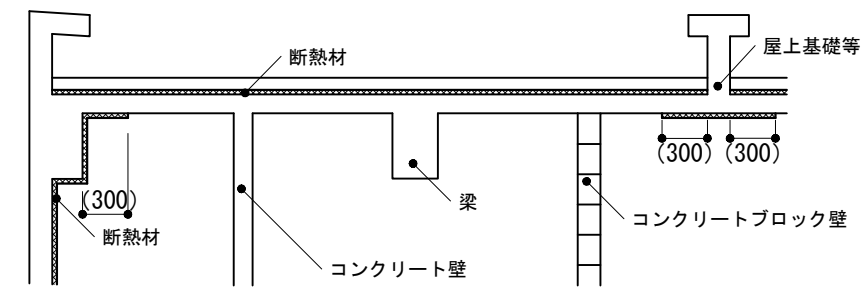
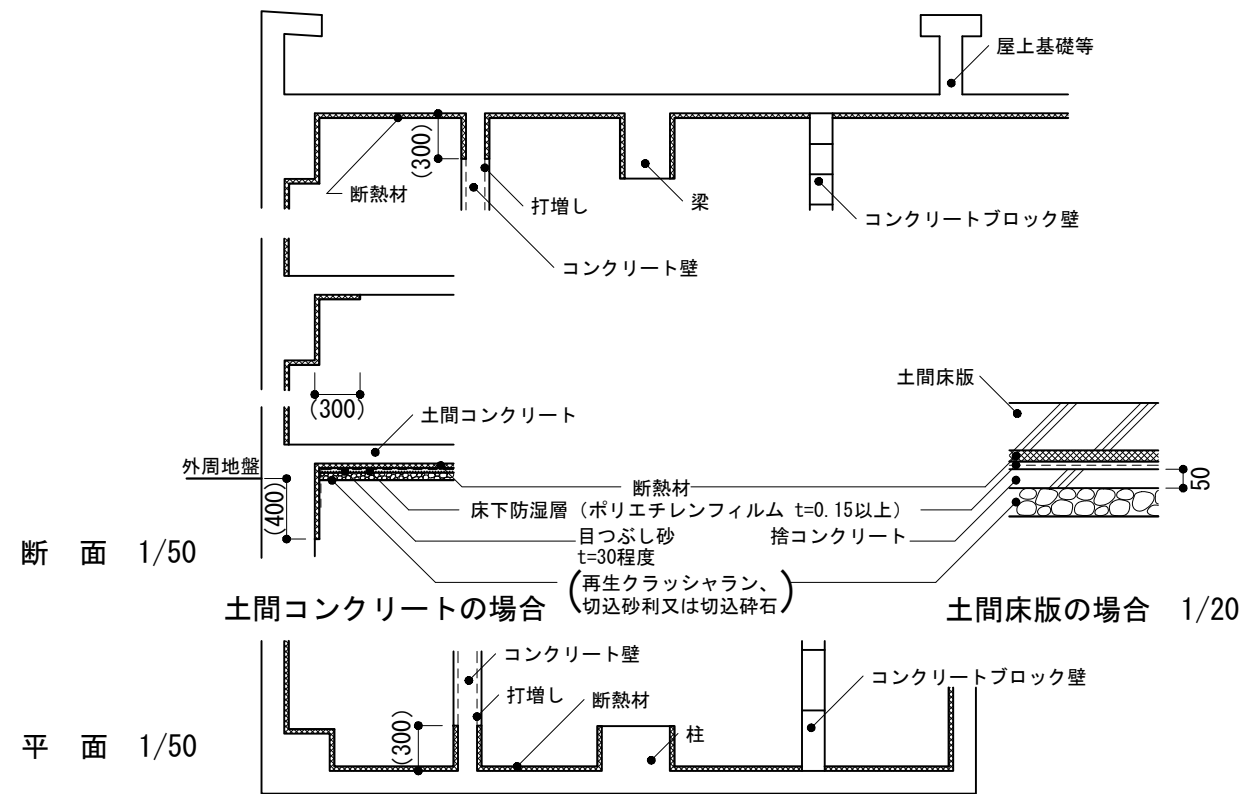
6-45

-1 押入れ



仕様 1) 押入れの幅が2,000mm以上の場合、支柱を設ける。 2) 木部は塗装なしとする。 3) アンカーボルトは、あと施工アンカーを使用してもよい。 4) 軽量鉄骨壁下地の場合は下地受けにR-0.8を入れる。	特記事項 1) W, H 2) 断熱材の有無(外部に面する壁に断熱材を打込む場合)	図面名称 和室：押入れ
		縮尺 1/5
		建築工事標準詳細図 令和4年版
		6-46

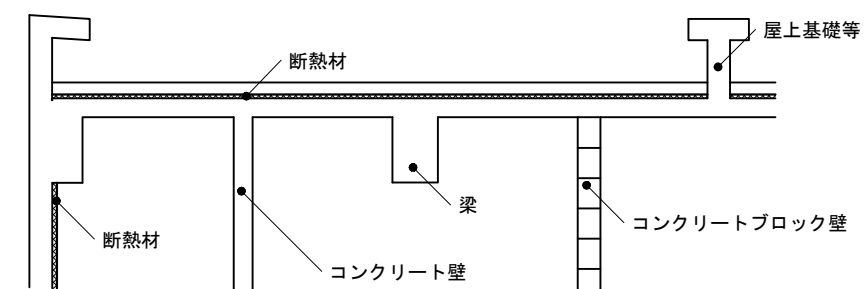
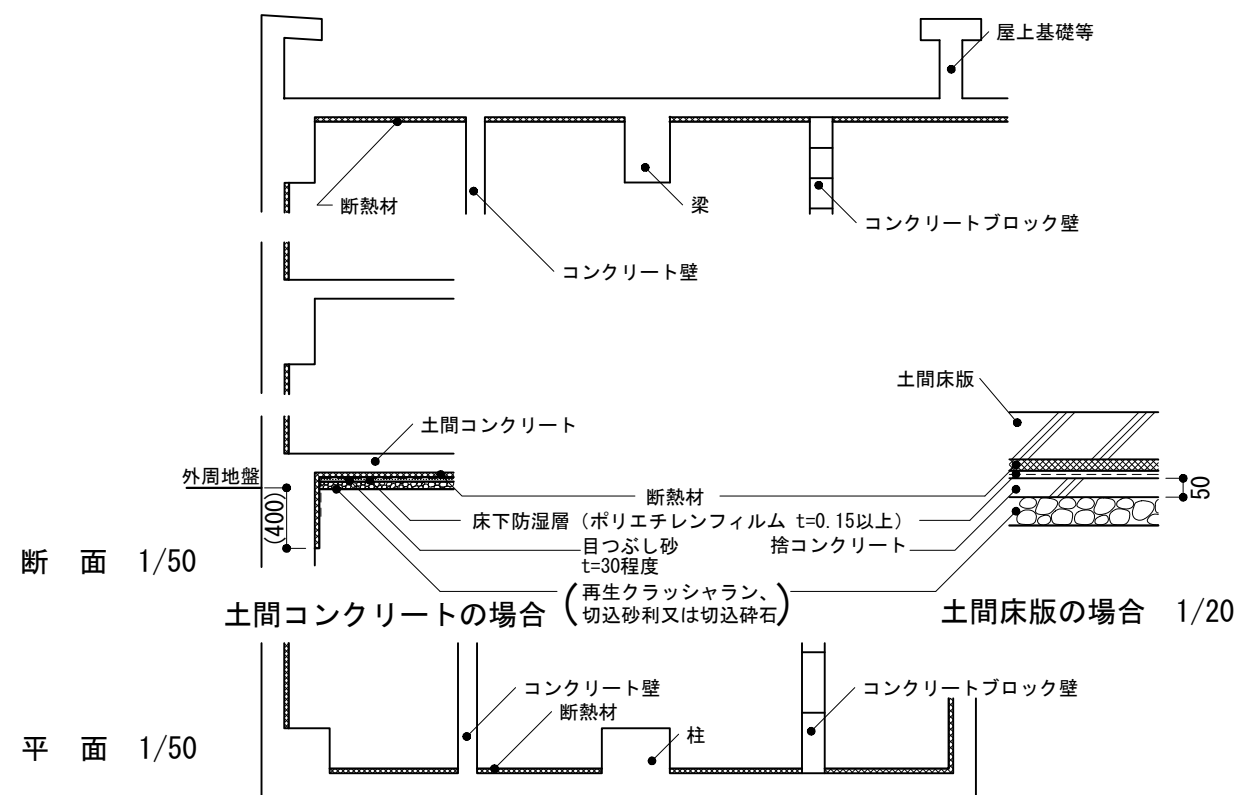
-1 断熱材打込み(寒地の場合)



屋根が断熱防水の場合

断面 1/50

-2 断熱材打込み(標準地及び暖地の場合)



屋根が断熱防水の場合

断面 1/50

仕様

- 1) 寒地とは、「エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準」(平成25年経済産業省・国土交通省告示第1号)別表第4における地域区分1から4までの地域を示す。ただし、福島、新潟、富山、石川の各県については、その全域を寒地とする。また、寒地のうち、北海道を寒地A、それ以外の地域を寒地Bとする。暖地は、沖縄の地域をいう。標準地は、寒地、暖地以外の地域をいう。
- 2) 断熱材の打込み範囲は、外壁を内断熱とした場合の標準的な範囲を示している。
- 3) 断熱材は原則としてコンクリート打込みとする。補修部分については現場発泡断熱材を使用することができる。
- 4) 接地点の断熱材は特記がなければJIS A 9521 (押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA)とする。
- 5) 暖地の場合の断熱材の打込み範囲は、屋根部のみを標準とする。

特記事項

- 1) 断熱材の材質、厚さ、打込み位置、範囲
- 2) 隅角部等後張りが必要な場合
- 3) 断熱補修材の材質

図面名称

断熱 : 断熱材打込み

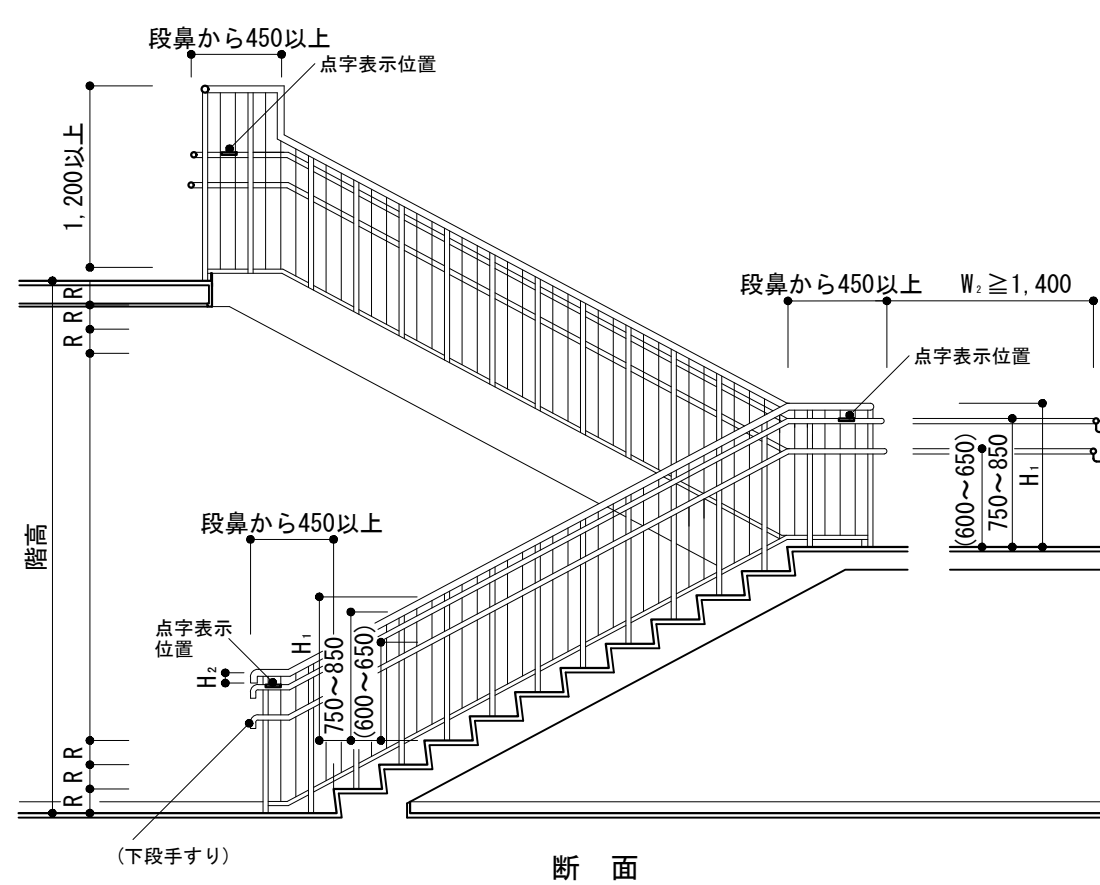
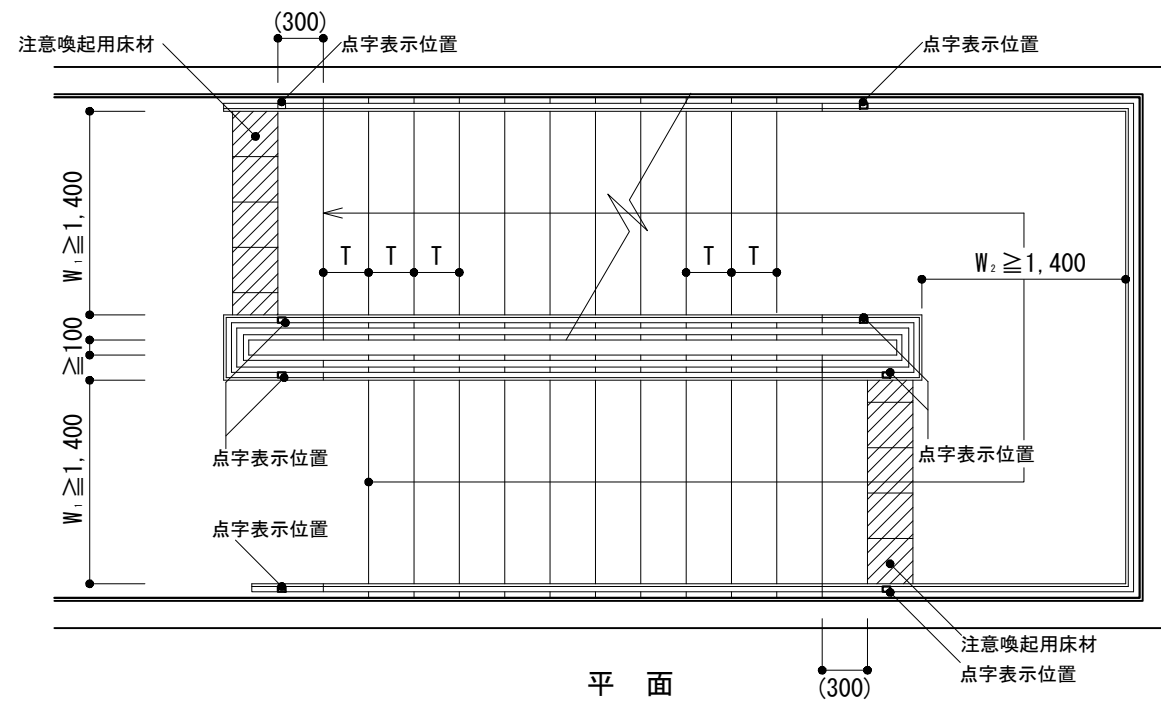
縮尺

1/20, 1/50

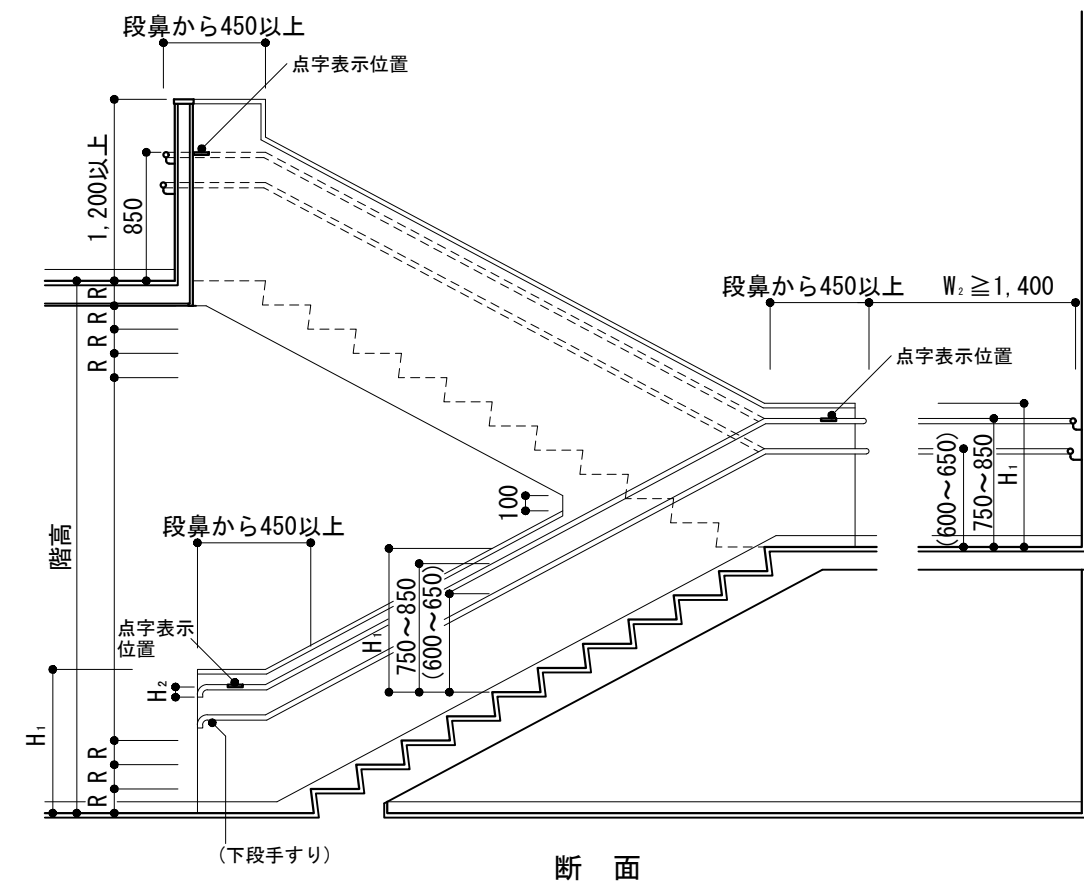
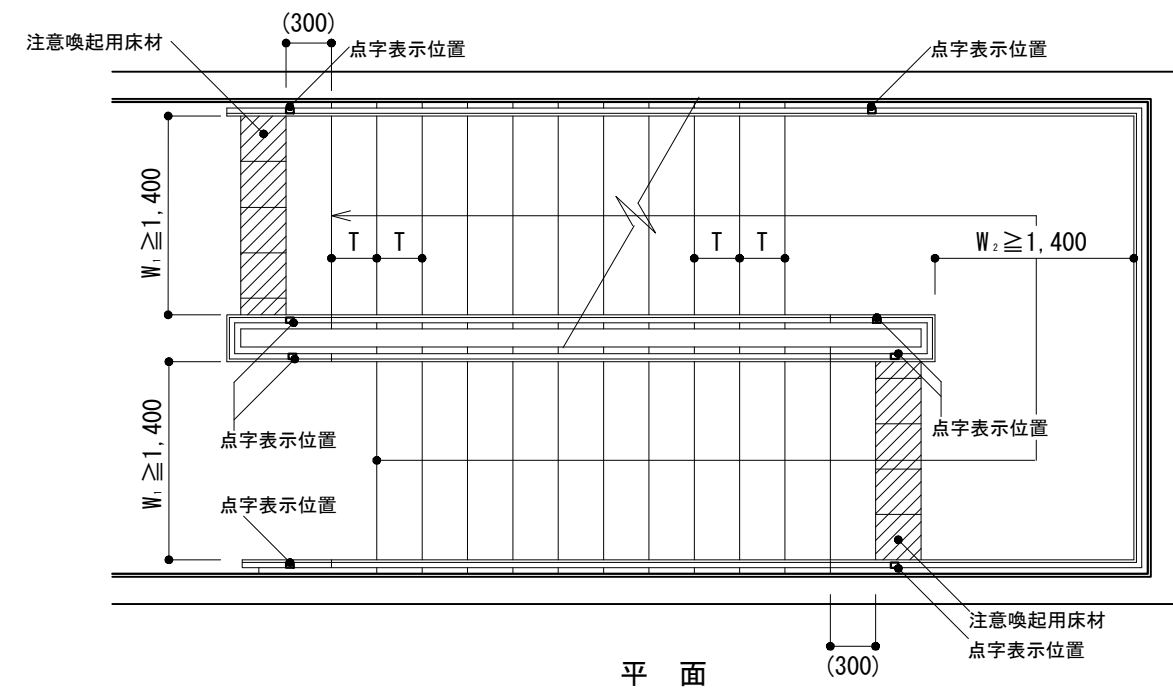
建築工事標準詳細図 令和4年版

7-01

-1 階段(手すり子のある場合)



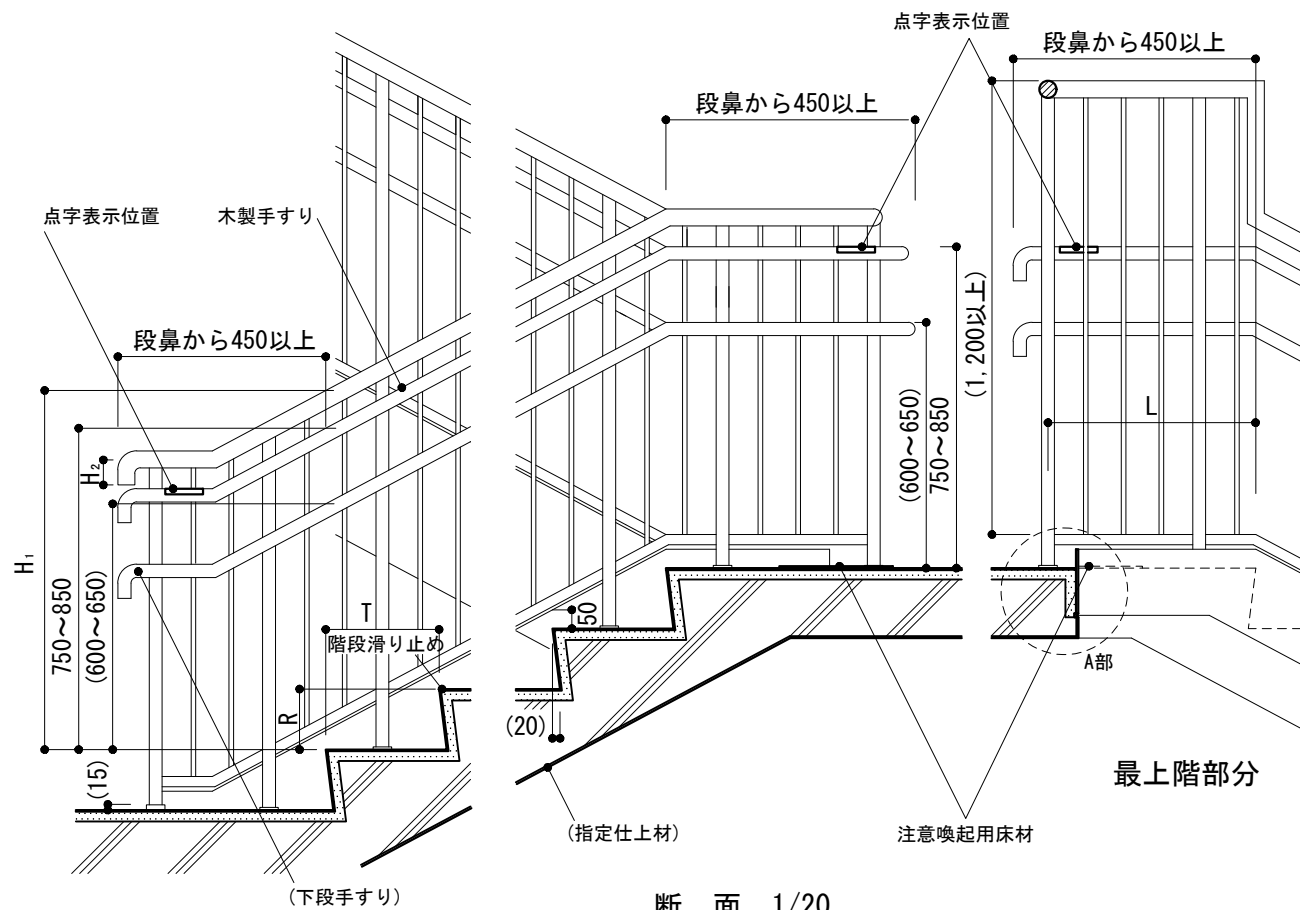
-2 階段(手すり腰壁の場合)



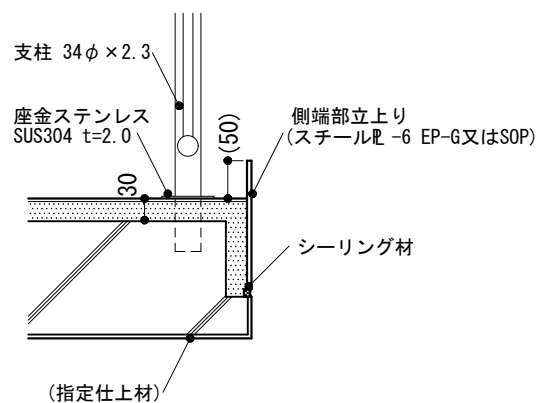
仕様	特記事項	図面名称	階段 : 階段
	1) T, R, W ₁ , W ₂ , H ₁ , H ₂ 2) 下段手すりの有無及び その高さ, 点字表示の有無 3) 点字表示位置 4) 階高		平面, 断面
			縮尺
建築工事標準詳細図 令和4年版			7-11

-1 階段

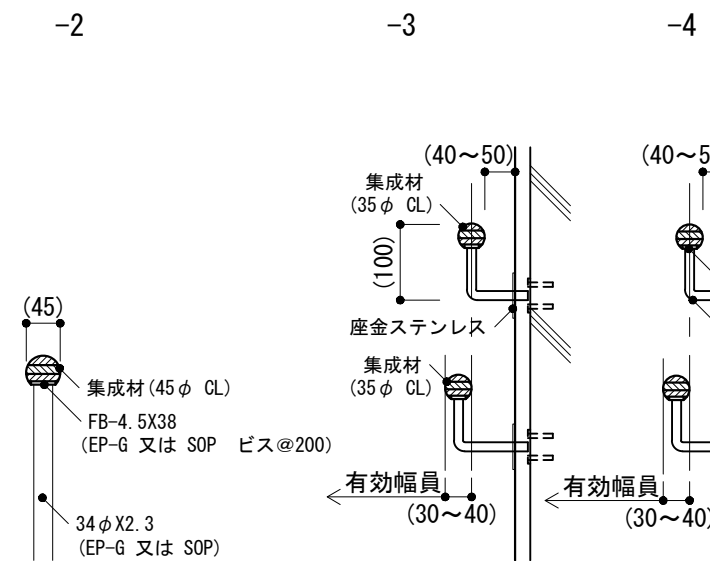
-2~-4 木製手すり



断面 1/20



A部断面 1/10



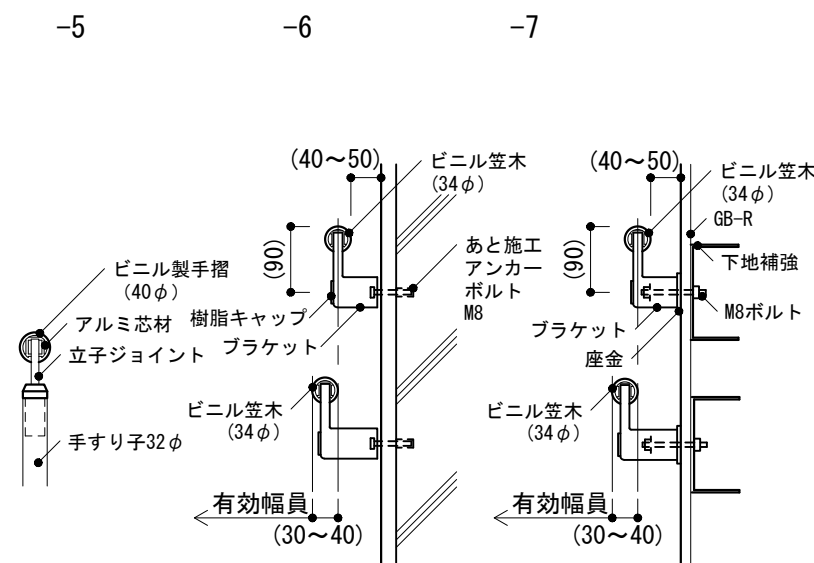
手すり子付きの場合

壁付きの場合

1/10

-5~-7 ビニル製手すり

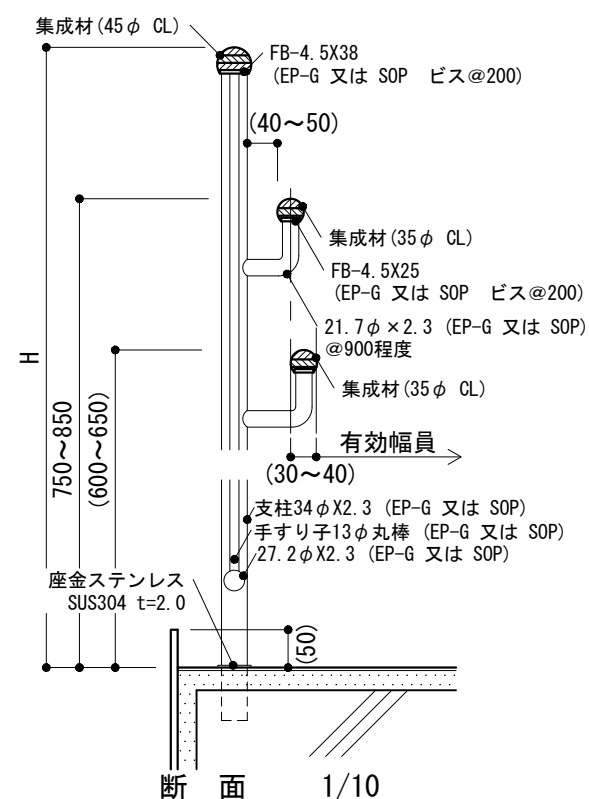
-8 階段2段手すり



手すり子付きの場合

壁付きの場合

1/10

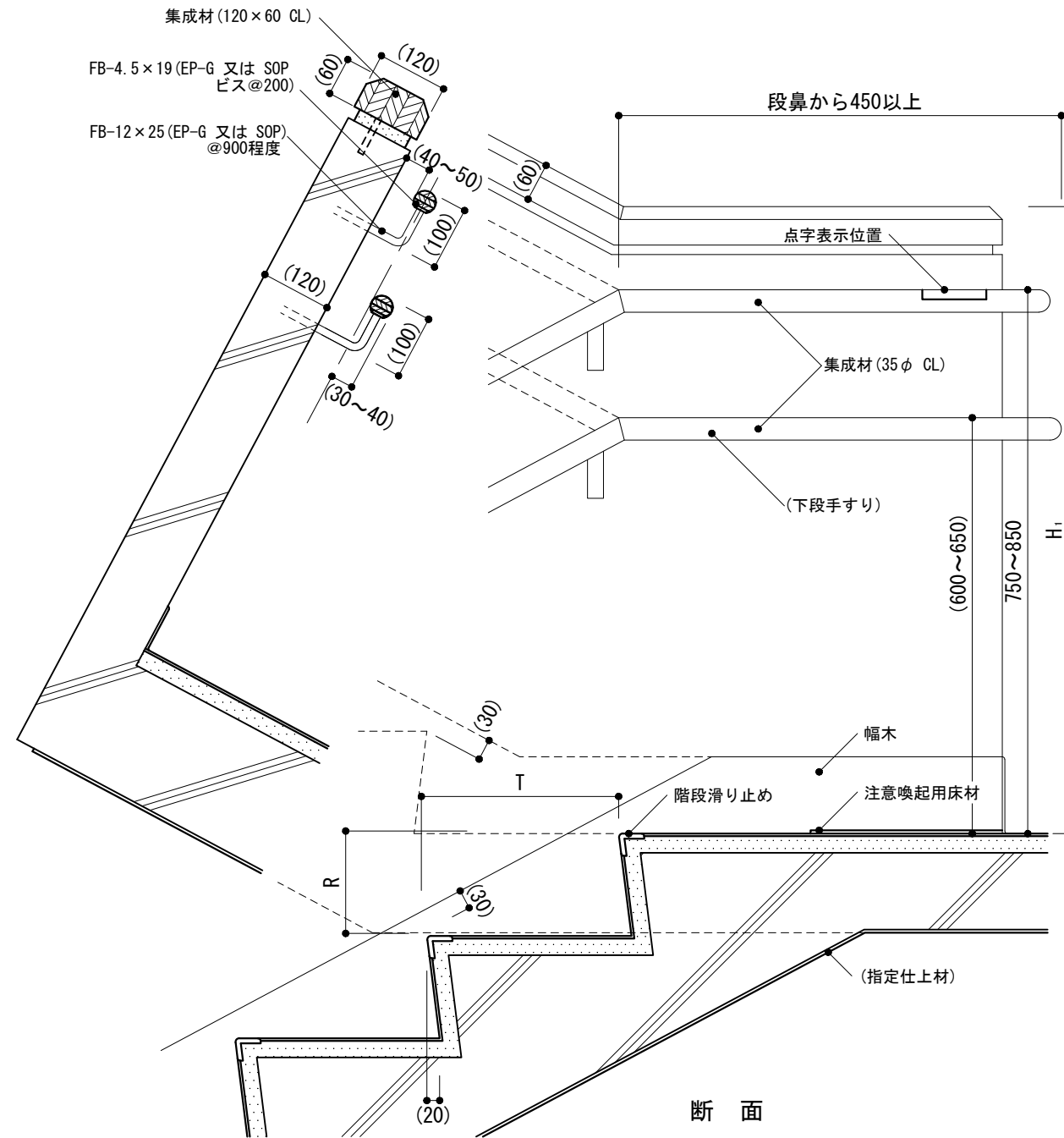


断面 1/10

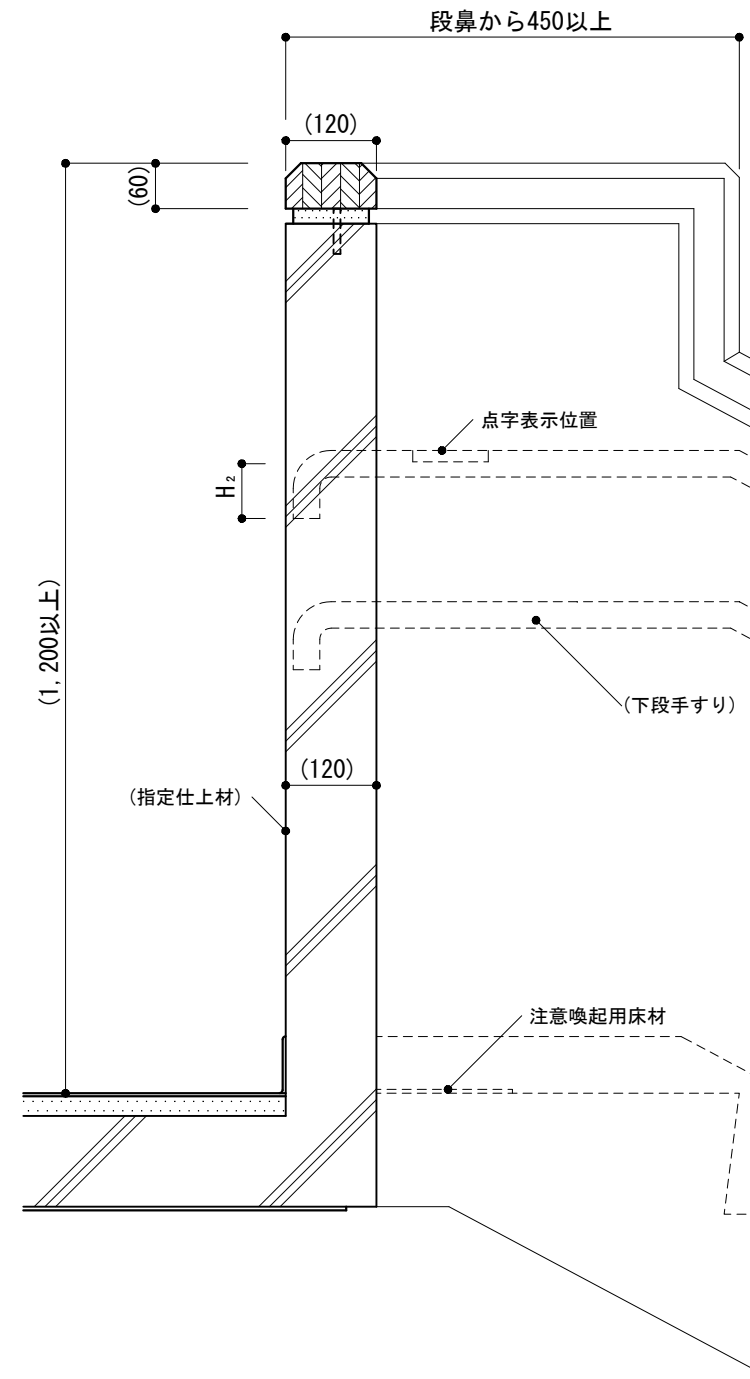
<p>仕様</p> <p>1) 集成材の手すりの場合は、折れ曲がり部での肌分かれのないように処理する。</p> <p>2) 点字表示は、JIS T 0921による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) -1のT, R, L, H₁, H₂, 手すりの径, -8のH</p> <p>2) 階段滑り止めの種別</p> <p>3) 集成材の樹種, 仕上げ及び寸法</p> <p>4) 下段手すりの有無及びその高さ, 点字表示の有無</p> <p>5) 点字表示の表示内容</p> <p>6) 塗装の種別</p> <p>7) 踏面側端部の立上り寸法</p> <p>8) -1の側端部立上りの材質, 厚さ, 寸法及び留付け方法</p>	図面名称	階段 : 階段 (手すり子のある場合)
		縮尺	1/5, 1/10, 1/20
		建築工事標準詳細図 令和4年版	7-12

-1 階段

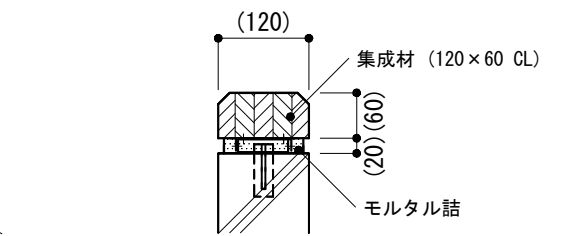
天端が木製の場合



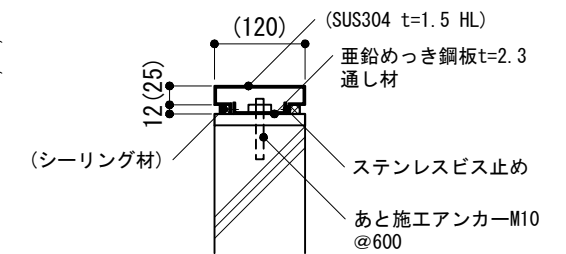
断面



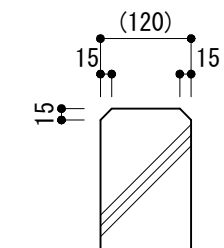
最上階部分



木製の場合



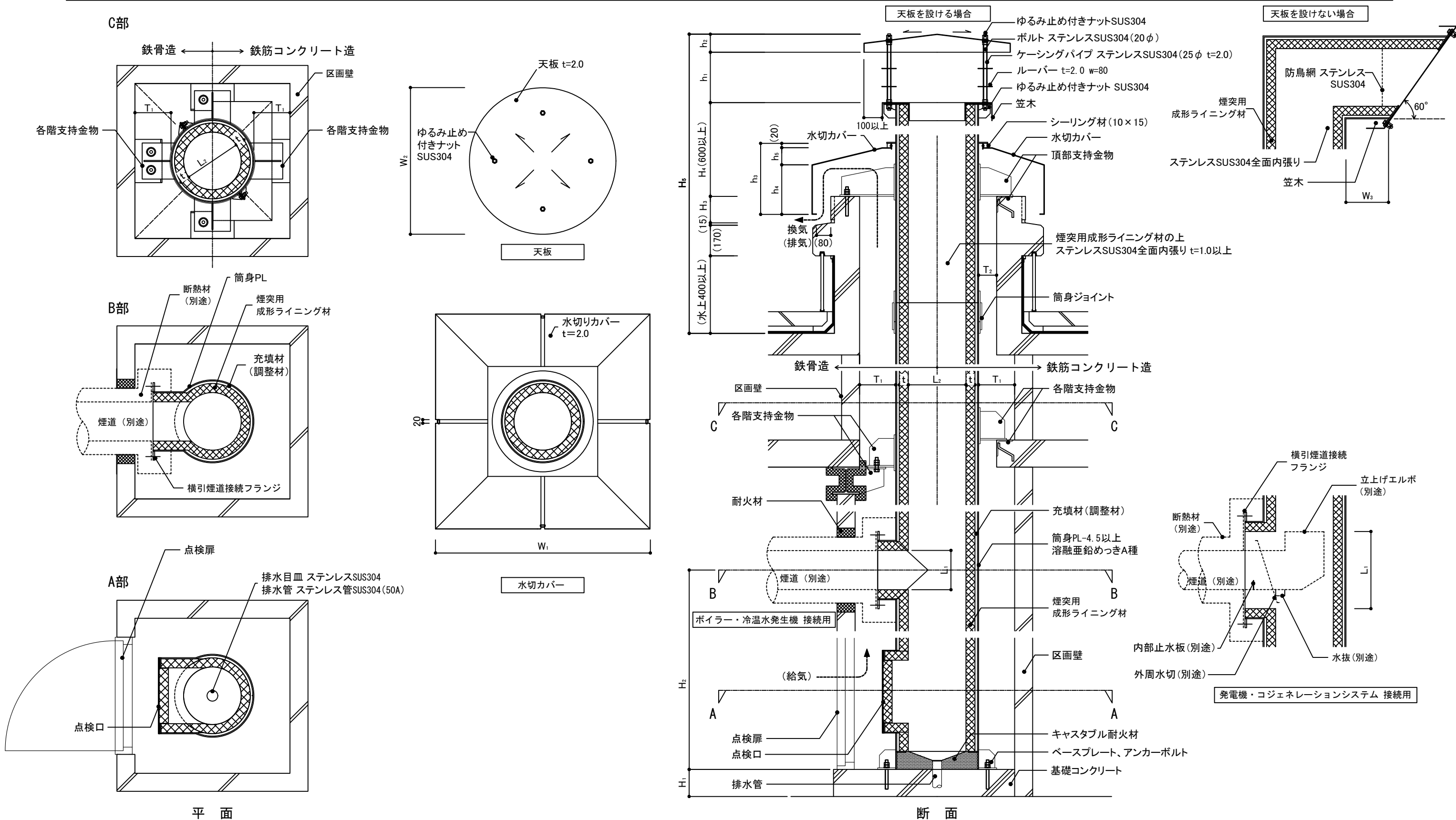
金属製の場合



コンクリート打放しの場合

<p>仕様</p> <p>1) 集成材の手すりの場合は、折れ曲がり部での肌分かれのないように処理する。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) T, R, H₁, H₂, 手すりの径</p> <p>2) 階段滑り止めの種別</p> <p>3) 手すり腰壁天端の材種</p> <p>4) 集成材の樹種、仕上げ及び寸法</p> <p>5) 下段手すりの有無及びその高さ、点字表示の有無</p> <p>6) 点字表示の表示内容</p> <p>7) 塗装の種別</p>	図面名称	階段：階段 (手すり腰壁のある場合)	
		縮尺	1/10	7-13
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

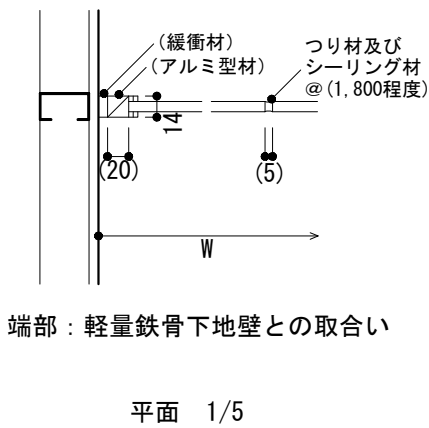
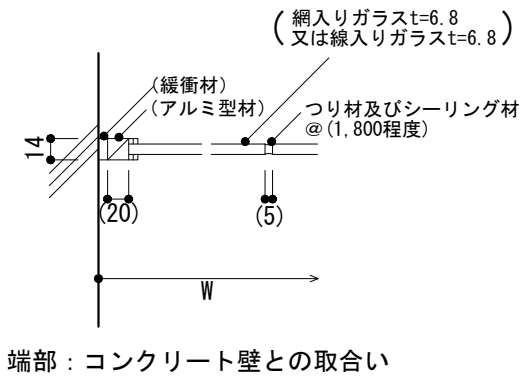
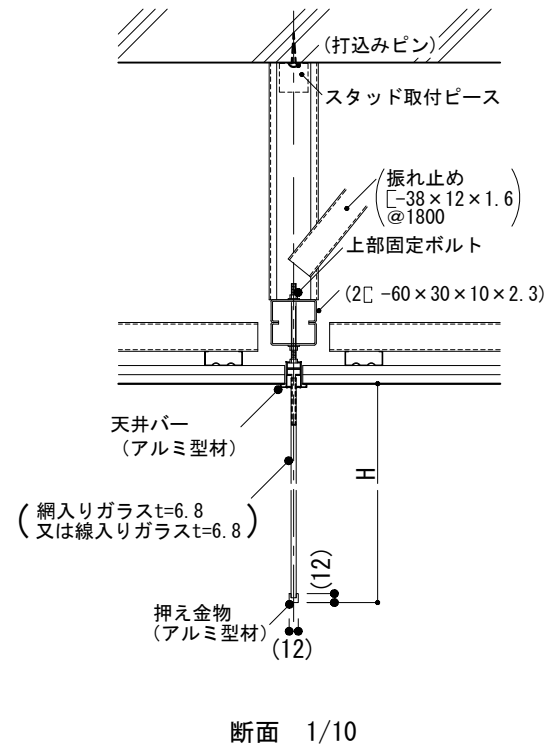
-1 鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)



仕様 1) 煙突の構造支持条件は、各階支持の場合を示す。 2) ボイラー、冷温水発生機、自家用発電機、コジェネレーションシステムの排気煙突に適用し、丸型筒身の場合を示す。 3) 天板、ルーバー、笠木、水切りカバーのステンレスはSUS304とし、仕上げはNo.2B程度とする。 4) 筒身ジョイント、横引煙道接続フランジ、キャストブル耐火材、笠木、点検口、ベースプレート、アンカーボルト、各階及び頂部支持金物は製造所の仕様による。 5) 点検扉は、冷却用給気ガラリ(防火ダンパー付き)とする。	特記事項 1) 煙道(別途)の種類 2) 煙突用成形ライニング材の適用安全温度 3) 天板の有無 4) T ₁ , T ₂ , L ₁ , L ₂ , H ₁ ~H ₆ , t, h ₁ ~h ₆ , W ₁ ~W ₃ 5) 排水管の接続先 6) 耐火材の仕様 7) 区画壁の仕様 8) 基礎コンクリートの仕様	図面名称 煙突：鋼製ユニット煙突 (煙突用成形ライニング材)
		縮尺 1/20
	建築工事標準詳細図 令和4年版	7-21

-1 防煙垂れ壁:固定式

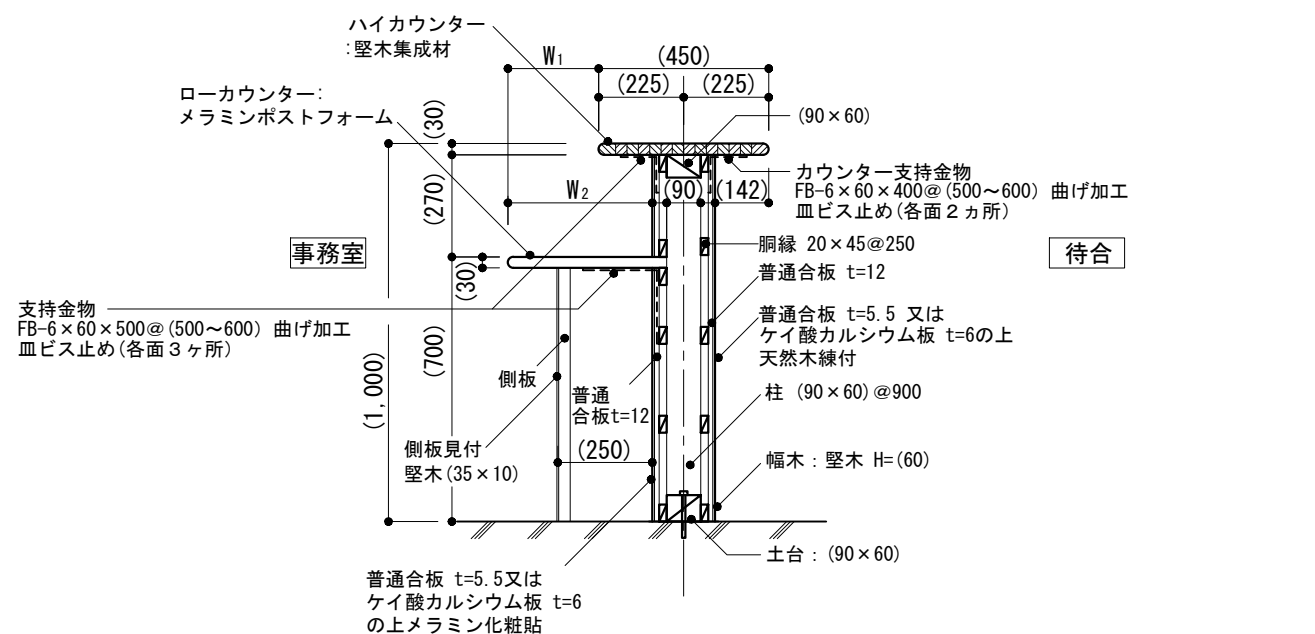
-1 固定式 (天井仕上がある場合)



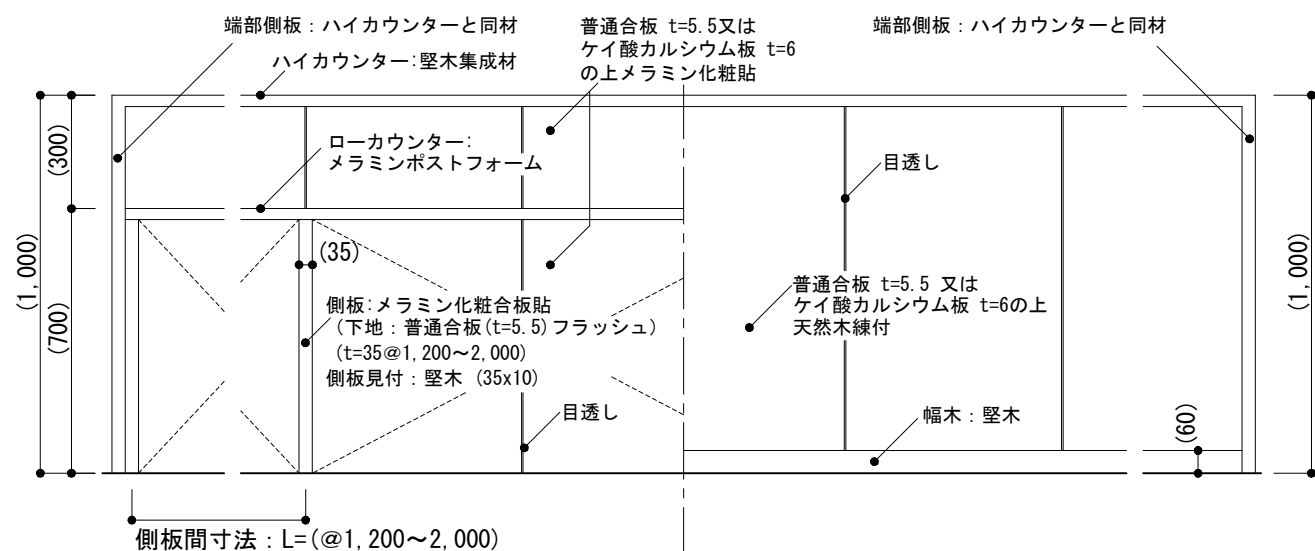
<p>仕様</p> <p>1) 下端を押え金物で保護する。 天井及び壁との取合いは耐震性を考慮する。</p> <p>2) 天井内締付金物及び補強, 天井バー, 押え金物, つり材等の各部分は製造所の仕様による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) H, W</p> <p>2) 防煙垂れ壁の材種</p> <p>3) シーリング材の種別</p>	図面名称	防煙垂れ壁	
		縮尺	1/5, 1/10	8-01
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 木製受付カウンター

-2 コーナーカウンター

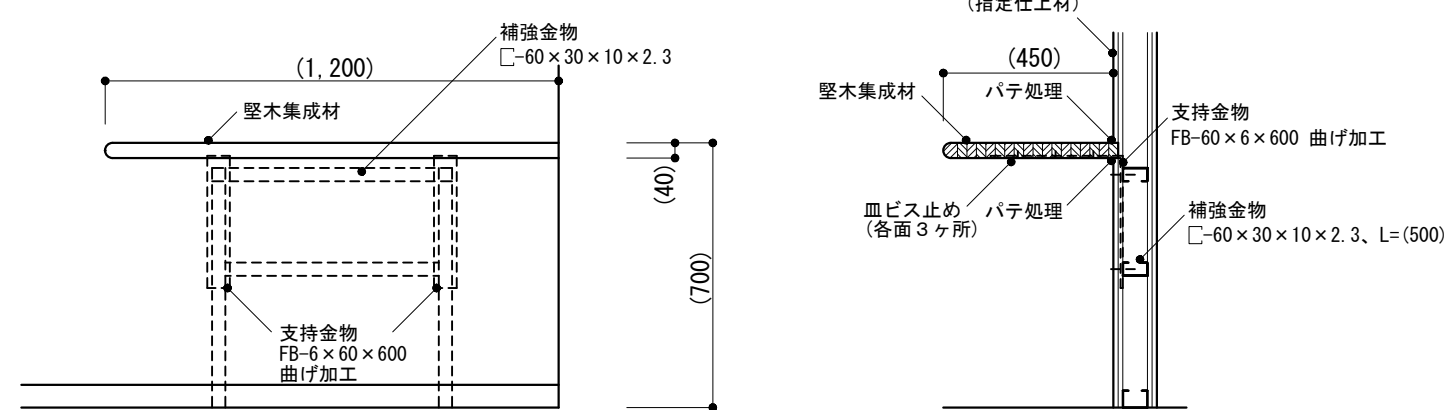


断面 1/20



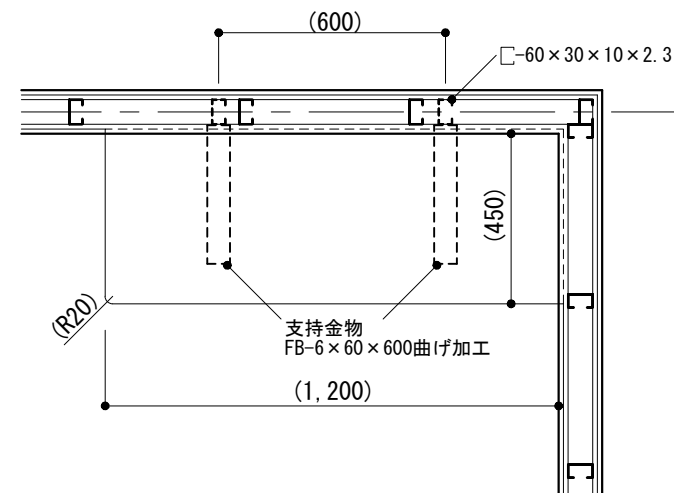
(事務室側) ← → (待合側)

立面 1/20



立図 1/20

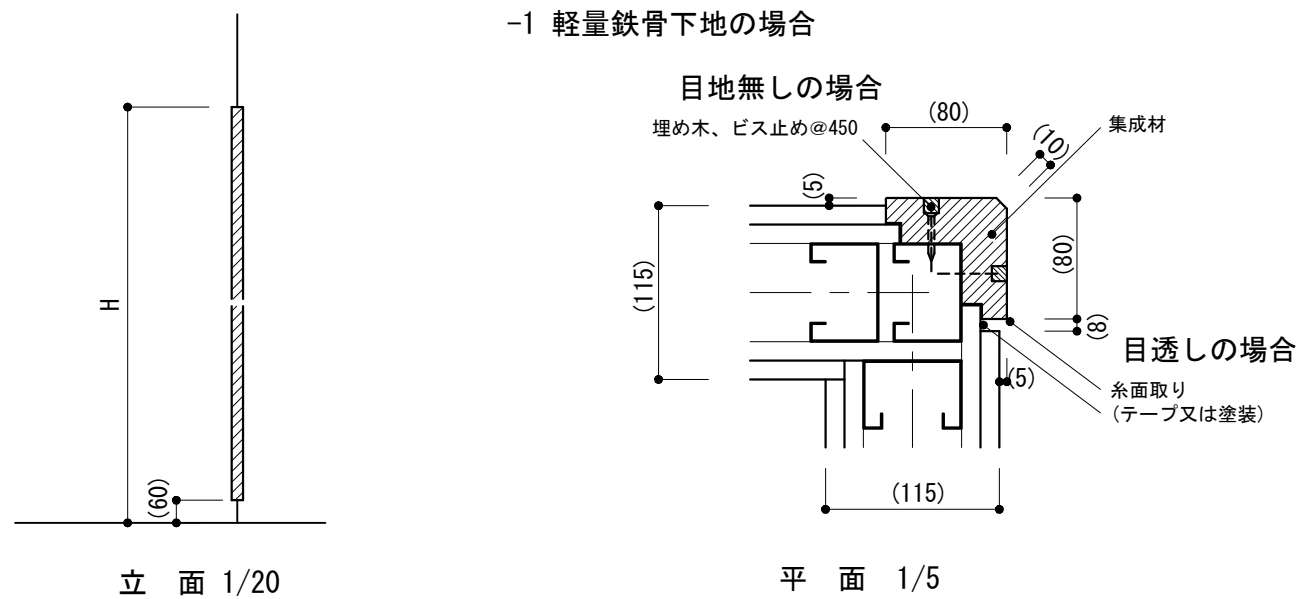
断面 1/20



平面 1/20

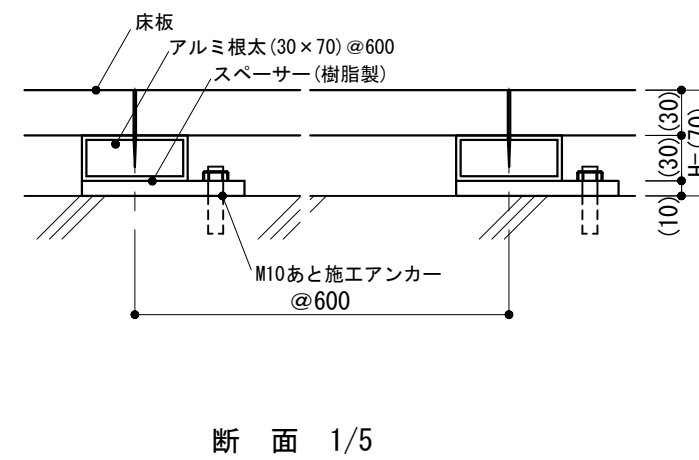
<p>仕様</p> <p>1) メラミンポストフォームは、製造所の仕様による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 樹種</p> <p>2) 木部の塗装</p> <p>3) W₁, W₂, L</p> <p>4) 指定仕上材の種類</p>	図面名称	木製カウンター	
		縮尺	1/20	8-11
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 木製コーナーガード

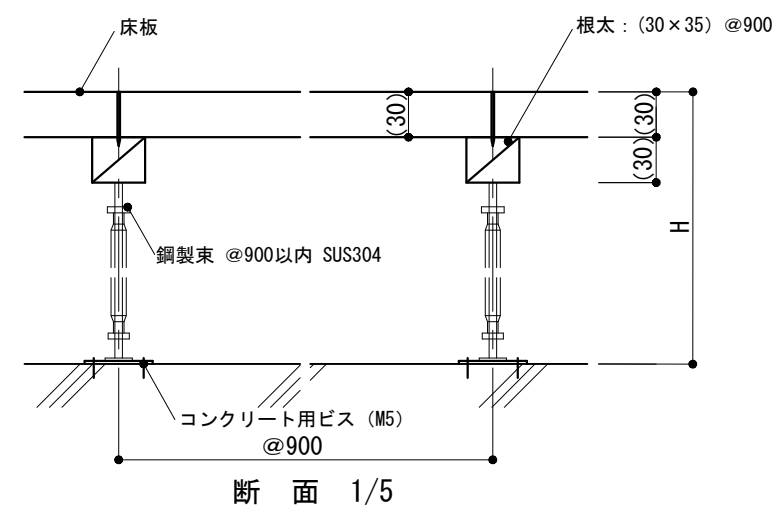


-3-4 ウッドデッキ

-3 アルミ根太を使用の場合 (H=最小寸法納まり=70程度)



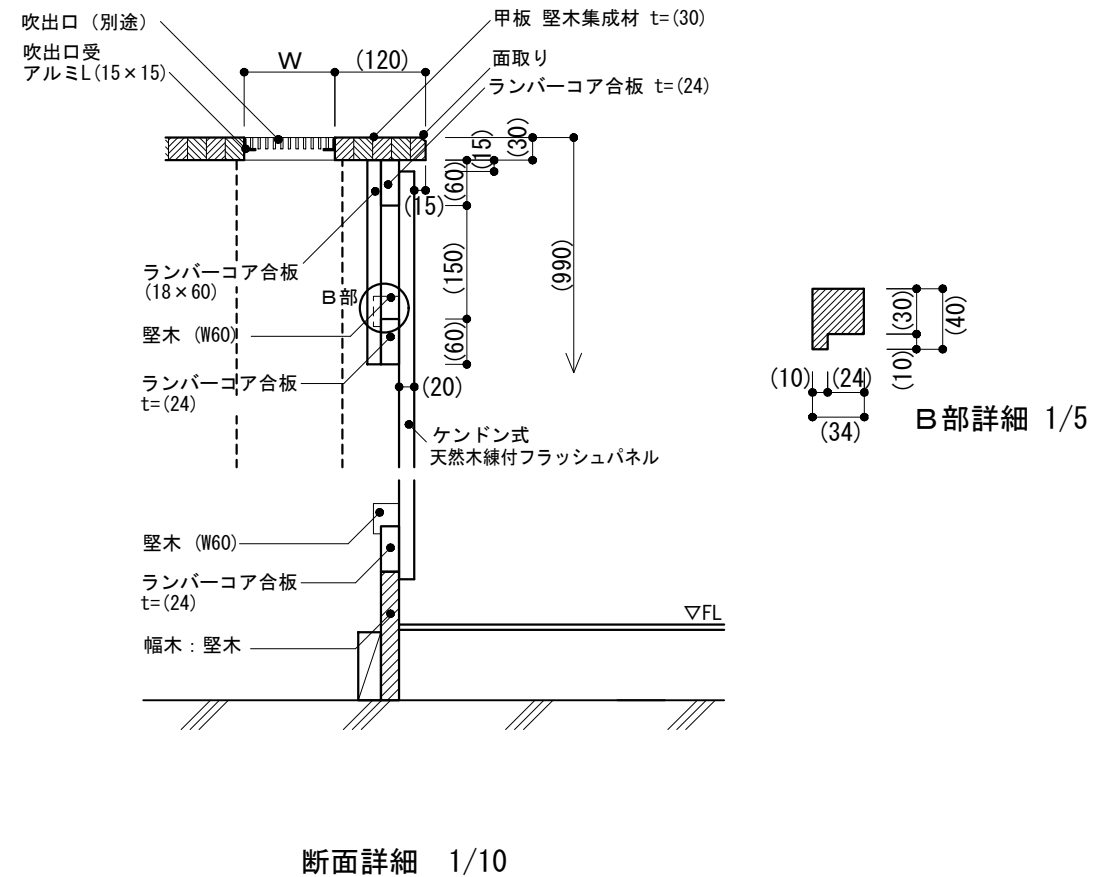
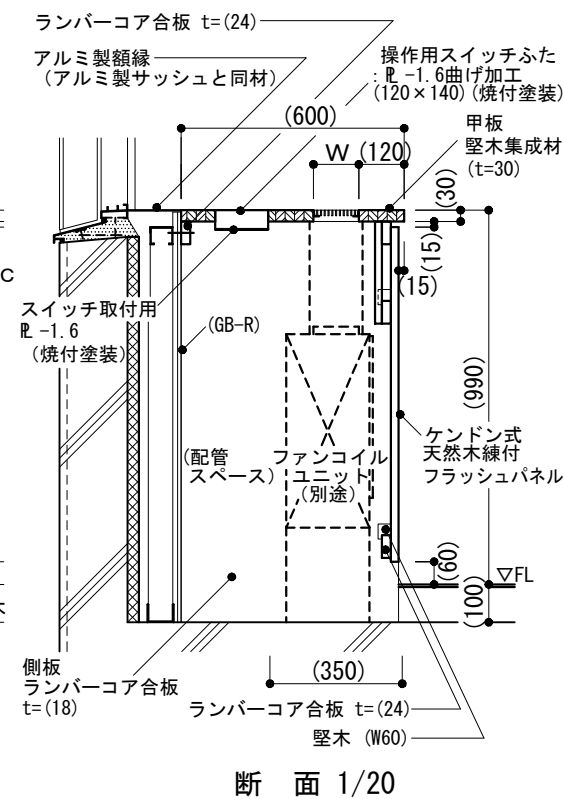
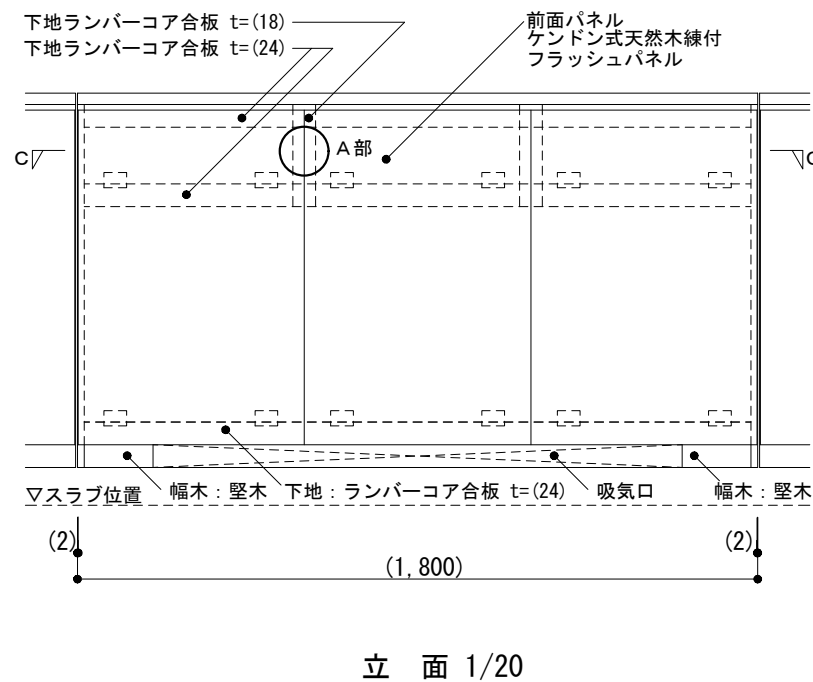
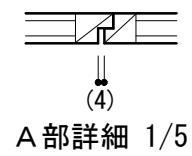
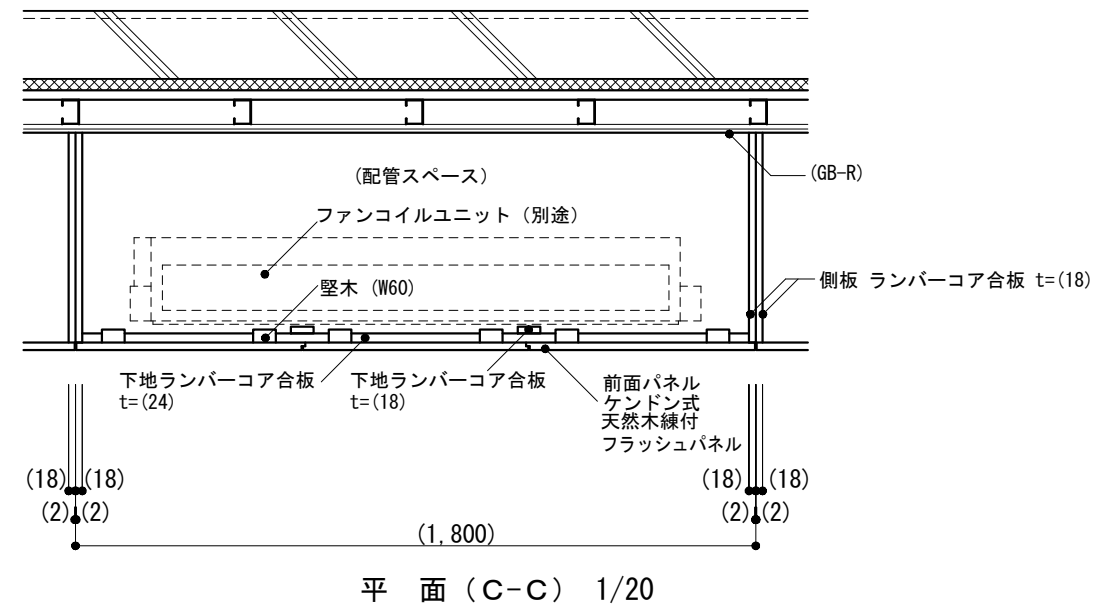
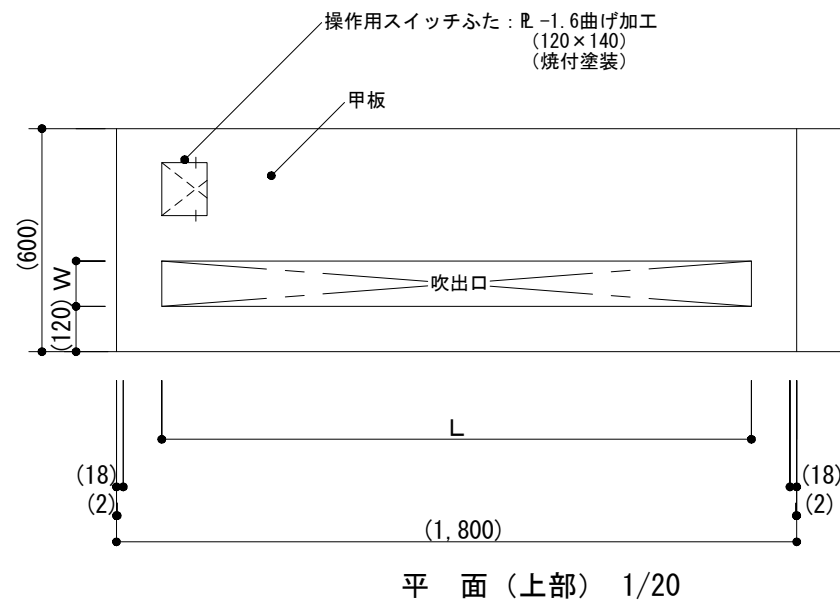
-4 鋼製束を使用の場合 (110<H<450)



※ -2は欠番

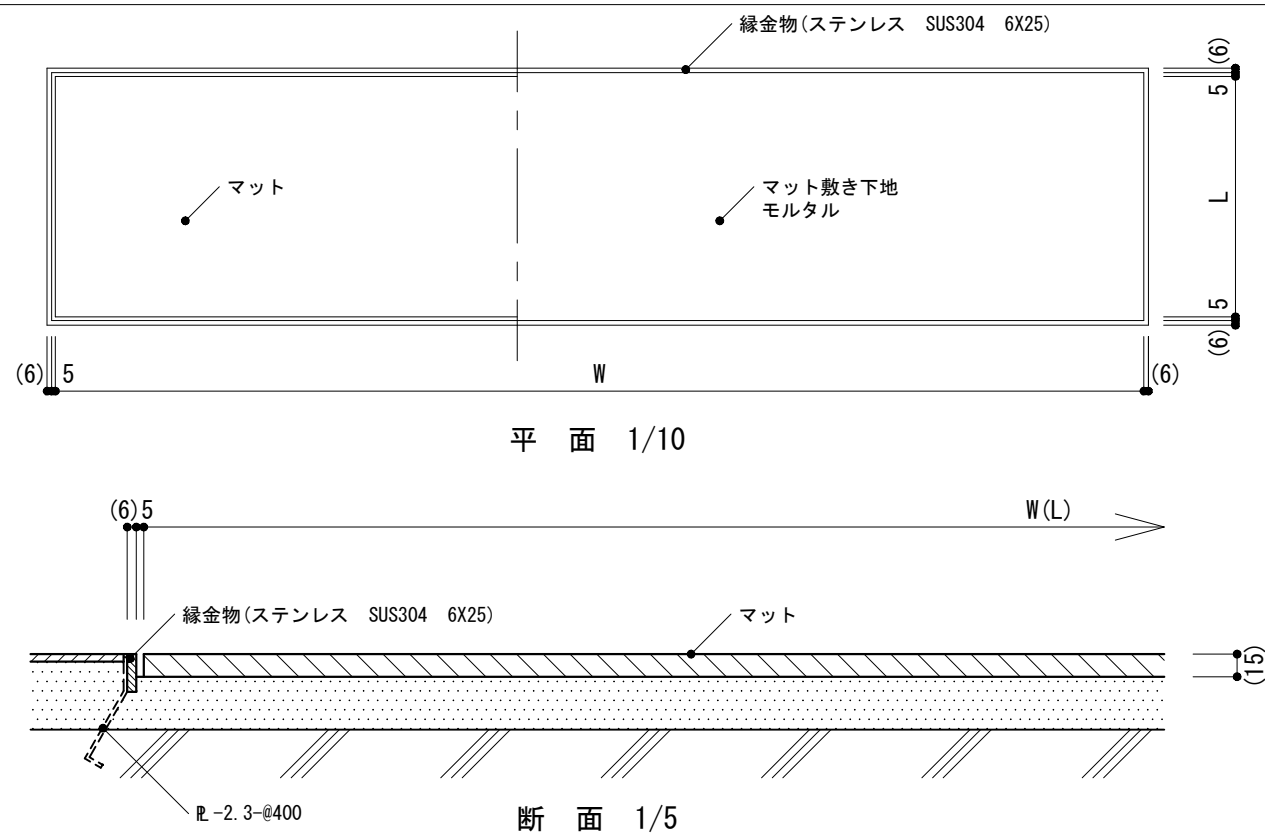
仕様 1) -3, -4の各部材は製造所の仕様による。	特記事項 1) 樹種 2) 木部の塗装 3) H 4) -3, -4の床板の種別 5) -1の目地処理の種別	図面名称	木製コーナーガード, ウッドデッキ	
		縮尺	1/5, 1/20	
		建築工事標準詳細図 令和4年版	8-12	

-1 木製ファンコイルユニットカバー

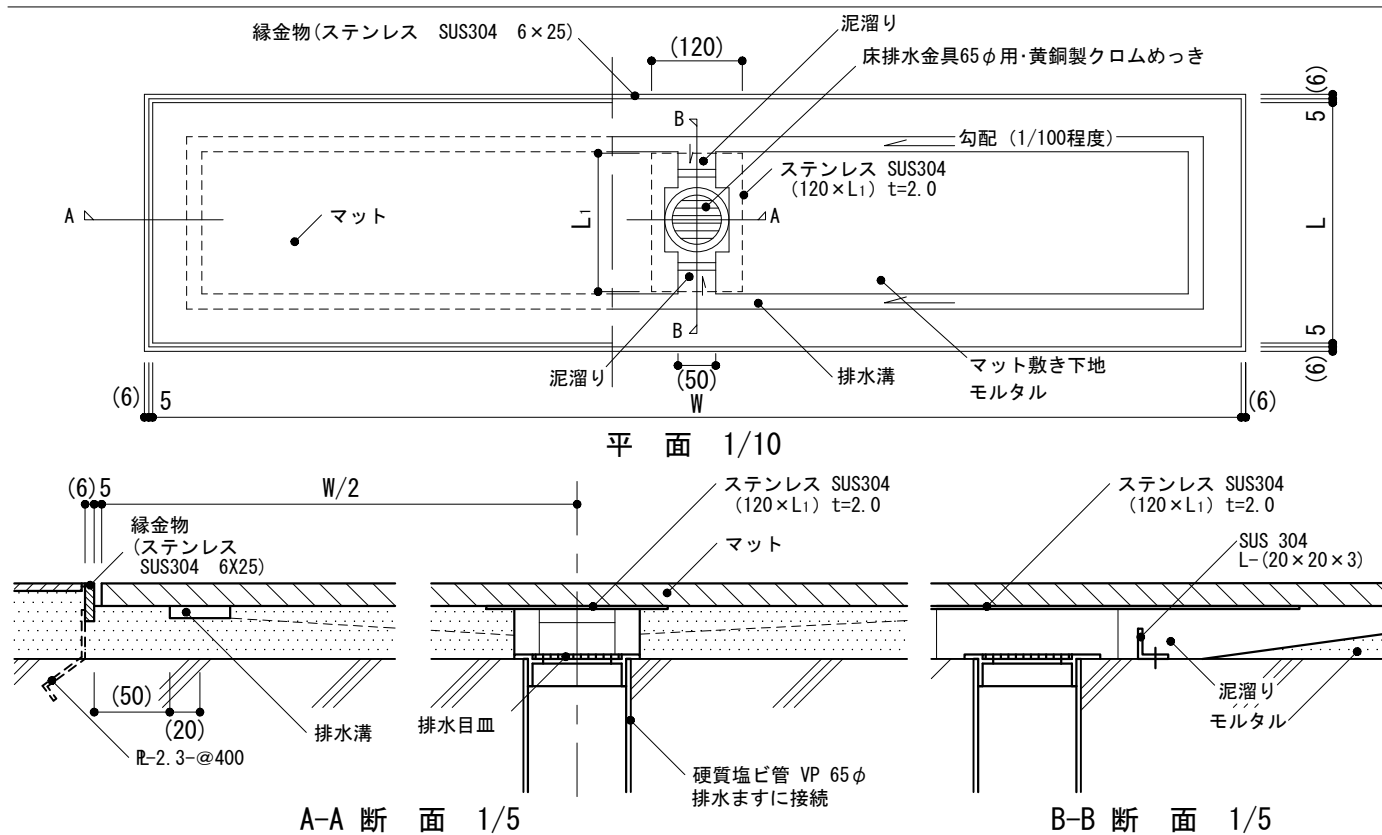


<p>仕様</p> <p>1) 床はフリーアクセスフロア納まりを示す。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 樹種</p> <p>2) 木部の塗装</p> <p>3) 吹出口のW, L</p>	図面名称	木製ファンコイルユニットカバー	
		縮尺	1/5,1/10,1/20	
		建築工事標準詳細図 令和4年版	8-13	

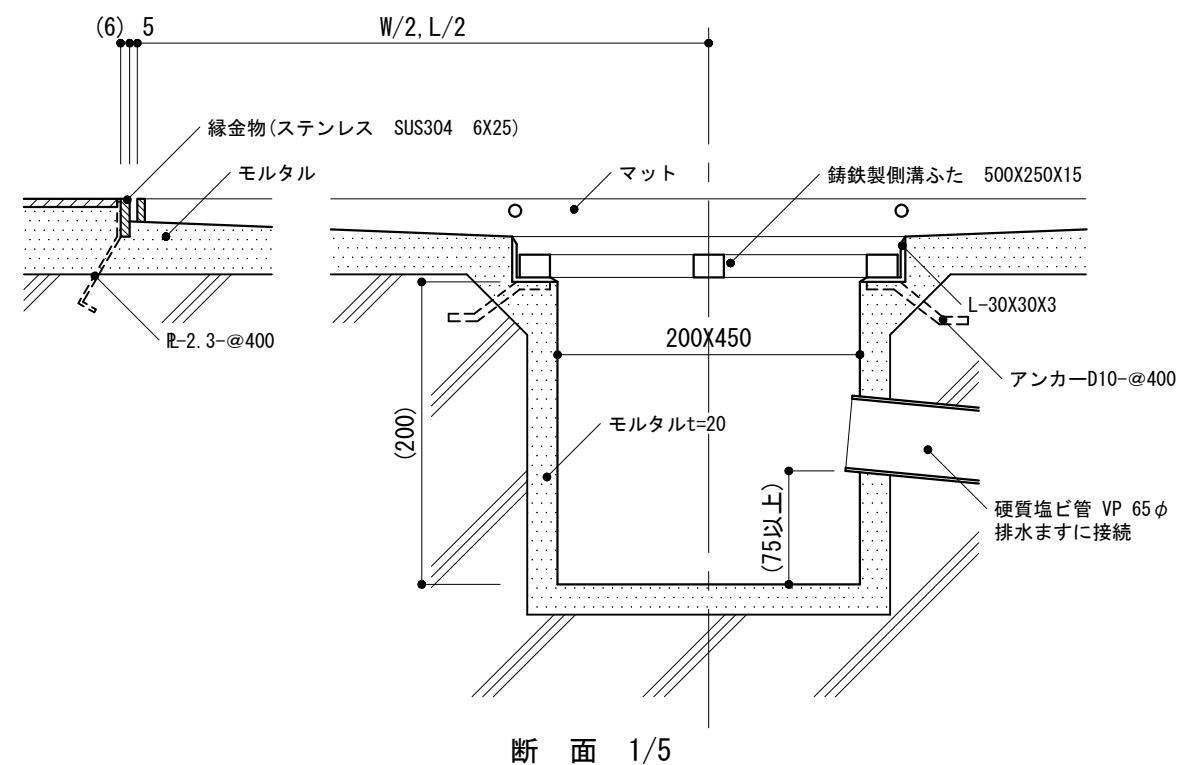
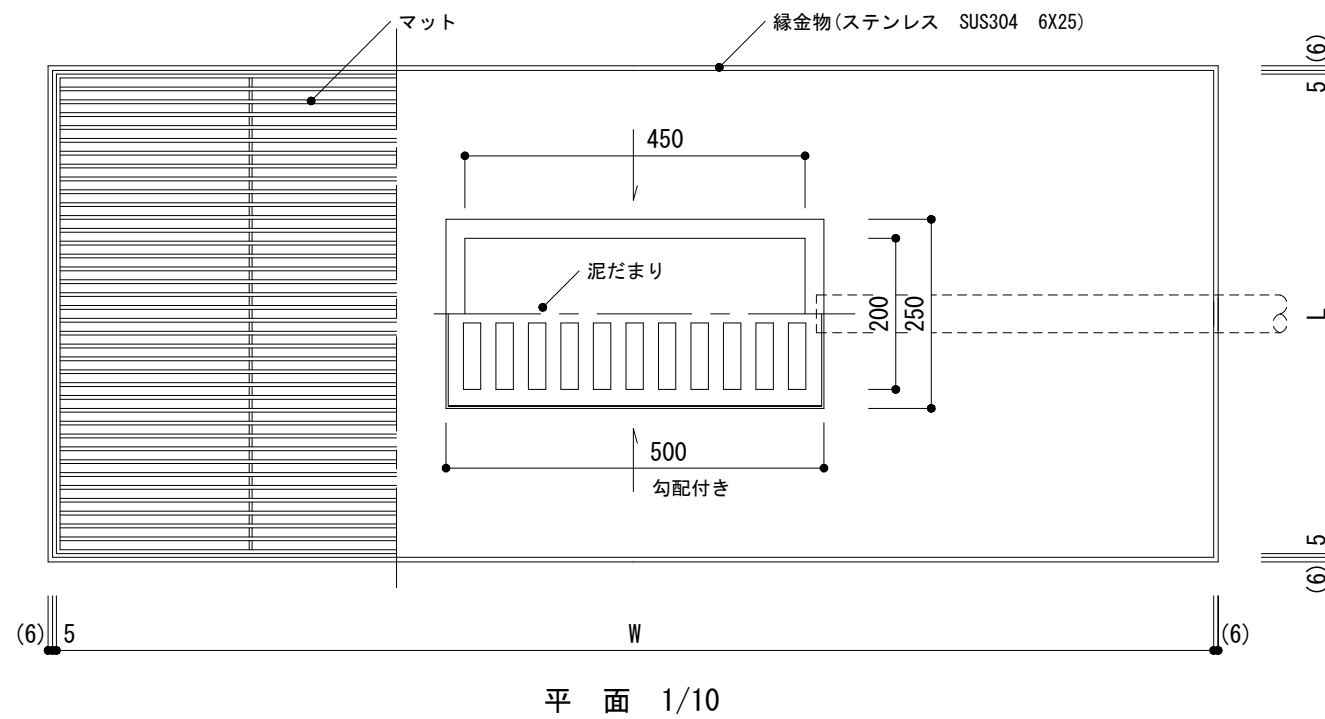
-1 くつふきマット(屋内用)



-2 くつふきマット(排水付き)



-3 くつふきマット(泥だまり, 排水付き)



仕様

- 1) 側溝のふた及び枠は、溶融亜鉛めっきとする。
- 2) -1, -2は塩化ビニル製、塩化ゴム製などの既製品とし、-3はステンレス製などの既製品とする。

特記事項

- 1) W, L, L1
- 2) マットの材質、高さ(厚さ)
- 3) 溶融亜鉛めっきの種類

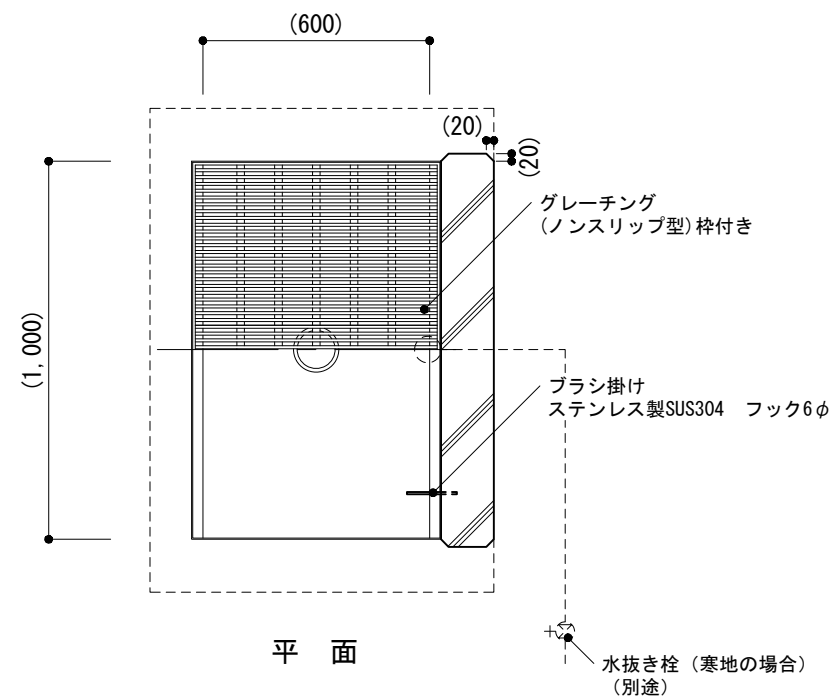
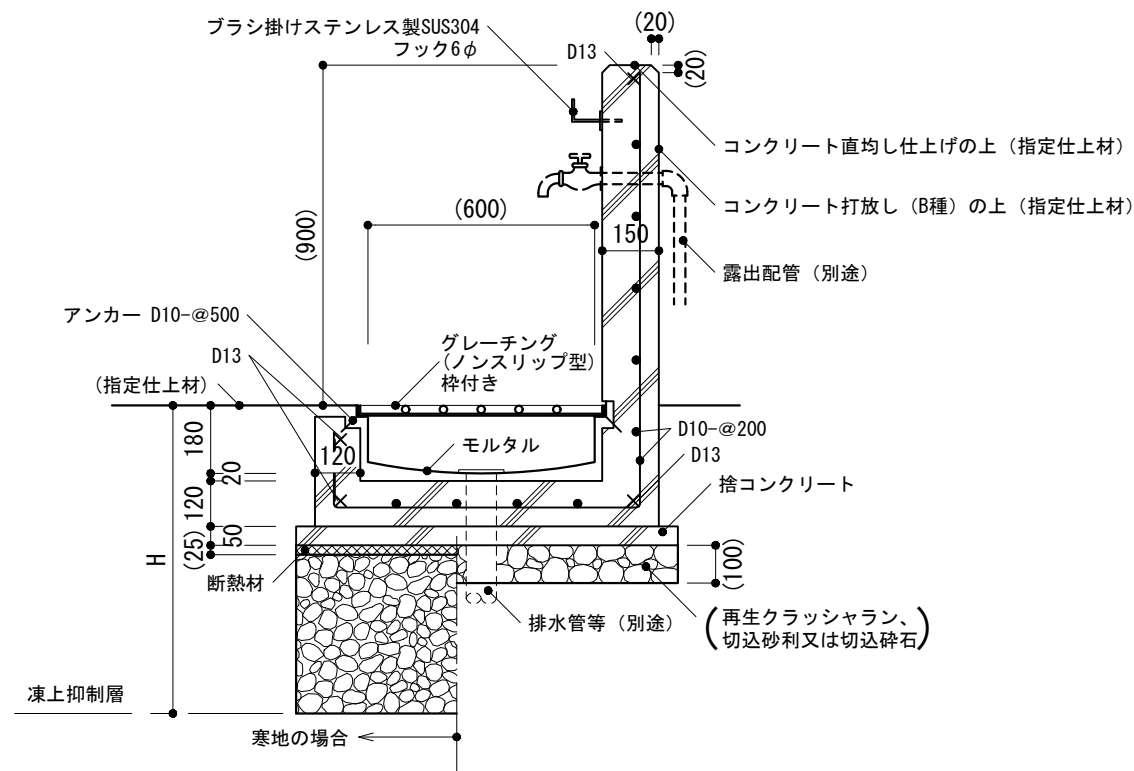
図面名称 くつふきマット

縮尺 1/5, 1/10

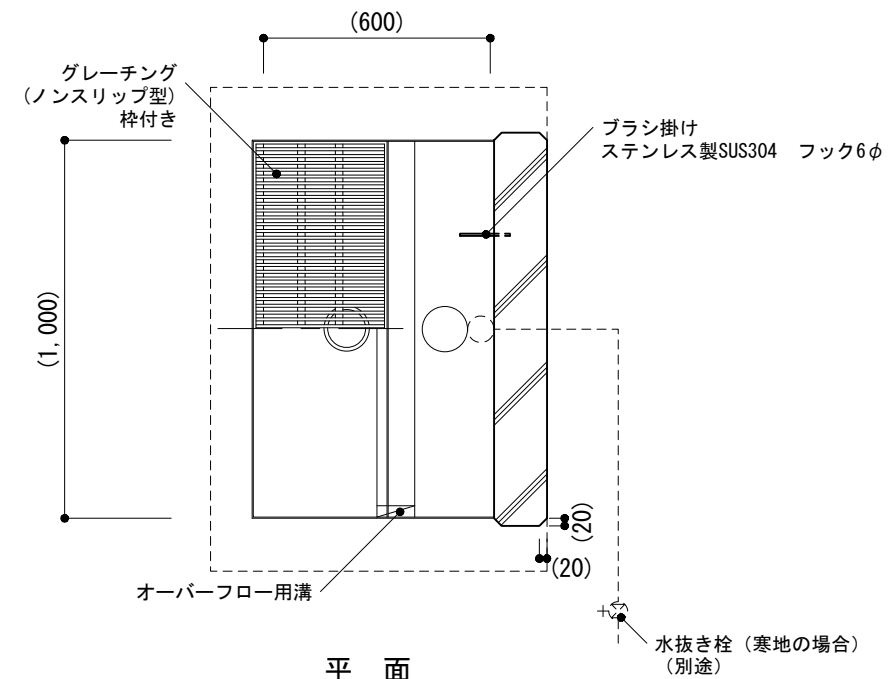
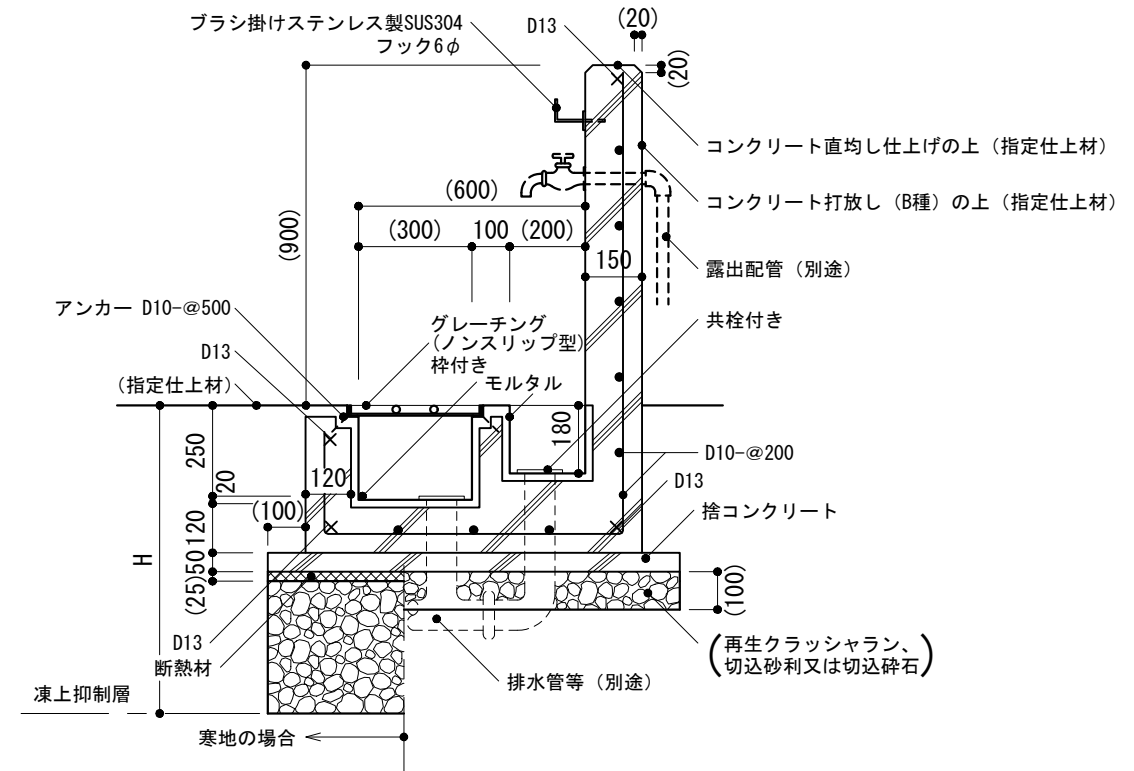
建築工事標準詳細図 令和4年版

8-21

-1 くつ洗い流し

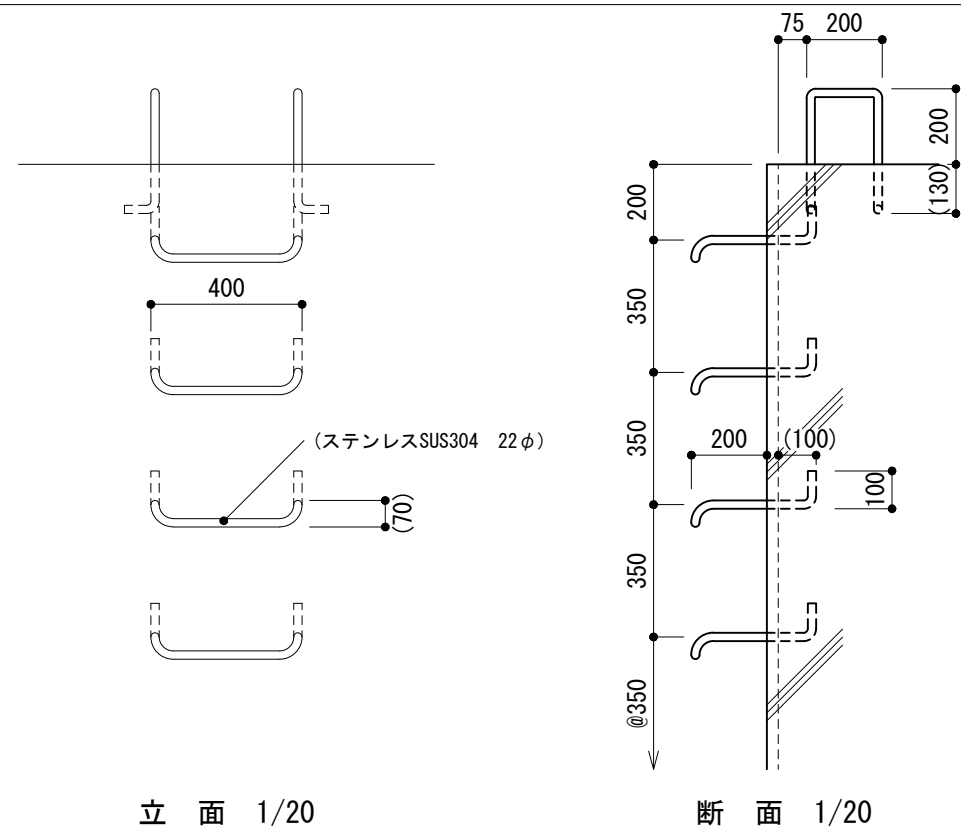


-2 くつ洗い流し



仕様	特記事項	図面名称	くつ洗い流し
	1) コンクリート打放しの種別 2) 寒地の場合のH, 地業及び断熱材の種別 3) グレーチングの種別 4) 指定仕上材の種類	縮尺	1/20
		建築工事標準詳細図 令和4年版	8-22

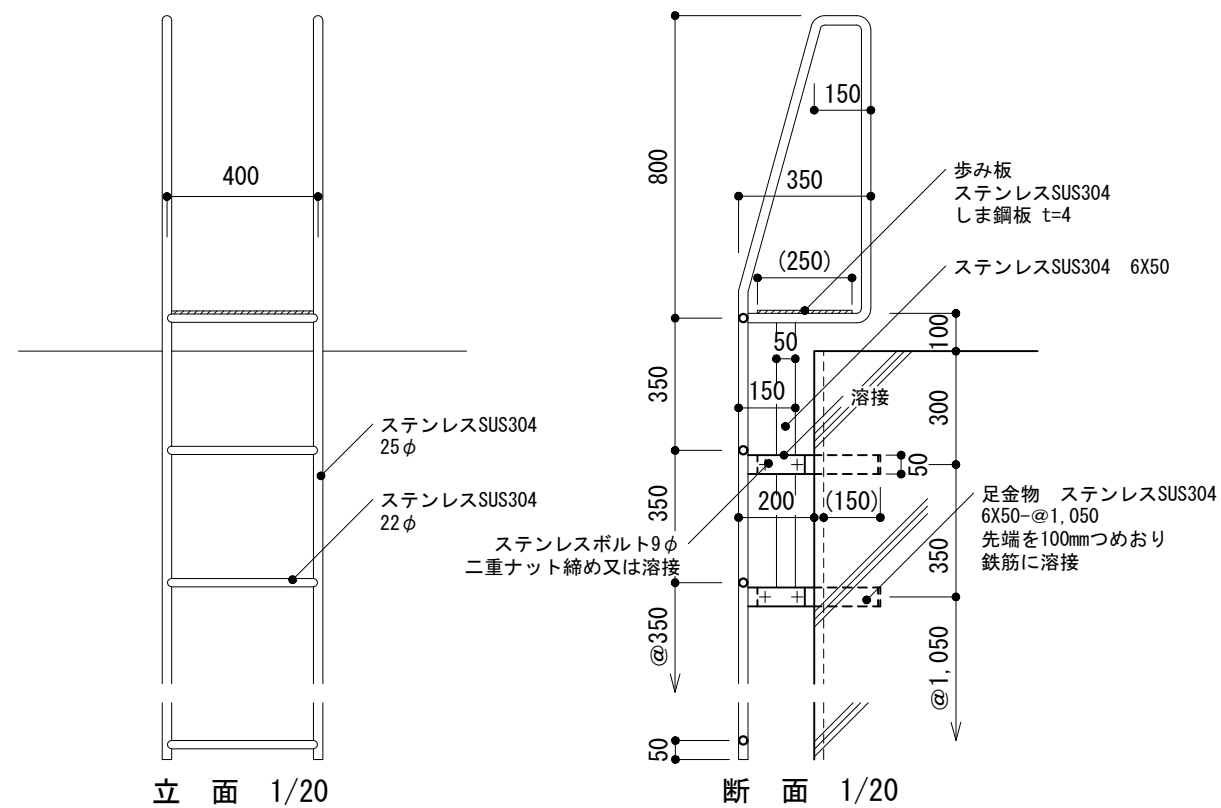
-1 タラップ(ステンレス製)



立面 1/20

断面 1/20

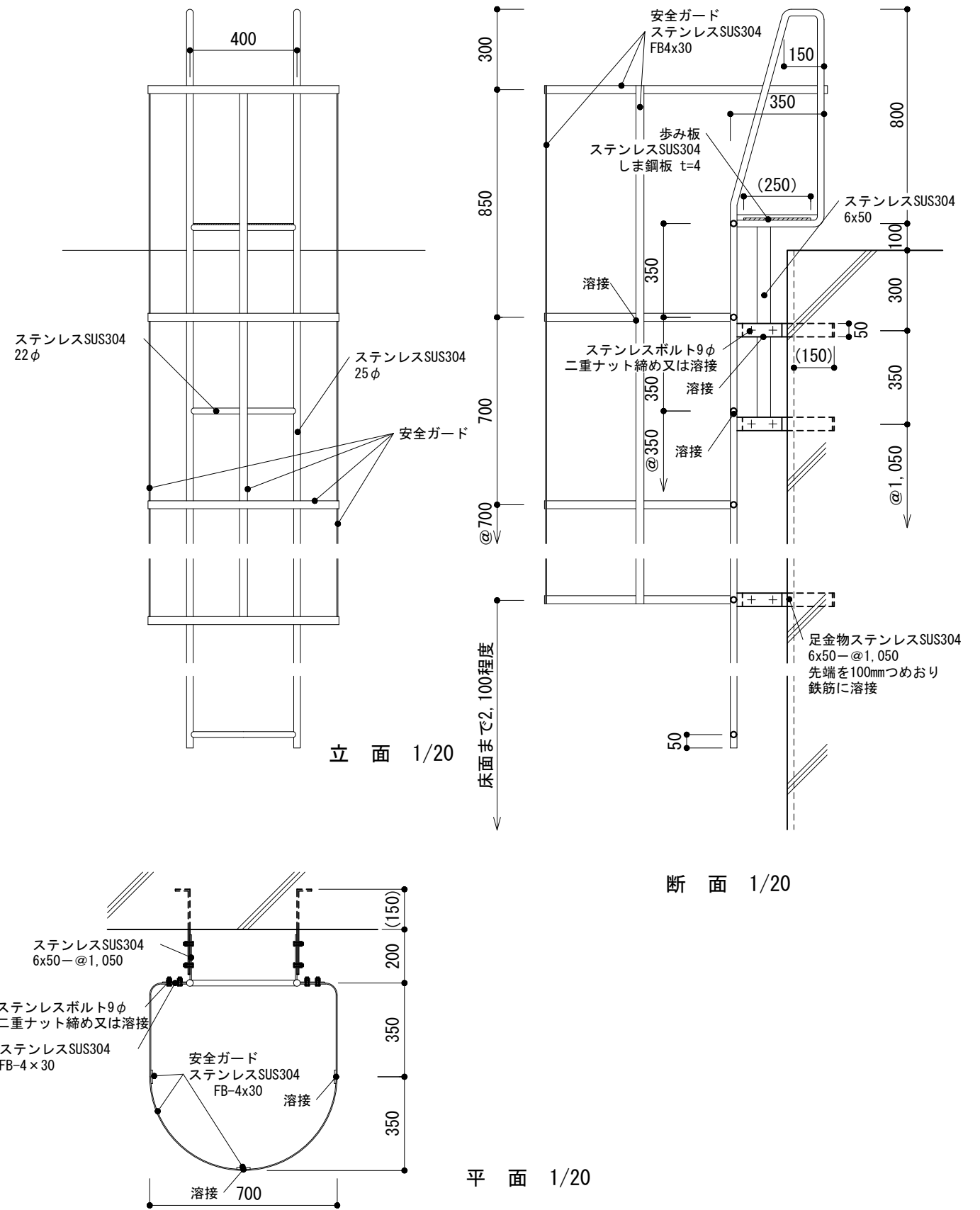
-2 タラップ(ステンレス製)



立面 1/20

断面 1/20

-3 タラップ(ステンレス製, 安全ガード付)



立面 1/20

断面 1/20

平面 1/20

仕様

- 1) 屋内及びRFなどのタラップの最下段の踏子は、床面から800mm程度とする。
- 2) RFを除く屋外のタラップの最下段の踏子は、GLより2,000mm程度とする。
- 3) タラップは原則として先づけ工法とする。
- 4) タラップのパラペット取合金物は、工場加工とし現場溶接としてはならない。
- 5) ステンレス丸鋼と平鋼の取合いは全周すみ肉溶接とする。

特記事項

- 1) 踏子の数
- 2) 打込み金物廻りのシーリング材の有無及び種別

図面名称

雑金物:タラップ

縮尺

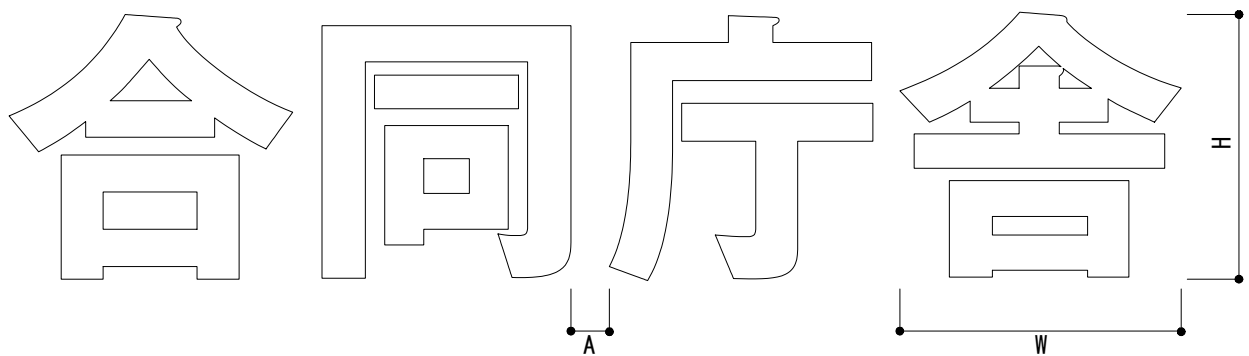
1/20

建築工事標準詳細図 令和4年版

8-31

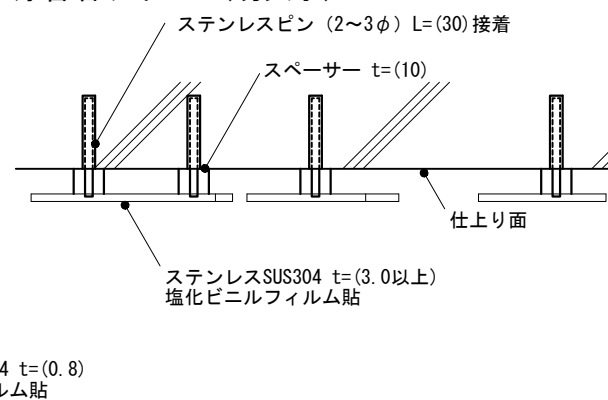
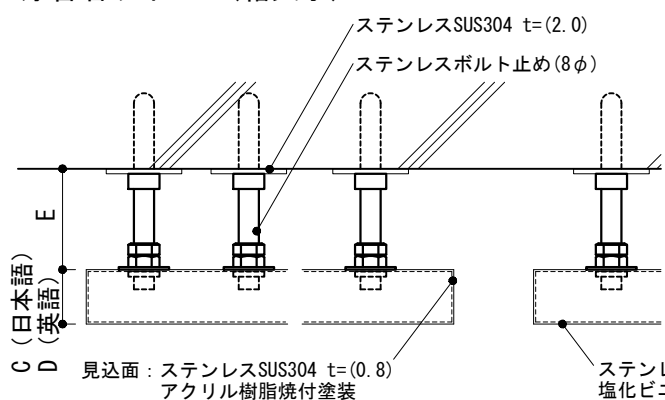
-1 庁舎名サイン(壁付)

<日本語>の場合



庁舎名サインA (箱文字)

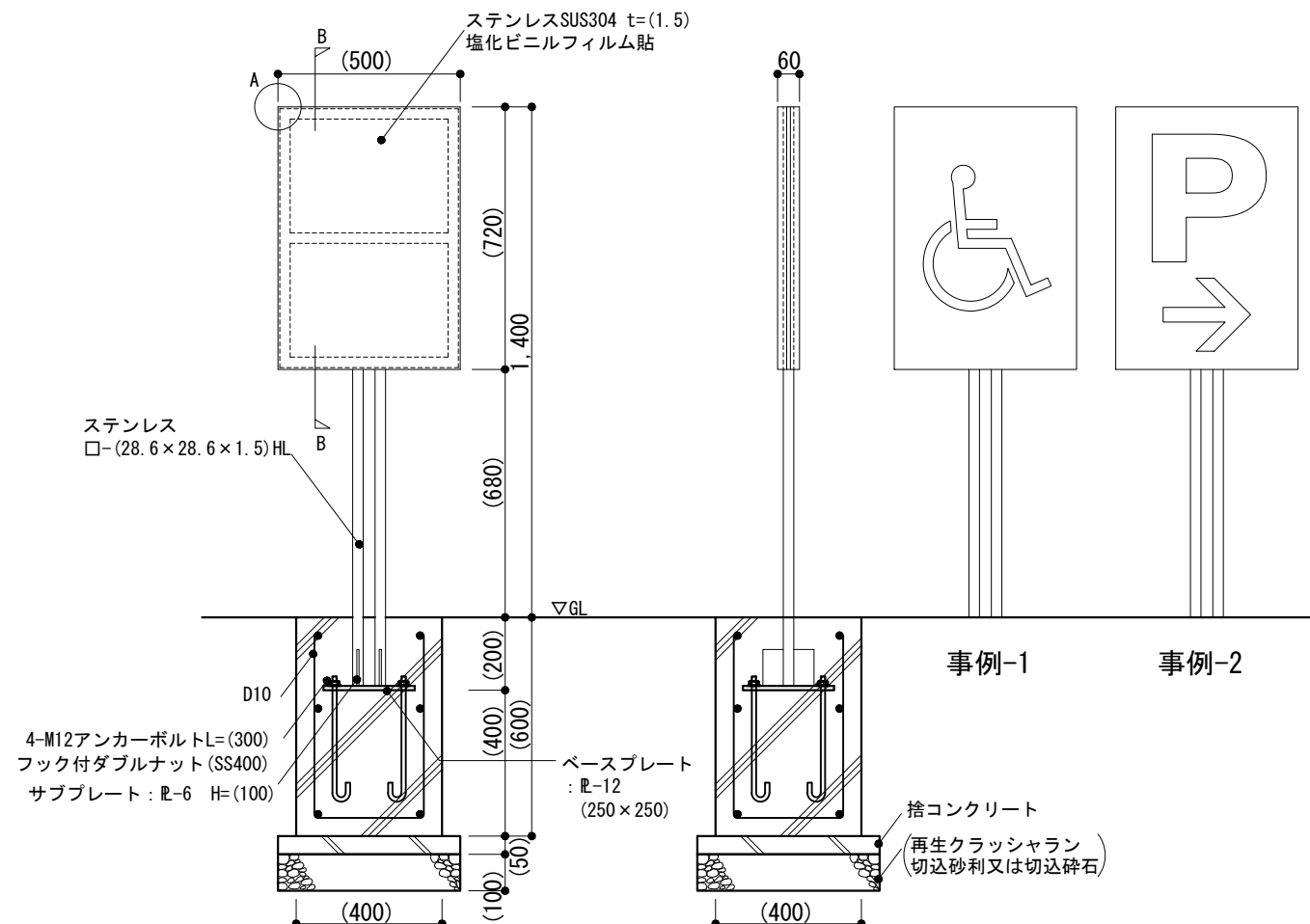
庁舎名サインB (切文字)



取付け詳細 1/3

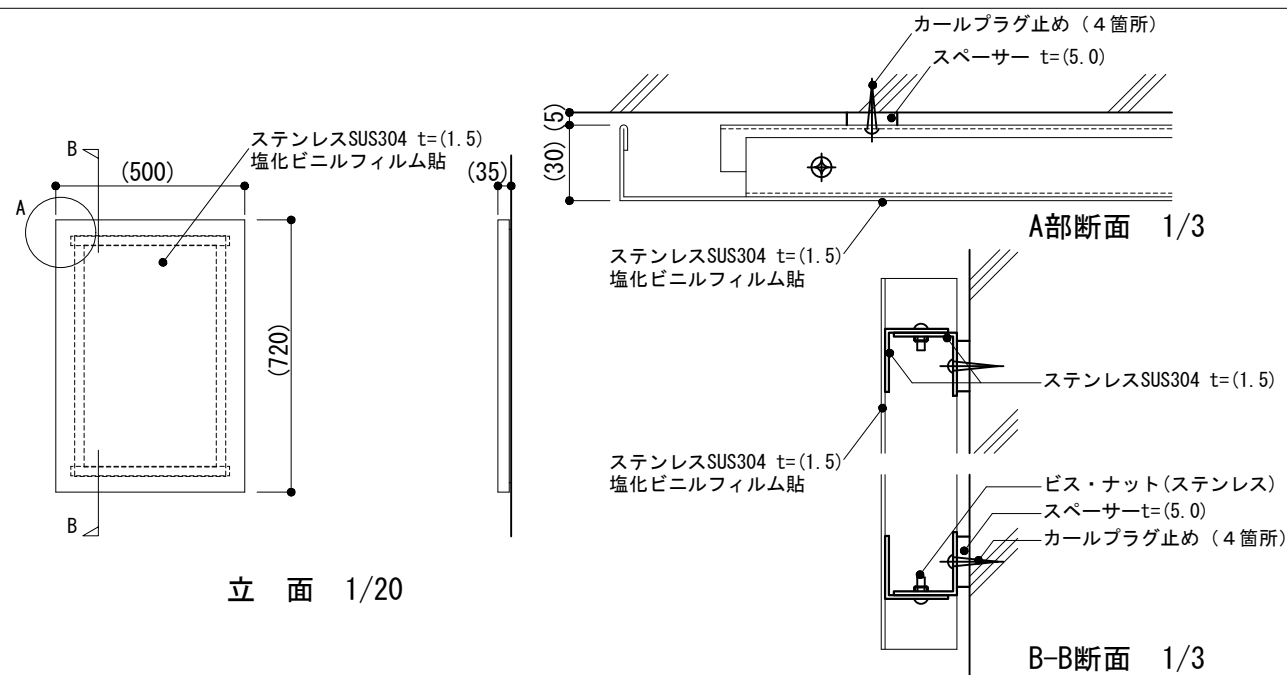
取付け詳細 1/3

-2 誘導サイン(独立支柱型)



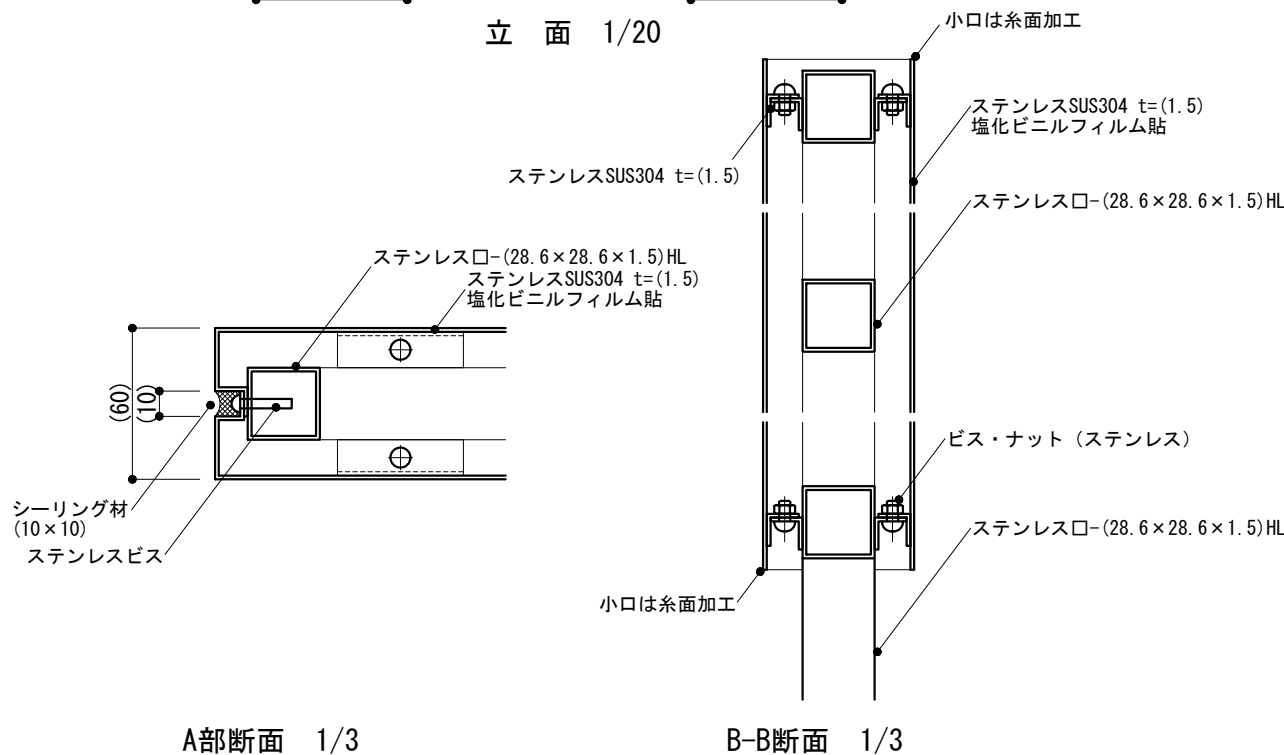
立面 1/20

-3 誘導サイン(壁付型)



立面 1/20

B-B断面 1/3

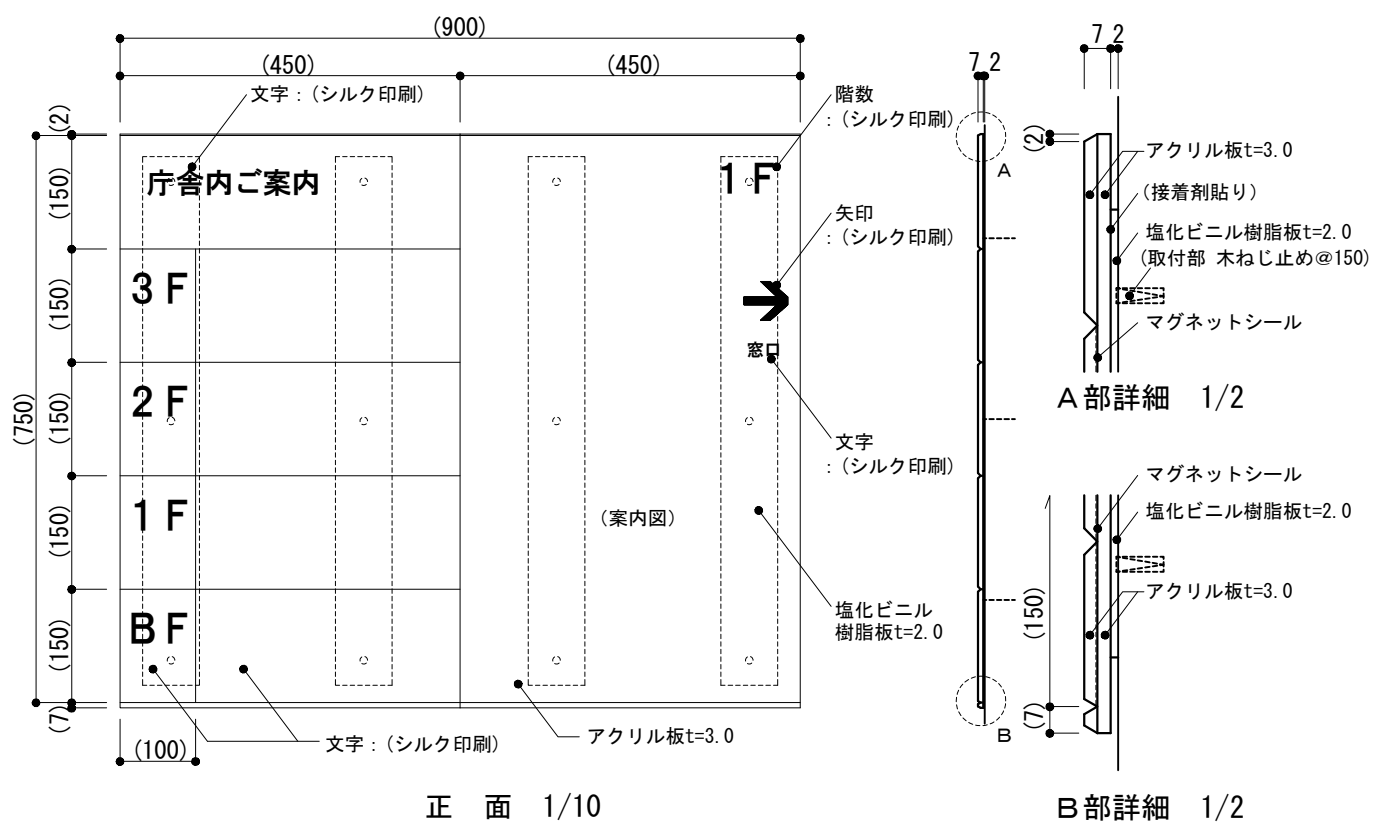


A部断面 1/3

B-B断面 1/3

仕様	特記事項	図面名称	サイン: 庁舎名サイン(壁付) 誘導サイン(独立支柱型・壁付型)	
	1) -1のW, H, A 寸法 2) -1のC, D, E 寸法 3) -1の切文字のステンレス鋼板の厚さ 4) -2のサインの種類, 色 5) 打込み金物廻りのシーリング材の有無及び種別		縮尺	1/3, 1/20
			建築工事標準詳細図 令和4年版	8-41

-1 総合案内板

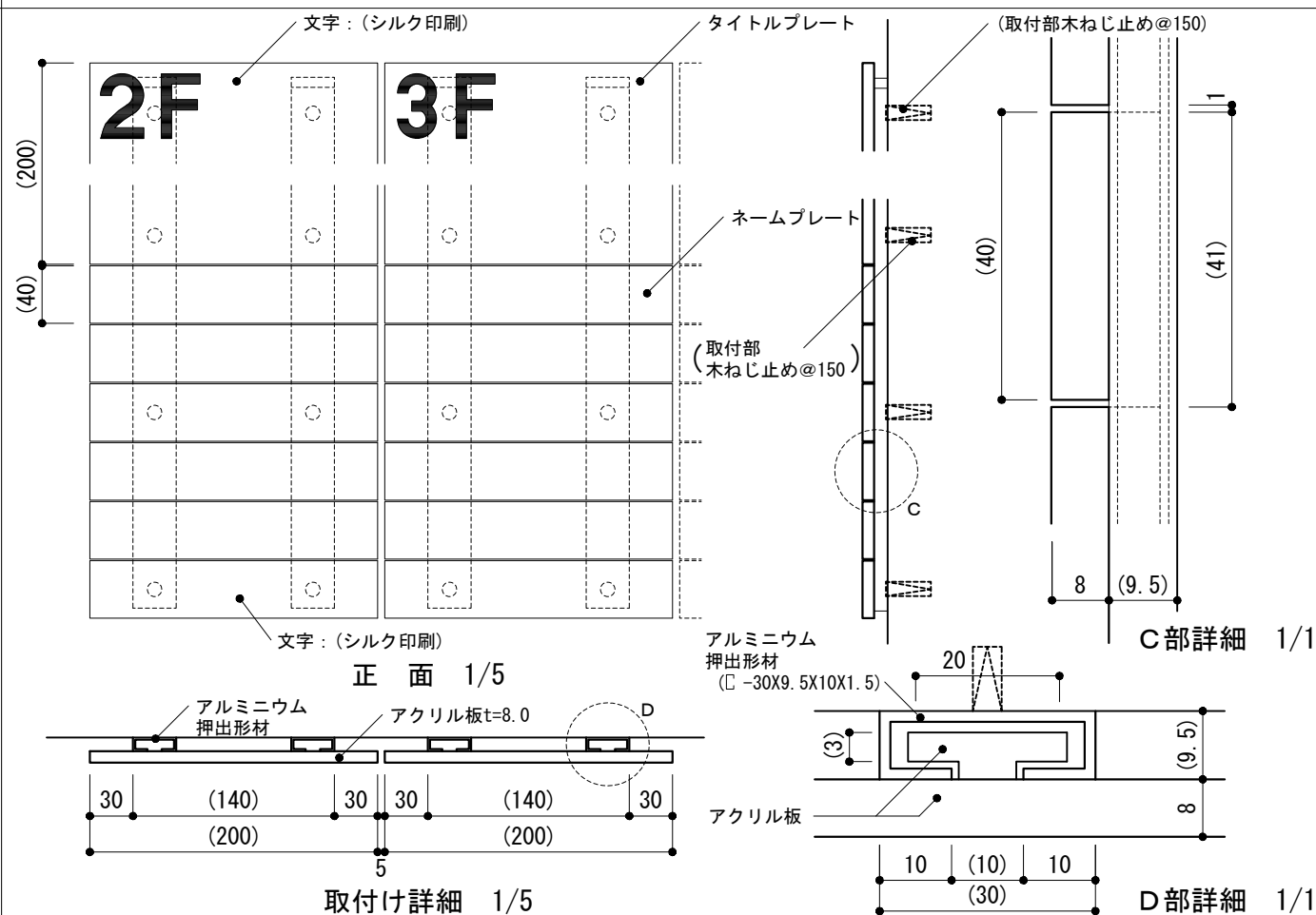


正面 1/10

A部詳細 1/2

B部詳細 1/2

-2 案内板(案内図なし)



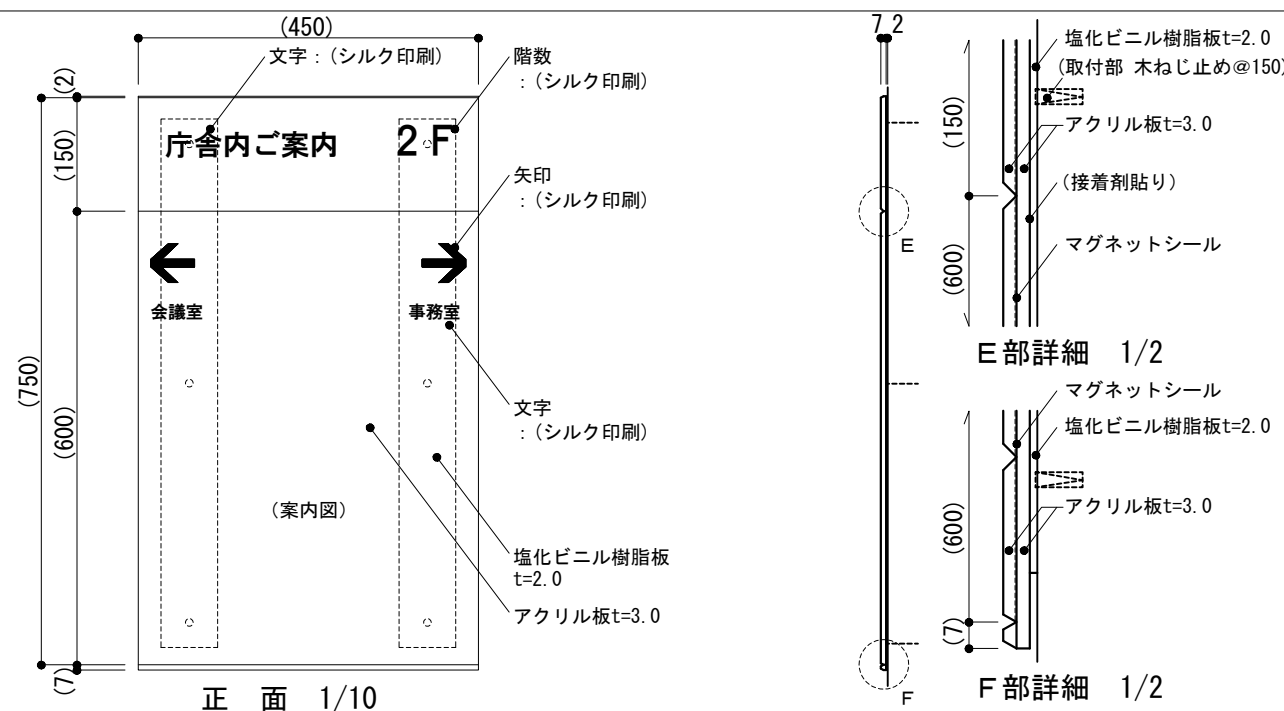
正面 1/5

取付け詳細 1/5

C部詳細 1/1

D部詳細 1/1

-3 案内板(案内図あり)



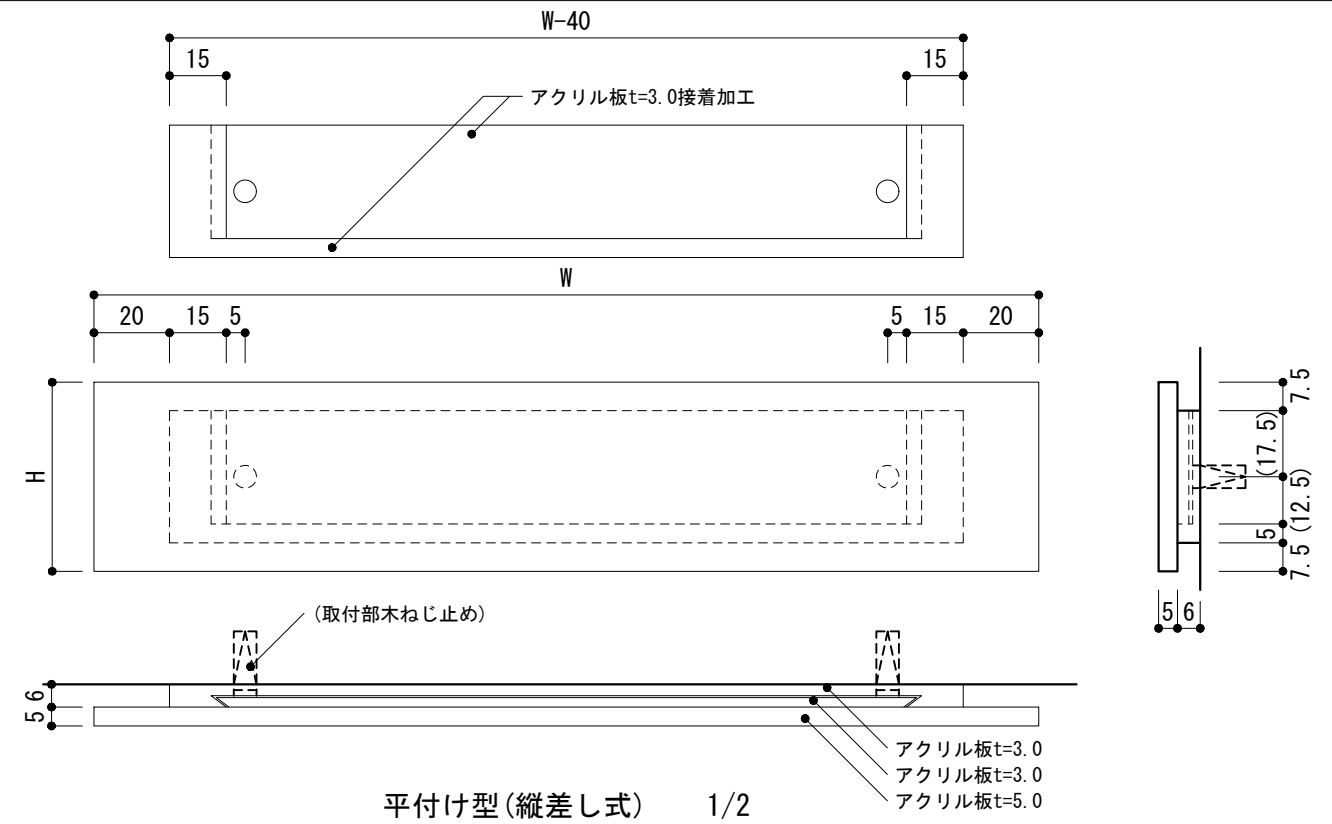
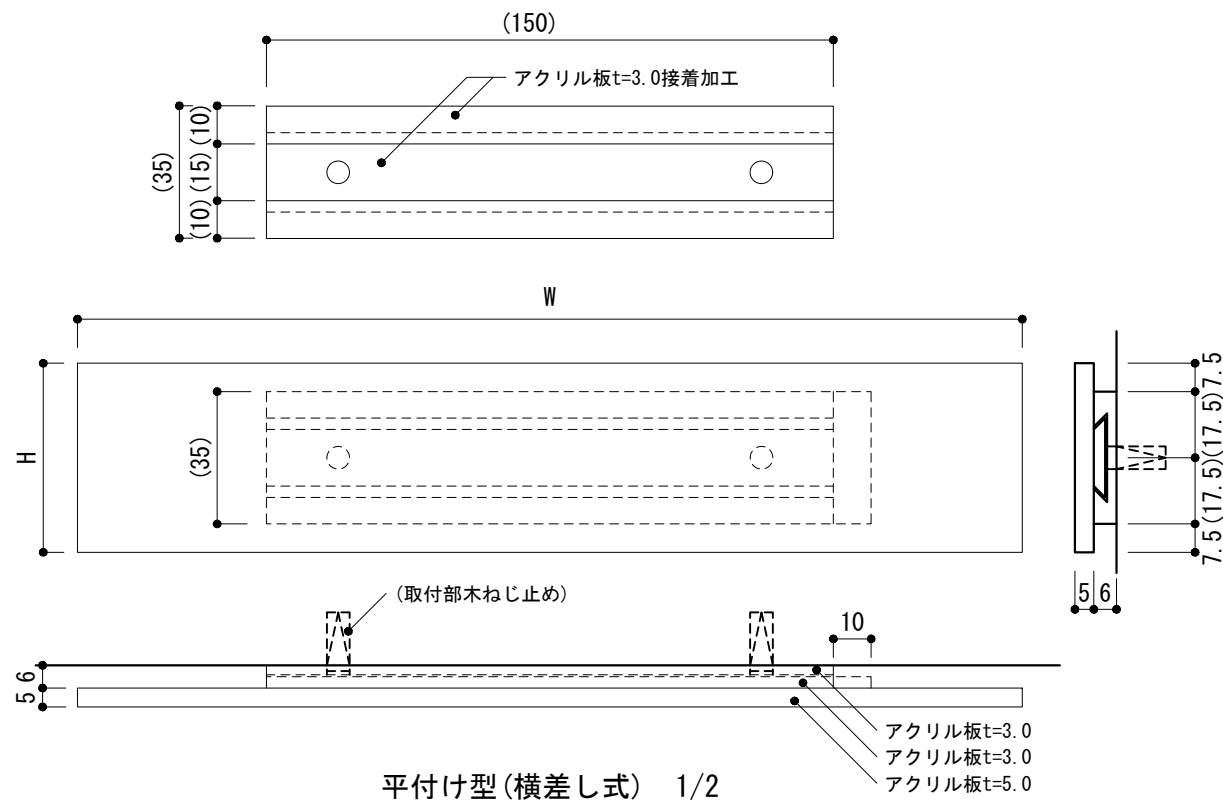
正面 1/10

E部詳細 1/2

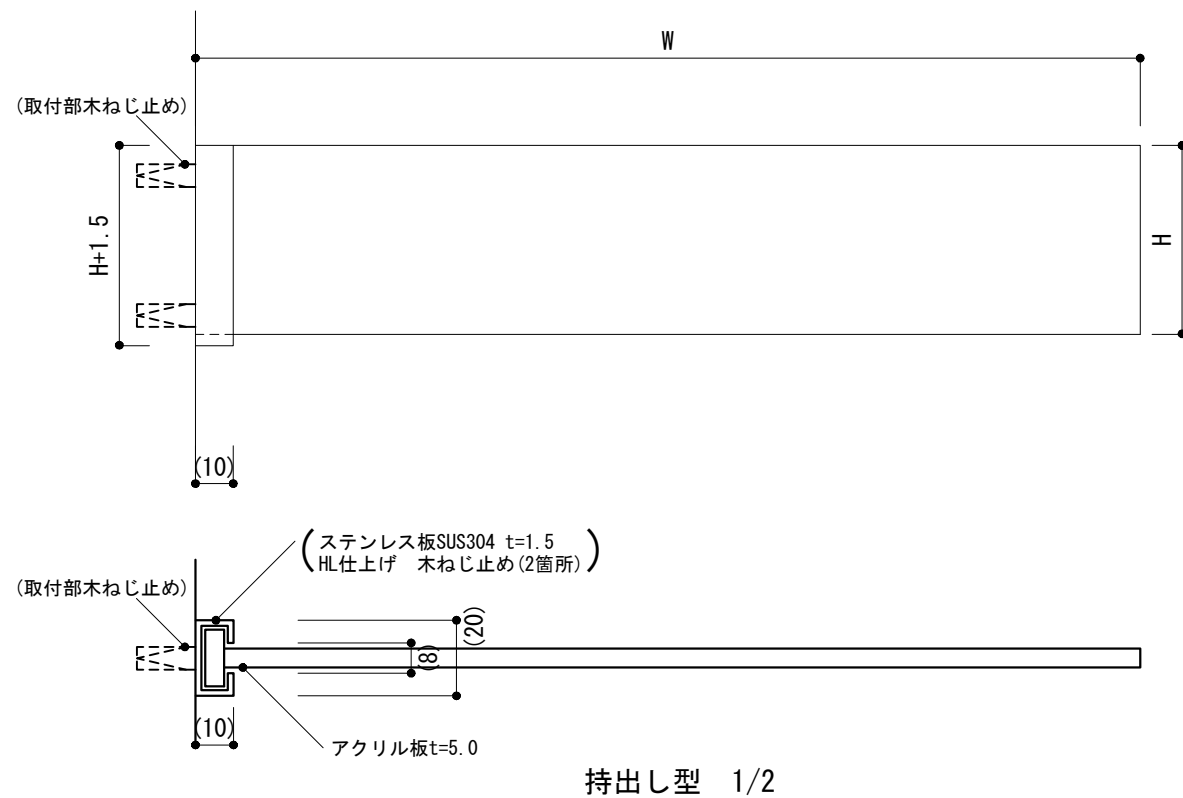
F部詳細 1/2

<p>仕様</p> <p>1) 取付下地及び案内板の重量により、適切なアンカー形式を採用する。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 文字の書体及び割り付け 2) アクリル板、文字及び図の色 3) 印刷等の種別 4) -1~-3の取付け方法</p>	<p>図面名称 サイン:総合案内板</p>		
		<p>縮尺</p>	<p>1/1,1/2 1/5,1/10</p>	<p>8-42</p>
		<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p>		

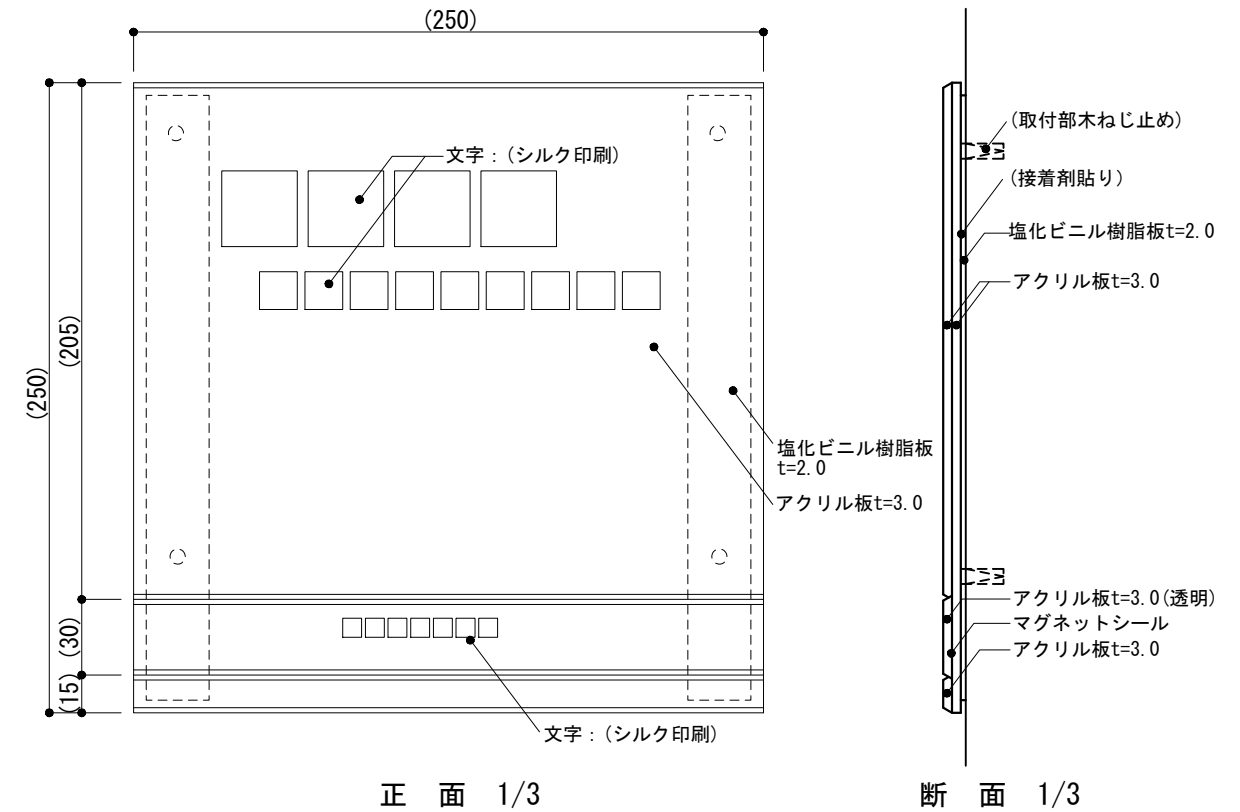
-1 室名札(平付け型)



-2 室名札(持出し型)



-3 室名札(平付け型:正方形)



仕様

- 1) ボード類の壁の場合は、ボード用アンカーで取付ける。
- 2) 持出し型の場合は、先端を少し上げる。(1/20程度)

特記事項

- 1) H, W
- 2) 文字の書体及び割り付け
- 3) アクリル板及び文字の色
- 4) 印刷等の種別
- 5) -1~-3の取付け方法
- 6) -1~-3の固定ピン付の場合

図面名称

サイン:室名札

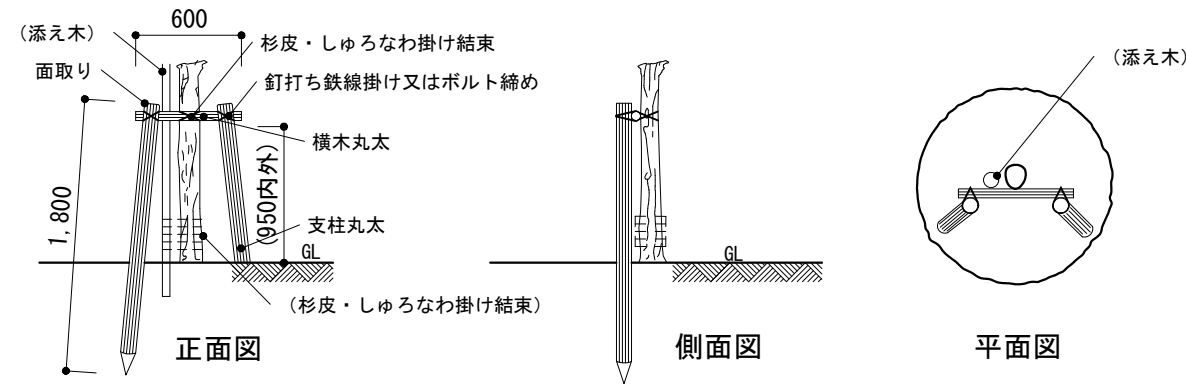
縮尺

1/2,1/3

建築工事標準詳細図 令和4年版

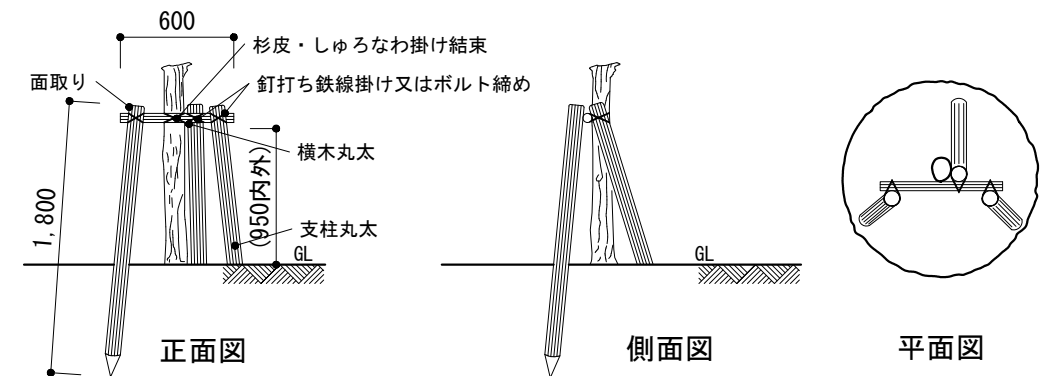
8-43

-1 二脚鳥居形(幹周10~39cm)

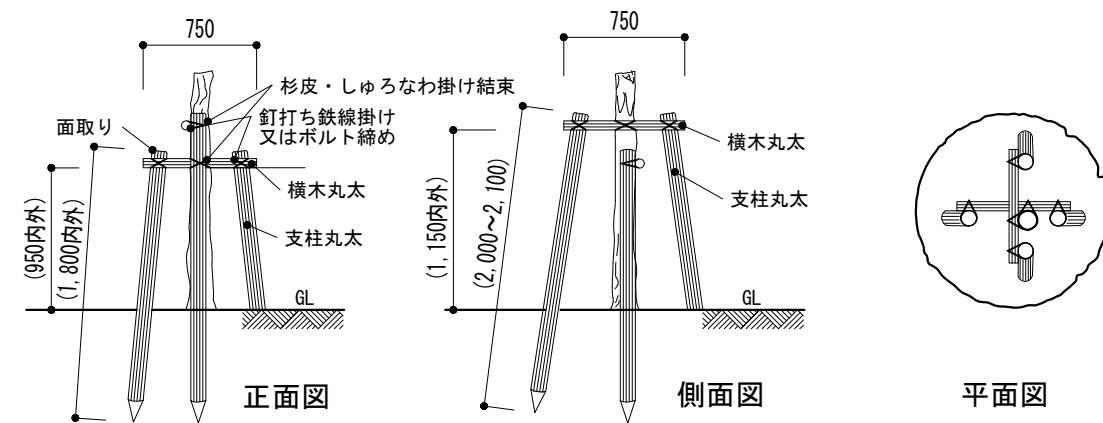


※ 幹周が10cm~20cmの場合は添え木付き
 幹周が20cm~29cmの場合は、樹木によって添え木の有無を判断する
 幹周が29cm~39cmの場合は添え木なし

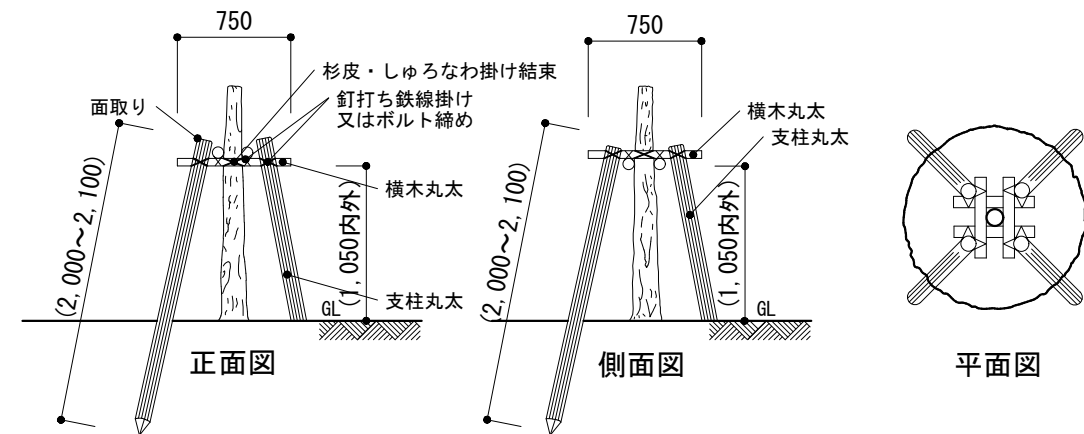
-2 三脚鳥居形(幹周30~49cm)



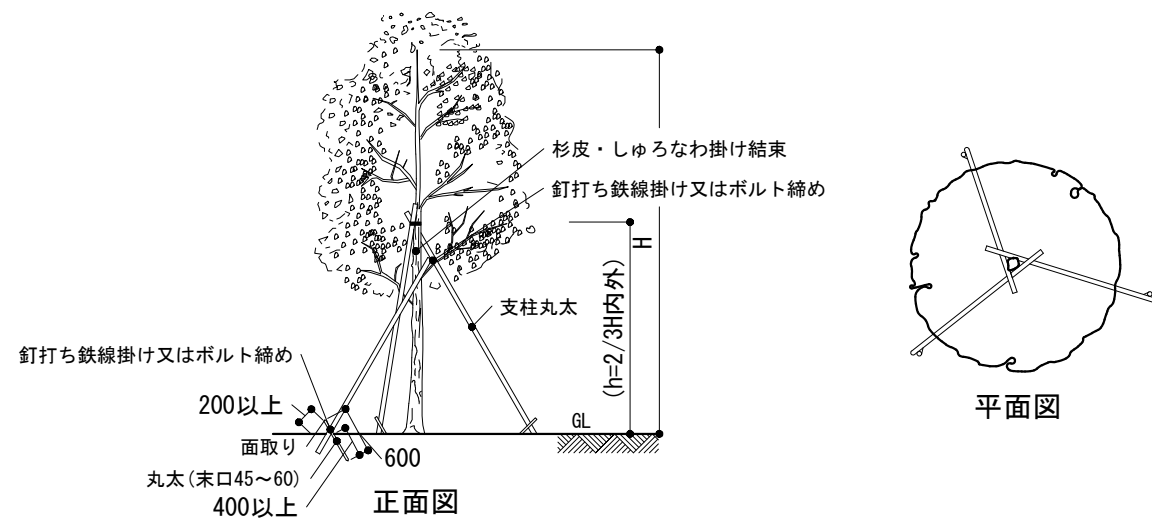
-3 十字鳥居形(幹周30~69cm)



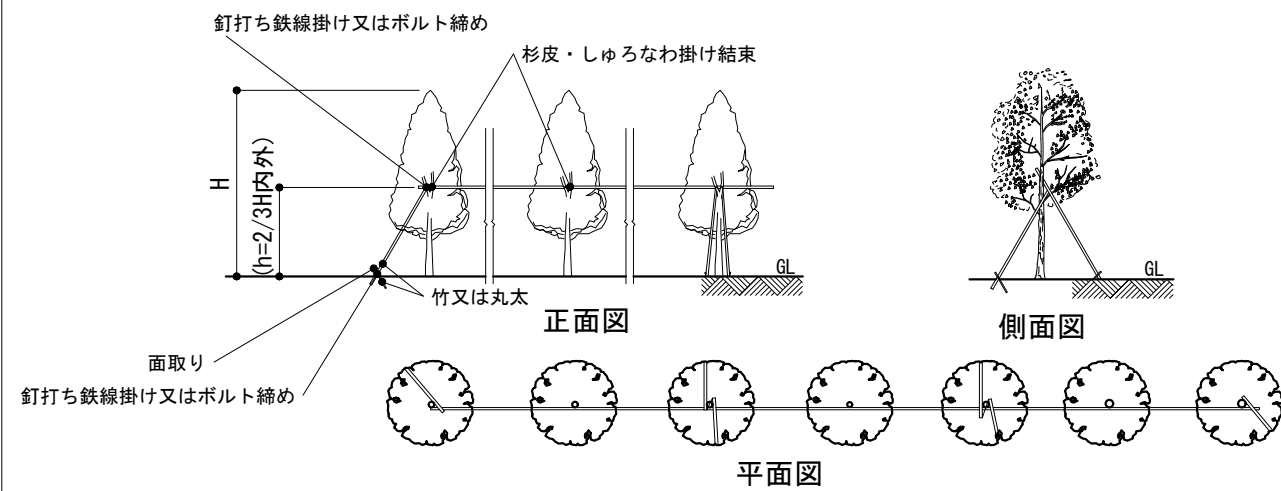
-4 二脚鳥居組合せ形(幹周50~89cm)



-5 ハッ掛け形(幹周10~119cm)



-6 布掛け形(幹周10~49cm)



仕様

1) 支柱などの材料は、公共標仕(建)23.3.2(3)による。

特記事項

- 1) -1の添え木の有無
- 2) -1~6の支柱同士の接合方法(釘打ち鉄線掛け又はボルト締め)
- 3) -5, -6のH
- 4) -6の支柱材料

図面名称

植栽 : 支柱形式

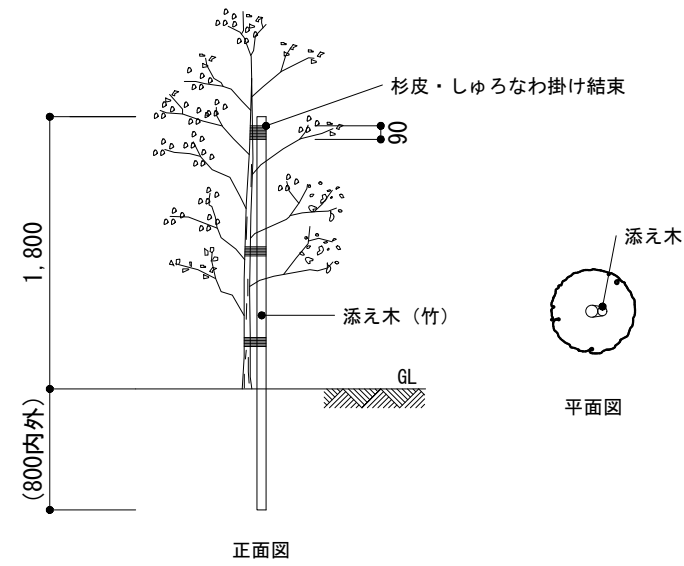
縮尺

—

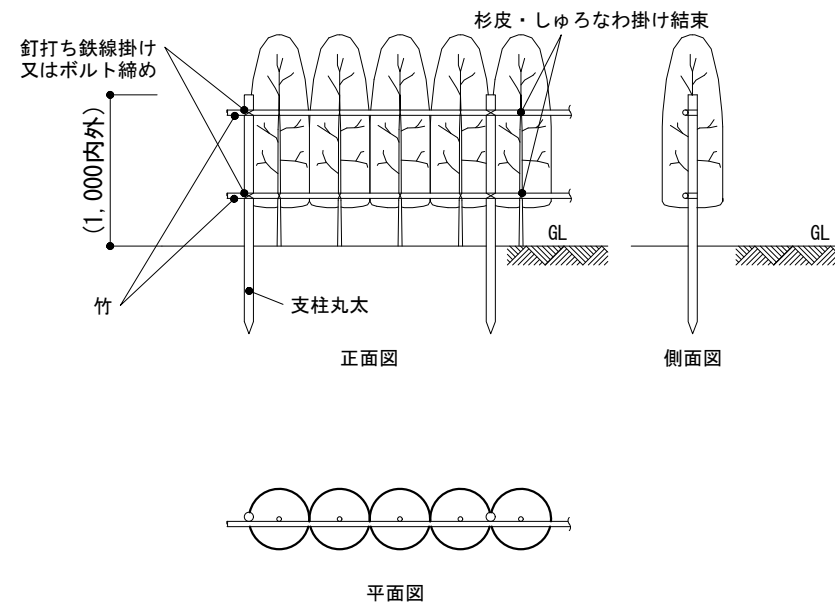
建築工事標準詳細図 令和4年版

9-01

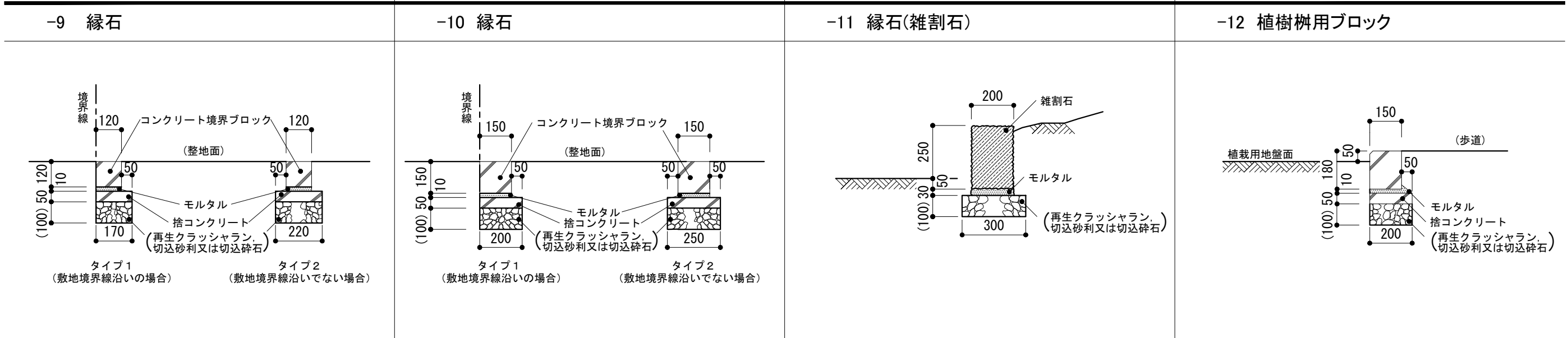
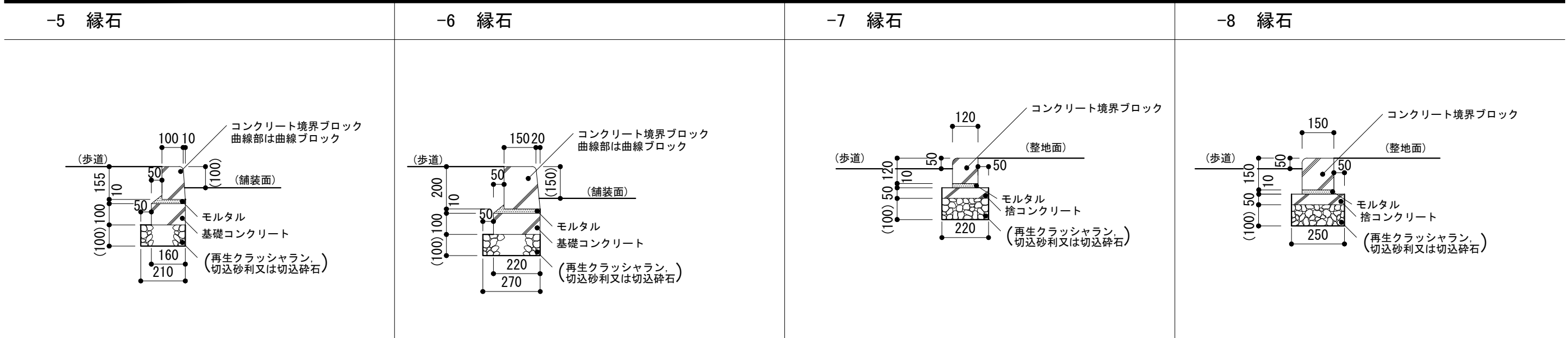
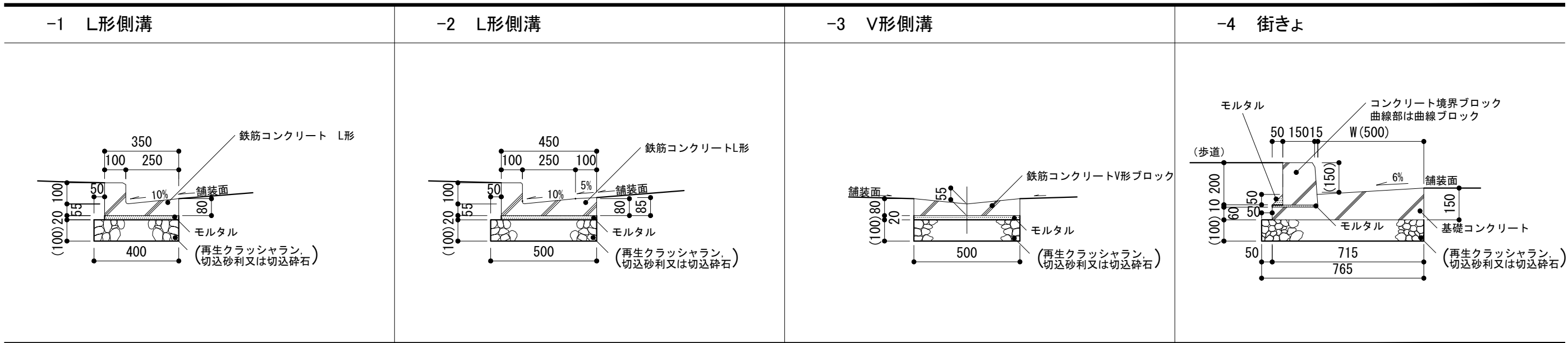
-1 添え柱形(幹周10~14cm)



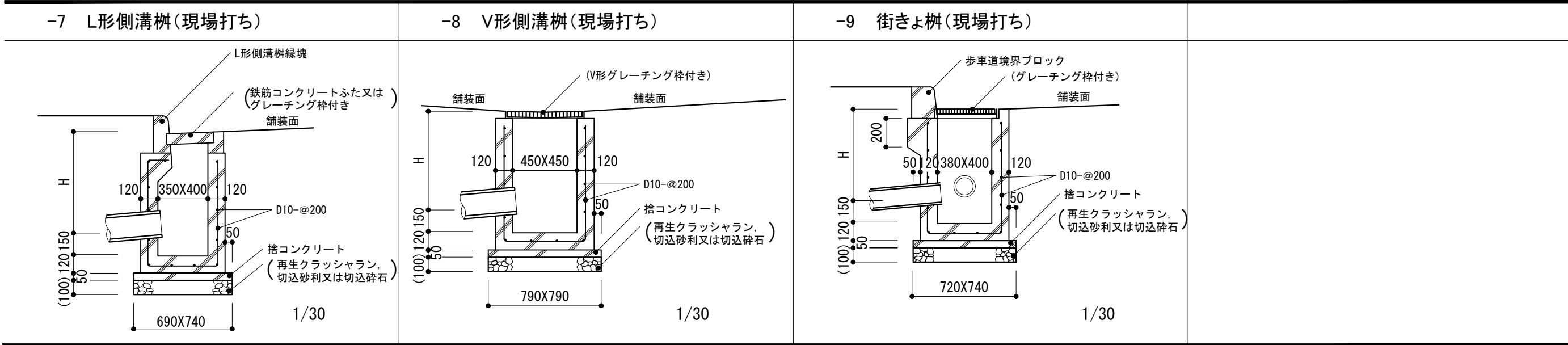
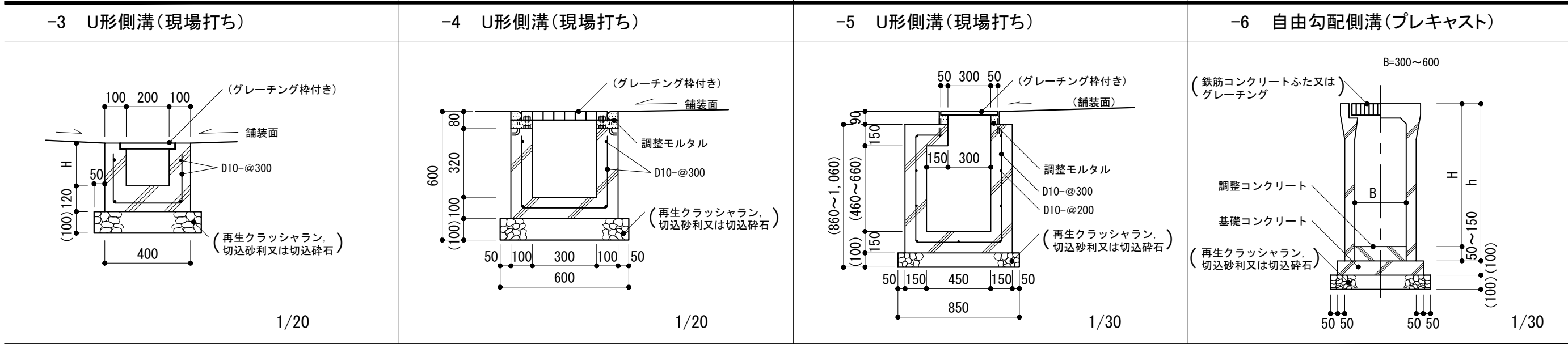
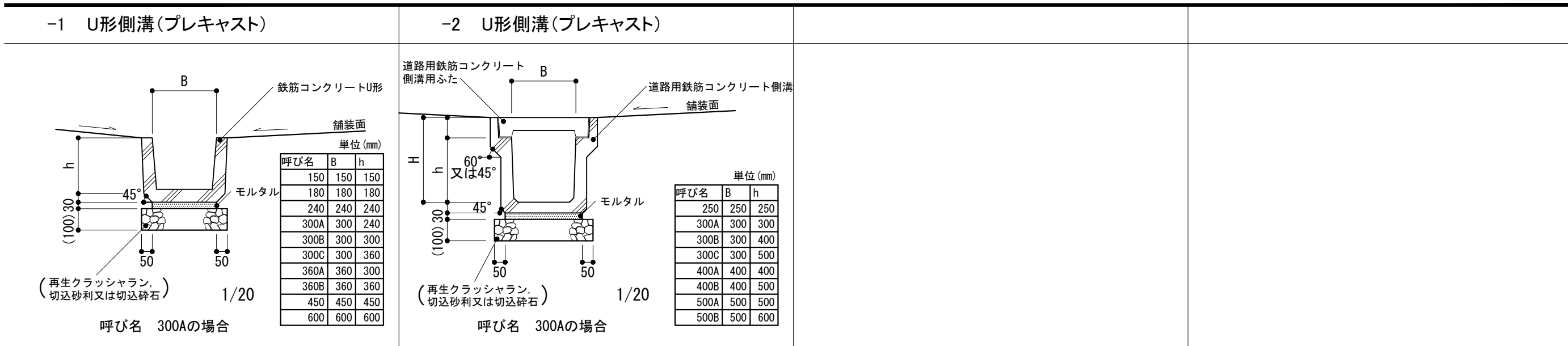
-2 生垣



仕様 1) 支柱などの材料は、公共標仕(建)23.3.2(3)による。	特記事項 1) -2の支柱同士の接合方法 (釘打ち鉄線掛け又はボルト締め)	図面名称 植栽 : 支柱形式	
		縮尺	—
		建築工事標準詳細図 令和4年版	9-02

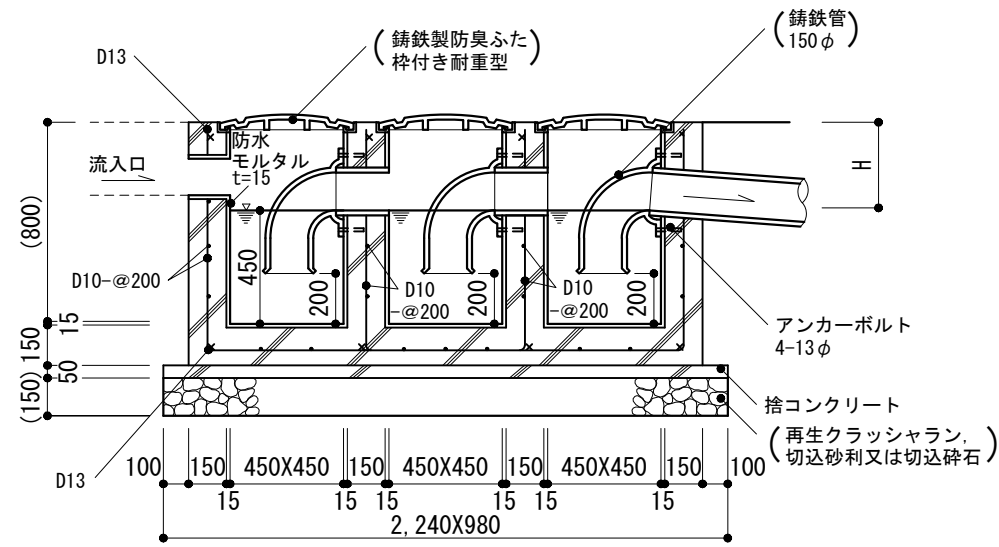


<p>仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。 2) コンクリート縁石及び側溝は、公共標仕(建)21.3.1による。 	<p>特記事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) -11の石材の種別 2) 曲線ブロックの使用の有無 		<table border="1"> <tr> <td>図面名称</td> <td colspan="2">側溝, 街きよ, 縁石</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>1/20</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; font-weight: bold;">9-11</td> </tr> <tr> <td colspan="2">建築工事標準詳細図 令和4年版</td> </tr> </table>	図面名称	側溝, 街きよ, 縁石		縮尺	1/20	9-11	建築工事標準詳細図 令和4年版	
図面名称	側溝, 街きよ, 縁石										
縮尺	1/20	9-11									
建築工事標準詳細図 令和4年版											

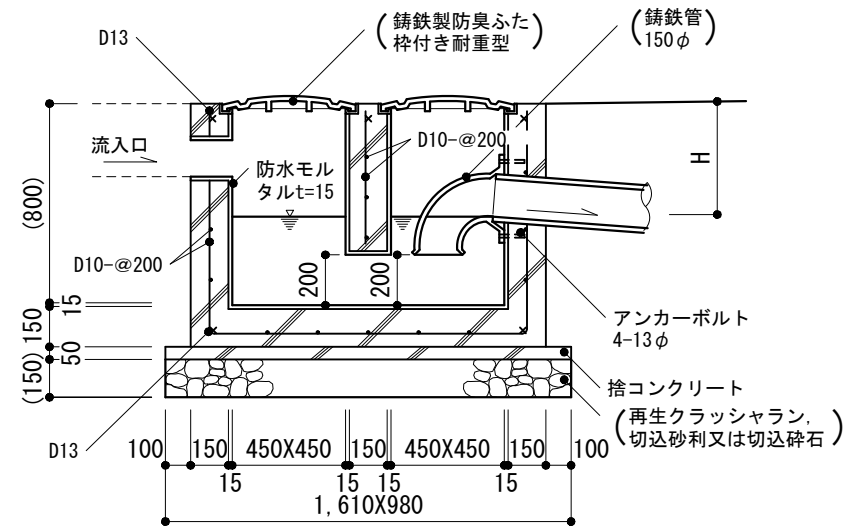


<p>仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> 鉄筋は、公共標仕(建)表5.2.1による。 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。 -1, -2のU形側溝及びふたは、JIS A 5372による。 -3~-5は10m程度の間隔に伸縮目地を設ける。 	<p>特記事項</p> <ol style="list-style-type: none"> -1, -2のU形側溝の呼び名及び種別 -3, -6~-9の各寸法 -7のL形側溝樹縁塊の種別 -9の歩車道境界ブロックの種別 -1の鉄筋コンクリートU形ふたの有無及び設ける場合の種別 -2の道路用鉄筋コンクリート側溝用ふたの種別 -3~-9のふたの種別、ふたがグレーチングの場合はグレーチングの種別 	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>図面名称</td> <td colspan="2">側溝, 側溝樹, 街きょ樹</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td colspan="2">1/20, 1/30</td> </tr> <tr> <td>建築工事標準詳細図 令和4年版</td> <td colspan="2" style="font-size: 2em; font-weight: bold;">9-12</td> </tr> </table>	図面名称	側溝, 側溝樹, 街きょ樹		縮尺	1/20, 1/30		建築工事標準詳細図 令和4年版	9-12	
図面名称	側溝, 側溝樹, 街きょ樹										
縮尺	1/20, 1/30										
建築工事標準詳細図 令和4年版	9-12										

-1 ガソリントラップ柵



-2 ガソリントラップ柵



仕様

- 1) 鉄筋は、公共標仕(建)表5.2.1による。
- 2) 铸铁管は、JIS G 5525による。
- 3) 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。

特記事項

- 1) H
- 2) 排水管の材質

図面名称

ガソリントラップ柵

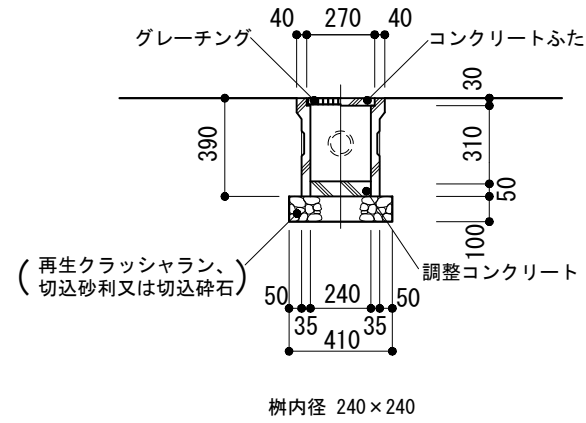
縮尺

1/30

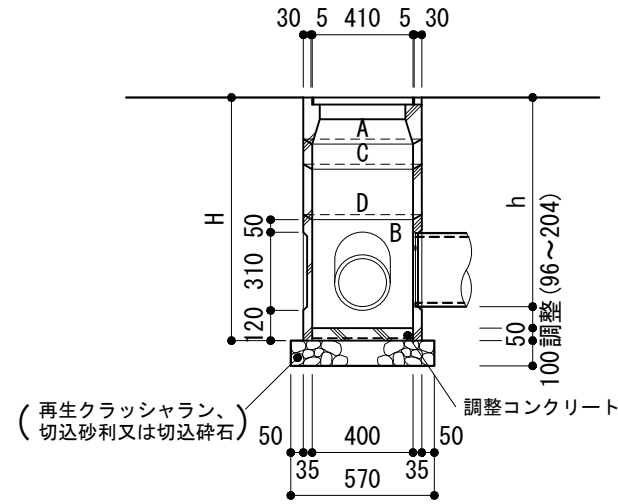
建築工事標準詳細図 令和4年版

9-13

-1 雨水樹

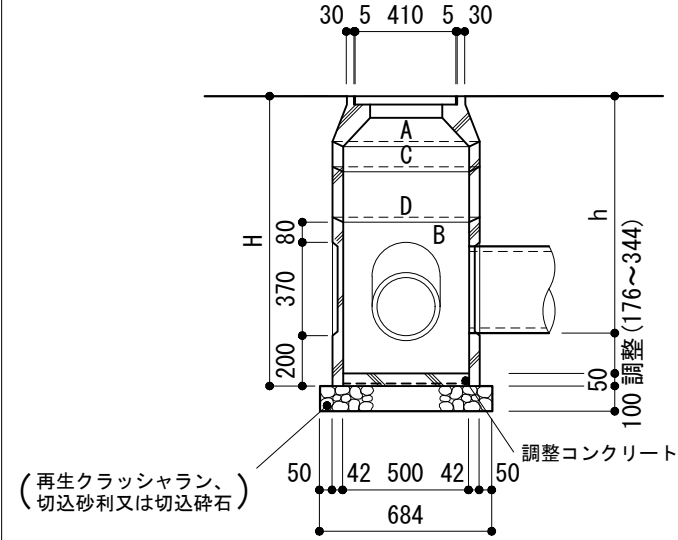


-2 雨水樹



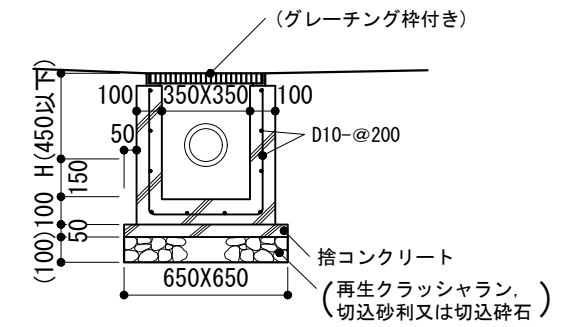
組合せ	H	h
A+B	680	426~534
A+B+C	780	526~634
A+B+D	880	626~734

-3 雨水樹

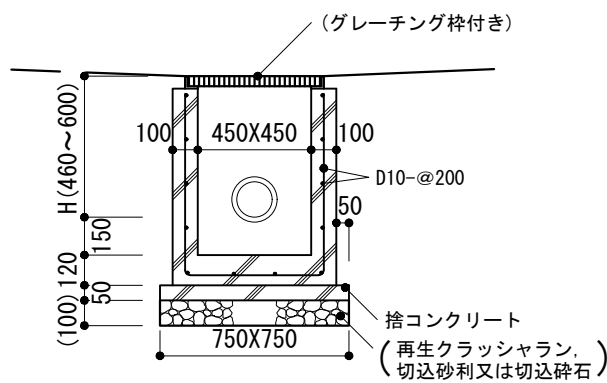


組合せ	H	h
A+B	850	456~624
A+B+C	950	556~724
A+B+D	1,050	656~824
A+B+C+D	1,150	756~924
A+B+2D	1,250	856~1,024

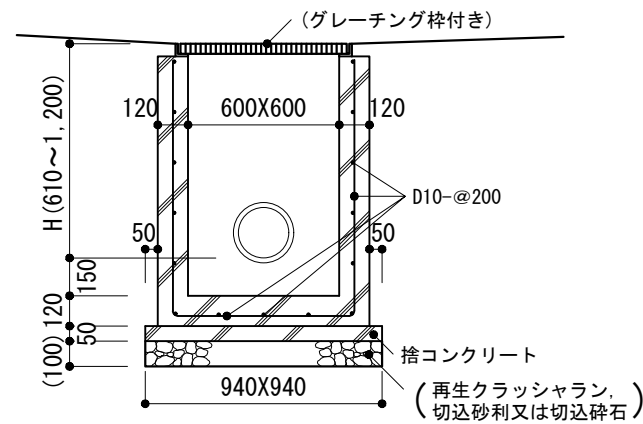
-4 集水樹(現場打ち)



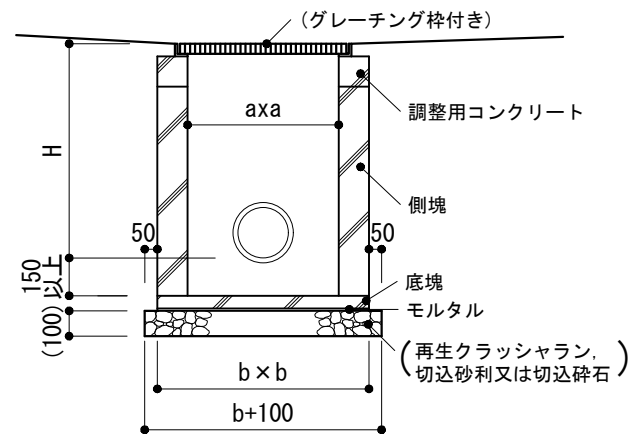
-5 集水樹(現場打ち)



-6 集水樹(現場打ち)



-7 集水樹(プレキャスト)



呼び名	a	b
360 側塊	360	460
450 側塊	450	570
500 側塊	500	620
600 側塊	600	720

仕様

- 2, -3が集水樹の場合、有孔ふたとする。
- 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。

特記事項

- 1のふたの種類及びグレーチングの種類
- 7の寸法の呼び名
- 2, -3のh, H及び樹を集水樹とする場合
- 4~-7のH及びグレーチングの種類

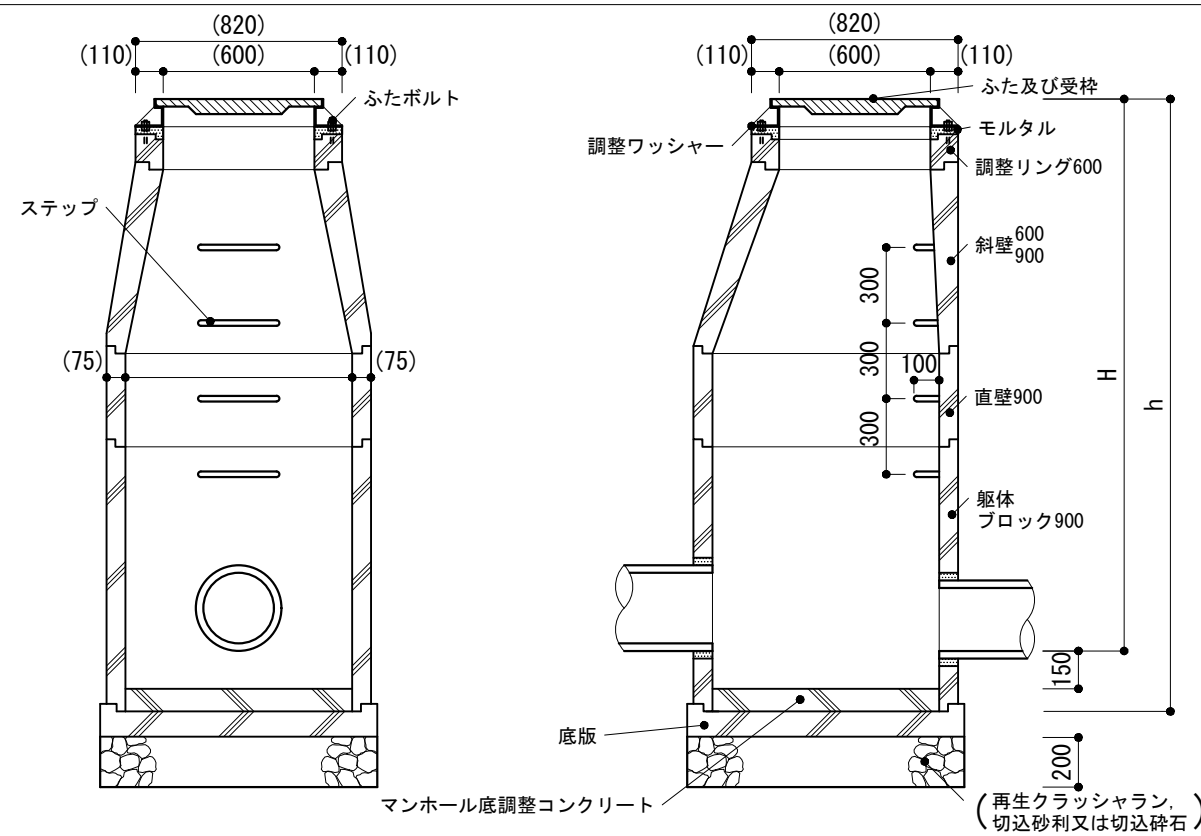
図面名称 雨水樹, 集水樹

縮尺 1/30

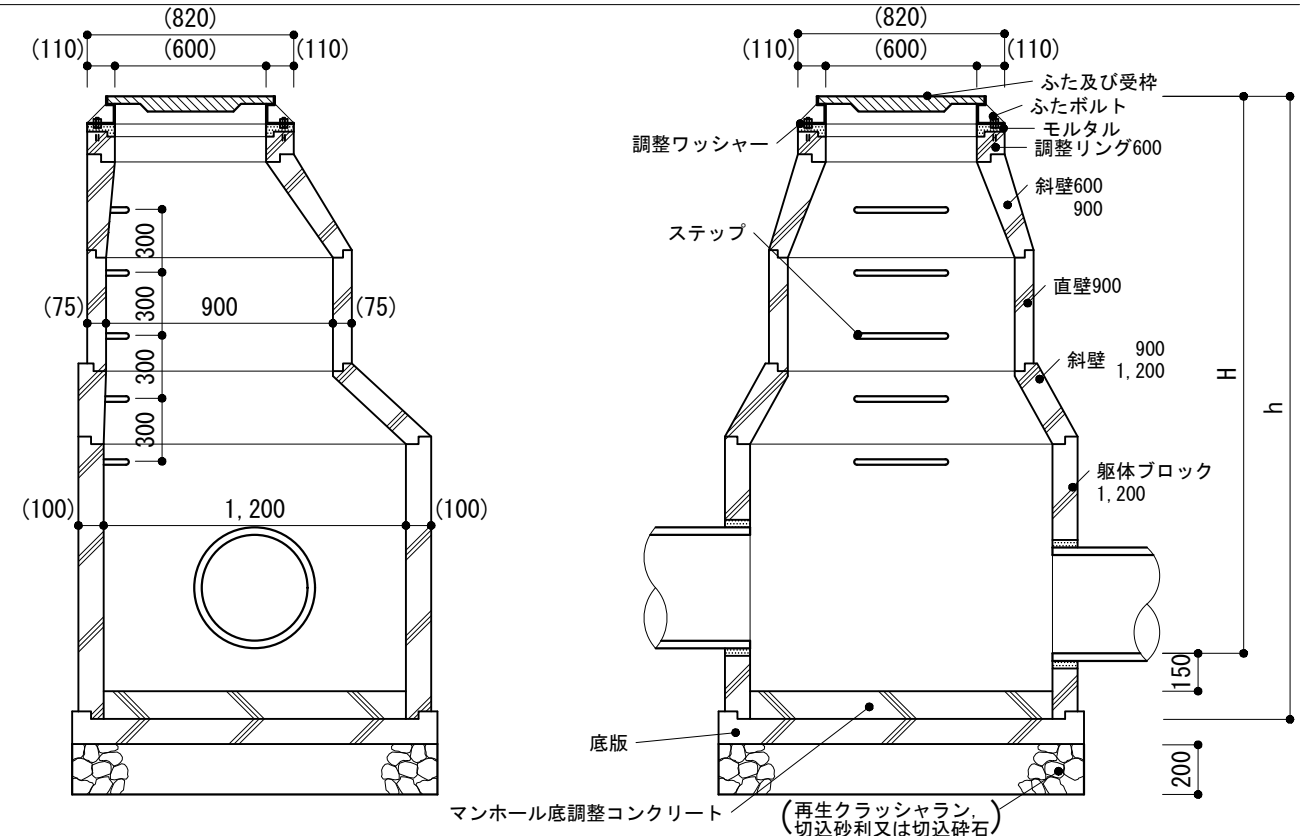
建築工事標準詳細図 令和4年版

9-14

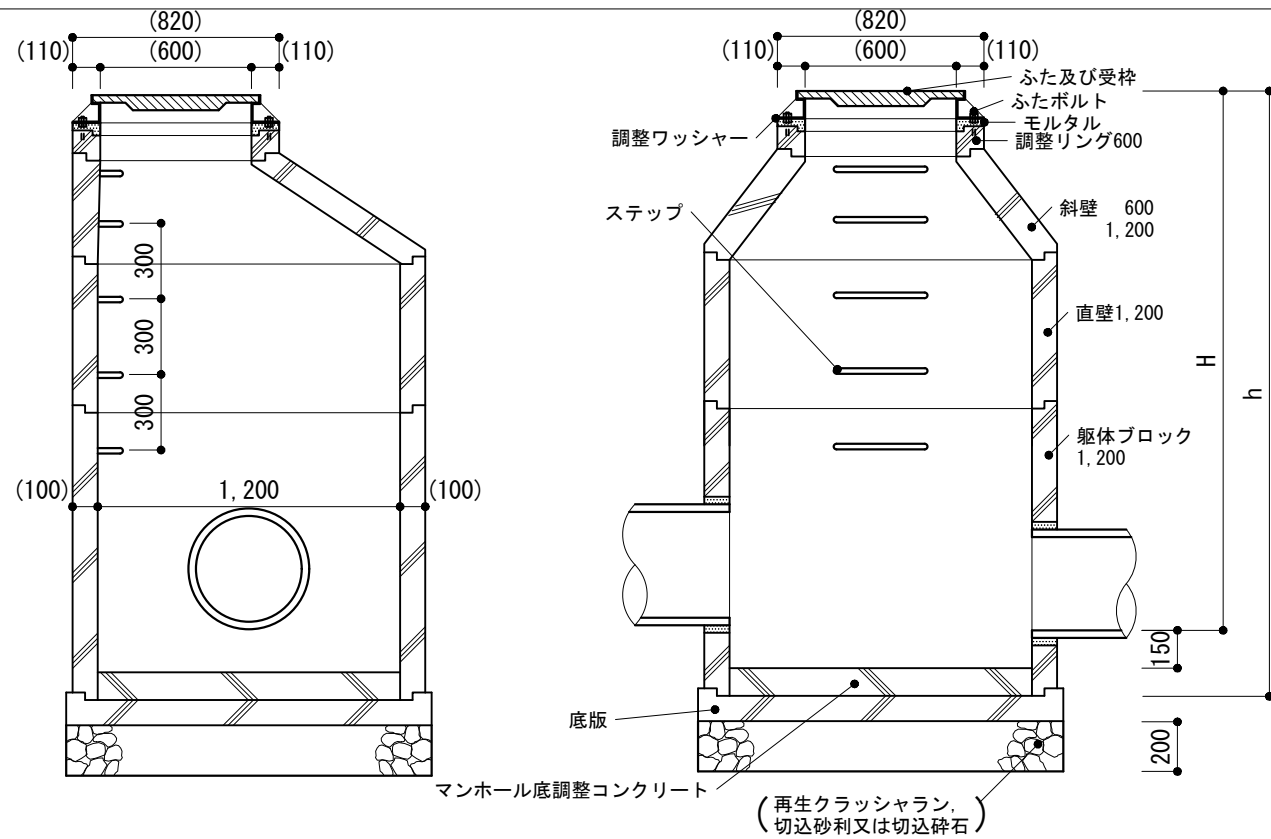
-1 雨水マンホール(組立て)



-2 雨水マンホール(組立て)



-3 雨水マンホール(組立て)



仕様

- 1) 接合部及び底版は(公社)日本下水道協会認定資器材Ⅱ類による。
- 2) 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。
- 3) ステップはステンレスSUS304, 22φ, 幅300とする。

特記事項

- 1) -1, -2, -3のh, H及びふたの種別
- 2) ステップの段数

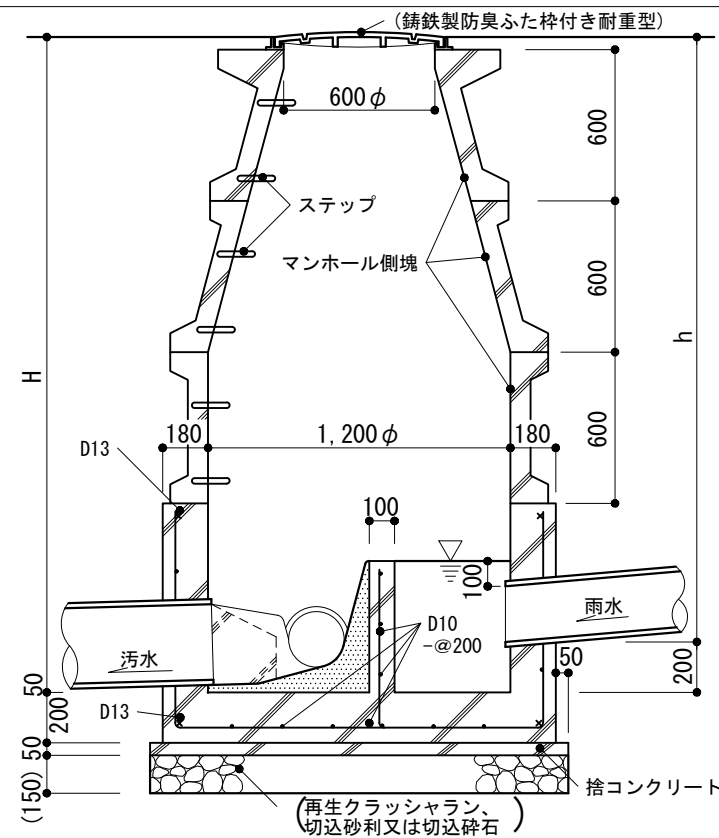
図面名称 雨水マンホール

縮尺 1/30

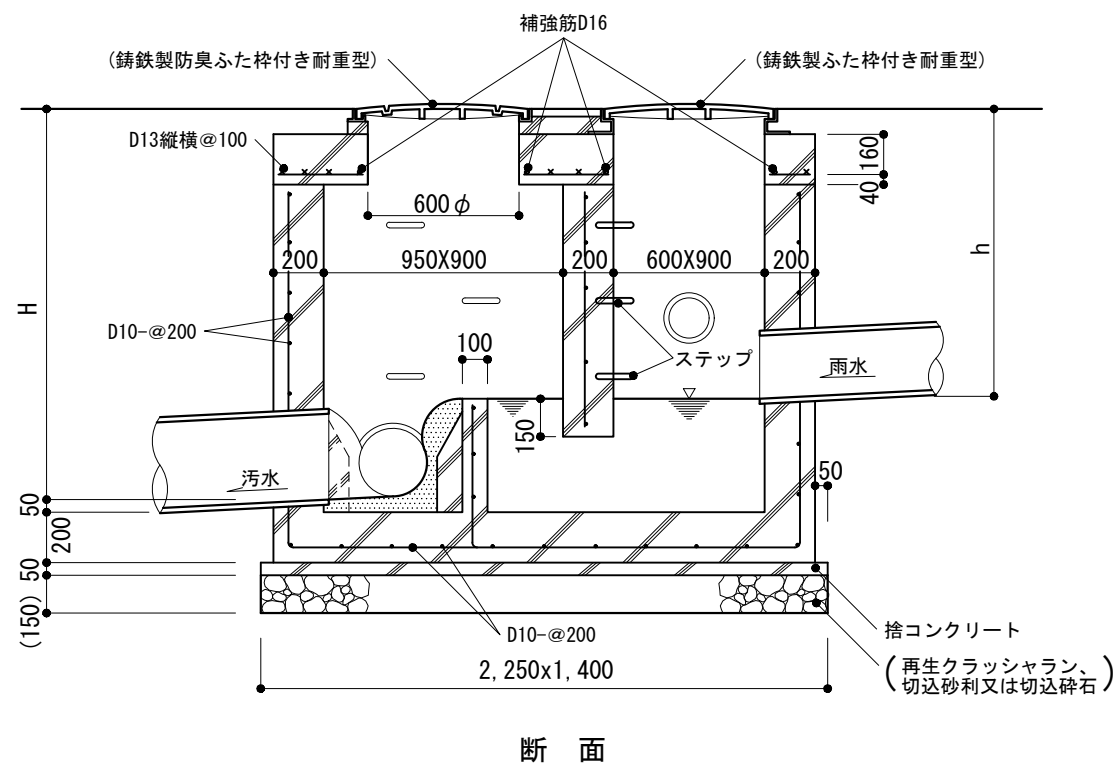
建築工事標準詳細図 令和4年版

9-15

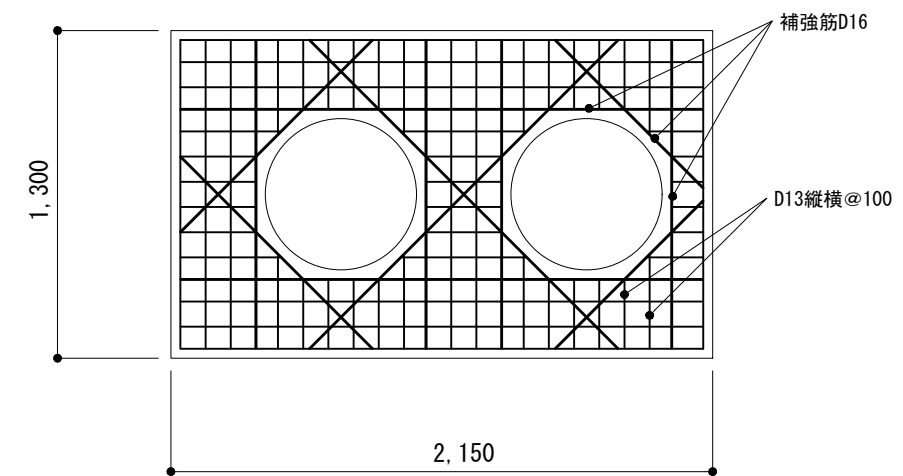
-3 トラップマンホール



-4 トラップマンホール



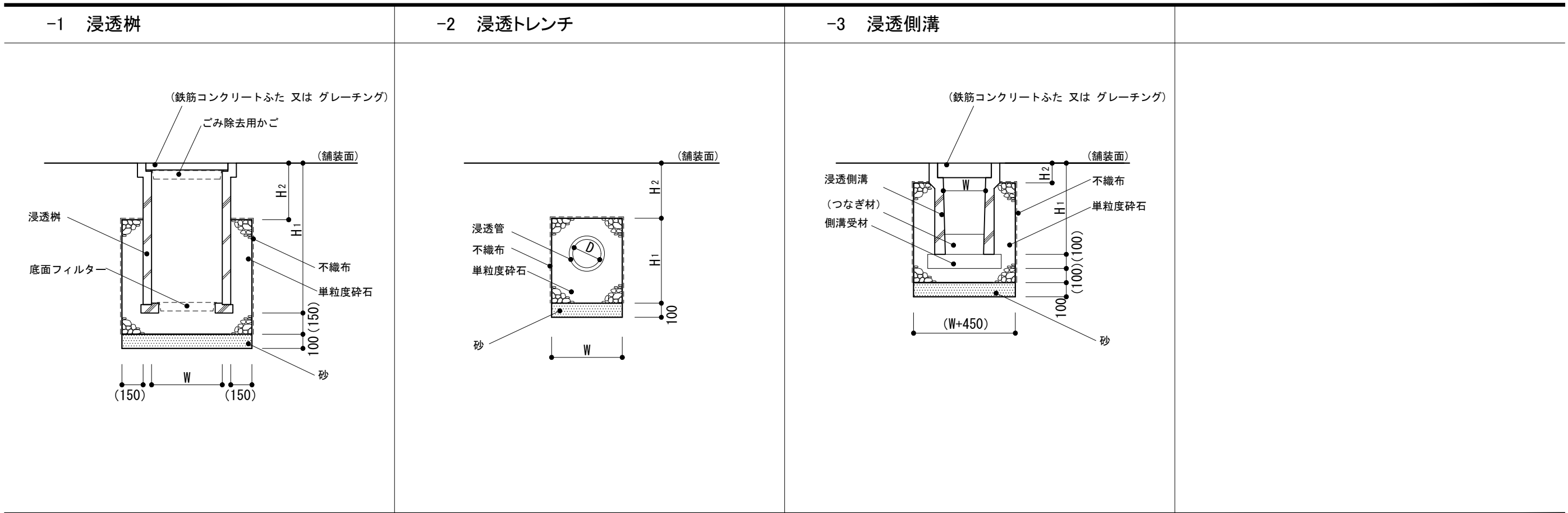
断面



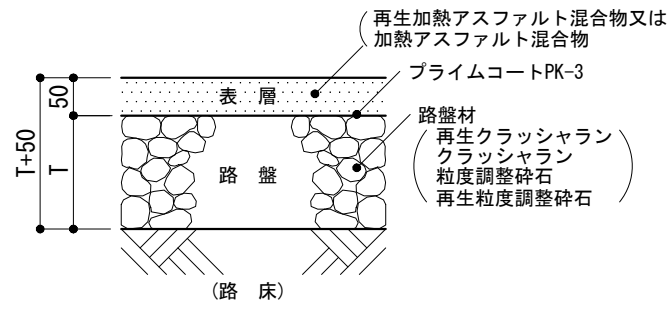
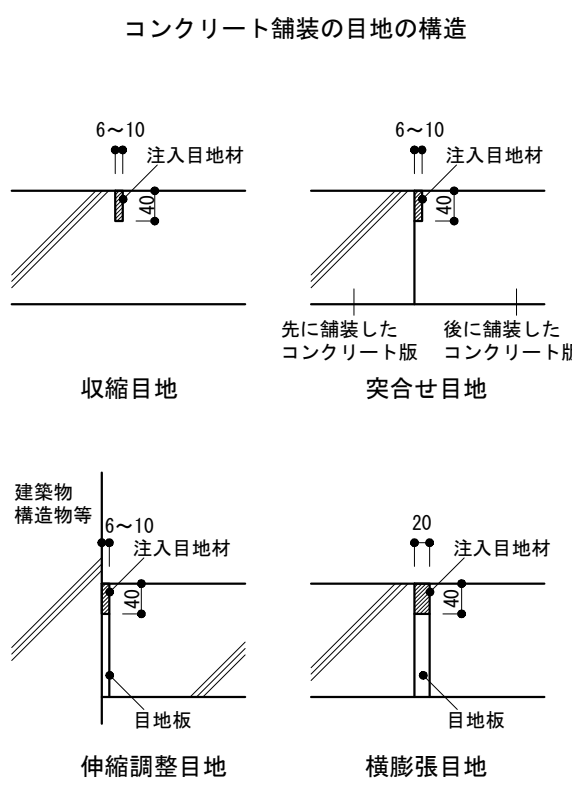
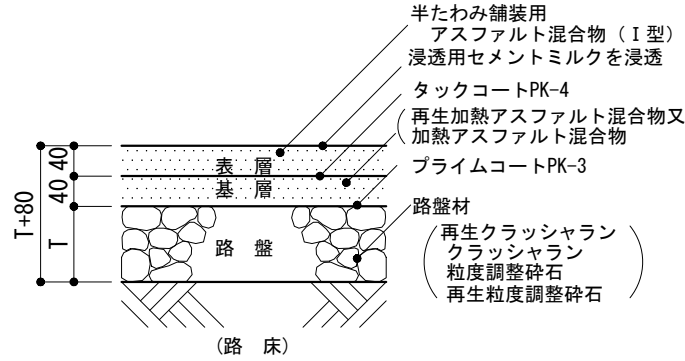
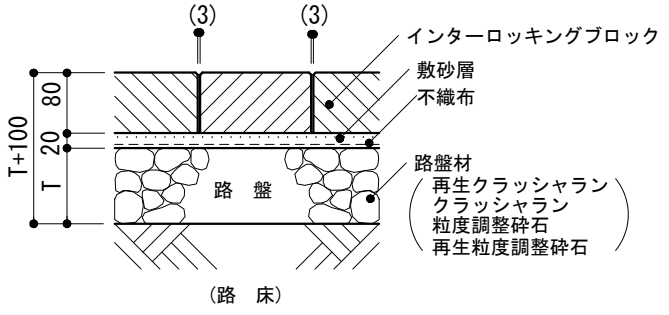
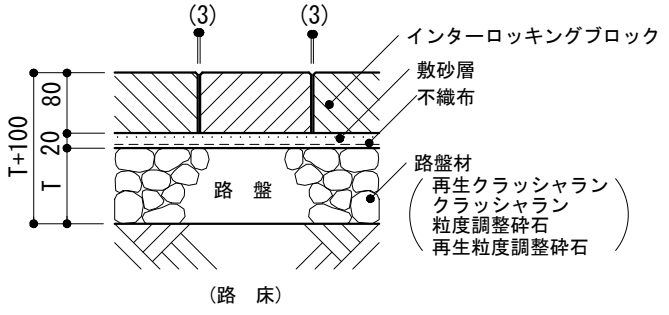
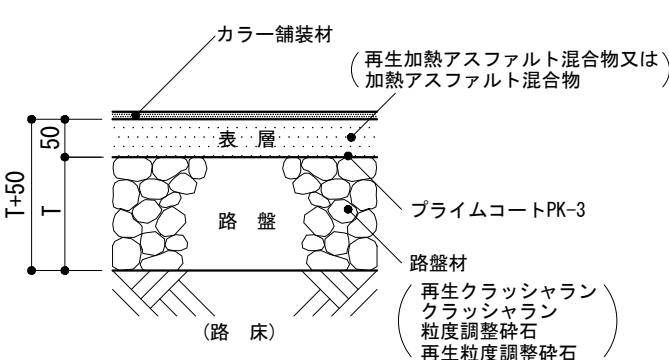
開口補強配筋

※ -1・-2は欠番

<p>仕様</p> <p>1) 鉄管は、JIS G 5525による。 2) 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。 3) ステップはステンレスSUS304、22φ、幅300とする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 鉄製防臭ふた及び鉄製耐重型ふたの種別 2) H, h 3) ステップの段数</p>	<p>図面名称</p> <p>トラップマンホール</p>	
		<p>縮尺</p> <p>1/30</p>	<p>9-16</p>
		<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p>	



<p>仕様 1) 浸透柵, 浸透トレンチ, 浸透側溝は製造所の仕様による。</p>	<p>特記事項 1) -1, -3のW, H₁, H₂ 2) -2のW, H₁, H₂, D 3) -1の浸透柵, -2の浸透管, -3の浸透側溝の種類 4) -1のゴミ除去用かごの材質 5) -1, -3のふたの種類 6) 単粒度碎石の粒度 7) -3の側溝受材の寸法及び設置間隔</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">図面名称</td> <td colspan="2">浸透施設</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>1/30</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; font-weight: bold;">9-17</td> </tr> <tr> <td colspan="2">建築工事標準詳細図 令和4年版</td> </tr> </table>	図面名称	浸透施設		縮尺	1/30	9-17	建築工事標準詳細図 令和4年版	
図面名称	浸透施設									
縮尺	1/30	9-17								
建築工事標準詳細図 令和4年版										

<p>-1 アスファルト舗装</p>  <p>注) 路盤はT A法による構造設計による。 (T(mm) : 150, 200, 250 を設定する。)</p>	<p>-2 コンクリート舗装又はカラーコンクリート舗装(常温系)</p> <p>コンクリート舗装の目地の構造</p>  <p>注) ()の寸法: 大型車の通行が見込まれる場合</p>	<p>-3 半たわみ性舗装</p>  <p>注) 路盤はT A法による構造設計による。 (T(mm) : 100, 150 を設定する。)</p>
<p>-4 インターロッキングブロック舗装</p>  <p>注) 路盤はT A法による構造設計による。 (T(mm) : 100, 150 を設定する。)</p>	<p>-5・-6 カラーアスファルト舗装</p>	
<p>-5 加熱系 (アスファルト混合物又は石油樹脂系混合物)</p>  <p>注) 路盤はT A法による構造設計による。 (T(mm) : 150, 200, 250 を設定する。)</p>	<p>-6 常温系 (ニート工法又は塗布工法)</p>  <p>注) 路盤はT A法による構造設計による。 (T(mm) : 150, 200, 250 を設定する。)</p>	

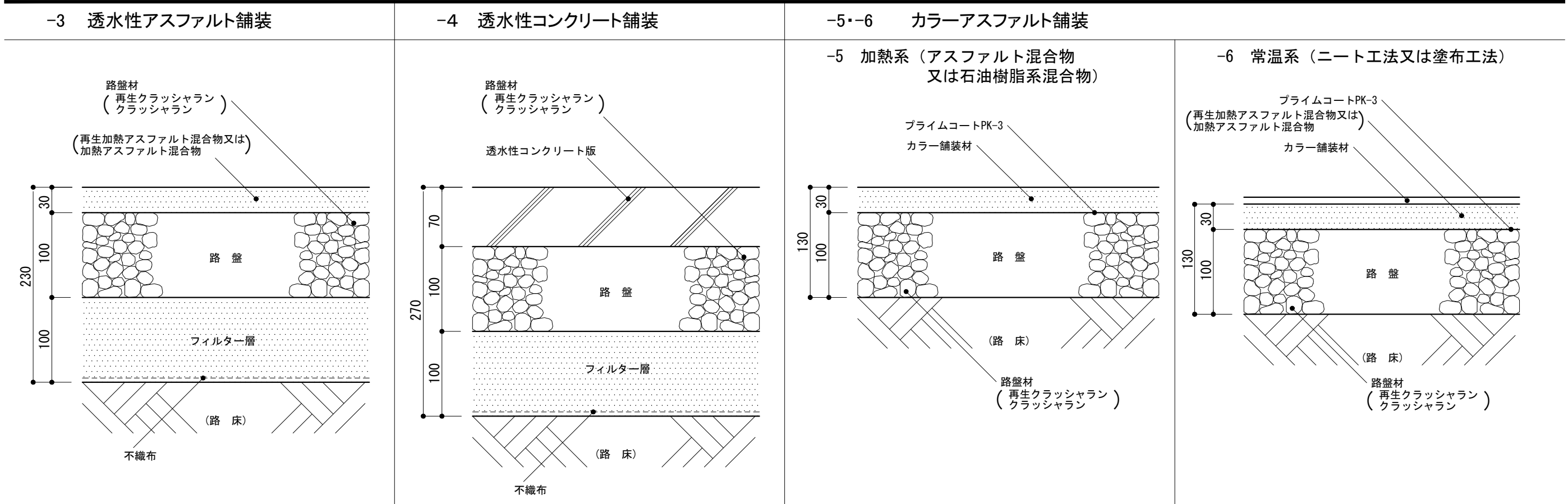
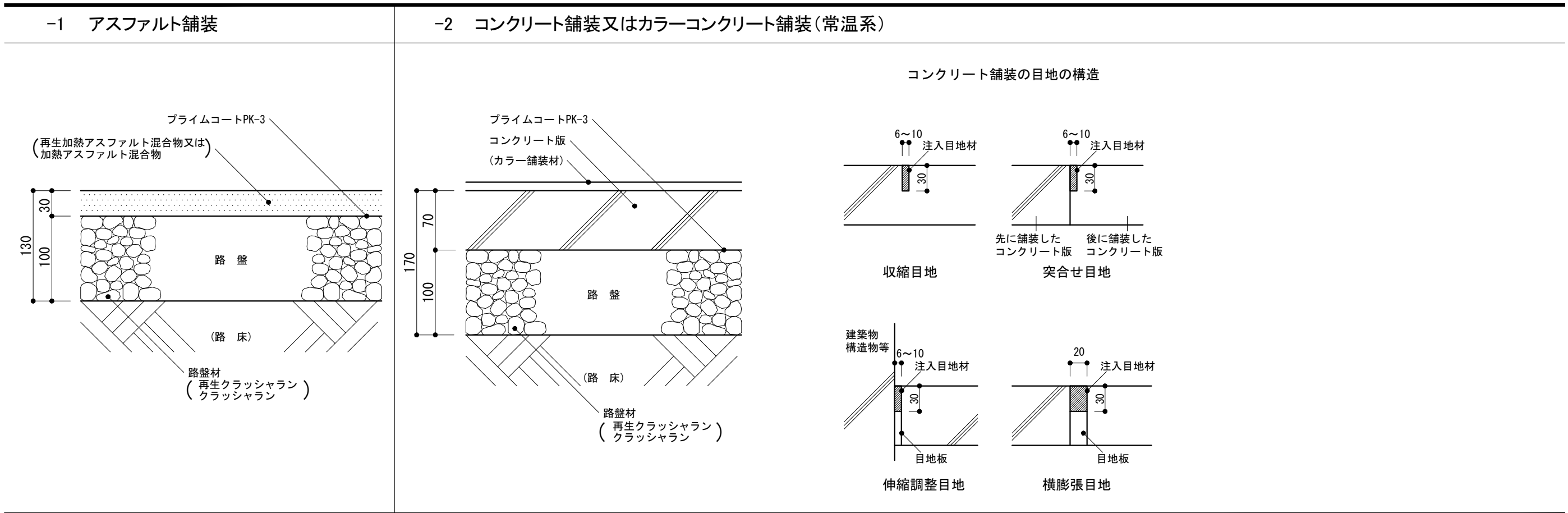
仕様

- 2のコンクリート舗装においては公共標仕(建)22.5.4(5)により目地を設ける。
- インターロッキングブロック舗装の目地には砂を充填する。

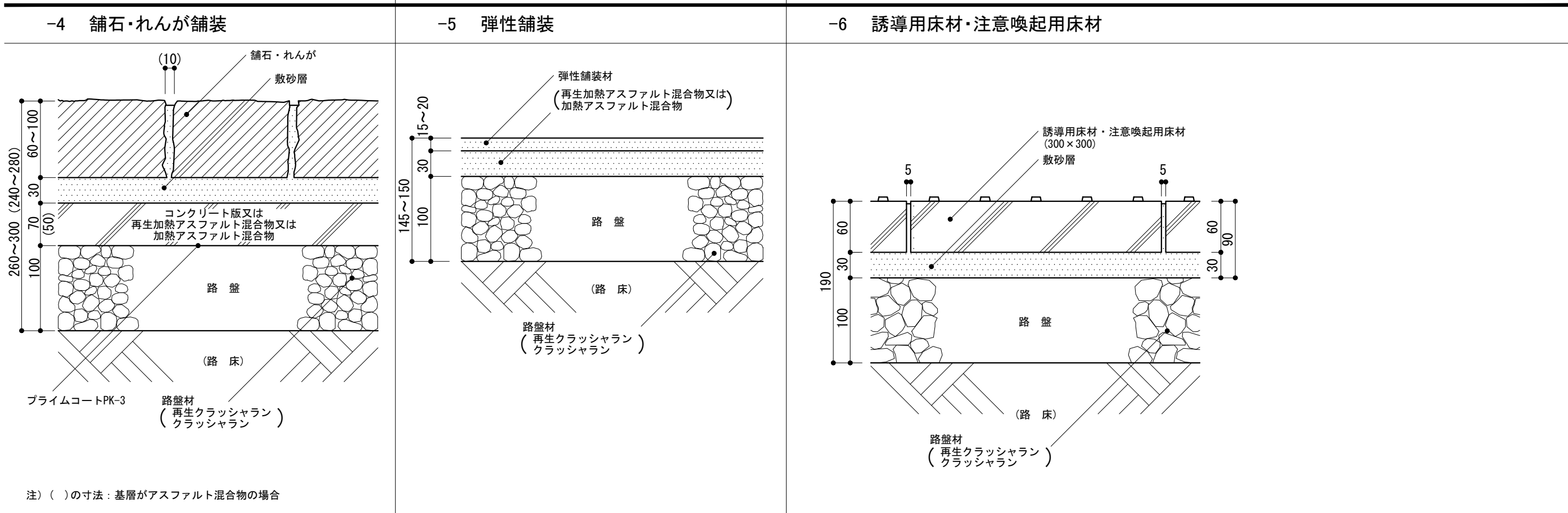
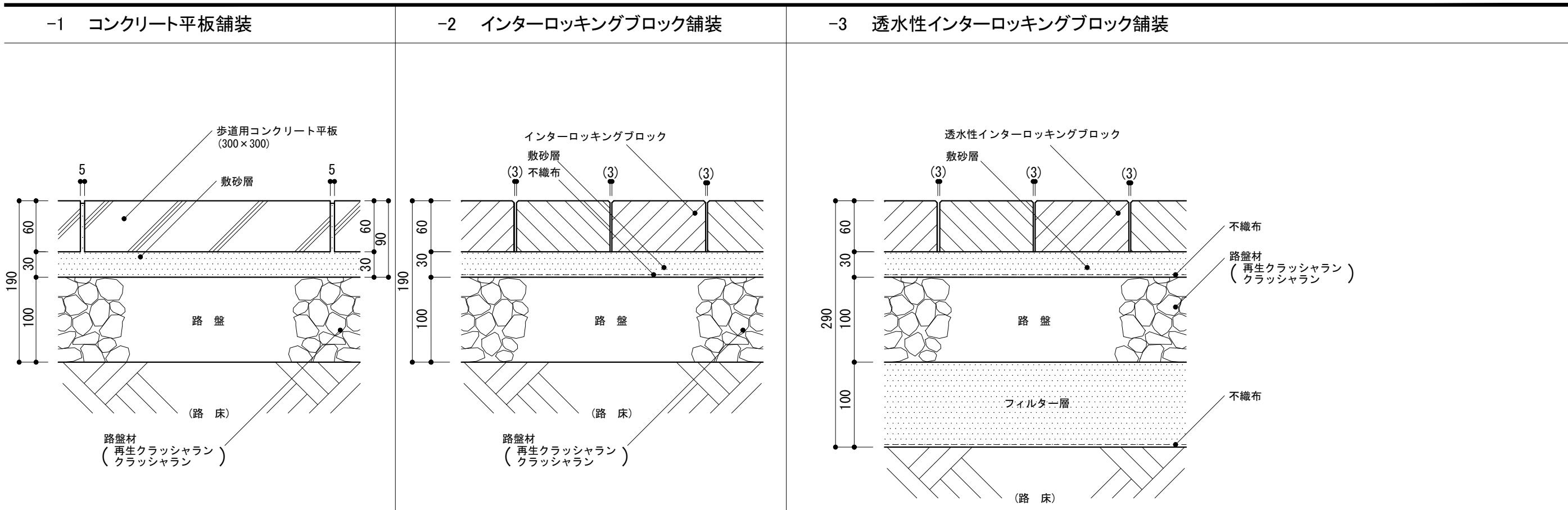
特記事項

- 凍上抑制層のある場合の材種及び厚さ
- 1, -3, -5, -6のアスファルト混合物の種類
- 路盤材料の種類及び厚さT
- 2のコンクリート舗装の注入目地材の種類
- 4のインターロッキングブロックの種類及び敷設パターン
- 2, -5, -6のカラー舗装材の種類と使用量
- 敷砂層の種類

図面名称	構内舗装断面 : 車道部	
縮尺	1/10	9-21
建築工事標準詳細図 令和4年版		



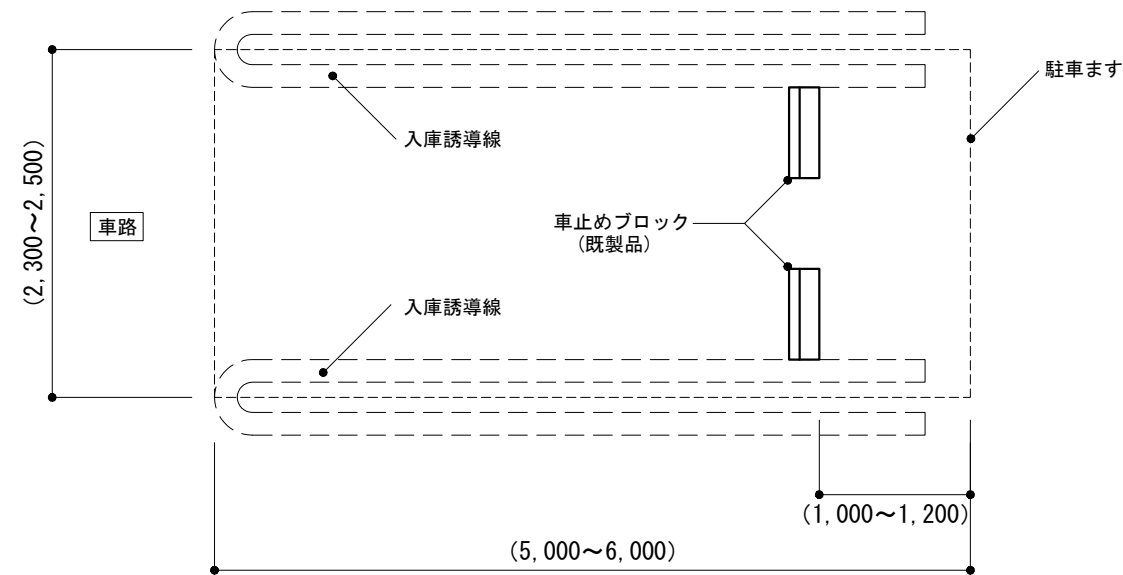
<p>仕様</p> <p>1) -2のコンクリート舗装においては公共標仕(建) 22.5.4(5)により目地を設ける。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 凍上抑制層及びフィルター層のある場合の材種及び厚さ 2) -1, -3, -5, -6のアスファルト混合物の種類 3) -2のコンクリート舗装の注入目地材の種別 4) -2, -5, -6のカラー舗装材の種類, 使用量 5) 路盤材料の種類</p>	<p>図面名称</p> <p>構内舗装断面 : 歩道部</p>	<p>縮尺</p> <p>1/5</p>
<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p>		<h1 style="font-size: 48px; margin: 0;">9-22</h1>	



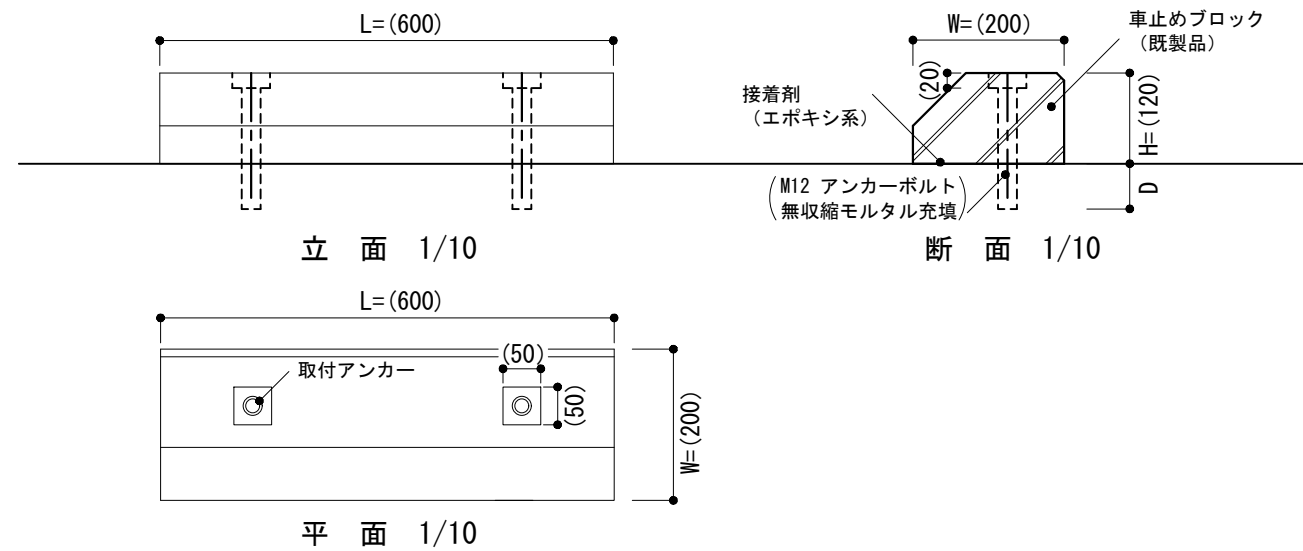
注) ()の寸法：基層がアスファルト混合物の場合

仕様 1) インターロッキングブロック舗装の目地には砂を充填する。 2) -4でコンクリート版の場合は、公共標仕(建)22.5.4(5)により目地を設ける。 3) 誘導用床材・注意喚起用床材のブロックパターンは、JIS T 9251による。	特記事項 1) 凍上抑制層及びフィルター層のある場合の材種及び厚さ 2) -1~-3の敷砂層の種類 3) -2のインターロッキングブロックの種類、-3の透水性インターロッキングブロックの種類 4) -4の舗石・れんがの種類 5) -4で基層がアスファルト混合物の場合のアスファルト混合物の種類 6) -5のアスファルト混合物の種類 7) -5の弾性舗装材の種類と使用量 8) -6の誘導用床材・注意喚起用床材の材種及び厚さ	図面名称	構内舗装断面：歩道部	
		縮尺	1/5	9-23
		建築工事標準詳細図 令和4年版		

-1 車止め

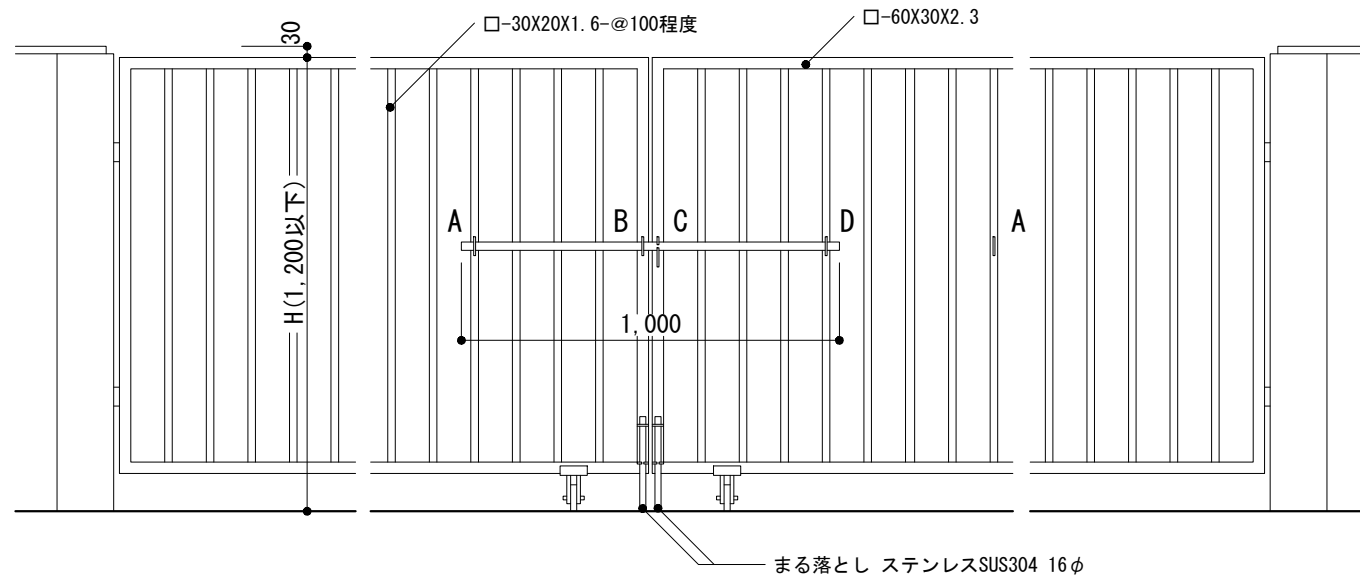


駐車場 標準平面 1/50

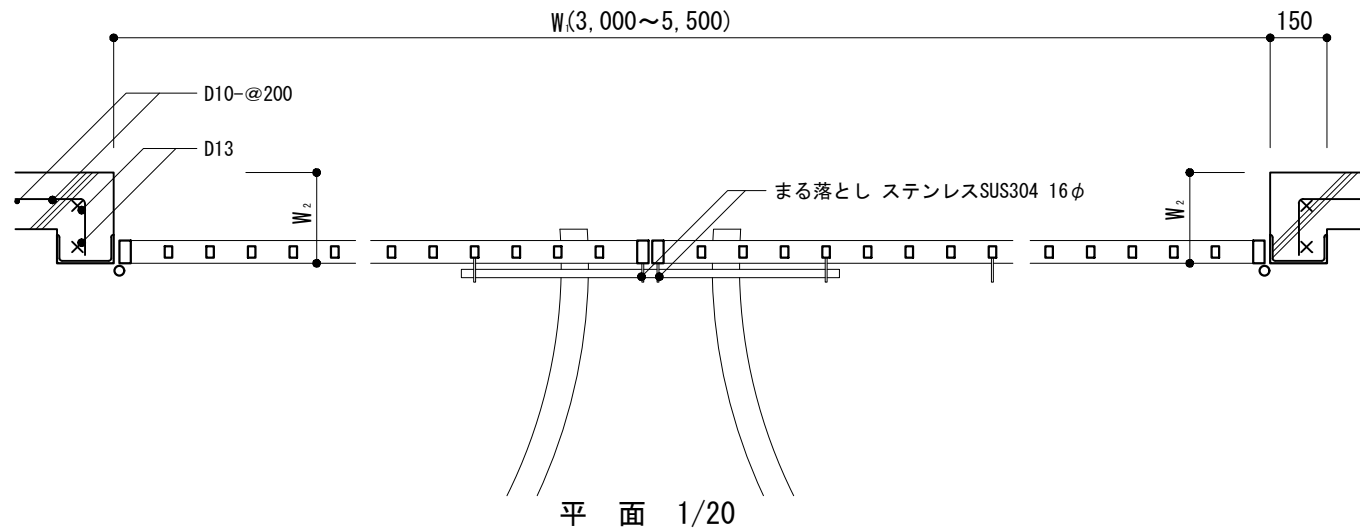


<p>仕様</p> <p>1) 駐車ます()内寸法は、駐車場法に該当する普通乗用車用を示す。</p> <p>2) 舗装面へのアンカー等の取付けは製造所の仕様による。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) L, W, H, D</p> <p>2) 駐車ます寸法</p>	<p>図面名称 駐車場:車止め</p>	
		<p>縮尺 1/10,1/50</p>	<p>9-25</p>
		<p>建築工事標準詳細図 令和4年版</p>	

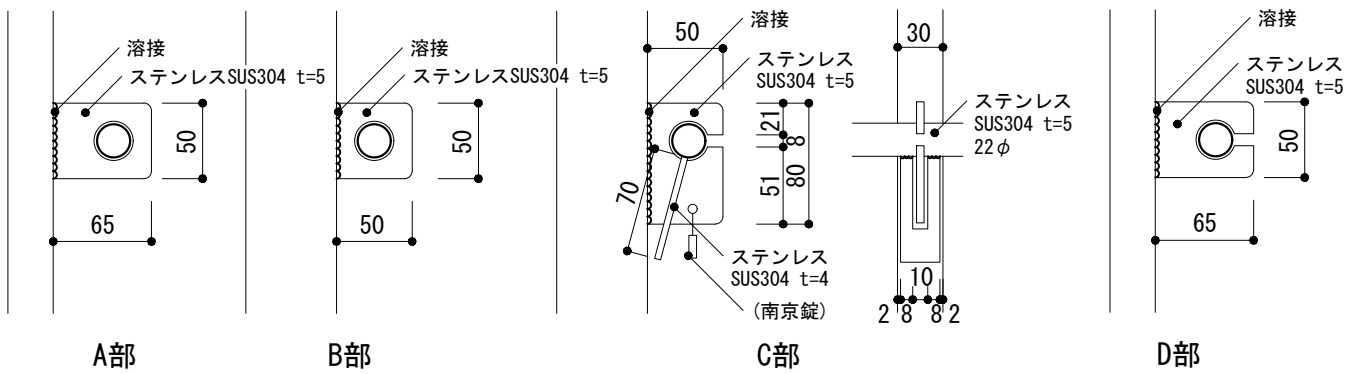
-1 両開き戸



立面 1/20

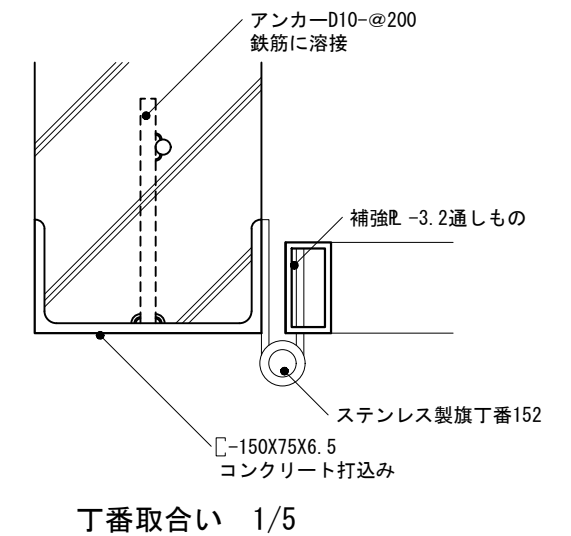
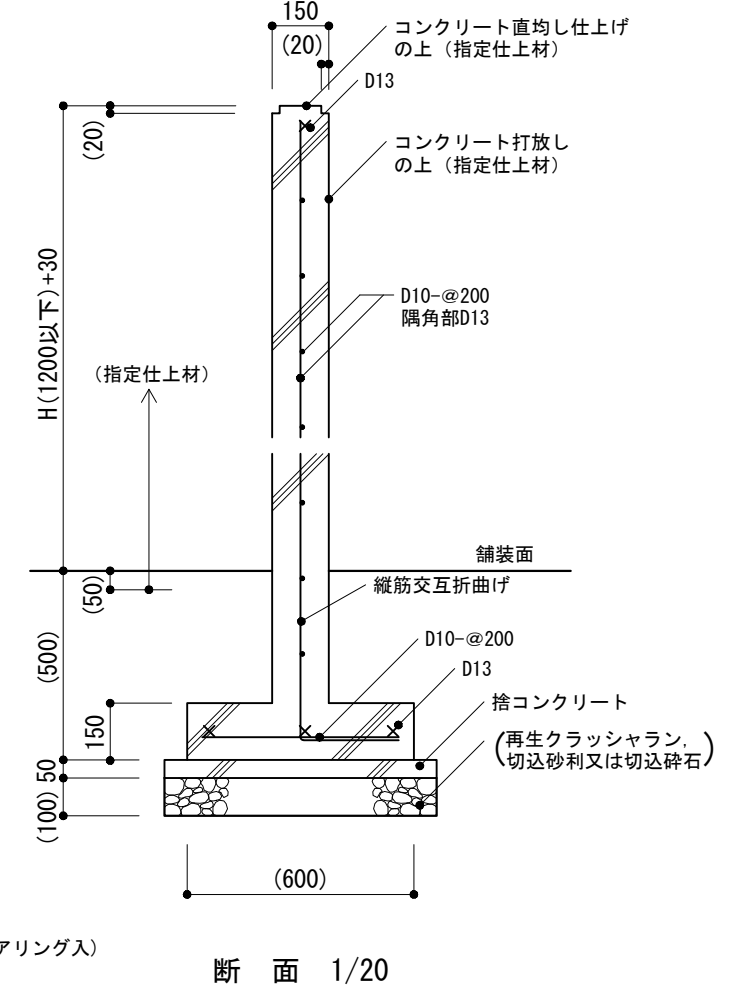
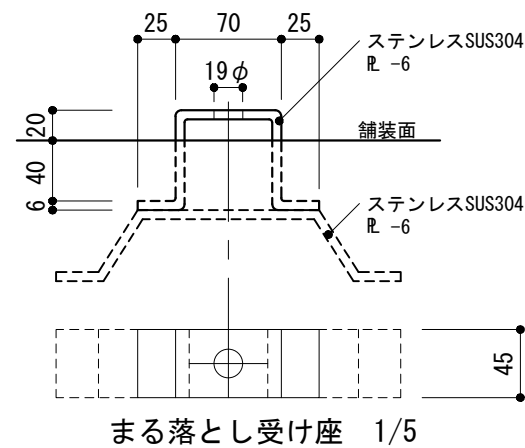
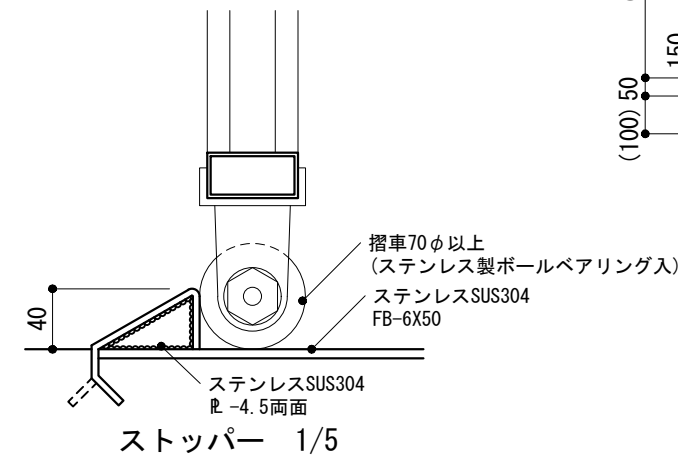
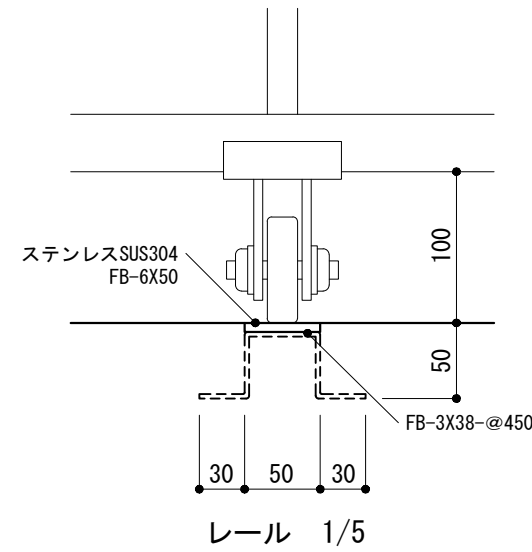


平面 1/20



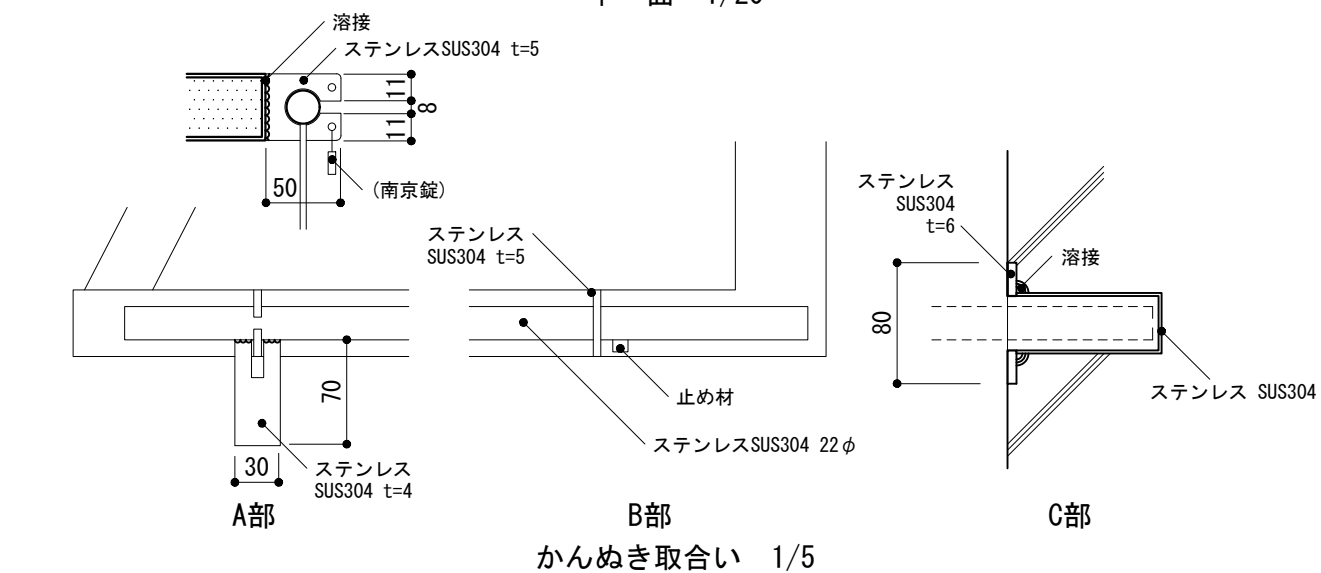
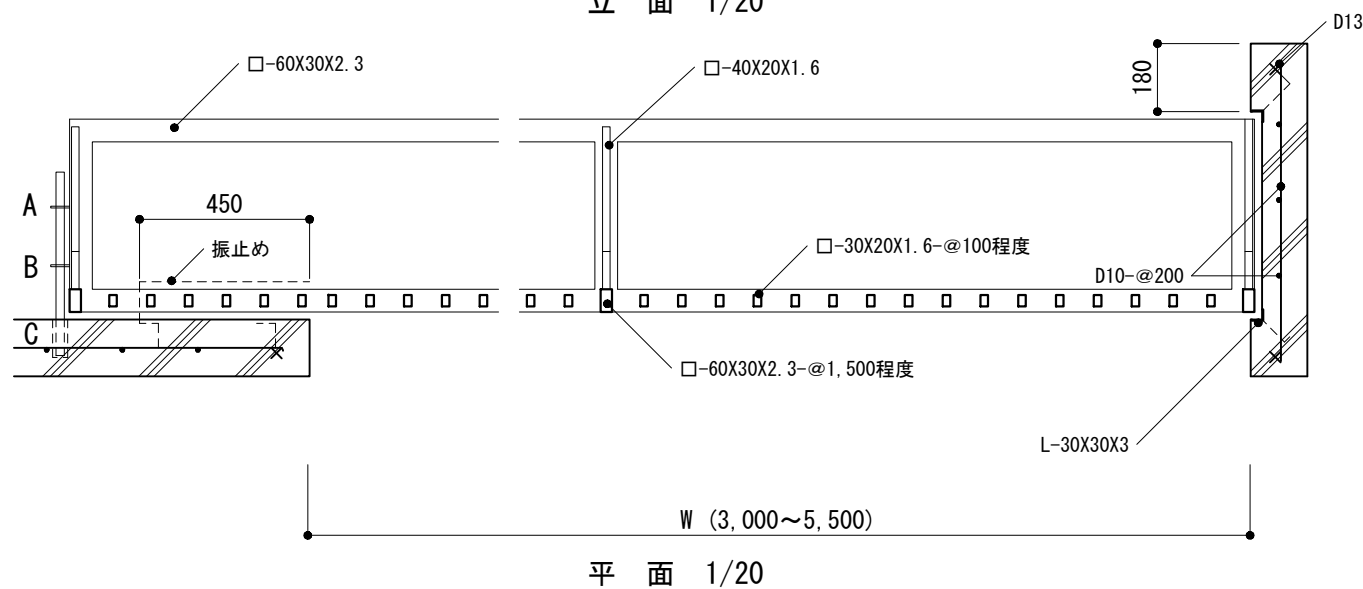
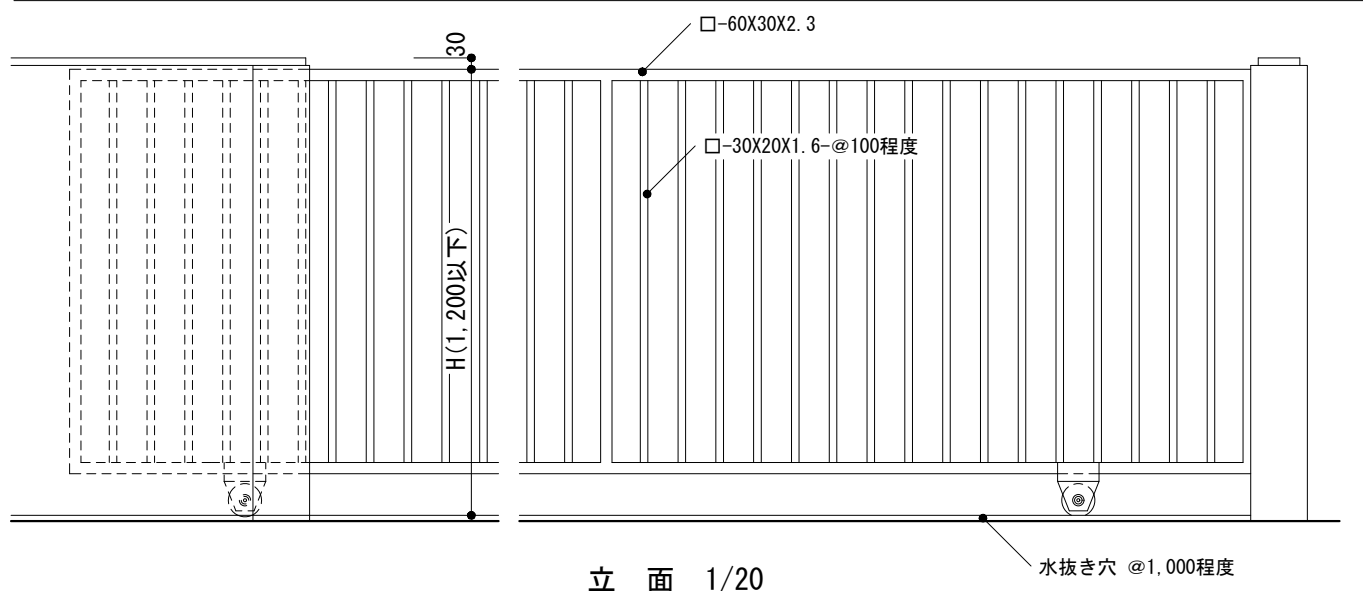
かんぬき取合い 1/5

-2 門柱

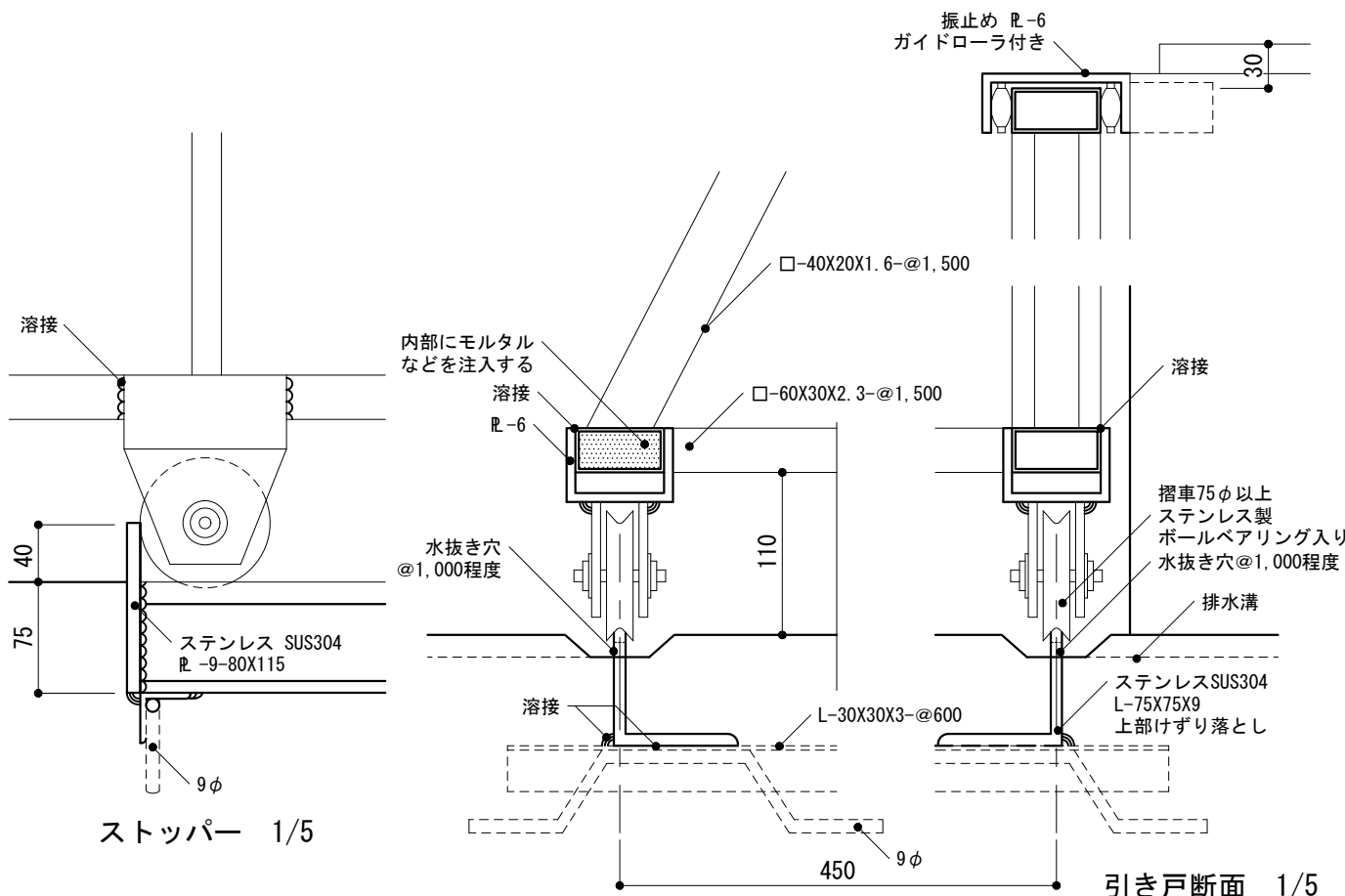
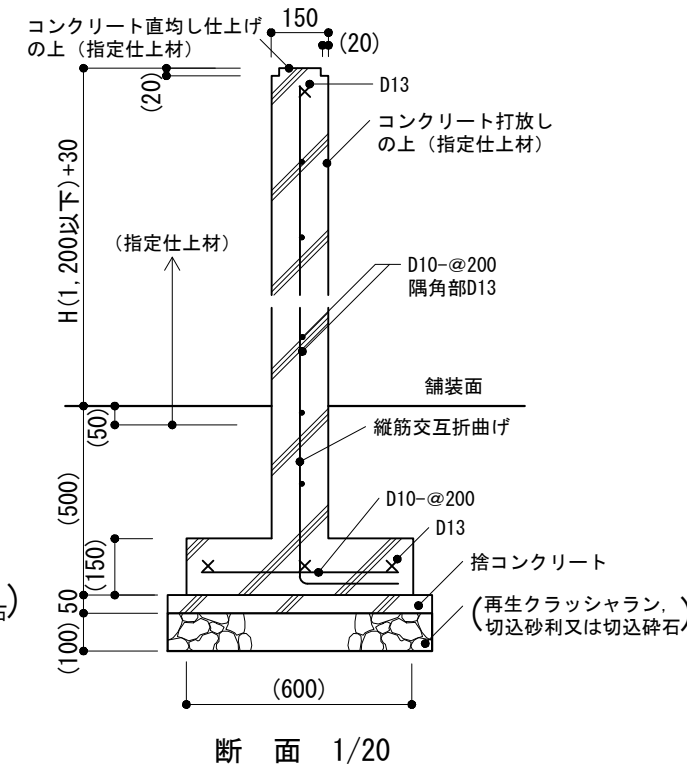
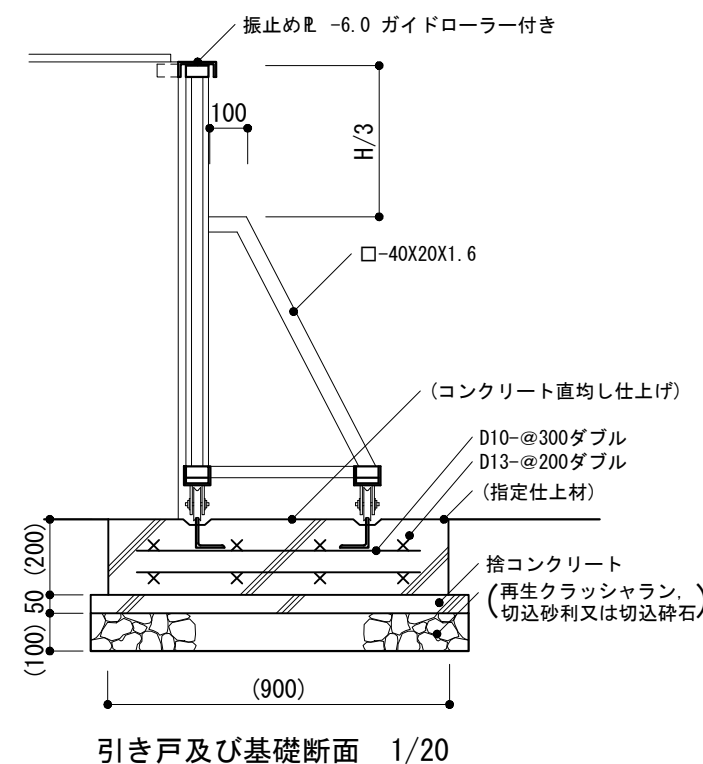


<p>仕様</p> <p>1) 見えがかり鉄面は, SOP塗りとする。</p> <p>2) レールは, FB-6.0×50のかわりにL-40×40×5を使用してもよい。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) H, W₁, W₂</p> <p>2) コンクリート打放しの種別</p> <p>3) 溶融亜鉛めっきをする場合, その種別</p> <p>4) 指定仕上材の種類</p>	図面名称	門 : 両開き戸	
		縮尺	1/5, 1/20	
		建築工事標準詳細図 令和4年版	9-31	

-1 引き戸

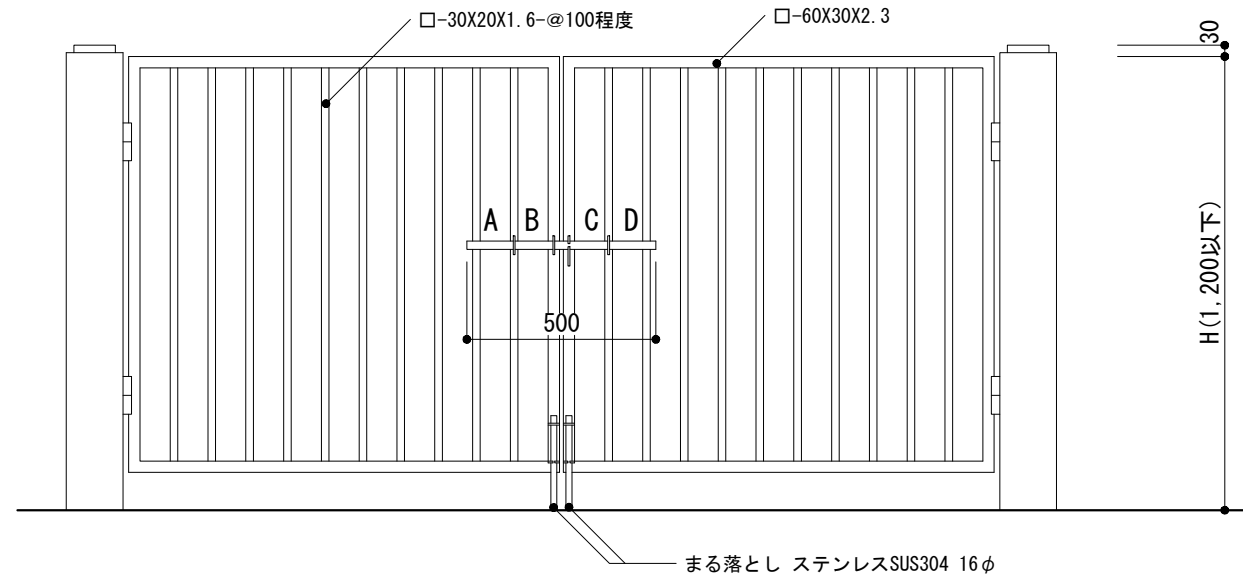


-2 門柱

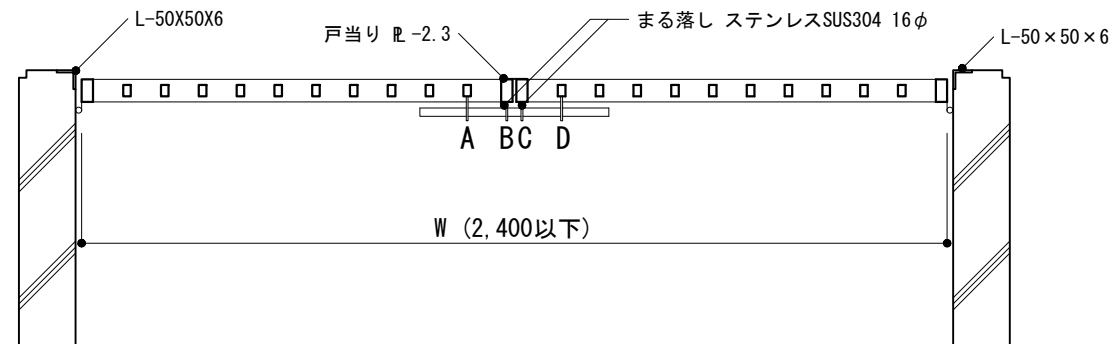


<p>仕様</p> <p>1) 見えがかり鉄面は、SOP塗りとする。 2) Wが4,000mm以上の場合、中央に戸車を増付けする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) H, W 2) コンクリート打放しの種別 3) 引き戸基礎の範囲 4) 溶融亜鉛めっきをする場合、その種別 5) 指定仕上材の種類</p>	図面名称	門 : 引き戸	
		縮尺	1/5, 1/20	
		建築工事標準詳細図 令和4年版		9-32

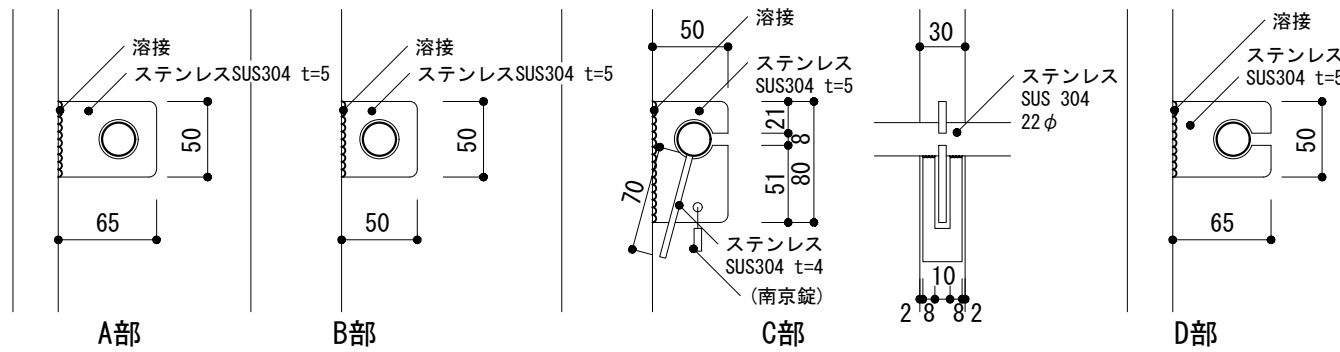
-1 両開き戸



立 面 1/20

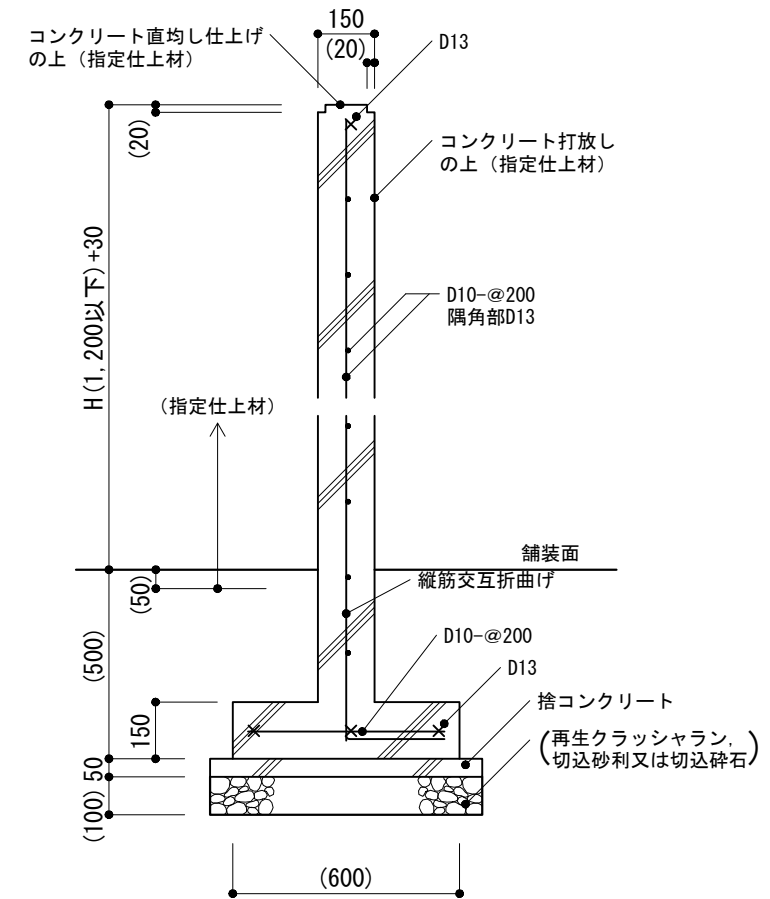


平 面 1/20

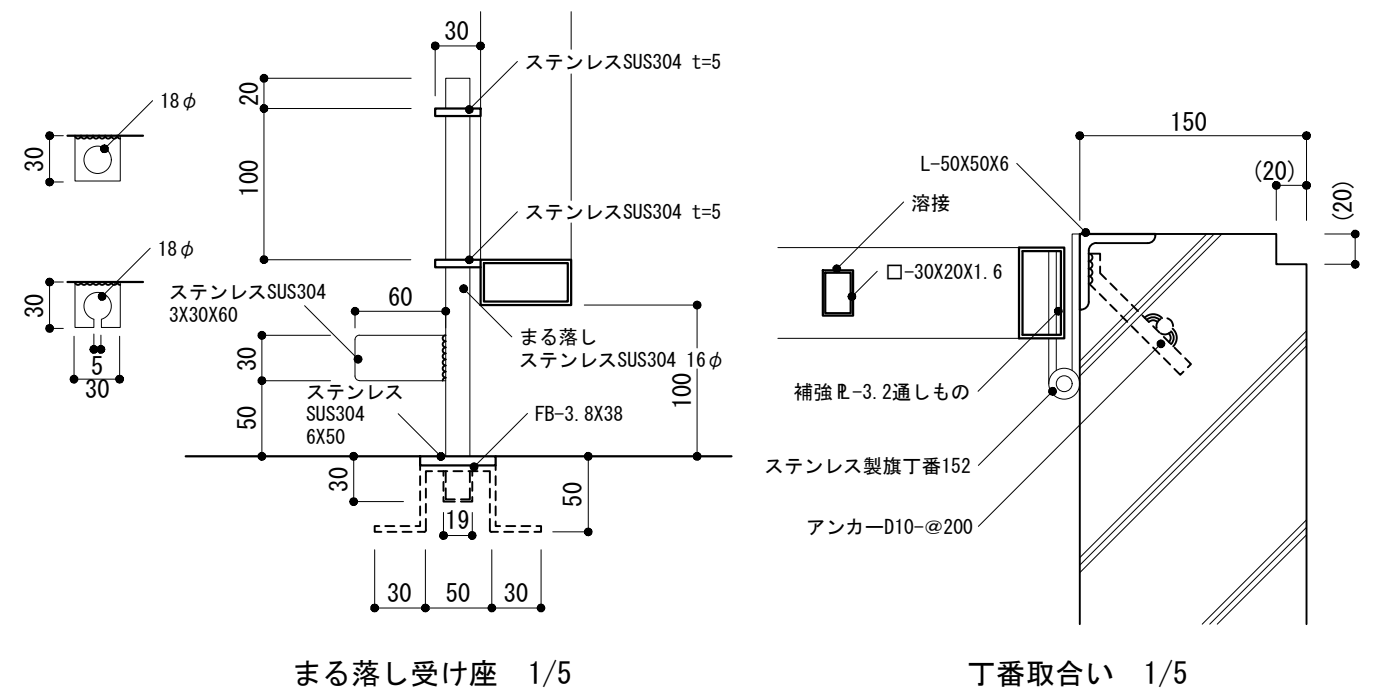


かんめき取合い 1/5

-2 門柱



断 面 1/20

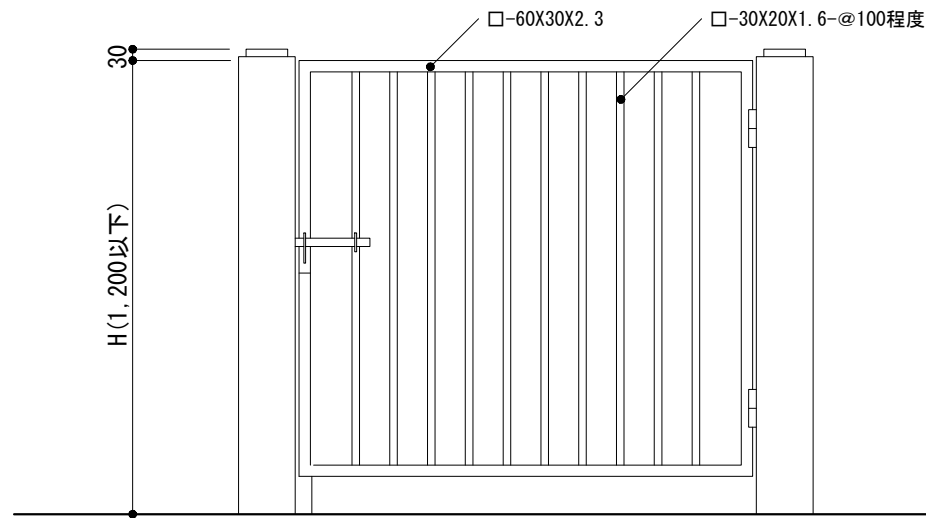


まる落とし受け座 1/5

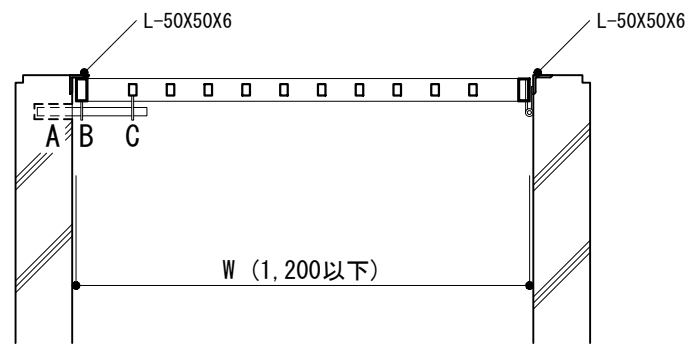
丁番取合い 1/5

<p>仕様</p> <p>1) 見えがかり鉄面は、SOP塗りとする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) H, W 2) コンクリート打放しの種別 3) 溶融亜鉛めっきをする場合、その種別 4) 指定仕上材の種類</p>	図面名称	門 : 両開き戸	
		縮 尺	1/5, 1/20	
		建築工事標準詳細図 令和4年版	9-33	

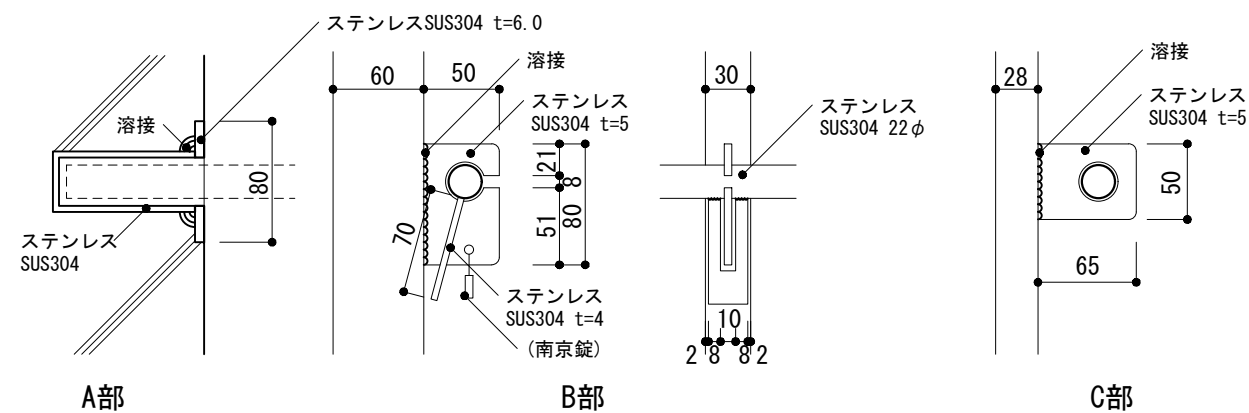
-1 片開き戸



立面 1/20

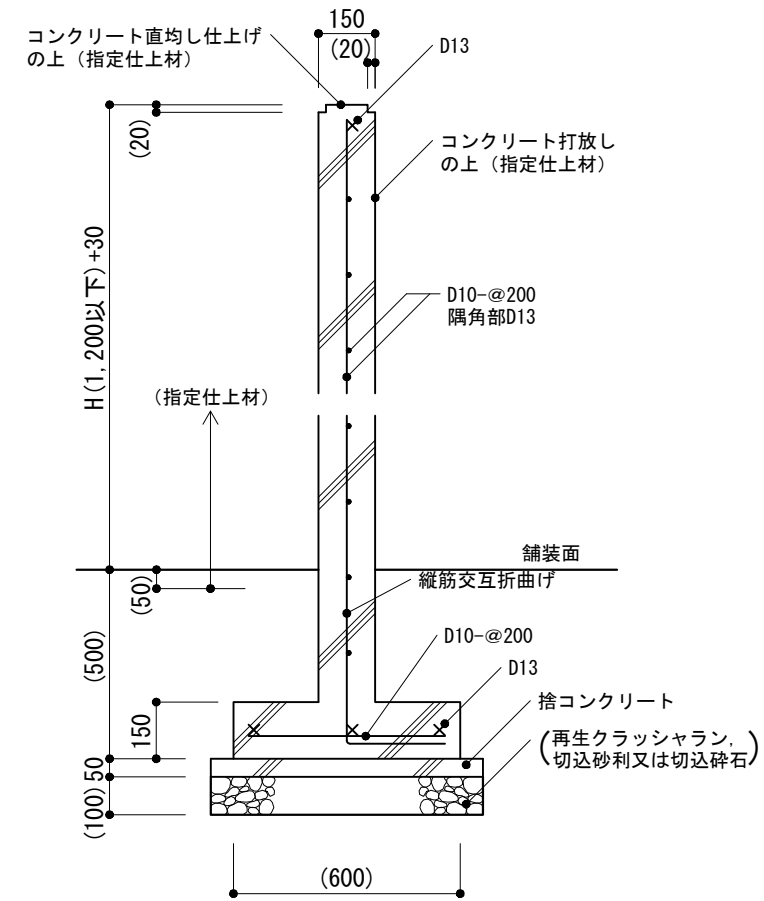


平面 1/20

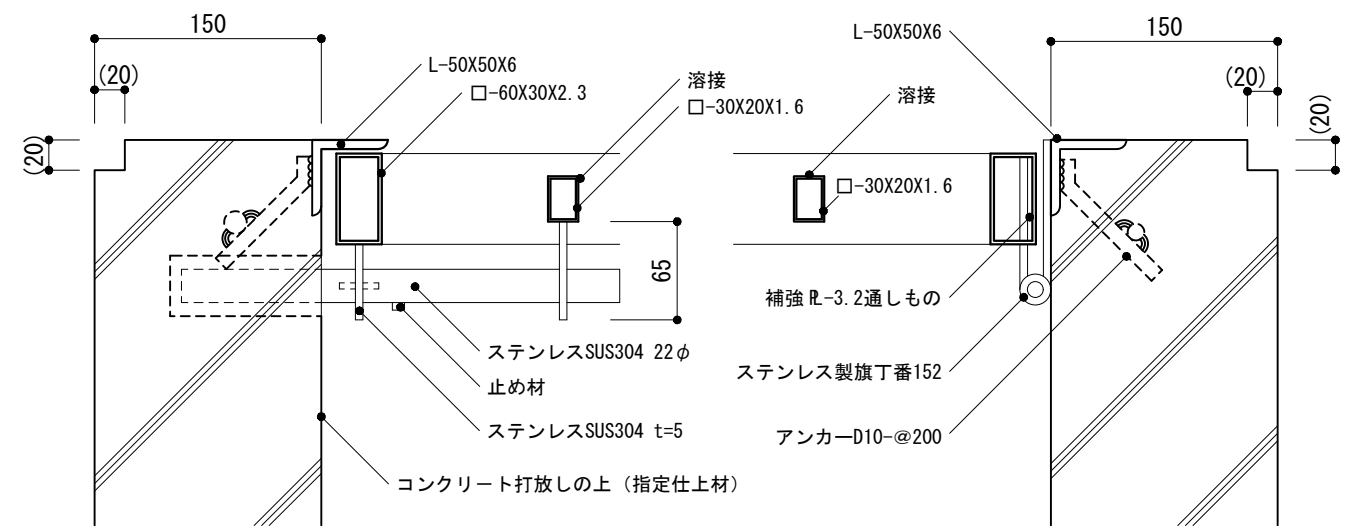


かんぬき取合い 1/5

-2 門柱



断面 1/20



戸当り部 1/5

丁番取合い 1/5

仕様

1) 見えがかり鉄面は, SOP塗りとする。

特記事項

- 1) H, W
- 2) コンクリート打放しの種別
- 3) 溶融亜鉛めっきをする場合, その種別
- 4) 指定仕上材の種類

図面名称

門 : 片開き戸

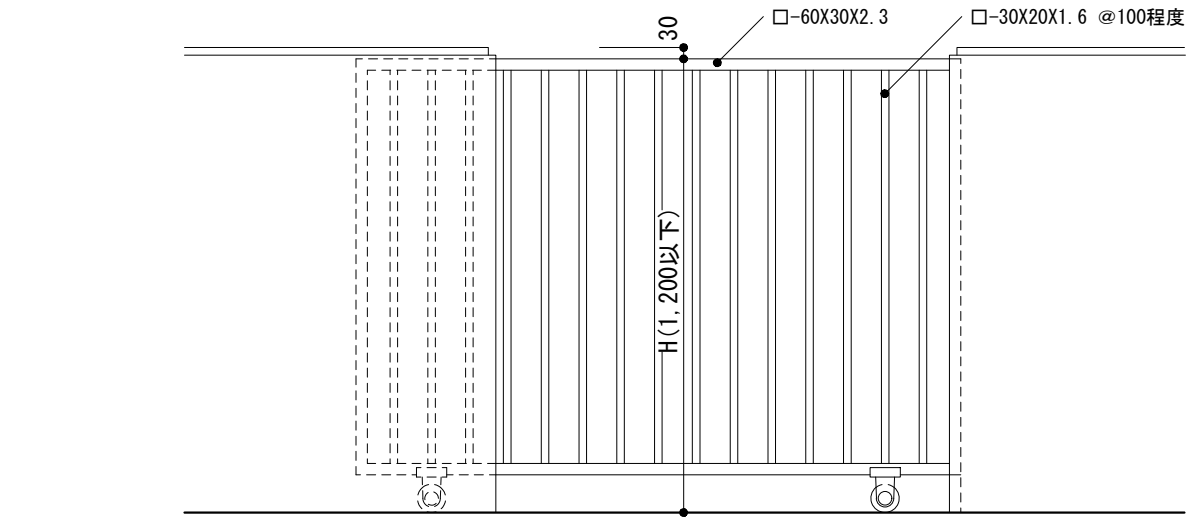
縮尺

1/5, 1/20

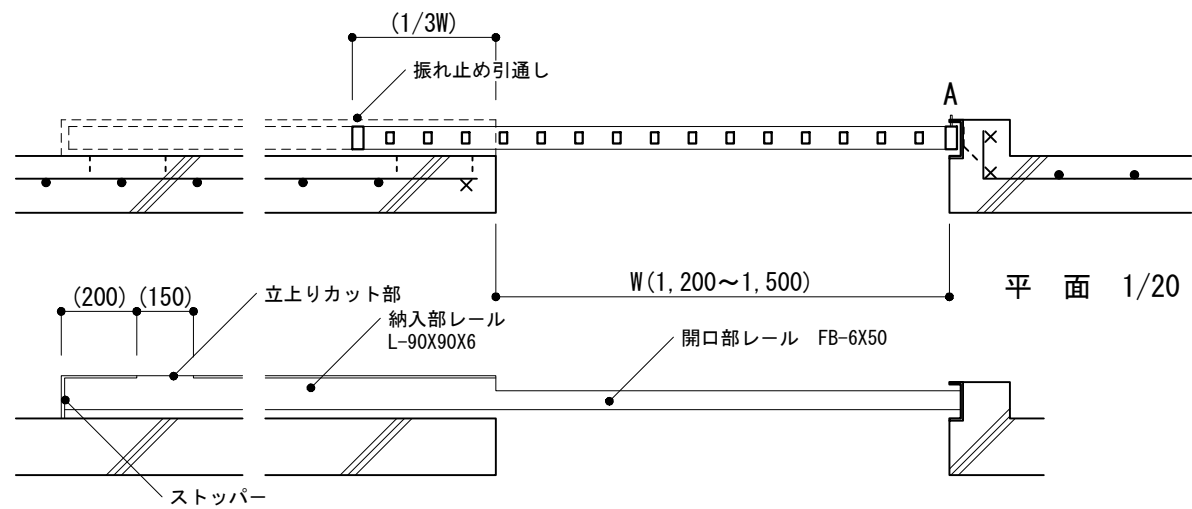
建築工事標準詳細図 令和4年版

9-34

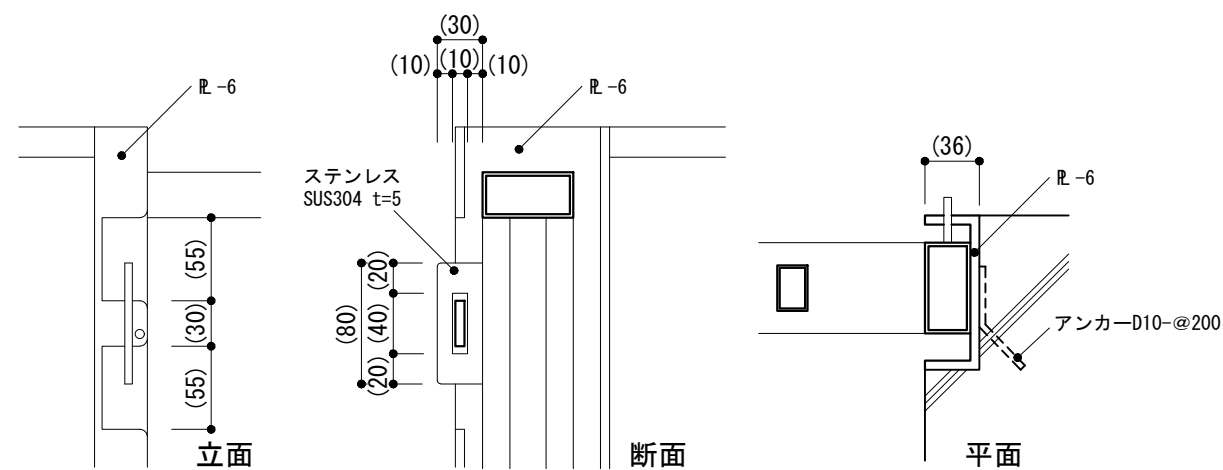
-1 引き戸



立面 1/20

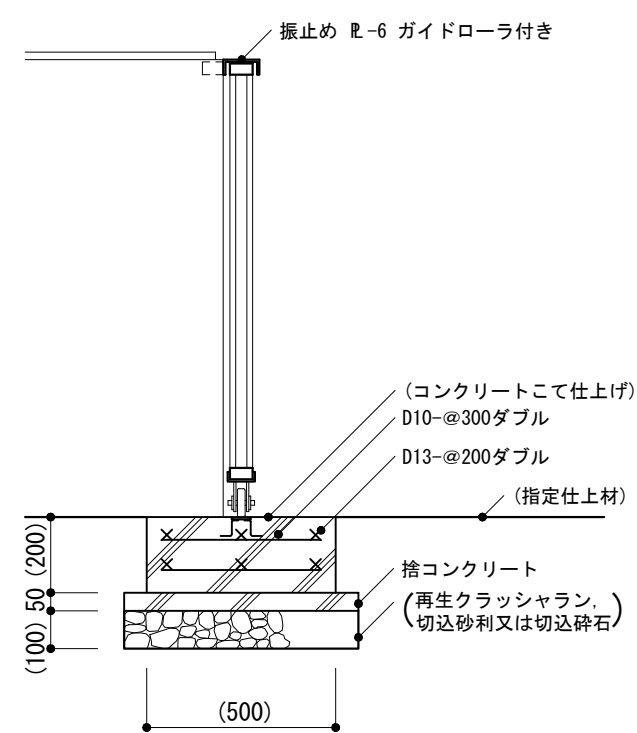


平面 1/20

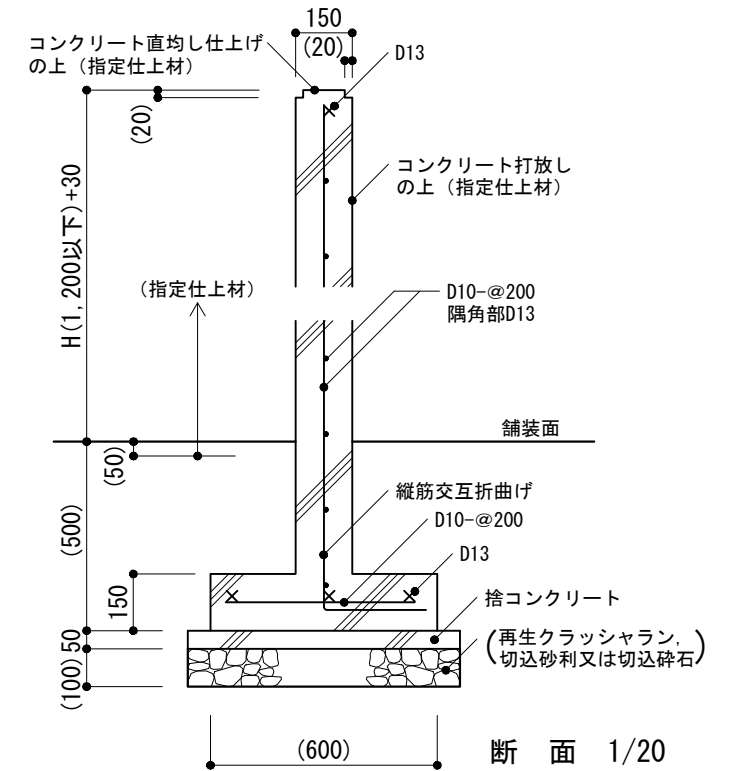


A部詳細 1/5

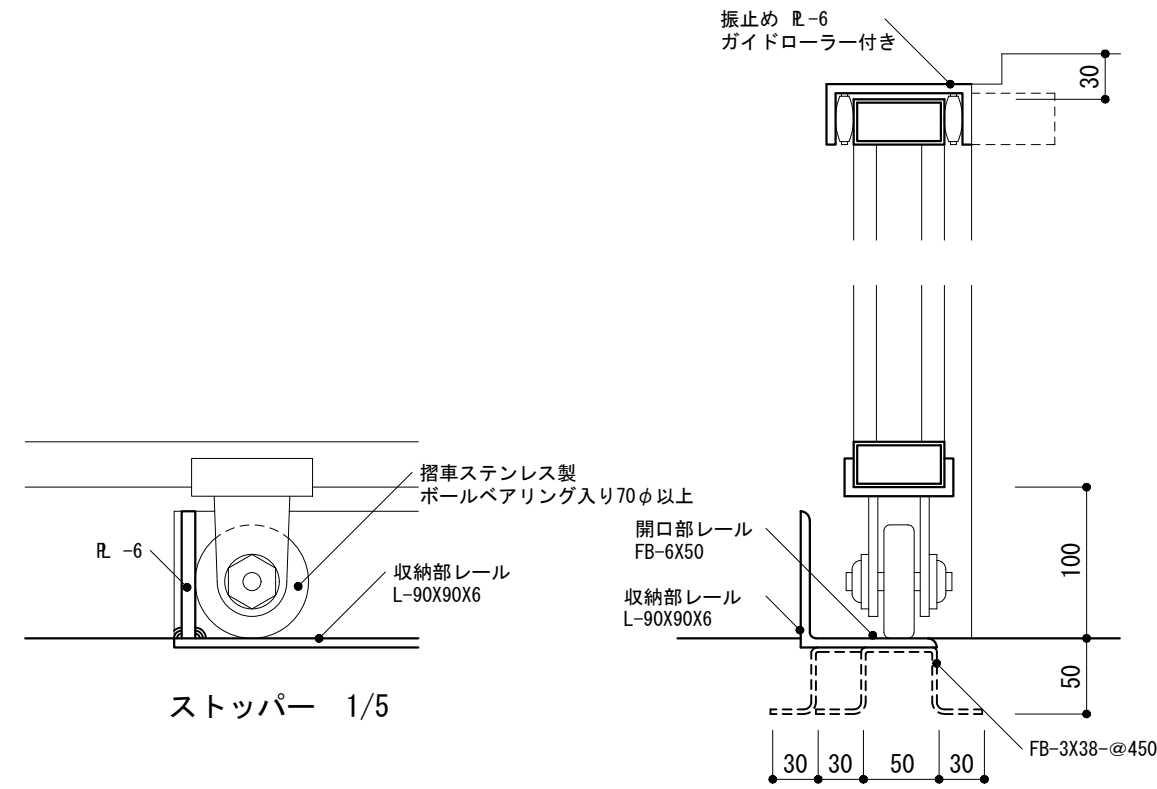
-2 門柱



引き戸及び基礎断面 1/20



断面 1/20



ストッパー 1/5

引き戸断面 1/5

仕様

1) 見えがかり鉄面は、SOP塗りとする。

特記事項

- 1) H, W
- 2) コンクリート打放しの種別
- 3) 溶融亜鉛めっきをする場合、その種別
- 4) 指定仕上材の種類

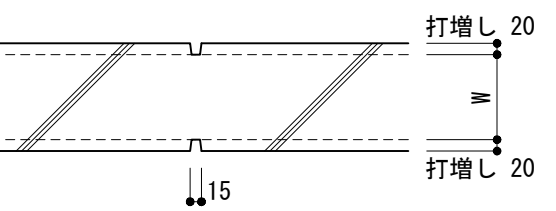
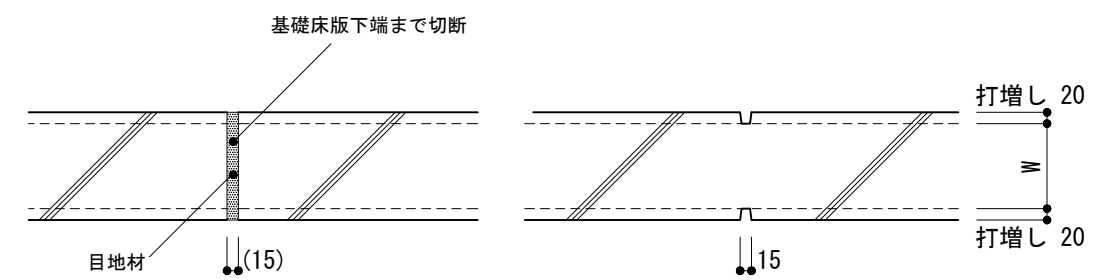
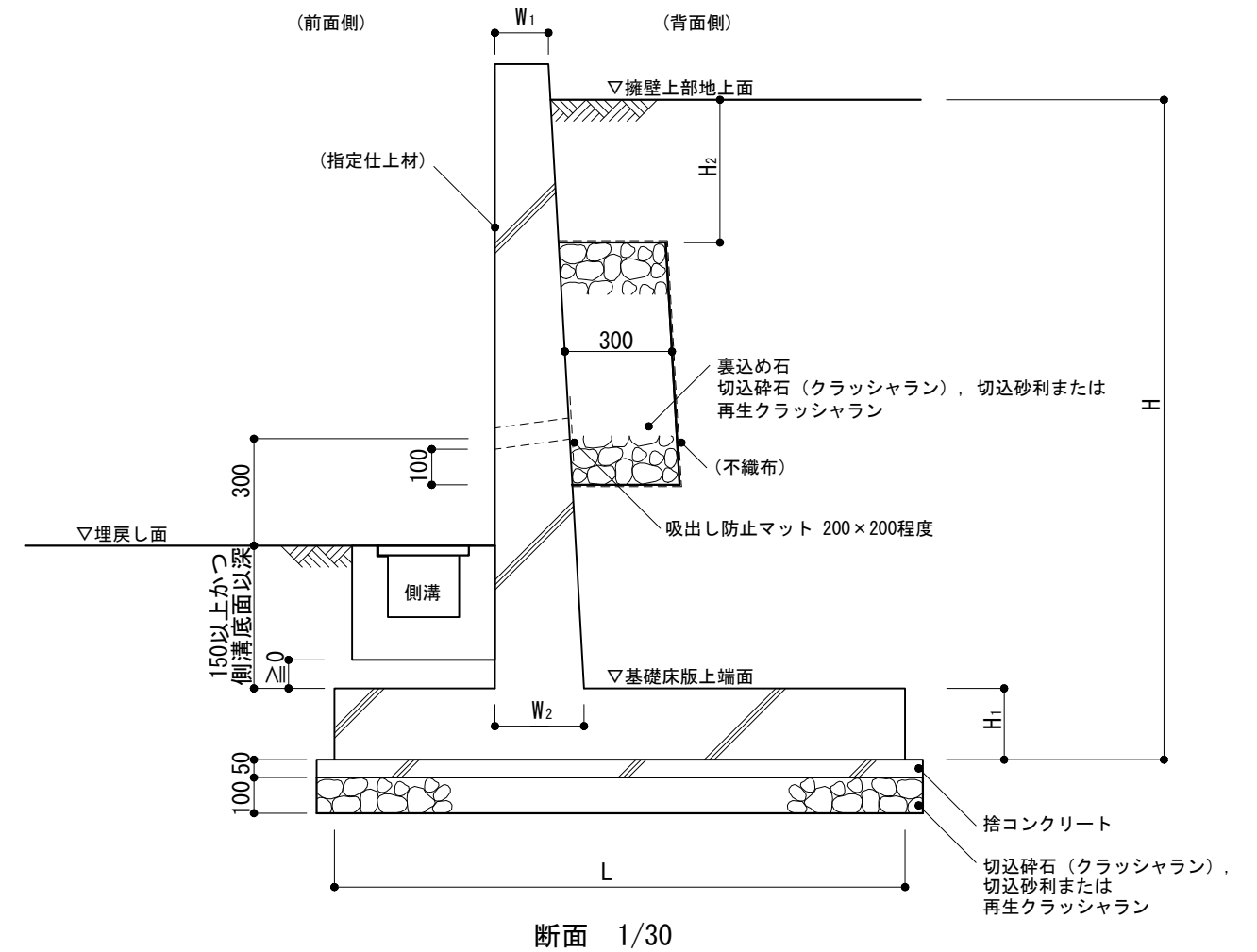
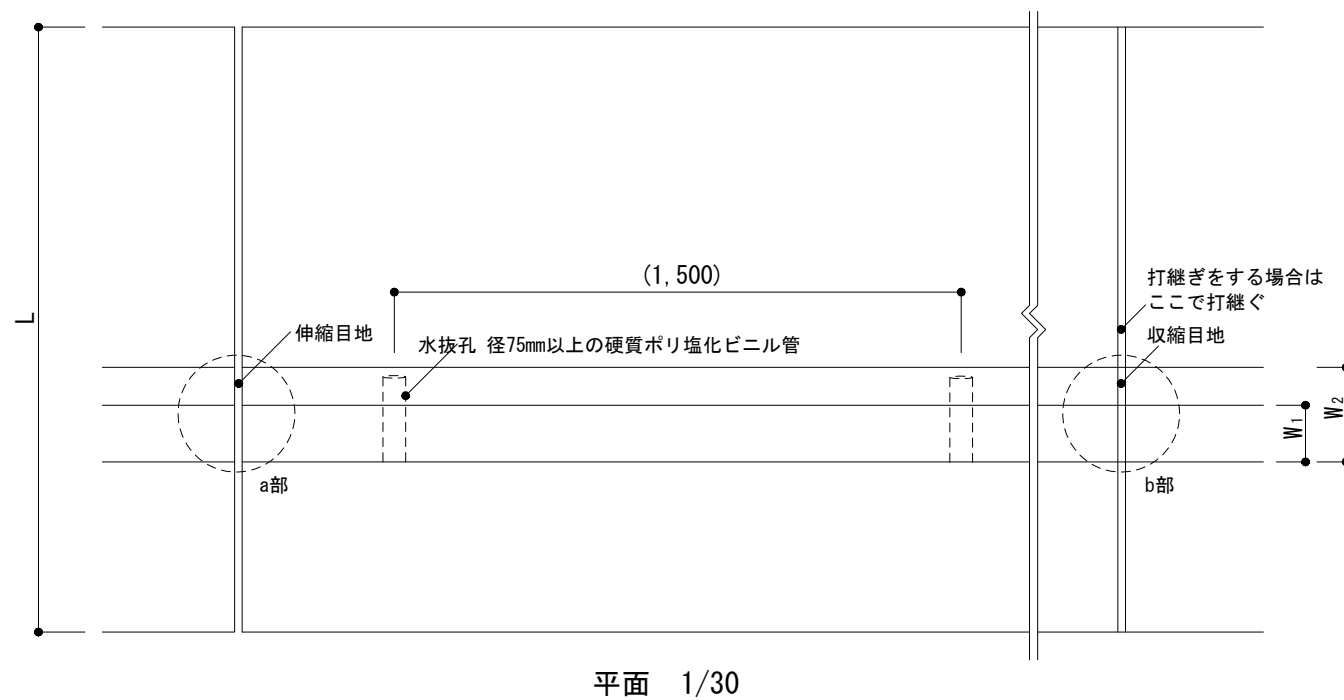
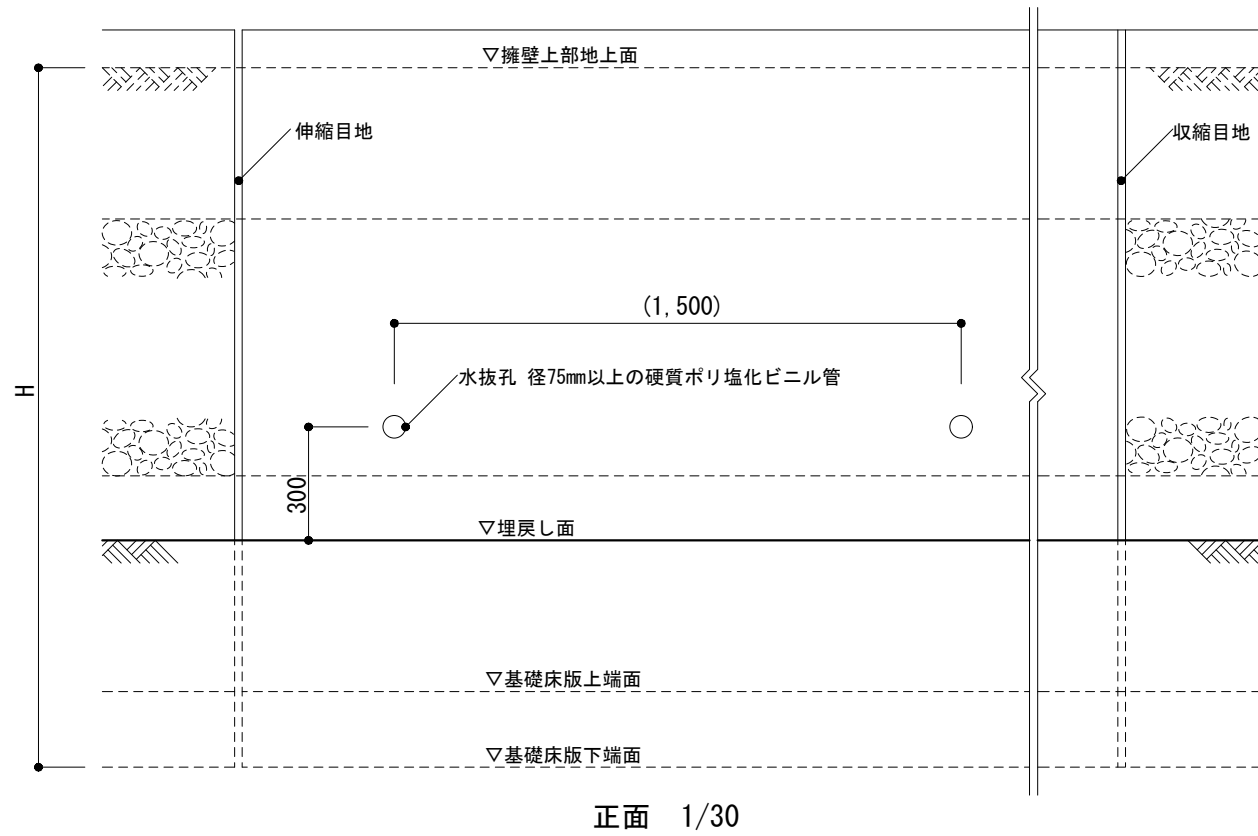
図面名称 門：引き戸

縮尺 1/5, 1/20

建築工事標準詳細図 令和4年版

9-35

-1 擁壁(法令等による規定の対象外の場合)



<p>仕様</p> <p>1) 15m程度の間隔で15mm程度の伸縮目地を設け、中間には収縮目地を設ける。</p> <p>2) 伸縮目地は成形伸縮目地とする。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) H, L, H₁, W₁, W₂</p> <p>2) 伸縮目地の材質</p> <p>3) 指定仕上材の種類及び範囲</p>	図面名称	擁壁(法令等による規定の対象外の場合)	
		縮尺	1/20, 1/30	
		建築工事標準詳細図	令和4年版	
			9-42	